工 事 共 通 構 造 図

令和7年10月

名古屋市緑政土木局

大 分 類 ・ 中 分 類 一 覧 表

大分類		中分類	
分類番号	名称	分類番号	工種名
100	排水工	101	街渠工
		108	L形街渠工
		114	ブロック据付工
		117	L形側溝工
		118-3	V形側溝工
		119	U形側溝工
		125-2	公園U形側溝工
		126	横断暗渠工
		127	横断グレーチング工
		128	街渠桝工
		137	特殊桝工
		141	特殊街渠桝工
		143	側溝桝工
		145	L形側溝桝工
		146-3	V形側溝桝工
		147	L形側溝桝上部工
		147-2	V形側溝桝上部工
		148	雨水桝工
		161	地下浸透井工
		162	流出抑制桝工
		164	集水桝工
		168	汚水桝工
		169	防臭桝工
		170	自由勾配側溝工
200	舗装工	201	アスファルトコンクリート舗装工
		207	セメントコンクリート舗装工
		212	コンクリート平板舗装工
		212-2	公園平板舗装工
		213	アスコン・ベンガラアスコン・脱色アスコン・透水性アスコン・透水性アスコン・コンクリート舗装工

大分類		中分類	
分類番号	名称	分類番号	工種名
200	舗装工	213-2	アスファルト系舗装工・コンクリート舗装工（公園用）
		214	取合せ舗装路盤工
		215	ブロック舗装工
		216	レンガ、タイル、石張舗装工
		217	表層工
		218	視覚障害者誘導用平板舗装工
		220	目地工
		221	横目地工
		223	縦目地工
		224	鉄網挿入工縁部補強鉄筋
300	安全施設工	302	ガードレール設置工
		304	ガードフェンス設置工
		311	ガードパイプ設置工
		319	車両乗り上げ防止柵工
		320	防護柵塗装工
		321	パイプ柵工
		322	格子柵工
		324	フェンス工
		326	車止工
		328	バリケード工（鉄線柵）
		329	案内標識設置工
		341	道路反射鏡設置工
		343	道路標識設置工
		344	安全施設基礎工
		345	視線誘導標設置工
		347	区画線設置工
		361	中央帯先端壁塗装図
		363	中央帯先端壁工
400	電気施設工	401	道路照明設置工

大分類		中分類	
分類番号	名称	分類番号	工種名
400	電気施設工	408	道路照明設置工（灯具取替）
		409	公園灯工
		413	ハンドホール工
		414	分電盤工
		415	道路照明塗装工
		416	太陽電池式時計塔工
500	河川・水路施設工	501	U形柵渠工
		502	石張工
		503	平張コンクリートブロック工
		504	開渠ブロック基礎工
600	管渠工	601	まくら土台基礎工
		602	はしご胴木基礎工
		603	コンクリート巻立基礎工
		608	公園管渠工
		609	浸透地下埋管工
		610	排水性舗装用導水管設置工
700	人孔工	701	丸組立人孔工
		703	組立人孔工
		706	丸人孔工
		707	角人孔工
		733	人孔鉄蓋構造図
800	擁壁工	801	コンクリートブロック積工・石積工
		802	公園石積工
		803	公園ブロック積工
		804	コンクリート擁壁工
		805	レンガ張壁工
900	縁石工	901	ブロック縁石工
		903	レンガ縁石工
		904	玉石・雑割石縁石工
		905	防草ブロック工

大分類		中分類	
分類番号	名称	分類番号	工種名
1000	植栽工	1001	植栽
		1002-2	客土工
		1003	高木植栽工
		1004	中木植栽工
		1005	低木植栽工
		1006	高木、中木植栽工
		1007	歩道緑化工
		1008	生垣植栽工、生垣支柱工
		1009	生垣植栽工
		1010	地被植付工
		1012	張芝工
		1014	草花植付工
		1015	高木補植工
		1016	中木補植工
		1017	中低木補植工
		1018	竹支柱工
		1019	二脚支柱工
		1021	三脚支柱工
		1022	四脚支柱工
		1025	陣立支柱工
		1026	生垣支柱工
		1027	フジ支柱工
		1028	マルチング
		1030	名板設置工
		1032	歩道緑地帯パイプ柵工
		1034	高木・中木・低木掘取運搬工
1100	サービス施設工	1101	ベンチ工
		1106	テーブル工
		1109	パーゴラ工

大分類		中分類	
分類番号	名称	分類番号	工種名
1200	遊戯施設工	1201	砂場工
		1204	ステップ工
		1208	グローブジャングル工
		1209	円形ジャングルジム工
		1210	ブランコ工
		1213	境界柵工
		1214	すべり台工
		1218	シーソー工
		1220	鉄棒工
		1223	うんてい工
		1224	円木工
1300	管理便益施設工	1303	門柱工
		1305	案内板工
		1306	散水栓工
		1311	量水器取付部工、給水管工
		1312	止水栓工
1400	雑工	1401	路幅境界工
		1403	境界杭設置工、用地幅杭設置工
		1404	舗装止工
		1405	根囲ブロック据付工
		1405-3	ベース付縁石植ます工
		1406	レンガ植桝工
		1408	階段工
		1409	擬木階段工
		1410	コンクリート柵工
		1411	板柵
		1412	透水性植桝工
		1413	街路樹植栽穴工
		1414	道路台帳主要点設置工

大分類		中分類	
分類番号	名称	分類番号	工種名
1400	雑工	1415	多角点杭設置工
		1416	主要点杭設置工
		1417	測量標設置工
参考図		01	視覚障害者誘導用平板舗装工
		05	歩道切下げ工
		09	植栽帯設置工
		11	中央分離帯植栽設置図
		12	歩道切下げ工（L形街渠用）
		15	乗り入れ工

小 分 類 一 覧 表

大分類	中 分 類	小 分 類	図面番号
100 排水工	街渠工	国土交通省型（歩道マウントアップ用）	101
		A，B（市型歩道マウントアップ用）	102
		D	103
		E	104
		歩道フラット用	105
		エプロン工	106
		排水管取付	107
	L形街渠工	A，B，C標準	108
		A，B，C乗り入れ	109
		A，B，C横断歩道	110
		A，B，C乗り入れ切下げ	111
		A，B，C横断歩道切下げ	112
		歩道切下げRブロック	113
	ブロック据付工	1，2(1/2)	114
		1，2(2/2)	115
		3，4	116
	L形側溝工	（A）	117
		（B），（C）	118
		現場打有筋	118-2
	V形側溝工	（A）	118-3
	U形側溝工	A	119
		B	120
		C	121
		電柱除けU形側溝工　C	121-2
		側溝用ふた	122
		側溝用グレーチングふた	123
		側溝用（A，B，C）グレーチングふた	124
		透水性U形	125
	公園U形側溝工	A，B	125-2
	横断暗渠工	A（240～450用）	126
		B（250～500用）	126-2

大分類	中 分 類	小 分 類	図面番号
100 排水工	横断グレーチング工	A，B，B－1，C，D	127
		E（横断グレーチングふた(横断面図)）	127-2
		E(横断グレーチングふた（平面図）)	127-3
	街渠桝工	街渠工450用（一般用マウントアップ型）	128
		街渠工450用（一般用フラット型）	129
		街渠工450用（一般用）寸法表	130
		街渠工450用（浸透用マウントアップ型）	131
		街渠工450用（浸透用フラット型）	132
		街渠工450用（浸透用）寸法表	133
		街渠工450用（落葉対策蓋）	133-2
		500A，500B，500C用	134
		500A，500B，500C用（浸透用）	135
		500B，500C用（落葉対策蓋）	135-2
		D	136
	特殊桝工	A	137
		B	138
		L形側溝C用	139
		L形側溝C用（浸透用）	140
		L形側溝C用（グレーチングふた）	140-2
	特殊街渠桝工	H＝600，900	141
		桝ブロック	142
		（B）	142-2
	側溝桝工	A	143
		C－1	144
	L形側溝桝工	C－2，C－3	145
		C－2，C－3（浸透用）	145-2
		C－2，C－3（グレーチングふた）	145-3
		C－5，C－6（歩道用）	146
		C－5，C－6（歩道用，浸透用）	146-2
	V形側溝桝工	（A）	146-3
		（B）（浸透用）	146-4

大分類	中　分　類	小　分　類	図面番号
100	Ｌ形側溝桝上部工	Ｌ形側溝桝上部工	147
排水工	Ｖ形側溝桝上部工	Ｖ形側溝桝上部工	147-2
	雨水桝工	Ａ	148
		Ｂ	149
		Ｂ（浸透用）	150
		Ｃ	151
		Ｃ（浸透用）	152
		Ｃ（雨水桝用グレーチングふた）	153
		Ｄ	154
		Ｄ（浸透用）	155
		Ｄ（雨水桝用グレーチングふた）	156
	地下浸透井工	地下浸透井工	161
	流出抑制桝工	浸透施設用	162
		貯留施設用	163
	集水桝工	300Ａ，300Ｂ	164
		300Ａ，300Ｂ浸透用	164－2
		300Ａ’，300Ｂ’細目	165
		300Ａ’，300Ｂ’浸透用	165-2
		450Ａ，450Ｂ	166
		450Ａ，450Ｂ　浸透用	166-2
		450Ａ’，450Ｂ’	167
		450Ａ’，450Ｂ’浸透用細目	167-2
	汚水桝工	Ａ，Ａ’，Ｂ，Ｂ’	168
	防臭桝工	Ａ，Ａ’，Ｂ，Ｂ’	169
	自由勾配側溝工	自由勾配側溝工	170
		側溝用ふた	170-2
		側溝用グレーチングふた	170-3
200	アスファルトコンクリート舗装工	車道，再生砕石（１／２）	201
舗装工		車道，再生砕石（２／２）	202
		車道，スラグ（１／２）	203
		車道，スラグ（２／２）	204
		（車道　生活道路）改良砕石	205

大分類	中　分　類	小　分　類	図面番号
200	セメントコンクリート舗装工	車道，再生砕石（１／２）	207
舗装工		車道，再生砕石（２／２）	208
		車道，スラグ（１／２）	209
		車道，スラグ（２／２）	210
		(A)，(B)	211
	コンクリート平板舗装工	歩道用	212
	公園平板舗装工	公園平板舗装工	212-2
	アスコン，ベンガラアスコン， 脱色アスコン，透水性脱色アスコン， 透水性アスコン，コンクリート舗装工	歩道用	213
	アスファルト系舗装工 コンクリート舗装工	公園用	213-2
	取合せ舗装路盤工	取合せ舗装路盤工	214
	ブロック舗装工	歩道用	215
		公園用	215-2
	レンガ，タイル，石張舗装工	レンガ，タイル，石張舗装工	216
	表層工	ダスト表層，砂表層	217
	視覚障害者誘導用平板舗装工	誘導部	218
		一般部	219
		公園用	219-2
	目地工	目地工	220
	横目地工	横目地工（１／２）	221
		横目地工（２／２）	222
	縦目地工	縦目地工	223
	鉄網挿入工縁部補強鉄筋	鉄網挿入工縁部補強鉄筋	224
300	ガードレール設置工	土中用	302
安全施設工	ガードフェンス設置工	１型	304
		３型	306
		中央帯用0.8m	307
		中央帯用1.1m	307-2
		１型用基礎ブロック	308
		２型，３型用基礎ブロック	309

大分類	中　分　類	小　分　類	図面番号
300	ガードフェンス設置工	14型（水路沿用）	310
安全施設工	ガードパイプ設置工	21型	311
		転落防止柵	312
		22型（歩道用）	313
		23型（歩道用）	314
		24型（歩道用）	315
		Ｇｐ-Ａｐ-２Ｅ（歩道用）	316
		Ｇｐ-Ｂｐ-２Ｅ（歩道用）	317
		Ｇｐ-Ｃｐ-２Ｅ（歩道用）	318
	車両乗り上げ防止柵工	固定，可動式	319
	防護柵塗装工	防護柵塗装工	320
	パイプ柵工	H=0.45，0.60，0.70m	321
	格子柵工	H=0.75m	322
		H=1.1m	323
	フェンス工	H=0.8，1.5，2.0m	324
		H=3.0，4.0m	325
	車止工	固定，可動，可動（鍵付）	326
	バリケード工（鉄線柵）	バリケード工（鉄線柵）H=1.0m	328
	案内標識設置工	信号機アーム取付	329
		地点名標識（３文字以下）	329-2
		地点名標識（４文字）	329-3
		地点名標識（5，６文字）	329-4
		地点名標識（７文字）	329-5
		Ｆ-１型（張出長1.0m）	330
		Ｆ-１型（張出長2.5m）	331
		Ｆ-２型（張出長1.0m）	332
		Ｆ-２型（張出長2.5m）	333
		Ｆ型標識基礎寸法表（張出長1.0m，2.5m）	334
		アンカーボルト数量表	335
		Ｆ型柱重量表（張出長2.5m）	336
		Ｆ型柱重量表（張出長1.0m）	337
		標示板レイアウト図	338

大分類	中　分　類	小　分　類	図面番号
300	案内標識設置工	Ｆ-２型寸法，材料表	339
安全施設工		Ｆ-２型寸法表	340
	道路反射鏡設置工	丸型	341
		角型	342
	道路標識設置工	案内，警戒，規制標識	343
	安全施設基礎工	安全施設基礎工	344
	視線誘導標設置工	視線誘導標設置工（１／２）	345
		視線誘導標設置工（２／２）	346
	区画線設置工	文字記号（矢印，60）	347
		文字記号（20，30，40，50）	348
		文字記号（中，専用）	349
		文字記号（バス優先）	350
		文字記号（7-9，止まれ）	351
		文字記号（◇，＋，Ｔ，自転車マーク）	352
		文字記号（ゾーン30）	353
		文字記号（破線矢印等）	354
		文字記号（おわり）	355
		文字記号（ゃ，7-9）	356
		文字記号（緊急車）	357
		文字記号（消防，バス）	358
		文字記号（出入口）	359
		文字記号（交差点マーク）	360
	中央帯先端壁塗装図	（１）（対面通行）	361
		（２）（交通島）	362
	中央帯先端壁工	１号	363
		２号	364
		３号Ａ	365
		３号Ｂ	366
		４号Ａ	367
		４号Ｂ	368
		５号	369
		６号	370

大分類	中　分　類	小　分　類	図面番号
400	道路照明設置工	直線ポール（１／２）	401
電気施設工		直線ポール（２／２）	401－2
		段付鋼管柱 H=8.0m（１／２）	402
		段付鋼管柱 H=8.0m（２／２）	402－2
		段付鋼管柱 アーム付 H=8.0m（１／２）	403
		段付鋼管柱 アーム付 H=8.0m（２／２）	403－2
		生活道路 カラーポール	404
		生活道路 コンクリート柱共架	407
	道路照明設置工（灯具取替）	カラーポール	408
	公園灯工	Ａ，Ｂ，Ｃ引込柱，中間柱	409
		Ａ，Ｂ，Ｃ引込柱，中間柱架空線	409-2
		電線管布設工，ケーブル入線工	411
		Ａ，Ｂ，Ｃ引込柱，中間柱回路図	412
	ハンドホール工	Ａ，Ａ’，Ｂ，Ｂ’	413
	分電盤工	分電盤工	414
	道路照明塗装工	道路照明塗装工	415
	太陽電池式時計塔工	太陽電池式時計塔工Ａ，Ｂ	416
500	Ｕ形柵渠工	H=0.6m～1.2m	501
河川・水路	石張工	石張工	502
施設工	平張コンクリートブロック工	平張コンクリートブロック工	503
	開渠ブロック基礎工	Ａ，Ｂ	504
600	まくら土台基礎工	まくら土台基礎工	601
管渠工	はしご胴木基礎工	はしご胴木基礎工	602
	コンクリート巻立基礎工	90° 巻	603
		120° 巻	604
		180° 巻	605
		360° 巻 Ｐ３型	606
		360° 巻 Ｐ４型	607
	公園管渠工	公園管渠工	608
	浸透地下埋管工	浸透地下埋管工	609
	排水性舗装用導水管設置工	排水性舗装用導水管設置工	610
700　人孔工	丸組立人孔工	０号	701

大分類	中　分　類	小　分　類	図面番号
700	丸組立人孔工	１号	702
人孔工	組立人孔工	０号	703
		１号	704
		２号	705
	丸人孔工	１号，２号	706
	角人孔工	３号，４号，５号，６号，７号	707
		３号配筋図（その１）	708
		３号配筋図（その２）	709
		３号配筋図（その３）	710
		３号配筋加工図	711
		３号材料表	712
		４号配筋図（その１）	713
		４号配筋図（その２）	714
		４号配筋図（その３）	715
		４号鉄筋加工図	716
		４号材料表	717
		５号配筋図（その１）	718
		５号配筋図（その２）	719
		５号配筋図（その３）	720
		５号鉄筋加工図	721
		５号材料表	722
		６号配筋図（その１）	723
		６号配筋図（その２）	724
		６号配筋図（その３）	725
		６号鉄筋加工図	726
		６号材料表	727
		７号配筋図（その１）	728
		７号配筋図（その２）	729
		７号配筋図（その３）	730
		７号鉄筋加工図	731
		７号材料表	732
	人孔鉄蓋構造図	Ｔ－25用	733

大分類	中　分　類	小　分　類	図面番号
700 人孔工	人孔鉄蓋構造図	Ｔ－14用	734
		Ｔ－25用，Ｔ－14用，蓋裏図面	735
800 擁壁工	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ積工・石積工	コンクリートブロック積工・石積工(1/2)	801
		コンクリートブロック積工・石積工(2/2)	801-1
	公園石積工	１段，２段，３段	802
	公園ブロック積工	１段，２段，３段，４段	803
	コンクリート擁壁工	Ｈ＝0.4m，0.6m，0.8m	804
	レンガ張壁工	２段，３段，４段	805
900 縁石工	ブロック縁石工	Ａ，Ｂ	901
		Ｃ，Ｄ	902
	レンガ縁石工	Ａ，Ｂ，Ｃ	903
	玉石・雑割石縁石工		904
	防草ブロック工	Ｂ	905
1000 植栽工	植栽工	公園用	1001
		公園客土工,施肥工	1002
	客土工	公園用	1002-2
	高木植栽工	単独用	1003
	中木植栽工	単独用	1004
	低木植栽工	街路用	1005
	高木，中木植栽工	街路用	1006
	歩道緑化工	街路用	1007
	生垣植栽工，生垣支柱工	公園用	1008
	生垣植栽工	街路用	1009
	地被植付工	公園用	1010
		街路用	1011
	張芝工	公園用　Ａ，Ｂ，Ｄ，Ｅ	1012
		街路用Ｃ	1013
	草花植付工	街路用，公園用	1014
	高木補植工	街路用	1015
	中木補植工	街路用	1016
	中低木補植工	街路用	1017
	竹支柱工	街路，公園用　一本，三本	1018
	二脚支柱工	街路用	1019

大分類	中　分　類	小　分　類	図面番号
1000 植栽工	二脚支柱工	公園用	1020
	三脚支柱工	街路，公園用　Ａ，Ｂ	1021
	四脚支柱工	公園用　Ａ	1022
		街路用　Ｂ	1023
		街路用　Ｃ	1024
	陣立支柱工	公園用　三本，四本	1025
	生垣支柱工	街路用　Ｂ	1026
	フジ支柱工	公園用	1027
	マルチング	公園用	1028
		街路用	1029
	名板設置工	街路用　Ａ，Ｂ	1030
		街路用　Ｃ，Ｄ	1031
	歩道緑地帯パイプ柵工	街路用　一体式	1032
	高木・中木・低木掘取運搬工	街路用，公園用	1034
1100 サービス 施設工	ベンチ工	Ａ	1101
		Ｂ	1102
		Ｃ’	1103-1
		Ｄ	1105
	テーブル工	Ａ（１型，２型）	1106
		Ｄ	1107
	パーゴラ工	Ａ	1109
		Ｂ	1110
		屋根Ａ，Ｂ	1111
		Ｃ（１／２）	1112
		Ｃ（２／２）	1113
1200 遊戯施設工	砂場工	平面図	1201
		砂場壁	1202
	ステップ工	Ａ，Ｂ，Ｃ，Ｄ	1204
	グローブジャングル工	グローブジャングル工	1208
	円形ジャングルジム工	円形ジャングルジム工	1209
	ブランコ工	二連（１／２）	1210
	ブランコ工	幼児用（１／２）	1210-2

大分類	中　分　類	小　分　類	図面番号
1200 遊戯施設工	ブランコ工	四連（1／2）	1211
		二連，幼児用，四連（2／2）	1212
	境界柵工	角型	1213
		R型	1213-2
	すべり台工	すべり台工（1／2）	1214
		すべり台工（2／2）	1215
	シーソー工	シーソー工（1／2）	1218
		シーソー工（2／2）	1218－2
	鉄棒工	低鉄棒	1220
		高鉄棒	1222
	うんてい工	うんてい工	1223
	円木工	円木工	1224
1300 管理便益施設工	門柱工	D	1303
	案内板工	案内板工	1305
	散水栓工	φ13，φ20	1306
	量水器取付部工，給水管工	φ13，φ20，φ25	1311
	止水栓工	φ13，φ20，φ25	1312
1400 雑工	路幅境界工	A，B，C	1401
		ベース付A，A’	1402
	境界杭設置工，用地幅杭設置工	境界杭設置工，用地幅杭設置工	1403
	舗装止工	A，B	1404
	根囲ブロック据付工	A，B	1405
		C，D	1405-2
	ベース付縁石植ます工	A，B	1405-3
	レンガ植桝工	A	1406
	レンガ植桝工	B	1407
	階段工	A，B，C	1408
	擬木階段工	擬木階段工	1409
	コンクリート柵工	H＝0.9m～1.2m	1410
	板柵（河川）	H＝0.6m～1.5m	1411
	板柵（道路）	H=0.4m～1.2m	1411-2
	透水性植桝工	透水性植桝工	1412

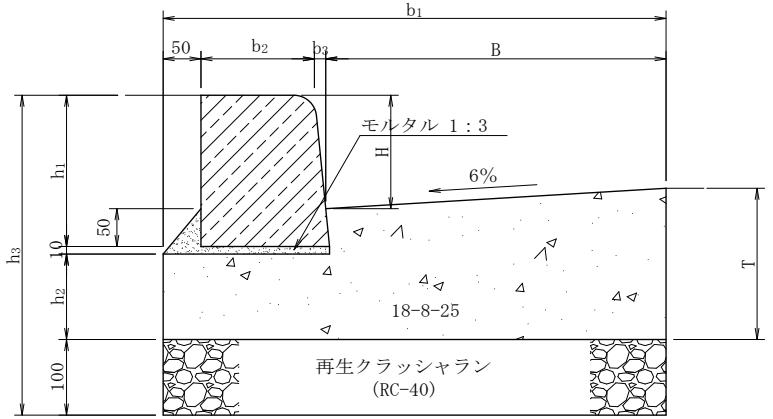
大分類	中　分　類	小　分　類	図面番号
1400 雑工	街路樹植栽穴工	街路樹植栽穴工	1413
	道路台帳主要点設置工	道路台帳主要点設置工	1414
	多角点杭設置工	用地測量標	1415
	主要点杭設置工	用地測量標	1416
	測量標設置工	道路台帳基準点	1417
		多角点	1418
		多角点	1419
		水準点，多角水準点	1420
		水準点，多角水準点	1421
		街区三角点	1422
		街区多角点	1423
参考図	視覚障害者誘導用平板舗装工	配列図A-1（横断歩道，歩道巻込部）	01
		配列図A-2（横断歩道，歩道巻込部）	02
		配列図（立体横断施設の昇降口）	03-1
		配列図（地下横断歩道等の昇降部）	03-2
		配列図D（バス停部），E（中央帯部）	03-3
		配列図（公共施設部の入口部）	03-4
		配列図（自転車横断帯，交通島）	03-5
		配列図B-1（階段部）	04
	歩道切下げ工	A，B	05
		C，D	06
		E	07
		G	08
	植樹帯設置工（1）	植樹帯標準設置図	09
	植樹帯設置工（2）	植ます標準設置図	10
	中央分離帯植栽設置図	中央分離帯標準植栽図	11
	歩道切下げ工（L形街渠用）	A，B	12
	歩道切下げ工（L形街渠用）	C，D	13
	歩道切下げ工（L形街渠用）	E	14
	乗り入れ工	乗り入れ工（平面図）	15

大分類	中分類	小分類	適用年度
100 排水工	街渠工	国土交通省型（歩道マウントアップ用）	R7.4

街　渠　工

街渠工材料表

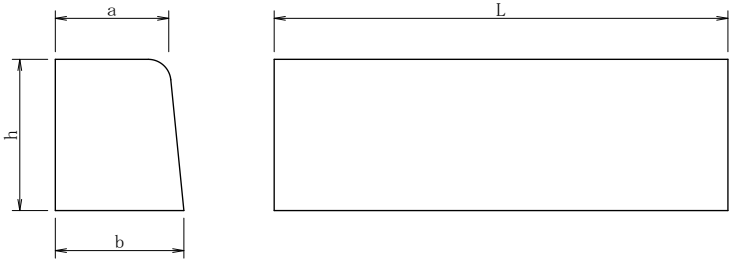
名称	材料表 10m当り							摘要
	再生クラッシャラン RC-40(m³)	コンクリート 18-8-25(m³)	型枠 (m²)	ブロック (個)	瀝青質目地板 厚10mm(m²)	モルタル(m³) 敷モルタル(1：3)	モルタル(m³) 目地モルタル(1：2)	
街渠工(A－1)	0.665	1.080	3.13	16.5	0.045	0.032	0.003	片面歩車道境界ブロックA
街渠工(A－2)	0.715	1.159	3.10	16.5	0.050	0.032	0.003	〃 A
街渠工(B－1)	0.700	0.770	2.13	16.5	0.045	0.036	0.004	〃 B
街渠工(B－2)	0.700	1.120	3.13	16.5	0.045	0.036	0.004	〃 B
街渠工(B－3)	0.750	0.823	2.10	16.5	0.050	0.036	0.004	〃 B
街渠工(B－4)	0.750	1.198	3.10	16.5	0.050	0.036	0.004	〃 B
街渠工(C－2)	0.755	1.203	3.10	16.5	0.050	0.036	0.005	〃 C



街渠工寸法表

名称	寸法表 単位(mm)									摘要
	B	H	T	b_1	b_2	b_3	h_1	h_2	h_3	
街渠工(A－1)	450	150	200	665	150	15	200	113	423	
街渠工(A－2)	500	150	200	715	150	15	200	110	420	
街渠工(B－1)	450	200	150	700	180	20	250	63	423	
街渠工(B－2)	450	200	200	700	180	20	250	113	473	
街渠工(B－3)	500	200	150	750	180	20	250	60	420	
街渠工(B－4)	500	200	200	750	180	20	250	110	470	
街渠工(C－2)	500	250	200	755	180	25	300	110	520	

片面歩車道境界ブロック



片面歩車道境界ブロック寸法表

片面歩車道境界ブロック	寸法表 単位(mm)				1個当たり参考重量(kg)	摘要
	a	b	h	L		
A	150	170	200	600	44	JIS A 5371 附属書B
B	180	205	250	600	66	JIS A 5371 附属書B
C	180	210	300	600	81	JIS A 5371 附属書B

注意事項

1. 目地材（瀝青質目地板　t=10mm）は10mに 1ヶ所設置すること。
2. 路盤上に施工する場合は基礎材を省略してもよい。
3. 目地モルタルの数量は目地間隔を 5mmとする。
4. 歩道切り下げ部については、街渠工（E－1～4）にて施工すること。
（別紙参考図参照）

大分類	中分類	小分類	適用年度
100 排水工	街渠工	A，B（市型歩道マウントアップ用）	R7.4

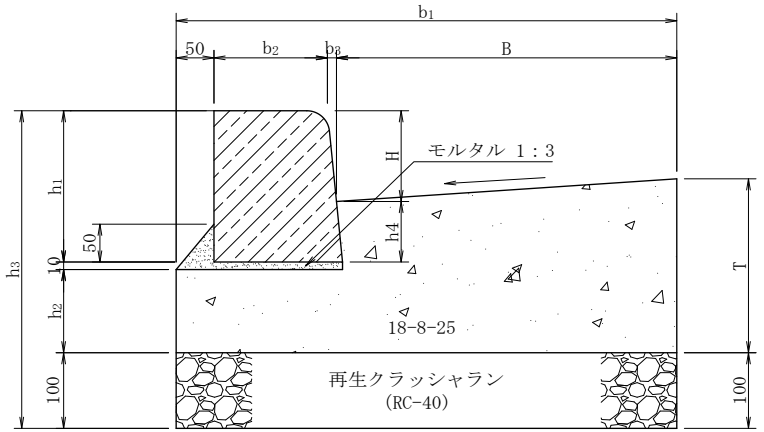
街　渠　工

街渠工材料表

名称	材料表 10m当り							摘要
	再生クラッシャラン RC-40(m³)	コンクリート 18-8-25(m³)	型枠 (m²)	ブロック (個)	瀝青質目地板 厚10mm(m²)	モルタル (m³) 敷モルタル (1：3)	モルタル (m³) 目地モルタル (1：2)	
街渠工A	0.662	1.196	3.40	16.5	0.045	0.032	0.003	片面歩車道境界ブロックA
街渠工B	0.695	1.182	3.20	16.5	0.045	0.038	0.004	〃 B

街渠工寸法表

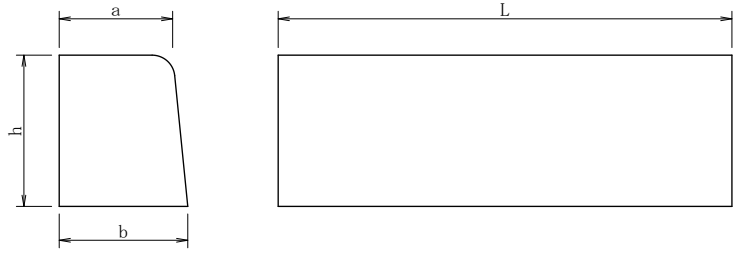
名称	寸法表 単位（mm）										摘要
	B	H	T	b_1	b_2	b_3	h_1	h_2	h_3	h_4	
街渠工A	450	120	230	662	150	12	200	110	420	80	維持用
街渠工B	450	150	230	695	180	15	250	90	450	100	維持用



片面歩車道境界ブロック寸法表

片面歩車道境界ブロック	寸法表 単位（mm）				1個当たり参考重量(kg)	摘要
	a	b	h	L		
A	150	170	200	600	44	JIS A 5371 附属書B
B	180	205	250	600	66	JIS A 5371 附属書B

片面歩車道境界ブロック



注意事項

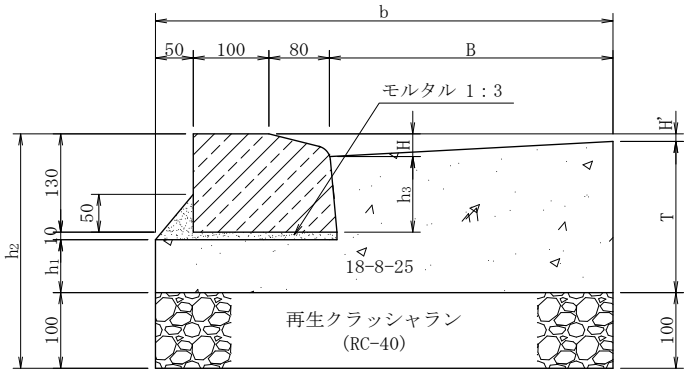
1. 目地材（瀝青質目地板　t=10㎜）は10mに 1ヶ所設置すること。
2. 路盤上に施工する場合は基礎材を省略してもよい。
3. 目地モルタルの数量は目地間隔を 5㎜とする。
4. 街渠工A～Dの歩道切り下げ部については、街渠工（E－1～4）にて施工すること。（別紙参考図参照）

大分類	中分類	小分類	適用年度
100 排水工	街渠工	D	R7.4

街　渠　工

街渠工材料表

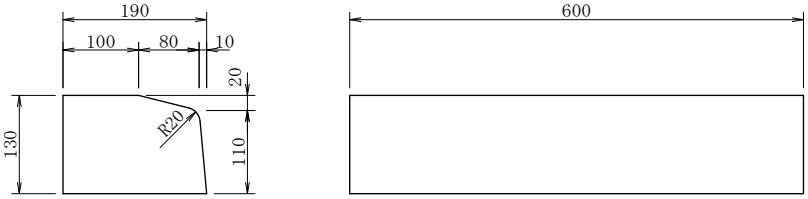
名称	材料表 10m当り							摘要
	再生クラッシャラン RC-40(m³)	コンクリート 18-8-25(m³)	型枠 (m²)	ブロック (個)	瀝青質目地板 厚10mm(m²)	モルタル (m³) 敷モルタル (1：3)	モルタル (m³) 目地モルタル (1：2)	
街渠工D	0.605	0.867	2.70	16.5	0.038	0.034	0.002	



街渠工寸法表

名称	寸法表 単位 (mm)								摘要
	B	H	H'	T	b	h_1	h_2	h_3	
街渠工D	375	30	10	200	605	70	310	100	歩行者系道路に適用

ブロック寸法



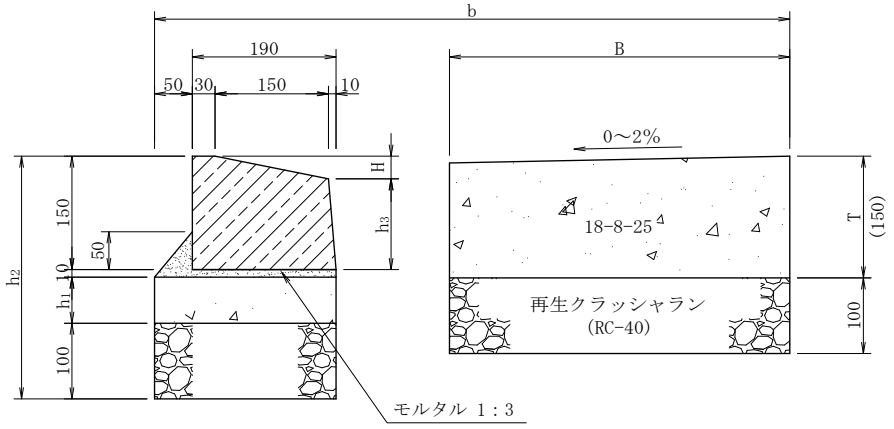
ブロック1個当り参考重量　30kg／個

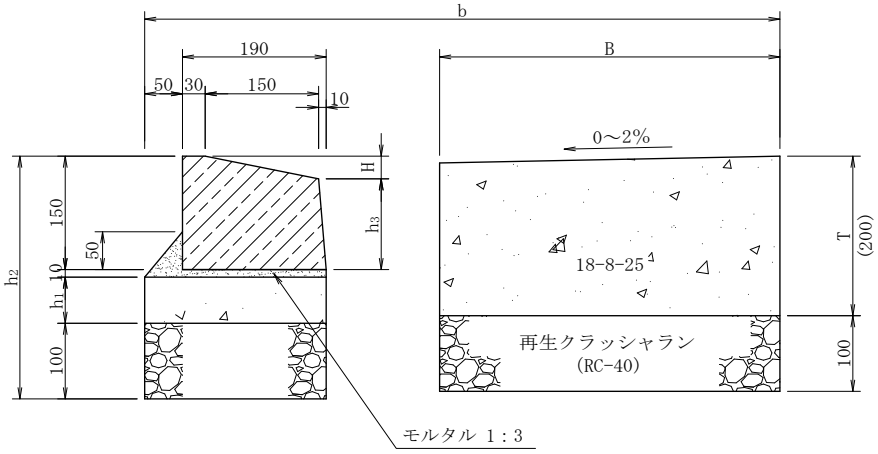
注意事項

1. 歩行者系道路に適用する。
2. 目地材（瀝青質目地板　t=10㎜）は10mに 1ヶ所設置すること。
3. 路盤上に施工する場合は基礎材を省略してもよい。
4. 目地モルタルの数量は目地間隔を 5㎜とする。

大分類	中分類	小分類	適用年度
100 排水工	街渠工	E	R7.4

街　渠　工

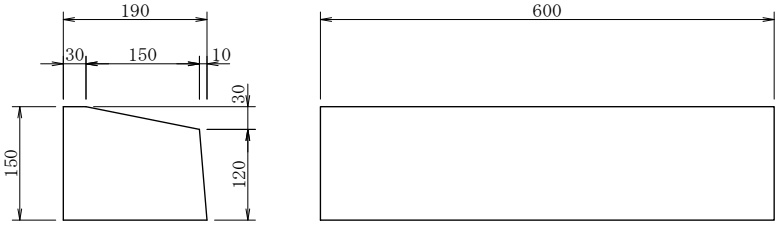




街　渠　工　材　料　表

名　称	材料表 10m当り							摘　要
	再生クラッシャラン RC-40(m³)	コンクリート 18-8-25(m³)	型枠 (m²)	ブロック (個)	瀝青質目地板 厚10mm(m²)	モルタル (m³) 敷モルタル (1：3)	モルタル (m³) 目地モルタル (1：2)	
街渠工(E－1)	0.680	0.793	2.11	16.5	0.045	0.034	0.002	
街渠工(E－2)	0.680	1.013	2.61	16.5	0.045	0.034	0.002	
街渠工(E－3)	0.730	0.861	2.10	16.5	0.050	0.034	0.002	
街渠工(E－4)	0.730	1.106	2.60	16.5	0.050	0.034	0.002	

ブロック寸法



ブロック1個当り参考重量　35kg／個

街　渠　工　寸　法　表

名　称	寸法表 単位(mm)							摘　要
	B	H	T	b	h_1	h_2	h_3	
街渠工(E－1)	450	30	150	680	61	321	120	歩道切り下げ部に適用
街渠工(E－2)	450	30	200	680	61	321	120	歩道切り下げ部に適用
街渠工(E－3)	500	30	150	730	60	320	120	歩道切り下げ部に適用
街渠工(E－4)	500	30	200	730	60	320	120	歩道切り下げ部に適用

注意事項

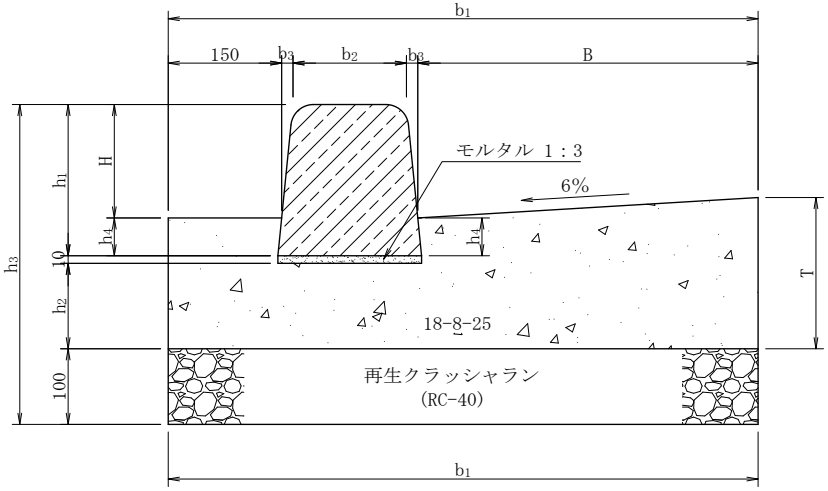
1. 街渠工A～Dの歩道切り下げ部に適用する。（別紙参考図参照）
2. 目地材（瀝青質目地板　t=10㎜）は10mに 1ヶ所設置すること。
3. 路盤上に施工する場合は基礎材を省略してもよい。
4. 目地モルタルの数量は目地間隔を 5㎜とする。

大分類	中分類	小分類	適用年度
100 排水工	街渠工	歩道フラット用	R7.4

街　渠　工

街渠工材料表

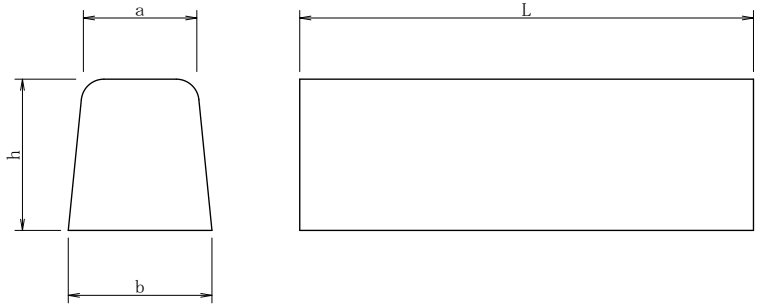
名称	材料表 10m当り							摘要
	再生クラッシャラン RC-40(m³)	コンクリート 18-8-25(m³)	型枠 (m²)	ブロック (個)	瀝青質目地板 厚10mm(m²)	モルタル (m³) 敷モルタル (1：3)	モルタル (m³) 目地モルタル (1：2)	
街渠工(A'－1)	0.780	1.298	3.73	16.5	0.045	0.019	0.003	両面歩車道境界ブロックA
街渠工(A'－2)	0.830	1.374	3.70	16.5	0.050	0.019	0.003	〃 A
街渠工(B'－1)	0.820	0.933	2.73	16.5	0.045	0.023	0.004	〃 B
街渠工(B'－2)	0.820	1.343	3.73	16.5	0.045	0.023	0.004	〃 B
街渠工(B'－3)	0.810	1.462	4.33	16.5	0.045	0.023	0.004	〃 B
街渠工(B'－4)	0.870	0.983	2.70	16.5	0.050	0.023	0.004	〃 B
街渠工(B'－5)	0.870	1.418	3.70	16.5	0.050	0.023	0.004	〃 B
街渠工(C'－2)	0.880	1.429	3.70	16.5	0.050	0.024	0.005	〃 C



街渠工寸法表

名称	寸法表 単位(mm)										摘要
	B	H	T	b_1	b_2	b_3	h_1	h_2	h_3	h_4	
街渠工(A'－1)	450	150	200	780	150	15	200	113	423	50	
街渠工(A'－2)	500	150	200	830	150	15	200	110	420	50	
街渠工(B'－1)	450	200	150	820	180	20	250	63	423	50	
街渠工(B'－2)	450	200	200	820	180	20	250	113	473	50	
街渠工(B'－3)	450	150	230	810	180	15	250	93	453	100	
街渠工(B'－4)	500	200	150	870	180	20	250	60	420	50	
街渠工(B'－5)	500	200	200	870	180	20	250	110	470	50	
街渠工(C'－2)	500	250	200	880	180	25	300	110	520	50	

両面歩車道境界ブロック



両面歩車道境界ブロック寸法表

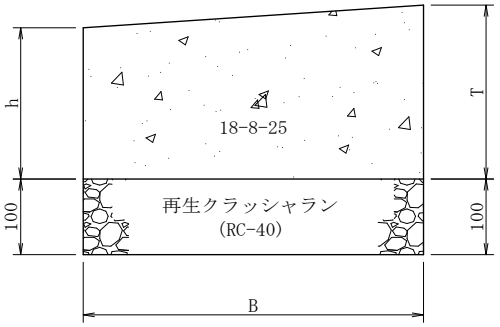
両面歩車道境界ブロック	寸法表 単位(mm)				1個当たり参考重量(kg)	摘要
	a	b	h	L		
A	150	190	200	600	48	JIS A 5371 附属書B
B	180	230	250	600	72	JIS A 5371 附属書B
C	180	240	300	600	89	JIS A 5371 附属書B

注意事項

1. 目地材（瀝青質目地板　t=10mm）は10mに 1ヶ所設置すること。
2. 路盤上に施工する場合は基礎材を省略してもよい。
3. 目地モルタルの数量は目地間隔を 5mmとする。

大分類	中分類	小分類	適用年度
100 排水工	街渠工	エプロン工	R7.4

街　渠　工（エプロン工）



エプロン工寸法表・材料表

名称	寸法表 単位（mm）			材料表 10m当り				摘要
	B	T	h	再生クラッシャラン RC-40（m^3）	コンクリート 18-8-25（m^3）	型枠（m^2）	瀝青質目地板 厚10mm（m^2）	
エプロン工A	450	230	200	0.450	0.968	4.30	0.045	
エプロン工B	450	150	120	0.450	0.608	2.70	0.045	
エプロン工C	450	200	170	0.450	0.833	3.70	0.045	
エプロン工D	500	150	120	0.500	0.675	2.70	0.050	
エプロン工E	500	200	170	0.500	0.925	3.70	0.050	

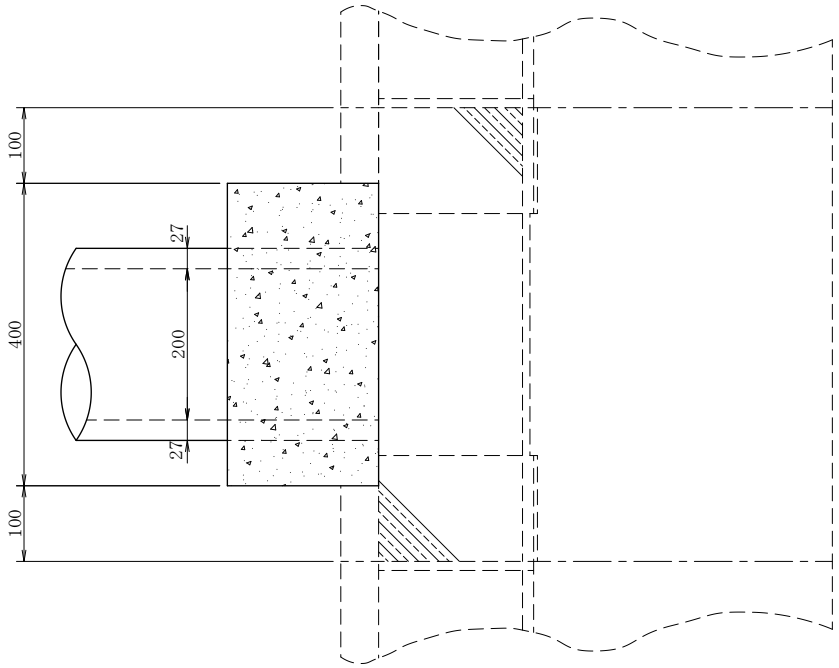
注意事項

1. 目地材（瀝青質目地板　t=10mm）は10mに 1ヶ所設置すること。
2. 路盤上に施工する場合は基礎材を省略してもよい。

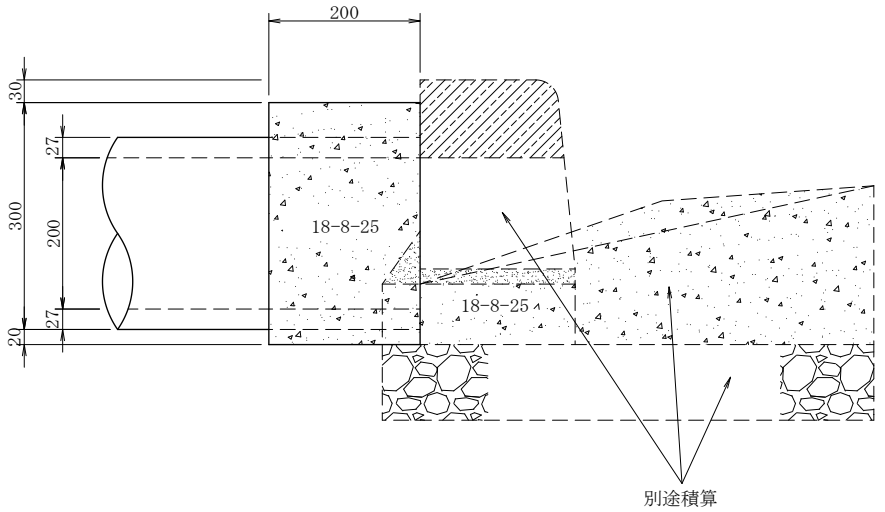
大分類	中分類	小分類	適用年度
100 排水工	街渠工	排水管取付	R7.4

街　渠　工（排水管取付）

平　面　図



断　面　図



街　渠　工　材　料　表

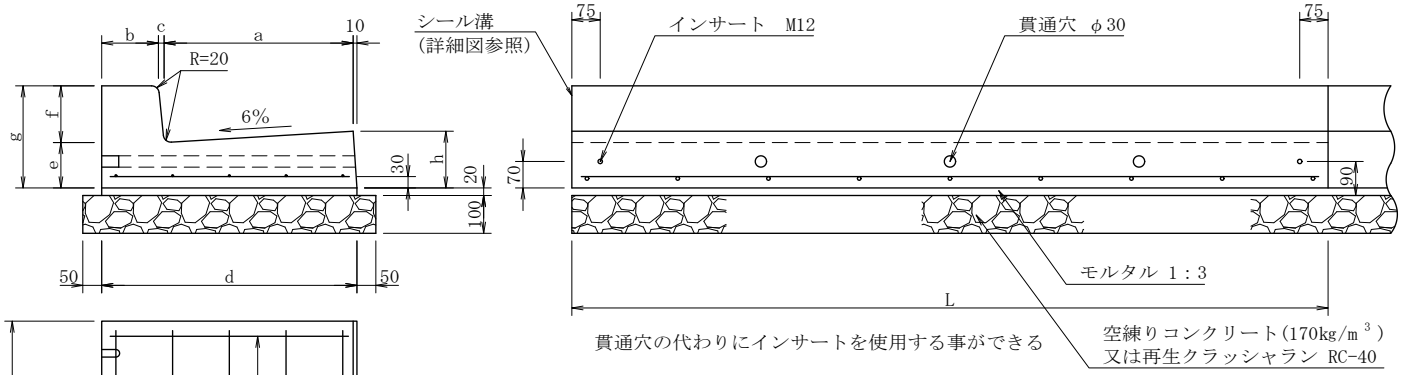
名　称	材料表 10ヶ所当り		摘　要
	コンクリート 18-8-25(m³)	型　枠 (m²)	
排水管取付	0.138	1.894	

注意事項

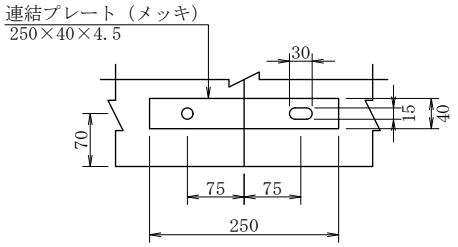
1. 施工箇所は別途指定する。

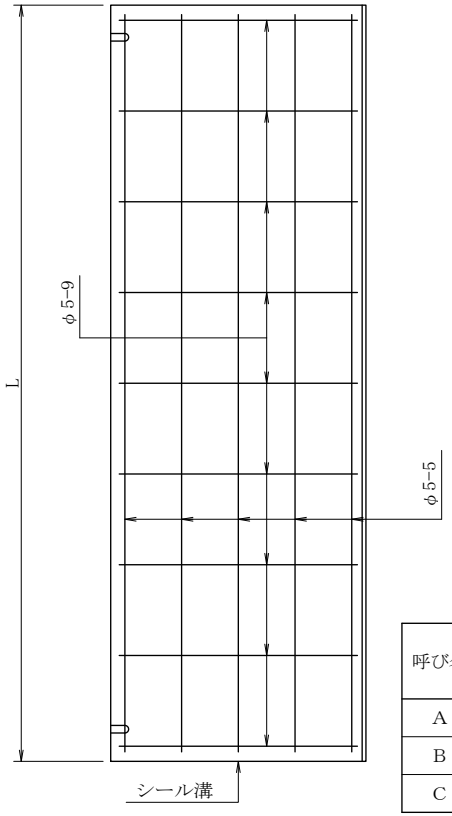
大分類	中分類	小分類	適用年度
100 排水工	L形街渠工	A，B，C 標準	R7.4

L 形 街 渠 工

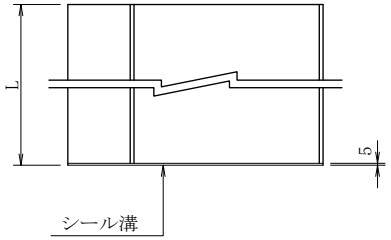


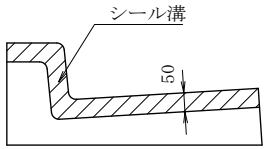
連結部詳細図



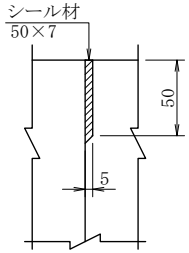


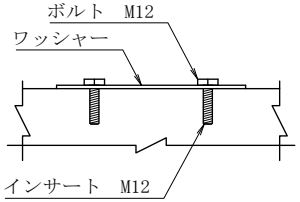
ジョイント部詳細図





接合部詳細図





L 形 街 渠 ブ ロ ッ ク 標 準 寸 法 表

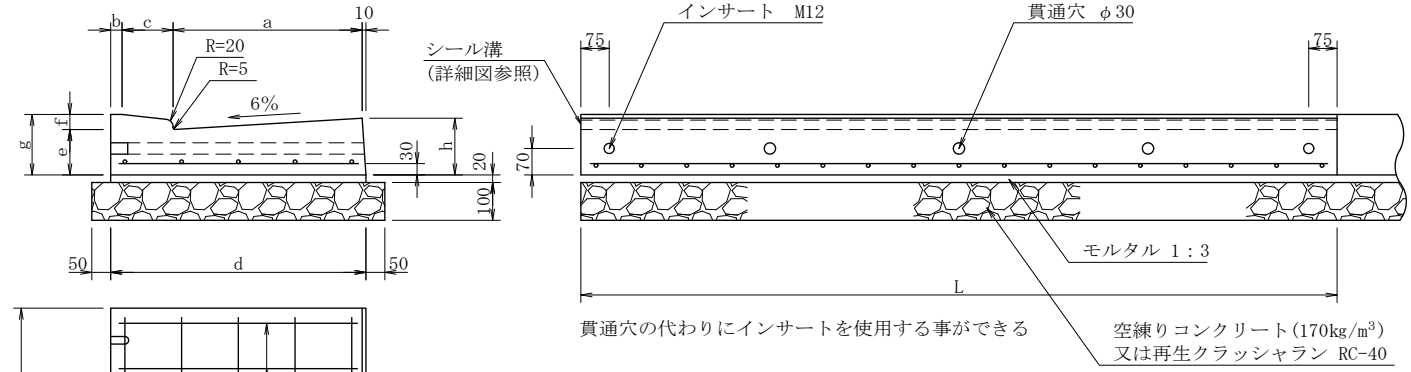
呼び名	寸法表 単位（mm）								
	a	b	c	d	e	f	g	h	L
A	500	150	15	675	120	150	270	150	2000
B	500	180	20	710	120	200	320	150	2000
C	500	180	25	715	120	250	370	150	2000

L 形 街 渠 工 材 料 表　標 準

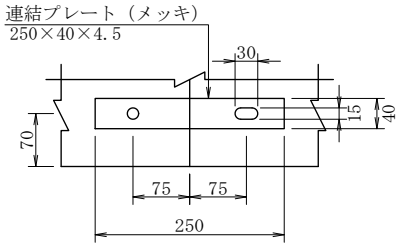
名称	材料表 100m当り				摘要
	コンクリート 170kg/m³(m³)	再生クラッシャラン RC-40(m³)	敷モルタル (1：3)(m³)	L形街渠ブロック (本)	
L形街渠工A	7.75	―	1.35	50.0	
L形街渠工A	―	7.75	1.35	50.0	
L形街渠工B	8.10	―	1.42	50.0	
L形街渠工B	―	8.10	1.42	50.0	
L形街渠工C	8.15	―	1.43	50.0	
L形街渠工C	―	8.15	1.43	50.0	

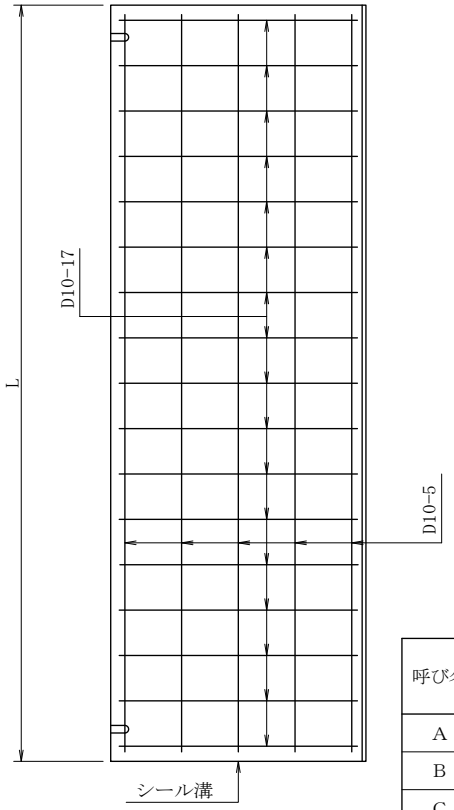
大分類	中分類	小分類	適用年度
100 排水工	L形街渠工	A，B，C 乗り入れ	R7.4

L 形 街 渠 工

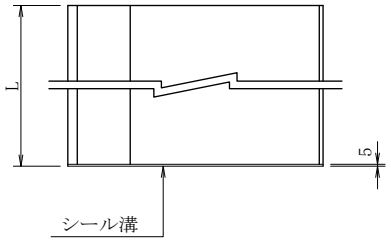


連結部詳細図

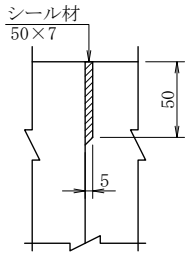


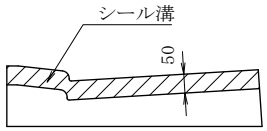


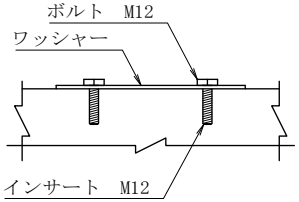
ジョイント部詳細図



接合部詳細図







L形街渠ブロック乗り入れ用寸法表

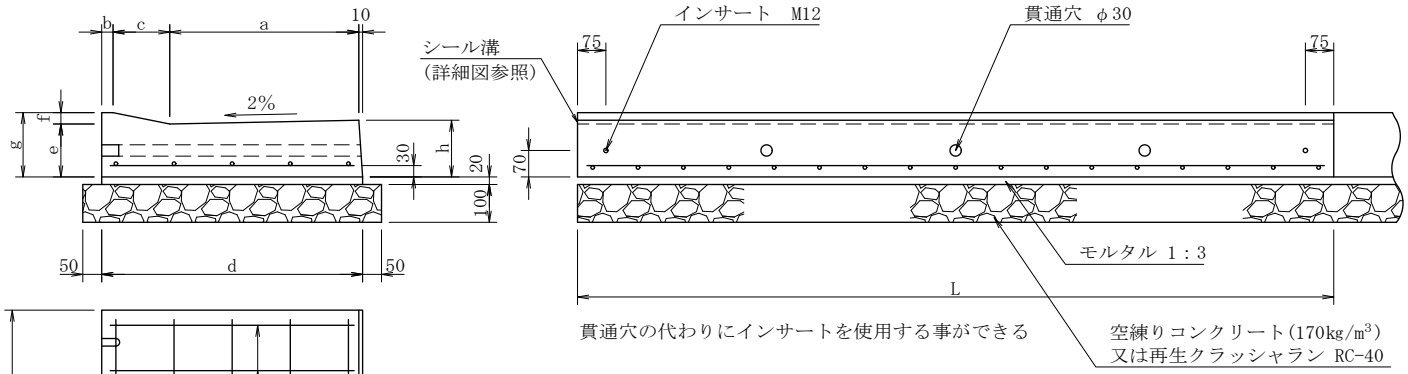
呼び名	寸法表 単位（mm）								
	a	b	c	d	e	f	g	h	L
A	500	30	135	675	120	40	160	150	2000
B	500	30	170	710	120	40	160	150	2000
C	500	30	175	715	120	40	160	150	2000

L形街渠工材料表　乗り入れ用

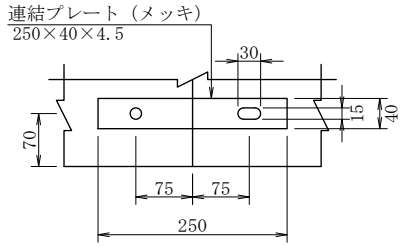
名称	材料表 100m当り				摘要
	コンクリート 170kg/m³(m³)	再生クラッシャラン RC-40(m³)	敷モルタル (1：3)(m³)	L形街渠ブロック(本)	
L形街渠工A	7.75	―	1.35	50.0	
L形街渠工A	―	7.75	1.35	50.0	
L形街渠工B	8.10	―	1.42	50.0	
L形街渠工B	―	8.10	1.42	50.0	
L形街渠工C	8.15	―	1.43	50.0	
L形街渠工C	―	8.15	1.43	50.0	

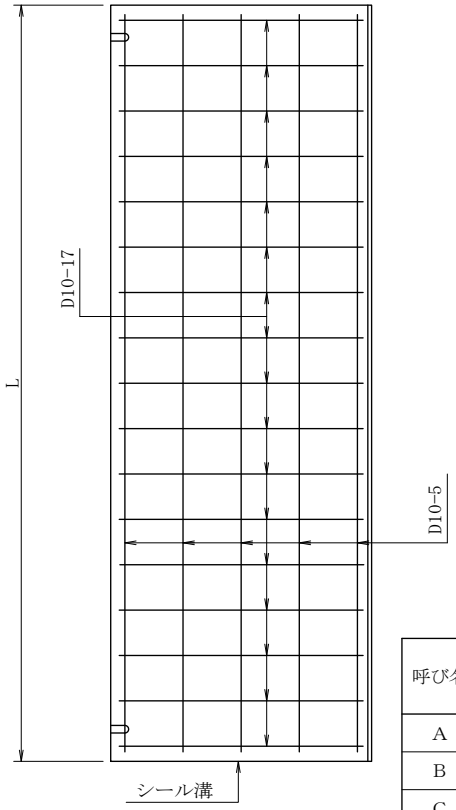
大分類	中分類	小分類	適用年度
100 排水工	L形街渠工	A，B，C 横断歩道	R7.4

L 形 街 渠 工

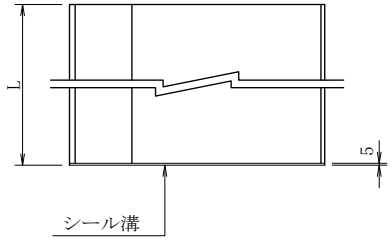


連結部詳細図

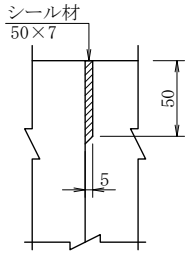


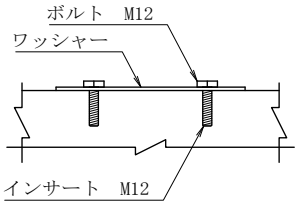


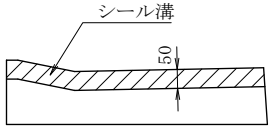
ジョイント部詳細図



接合部詳細図







L形街渠ブロック横断歩道用寸法表

呼び名	寸法表 (単位 mm)								
	a	b	c	d	e	f	g	h	L
A	500	30	150	690	140	30	170	150	2000
B	500	30	170	710	140	30	170	150	2000
C	500	30	175	715	140	30	170	150	2000

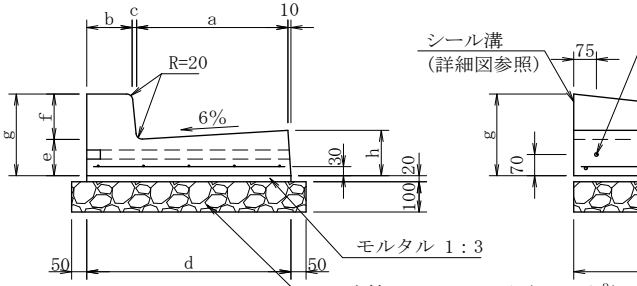
L形街渠工材料表　　横断歩道用

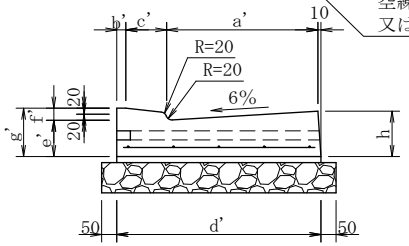
名称	材料表 100m当り				摘要
	コンクリート 170kg/m³ (m³)	再生クラッシャラン RC-40 (m³)	敷モルタル (1：3) (m³)	L形街渠ブロック (本)	
L形街渠工A	7.90	―	1.35	50.0	
L形街渠工A	―	7.90	1.35	50.0	
L形街渠工B	8.10	―	1.42	50.0	
L形街渠工B	―	8.10	1.42	50.0	
L形街渠工C	8.15	―	1.43	50.0	
L形街渠工C	―	8.15	1.43	50.0	

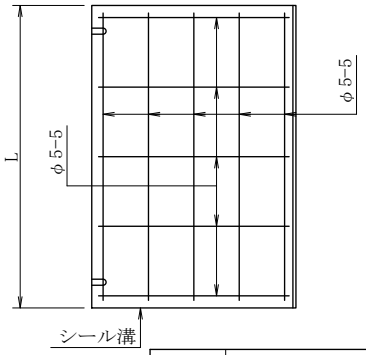
大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
100 排　水　工	Ｌ 形 街 渠 工	Ａ，Ｂ，Ｃ 乗り入れ切下げ	R7.4

Ｌ 形 街 渠 工

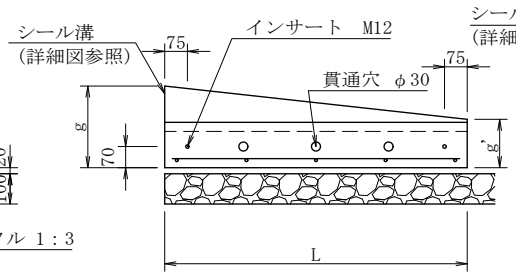
右下がり

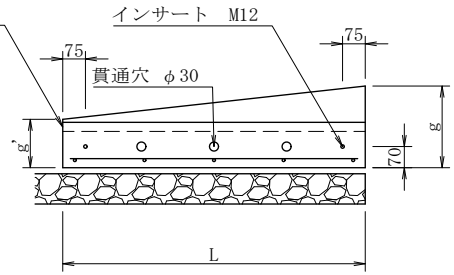






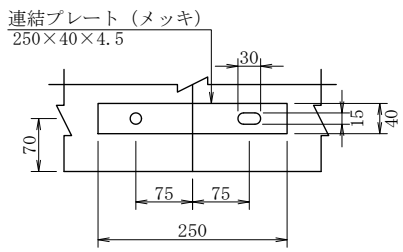
左下がり





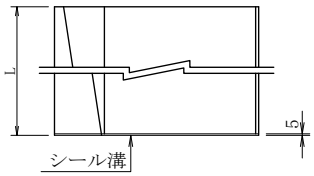
貫通穴の代わりにインサートを使用する事ができる

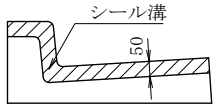
連結部詳細図



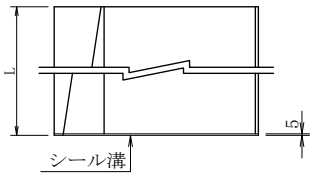
ジョイント部詳細図

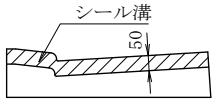
右下がり



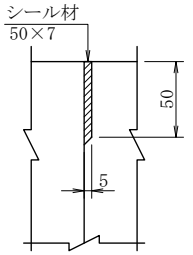


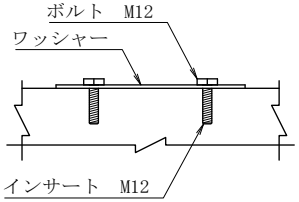
左下がり





接合部詳細図





Ｌ形街渠ブロック乗り入れ切下げ用寸法表

単位（mm）

呼び名	寸　法　表															
	a	a'	b	b'	c	c'	d	d'	e	e'	f	f'	g	g'	h	L
A	500	500	150	30	15	135	675	675	120	120	150	40	270	160	150	1000
B	500	500	180	30	20	170	710	710	120	120	200	40	320	160	150	1000
C	500	500	180	30	25	175	715	715	120	120	250	40	370	160	150	1000

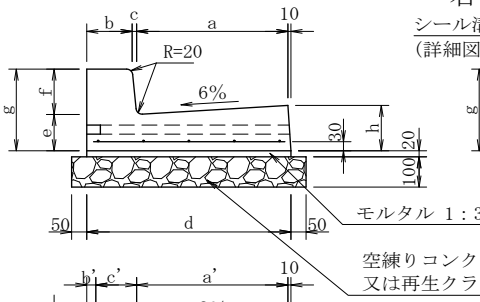
Ｌ形街渠工材料表　　乗り入れ切下げ用

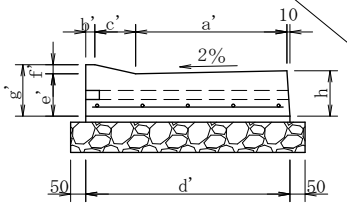
名　称	材　料　表　100m当り				摘　要
	コンクリート 170kg/m³(m³)	再　生 クラッシャラン RC-40(m³)	敷モルタル (1：3)(m³)	Ｌ形街渠 ブロック (本)	
Ｌ形街渠工A	7.75	―	1.35	100.0	
Ｌ形街渠工A	―	7.75	1.35	100.0	
Ｌ形街渠工B	8.10	―	1.42	100.0	
Ｌ形街渠工B	―	8.10	1.42	100.0	
Ｌ形街渠工C	8.15	―	1.43	100.0	
Ｌ形街渠工C	―	8.15	1.43	100.0	

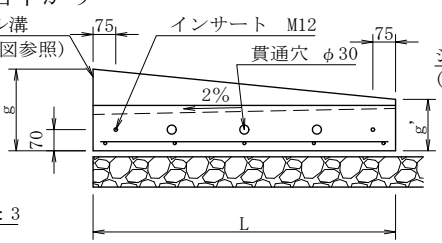
大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
100 排　水　工	Ｌ 形 街 渠 工	Ａ，Ｂ，Ｃ 横断歩道切下げ	R7.4

Ｌ 形 街 渠 工

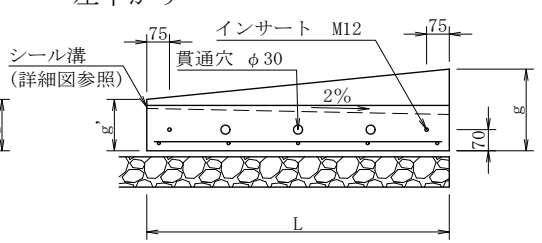
右下がり





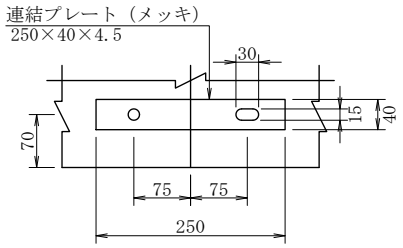


左下がり



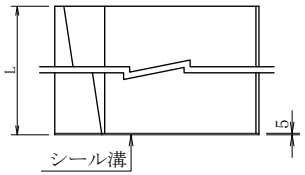
貫通穴の代わりにインサートを使用する事ができる

連結部詳細図

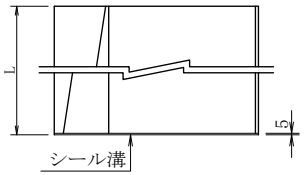


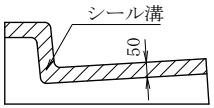
ジョイント部詳細図

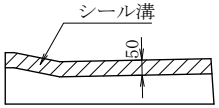
右下がり



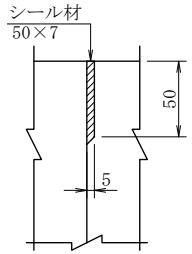
左下がり

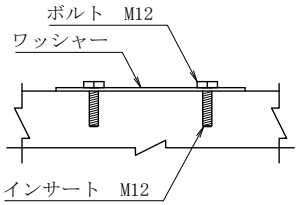




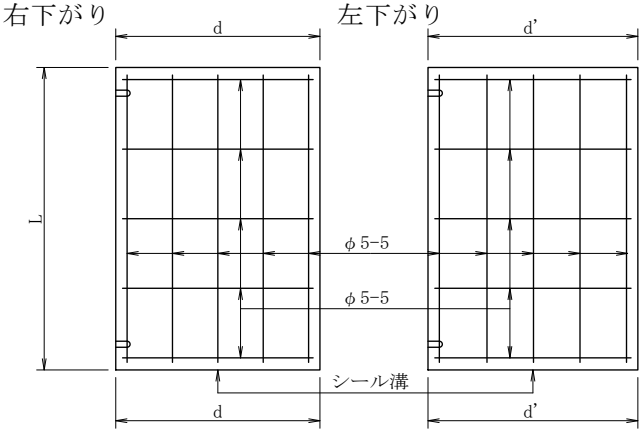


接合部詳細図





右下がり　　左下がり



Ｌ形街渠ブロック横断歩道切下げ用寸法表

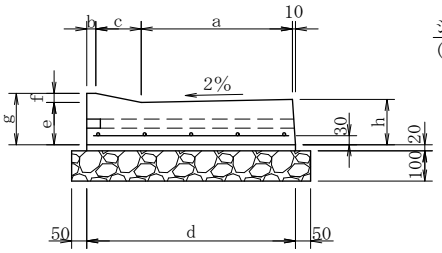
呼び名	寸　法　表　　単位（mm）															
	a	a'	b	b'	c	c'	d	d'	e	e'	f	f'	g	g'	h	L
A	500	500	150	30	15	135	675	675	120	140	150	30	270	170	150	1000
B	500	500	180	30	20	170	710	710	120	140	200	30	320	170	150	1000
C	500	500	180	30	25	175	715	715	120	140	250	30	370	170	150	1000

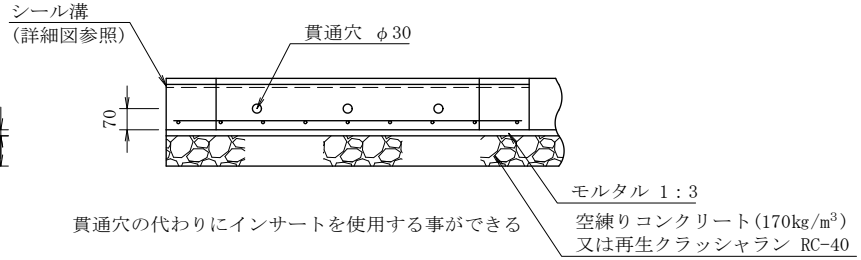
Ｌ形街渠工材料表　　横断歩道切下げ用

名　称	材　料　表　100m当り				摘　要
	コンクリート 170kg/m³ (m³)	再　生 クラッシャラン RC-40 (m³)	敷モルタル (1：3) (m³)	Ｌ形街渠 ブロック (本)	
Ｌ形街渠工Ａ	7.75	―	1.35	100.0	
Ｌ形街渠工Ａ	―	7.75	1.35	100.0	
Ｌ形街渠工Ｂ	8.10	―	1.42	100.0	
Ｌ形街渠工Ｂ	―	8.10	1.42	100.0	
Ｌ形街渠工Ｃ	8.15	―	1.43	100.0	
Ｌ形街渠工Ｃ	―	8.15	1.43	100.0	

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
100 排　水　工	Ｌ 形 街 渠 工	歩道切下げ Ｒブロック	R7.4

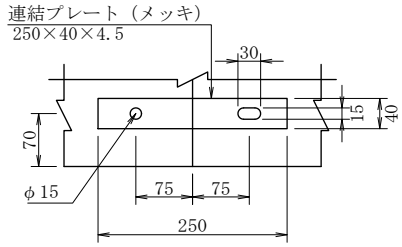
Ｌ 形 街 渠 工

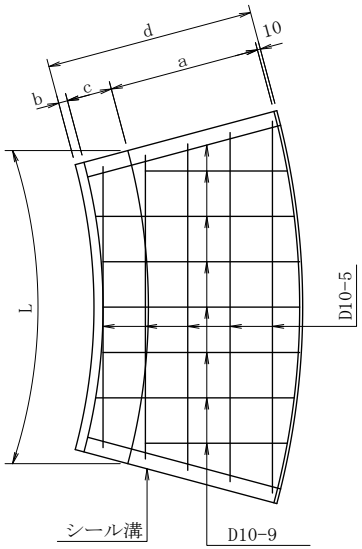


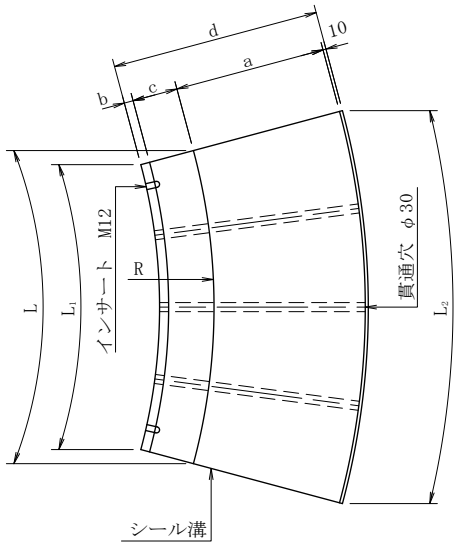


貫通穴の代わりにインサートを使用する事ができる

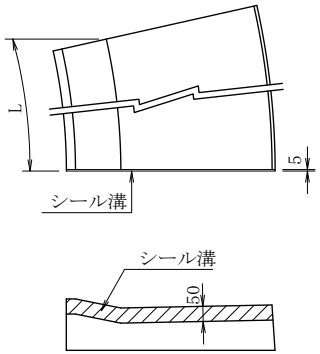
連結部詳細図



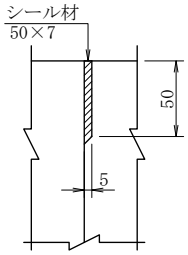


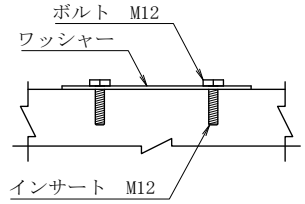


ジョイント部詳細図



接合部詳細図





Ｌ形街渠歩道切下げＲブロック寸法表

呼び名	寸　法　表　単位（mm）											
	a	b	c	d	e	f	g	h	R	L	L_1	L_2
2.0R	500	30	150	690	140	30	170	150	2000	1047	953	1314
3.0R	500	30	150	690	140	30	170	150	2000	942	886	1103
4.0R	500	30	150	690	140	30	170	150	2000	1047	1000	1181
5.0R	500	30	150	690	140	30	170	150	2000	980	946	1082

Ｌ形街渠工材料表　　横断切下げＲブロック用

名　称	材　料　表　100m当り				摘　要
	コンクリート 170kg/m³(m³)	再生クラッシャラン RC-40(m³)	敷モルタル (1：3)(m³)	Ｌ形街渠ブロック(本)	
Ｌ形街渠工2.0R	8.55	―	1.49	95.5	
Ｌ形街渠工2.0R	―	8.55	1.49	95.5	
Ｌ形街渠工3.0R	8.33	―	1.46	106.2	
Ｌ形街渠工3.0R	―	8.33	1.46	106.2	
Ｌ形街渠工4.0R	8.23	―	1.44	95.5	
Ｌ形街渠工4.0R	―	8.23	1.44	95.5	
Ｌ形街渠工5.0R	8.16	―	1.43	101.9	
Ｌ形街渠工5.0R	―	8.16	1.43	101.9	

大分類	中分類	小分類	適用年度
100 排水工	ブロック据付工	１，２（１/２）	R7.4

ブロック据付工

ブロック据付工（１、２）寸法表

単位（mm）

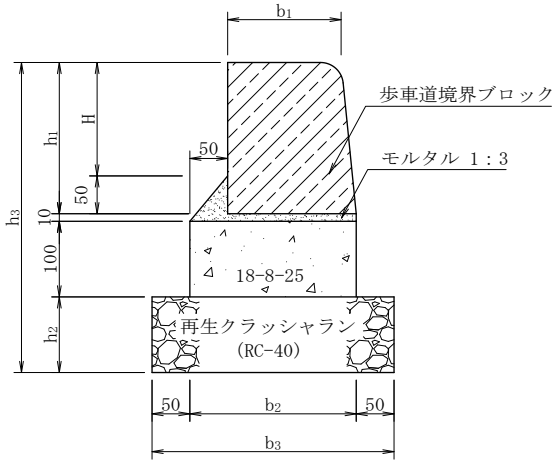
名称	寸法表							摘要
	b_1	b_2	b_3	H	h_1	h_2	h_3	
ブロック据付工（１－A）	150	220	320	150	200	100	410	
						0	310	
ブロック据付工（１－B）	180	255	355	200	250	100	460	
						0	360	
ブロック据付工（１－A’）	150	240	340	150	200	100	410	
						0	310	
ブロック据付工（１－B’）	180	280	380	200	250	100	460	
						0	360	
ブロック据付工（１－C）	180	260	360	250	300	100	510	
						0	410	
ブロック据付工（２－A）	150	270	370	150	200	100	410	
						0	310	
ブロック据付工（２－B）	180	305	405	200	250	100	460	
						0	360	

ブロック据付工（１、２）材料表

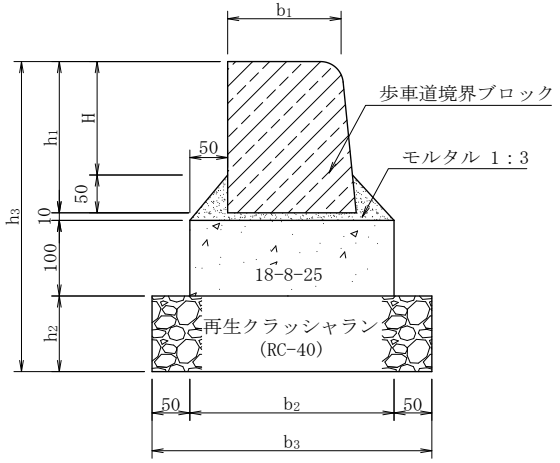
10m当り

名称	材料表						摘要
	再生クラッシャラン RC-40（m^3）	コンクリート 18-8-25（m^3）	モルタル（m^3） 敷モルタル（1：3）	モルタル（m^3） 目地モルタル（1：2）	歩車道境界ブロック（本）	型枠（m^2）	
ブロック据付工（１－A）	0.320	0.220	0.032	0.003	16.5	2.00	片面歩車道境界ブロックA
	0						
ブロック据付工（１－B）	0.355	0.255	0.036	0.004	16.5	2.00	〃 B
	0						
ブロック据付工（１－A’）	0.340	0.240	0.034	0.003	16.5	2.00	両面歩車道境界ブロックA
	0						
ブロック据付工（１－B’）	0.380	0.280	0.038	0.004	16.5	2.00	〃 B
	0						
ブロック据付工（１－C）	0.360	0.260	0.036	0.005	16.5	2.00	片面歩車道境界ブロックC
	0						
ブロック据付工（２－A）	0.370	0.270	0.047	0.003	16.5	2.00	〃 A
	0						
ブロック据付工（２－B）	0.405	0.305	0.051	0.004	16.5	2.00	〃 B
	0						

1



2



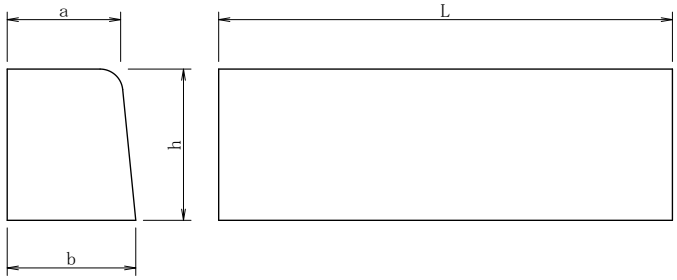
注意事項

1. 目地モルタルの数量は目地間隔を5mmとする。
2. 路盤上に施工する場合は基礎材を省略してもよい。

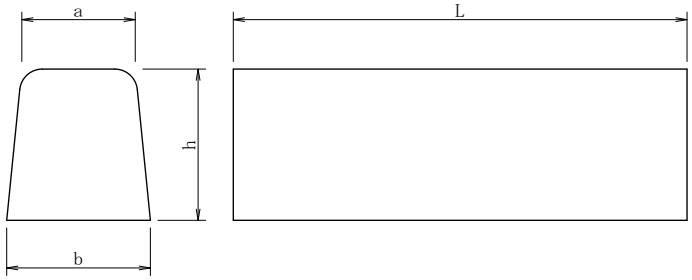
大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
100 排　水　工	ブロック据付工	１，２（２/２）	R7.4

ブ ロ ッ ク 据 付 工

片面歩車道境界ブロック



両面歩車道境界ブロック



片面歩車道境界ブロック寸法表

片面歩車道境界ブロック	寸　法　表　　単位（mm）				1個当り 参考重量(kg)	摘　　要
	a	b	h	L		
A	150	170	200	600	44	JIS A 5371 附属書B
B	180	205	250	600	66	JIS A 5371 附属書B
C	180	210	300	600	81	JIS A 5371 附属書B

両面歩車道境界ブロック寸法表

両面歩車道境界ブロック	寸　法　表　　単位（mm）				1個当り 参考重量(kg)	摘　　要
	a	b	h	L		
A	150	190	200	600	48	JIS A 5371 附属書B
B	180	230	250	600	72	JIS A 5371 附属書B
C	180	240	300	600	89	JIS A 5371 附属書B

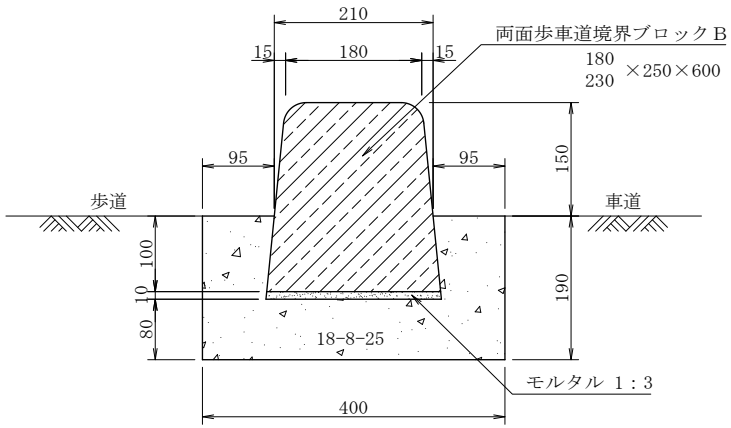
注意事項

1. 歩車道境界ブロックの寸法（L）は、1000mm又は2000mmとすることができる。JIS A 5371　附属書B

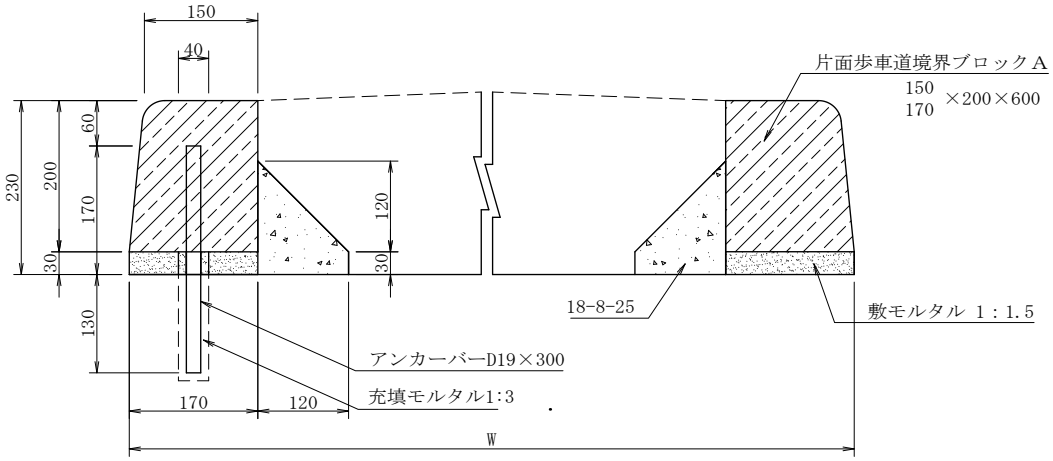
大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
100 排　水　工	ブロック据付工	３，４	R7.4

ブ ロ ッ ク 据 付 工

３



４



ブロック据付工（３）材料表

名　称	材　料　表　10m当り				摘　要
	コンクリート	モルタル（m^3）		両　面 歩車道境界 ブロックB(本)	
	18-8-25(m^3)	敷モルタル (1：3)	目地モルタル (1：2)		
ブロック据付工(３)	0.520	0.023	0.004	16.5	

ブロック据付工（４）材料表

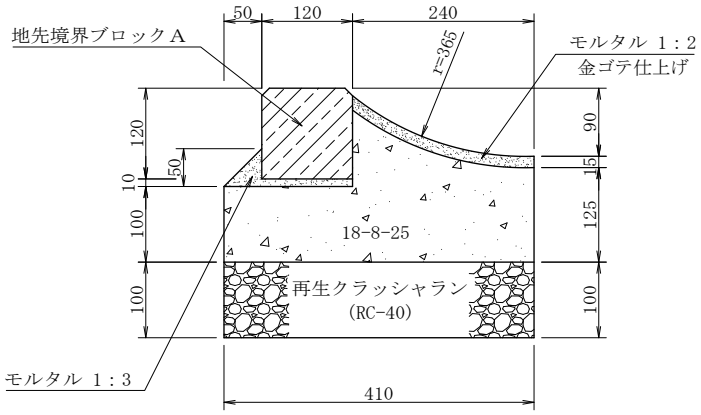
名　称	材　料　表　片側100m当り						摘　要
	コンクリート	モ ル タ ル （m^3）			型　枠	片面歩車道境界ブロックA(本)	
	18-8-25(m^3)	敷モルタル (1：1.5)	充填モルタル (1：3)	目地モルタル (1：2)	(m^2)	150 170 ×200×600	150 170 ×200×600(アンカー付)
ブロック据付工(４)	1.080	0.510	0.003	0.026	3.00	141.43	23.57

注意事項

1. 目地モルタルの数量は目地間隔を5㎜とする。

大分類	中分類	小分類	適用年度
100 排水工	L形側溝工	（A）	R7.4

L 形 側 溝 工（A）



L 形 側 溝 工（A）材 料 表

名称	材料表 10m当り							摘要
	再生クラッシャラン RC-40(m³)	コンクリート 18-8-25(m³)	モルタル (m³) 敷(1：3)	側溝(1：2)	目地(1：2)	地先境界ブロックA (本)	型枠 (m²)	
L形側溝工(A)	0.410	0.577	0.0245	0.039	0.001	16.5	2.35	

注意事項

1. 目地モルタルの数量は目地間隔を5mmとする。

大分類	中分類	小分類	適用年度
100 排水工	L形側溝工	（B），（C）	R7.4

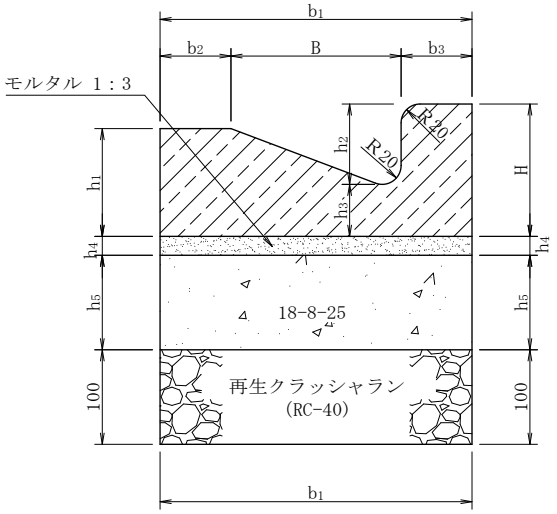
L形側溝工（B），（C）

L形側溝工（B），（C）材料表

名称	材料表 10m当り								摘要
	再生クラッシャラン RC-40(m³)	コンクリート 18-8-25(m³)	モルタル (m³) 敷モルタル (1：3)	モルタル (m³) 目地モルタル (1：2)	コンクリートL形 (本) L-180	L-255	L-250B	型枠 (m²)	
L形側溝工(C－1)	0.330 / 0	0.330	0.066	0.003	16.5	—	—	2.00	
L形側溝工(C－2)	—	—	0.066	0.003	16.5	—	—	—	鉄筋据付
L形側溝工(C－3)	0.330 / 0	0.330	0.066	0.003	—	16.5	—	2.00	歩道用
L形側溝工(C－4)	0.255 / 0	0.255	0.051	0.002	16.5	—	—	2.00	頭なし（180）
L形側溝工(C－5)	0.255 / 0	0.255	0.051	0.002	—	16.5	—	2.00	頭なし（歩道用）
L形側溝工(B)	0.450 / 0	0.450	0.090	0.004	—	—	16.5	2.00	

L形側溝工（B），（C）寸法表

名称	寸法表 単位（mm）										摘要
	B	H	b_1	b_2	b_3	h_1	h_2	h_3	h_4	h_5	
L形側溝工(C－1)	180	140	330	75	75	114	85	55	20	100	
L形側溝工(C－2)	180	140	330	75	75	114	85	55	20	0	鉄筋据付
L形側溝工(C－3)	255	150	330	—	75	100	60	90	20	100	歩道用
L形側溝工(C－4)	180	—	255	75	—	114	—	55	20	100	頭なし（180）
L形側溝工(C－5)	255	—	255	—	—	100	—	90	20	100	頭なし（歩道用）
L形側溝工(B)	250	175	450	100	100	105	100	75	20	100	



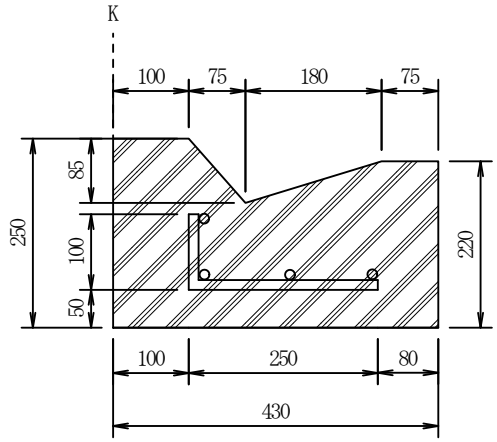
注意事項

1. L形側溝工（C－2）は、アスファルト又はコンクリート面上に布設する場合に使用し、鉄筋（φ13 l=174）を300ピッチに配置する。
2. L形側溝工（C－3），（C－5）は、歩道用である。
3. L形側溝工（C－4），（C－5）は、頭なし側溝である。
4. 目地モルタルの数量は目地間隔を5mmとする。
5. 基礎工（再生クラッシャラン）は、省略することができる。

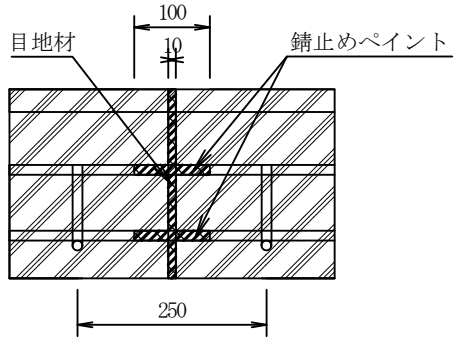
大分類	中分類	小分類	適用年度
100 排水工	L形側溝工	現場打有筋	R7.4

L 形 側 溝 工

L形側溝工（現場打A）



目地部参考図
正面図



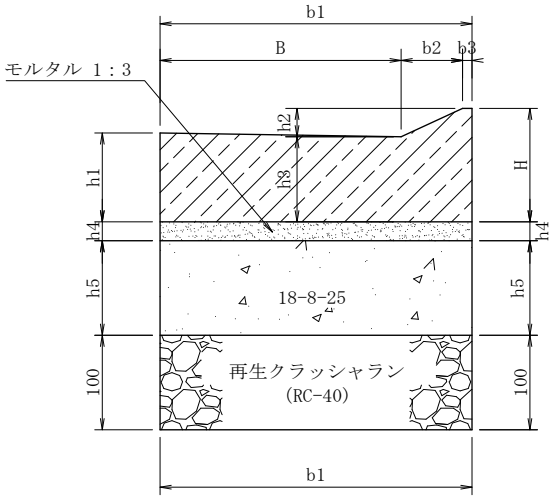
L形側溝工（現場打）材料表

名称	材料表 10m当り				摘要
	コンクリート 21・8・25	鉄筋 D13 (t)	型枠 (㎡)	瀝青質目地板10㎜ (㎡)	
L形側溝工（現場打A）	0.917	0.054	4.70	0.183	

注意事項
1. 横配筋は250㎜ピッチで施行する。
2. 鉄筋の最低かぶり厚は、50㎜とする。
3. 目地材（瀝青質目地板 t=10㎜）は5mに1ヶ所設置すること。
4. 目地部の鉄筋にはあらかじめ錆止めペイントを塗布すること。

大分類	中分類	小分類	適用年度
100 排水工	V形側溝工	（A）	R7.4

V形側溝工



V形側溝工　材料表

名称	材料表 10m当り								摘要
	再生クラッシャラン RC-40(m³)	コンクリート 18-8-25(m³)	モルタル (m³) 敷モルタル (1：3)	モルタル (m³) 目地モルタル (1：2)	コンクリートV形 (本) 標準用	コンクリートV形 (本) 乗入用	コンクリートV形 (本) 頭なし	型枠 (m²)	
V形側溝工（A－1）	0.330 0	0.330	0.066	0.003	16.5	—	—	2.00	
V形側溝工（A－2）	0.380 0	0.380	0.076	0.003	—	16.5	—	2.00	乗入用
V形側溝工（A－3）	0.255 0	0.255	0.051	0.002	—	—	16.5	2.00	頭なし

V形側溝工　寸法表

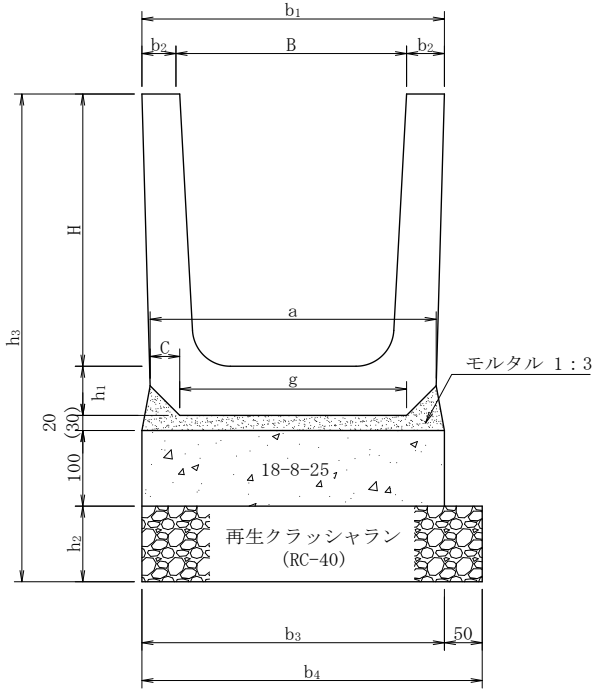
名称	寸法表 単位（mm）										摘要
	B	H	b_1	b_2	b_3	h_1	h_2	h_3	h_4	h_5	
V形側溝工（A－1）	255	120	330	65	10	100	30	90	20	100	
V形側溝工（A－2）	255	120	380	65	60	100	30	90	20	100	乗入用
V形側溝工（A－3）	255	90	255	—	—	100	—	—	20	100	頭なし

注意事項

1. 目地モルタルの数量は目地間隔を5mmとする。
2. 基礎工（再生クラッシャラン）は、省略することができる。

大分類	中分類	小分類	適用年度
100 排水工	U形側溝工	A	R7.4

U 形 側 溝 工



U 形 側 溝 工 A 材 料 表

名称	材料表 10m当り						摘要
	再生クラッシャラン RC-40(m³)	コンクリート 18-8-25(m³)	モルタル(m³) 敷モルタル(1：3)	モルタル(m³) 目地モルタル(1：2)	鉄筋コンクリート U形(個)	型枠 (m²)	
U形側溝工A(180)	0.30 0	0.25	0.059 (0.084)	0.002	16.5	2.0	
U形側溝工A(240)	0.38 0	0.33	0.083 (0.115)	0.003	16.5	2.0	
U形側溝工A(300B)	0.45 0	0.40	0.098 (0.137)	0.005	16.5	2.0	
U形側溝工A(300C)	0.45 0	0.40	0.098	0.005	16.5	2.0	
U形側溝工A(360B)	0.51 0	0.46	0.110	0.006	16.5	2.0	
U形側溝工A(450)	0.61 0	0.56	0.148	0.008	16.5	2.0	
U形側溝工A(600)	0.79 0	0.74	0.179	0.012	16.5	2.0	

U 形 側 溝 工 A 寸 法 表

単位（mm）

名称	B	H	a	b_1	b_2	b_3	b_4	g	C	h_1	h_2	h_3	摘要
U形側溝工A(180)	180	180	250	250	35	250	300	190	30	40	100	440	
											0	340	
U形側溝工A(240)	240	240	320	330	45	330	380	240	40	50	100	510	
											0	410	
U形側溝工A(300B)	300	300	380	400	50	400	450	300	40	60	100	580	
											0	480	
U形側溝工A(300C)	300	360	380	400	50	400	450	300	40	65	100	645	
											0	545	
U形側溝工A(360B)	360	360	440	460	50	460	510	360	40	65	100	645	
											0	545	
U形側溝工A(450)	450	450	540	560	55	560	610	430	55	70	100	740	
											0	640	
U形側溝工A(600)	600	600	700	740	70	740	790	600	50	80	100	900	
											0	800	

注意事項

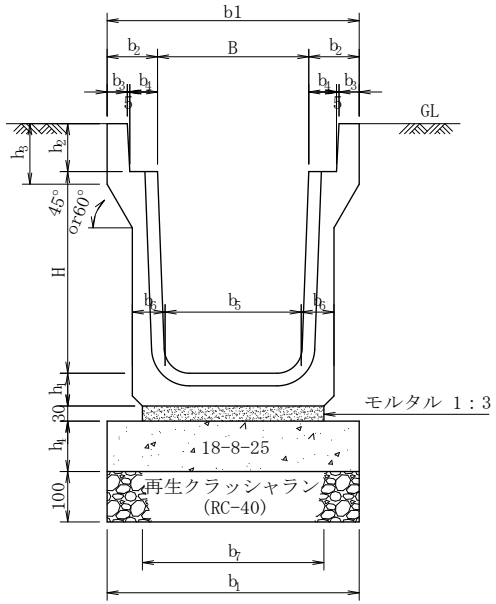
1. 鉄筋コンクリートU形は、JIS A 5372 付属書５使用する。
2. 目地モルタルの数量は目地間隔を5㎜とする。
3. ｈ２の欄の上段はクラッシャランがある場合、下段はない場合を表す。
4. 基礎工（再生クラッシャラン、コンクリート）は省略することができる。
5. （ ）はコンクリート基礎工を省略した場合とする。

大分類	中分類	小分類	適用年度
100 排水工	U形側溝工	B	R7.4

U 形 側 溝 工

U 形 側 溝 工 B 材 料 表

名称	材料表 10m当り						摘要
	再生クラッシャラン RC-40 (m^3)	コンクリート 18-8-25 (m^3)	モルタル (m^3) 敷モルタル (1：3)	モルタル (m^3) 目地モルタル (1：2)	側溝 (個)	側溝ふた (枚)	
U形側溝工B(250)	0.450 0	0.450	0.090	0.002	5	20	
U形側溝工B(300A)	0.500 0	0.500	0.108	0.003	5	20	
U形側溝工B(300B)	0.500 0	0.500	0.108	0.003	5	20	
U形側溝工B(300C)	0.500 0	0.500	0.108	0.004	5	20	
U形側溝工B(400A)	0.600 0	0.600	0.138	0.004	5	20	
U形側溝工B(400B)	0.600 0	0.600	0.138	0.004	5	20	
U形側溝工B(500A)	0.720 0	0.720	0.168	0.005	5	20	
U形側溝工B(500B)	0.720 0	0.720	0.168	0.005	5	20	



U 形 側 溝 工 B 寸 法 表

名称	寸法表 単位 (mm)														摘要
	B	H	b_1	b_2	b_3	b_4	b_5	b_6	b_7	h_1	h_2	h_3	h_4	L	
U形側溝工B(250)	250	250	450	100	40	55	230	55	300	55	90	120	100	2000	
U形側溝工B(300A)	300	300	500	100	40	55	280	60	360	60	95	120	100	2000	
U形側溝工B(300B)	300	400	500	100	40	55	270	65	360	65	95	120	100	2000	
U形側溝工B(300C)	300	500	500	100	40	55	260	70	360	70	95	120	100	2000	
U形側溝工B(400A)	400	400	600	100	40	55	370	65	460	65	110	135	100	2000	
U形側溝工B(400B)	400	500	600	100	40	55	360	70	460	70	110	135	100	2000	
U形側溝工B(500A)	500	500	720	110	45	60	460	70	560	70	125	150	100	2000	
U形側溝工B(500B)	500	600	720	110	45	60	450	75	560	75	125	150	100	2000	

注意事項

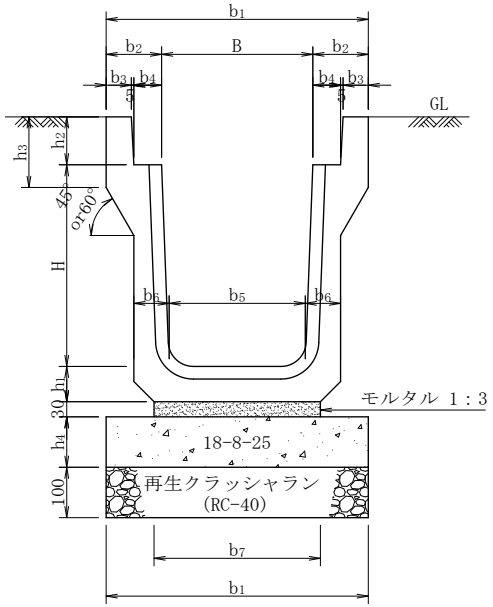
1. 道路用鉄筋コンクリート側溝（落ちふた式U形側溝）本体・ふたはJIS A 5372 付属書５　1種を使用する。
2. 基礎工（再生クラッシャラン、コンクリート）は省略することができる。
3. 接合部については、各製品の仕様に基づき適正に施工すること。

大分類	中分類	小分類	適用年度
100 排水工	U形側溝工	C	R7.4

U 形 側 溝 工

U 形 側 溝 工 C 材 料 表

名称	材料表 10m当り						摘要
	再生クラッシャラン RC-40(m³)	コンクリート 18-8-25(m³)	モルタル (m³) 敷モルタル (1：3)	モルタル (m³) 目地モルタル (1：2)	側溝 (個)	側溝ふた (枚)	
U形側溝工C(250)	0.460 0	0.460	0.090	0.002	5	20	
U形側溝工C(300A)	0.520 0	0.520	0.108	0.003	5	20	
U形側溝工C(300B)	0.520 0	0.520	0.099	0.003	5	20	
U形側溝工C(300C)	0.520 0	0.520	0.102	0.004	5	20	
U形側溝工C(400A)	0.630 0	0.630	0.129	0.004	5	20	
U形側溝工C(400B)	0.630 0	0.630	0.132	0.004	5	20	
U形側溝工C(500A)	0.750 0	0.750	0.162	0.005	5	20	
U形側溝工C(500B)	0.750 0	0.750	0.165	0.005	5	20	



U 形 側 溝 工 C 寸 法 表

名称	寸法表 単位 (mm)														摘要
	B	H	b_1	b_2	b_3	b_4	b_5	b_6	b_7	h_1	h_2	h_3	h_4	L	
U形側溝工C(250)	250	250	460	105	45	55	230	65	300	65	90	120	100	2000	
U形側溝工C(300A)	300	300	520	110	50	55	280	70	360	70	95	140	100	2000	
U形側溝工C(300B)	300	400	520	110	50	55	270	70	330	70	95	140	100	2000	
U形側溝工C(300C)	300	500	520	110	50	55	260	80	340	80	95	140	100	2000	
U形側溝工C(400A)	400	400	630	115	55	55	370	70	430	70	110	140	100	2000	
U形側溝工C(400B)	400	500	630	115	55	55	360	80	440	80	110	140	100	2000	
U形側溝工C(500A)	500	500	750	125	60	60	460	80	540	80	125	155	100	2000	
U形側溝工C(500B)	500	600	750	125	60	60	450	90	550	90	125	175	100	2000	

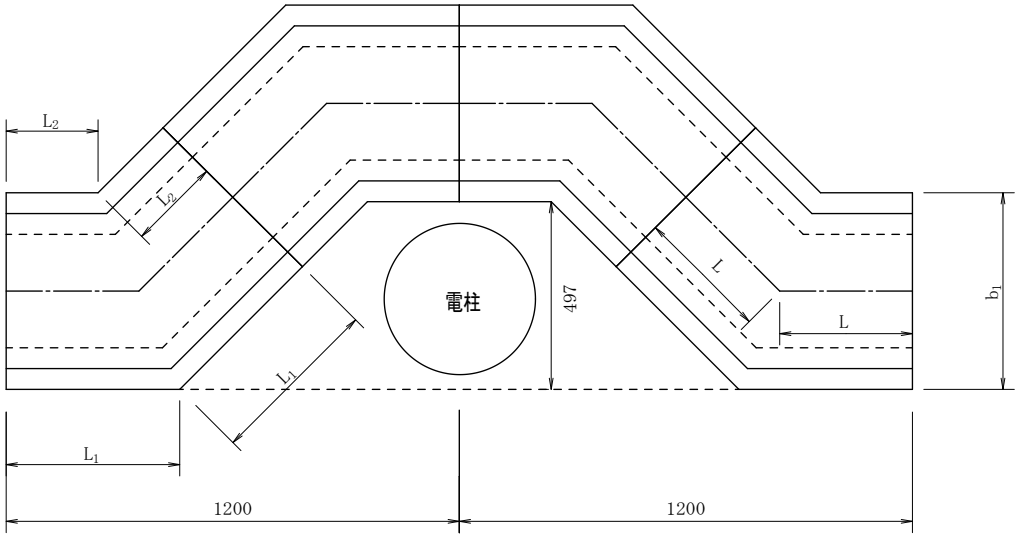
注意事項

1. 道路用鉄筋コンクリート側溝（落ちふた式U形側溝）本体・ふたはJIS A 5372 付属書５　3種を使用する。
2. 基礎工（再生クラッシャラン、コンクリート）は省略することができる。
3. 接合部については、各製品の仕様に基づき適正に施工すること。

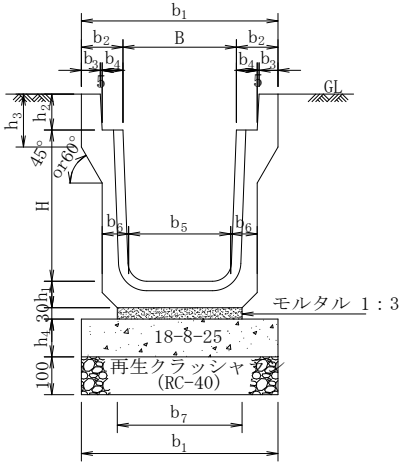
大分類	中分類	小分類	適用年度
100 排水工	電柱除けU形側溝工	C	R7.4

電柱除けU形側溝工

平面図



断面図



U形側溝工C材料表

名称	材料表 1箇所当り						摘要
	再生クラッシャラン RC-40 (m^3)	コンクリート 18-8-25 (m^3)	モルタル (m^3) 敷モルタル (1：3)	モルタル (m^3) 目地モルタル (1：2)	側溝 (個)	側溝ふた (枚)	
電柱除けU形側溝工C(250)	0.130 0	0.130	0.025	0.001	4	8	
電柱除けU形側溝工C(300A)	0.150 0	0.150	0.030	0.002	4	8	
電柱除けU形側溝工C(300B)	0.150 0	0.150	0.028	0.002	4	8	
電柱除けU形側溝工C(300C)	0.150 0	0.150	0.029	0.002	4	8	

注意事項

1. 道路用鉄筋コンクリート側溝（落ちふた式U形側溝）本体・ふたはJIS A 5372 付属書5　3種を使用する。
2. 基礎工（再生クラッシャラン、コンクリート）は省略することができる。
3. 接合部については、各製品の仕様に基づき適正に施工すること。

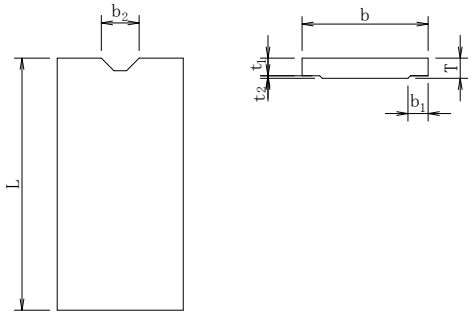
U形側溝工C寸法表

名称	寸法表 単位 (mm)																摘要
	B	H	b_1	b_2	b_3	b_4	b_5	b_6	b_7	h_1	h_2	h_3	h_4	L	L_1	L_2	
電柱除けU形側溝工C(250)	250	250	460	105	45	55	230	65	300	65	90	120	100	351	446	256	
電柱除けU形側溝工C(300A)	300	300	520	110	50	55	280	70	360	70	95	140	100	351	459	243	
電柱除けU形側溝工C(300B)	300	400	520	110	50	55	270	70	330	70	95	140	100	351	459	243	
電柱除けU形側溝工C(300C)	300	500	520	110	50	55	260	80	340	80	95	140	100	351	459	243	

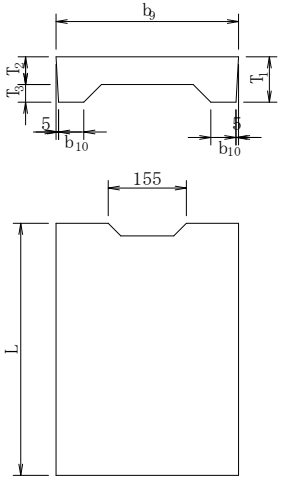
大分類	中分類	小分類	適用年度
100 排水工	U形側溝工	側溝用ふた	R7.4

側溝用ふた

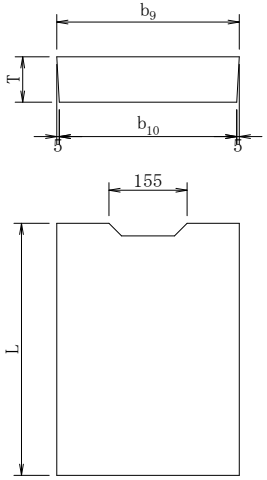
U形側溝A用ふた



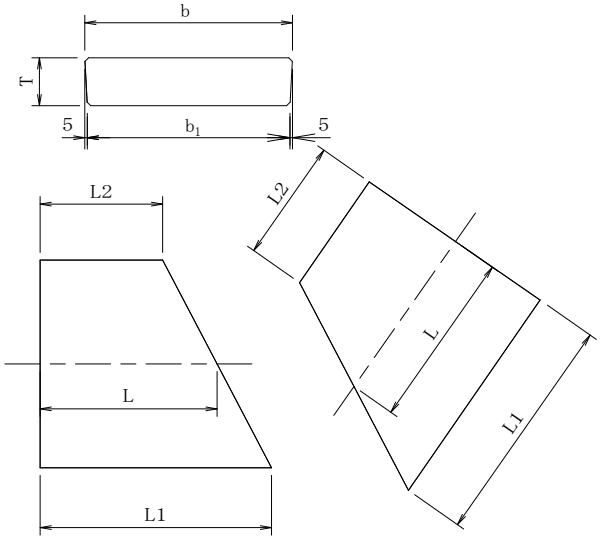
U形側溝B用ふた



U形側溝C用ふた



電柱除けU形側溝用ふた



U形側溝A用ふた寸法表

種類	名称	寸法表 単位(mm) b	b1	b2	t1	t2	T	L	摘要
1種	180用ふた	250	40	75	35	5	40	500又は600	JIS A 5372 附属書E
	240用ふた	330	50	90	40	5	45	〃	
	300用ふた	400	55	100	50	10	60	〃	
	360用ふた	460	55	120	55	10	65	〃	
	450用ふた	560	60	120	60	10	70	〃	
	600用ふた	740	75	150	65	10	75	〃	
2種	180用ふた	250	40	75	80	10	90	500又は600	JIS A 5372 附属書E
	240用ふた	330	50	90	85	15	100	〃	
	300用ふた	400	55	100	85	15	100	〃	
	360用ふた	460	55	120	85	15	100	〃	
	450用ふた	560	60	120	100	20	120	〃	
	600用ふた	740	75	150	130	20	150	〃	

U形側溝B用ふた寸法表

名称	寸法表 単位(mm) b9	b10	T1	T2	T3	L	摘要
250用ふた	362	50	90	55	35	500	JIS A 5372 附属書E 1種
300用ふた	412	51	95	55	40	500	
400用ふた	512	51	110	65	45	500	
500用ふた	622	56	125	75	50	500	

U形側溝C用ふた寸法表

名称	寸法表 単位(mm) b9	b10	T	L	摘要
250用ふた	362	352	90	500	JIS A 5372 附属書E 3種
300用ふた	412	402	95	500	
400用ふた	512	502	110	500	
500用ふた	622	612	125	500	

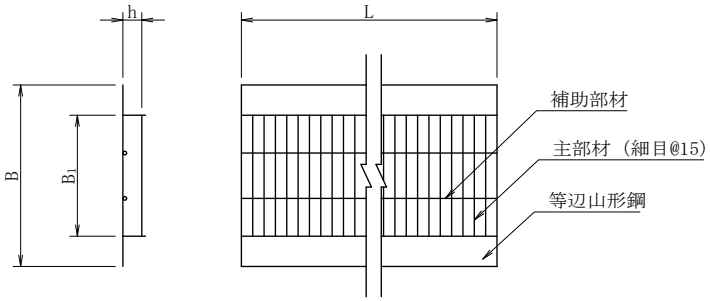
電柱除けU形側溝用ふた寸法表

名称	寸法表 単位(mm) b	b1	T	L	L1	L2
250用ふた	362	352	90	351	446	256
300用ふた	412	402	95	351	459	243

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
100 排　水　工	U形側溝工	側溝用 グレーチングふた	R7.4

側溝用グレーチングふた

U形側溝用グレーチングふた



グレーチングふた寸法表

種　別		寸法表 単位（mm）				補助部材(本)	等辺山形鋼
		B	B1	L	主部材h		
1種 (歩道用) T-2 並　目	180	240	160	995	I-25	2	40×40×5
	240	300	220	995	〃	2	〃
	300	360	280	995	〃	2	〃
2種 (車道用) T-14 並　目	180	240	160	995	〃	2	〃
	240	300	220	995	I-32	2	〃
	300	375	275	995	I-44	2	50×50×6
1種 (歩道用) T-2 細　目	180	225	165	498	I-25	2	40×40×5
	240	285	225	498	〃	2	〃
	300	360	280	498	〃	2	〃
2種 (車道用) T-14 細　目	180	240	160	498	〃	2	〃
	240	300	220	498	〃	2	〃
	300	360	280	498	I-32	2	〃

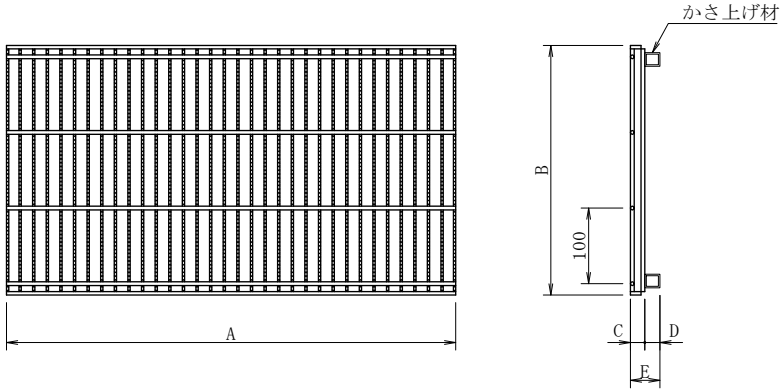
注意事項

1. グレーチングの材質は、一般構造用圧延鋼材（SS-400）とし、溶融亜鉛メッキ品とする。
2. グレーチング相互は、鎖・シャックル等で連結する。
3. グレーチングの主部材の表面部は、ノンスリップ加工処理とする。
4. グレーチングの寸法については、設計荷重を満足し納まり等支障のないものを使用してよいものとする。。

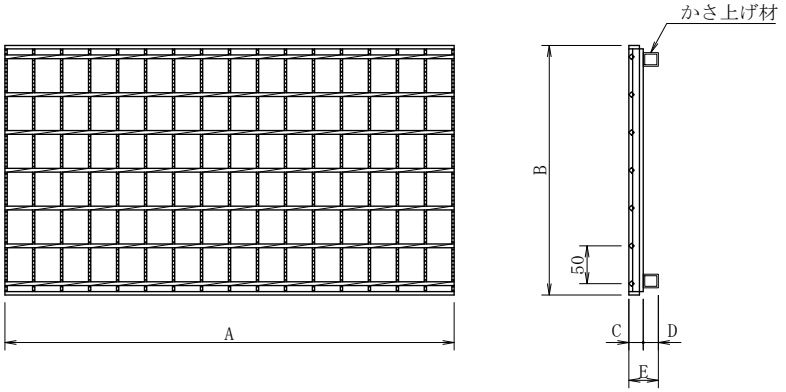
大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
100 排　水　工	U形側溝工	側溝用 （A、B、C） グレーチングふた	R7.4

U形側溝用（A，B，C）グレーチングふた

細　目



並　目



注意事項

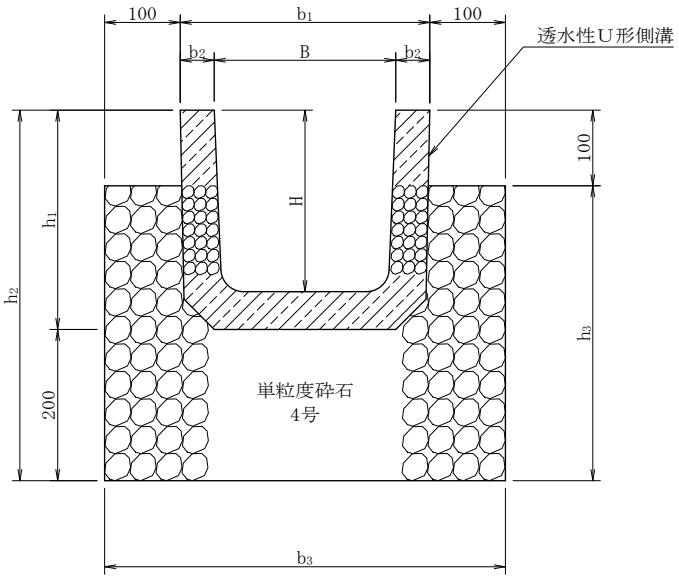
1. グレーチングの材質は、一般構造用圧延鋼材（SS-400）とし、溶融亜鉛メッキ品とする。
2. グレーチングの主部材の表面部は、ノンスリップ加工処理とする。
3. 車道用はT-14並目，T-20並目、歩道乗入部はT-14細目、歩道用はT-2細目とする。
4. グレーチングの寸法については、設計荷重を満足し納まり等支障のないものを使用してよいものとする。

U形側溝用（A，B，C）グレーチングふた寸法表

種別	細目													並目											
	荷重	T－2						T－14						T－14						T－20					
		寸法						寸法						寸法						寸法					
	溝幅	参考重量(kg)	A	B	C	D	E	参考重量(kg)	A	B	C	D	E	参考重量(kg)	A	B	C	D	E	参考重量(kg)	A	B	C	D	E
（A）	240用	10.9	594	330	19	20	39	15.6	594	330	25	60	85	13.5	605	330	38	45	83	14.6	605	330	44	40	84
	300用	15.6	594	400	25	25	50	21.1	594	400	32	50	82	17.2	605	400	44	40	84	20.8	607	400	50	35	85
	360用	17.7	594	460	25	30	55	25.8	594	460	38	45	83	23.3	607	460	50	35	85	23.3	607	460	50	35	85
	450用	25.0	594	560	32	25	57	36.3	590	560	44	55	99	29.9	607	560	55	45	100	33.5	607	560	65	35	100
（B，C）	250用	12.1	494	360	19	70	89	16.1	494	360	32	55	87	12.6	485	360	38	50	88	13.2	485	360	44	45	89
	300用	15.4	494	410	25	70	95	17.8	494	410	32	60	92	15.1	485	410	44	50	94	18.2	501	410	50	45	95
	400用	18.6	494	510	25	85	110	26.1	500	510	38	70	108	22.2	501	510	50	60	110	25.8	501	510	60	50	110
	500用	23.5	494	620	25	100	125	49.0	501	620	50	75	125	30.3	501	620	60	65	125	35.5	501	620	75	50	125

大分類	中分類	小分類	適用年度
100 排水工	U形側溝工	透水性U形	R7.4

U形側溝工（透水性U形）



U形側溝工（透水性U形）材料表

名称	材料表 単粒度砕石4号(m³)	材料表 目地モルタル1：2(m³)	10m当り 透水U形(個)	摘要
U-B240-H240	1.438	0.003	16.5	
U-B300-H300	1.810	0.004	16.5	

U形側溝工（透水性U形）寸法表

名称	寸法表 B	H	b1	b2	b3	h1	h3	h3	単位(mm) 摘要
U-B240-H240	240	240	330	45	530	290	490	390	
U-B300-H300	300	300	400	50	600	360	560	460	

大分類	中分類	小分類	適用年度
100 排水工	公園U形側溝工	A，B	R7.4

公園U形側溝工

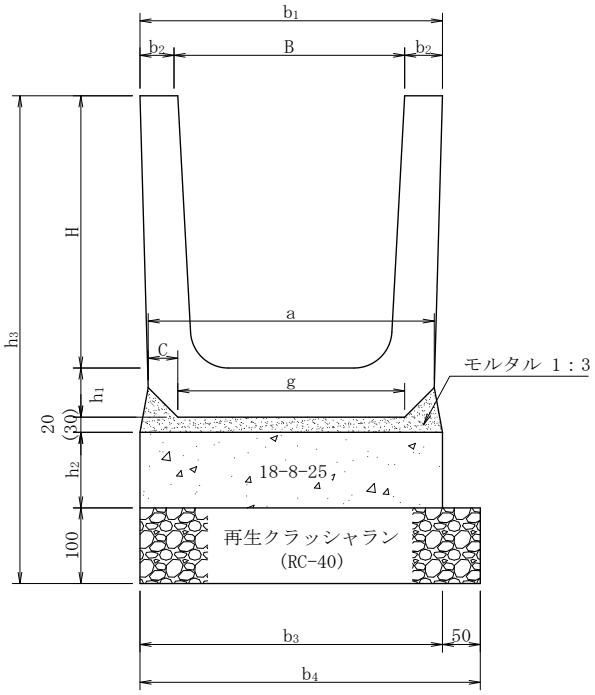
公園U形側溝工A，B材料表

名称	材料表 10m当り						摘要
	再生クラッシャラン RC-40(m³)	コンクリート 18-8-25(m³)	モルタル(m³) 敷モルタル(1：3)	モルタル(m³) 目地モルタル(1：2)	鉄筋コンクリートU形(個)	型枠(m²)	
公園U形側溝工A(180)	0.30	0.25	0.059	0.002	16.5	2.0	
公園U形側溝工A(240)	0.38	0.33	0.083	0.003	16.5	2.0	
公園U形側溝工A(300)	0.45	0.40	0.098	0.005	16.5	2.0	
公園U形側溝工B(180)	0.30	_	0.084	0.002	16.5	_	
公園U形側溝工B(240)	0.38	_	0.115	0.003	16.5	_	
公園U形側溝工B(300)	0.45	_	0.137	0.005	16.5	_	

公園U形側溝工A，B寸法表

名称	寸法表 単位(mm)												摘要
	B	H	a	b_1	b_2	b_3	b_4	g	C	h_1	h_2	h_3	
公園U形側溝工A(180)	180	180	250	250	35	250	300	190	30	40	100	440	
公園U形側溝工A(240)	240	240	320	330	45	330	380	240	40	50	100	510	
公園U形側溝工A(300)	300	300	380	400	50	400	450	300	40	60	100	580	
公園U形側溝工B(180)	180	180	250	250	35	250	300	190	30	40	_	350	
公園U形側溝工B(240)	240	240	320	330	45	330	380	240	40	50	_	420	
公園U形側溝工B(300)	300	300	380	400	50	400	450	300	40	60	_	490	

（A，B）



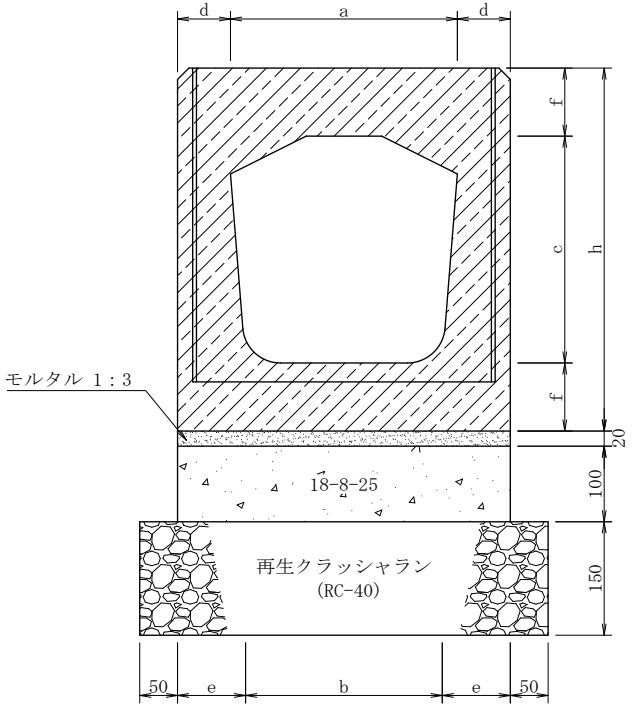
注意事項

1. 鉄筋コンクリートU形は、JIS A 5372 付属書Eを使用する。
2. 目地モルタルの数量は目地間隔を5mmとする。
3. （　）はコンクリート基礎工を省略した場合とする。

大分類	中分類	小分類	適用年度
100 排水工	横断暗渠工	A(240～450用)	R7.4

横断暗渠工A

(240用，300用，360用，450用)



横断暗渠工材料表 (参考値)

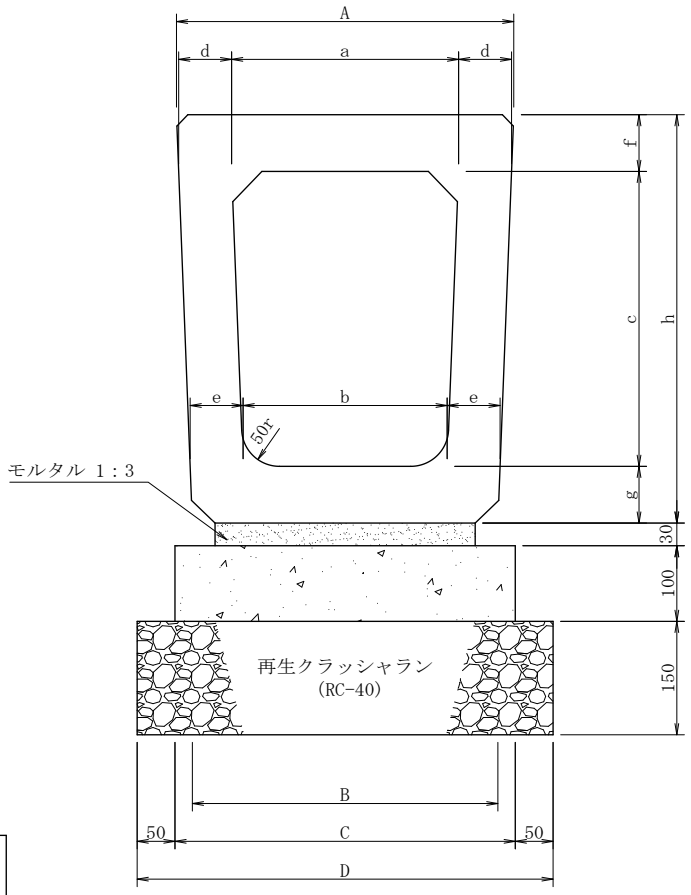
名称		材料表 10m当り 再生クラッシャラン RC-40(m³)	コンクリート 18-8-25(m³)	モルタル(m³) 1：3	暗渠ブロック(個)	型枠(m²)	摘要
横断暗渠工 A 240	T-25	0.690	0.360	0.072	10.0	2.00	
横断暗渠工 A 300	T-25	0.810	0.440	0.088	10.0	2.00	
横断暗渠工 A 360	T-25	0.900	0.500	0.100	10.0	2.00	
横断暗渠工 A 450	T-25	1.065	0.610	0.122	10.0	2.00	

横断暗渠工寸法表 (参考値)

名称		寸法表 単位(mm) a	b	c	d	e	f	h	摘要
横断暗渠工 A 240	T-25	240	220	240	60	70	90	420	
横断暗渠工 A 300	T-25	300	260	300	70	90	90	480	
横断暗渠工 A 360	T-25	360	310	360	70	95	100	560	
横断暗渠工 A 450	T-25	450	400	450	80	105	110	670	

大分類	中分類	小分類	適用年度
100 排水工	横断暗渠工	B(250～500用)	R7.4

横断暗渠工 B



横断暗渠工材料表

名称	材料表				10m当り	摘要
	再生クラッシャラン RC-40(m³)	コンクリート 18-8-25(m³)	モルタル(m³) 敷モルタル(1：3)	モルタル(m³) 目地モルタル(1：2)	暗渠(個)	
横断暗渠工B(250) T-25	0.750	0.400	0.091	0.003	10	
横断暗渠工B(300A) T-25	0.825	0.450	0.107	0.003	10	
横断暗渠工B(300B) T-25	0.825	0.450	0.103	0.004	10	
横断暗渠工B(300C) T-25	0.825	0.450	0.100	0.004	10	
横断暗渠工B(400A) T-25	1.005	0.570	0.133	0.005	10	
横断暗渠工B(400B) T-25	1.005	0.570	0.130	0.006	10	
横断暗渠工B(500A) T-25	1.155	0.670	0.154	0.007	10	
横断暗渠工B(500B) T-25	1.155	0.670	0.151	0.008	10	

横断暗渠工寸法表

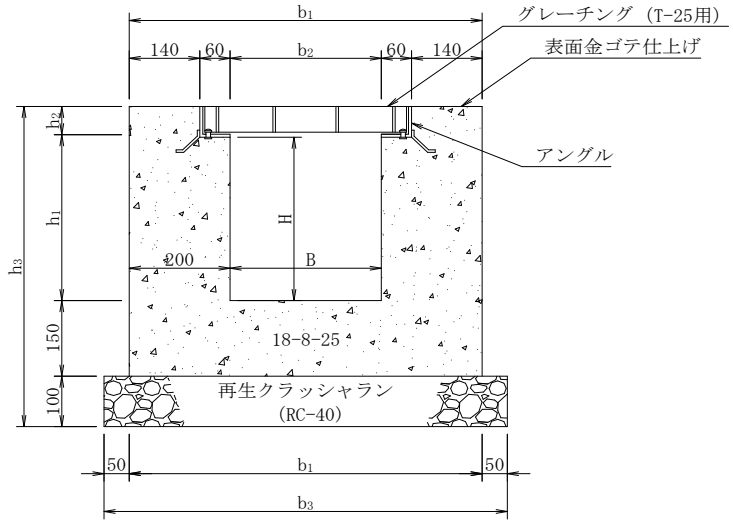
(参考値)

名称	寸法表 単位(mm)													摘要
	A	B	a	b	c	d	e	f	g	h	C	D	L	
横断暗渠工B(250) T-25	396	364	250	230	240	70	70	70	70	380	400	500	1000	
横断暗渠工B(300A) T-25	445	415	300	280	290	70	70	70	70	430	450	550	1000	
横断暗渠工B(300B) T-25	446	404	300	270	390	70	70	75	75	540	450	550	1000	
横断暗渠工B(300C) T-25	446	394	300	260	490	70	70	75	75	640	450	550	1000	
横断暗渠工B(400A) T-25	567	523	400	370	390	80	80	90	90	570	570	670	1000	
横断暗渠工B(400B) T-25	567	513	400	360	490	80	80	90	90	670	570	670	1000	
横断暗渠工B(500A) T-25	668	612	500	460	490	80	80	100	100	690	670	770	1000	
横断暗渠工B(500B) T-25	668	602	500	450	590	80	80	100	100	790	670	770	1000	

注意事項
1. 接合部については、各製品の仕様に基づき適正に施工すること。

大分類	中分類	小分類	適用年度
100 排水工	横断グレーチング工	A，B，B－1 C，D	R7.4

横断グレーチング工



横断グレーチング寸法表

名称	寸法表 単位（mm） B	H	b1	b2	b3	h1	h2	h3	摘要
横断グレーチング工A	250	269	650	250	750	275	65	590	
横断グレーチング工B	300	324	700	300	800	330	70	650	
横断グレーチング工B-1	300	384	700	300	800	390	70	710	
横断グレーチング工C	350	379	750	350	850	385	75	710	
横断グレーチング工D	450	469	850	450	950	375	85	815	

注意事項

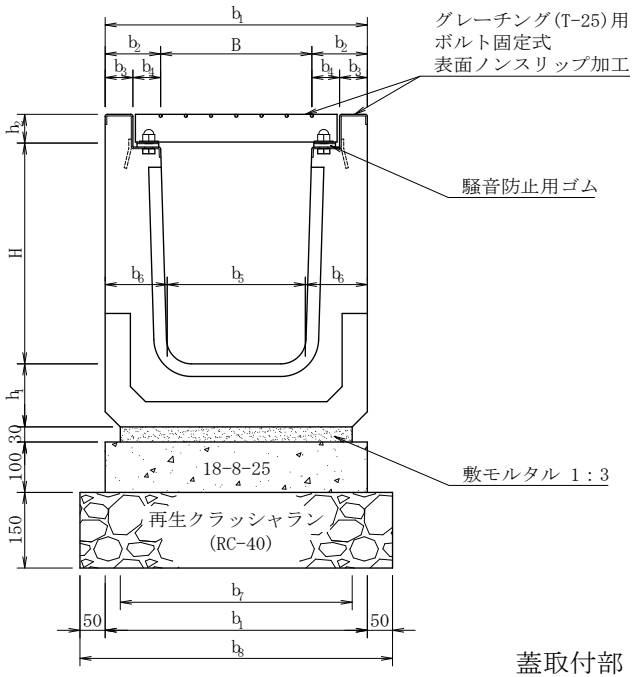
1. グレーチングの材質は、一般構造用圧延鋼材（SS-400）とし、溶融亜鉛メッキ品とする。
2. グレーチングの主部材の表面部は、ノンスリップ加工処理とする。
3. グレーチングの寸法については、設計荷重を満足し納まり等支障のないものを使用してよいものとする。

横断グレーチング材料表

名称	材料表 10m当り 再生クラッシャランRC-40(m³)	コンクリート 18-8-25(m³)	グレーチング（T-25用）（枚） 995×350×55	995×400×60	995×450×65	995×550×75	受枠（アングル）（組） L-71×60×6	L-76×60×6	L-81×60×6	L-91×60×6	型枠(m²)	摘要
横断グレーチング工A	0.750	2.257	10	_	_	_	10	_	_	_	15.18	
横断グレーチング工B	0.800	2.566	_	10	_	_	_	10	_	_	17.48	
横断グレーチング工B-1	0.800	2.806	_	10	_	_	_	10	_	_	19.88	
横断グレーチング工C	0.850	2.875	_	_	10	_	_	_	10	_	19.78	
横断グレーチング工D	0.950	3.413	_	_	_	10	_	_	_	10	23.68	

大分類	中分類	小分類	適用年度
100 排水工	横断グレーチング工	E	R7.4

横断グレーチング工E



横断グレーチング工E 材料表

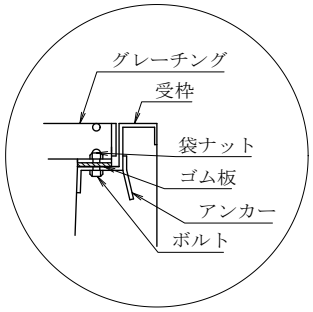
名称	材料表 10m当り						摘要
	再生クラッシャラン RC-40(m³)	コンクリート 18-8-25(m³)	モルタル(m³) 敷モルタル(1：3)	モルタル(m³) 目地モルタル(1：2)	側溝(個)	グレーチング T-25用(枚)	
横断グレーチング工E(250)	0.840	0.46	0.138	0.002	5	10	
横断グレーチング工E(300A)	0.930	0.52	0.156	0.003	5	10	
横断グレーチング工E(300B)	0.930	0.52	0.156	0.003	5	10	
横断グレーチング工E(300C)	0.930	0.52	0.156	0.004	5	10	
横断グレーチング工E(400A)	1.095	0.63	0.189	0.004	5	10	
横断グレーチング工E(400B)	1.095	0.63	0.189	0.004	5	10	
横断グレーチング工E(500A)	1.275	0.75	0.225	0.005	5	10	
横断グレーチング工E(500B)	1.275	0.75	0.225	0.005	5	10	

横断グレーチング工E 寸法表

(参考値)

名称	寸法表 単位(mm)													摘要
	B	H	b_1	b_2	b_3	b_4	b_5	b_6	b_7	b_8	h_1	h_2	L	
横断グレーチング工E(250)	250	283	460	105	50	55	230	115	400	560	115	57	2000	
横断グレーチング工E(300A)	300	334	520	110	55	55	280	120	460	620	120	61	2000	
横断グレーチング工E(300B)	300	434	520	110	55	55	270	125	460	620	125	61	2000	
横断グレーチング工E(300C)	300	534	520	110	55	55	260	130	460	620	130	61	2000	
横断グレーチング工E(400A)	400	439	630	115	60	55	370	130	570	730	130	71	2000	
横断グレーチング工E(400B)	400	539	630	115	60	55	360	135	570	730	135	71	2000	
横断グレーチング工E(500A)	500	544	750	125	70	55	460	145	690	850	145	81	2000	
横断グレーチング工E(500B)	500	644	750	125	70	55	460	145	690	850	145	81	2000	

蓋取付部（参考図）



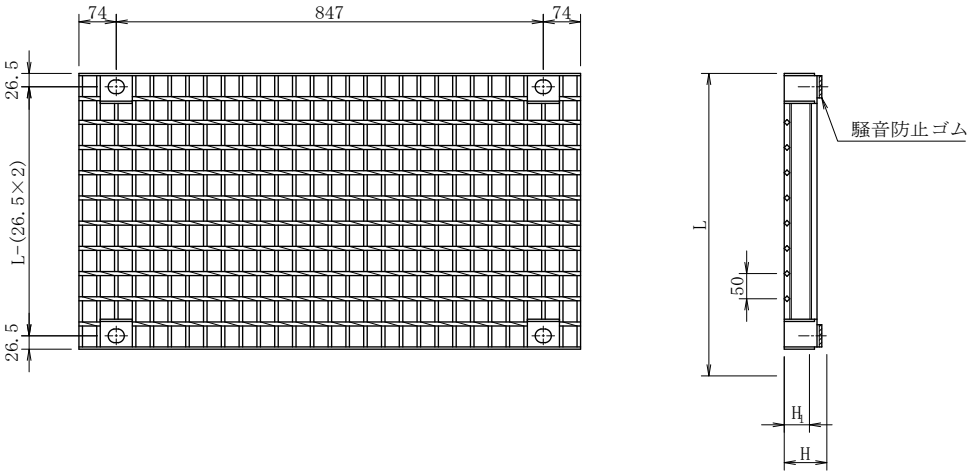
注意事項

1. グレーチング及び受枠のの材質は、一般構造用圧延鋼材（SS-400）とし、溶融亜鉛メッキ品とする。
2. グレーチング及び受枠の主部材の表面は、ノンスリップ加工処理とする。
3. 車両用は並目、歩道用は細目とする。
4. 袋ナットの材質は、冷間圧延鋼帯（SPCC）とし、メッキ品とする。
5. 接合部については、各製品の仕様に基づき適正に施工すること。

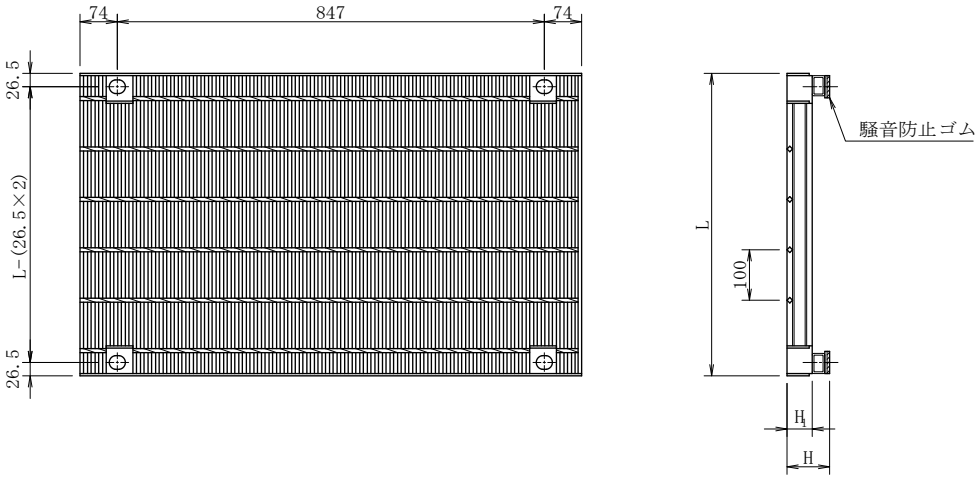
大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
100 排　水　工	横断グレーチング工	E	R7.4

横断グレーチング　E

並目グレーチング



細目グレーチング



注意事項

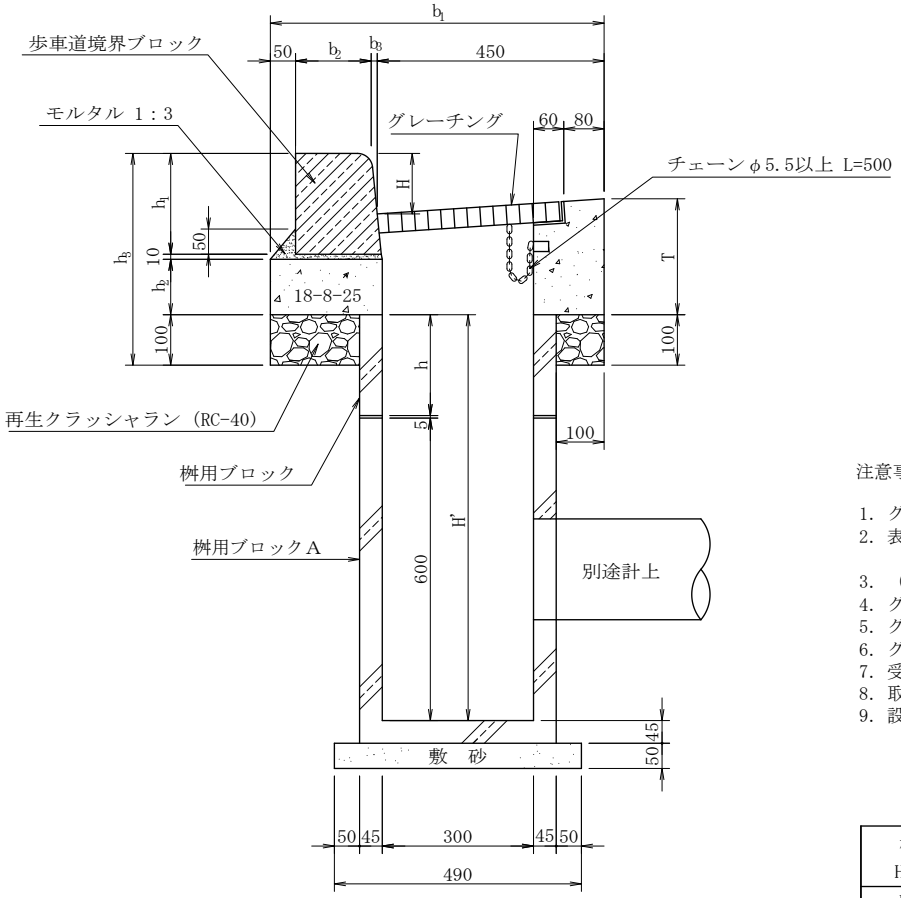
1. グレーチング及び受枠の材質は、一般構造用圧延鋼材（SS-400）とし、溶融亜鉛メッキ品とする。
2. グレーチング及び受枠の主部材の表面は、ノンスリップ加工処理とする。
3. 車道用は並目、歩道用は、細目とする。
4. 袋ナットの材質は、冷間圧延鋼帯（SPCC）とし、メッキ品とする。
5. グレーチングの寸法については、設計荷重を満足し納まり等支障のないものを使用してよいものとする

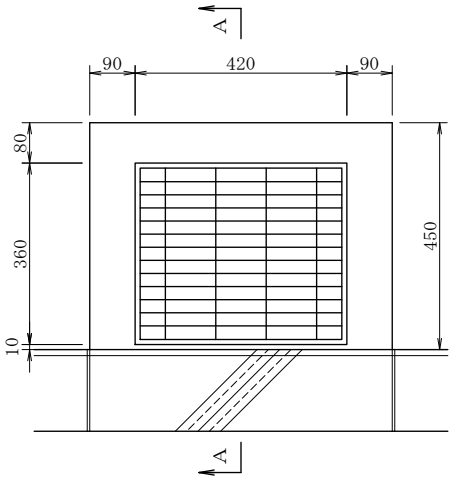
溝　幅	区　　分	寸　　法			参考重量	摘　要
		L	H	H1	(kg/枚)	
250	並目（T-25）	350	60	50	28.6	
	細目（T-25）	350	60	38	41.2	
300	並目（T-25）	400	65	55	34.5	
	細目（T-25）	400	65	44	48.6	
400	並目（T-25）	500	75	65	47.3	
	細目（T-25）	500	75	50	85.4	
500	並目（T-25）	600	85	75	63.0	
	細目（T-25）	600	85	50	93.0	

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
100 排　水　工	街 渠 桝 工	街渠工450用	R7.4

街 渠 桝 工（一般用マウントアップ型）

Ａ－Ａ　断面





注意事項

1. グレーチング型式　T-14　チェーン付
2. 表面処理　グレーチング：溶融亜鉛メッキ
　　受枠：黒ペイント
3. （細目用）グレーチングを使用する場合は、330×400×38の大きさとする。
4. グレーチングの材質は、一般構造用圧延鋼材（SS-400）とし、溶融亜鉛メッキ品とする。
5. グレーチングの主部材の表面部は、ノンスリップ加工処理とする。
6. グレーチングの寸法については、設計荷重を満足し納まり等支障のないものを使用してよいものとする。
7. 受枠はグレーチングがずれることがないようロの字型とし、４方向に枠を有するものを使用すること。
8. 取付管の位置については、本管等の位置により適宜決めること。但し、桝底より150㎜以上上げること。
9. 設計図書で落葉対策蓋を指定されている場合は、グレーチングを落葉対策蓋に置き換えるものとする。

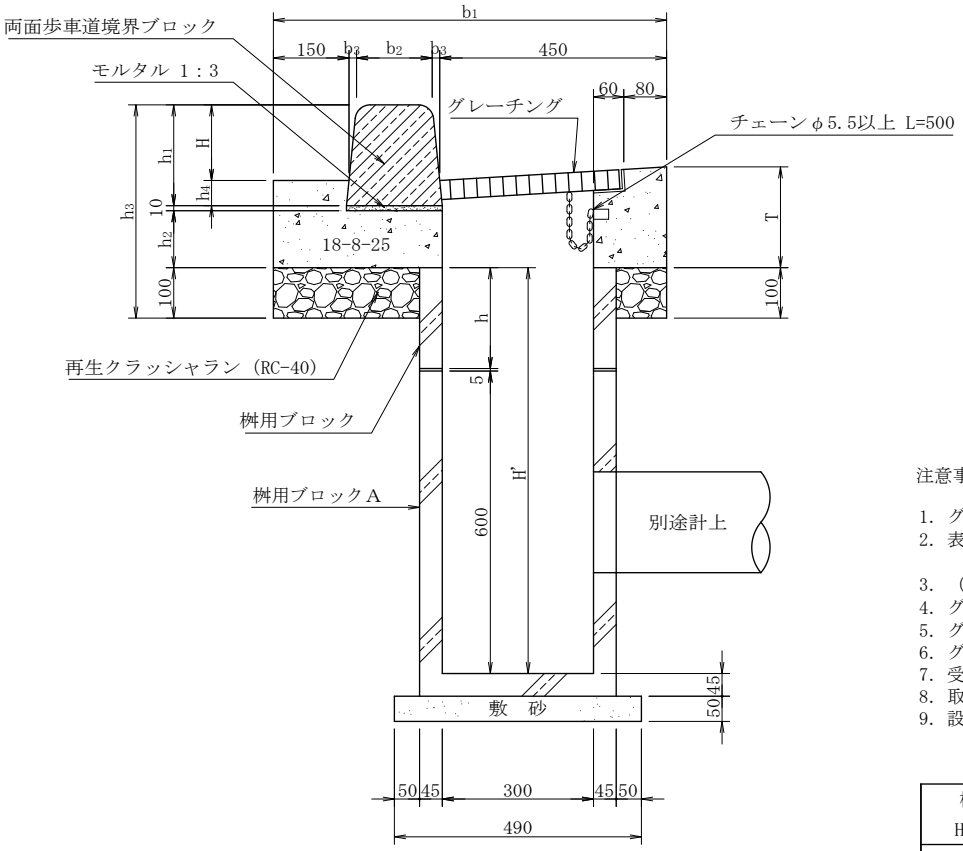
嵩上げブロック組合せ表

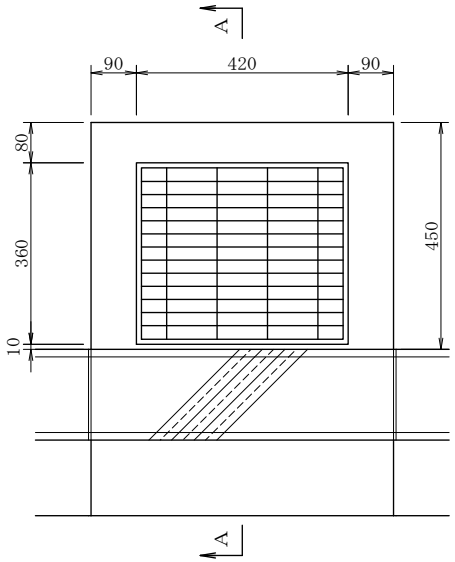
桝　深 H'（mm）	嵩上げ高 h（mm）	桝用ブロック（個）			摘　要
		45×300×100mm	45×300×200mm	45×300×300mm	
H= 600	0	―	―	―	
H= 705	100	1	―	―	
H= 805	200	―	1	―	
H= 905	300	―	―	1	
H=1005	400	1	―	1	
H=1105	500	―	1	1	
H=1205	600	―	―	2	

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
100 排　水　工	街 渠 桝 工	街渠工450用	R7.4

街 渠 桝 工（一般用フラット型）

Ａ－Ａ　断面





注意事項

1. グレーチング型式　T-14　チェーン付
2. 表面処理　グレーチング：溶融亜鉛メッキ
　　受枠：黒ペイント
3. （細目用）グレーチングを使用する場合は、330×400×38の大きさとする。
4. グレーチングの材質は、一般構造用圧延鋼材（SS-400）とし、溶融亜鉛メッキ品とする。
5. グレーチングの主部材の表面部は、ノンスリップ加工処理とする。
6. グレーチングの寸法については、設計荷重を満足し納まり等支障のないものを使用してよいものとする。
7. 受枠はグレーチングがずれることがないようロの字型とし、４方向に枠を有するものを使用すること。
8. 取付管の位置については、本管等の位置により適宜決めること。但し、桝底より150㎜以上上げること。
9. 設計図書で落葉対策蓋を指定されている場合は、グレーチングを落葉対策蓋に置き換えるものとする。

嵩上げブロック組合せ表

桝　深 H'（mm）	嵩上げ高 h（mm）	桝 用 ブ ロ ッ ク （個）			摘　要
		45×300×100mm	45×300×200mm	45×300×300mm	
H= 600	0	―	―	―	
H= 705	100	1	―	―	
H= 805	200	―	1	―	
H= 905	300	―	―	1	
H=1005	400	1	―	1	
H=1105	500	―	1	1	
H=1205	600	―	―	2	

大分類	中分類	小分類	適用年度
100 排水工	街渠桝工	街渠工450用	R7.4

街渠桝工（一般用）

街渠桝工（街渠工450一般用マウントアップ型）寸法表

名称	寸法表 単位（mm）							
	H	T	b_1	b_2	b_3	h_1	h_2	h_3
街渠桝工(街渠工 A用)	120	230	662	150	12	200	110	420
街渠桝工(街渠工 A－１用)	150	200	665	150	15	200	113	423
街渠桝工(街渠工 B用)	150	230	695	180	15	250	90	450
街渠桝工(街渠工 B－１用)	200	150	700	180	20	250	63	423
街渠桝工(街渠工 B－２用)	200	200	700	180	20	250	113	473

街渠桝工（街渠工450一般用フラット型）寸法表

名称	寸法表 単位（mm）								
	H	T	b_1	b_2	b_3	h_1	h_2	h_3	h_4
街渠桝工(街渠工 A'－１用)	150	200	780	150	15	200	113	423	50
街渠桝工(街渠工 B'－２用)	200	200	820	180	20	250	113	473	50

街渠桝工（街渠工450一般用）材料表

名称	材料表 10ヶ所当り									
	敷砂 (m^3)	再生クラッシャラン RC-40 (m^3)	コンクリート 18-8-25 (m^3)	型枠 (m^2)	歩車道境界ブロック (本)	モルタル (m^3)		グレーチング T-14 用（組） 本体 335×400×38 受枠 360×420×44	桝用ブロック（個）	
						敷モルタル (1：3)	目地モルタル (1：2)		A	嵩上ブロック
街渠桝工(街渠工 A用)	0.120	0.245	0.504	4.201	A 10.0	0.019	0.002	10.0	10.0	(10.0)
街渠桝工(街渠工 A－１用)	0.120	0.247	0.459	3.805	A 10.0	0.019	0.002	10.0	10.0	(10.0)
街渠桝工(街渠工 B用)	0.120	0.265	0.495	3.961	B 10.0	0.213	0.002	10.0	10.0	(10.0)
街渠桝工(街渠工 B－１用)	0.120	0.268	0.318	2.460	B 10.0	0.213	0.002	10.0	10.0	(10.0)
街渠桝工(街渠工 B－２用)	0.120	0.268	0.483	3.805	B 10.0	0.213	0.002	10.0	10.0	(10.0)
街渠桝工(街渠工 A'－１用)	0.120	0.316	0.599	4.165	A 10.0	0.011	0.002	10.0	10.0	(10.0)
街渠桝工(街渠工 B'－２用)	0.120	0.340	0.626	4.165	B 10.0	0.014	0.003	10.0	10.0	(10.0)

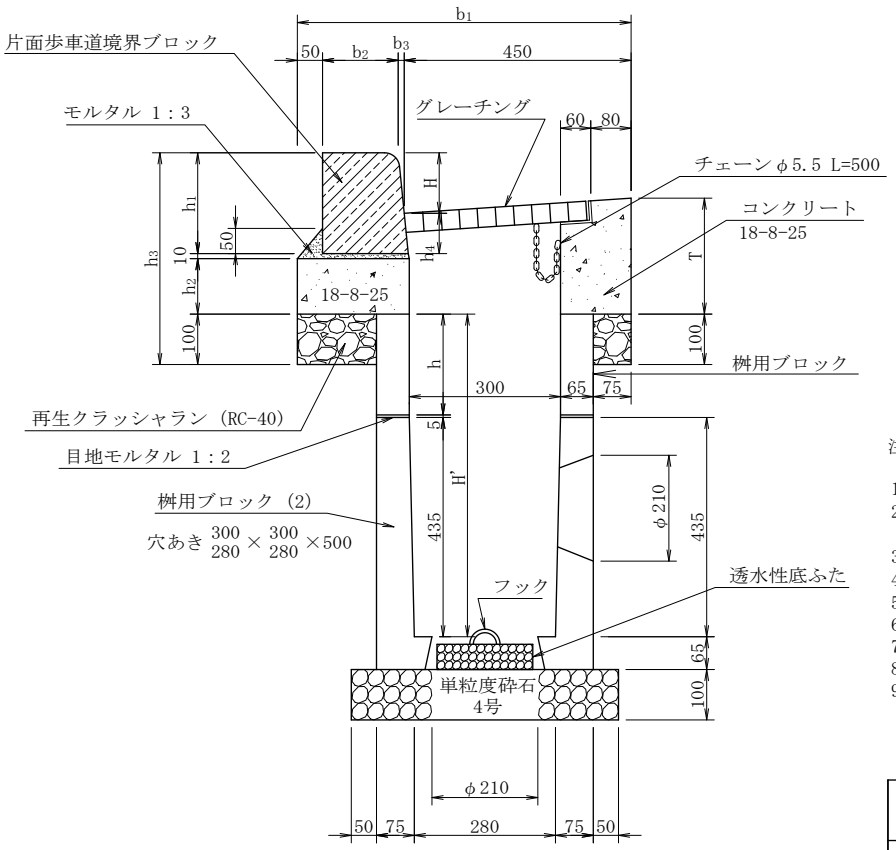
注意事項

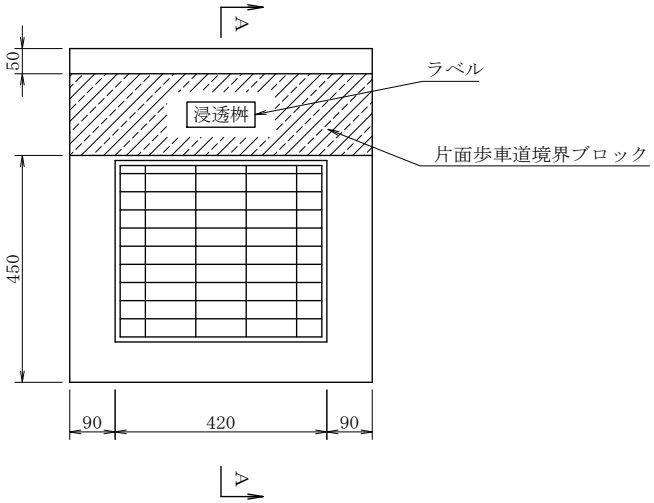
1. 嵩上げブロックは、高さに合わせた組合せ個数とする。
2. 設計図書で落葉対策蓋を指定されている場合は、グレーチングを落葉対策蓋に置き換えるものとする。

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
100 排　水　工	街 渠 桝 工	街渠工450用	R7.4

街 渠 桝 工（浸透用マウントアップ型）

Ａ－Ａ　断面





注意事項

1. グレーチング型式　T-14　チェーン付
2. 表面処理　グレーチング：溶融亜鉛メッキ
   受枠：黒ペイント
3. （細目用）グレーチングを使用する場合は、330×400×38の大きさとする。
4. グレーチングの材質は、一般構造用圧延鋼材（SS-400）とし、溶融亜鉛メッキ品とする。
5. グレーチングの主部材の表面部は、ノンスリップ加工処理とする。
6. グレーチングの寸法については、設計荷重を満足し納まり等支障のないものを使用してよいものとする。
7. 受枠はグレーチングがずれることがないようロの字型とし、４方向に枠を有するものを使用すること。
8. 取付管の位置については、本管等の位置により適宜決めること。但し、桝底より150㎜以上上げること。
9. 設計図書で落葉対策蓋を指定されている場合は、グレーチングを落葉対策蓋に置き換えるものとする。

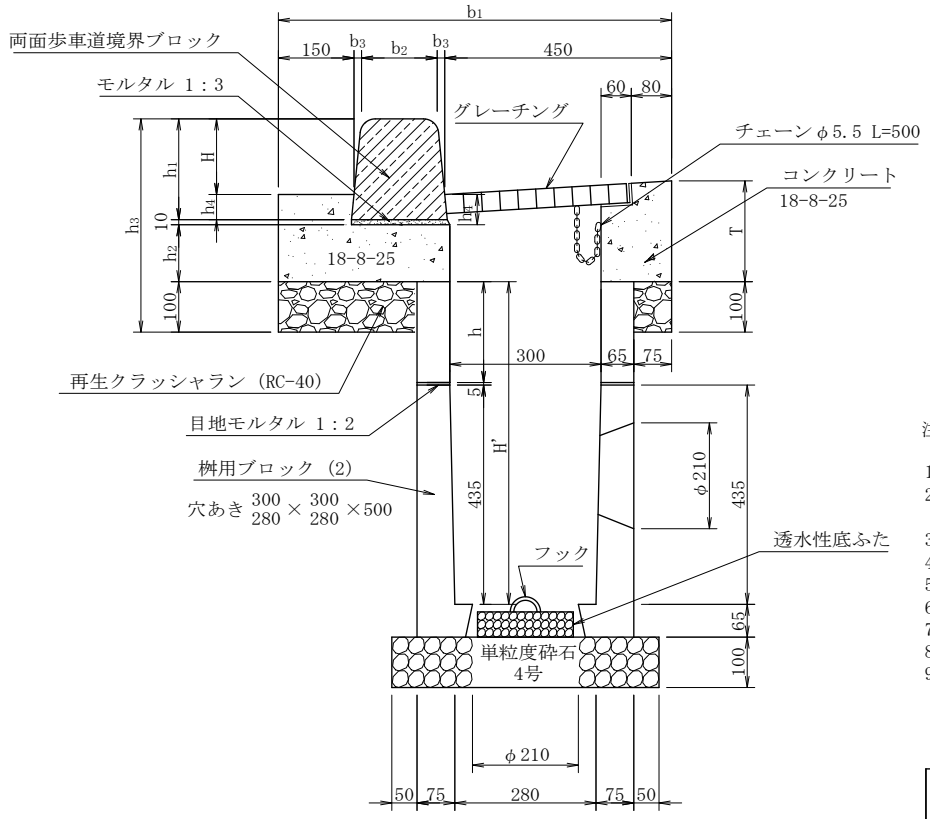
嵩上げブロック組合せ表

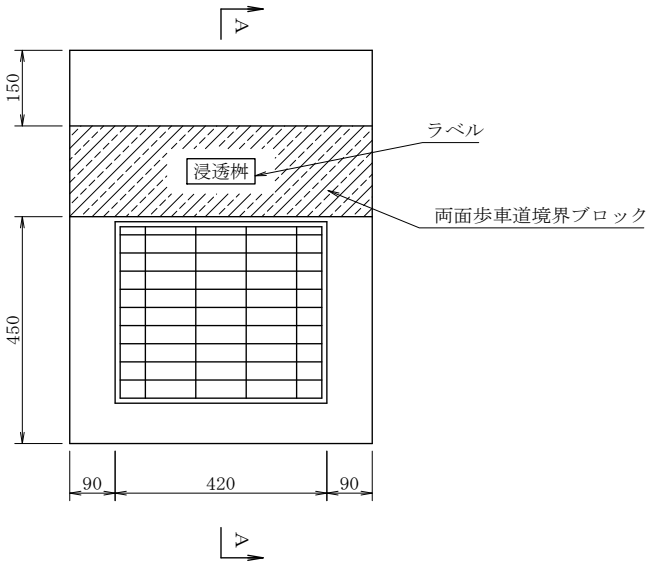
桝　深 H'（㎜）	嵩上げ高 h（㎜）	桝用ブロック（個） 65×300×100㎜	65×300×200㎜	65×300×300㎜	摘　要
H= 435	0	―	―	―	
H= 540	100	1	―	―	
H= 640	200	―	1	―	
H= 740	300	―	―	1	
H= 840	400	1	―	1	
H= 940	500	―	1	1	
H=1040	600	―	―	2	

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
100 排　水　工	街 渠 桝 工	街渠工450用	R7.4

街 渠 桝 工（浸透用フラット型）

Ａ－Ａ　断面





注意事項

1. グレーチング型式　T-14　チェーン付
2. 表面処理　グレーチング：溶融亜鉛メッキ
　　受枠：黒ペイント
3. （細目用）グレーチングを使用する場合は、330×400×38の大きさとする。
4. グレーチングの材質は、一般構造用圧延鋼材（SS-400）とし、溶融亜鉛メッキ品とする。
5. グレーチングの主部材の表面部は、ノンスリップ加工処理とする。
6. グレーチングの寸法については、設計荷重を満足し納まり等支障のないものを使用してよいものとする。
7. 受枠はグレーチングがずれることがないようロの字型とし、４方向に枠を有するものを使用すること。
8. 取付管の位置については、本管等の位置により適宜決めること。但し、桝底より150㎜以上上げること。
9. 設計図書で落葉対策蓋を指定されている場合は、グレーチングを落葉対策蓋に置き換えるものとする。

嵩上げブロック組合せ表

桝　深 H'（mm）	嵩上げ高 h（mm）	桝用ブロック（個） 65×300×100㎜	 65×300×200㎜	 65×300×300㎜	摘　要
H= 435	0	―	―	―	
H= 540	100	1	―	―	
H= 640	200	―	1	―	
H= 740	300	―	―	1	
H= 840	400	1	―	1	
H= 940	500	―	1	1	
H=1040	600	―	―	2	

大分類	中分類	小分類	適用年度
100 排水工	街渠桝工	街渠工450用	R7.4

街渠桝工（浸透用）

街渠桝工（街渠工450浸透用マウントアップ型）寸法表

名称	寸法表 単位（mm）							
	H	T	b_1	b_2	b_3	h_1	h_2	h_3
街渠桝工(街渠工 A用)	120	230	662	150	12	200	110	420
街渠桝工(街渠工 A－１用)	150	200	665	150	15	200	113	423
街渠桝工(街渠工 B用)	150	230	695	180	15	250	90	450
街渠桝工(街渠工 B－１用)	200	150	700	180	20	250	63	423
街渠桝工(街渠工 B－２用)	200	200	700	180	20	250	113	473

街渠桝工（街渠工450浸透用フラット型）寸法表

名称	寸法表 単位（mm）								
	H	T	b_1	b_2	b_3	h_1	h_2	h_3	h_4
街渠桝工(街渠工 A'－１用)	150	200	780	150	15	200	113	423	50
街渠桝工(街渠工 B'－２用)	200	200	820	180	20	250	113	473	50

街渠桝工（街渠工450浸透用）材料表

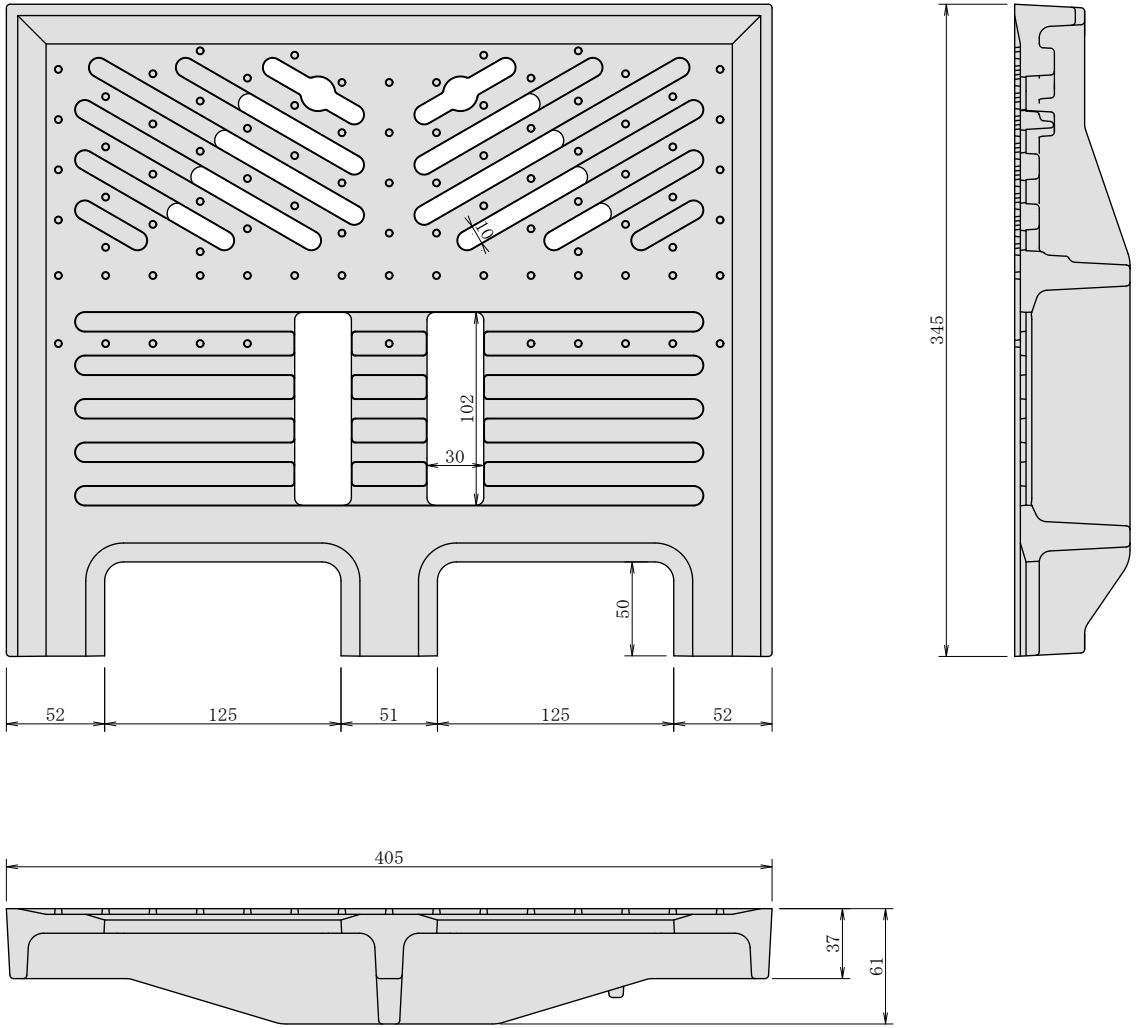
名称	材料表 10ヶ所当り											
	単粒度砕石 4号 (m^3)	再生クラッシャラン RC-40 (m^3)	コンクリート 18-8-25 (m^3)	型枠 (m^2)	歩車道境界ブロック (本)	モルタル (m^3) 敷モルタル (1：3)	モルタル (m^3) 目地モルタル (1：2)	グレーチング T-14 用 (組) 本体 335×400×38 受枠 360×420×44	桝用ブロック（個） (2) 穴あき 300×300×500 280×280	桝用ブロック（個） 嵩上ブロック	透水性底ふた(枚) φ190 t=50	ラベル (枚) 70×100
街渠桝工(街渠工 A用)	0.281	0.212	0.504	4.201	A 10.0	0.019	0.002	10.0	10.0	(10.0)	10.0	10.0
街渠桝工(街渠工 A－１用)	0.281	0.214	0.459	3.805	A 10.0	0.019	0.002	10.0	10.0	(10.0)	10.0	10.0
街渠桝工(街渠工 B用)	0.281	0.232	0.495	3.961	B 10.0	0.213	0.002	10.0	10.0	(10.0)	10.0	10.0
街渠桝工(街渠工 B－１用)	0.281	0.235	0.318	2.460	B 10.0	0.213	0.002	10.0	10.0	(10.0)	10.0	10.0
街渠桝工(街渠工 B－２用)	0.281	0.235	0.483	3.805	B 10.0	0.213	0.002	10.0	10.0	(10.0)	10.0	10.0
街渠桝工(街渠工 A'－１用)	0.281	0.283	0.599	4.165	A 10.0	0.011	0.002	10.0	10.0	(10.0)	10.0	10.0
街渠桝工(街渠工 B'－２用)	0.281	0.307	0.626	4.165	B 10.0	0.014	0.003	10.0	10.0	(10.0)	10.0	10.0

注意事項

1. 嵩上げブロックは、高さに合わせた組合せ個数とする。
2. 設計図書で落葉対策蓋を指定されている場合は、グレーチングを落葉対策蓋に置き換えるものとする。

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
100 排　水　工	街 渠 桝 工	街渠工450用	R7.4

落葉対策蓋



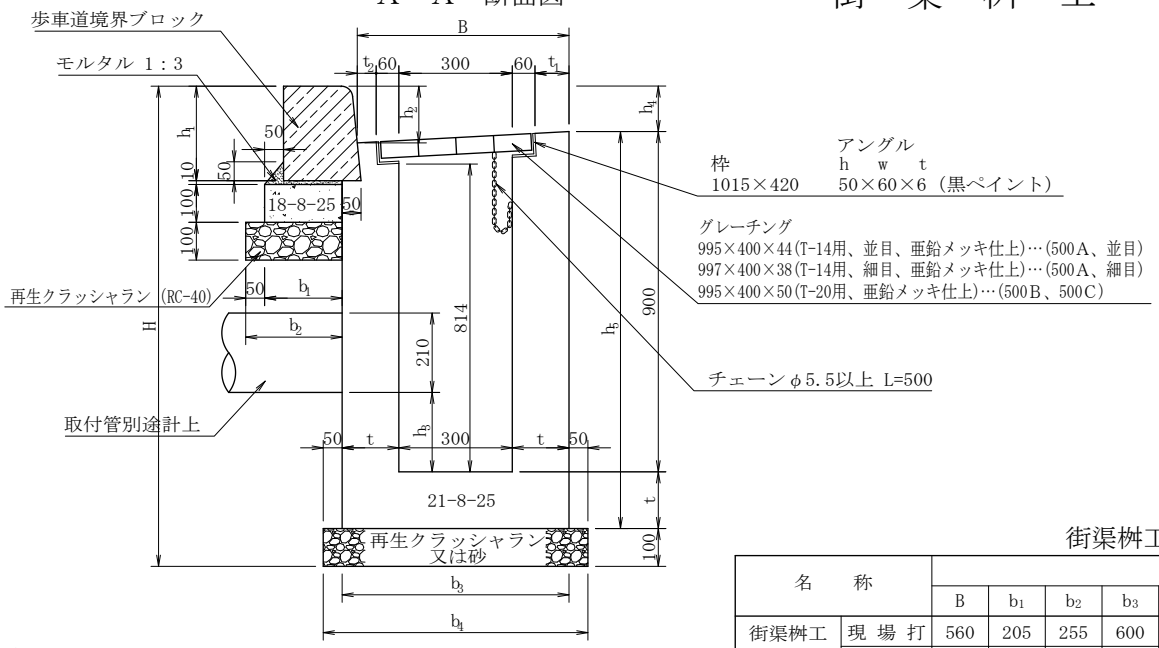
注意事項

1. 設計図書において、街渠桝工（街渠工450用）で落葉対策蓋を指定されている場合に適用する。
2. 落葉対策蓋の材質は、ダクタイル鋳鉄（FCD600）とする。
3. グレーチングと同様に、チェーン（φ5.5以上 L=500）を使用して桝に接続するものとする。

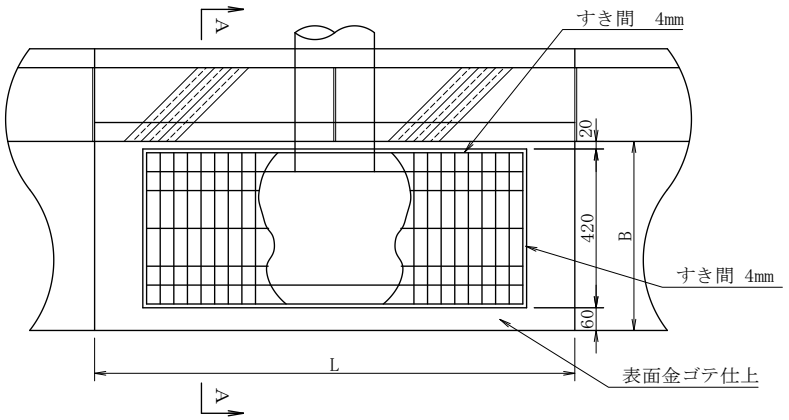
大分類	中分類	小分類	適用年度
100 排水工	街渠桝工	500A,500B,500C用	R7.4

街渠桝工

Ａ－Ａ 断面図



平面図



注意事項

1. グレーチングの材質は、一般構造用圧延鋼材（SS-400）とし、溶融亜鉛メッキ品とする。
2. グレーチングの主部材の表面部は、ノンスリップ加工処理とする。
3. グレーチングの寸法については、設計荷重を満足し納まり等支障のないものを使用してよいものとする。
4. 受枠はグレーチングがずれることがないようロの字型とし、４方向に枠を有するものを使用すること。
5. 設計図書で落葉対策蓋を指定されている場合は、グレーチングを落葉対策蓋に置き換えるものとする。（但し、500A用を除く）

街渠桝工（500Ａ，500Ｂ，500Ｃ用）寸法表

単位（mm）

名称		B	b_1	b_2	b_3	b_4	H	h_1	h_2	h_3	h_4	h_5	t	t_1	t_2	L	摘要
街渠桝工 500Ｂ用	現場打	560	205	255	600	700	1270	250	150	210	120	1050	150	90	50	1270	
	ブロック	500	205	255	540	640	1240	250	150	240	120	1020	120	60	20	1210	
街渠桝工 500Ｃ用	現場打	560	210	260	600	700	1320	300	200	210	170	1050	150	90	50	1270	
	ブロック	500	210	260	540	640	1290	300	200	240	170	1020	120	60	20	1210	
街渠桝工 500Ａ用	ブロック	500	170	220	540	640	1240	200	150	240	120	1020	120	60	20	1210	

街渠桝工（500Ａ，500Ｂ，500Ｃ用）材料表

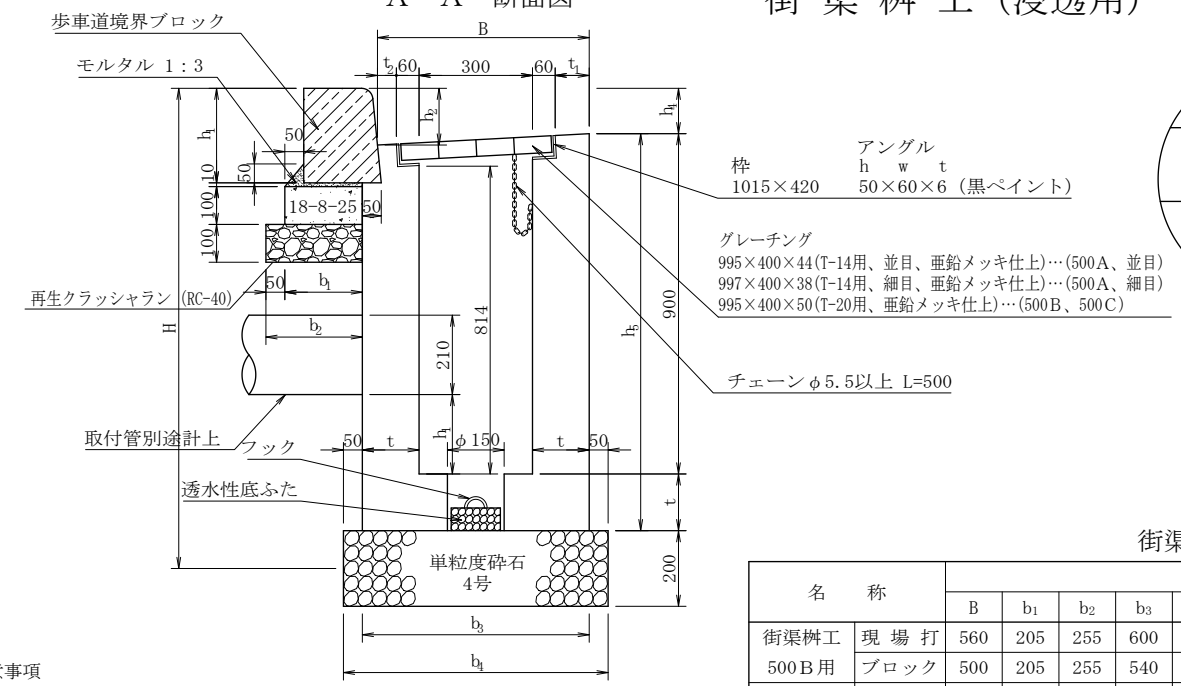
10ヶ所当り

名称		砂 クッション用 (m^3)	再生クラッシャラン RC-40 (m^3)	コンクリート (m^3) 18-8-25	コンクリート (m^3) 21-8-25	モルタル (m^3) 敷(1：3)	モルタル (m^3) 目地(1：2)	歩車道境界ブロック（個） B	歩車道境界ブロック（個） C	グレーチング 995×400×50 (T-20用)（枚）（チェーン付）	受枠（組） 枠 1015×420 アングル L-56×60×6	街渠特殊桝ブロック 300×970×1020（個）	型枠 (m^2)	摘要
街渠桝工 500Ｂ用	現場打	―	1.265	0.248	5.184	0.035	0.005	20	―	10	10	―	58.16	
	ブロック	0.838	0.306	0.248	―	0.035	0.005	20	―	10	10	10	1.21	
街渠桝工 500Ｃ用	現場打	―	1.271	0.254	5.184	0.035	0.006	―	20	10	10	―	58.16	
	ブロック	0.838	0.312	0.254	―	0.035	0.006	―	20	10	10	10	1.21	
街渠桝工 500Ａ用 T-14用 並目								A		グレーチング（T-14用、並目） 995×400×44（枚）	枠 1015×420 アングル L-50×60×6			
	ブロック	0.838	0.266	0.206	―	0.035	0.003	20	―	10	10	10	1.21	
街渠桝工 500Ａ用 T-14用 細目								A		グレーチング（T-14用、細目） 997×400×38（枚）	枠 1015×420 アングル L-44×66×6			
	ブロック	0.838	0.266	0.206	―	0.035	0.003	20	―	10	10	10	1.21	

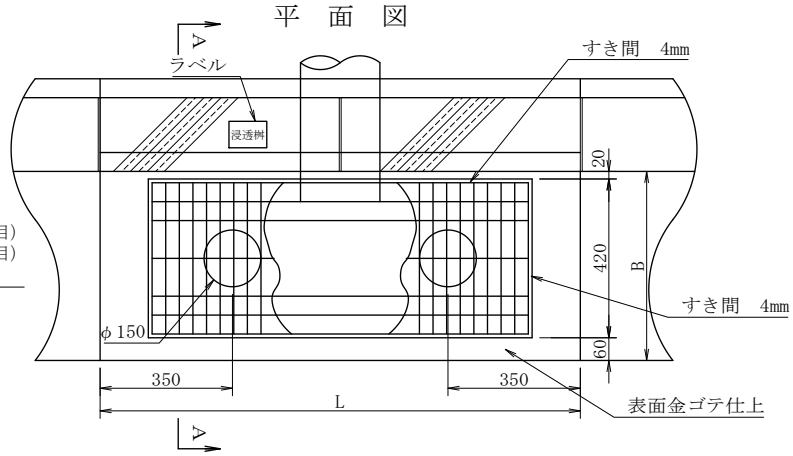
大分類	中分類	小分類	適用年度
100 排水工	街渠桝工	500A,500B,500C用	R7.4

街渠桝工（浸透用）

A－A 断面図



平面図



街渠桝工（500A、500B、500C用）寸法表

名称		寸法表 単位(mm) B	b1	b2	b3	b4	H	h1	h2	h3	h4	h5	t	t1	t2	L	摘要
街渠桝工	現場打	560	205	255	600	700	1270	250	150	210	120	1050	150	90	50	1270	
500B用	ブロック	500	205	255	540	640	1240	250	150	240	120	1020	120	60	20	1210	
街渠桝工	現場打	560	210	260	600	700	1320	300	200	210	170	1050	150	90	50	1270	
500C用	ブロック	500	210	260	540	640	1290	300	200	240	170	1020	120	60	20	1210	
街渠桝工																	
500A用	ブロック	500	170	220	540	640	1240	200	150	240	120	1020	120	60	20	1210	

注意事項

1. グレーチングの材質は、一般構造用圧延鋼材（SS-400）とし、溶融亜鉛メッキ品とする。
2. グレーチングの主部材の表面部は、ノンスリップ加工処理とする。
3. グレーチングの寸法については、設計荷重を満足し納まり等支障のないものを使用してよいものとする。
4. 受枠はグレーチングがずれることがないようロの字型とし、４方向に枠を有するものを使用すること。
5. 設計図書で落葉対策蓋を指定されている場合は、グレーチングを落葉対策蓋に置き換えるものとする。（但し、500A用を除く）

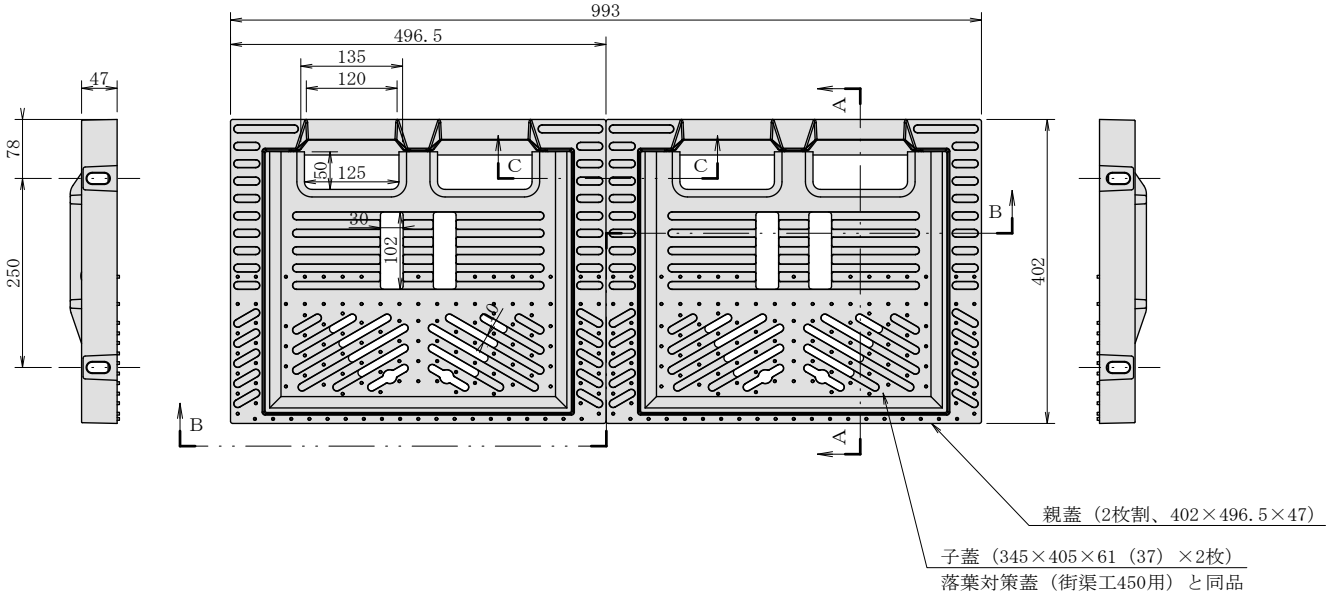
街渠桝工（500A、500B、500C用）材料表

10ヶ所当り

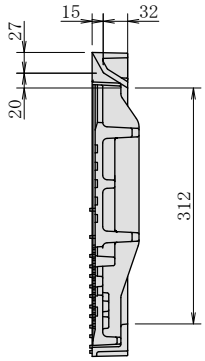
名称		単粒度砕石 4号 (m³)	再生クラッシャラン RC-40 (m³)	コンクリート (m³) 18-8-25	21-8-25	モルタル (m³) 敷(1:3)	目地(1:2)	歩車道境界ブロック(個) B	C	グレーチング 995×400×50 (T-20用)(枚) (チェーン付)	受枠(組) 枠 1015×420 アングル L-56×60×6	街渠特殊桝ブロック 300×970×1020 (個)	型枠 (m²)	透水性底ふた(枚) t=80 φ130	ラベル (枚) 70×100
街渠桝工	現場打	1.918	0.306	0.248	5.131	0.035	0.005	20	—	10	10	—	58.16	20	10
500B用	ブロック	1.677	0.306	0.248	—	0.035	0.005	20	—	10	10	10	1.21	20	10
街渠桝工	現場打	1.918	0.312	0.254	5.131	0.035	0.006	—	20	10	10	—	58.16	20	10
500C用	ブロック	1.677	0.312	0.254	—	0.035	0.006	—	20	10	10	10	1.21	20	10
街渠桝工 500A用 T-14用 並目								A		グレーチング(T-14用、並目) 995×400×44(枚)	枠 1015×420 アングル L-50×60×6				
	ブロック	1.677	0.266	0.206	—	0.035	0.003	20	—	10	10	10	1.21	20	10
街渠桝工 500A用 T-14用 細目								A		グレーチング(T-14用、細目) 997×400×38(枚)	枠 1015×420 アングル L-44×66×6				
	ブロック	1.677	0.266	0.206	—	0.035	0.003	20	—	10	10	10	1.21	20	10

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
100 排　水　工	街 渠 桝 工	500Ｂ,500Ｃ用	R7.4

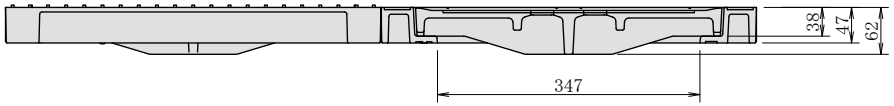
落葉対策蓋



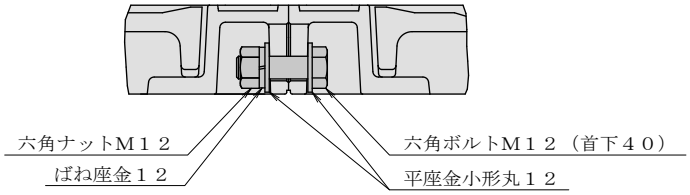
Ａ－Ａ　断面図



Ｂ－Ｂ　断面図



Ｃ－Ｃ　断面詳細図

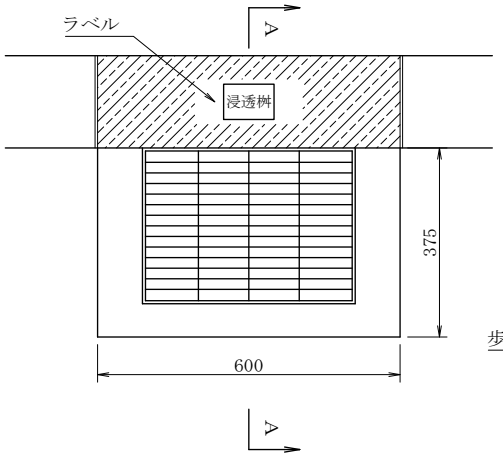


注意事項

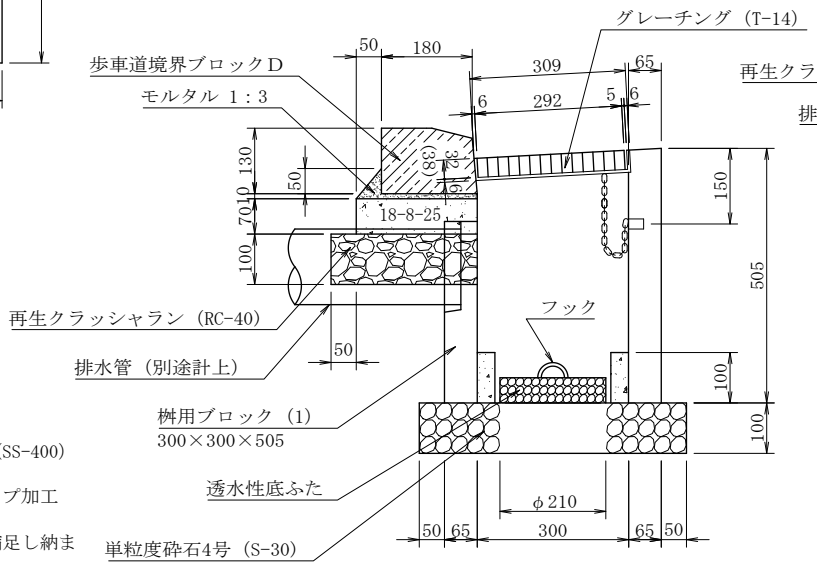
1. 設計図書において、街渠桝工（500Ｂ,500Ｃ用）で落葉対策蓋を指定されている場合に適用する。
2. 落葉対策蓋の材質は、ダクタイル鋳鉄（FCD600）とする。
3. 親蓋を連結するボルト類の材質は、一般構造用圧延鋼材（SS-400）とし、溶融亜鉛メッキ品とする。
4. 親蓋の連結は、ボルト類を使用して2か所で固定すること。
5. グレーチングと同様に、チェーン（φ5.5以上 L=500）を使用して桝に接続するものとする。

大分類	中分類	小分類	適用年度
100 排水工	街渠桝工	D	R7.4

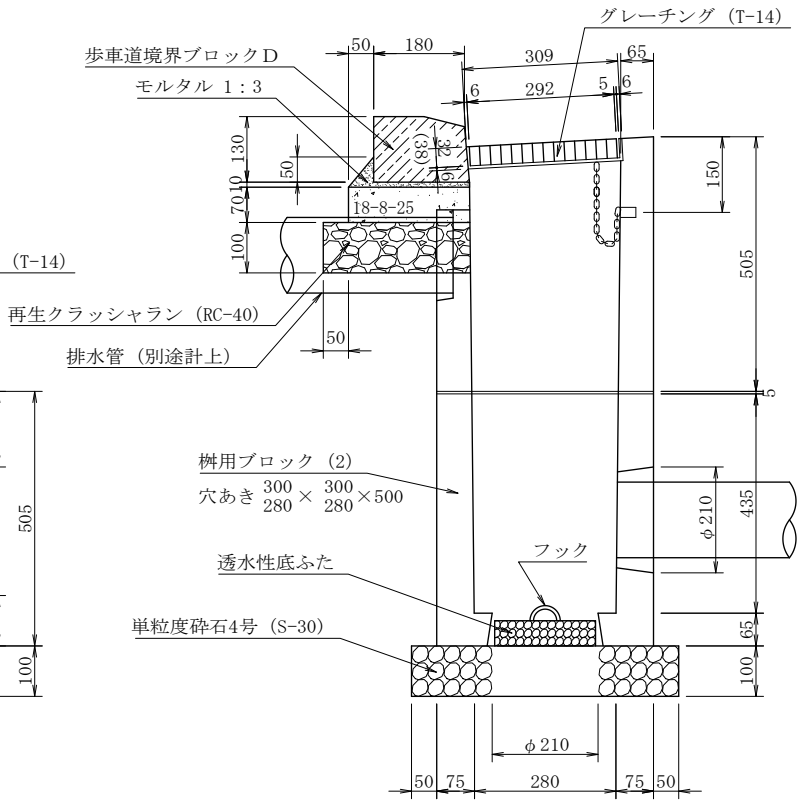
街渠桝工



A－A　断面図



A－A　断面図



注意事項

1. グレーチングの材質は、一般構造用圧延鋼材（SS-400）とし、溶融亜鉛メッキ品とする。
2. グレーチングの主部材の表面部は、ノンスリップ加工処理とする。
3. グレーチングの寸法については、設計荷重を満足し納まり等支障のないものを使用してよいものとする。
4. 受枠はグレーチングがずれることがないようロの字型とし、４方向に枠を有するものを使用すること。
5. 取付管の位置については、本管等の位置により適宜決めること。但し、桝底より150mm以上上げること。

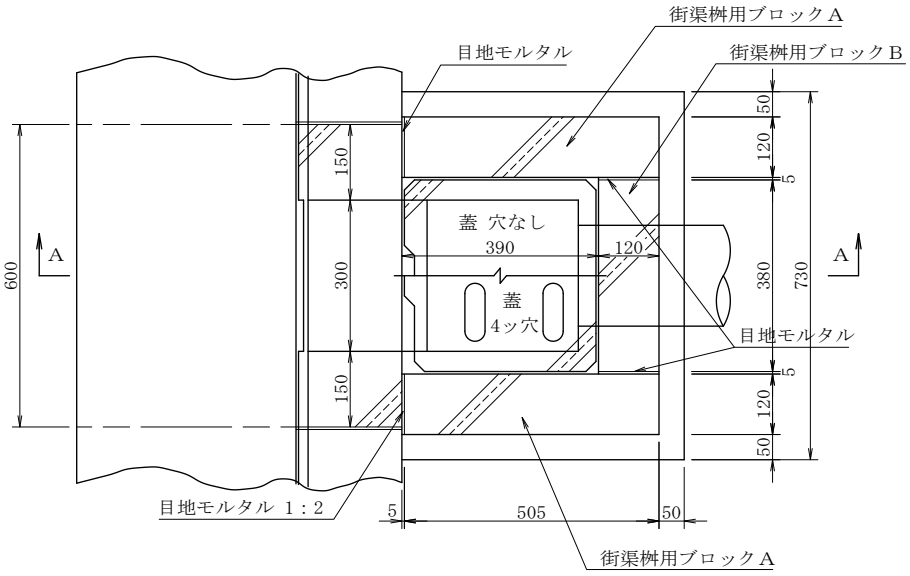
街渠桝工D材料表

名称		材料表 10ヶ所当り												摘要
		単粒度砕石4号 S-30 (m^3)	再生クラッシャラン RC-40 (m^3)	コンクリート 18-8-25 (m^3)	モルタル 1：3 (m^3)	歩車道境界ブロックD 180/190 ×130×600(本)	グレーチング T-14用 細目292×410×33 並目292×410×38 (枚)	型枠 (m^2)	桝用ブロック（個） (1) 受枠付 300×300×505	(2) 穴あき 300/280×300/280×500	嵩上げブロック 300×300×100	透水性底ふた(枚) φ190 t＝50	ラベル (枚) 70×100	
街渠桝工D	(H=400細目)	0.281	0.182	0.245	0.020	10	10	1.141	10	—	(必要に応じて計上)	10	10	(1ヶ所0.6m)
	(H=940細目)	0.281	0.208	0.200	0.020	10	10	0.760	10	10	(必要に応じて計上)	10	10	(1ヶ所0.6m)
	(H=400並目)	0.281	0.182	0.245	0.020	10	10	1.141	10	—	(必要に応じて計上)	10	10	(1ヶ所0.6m)
	(H=940並目)	0.281	0.208	0.200	0.020	10	10	0.760	10	10	(必要に応じて計上)	10	10	(1ヶ所0.6m)

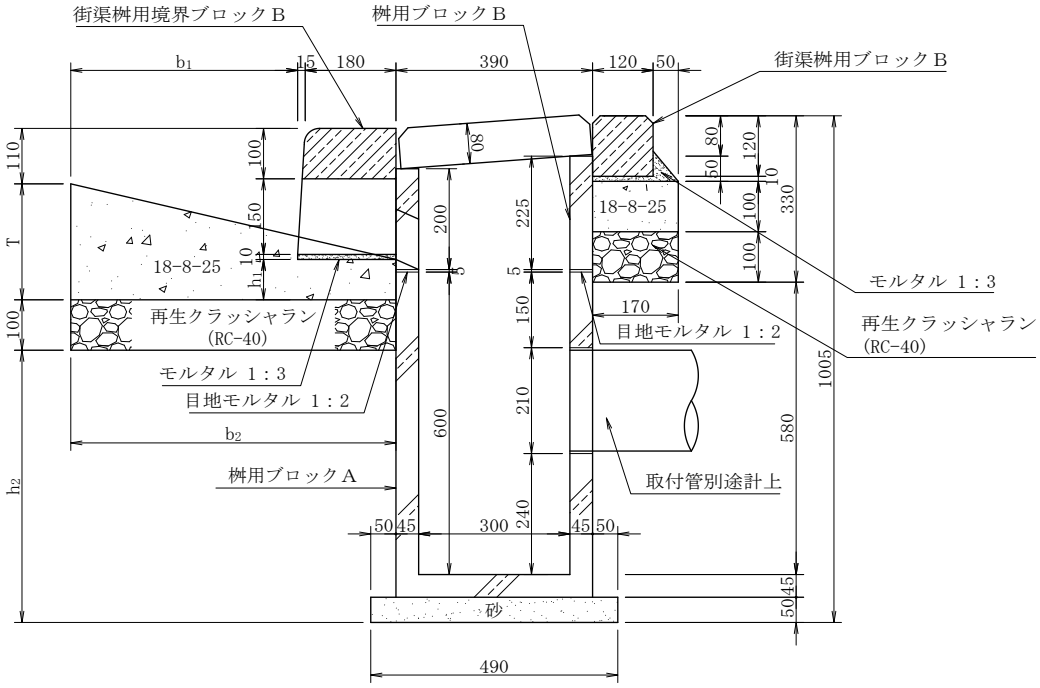
大分類	中分類	小分類	適用年度
100 排水工	特殊桝工	A	R7.4

特殊桝工

平面図



A－A 断面図



特殊桝工（A）寸法表

	寸法表 単位（mm）					摘要
	b_1	b_2	T	h_1	h_2	
特殊桝（A－1）	450	645	230	80	540	
特殊桝（A－2）	500	695	250	100	520	

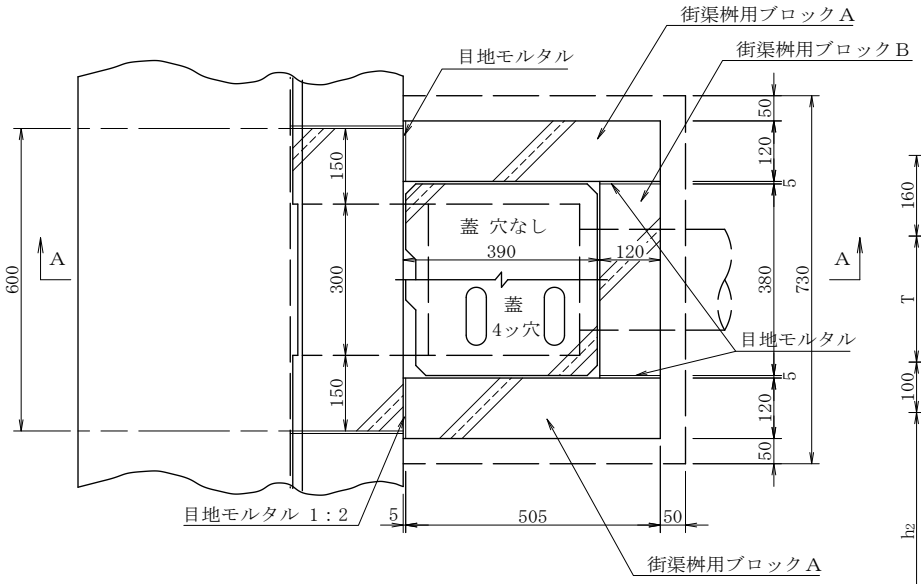
特殊桝工（A）材料表

名称	材料表 10ヶ所当り												摘要
	砂 クッション用 (m^3)	再生クラッシャラン RC-40 (m^3)	コンクリート 18-8-25 (m^3)	モルタル (m^3) 敷モルタル (1：3)	モルタル (m^3) 目地モルタル (1：2)	桝用ブロック（個） A 45×300×600	桝用ブロック（個） B（まどあり） 45×300×225/200	街渠桝用ブロック（本） A 505×120×120	街渠桝用ブロック（本） B 380×120×120	街渠桝用境界ブロックB（まどあり） 180/205×250×600（本）	街渠桝蓋C （穴なし）（4ツ穴） 380×380×80	型枠 (m^2)	
特殊桝（A－1）	0.120	0.644	0.856	0.044	0.010	10	10	20	10	10	10	3.35	
特殊桝（A－2）	0.120	0.674	0.946	0.044	0.010	10	10	20	10	10	10	3.23	

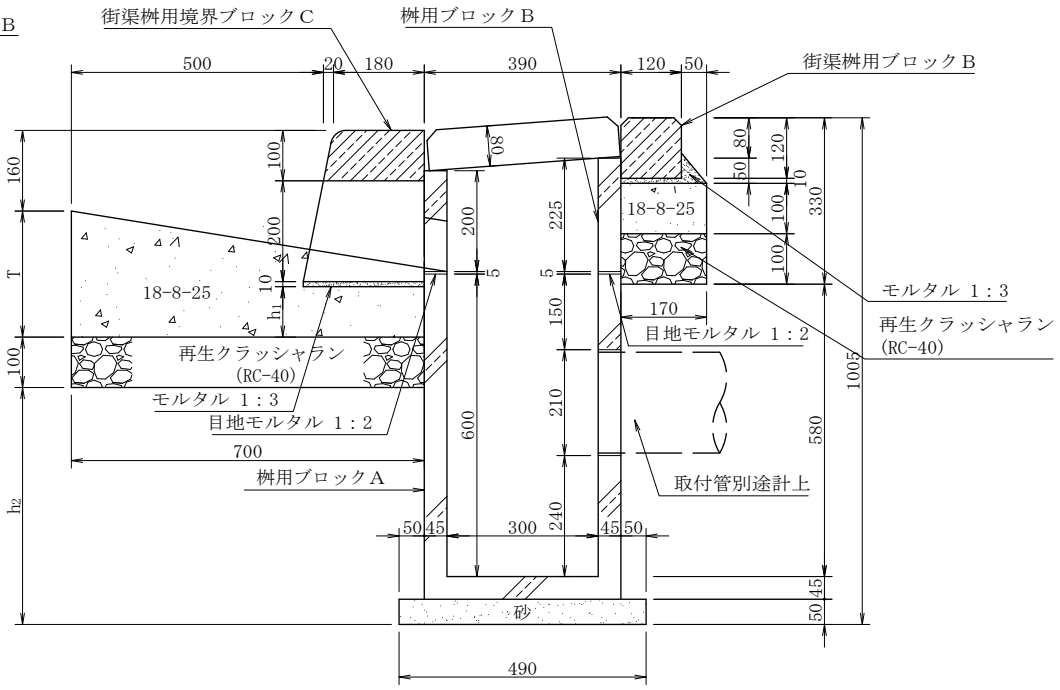
大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
100 排　水　工	特　殊　桝　工	B	R7.4

特　殊　桝　工

平　面　図



A－A　断　面　図



特　殊　桝　工　（B）　寸　法　表

	寸法表　単位（mm）			摘　要
	h_1	h_2	T	
特殊桝（B－1）	100	470	250	
特殊桝（B－2）	70	500	220	

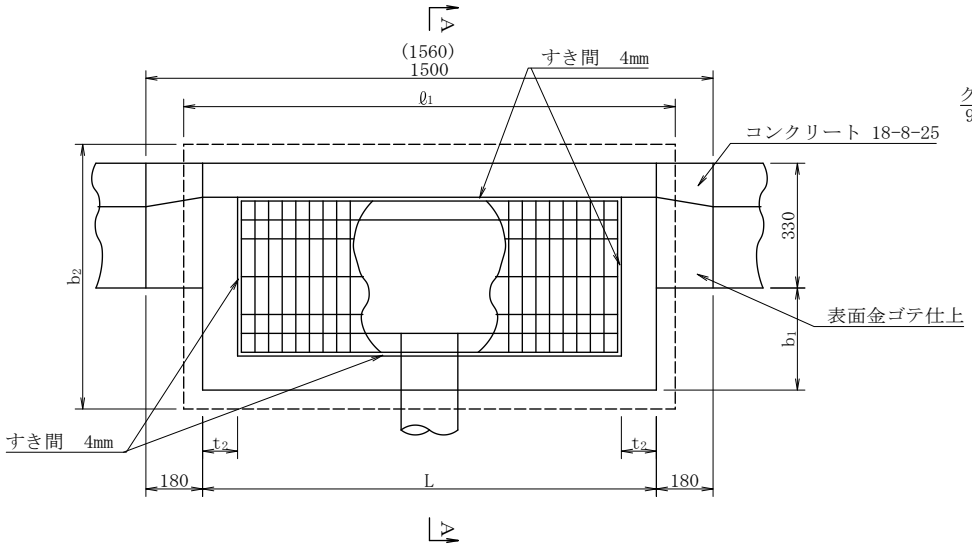
特　殊　桝　工　（B）　材　料　表

名　称	材料表											10ヶ所当り	摘　要
	砂 クッション用 (m^3)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 (m^3)	コンクリート 18-8-25 (m^3)	モルタル（m^3） 敷モルタル (1：3)	モルタル（m^3） 目地モルタル (1：2)	桝用ブロック（個） A 45×300×600	桝用ブロック（個） B（まどあり） 45×300×225/200	街渠桝用ブロック（本） A 505×120×120	街渠桝用ブロック（本） B 380×120×120	街渠桝用境界ブロックC (本)	街渠桝蓋C (穴なし) (4ツ穴) 380×380×80(枚)	型　枠 (m^2)	
特殊桝（B－1）	0.120	0.677	0.992	0.044	0.010	10	10	20	10	10	10	3.65	(C) 1.50 (E) 1.85
特殊桝（B－2）	0.120	0.677	0.866	0.044	0.010	10	10	20	10	10	10	3.47	(C) 1.32 (E) 1.85

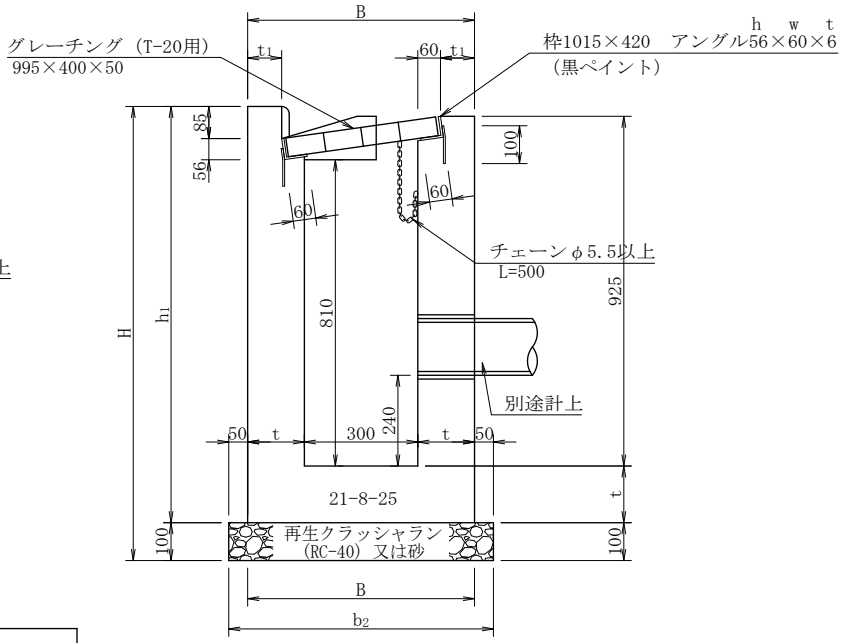
大分類	中分類	小分類	適用年度
100 排水工	特殊桝工	L形側溝C用	R7.4

特殊桝工

平面図



A－A 断面図



特殊桝工（L形側溝C用）寸法表

名称		寸法表 単位（mm）										摘要
		B	b_1	b_2	H	h_1	t	t_1	t_2	L	ℓ_1	
特殊桝工（L形側溝C用）	現場打	600	270	700	1201	1101	150	90	92.5	1200	1300	
	ブロック	540	210	640	1171	1071	120	60	62.5	1140	1240	

注意事項

1. グレーチングの材質は、一般構造用圧延鋼材（SS-400）とし、溶融亜鉛メッキ品とする。
2. グレーチングの主部材の表面部は、ノンスリップ加工処理とする。
3. グレーチングの寸法については、設計荷重を満足し納まり等支障のないものを使用してよいものとする。
4. 受枠はグレーチングがずれることがないようロの字型とし、４方向に枠を有するものを使用すること。

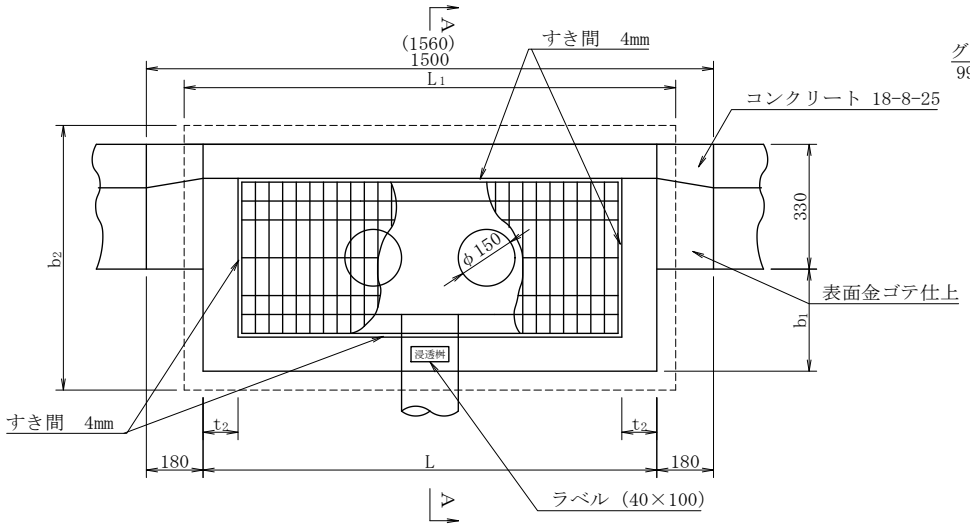
特殊桝工（L形側溝C用）材料表

名称		材料表 10ヶ所当り								摘要
		砂クッション用（m^3）	再生クラッシャランRC-40（m^3）	コンクリート（m^3） 18-8-25	コンクリート（m^3） 21-8-25	鉄溝蓋（T-20用）995×400×50（チェーン付）（枚）	受枠（組） 枠1015×420	受枠（組） アングルL-56×60×6	側溝 特殊桝ブロック（個）300×900×1071	型枠（m^2）	
特殊桝工（L形側溝C用）	現場打	—	1.029	0.240	5.146	10	10		—	60.855	
	ブロック	0.794	0.119	0.240	—	10	10		10	1.895	

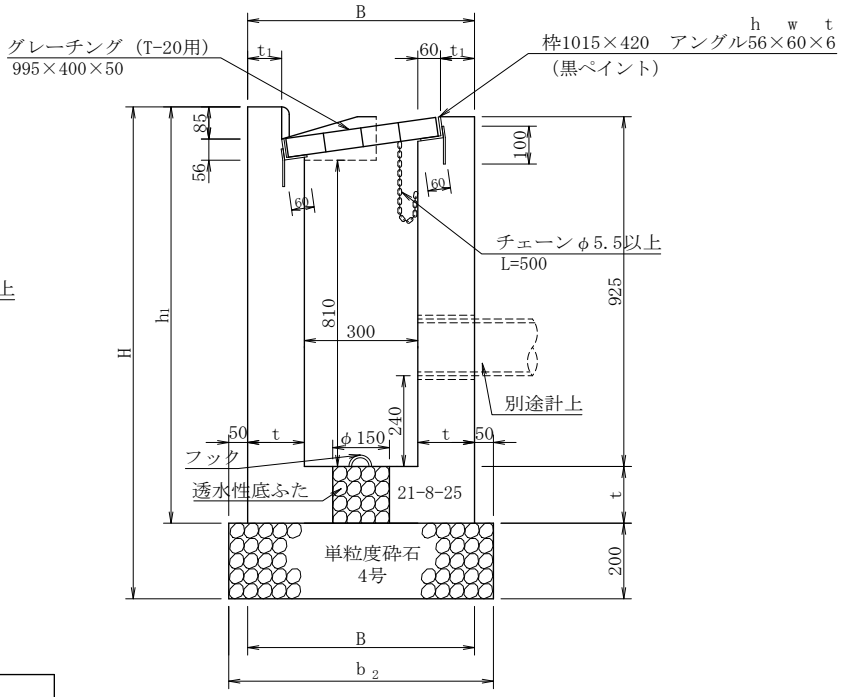
大分類	中分類	小分類	適用年度
100 排水工	特殊桝工	L形側溝C用	R7.4

特　殊　桝　工（浸透用）

平　面　図



A－A　断　面　図



特殊桝工（L形側溝C用）寸法表

名称		寸法表 単位（mm）										摘要
		B	b_1	b_2	H	h_1	t	t_1	t_2	L	L_1	
特殊桝工（L形側溝C用）	現場打	600	270	700	1301	1101	150	90	92.5	1200	1300	
	ブロック	540	210	640	1271	1071	120	60	62.5	1140	1200	

特殊桝工（L形側溝C用）材料表

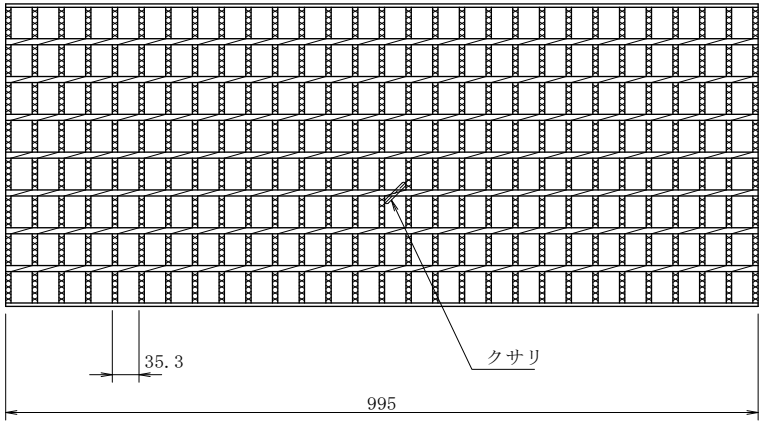
名称		材料表 10ヶ所当り										
		単粒度砕石 4号 (m^3)	再生クラッシャラン RC-40 (m^3)	コンクリート (m^3)		鉄溝蓋（T-20用） 995×400×50 （チェーン付）（枚）	受枠（組）		側溝 特殊桝ブロック（個） 300×900×1071	型枠 (m^2)	透水性底ふた（枚） φ130 t=80	ラベル（枚） 40×100
				18-8-25	21-8-25		枠 1015×420	アングル L-56×60×6				
特殊桝工（L形側溝C用）	現場打	1.820	0.119	0.240	5.146	10	10		—	60.855	20	10
	ブロック	1.534	0.119	0.240	—	10	10		10	1.895	20	10

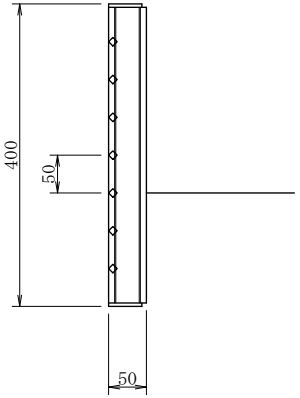
注意事項

1. グレーチングの材質は、一般構造用圧延鋼材（SS-400）とし、溶融亜鉛メッキ品とする。
2. グレーチングの主部材の表面部は、ノンスリップ加工処理とする。
3. グレーチングの寸法については、設計荷重を満足し納まり等支障のないものを使用してよいものとする。
4. 受枠はグレーチングがずれることがないようロの字型とし、４方向に枠を有するものを使用すること。

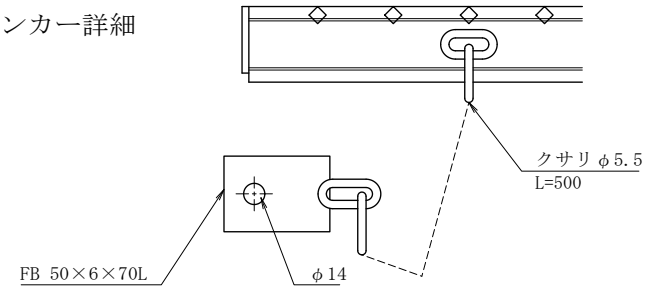
大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
100 排　水　工	特 殊 桝 工	L形側溝C用	R7.4

特殊桝用グレーチング





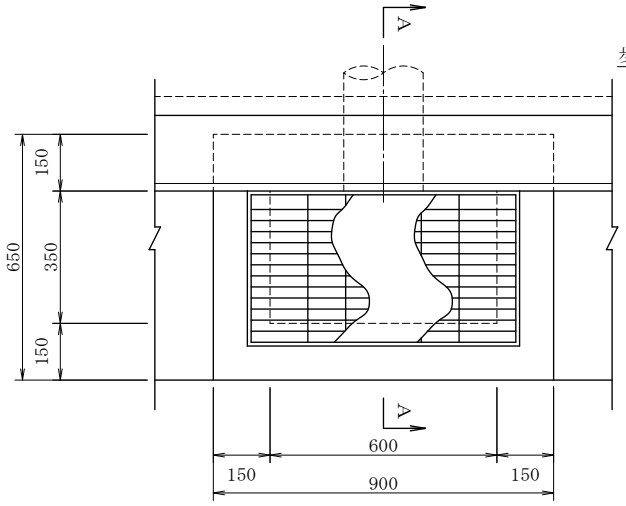
クサリ・FBアンカー詳細



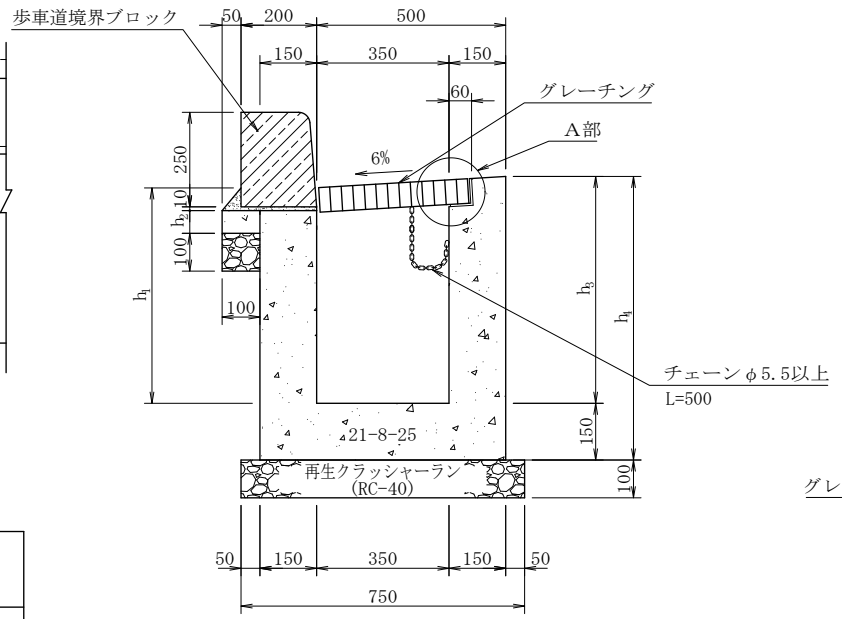
大分類	中分類	小分類	適用年度
100 排水工	特殊街渠桝工	H=600，900	R7.4

特殊街渠桝工

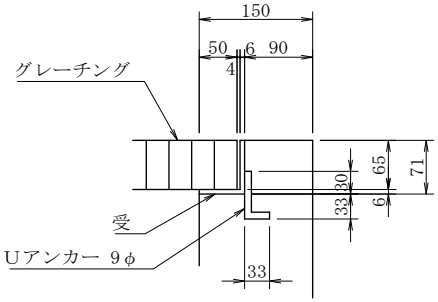
平面図



A－A 断面図



A部詳細図



特殊街渠桝寸法表

名称		寸法表 単位（mm） h1	h2	h3	h4	摘要
特殊街渠桝工（エプロン厚 150㎜）	H=600	570	60	600	750	
	H=900	870	60	900	1050	
特殊街渠桝工（エプロン厚 200㎜）	H=600	570	110	600	750	
	H=900	870	110	900	1050	

特殊街渠桝材料表

名称		材料表 10ヶ所当り 再生クラッシャラン RC-40 (m³)	コンクリート 21-8-25 (m³)	モルタル (m³) 敷モルタル (1：3)	目地モルタル (1：2)	グレーチング（T-20用） 395×700×65 (チェーン付)（枚）	受枠（組） 枠 アングル 415×720 L-71×60×6	歩車道境界ブロックB (個)	型枠 (m²)	摘要
特殊街渠桝工（エプロン厚 150㎜）	H=600	0.840	2.961	0.030	0.005	10	10	14.9	33.19	
	H=900	0.840	4.086	0.030	0.005	10	10	14.9	48.19	
特殊街渠桝工（エプロン厚 200㎜）	H=600	0.840	3.006	0.030	0.005	10	10	14.9	33.64	
	H=900	0.840	4.131	0.030	0.005	10	10	14.9	48.64	

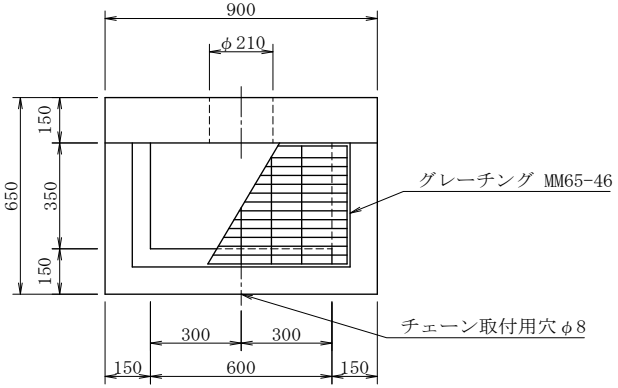
注意事項

1. 取付管の位置については本管等の位置により適宜決めること。但し桝底より150mm以上上げること。
2. グレーチングの材質は、一般構造用圧延鋼材（SS-400）とし、溶融亜鉛メッキ品とする。
3. グレーチングの主部材の表面部は、ノンスリップ加工処理とする。
4. グレーチングの寸法については、設計荷重を満足し納まり等支障のないものを使用してよいものとする。
5. 受枠はグレーチングがずれることがないようロの字型とし、４方向に枠を有するものを使用すること。

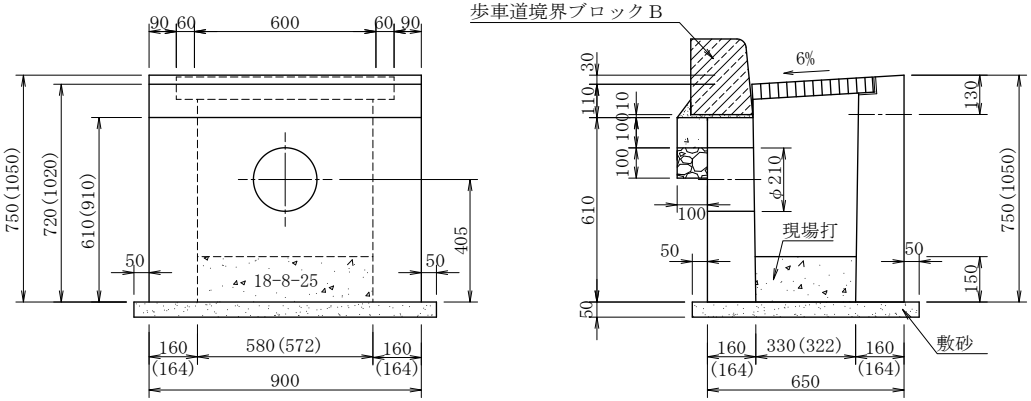
大分類	中分類	小分類	適用年度
100 排水工	特殊街渠桝工	（桝ブロック）	R7.4

特殊街渠桝工（桝ブロック）

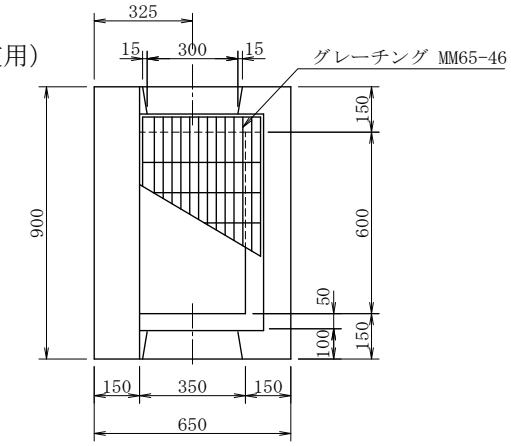
特殊街渠桝ブロック（ H=600,900用 ）

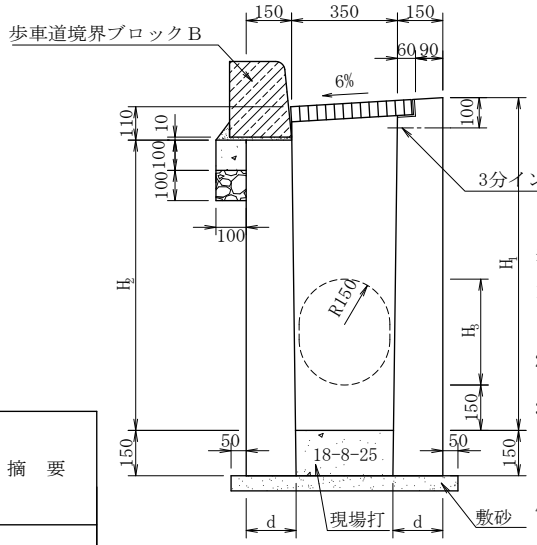


参考質量
H= 750: 612 Kg
H=1050: 898 Kg



特殊街渠桝ブロック（車道用）





注意事項

1. グレーチングの材質は、一般構造用圧延鋼材（SS-400）とし、溶融亜鉛メッキ品とする。
2. グレーチングの主部材の表面部はノンスリップ加工処理とする。
3. グレーチングの寸法については、設計荷重を満足し納まり等支障のないものを使用してよいものとする。
4. 受枠はグレーチングがずれることがないようロの字型とし、４方向に枠を有するものを使用すること。

特殊街渠桝材料表

名称		材料表 10ヶ所当り 再生クラッシャラン RC-40 (m³)	コンクリート 18-8-25 (m³)	モルタル (m³) 敷モルタル (1：3)	モルタル (m³) 目地モルタル (1：2)	桝ブロック (グレーチング付)	歩車道境界ブロックB (個)	型枠 (m²)	摘要
特殊街渠桝工 (エプロン厚 150㎜)	H=600	0.090	0.341	0.030	0.005	10	14.9	0.54	
	H=900	0.090	0.330	0.030	0.005	10	14.9	0.54	
特殊街渠桝工 (エプロン厚 200㎜)	H=600	0.090	0.386	0.030	0.005	10	14.9	0.99	
	H=900	0.090	0.375	0.030	0.005	10	14.9	0.99	
特殊街渠桝工 （車道用）	Aタイプ	0.090	0.378	0.030	0.005	10	14.9	0.90	
	Bタイプ	0.090	0.373	0.030	0.005	10	14.9	0.90	
	Cタイプ	0.090	0.369	0.030	0.005	10	14.9	0.90	

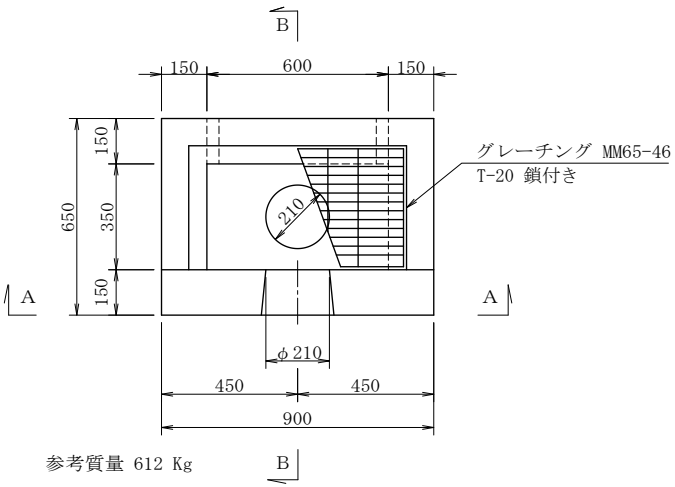
寸法・質量表

タイプ	寸法表 単位 (㎜) H_1	H_2	H_3	d	参考質量 (kg)
A	1100	960	350	165	1058
B	1300	1160	350	168	1250
C	1500	1360	350	170	1450

大分類	中分類	小分類	適用年度
100 排水工	特殊街渠桝工	（B）	R7.4

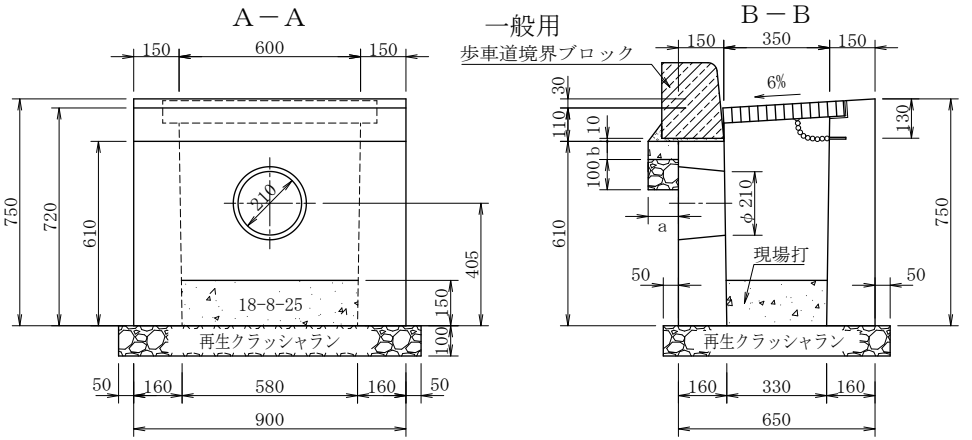
特殊街渠桝工（B）

特殊街渠桝ブロック

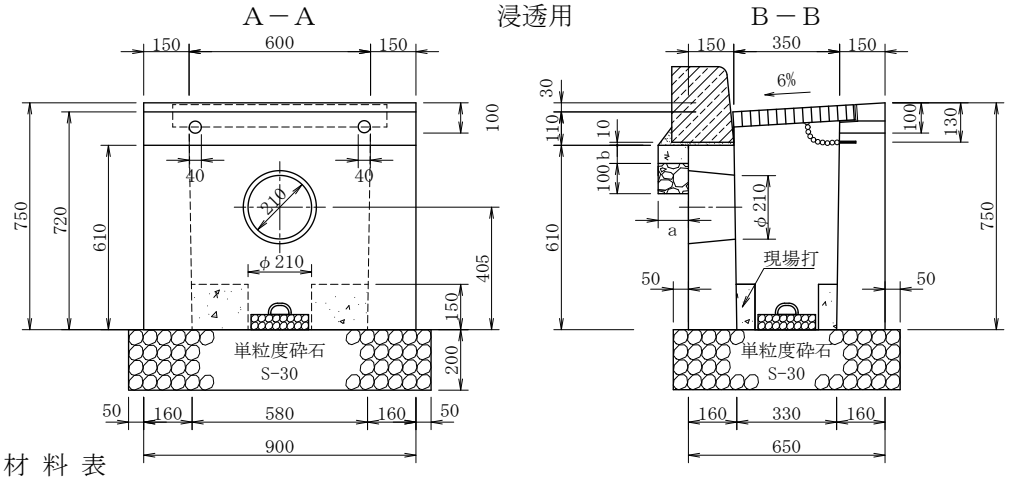


参考質量 612 Kg

一般用



浸透用



特殊街渠桝工（B） 寸法表

名称		寸法表 単位（mm） a	b	摘要
特殊街渠桝工（一般用）	(エプロン厚 150㎜)	100（110）	60	維持用
	(エプロン厚 200㎜)	100（110）	110	維持用
特殊街渠桝工（浸透用）	(エプロン厚 150㎜)	100（110）	60	維持用
	(エプロン厚 200㎜)	100（110）	110	維持用

歩車道境界ブロックCを使用する場合は、（ ）内の数値とする。

特殊街渠桝工（B） 材料表

名称		材料表 10ヶ所当り 再生クラッシャランRC-40 (m^3)	単粒度砕石 S-30 (m^3)	コンクリート 18-8-25 (m^3)	モルタル (m^3) 敷モルタル (1：3)	目地モルタル (1：2)	桝ブロック 650×900×750 (グレーチング付)	歩車道境界ブロック(個) B	C	型枠 (m^2)	透水性底ふた(枚) φ190 t=50	ラベル(枚) 70×100	摘要
特殊街渠桝工（一般用）	(エプロン厚 150㎜)	0.840 (0.850)	—	0.341 (0.347)	0.043 (0.044)	0.005	10	14.9	(14.9)	0.54	—	—	
	(エプロン厚 200㎜)	0.840 (0.850)	—	0.386 (0.396)	0.043 (0.044)	0.005	10	14.9	(14.9)	0.99	—	—	
特殊街渠桝工（浸透用）	(エプロン厚 150㎜)	0.090 (0.100)	1.50	0.292 (0.297)	0.043 (0.044)	0.005	10	14.9	(14.9)	0.54	10	10	
	(エプロン厚 200㎜)	0.090 (0.100)	1.50	0.337 (0.347)	0.043 (0.044)	0.005	10	14.9	(14.9)	0.99	10	10	

歩車道境界ブロックCを使用する場合は、（ ）内の数値とする。

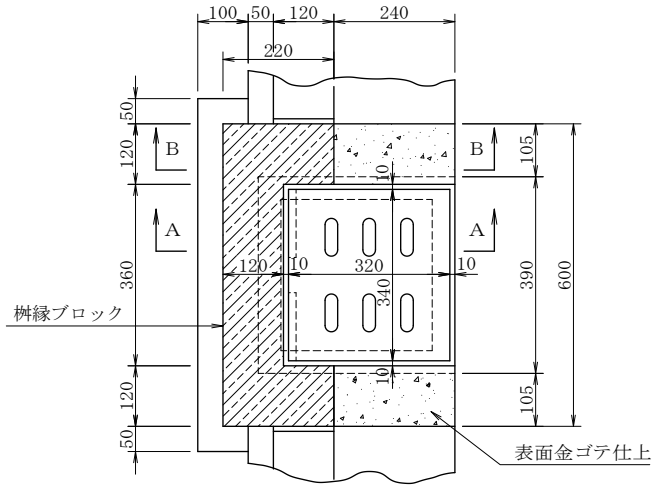
注意事項

1. グレーチングの材質は、一般構造用圧延鋼材（SS-400）とし、溶融亜鉛メッキ品とする。
2. グレーチングの主部材の表面部は、ノンスリップ加工処理とする。
3. 排水性舗装で使用する場合は、車道側に導水管の取付が出来るよう穴あきタイプとする。
4. 受枠はグレーチングがずれることがないようロの字型とし、４方向に枠を有するものを使用すること。

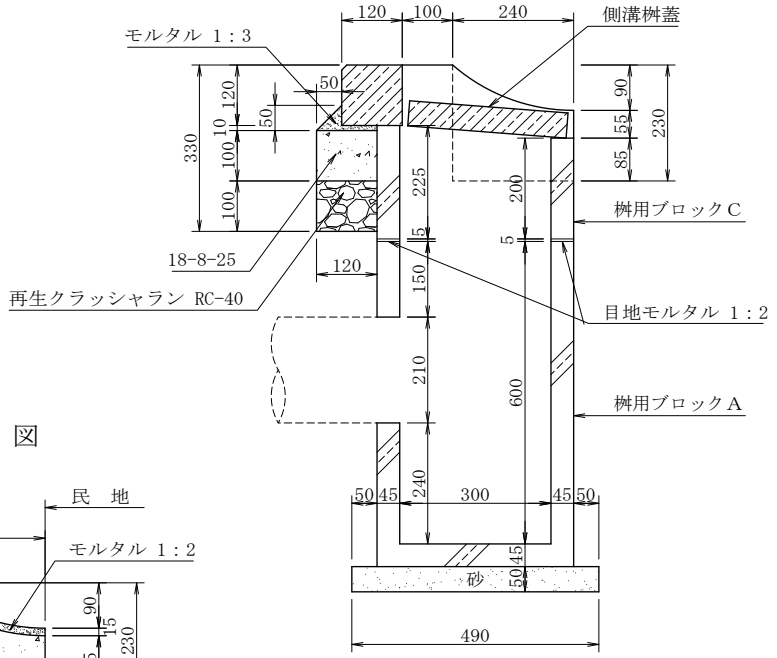
大分類	中分類	小分類	適用年度
100 排水工	側溝桝工	A	R7.4

側溝桝工

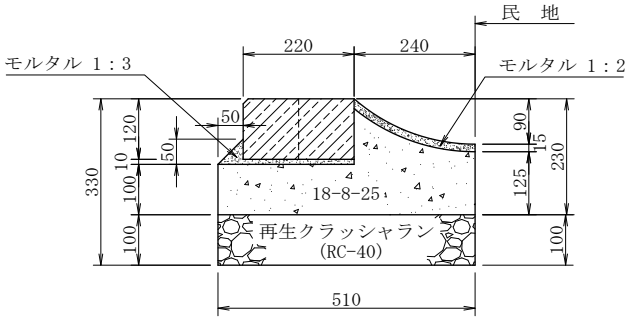
平面図



A－A 断面図



B－B 断面図



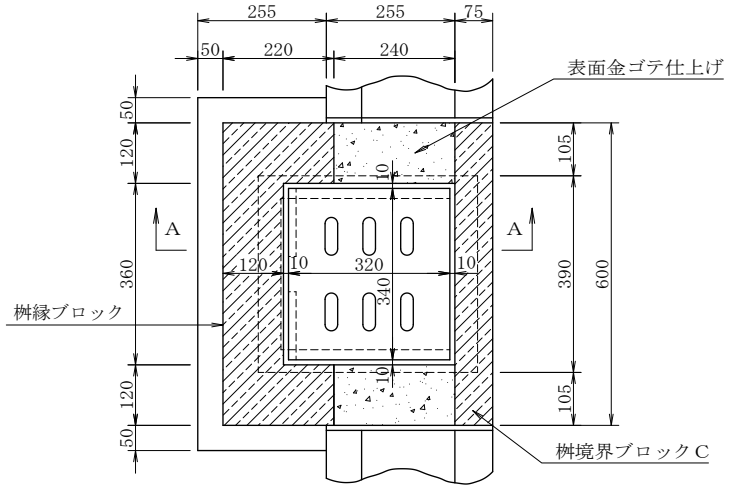
特殊桝工A材料表

名称	材料表										10ヶ所当り	摘要
	砂 クッション用 (m^3)	再生クラッシャラン RC-40 (m^3)	コンクリート 18-8-25 (m^3)	モルタル (m^3)		桝用ブロック (個)		桝縁ブロック (個) (コの字) 120×120×600	側溝桝蓋 340×320×50 (枚)	型枠 (m^2)		
				敷モルタル (1：3)	目地モルタル (1：2)	A 45×300×600	C 45×300×225/200					
側溝桝工(A)	0.120	0.164	0.192	0.016	0.012	10	10	10	10	1.523		

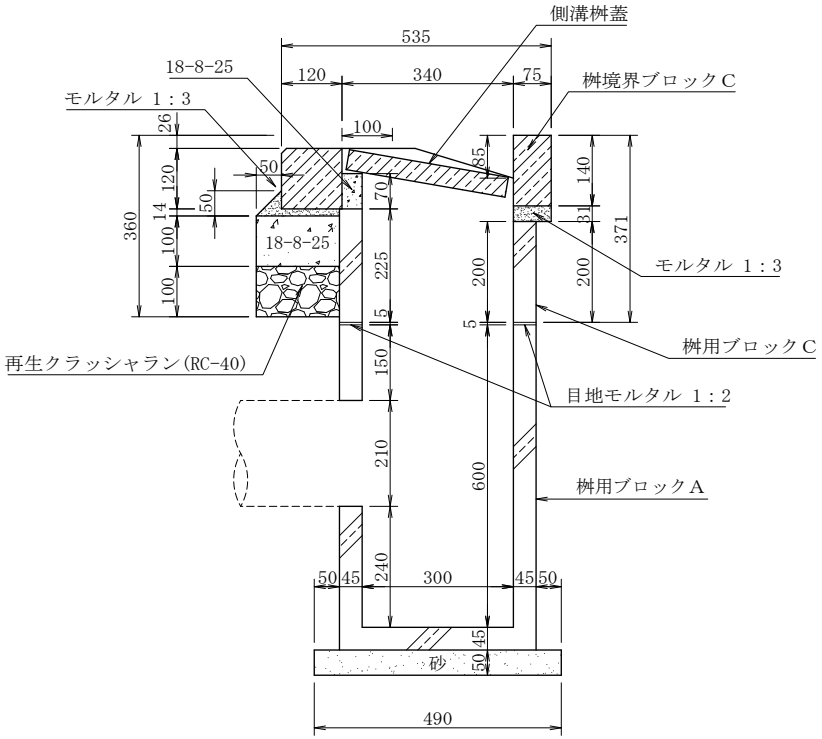
大分類	中分類	小分類	適用年度
100 排水工	側溝桝工	Ｃ－１	R7.4

側　溝　桝　工

平　面　図



Ａ－Ａ　断　面　図



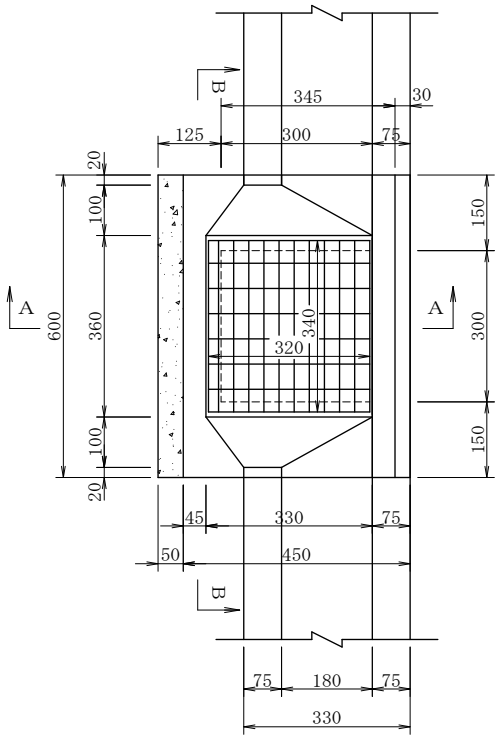
側　溝　桝　工　（Ｃ－１）　材　料　表

名　称	材料表 10ヶ所当り											摘　要
	砂 クッション用 (m^3)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 (m^3)	コンクリート 18-8-25 (m^3)	モルタル (m^3)		桝用ブロック（個）		桝縁ブロック (コの字) 120×120×600（個）	桝境界ブロックＣ 140×75×600 (個)	側溝桝蓋 340×320×50 (枚)	型　枠 (m^2)	
				敷モルタル (1：3)	目地モルタル (1：2)	Ａ 45×300×600	Ｃ 45×300×225/200					
側溝桝工(Ｃ－１)	0.120	0.196	0.281	0.039	0.003	10	10	10	10	10	2.29	

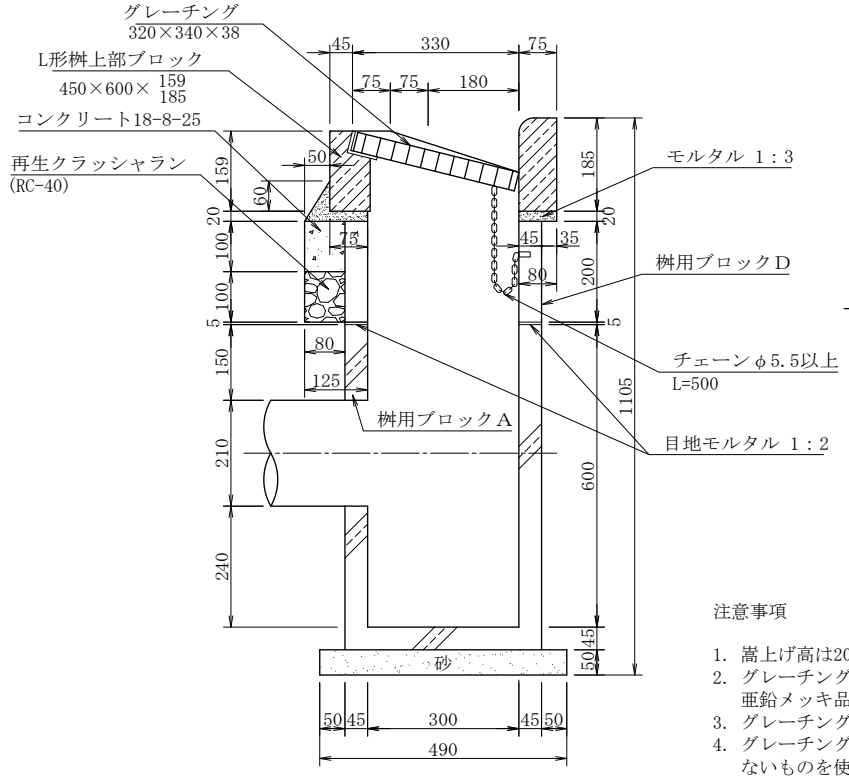
大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
100 排　水　工	Ｌ形側溝桝工	Ｃ－２，Ｃ－３	R7.4

Ｌ 形 側 溝 桝 工

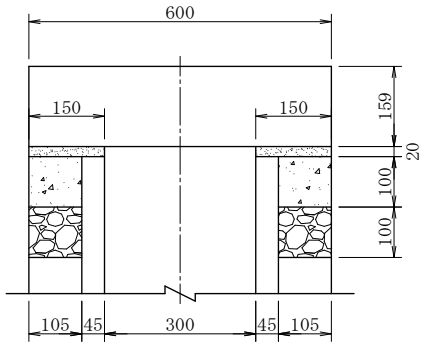
平　面　図



Ａ－Ａ　断　面　図



Ｂ－Ｂ　断　面　図



注意事項

1. 嵩上げ高は20cmを標準とする。
2. グレーチングの材質は、一般構造用圧延鋼材（SS-400）とし、溶融亜鉛メッキ品とする。
3. グレーチングの主部材の表面部は、ノンスリップ加工処理とする。
4. グレーチングの寸法については、設計荷重を満足し納まり等支障のないものを使用してよいものとする。
5. 受枠はグレーチングがずれることがないようロの字型とし、４方向に枠を有するものを使用すること。

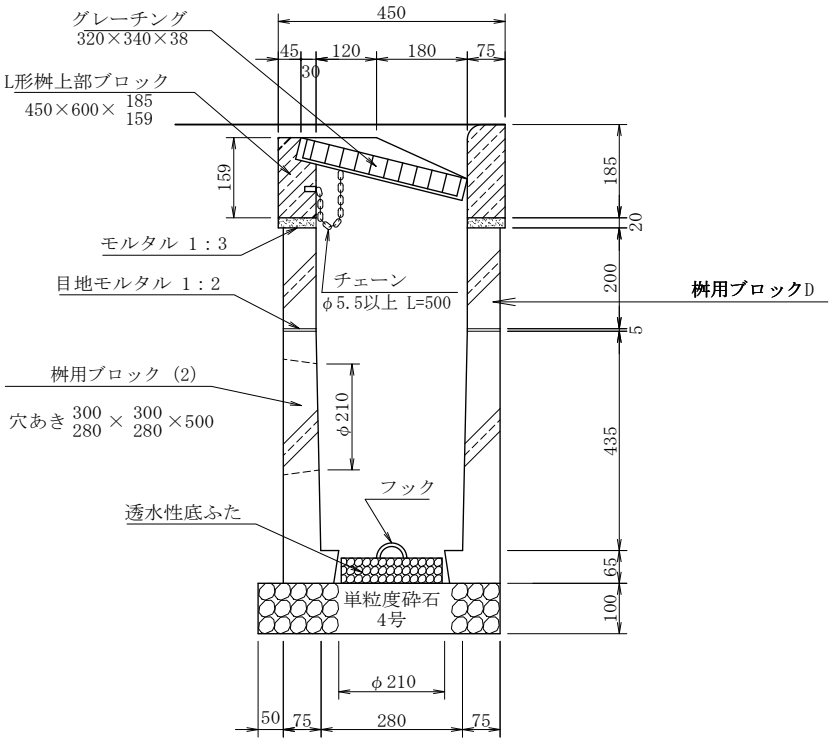
Ｌ 形 側 溝 桝 工 （Ｃ－２，Ｃ－３） 材 料 表

名　称	材料表 10ヶ所当り									摘　要
	砂 クッション用 (m^3)	再生クラッシャラン RC-40 (m^3)	コンクリート 18-8-25 (m^3)	モルタル（m^3）		桝用ブロック（個）		L形桝上部ブロック （個） 450×600× 159 185	グレーチング T-14　（枚） 本体 320×340×38 受枠 340×360×44	
				敷モルタル (1：3)	目地モルタル (1：2)	A 45×300×600	D 45×300×200 F 45×300×100			
側溝桝工（Ｃ－２）	0.120	0.136	0.133	0.045	0.003	10	10（D） 10（F）	10	10（細目）	
側溝桝工（Ｃ－３）	0.120	0.136	0.133	0.045	0.003	10	10（D） 10（F）	10	10（並目）	

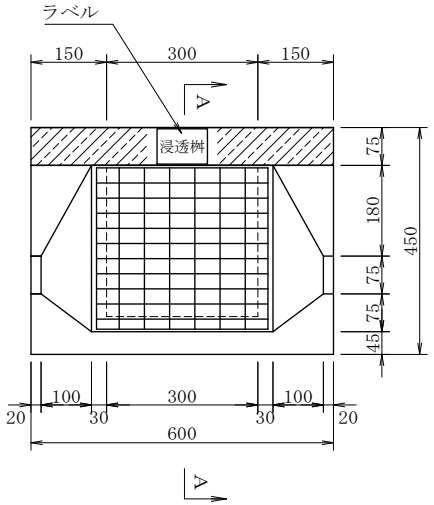
大分類	中分類	小分類	適用年度
100 排水工	L形側溝桝工	C－2，C－3	R7.4

L 形 側 溝 桝 工（浸透用）

A－A 断 面 図



平 面 図



注意事項

1. 嵩上げ高は20cmを標準とする。
2. グレーチングの材質は、一般構造用圧延鋼材（SS-400）とし、溶融亜鉛メッキ品とする。
3. グレーチングの主部材の表面部は、ノンスリップ加工処理とする。
4. グレーチングの寸法については、設計荷重を満足し納まり等支障のないものを使用してよいものとする。
5. 受枠はグレーチングがずれることがないようロの字型とし、４方向に枠を有するものを使用すること。
6. 取付管の位置については、本管等の位置により適宜決めること。但し、桝底より150mm以上上げること。

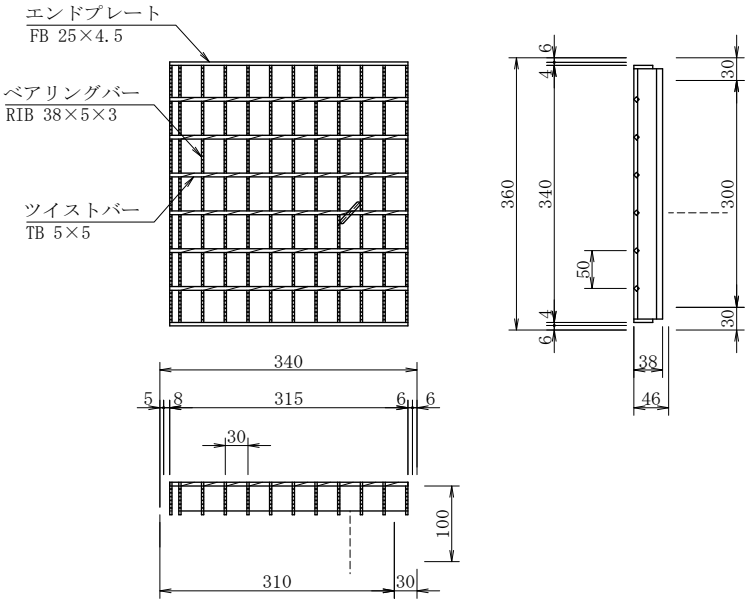
L 形 側 溝 桝 工 （C－2，C－3） 材 料 表

名称	材料表 10ヶ所当り									摘要
	単粒度砕石 4号 (m^3)	モルタル (m^3) 敷モルタル (1：3)	モルタル (m^3) 目地モルタル (1：2)	L形桝上部ブロック (個) 450×600× 185/159	グレーチング T-14用 (組) 本体 320×340×38 受枠 340×360×44	桝用ブロック (個) (2)穴あき 300/280 ×300/280×500	桝用ブロック (個) D 65×300×200 / F 65×300×100	透水性底ふた (枚) φ190，t=50	ラベル (枚) 70×100	
側溝桝工（C－2）	0.254	0.036	0.005	10	10（細目）	10	10(D) / 10(F)	10	10	
側溝桝工（C－3）	0.254	0.036	0.005	10	10（並目）	10	10(D) / 10(F)	10	10	

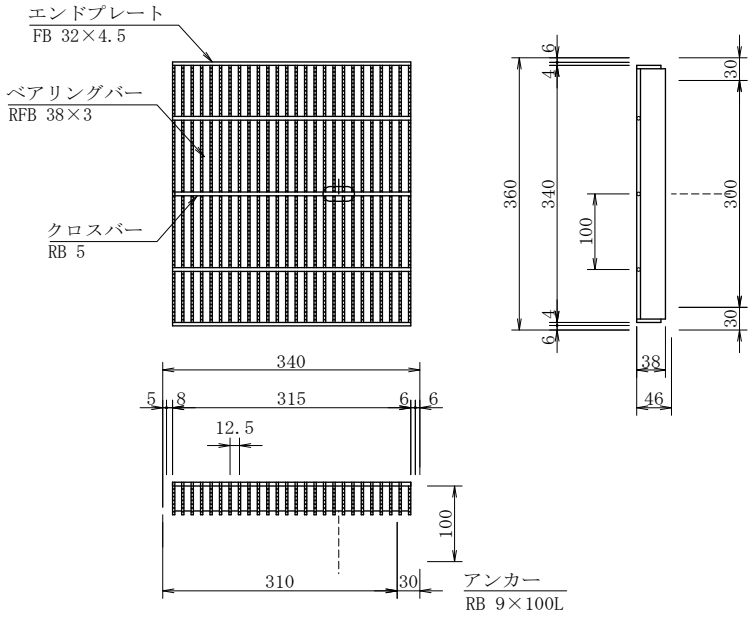
大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
100 排　水　工	L形側溝桝工	C－2，C－3	R7.4

側溝桝用グレーチング

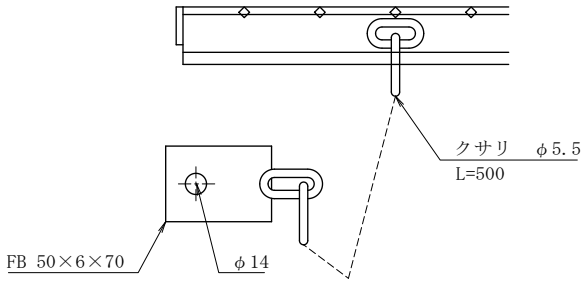
並目グレーチング



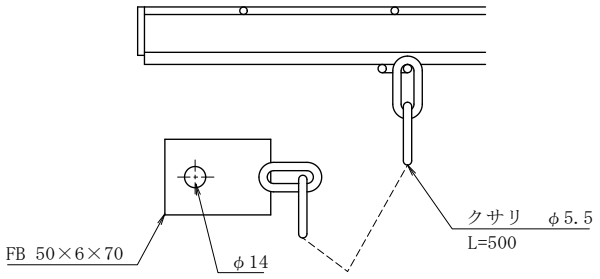
細目グレーチング



並目用クサリ・FBアンカー詳細



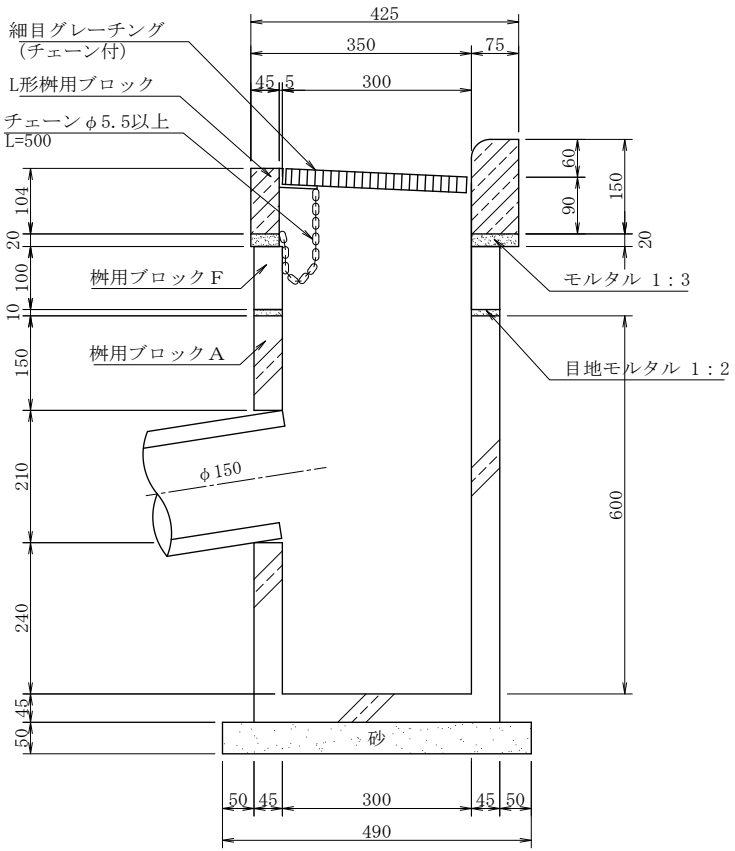
細目用クサリ・FBアンカー詳細



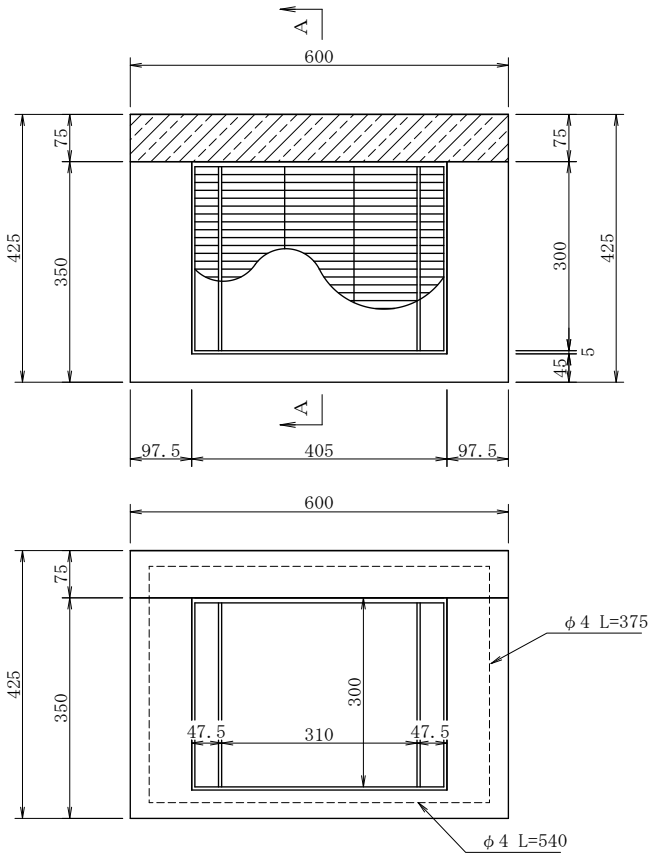
大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
100 排　水　工	L形側溝桝工	C－5，C－6	R7.4

L 形 側 溝 桝 工（歩道用）

A－A　断　面　図



平　面　図



L 形 側 溝 桝 工 （C－5，C－6） 材 料 表

名　称	材料表 10ケ所当り						摘　要
	砂 クッション用 (m^3)	桝用ブロック（個） A 45×300×600	桝用ブロック（個） D 45×300×200	桝用ブロック（個） F 45×300×100	L形桝上部ブロック（個） 425×600×150/104	グレーチング T-2用 細目(組) 本体 292×390×25 受枠 310×410×31	グレーチング T-14用 細目(組) 本体 290×390×25 受枠 310×410×31	
L形側溝桝工(C－5)	0.120	10	10(D) / 10(F)		10	10	——	
L形側溝桝工(C－6)	0.120	10	10(D) / 10(F)		10	——	10	

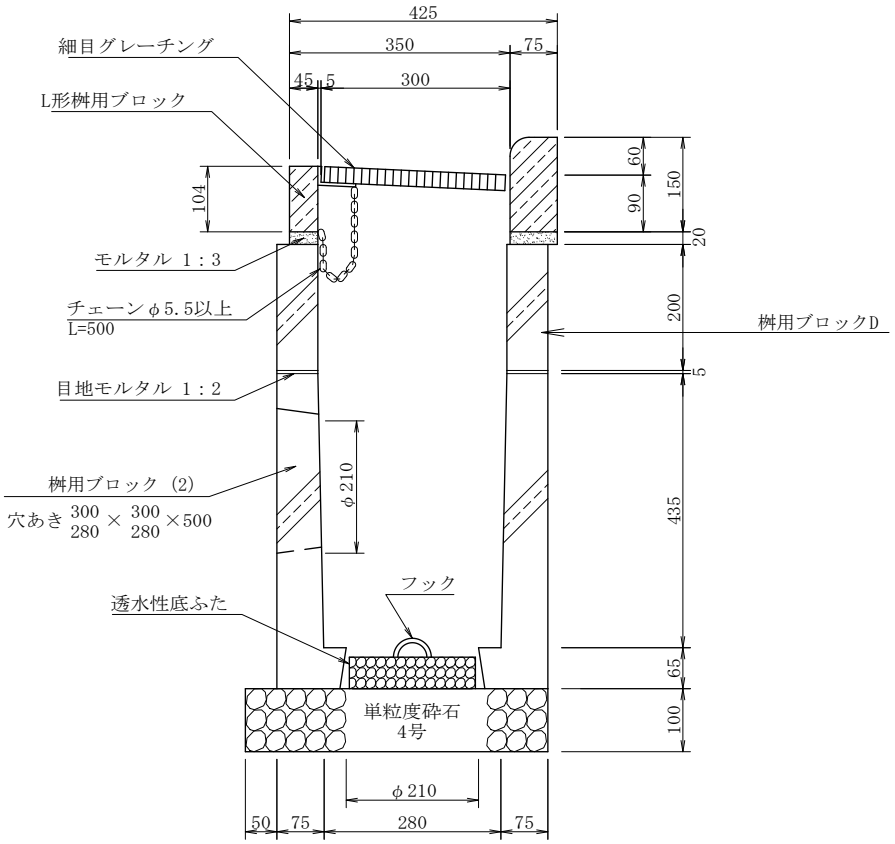
注意事項

1. 嵩上げ高は10cmを標準とする。
2. グレーチングの材質は、一般構造用圧延鋼材（SS-400）とし、溶融亜鉛メッキ品とする。
3. グレーチングの主部材の表面部は、ノンスリップ加工処理とする。
4. グレーチングの寸法については、設計荷重を満足し納まり等支障のないものを使用してよいものとする。
5. 受枠はグレーチングがずれることがないようロの字型とし、４方向に枠を有するものを使用すること。

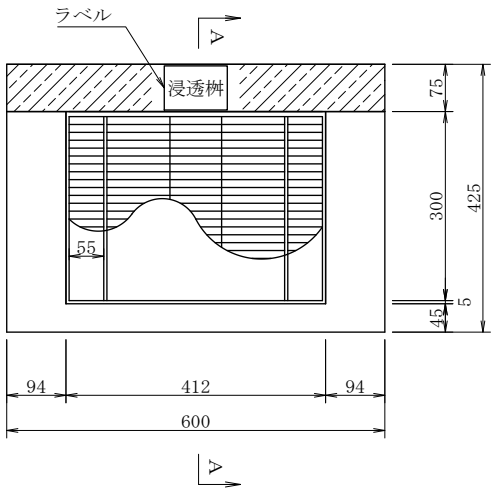
大分類	中分類	小分類	適用年度
100 排水工	L形側溝桝工	C－5，C－6	R7.4

L 形 側 溝 桝 工（歩道用・浸透用）

A－A 断 面 図



平 面 図



注意事項

1. 嵩上げ高は10cmを標準とする。
2. グレーチングの材質は、一般構造用圧延鋼材（SS-400）とし、溶融亜鉛メッキ品とする。
3. グレーチングの主部材の表面部は、ノンスリップ加工処理とする。
4. グレーチングの寸法については、設計荷重を満足し納まり等支障のないものを使用してよいものとする。
5. 受枠はグレーチングがずれることがないようロの字型とし、４方向に枠を有するものを使用すること。
6. 取付管の位置については、本管等の位置により適宜決めること。
但し、桝底より150mm以上上げること。

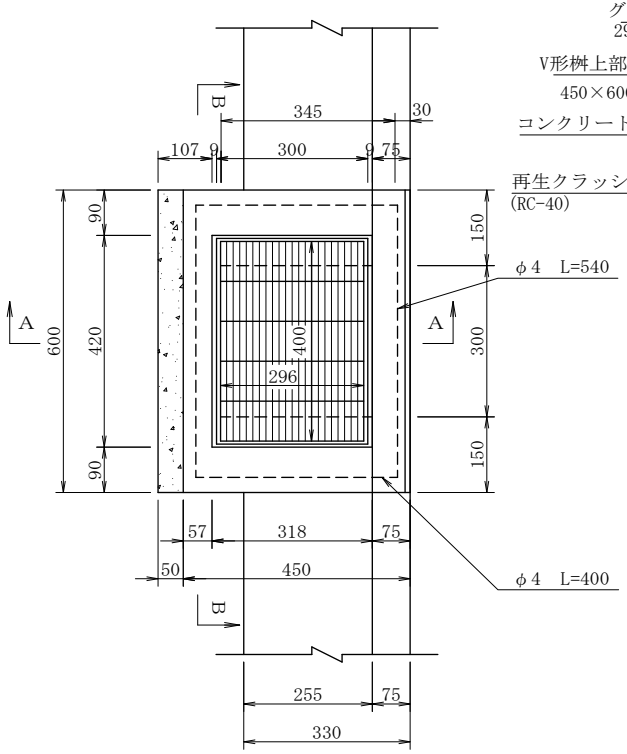
L 形 側 溝 桝 工 （C－5，C－6） 材 料 表

名称	材料表 10ヶ所当り										摘要
	単粒度砕石 4号 (m^3)	モルタル (m^3)		L形桝上部ブロック (個) 425×600× 150/104	グレーチング T-2用 細目(組) 本体 292×390×25 受枠 310×410×31	グレーチング T-14用 細目(組) 本体 290×390×25 受枠 310×410×31	桝用ブロック（個）		透水性底ふた (枚) φ190，t=50	ラベル (枚) 70×100	
		敷モルタル (1：3)	目地モルタル (1：2)				(2)穴あき 300/280 ×300/280×500	D 65×300×200 F 65×300×100			
L形側溝桝工（C－5）	0.254	0.019	0.005	10	10	——	10	10(D) 10(F)	10	10	
L形側溝桝工（C－6）	0.254	0.019	0.005	10	——	10	10	10(D) 10(F)	10	10	

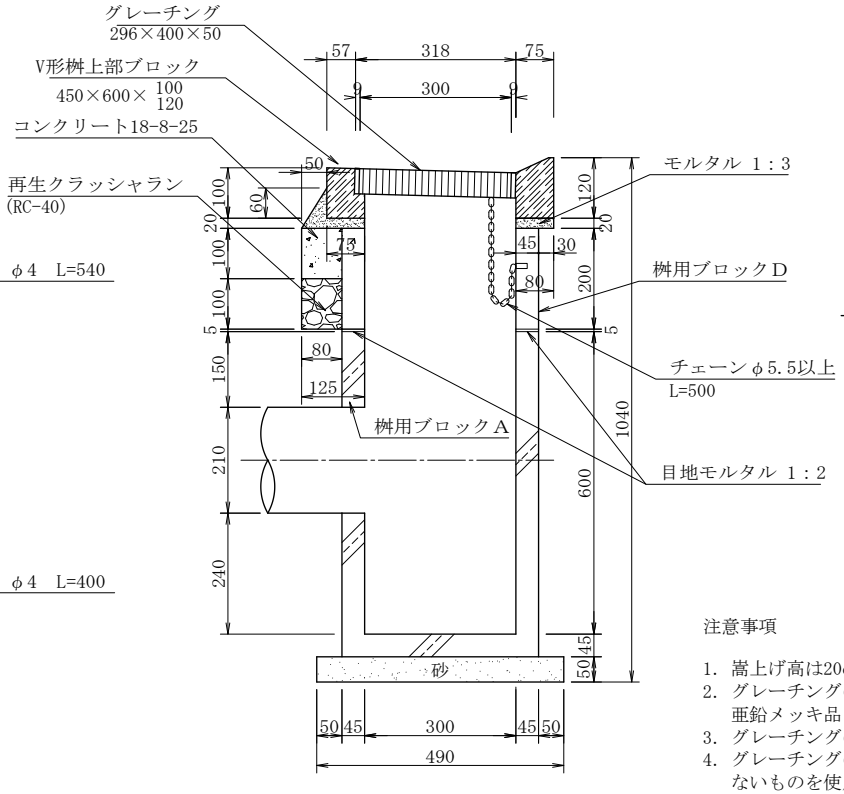
大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
100 排　水　工	Ｖ形側溝桝工	（Ａ）	R7.4

Ｖ 形 側 溝 桝 工

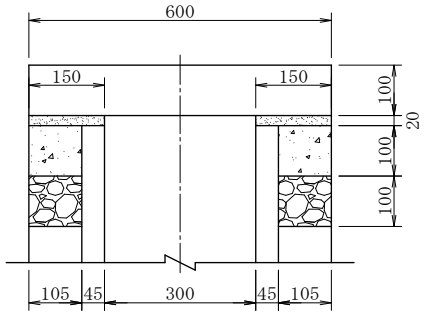
平　面　図



Ａ－Ａ　断　面　図



Ｂ－Ｂ　断　面　図



注意事項

1. 嵩上げ高は20cmを標準とする。
2. グレーチングの材質は、一般構造用圧延鋼材（SS-400）とし、溶融亜鉛メッキ品とする。
3. グレーチングの主部材の表面部は、ノンスリップ加工処理とする。
4. グレーチングの寸法については、設計荷重を満足し納まり等支障のないものを使用してよいものとする。
5. 受枠はグレーチングがずれることがないようロの字型とし、４方向に枠を有するものを使用すること。

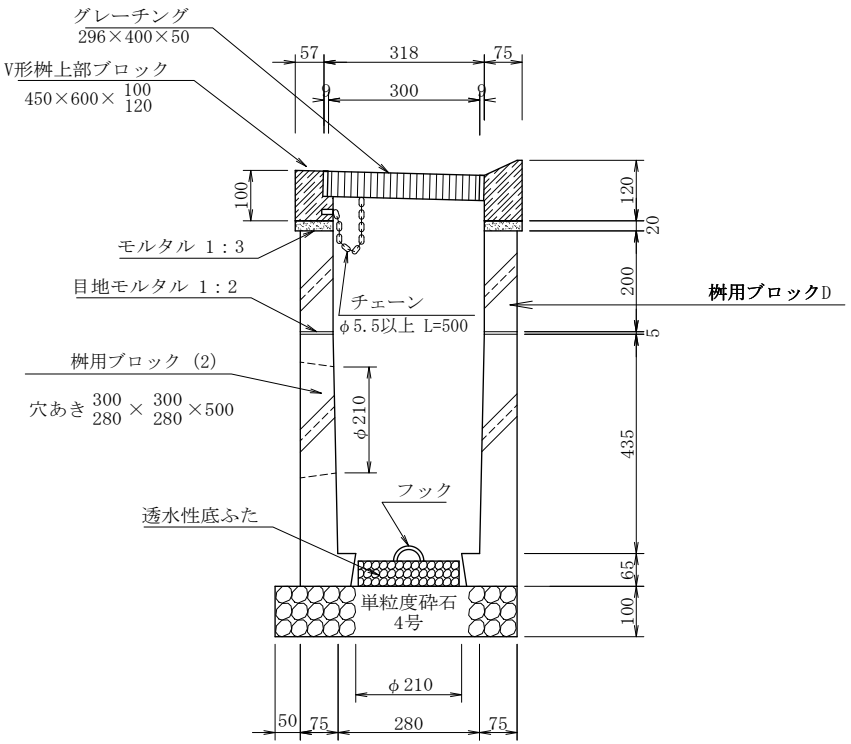
Ｖ 形 側 溝 桝 工　材 料 表

名　称	材料表 10ヶ所当り									摘　要
	砂 クッション用 (m^3)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 (m^3)	コンクリート 18-8-25 (m^3)	モルタル（m^3）		桝用ブロック（個）		V形桝上部ブロック （個） 450×600×100/120	グレーチング （組） 本体 296×400×50 受枠 320×422×56	
				敷モルタル (1：3)	目地モルタル (1：2)	A 45×300×600	D 45×300×200 F 45×300×100			
Ｖ形側溝桝工（Ａ－１）	0.120	0.136	0.133	0.045	0.003	10	10（D） 10（F）	10	10（細目）	車道用（Ｔ－１４）
Ｖ形側溝桝工（Ａ－２）	0.120	0.136	0.133	0.045	0.003	10	10（D） 10（F）	10	10（細目）	歩道用（Ｔ－２）

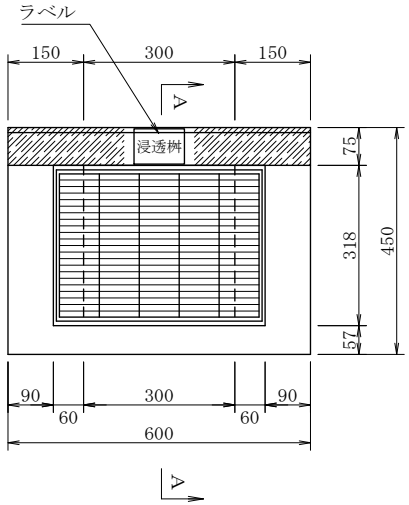
大分類	中分類	小分類	適用年度
100 排水工	V形側溝桝工	（B）	R7.4

V 形 側 溝 桝 工（浸透用）

A－A 断 面 図



平 面 図



注意事項

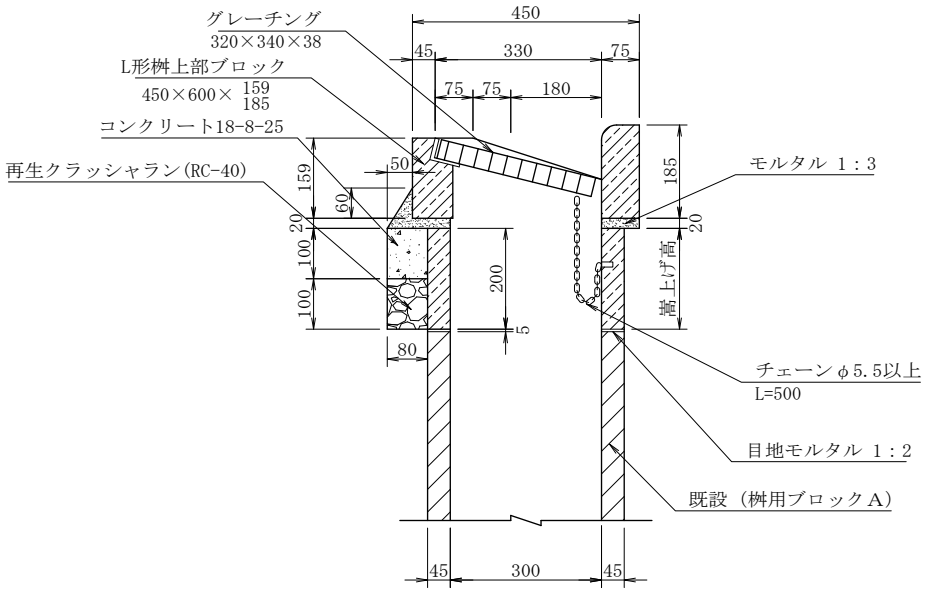
1. 嵩上げ高は20cmを標準とする。
2. グレーチングの材質は、一般構造用圧延鋼材（SS-400）とし、溶融亜鉛メッキ品とする。
3. グレーチングの主部材の表面部は、ノンスリップ加工処理とする。
4. グレーチングの寸法については、設計荷重を満足し納まり等支障のないものを使用してよいものとする。
5. 受枠はグレーチングがずれることがないようロの字型とし、４方向に枠を有するものを使用すること。
6. 取付管の位置については、本管等の位置により適宜決めること。但し、桝底より150㎜以上上げること。

V 形 側 溝 桝 工　材 料 表

名称	材料表（10ヶ所当り）									摘要
	単粒度砕石 4号 (m^3)	モルタル (m^3)		V形桝上部ブロック (個) 450×600× 100/120	グレーチング (枚) 本体 296×400×50 受枠 320×422×56	桝用ブロック（個）		透水性底ふた (枚) φ190, t=50	ラベル (枚) 70×100	
		敷モルタル (1：3)	目地モルタル (1：2)			(2)穴あき 300/280 ×300/280×500	D 65×300×200 / F 65×300×100			
V形側溝桝工（A－1）	0.254	0.036	0.005	10	10（細目）	10	10(D) / 10(F)	10	10	車道用（T－14）
V形側溝桝工（A－2）	0.254	0.036	0.005	10	10（細目）	10	10(D) / 10(F)	10	10	歩道用（T－2）

大分類	中分類	小分類	適用年度
100 排水工	L形側溝桝上部工	L形側溝桝上部工	R7.4

L 形 側 溝 桝 上 部 工



注意事項

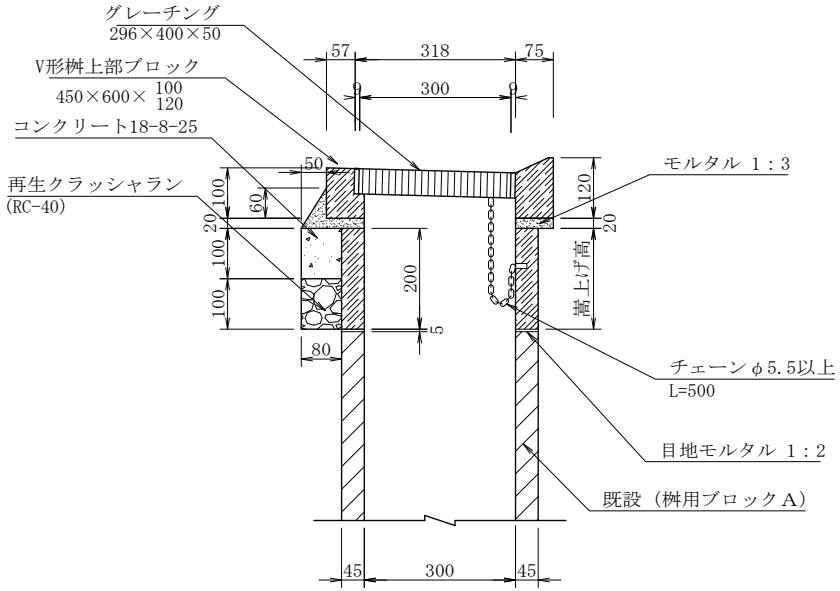
1. グレーチングの材質は、一般構造用圧延鋼材（SS-400）とし、溶融亜鉛メッキ品とする。
2. グレーチングの主部材の表面部は、ノンスリップ加工処理とする。
3. グレーチングの寸法については、設計荷重を満足し納まり等支障のないものを使用してよいものとする。
4. 受枠はグレーチングがずれることがないようロの字型とし、４方向に枠を有するものを使用すること。

側 溝 桝 上 部 工 材 料 表

名称	材料表 10ヶ所当り										摘要
	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 (m^3)	コンクリート 18-8-25 (m^3)	モルタル (m^3)		桝用ブロック（個）			L形桝上部ブロック 450×600× 159 185 （個）	グレーチング(枚) 本体 320×340×38 受枠 340×360×44	型枠 (m^2)	
			敷モルタル (1：3)	目地モルタル (1：2)	D 200×300×45	E 300×300×45	F 100×300×45				
嵩上げ無（基礎Co無）	——	——	0.038	——	——	——	——	10	10（並目） 10（細目）	——	
嵩上げ無（基礎Co有）	0.148	0.148	0.038	——	——	——	——	10	10（並目） 10（細目）	1.15	
嵩上げ高 (H= 5cm)	0.148	0.179	0.038	——	——	——	——	10	10（並目） 10（細目）	1.75	嵩上げ部分現場打ち
嵩上げ高 (H=10cm)	0.148	0.148	0.038	0.003	——	——	10	10	10（並目） 10（細目）	1.15	
嵩上げ高 (H=20cm)	0.148	0.148	0.038	0.003	10	——	——	10	10（並目） 10（細目）	1.15	
嵩上げ高 (H=30cm)	0.148	0.148	0.038	0.003	——	10	——	10	10（並目） 10（細目）	1.15	
嵩上げ高 (H=40cm)	0.148	0.148	0.038	0.006	20	——	——	10	10（並目） 10（細目）	1.15	
嵩上げ高 (H=50cm)	0.148	0.148	0.038	0.006	10	10	——	10	10（並目） 10（細目）	1.15	

大分類	中分類	小分類	適用年度
100 排水工	V形側溝桝上部工	V形側溝桝上部工	R7.4

V 形 側 溝 桝 上 部 工



注意事項

1. グレーチングの材質は、一般構造用圧延鋼材（SS-400）とし、溶融亜鉛メッキ品とする。
2. グレーチングの主部材の表面部は、ノンスリップ加工処理とする。
3. グレーチングの寸法については、設計荷重を満足し納まり等支障のないものを使用してよいものとする。
4. 受枠はグレーチングがずれることがないようロの字型とし、４方向に枠を有するものを使用すること。

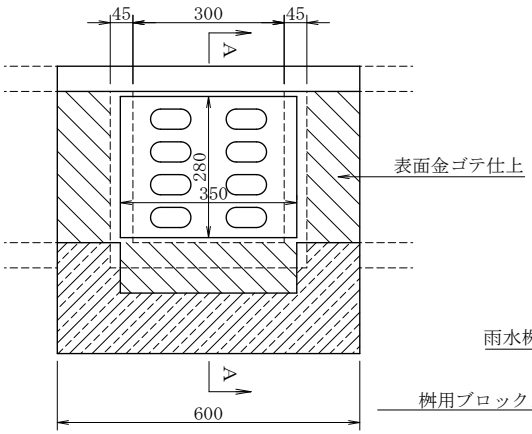
側 溝 桝 上 部 工 材 料 表

名称	材料表 10ヶ所当り										摘要
	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 (m³)	コンクリート 18-8-25 (m³)	モルタル (m³) 敷モルタル (1：3)	モルタル (m³) 目地モルタル (1：2)	桝用ブロック（個） D 200×300×45	桝用ブロック（個） E 300×300×45	桝用ブロック（個） F 100×300×45	V形桝上部ブロック 450×600× 100/120 (個)	グレーチング(組) 本体 296×400×50 受枠 320×422×56	型枠 (m²)	
嵩上げ無（基礎Co無）	——	——	0.038	——	——	——	——	10	10（細目）	——	
嵩上げ無（基礎Co有）	0.148	0.148	0.038	——	——	——	——	10	10（細目）	1.15	
嵩上げ高 (H= 5cm)	0.148	0.179	0.038	——	——	——	——	10	10（細目）	1.75	嵩上げ部分 現場打ち
嵩上げ高 (H=10cm)	0.148	0.148	0.038	0.003	——	——	10	10	10（細目）	1.15	
嵩上げ高 (H=20cm)	0.148	0.148	0.038	0.003	10	——	——	10	10（細目）	1.15	
嵩上げ高 (H=30cm)	0.148	0.148	0.038	0.003	——	10	——	10	10（細目）	1.15	
嵩上げ高 (H=40cm)	0.148	0.148	0.038	0.006	20	——	——	10	10（細目）	1.15	
嵩上げ高 (H=50cm)	0.148	0.148	0.038	0.006	10	10	——	10	10（細目）	1.15	

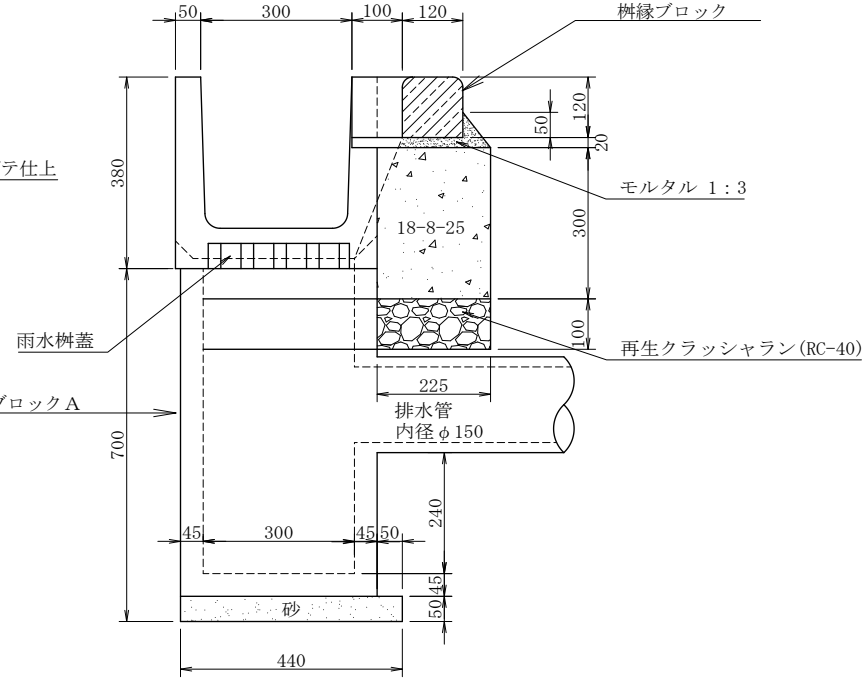
大分類	中分類	小分類	適用年度
100 排水工	雨水桝工	A	R7.4

雨水桝工

平面図



A－A 断面図



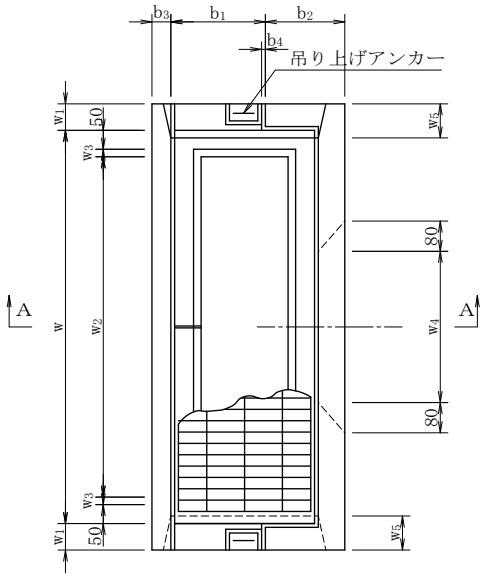
雨水桝工（A） 材料表

名称	材料表 10ヶ所当り									摘要
	砂 クッション用 (m^3)	再生クラッシャラン RC-40 (m^3)	コンクリート 18-8-25 (m^3)	敷モルタル (m^3) (1：3)	排水管 内径150mm (本)	桝用ブロックA 600×300×45（個）	桝縁ブロック 600×120×120（個）	雨水桝蓋 280×350×50（枚）	型枠 (m^2)	
雨水桝工（A）	0.108	0.170	0.710	0.034	10	10	10	10	8.11	

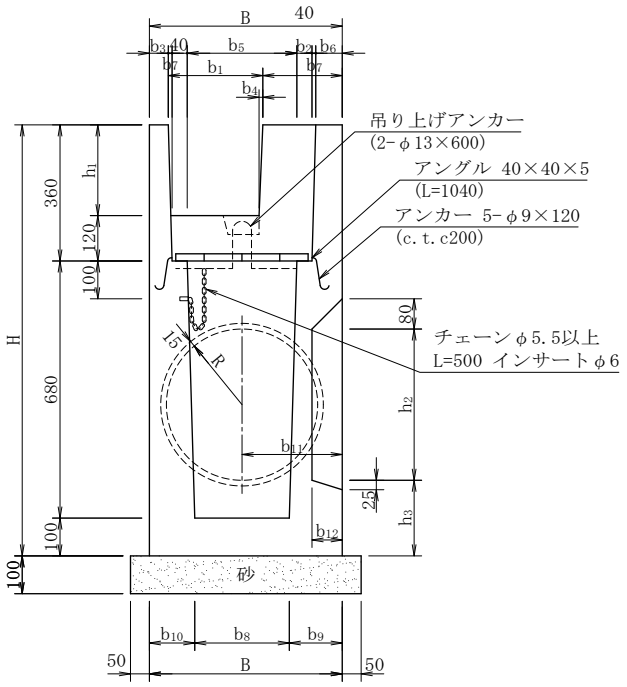
大分類	中分類	小分類	適用年度
100 排水工	雨水桝工	B	R7.4

雨水桝工

平面図



A－A 断面図



雨水桝工（U形側溝A240，300用）材料表

名称	材料表 10ヶ所当り			摘要
	砂 クッション用 (m^3)	雨水桝ブロック (個)	スクリーングレーチング (寸法)	
雨水桝工B（U形240用）	0.780	10	1001×350×19	
雨水桝工B（U形300用）	0.884	10	1001×400×19	

注意事項

1. 桝は鉄筋コンクリート製品とする。
2. グレーチングの材質は、一般構造用圧延鋼材（SS-400）とし、溶融亜鉛メッキ品とする。
3. グレーチングの寸法については、設計荷重を満足し納まり等支障のないものを使用してよいものとする。
4. 受枠はグレーチングがずれることがないようロの字型とし、4方向に枠を有するものを使用すること。
5. 取付管の位置については、本管等の位置により適宜決めること。但し、桝底より150㎜以上上げること。

雨水桝工（U形側溝A240，300用）寸法表

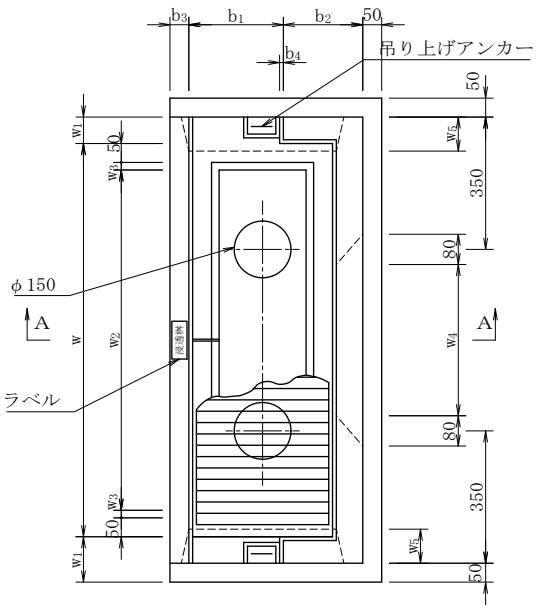
単位（㎜）

名称	寸法表																								摘要
	B	b_1	b_2	b_3	b_4	b_5	b_6	b_7	b_8	b_9	b_{10}	b_{11}	b_{12}	R	H	h_1	h_2	h_3	w	w_1	w_2	w_3	w_4	w_5	
雨水桝工B（U形240用）	510	250	210	50	10	290	70	10	250	140	120	265	80	200	1140	240	400	200	1040	70	900	20	400	90	
雨水桝工B（U形300用）	580	310	217	53	20	334	73	20	300	150	130	300	100	235	1200	300	480	200	1034	83	900	17	500	100	

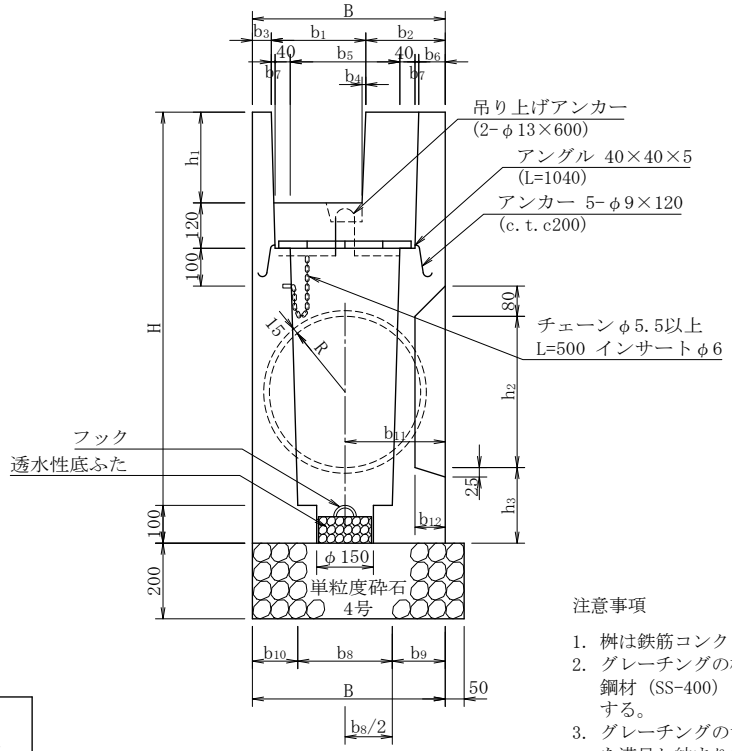
大分類	中分類	小分類	適用年度
100 排水工	雨水桝工	B	R7.4

雨　水　桝　工（浸透用）

平　面　図



A－A　断　面　図



注意事項

1. 桝は鉄筋コンクリート製品とする。
2. グレーチングの材質は、一般構造用圧延鋼材（SS-400）とし、溶融亜鉛メッキ品とする。
3. グレーチングの寸法については、設計荷重を満足し納まり等支障のないものを使用してよいものとする。
4. 受枠はグレーチングがずれることがないようロの字型とし、４方向に枠を有するものを使用すること。
5. 取付管の位置については、本管等の位置により適宜決めること。但し、桝底より150㎜以上上げること。

雨水桝工（U形側溝A240，300用）材料表

名　称	材料表 10ヶ所当り					摘　要
	単粒度砕石 4号 (m^3)	雨水桝 ブロック (有孔)（個）	スクリーングレーチング （寸　法）	透水性底ふた φ130，t=80 (枚)	ラベル 40×100 (枚)	
雨水桝工B（U形240用）	1.434	10	1001×350×19	20	10	
雨水桝工B（U形300用）	1.638	10	1001×400×19	20	10	

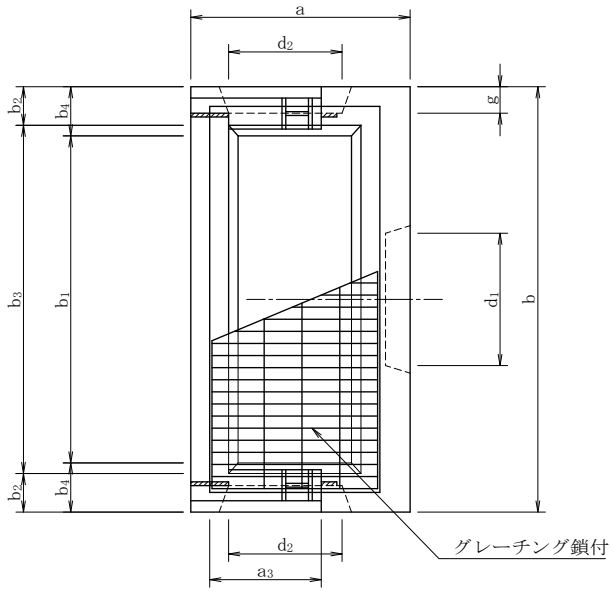
雨水桝工（U形側溝A240，300用）寸法表

名　称	寸法表 単位（㎜）																								摘　要
	B	b_1	b_2	b_3	b_4	b_5	b_6	b_7	b_8	b_9	b_{10}	b_{11}	b_{12}	R	H	h_1	h_2	h_3	w	w_1	w_2	w_3	w_4	w_5	
雨水桝工B（U形240用）	510	250	210	50	10	290	70	10	250	140	120	265	80	200	1140	240	400	200	1040	70	900	20	400	90	
雨水桝工B（U形300用）	580	310	217	53	20	334	73	20	300	150	130	300	100	235	1200	300	480	200	1034	83	900	17	500	100	

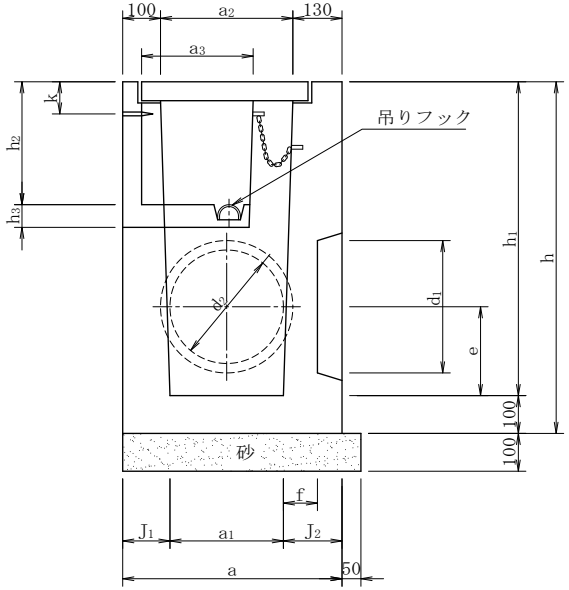
大分類	中分類	小分類	適用年度
100 排水工	雨水桝工	C	R7.4

雨水桝工

平面図



断面図



雨水桝工（U形側溝A240，300用）材料表

名称	材料表 10ヶ所当り		摘要
	砂 (m^3)	雨水桝ブロック (個)	
雨水桝工(U形240用)	0.772	10	
雨水桝工(U形300用)	0.833	10	

注意事項

1. 桝は鉄筋コンクリート製品とする。
2. グレーチングの材質は、一般構造用圧延鋼材（SS-400）とし、溶融亜鉛メッキ品とする。
3. グレーチングの主部材の表面部は、ノンスリップ加工処理とする。
4. 車道用は、T-14並目、T-20並目、歩道用は、T-2細目、歩道乗入部は、T-14細目とする。
5. 受枠はグレーチングがずれることがないようロの字型とし、４方向に枠を有するものを使用すること。
6. 取付管の位置については、本管等の位置により適宜決めること。但し、桝底より150㎜以上上げること。

雨水桝工（U形側溝A240，300用）寸法表

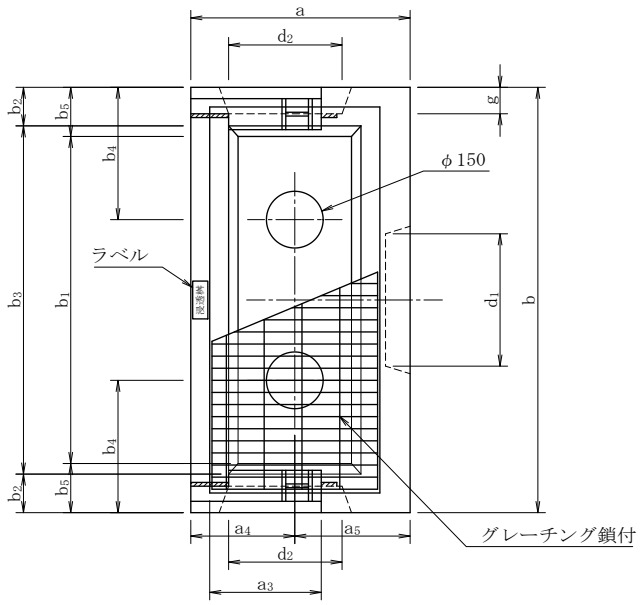
単位（mm）

名称	寸法表																					摘要
	a	a_1	a_2	a_3	b	b_1	b_2	b_3	b_4	h	h_1	h_2	h_3	d_1	d_2	e	f	g	J_1	J_2	k	
雨水桝工(U形240用)	580	300	350	295	1125	865	102	921	130	930	830	325	60	350	300	235	90	70	125	155	85	
雨水桝工(U形300用)	630	350	400	360	1125	865	101	923	130	1100	1000	385	75	450	450	250	90	70	125	155	85	

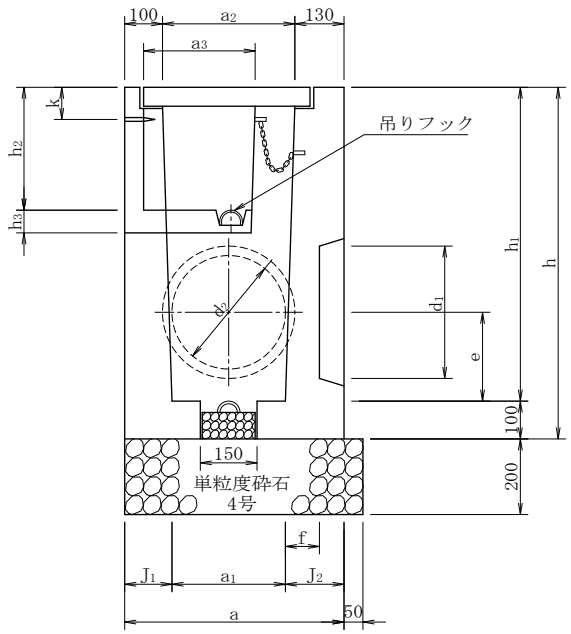
大分類	中分類	小分類	適用年度
100 排水工	雨水桝工	C	R7.4

雨　水　桝　工（浸透用）

平　面　図



断　面　図



雨水桝工（U形側溝A240，300用）材料表

名　称	材料表			10ヶ所当り	摘　要
	単粒度砕石 4号 (m^3)	雨水桝ブロック （有孔）（個）	透水性底ふた φ130，t=80（枚）	ラベル（枚） 40×100	
雨水桝工(U形240用)	1.544	10	20	10	
雨水桝工(U形300用)	1.666	10	20	10	

注意事項

1. 桝は鉄筋コンクリート製品とする。
2. グレーチングの材質は、一般構造用圧延鋼材（SS-400）とし、溶融亜鉛メッキ品とする。
3. グレーチングの主部材の表面部は、ノンスリップ加工処理とする。
4. 車道用は、T-14並目、T-20並目、歩道用は、T-2細目、歩道乗入部は、T-14細目とする。
5. 受枠はグレーチングがずれることがないようロの字型とし、４方向に枠を有するものを使用すること。
6. 取付管の位置については、本管等の位置により適宜決めること。但し、桝底より150㎜以上上げること。

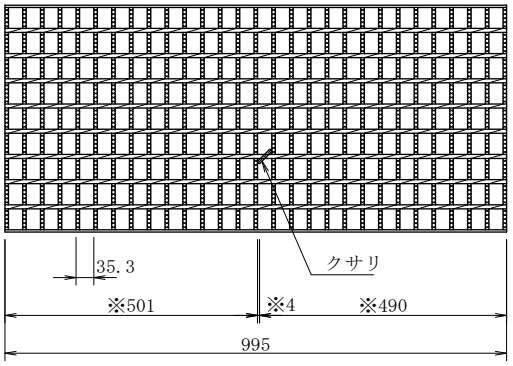
雨水桝工（U形側溝A240，300用）寸法表

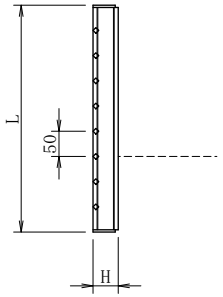
名　称	寸法表 単位（㎜）																								摘　要
	a	a_1	a_2	a_3	a_4	a_5	b	b_1	b_2	b_3	b_4	b_5	h	h_1	h_2	h_3	d_1	d_2	e	f	g	J_1	J_2	k	
雨水桝工(U形240用)	580	300	350	295	275	305	1125	865	102	921	350	130	930	830	325	60	350	300	235	90	70	125	155	85	
雨水桝工(U形300用)	630	350	400	360	300	330	1125	865	101	923	350	130	1100	1000	385	75	450	450	250	90	70	125	155	85	

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
100 排　水　工	雨 水 桝 工	C	R7.4

雨水桝用グレーチング

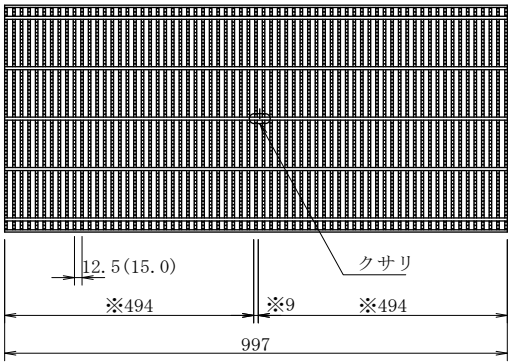
車道部並目グレーチング

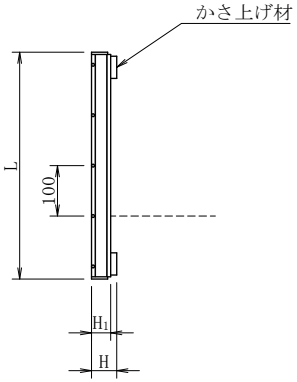




図中※寸法は、2枚割の寸法を示す。

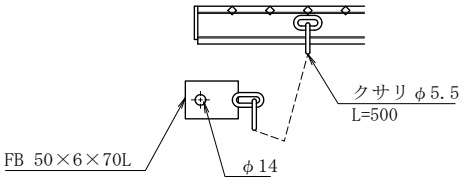
歩道乗入部細目・歩道部細目グレーチング



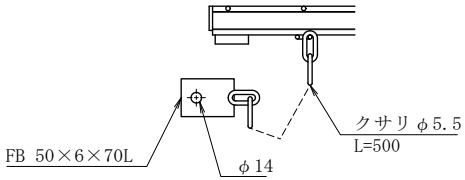


図中※寸法は、2枚割の寸法を示す。
（　）内寸法は、溝幅450用を示す。

並目用クサリ・FBアンカー詳細



細目用クサリ・FBアンカー詳細



雨水桝（U形側溝240,300用）寸法・材料表（10ヶ所当り）

名称	区　分	寸　法			数量	参考重量	摘　要
		L	H	H_1	（枚）	（kg/枚）	
240	車道部並目(T-20)	450	50	—	10	31.0	
	車道部並目(T-14)	450	50	—	10	31.0	
	歩道乗入部細目(T-14)	450	50	38	20	21.8	※
	歩道部細目(T-2)	450	50	25	10	29.4	
300	車道部並目(T-20)	500	50	—	10	34.4	
	車道部並目(T-14)	500	50	—	10	34.4	
	歩道乗入部細目(T-14)	500	50	38	20	23.7	※
	歩道部細目(T-2)	500	50	25	10	32.0	

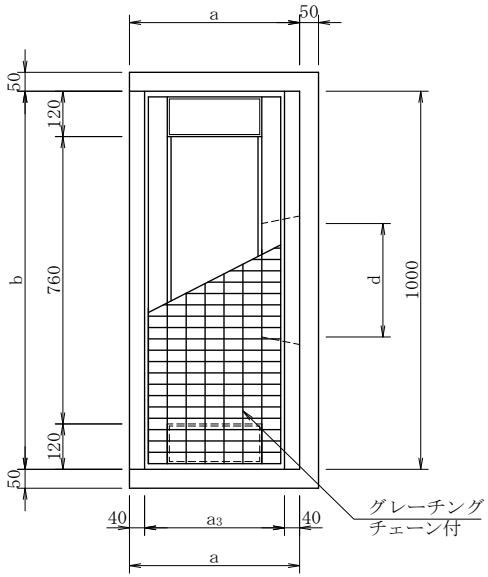
注意事項

1. グレーチングの材質は、一般構造用圧延鋼材（SS-400）とし、溶融亜鉛メッキ品とする。
2. グレーチングの主部材の表面部は、ノンスリップ加工処理とする。
3. 車道用は、T-14並目、T-20並目、歩道用は、T-2細目、歩道乗入部は、T-14細目とする。
4. グレーチングの寸法については、設計荷重を満足し納まり等支障のないものを使用してよいものとする。
5. 受枠はグレーチングがずれることがないようロの字型とし、４方向に枠を有するものを使用すること。

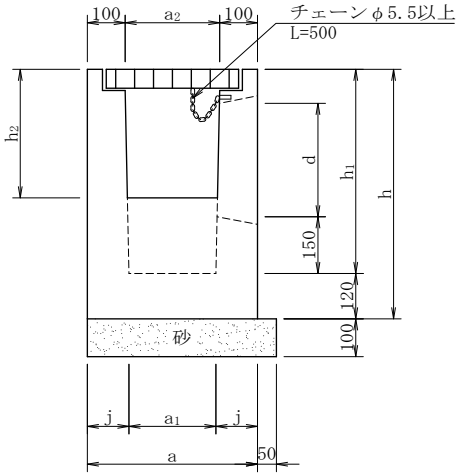
大分類	中分類	小分類	適用年度
100 排水工	雨水桝工	D	R7.4

雨水桝工

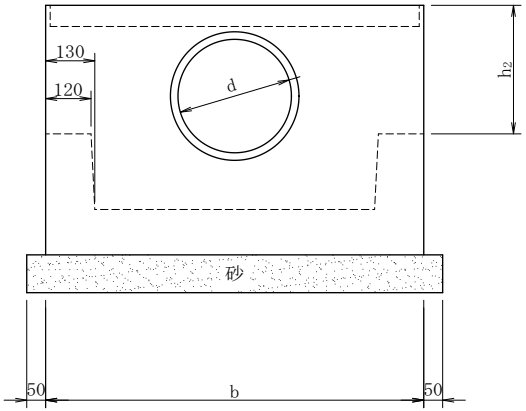
平面図



断面図



正面図



雨水桝工（U形側溝B，C 250，300，400，500用）材料表

名称	材料表 10ヶ所当り			摘要
	砂 (m^3)	雨水桝ブロック (個)	グレーチング蓋 (枚)	
雨水桝工（U形側溝B，C 250用）	0.550	10	10	
雨水桝工（U形側溝B，C 300用）	0.605	10	10	
雨水桝工（U形側溝B，C 400用）	0.715	10	10 or 20	
雨水桝工（U形側溝B，C 500用）	0.825	10	10 or 20	

雨水桝工（U形側溝B，C 250，300，400，500用）寸法表

名称	寸法表 単位（mm）										摘要
	a	a_1	a_2	a_3	b	h	h_1	h_2	d	j	
雨水桝工（U形側溝B，C 250用）	450	230	250	370	1000	660	540	340	300	110	
雨水桝工（U形側溝B，C 300用）	500	260	300	420	1000	920	800	595	400	120	
雨水桝工（U形側溝B，C 400用）	600	360	400	520	1000	920	800	610	450	120	
雨水桝工（U形側溝B，C 500用）	700	450	500	620	1000	1040	920	725	500	125	

注意事項

1. 桝は鉄筋コンクリート製品とする。
2. グレーチングの材質は、一般構造用圧延鋼材（SS-400）とし、溶融亜鉛メッキ品とする。
3. グレーチングの主部材の表面部は、ノンスリップ加工処理とする。
4. 車道用は、T-14並目、T-20並目、歩道用は、T-2細目、歩道乗入部は、T-14細目とする。

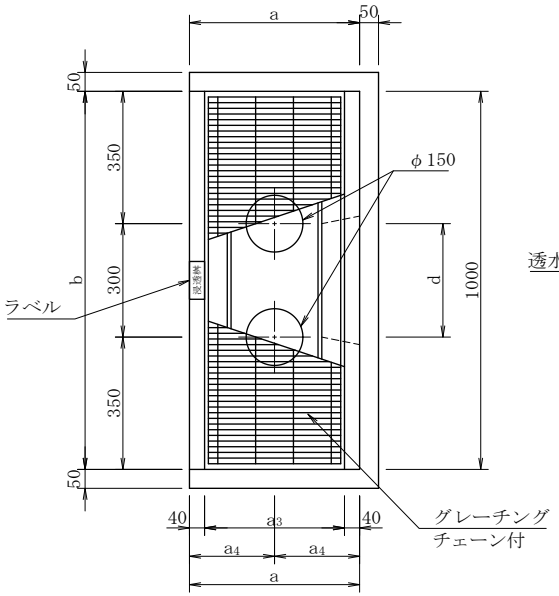
※ 数量、寸法については、雨水桝用グレーチング（D）を参照する。

5. 受枠はグレーチングがずれることがないようロの字型とし、４方向に枠を有するものを使用すること。

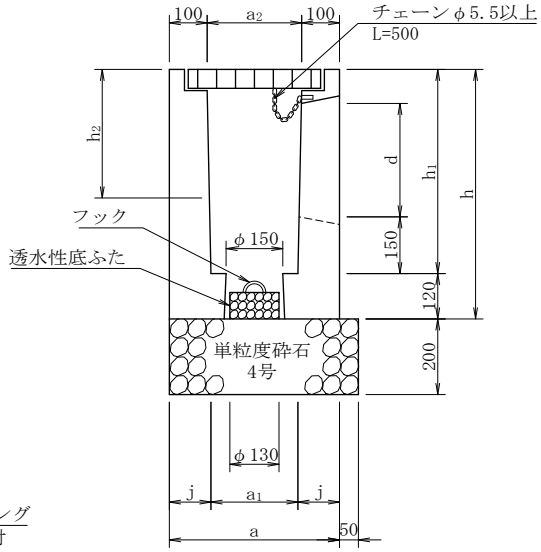
大分類	中分類	小分類	適用年度
100 排水工	雨水桝工	D	R7.4

雨　水　桝　工　（浸透用）

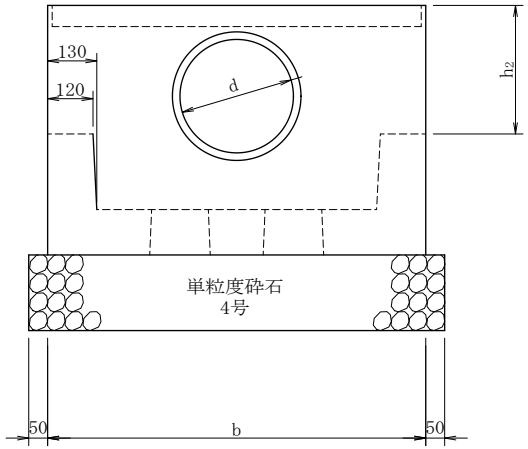
平　面　図



断　面　図



正　面　図



雨水桝工（U形側溝B，C 250，300，400，500用）材料表

名　称	材料表 10ヶ所当り					摘　要
	単粒度砕石 4号 (m^3)	雨水桝ブロック （有孔）（個）	グレーチング蓋 （枚）	透水性底ふた φ130，t=80（枚）	ラベル 40×100 （枚）	
雨水桝工（U形側溝B，C 250用）	1.100	10	10	20	10	
雨水桝工（U形側溝B，C 300用）	1.211	10	10	20	10	
雨水桝工（U形側溝B，C 400用）	1.430	10	10 or 20	20	10	
雨水桝工（U形側溝B，C 500用）	1.650	10	10 or 20	20	10	

雨水桝工（U形側溝B，C 250，300，400，500用）寸法表

名　称	寸法表 単位（mm）											摘　要
	a	a_1	a_2	a_3	a_4	b	h	h_1	h_2	d	j	
雨水桝工（U形側溝B，C 250用）	450	230	250	370	225	1000	660	540	340	300	110	
雨水桝工（U形側溝B，C 300用）	500	260	300	420	250	1000	920	800	595	400	120	
雨水桝工（U形側溝B，C 400用）	600	360	400	520	300	1000	920	800	610	450	120	
雨水桝工（U形側溝B，C 500用）	700	450	500	620	350	1000	1040	920	725	500	125	

注意事項

1. 桝は鉄筋コンクリート製品とする。
2. グレーチングの材質は、一般構造用圧延鋼材（SS-400）とし、溶融亜鉛メッキ品とする。
3. グレーチングの主部材の表面部は、ノンスリップ加工処理とする。
4. 車道用は、T-14並目、T-25並目、歩道用は、T-2細目、歩道乗入部は、T-14細目とする。

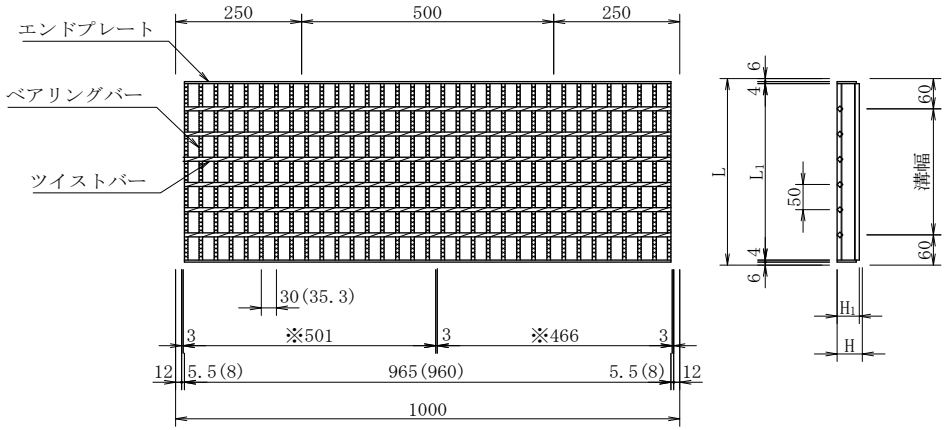
※ 数量、寸法については、雨水桝用グレーチング（D）を参照する。

5. 受枠はグレーチングがずれることがないようロの字型とし、４方向に枠を有するものを使用すること。

大分類	中分類	小分類	適用年度
100 排水工	雨水桝工	D	R7.4

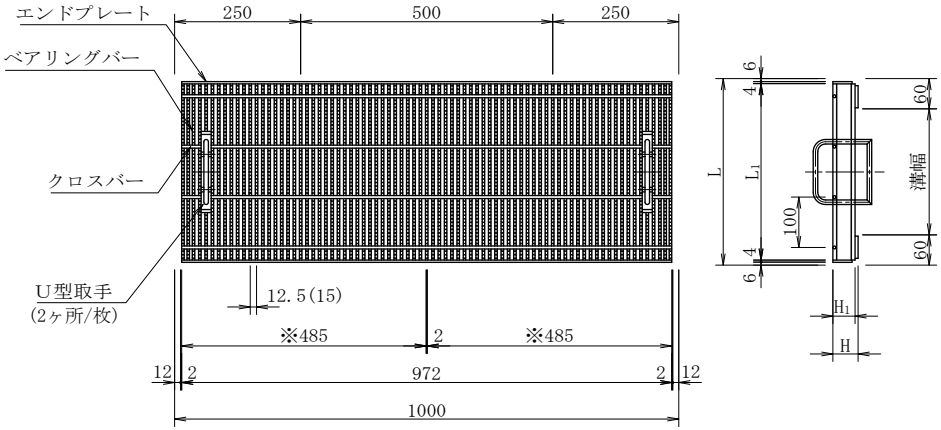
雨水桝用グレーチング

車道部並目グレーチング



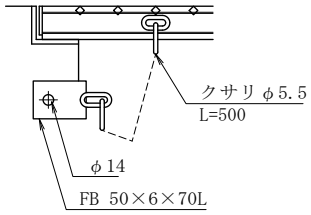
図中(　　)内寸法は、H_1=50以上を示す。
図中※寸法は、2枚割の寸法を示す。

歩道乗入部細目･歩道部細目グレーチング

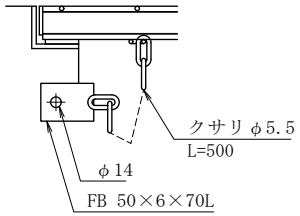


図中※寸法は、2枚割の寸法を示す。
(　) 内寸法は、溝幅400用以上を示す。

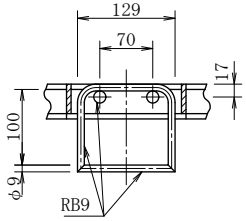
並目用クサリ・FBアンカー詳細



細目用クサリ・FBアンカー詳細



U型取手詳細



注意事項

1. グレーチングの材質は、一般構造用圧延鋼材（SS-400）とし、溶融亜鉛メッキ品とする。
2. グレーチングの主部材の表面部は、ノンスリップ加工処理とする。
3. 車道用は、T-14並目、T-20並目、歩道用は、T-2細目、歩道乗入部は、T-14細目とする。
4. グレーチングの寸法については、設計荷重を満足し納まり等支障のないものを使用してよいものとする。
5. 受枠はグレーチングがずれることがないようロの字型とし、４方向に枠を有するものを使用すること。

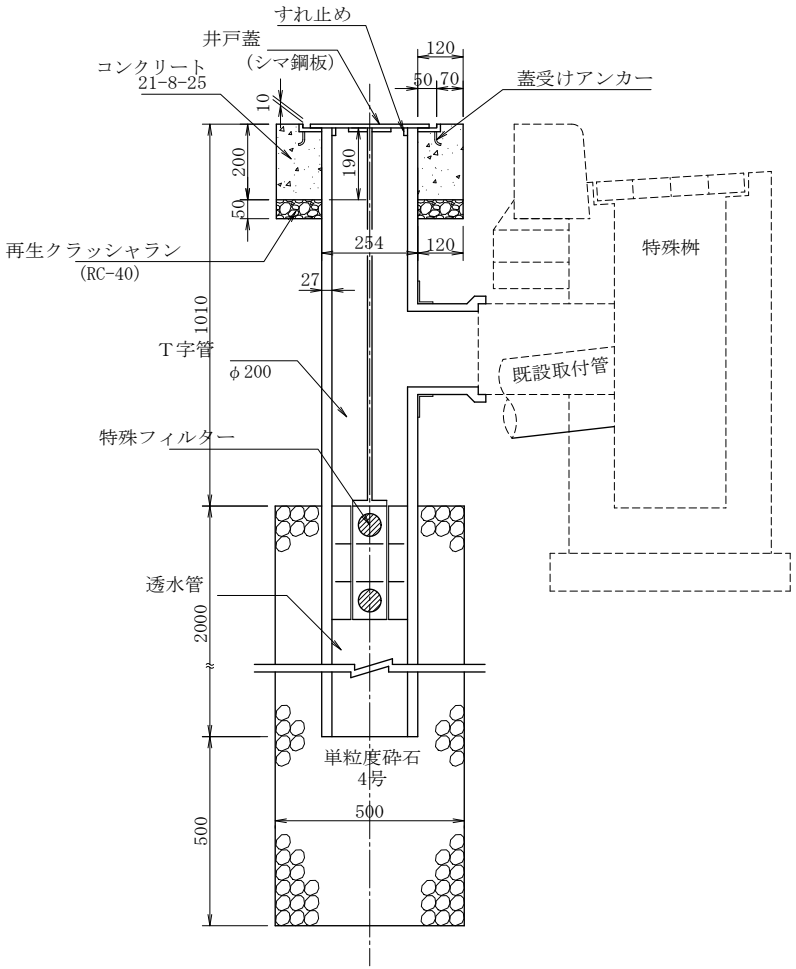
雨水桝(道路用側溝250, 300, 400, 500用) 寸法・材料表(10ヶ所当り)

名称	区分	寸法 L	寸法 L_1	寸法 H	寸法 H_1	数量(枚)	参考重量(kg/枚)	摘要
250	車道部並目(T-20)	370	350	50	44	10	18.2	
	車道部並目(T-14)				44	10	18.2	
	歩道乗入部細目(T-14)				44	10	30.5	
	歩道部細目(T-2)				45	10	22.5	
300	車道部並目(T-20)	420	400	56	50	10	26.8	
	車道部並目(T-14)				50	10	26.8	
	歩道乗入部細目(T-14)				48	10	38.5	
	歩道部細目(T-2)				50	10	25.4	
400	車道部並目(T-20)	520	500	61	55	10	35.9	
	車道部並目(T-14)				55	10	35.9	
	歩道乗入部細目(T-14)				54	20	24.5	※
	歩道部細目(T-2)				55	10	32.1	
500	車道部並目(T-20)	620	600	81	75	20	28.5	※
	車道部並目(T-14)				75	20	28.5	※
	歩道乗入部細目(T-14)				75	20	44.0	※
	歩道部細目(T-2)				75	10	39.5	

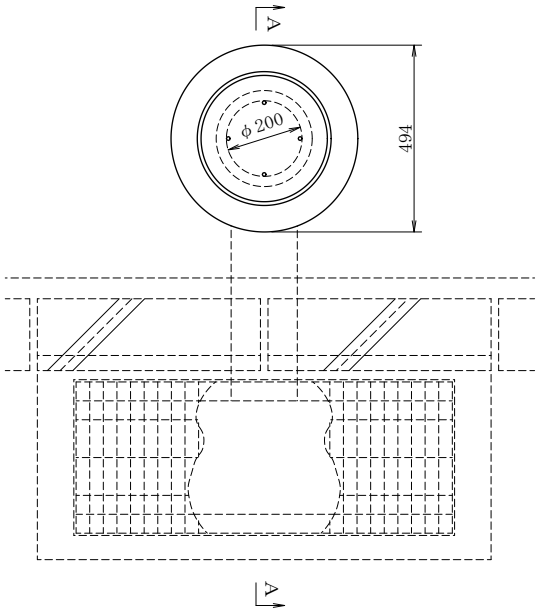
大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
100 排　水　工	地下浸透井工	地下浸透井工	R7.4

地 下 浸 透 井 工

Ａ－Ａ　断　面　図



平　面　図



地 下 浸 透 井 工 材　料　表

名　称	材　料　表　10ヶ所当り								摘　要
	コンクリート製 透　水　管 φ200 L=1000（本）	T　字　管 φ200 L=1000（本）	特殊フィルター （個）	井戸蓋 シマ鋼板 t=9mm（枚）	単粒度砕石 4号 (m^3)	再生クラッシャラン RC-40 (m^3)	コンクリート 21-8-25 (m^3)	型　枠 (m^2)	
地下浸透井工	2	1	1	1	0.389	0.007	0.027	0.310	

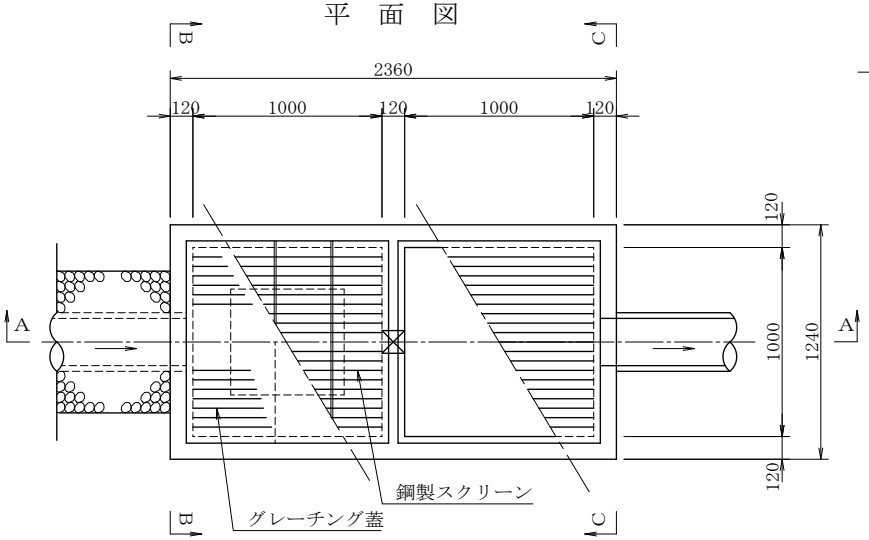
注意事項

1. 路床拵をする。
（歩車道境界ブロック下）

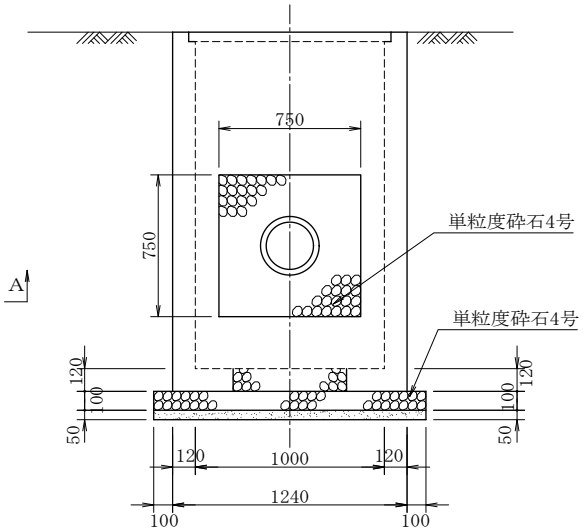
大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
100 排　水　工	流出抑制桝工	浸透施設用	R7.4

流 出 抑 制 桝 工 （浸透施設用）

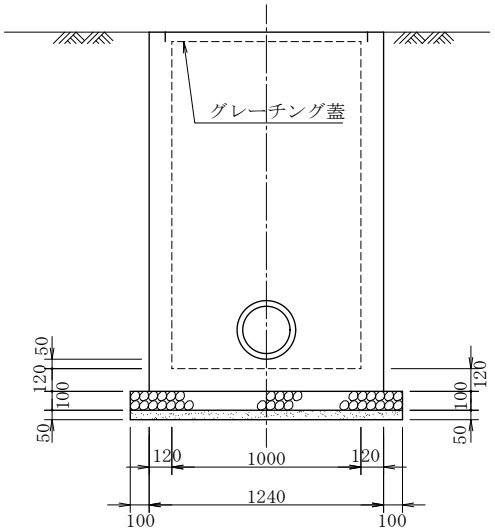
平　面　図



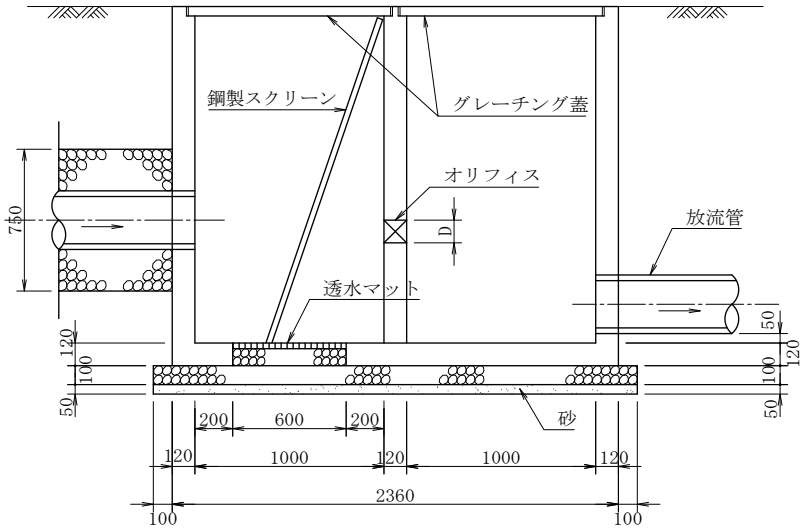
Ｂ－Ｂ 断　面　図



Ｃ－Ｃ 断　面　図



Ａ－Ａ 断　面　図



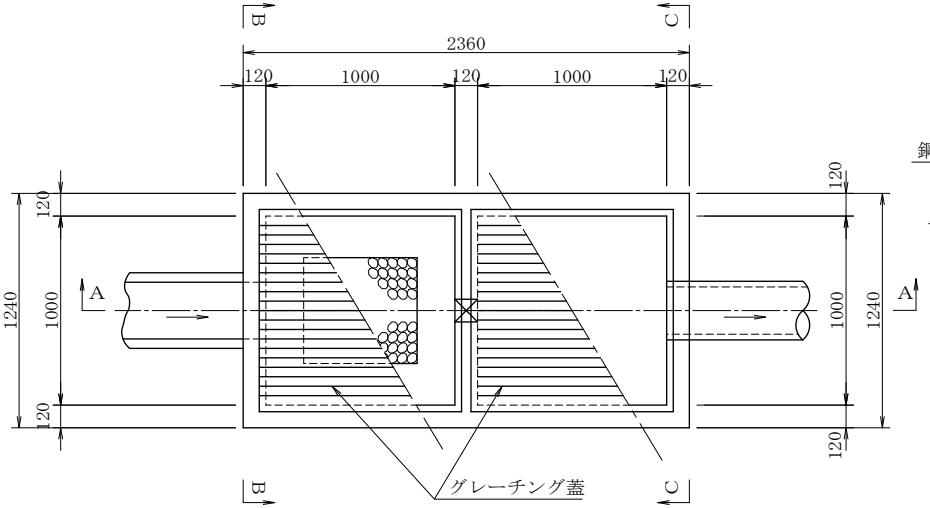
注意事項

1. グレーチングの材質は、一般構造用圧延鋼材（SS-400）とし、溶融亜鉛メッキ品とする。
2. グレーチング相互は、鎖・シャックル等で連結する。
3. グレーチングの主部材の表面部は、ノンスリップ加工処理とする。
4. 受枠はグレーチングがずれることがないようロの字型とし、４方向に枠を有するものを使用すること。

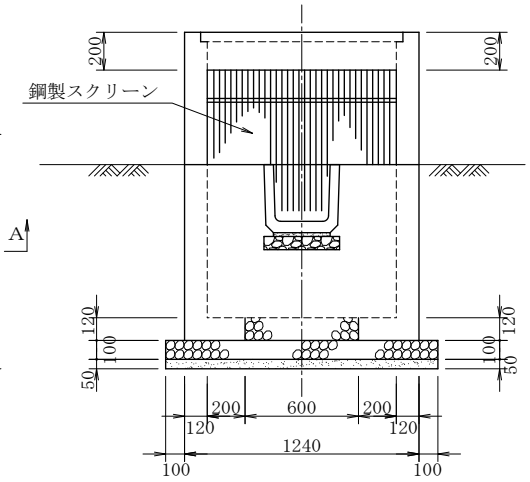
大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
100 排　水　工	流出抑制桝工	貯留施設用	R7.4

流 出 抑 制 桝 工 （貯留施設用）

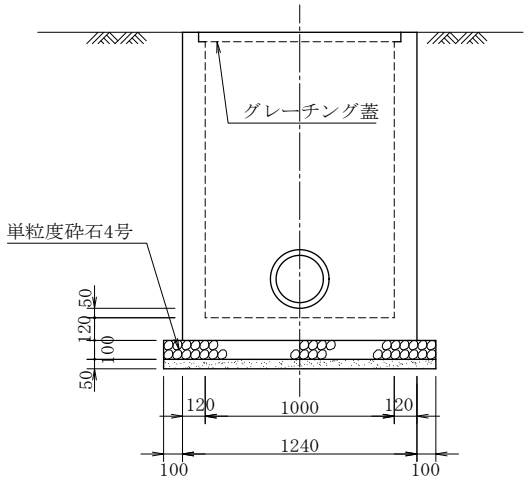
平　面　図



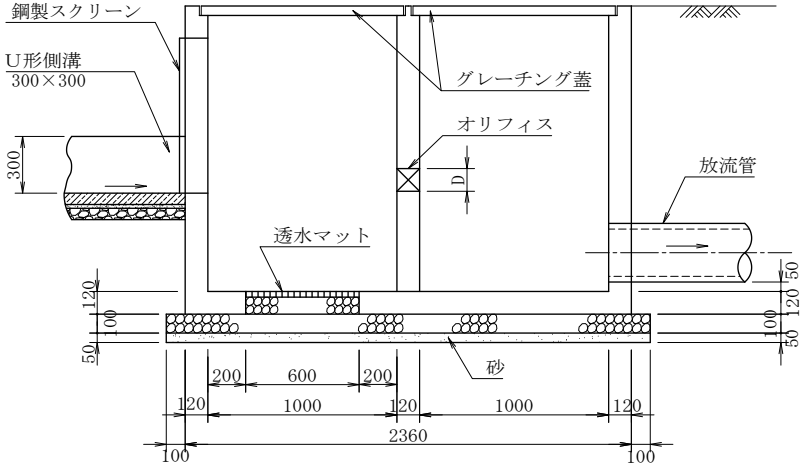
Ｂ－Ｂ 断　面　図



Ｃ－Ｃ 断　面　図



Ａ－Ａ 断　面　図



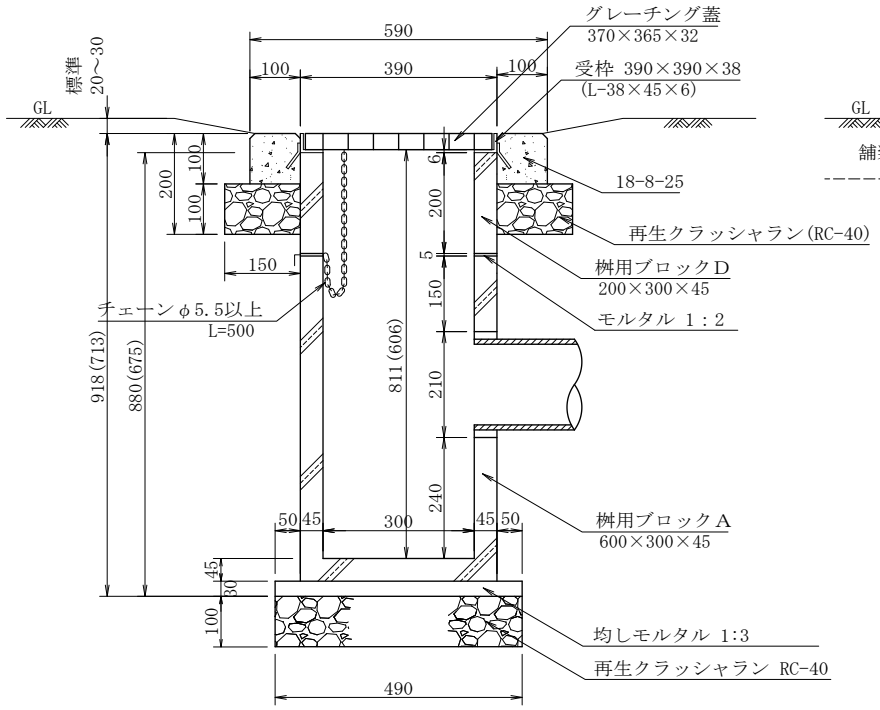
注意事項

1. グレーチングの材質は、一般構造用圧延鋼材（SS-400）とし、溶融亜鉛メッキ品とする。
2. グレーチング相互は、鎖・シャックル等で連結する。
3. グレーチングの主部材の表面部は、ノンスリップ加工処理とする。
4. 受枠はグレーチングがずれることがないようロの字型とし、４方向に枠を有するものを使用すること。

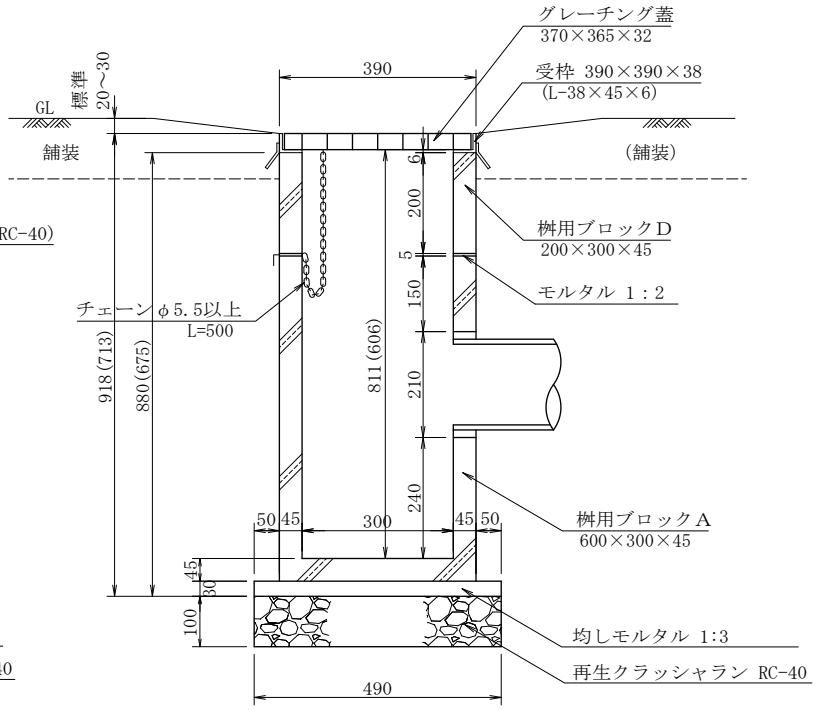
大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
100 排　水　工	集 水 桝 工	300Ａ，300Ｂ	R7.4

集　水　桝　工

300Ａ



300Ｂ



集 水 桝（300Ａ，300Ｂ）材 料 表

名　称	材料表 10ヶ所当り								摘　要
	再生クラッシャラン RC-40 (m^3)	コンクリート 18-8-25 (m^3)	モルタル 1:3 (m^3)	桝用ブロック（個） A 45×300×600	桝用ブロック（個） D 45×300×200	グレーチング蓋 T-2(チェーン付) 370×365×32(枚)	受　枠 T-2 390×390×38(組)	型　枠 (m^2)	
集水桝（Ａ－１）	0.56	0.196	0.07	10	10	10	10	2.36	
集水桝（Ａ－２）	0.56	0.196	0.07	10	—	10	10	2.36	
集水桝（Ｂ－１）	0.24	—	0.07	10	10	10	10	—	
集水桝（Ｂ－２）	0.24	—	0.07	10	—	10	10	—	

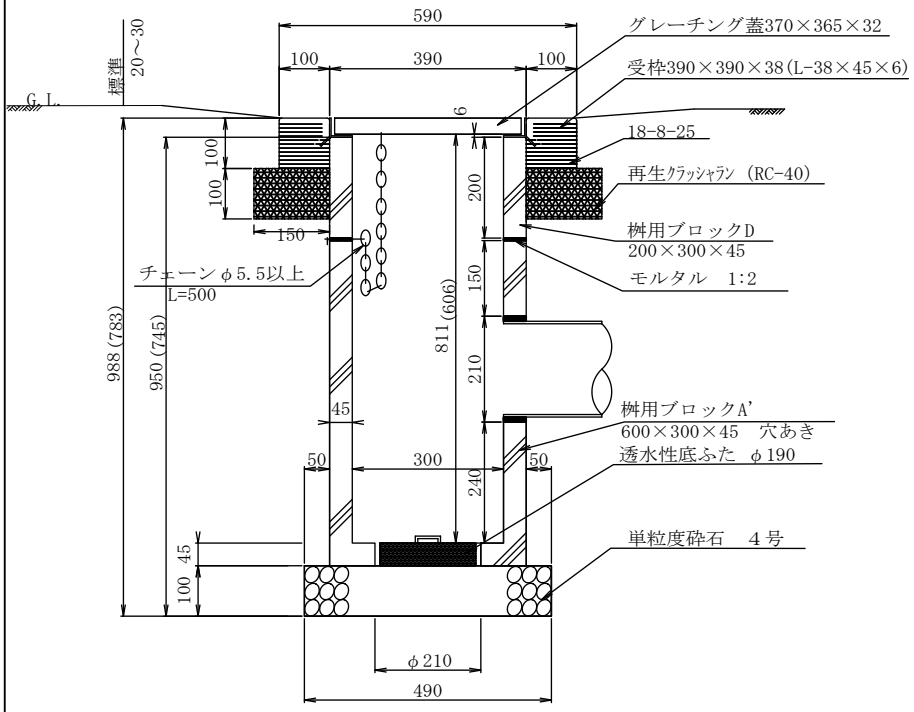
注意事項

1. (　)内は、(Ａ－２)，(Ｂ－２)の場合の寸法とする。
2. グレーチング蓋・チェーンは、溶融亜鉛メッキ品とする。
3. 受枠は、黒ペイント塗り品とする。
4. 集水桝(Ｂ－1)，(Ｂ－２)は舗装部に使用する。
5. グレーチングの材質は、一般構造用圧延鋼材（SS-400）とし、溶融亜鉛メッキ品とする。
6. グレーチングの主部材の表面部は、ノンスリップ加工処理とする。
7. グレーチングの寸法については、設計荷重を満足し納まり等支障のないものを使用してよいものとする。
8. 受枠はグレーチングがずれることがないようロの字型とし、４方向に枠を有するものを使用すること。

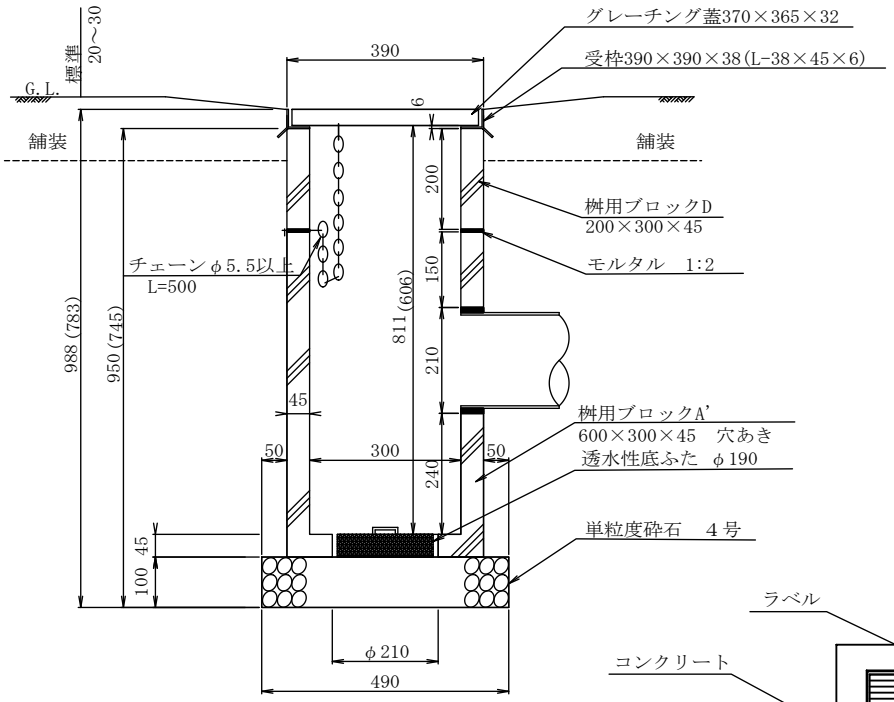
大分類	中分類	小分類	適用年度
100 排水工	集水桝工	300A，浸透 300B，浸透	R7.4

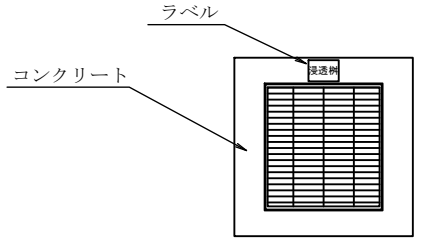
集 水 桝 工

（３００A，浸透）



（３００B，浸透）





集 水 桝（浸透300A，浸透300B）材 料 表

名称	材料表 10か所当り										摘要
	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 (m³)	コンクリート 18-8-25 (m³)	単粒度砕石 4号 (m³)	桝用ブロック（個） A' 45×300×600、穴あき	桝用ブロック（個） D 45×300×200	グレーチング蓋 T-2(チェーン付) 370×365×32(枚)	受枠 T-2 390×390×38(組)	透水性底ふた φ190、t=50 (枚)	ラベル 70×100 (枚)	型枠 (m²)	
浸透300A-1	0.32	0.196	0.24	10	10	10	10	10	10	2.36	
浸透300A-2	0.32	0.196	0.24	10	—	10	10	10	10	2.36	
浸透300B-1	—	—	0.24	10	10	10	10	10	10	—	
浸透300B-2	—	—	0.24	10	—	10	10	10	10	—	

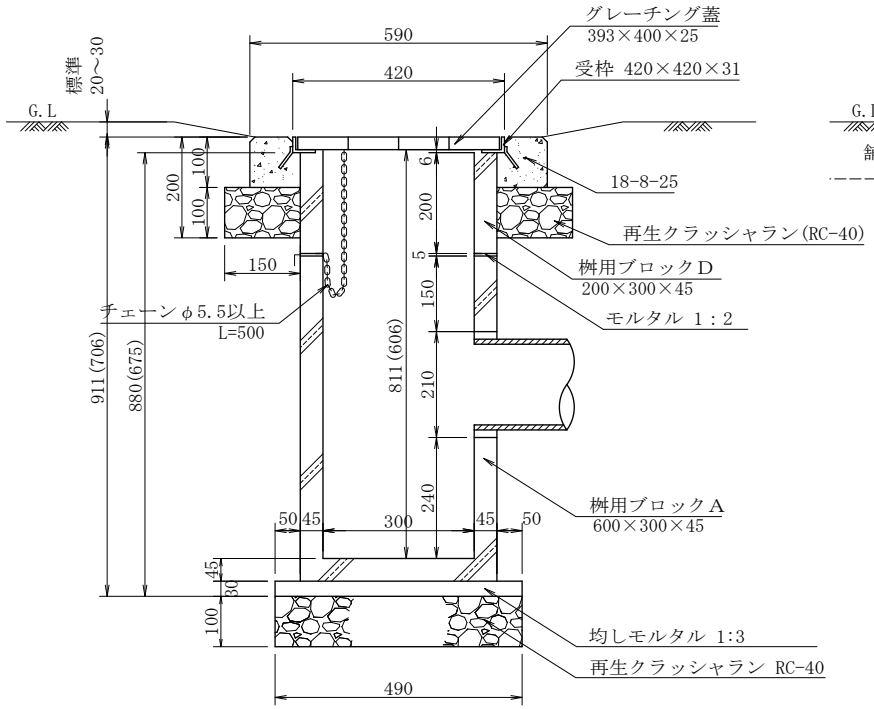
注意事項

1. （ ）内は、（A－２），（B－２）の場合の寸法とする。
2. グレーチング蓋・チェーンは、溶融亜鉛メッキ品とする。
3. 受枠は、黒ペイント塗り品とする。
4. 集水桝（B－1），（B－２）は舗装部に使用する。
5. グレーチングの材質は、一般構造用圧延鋼材（SS-400）とし、溶融亜鉛メッキ品とする。
6. グレーチングの主部材の表面部は、ノンスリップ加工処理とする。
7. グレーチングの寸法については、設計荷重を満足し納まり等支障のないものを使用してよいものとする。
8. 受枠はグレーチングがずれることがないようロの字型とし、４方向に枠を有するものを使用すること。

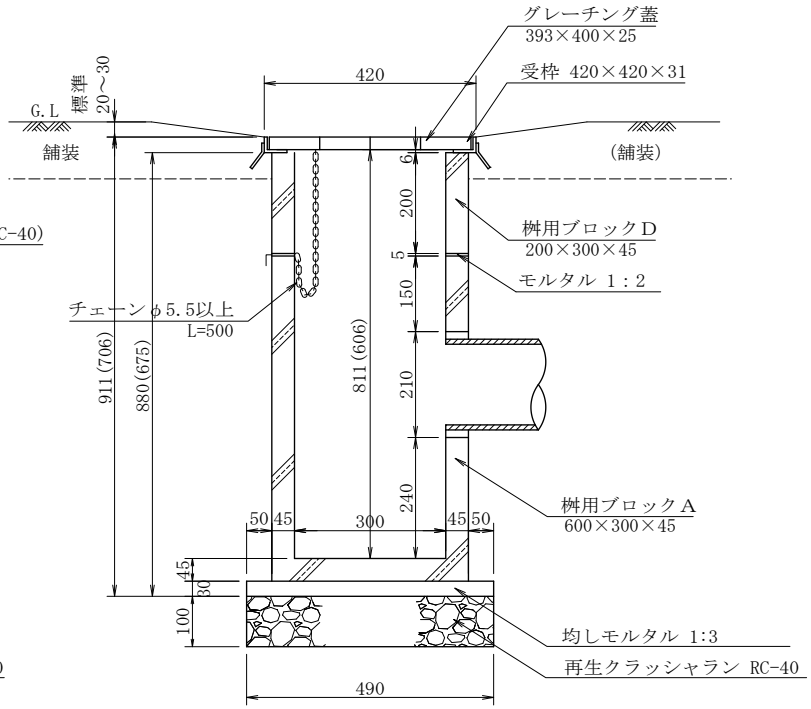
大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
100 排　水　工	集 水 桝 工	300A’，300B’	R7.4

集　水　桝　工

300A’



300B’



集 水 桝（300A’，300B’）材 料 表

名　称	材料表							10ヶ所当り	摘　要
	再生クラッシャラン RC-40 (m^3)	コンクリート 18-8-25 (m^3)	モルタル 1:3 (m^3)	桝用ブロック（個） A 45×300×600	桝用ブロック（個） D 45×300×200	グレーチング蓋 細目(チェーン付) 393×400×25(枚)	受　枠 420×420×31(組)	型　枠 (m^2)	
集水桝（A’－１）	0.56	0.188	0.07	10	10	10	10	2.36	
集水桝（A’－２）	0.56	0.188	0.07	10	—	10	10	2.36	
集水桝（B’－１）	0.24	—	0.07	10	10	10	10	—	
集水桝（B’－２）	0.24	—	0.07	10	—	10	10	—	

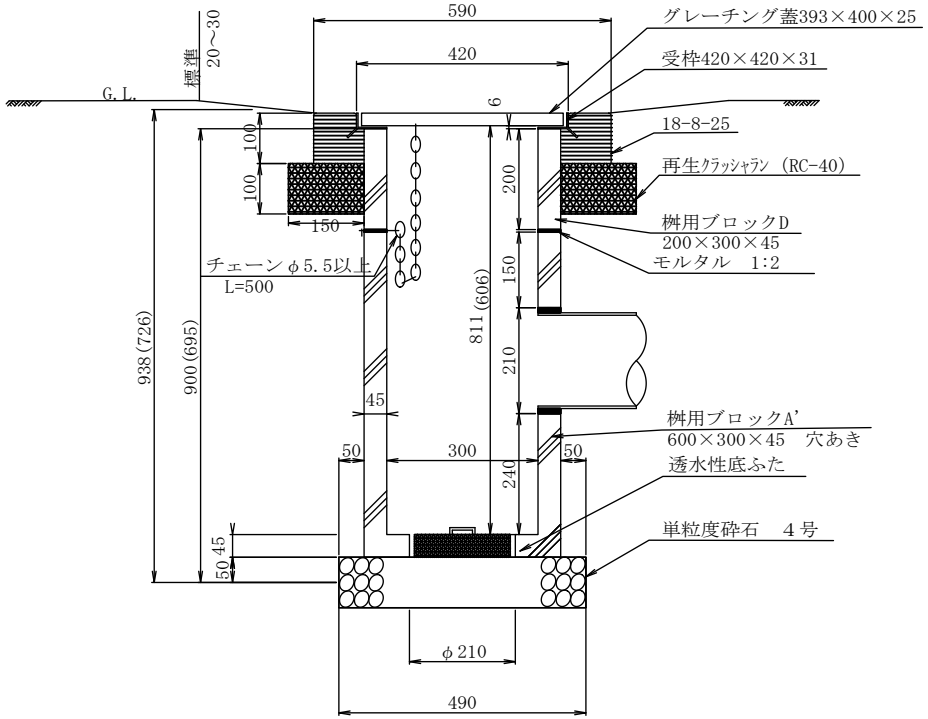
注意事項

1. （ ）内は、（A’－２），（B’－２）の場合の寸法とする。
2. グレーチング蓋・チェーンは、溶融亜鉛メッキ品とする。
3. 受枠は、黒ペイント塗り品とする。
4. 集水桝（B’－1），（B’－２）は舗装部に使用する。
5. グレーチングの材質は、一般構造用圧延鋼材（SS-400）とし、溶融亜鉛メッキ品とする。
6. グレーチングの主部材の表面部は、ノンスリップ加工処理とする。
7. グレーチングの寸法については、設計荷重を満足し納まり等支障のないものを使用してよいものとする。
8. 受枠はグレーチングがずれることがないようロの字型とし、４方向に枠を有するものを使用すること。

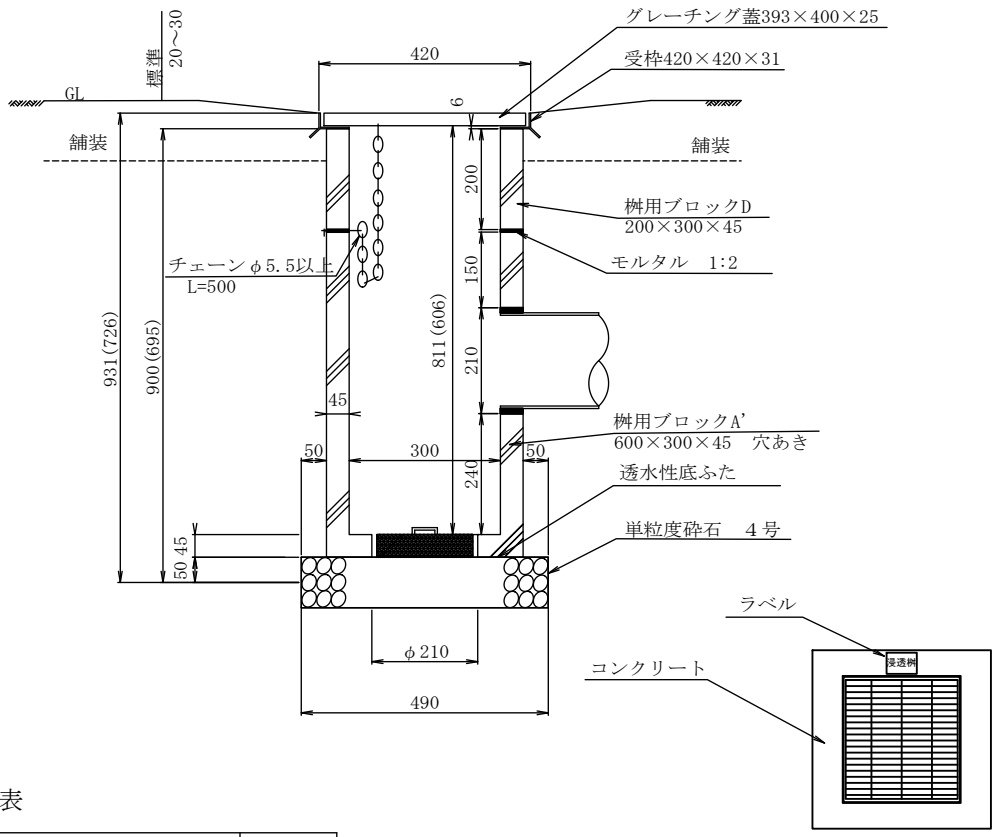
大分類	中分類	小分類	適用年度
100 排水工	集水桝工	300A’,浸透 300B’,浸透	R7.4

集水桝工

（３００A’,浸透）



（３００B’,浸透）



集水桝（浸透300A’, 浸透300B’）材料表

名称	材料表 10か所当り										摘要
	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 (m³)	コンクリート 18-8-25 (m³)	単粒度砕石 4号 (m³)	桝用ブロック（個） A’ 45×300×600、穴あき	桝用ブロック（個） D 45×300×200	グレーチング蓋 細目(チェーン付) 393×400×25(枚)	受枠 420×420×31(組)	透水性底ふた φ190、t=50 (枚)	ラベル 70×100 (枚)	型枠 (m²)	
浸透300A’-1	0.32	0.188	0.24	10	10	10	10	10	10	2.36	
浸透300A’-2	0.32	0.188	0.24	10	—	10	10	10	10	2.36	
浸透300B’-1	—	—	0.24	10	10	10	10	10	10	—	
浸透300B’-2	—	—	0.24	10	—	10	10	10	10	—	

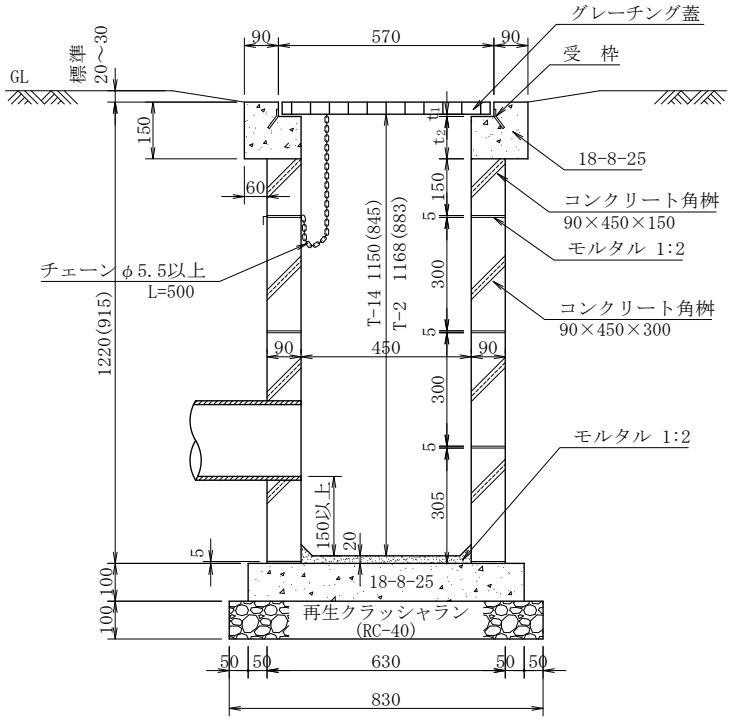
注意事項

1. （ ）内は、（A’－２），（B’－２）の場合の寸法とする。
2. グレーチング蓋・チェーンは、溶融亜鉛メッキ品とする。
3. 受枠は、黒ペイント塗り品とする。
4. 集水桝（B’－1），（B’－２）は舗装部に使用する。
5. グレーチングの材質は、一般構造用圧延鋼材SS-400）とし、溶融亜鉛メッキ品とする。
6. グレーチングの主部材の表面部は、ノンスリップ加工処理とする。
7. グレーチングの寸法については、設計荷重を満足し納まり等支障のないものを使用してよいものとする。
8. 受枠はグレーチングがずれることがないようロの字型とし、４方向に枠を有するものを使用すること。

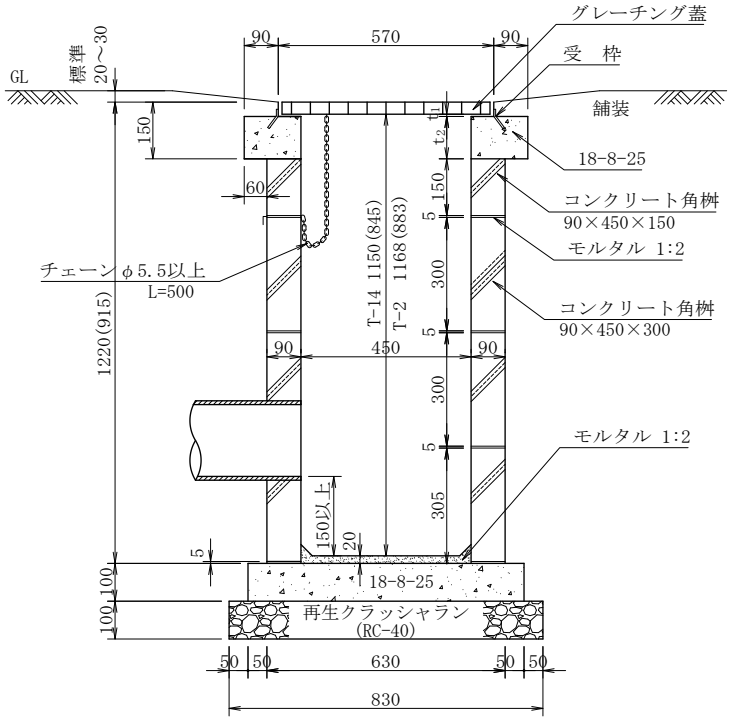
大分類	中分類	小分類	適用年度
100 排水工	集水桝工	450Ａ，450Ｂ	R7.4

集水桝工

450Ａ

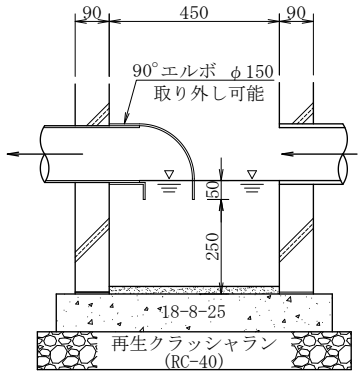


450Ｂ



防臭型集水桝

90°エルボ取付図



寸法表

	T-2	T-14
t_1	6	6
t_2	112	91

集水桝（450Ａ，450Ｂ）材料表

名称		再生クラッシャラン RC-40 (m³)	コンクリート 18-8-25 (m³)	コンクリート角桝（個） 450×150×90	コンクリート角桝（個） 450×300×90	グレーチング蓋チェーン付（枚） T-2 545×550×32	グレーチング蓋チェーン付（枚） T-14 537×550×50	受枠（組） T-2用 570×570×38	受枠（組） T-14用 570×570×56	モルタル 1:2 (m³)	型枠 (m²)	摘要
450 Ａ－１	T-2	0.689	1.024	10	30	10	—	10	—	0.041	9.40	
	T-14	0.689	0.999	10	30	—	10	—	10	0.041	9.04	
450 Ａ－２	T-2	0.689	1.024	10	20	10	—	10	—	0.041	9.40	
	T-14	0.689	0.999	10	20	—	10	—	10	0.041	9.04	
450 Ｂ－１	T-2	0.689	0.929	10	30	10	—	10	—	0.041	8.20	
	T-14	0.689	0.857	10	30	—	10	—	10	0.041	7.24	
450 Ｂ－２	T-2	0.689	0.929	10	20	10	—	10	—	0.041	8.20	
	T-14	0.689	0.857	10	20	—	10	—	10	0.041	7.24	

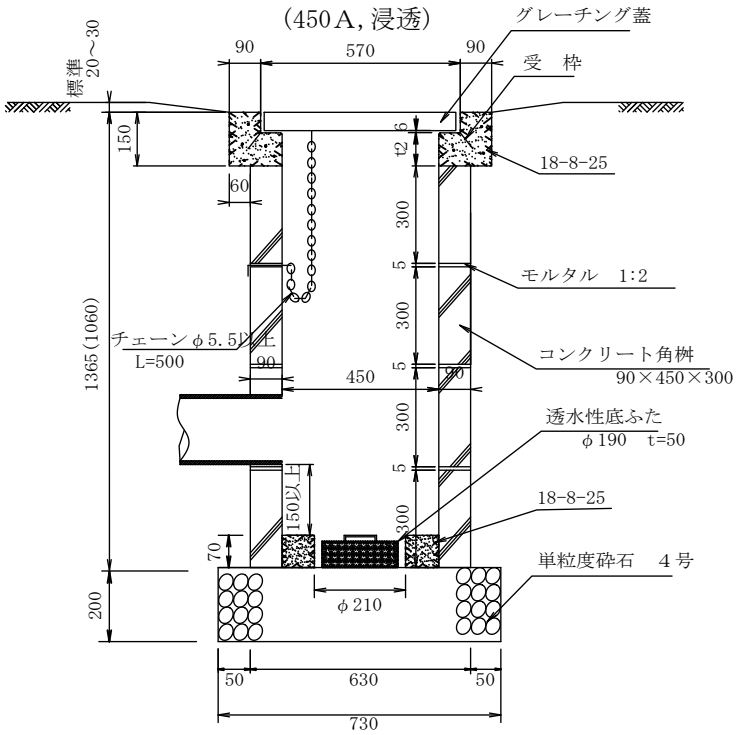
10ヶ所当り

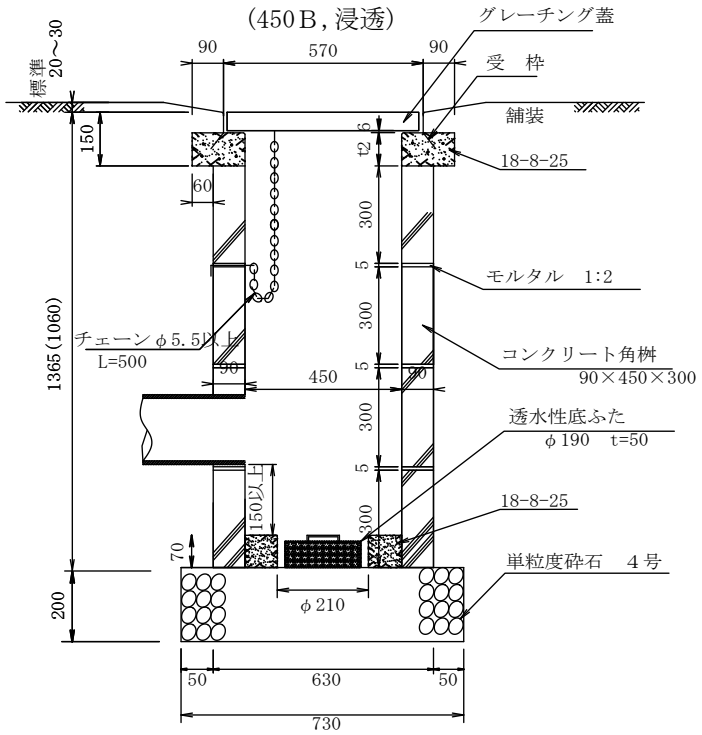
注意事項

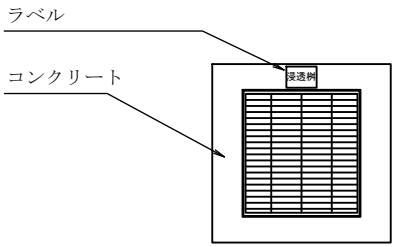
1. （ ）内は、450Ａ－２，450Ｂ－２の寸法とする。
2. 集水桝450Ｂは舗装部に使用する。
3. グレーチング蓋・チェーンは、溶融亜鉛メッキ品とする。
4. 受枠は、黒ペイント塗りとする。
5. グレーチングの材質は、一般構造用圧延鋼材（SS-400）とする。
6. グレーチングの主部材の表面部は、ノンスリップ加工処理とする。
7. グレーチングの寸法については、設計荷重を満足し納まり等支障のないものを使用してよいものとする。
8. 受枠はグレーチングがずれることがないようロの字型とし、４方向に枠を有するものを使用すること。

大分類	中分類	小分類	適用年度
100 排水工	集水桝工	450A，浸透 450B，浸透	R7.4

集水桝工







寸法表

	T-2	T-14
t2	112	94

集水桝（浸透450A，浸透450B）材料表

名称		コンクリート 18-8-25 (m³)	単粒度砕石 4号 (m³)	コンクリート角桝（個） 450×300×90	材料表 グレーチング蓋チェーン付（枚） T-2 545×550×32	グレーチング蓋チェーン付（枚） T-14 537×550×50	受枠（組） T-2用 570×570×38	受枠（組） T-14用 570×570×56	透水性底ふた φ190、t=50 (枚)	ラベル 70×100 (枚)	10か所当り 型枠 (m²)	摘要
浸透450 A-1	T-2	0.609	1.06	40	10	—	10	—	10	10	6.94	
	T-14	0.584	1.06	40	—	10	—	10	10	10	6.58	
浸透450 A-2	T-2	0.609	1.06	30	10	—	10	—	10	10	6.94	
	T-14	0.584	1.06	30	—	10	—	10	10	10	6.58	
浸透450 B-1	T-2	0.513	1.06	40	10	—	10	—	10	10	5.74	
	T-14	0.441	1.06	40	—	10	—	10	10	10	4.78	
浸透450 B-2	T-2	0.513	1.06	30	10	—	10	—	10	10	5.74	
	T-14	0.441	1.06	30	—	10	—	10	10	10	4.78	

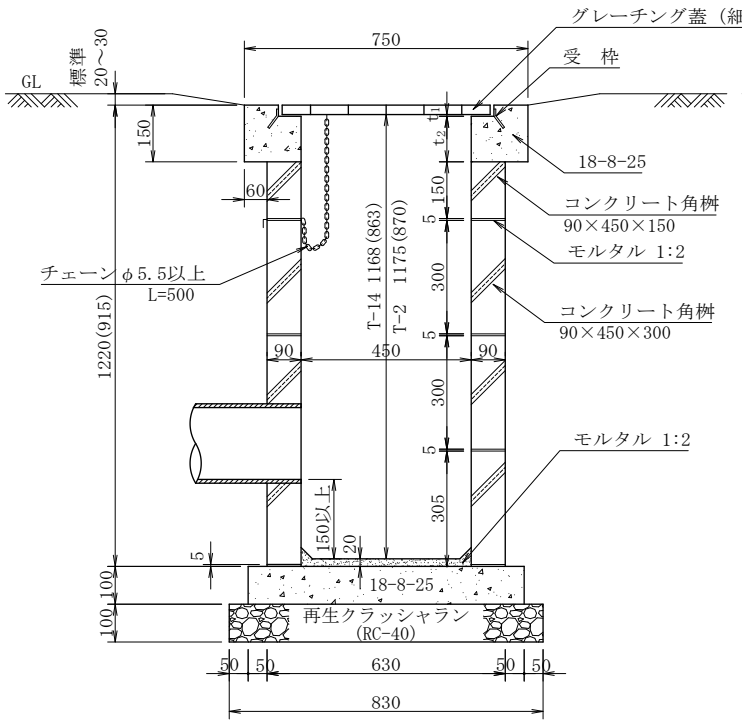
注意事項

1. （ ）内は450A-2，450B-2の寸法とする。
2. 集水桝450Bは舗装部に使用する。
3. ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋・ﾁｪｰﾝは、溶融亜鉛ﾒｯｷ品とする。
4. 受枠は、黒ﾍﾟｲﾝﾄ塗りとする。
5. ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞの材質は一般構造用圧延鋼材(SS-400)とし、溶融亜鉛ﾒｯｷ品とする。
6. ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞの主部材の表面は、ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ加工処理とする。
7. グレーチングの寸法については、設計荷重を満足し納まり等支障のないものを使用してよいものとする。
8. 受枠はグレーチングがずれることがないようﾛの字型とし、４方向に枠を有するものを使用すること。

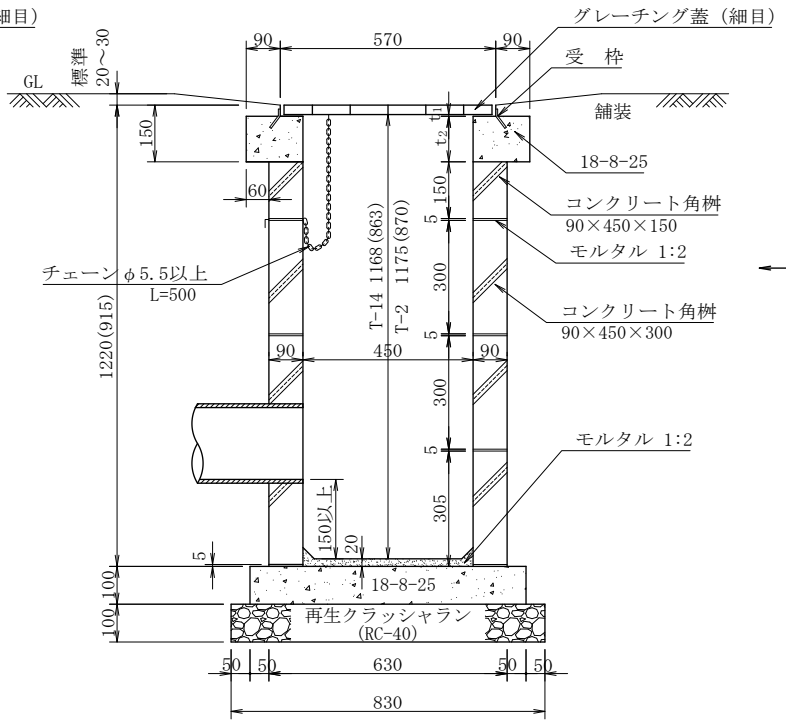
大分類	中分類	小分類	適用年度
100 排水工	集水桝工	450A’，450B’	R7.4

集水桝工

450A’

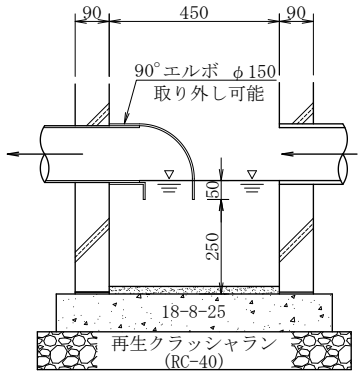


450B’



防臭型集水桝

防臭弁取付図



寸法表

	T-2	T-14
t_1	4.5	12
t_2	120.5	106

集水桝（450A’，450B’）材料表

名称		材料表 10ヶ所当り										摘要
		再生クラッシャラン RC-40 (m^3)	コンクリート 18-8-25 (m^3)	コンクリート角桝（個）		グレーチング蓋チェーン付（枚）		受枠（組）		モルタル 1:2 (m^3)	型枠 (m^2)	
				450×150×90	450×300×90	T-2細目 553×550×25	T-14細目 550×543×32	T-2用 570×570×31	T-14用 570×570×38			
450 A’－1	T-2	0.689	1.036	10	30	10	—	10	—	0.041	9.58	
	T-14	0.689	1.024	10	30	—	10	—	10	0.041	9.40	
450 A’－2	T-2	0.689	1.036	10	20	10	—	10	—	0.041	9.58	
	T-14	0.689	1.024	10	20	—	10	—	10	0.041	9.40	
450 B’－1	T-2	0.689	0.965	10	30	10	—	10	—	0.041	8.20	
	T-14	0.689	0.929	10	30	—	10	—	10	0.041	8.68	
450 B’－2	T-2	0.689	0.965	10	20	10	—	10	—	0.041	8.20	
	T-14	0.689	0.929	10	20	—	10	—	10	0.041	8.68	

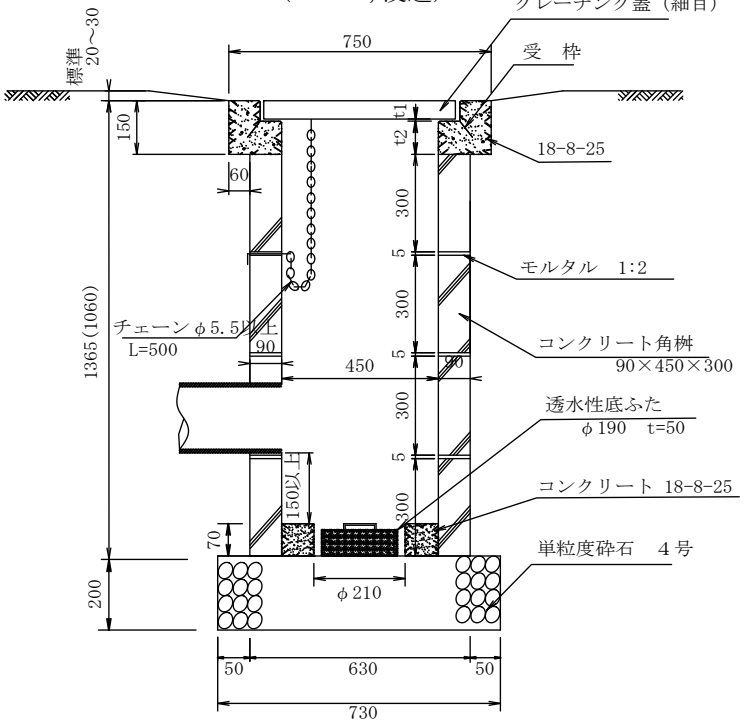
注意事項

1. （ ）内は、450A’－２，450B’－２の寸法とする。
2. 集水桝450B’は舗装部に使用する。
3. グレーチング蓋・チェーンは、溶融亜鉛メッキ品とする。
4. 受枠は、黒ペイント塗りとする。
5. グレーチングの材質は、一般構造用圧延鋼材（SS-400）とする。
6. グレーチングの主部材の表面部は、ノンスリップ加工処理とする。
7. 使用するグレーチングの寸法については、設計荷重を満足し、納り等支障の無いものを使用してよいものとする。
8. 受枠はグレーチングがずれることがないようロの字型とし、４方向に枠を有するものを使用すること。

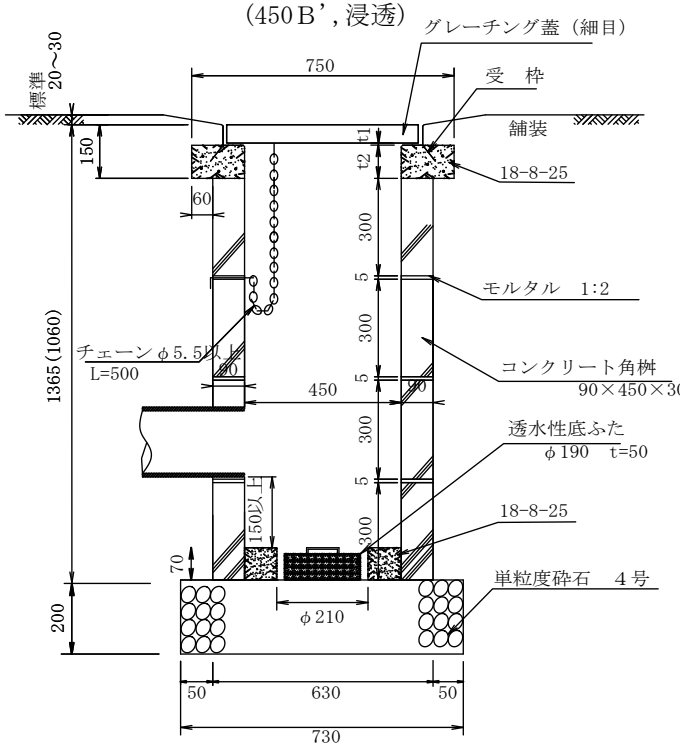
大分類	中分類	小分類	適用年度
100 排水工	集水桝工	450A', 浸透 450B', 浸透	R7.4

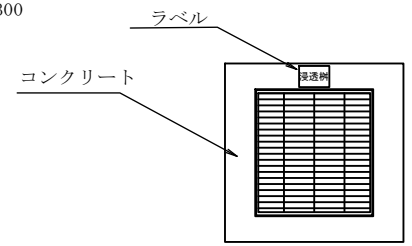
集水桝工

(450A', 浸透)



(450B', 浸透)





寸法表

	T-2	T-14
t1	4.5	12
t2	120.5	106

集水桝（浸透450A', 浸透450B'）材料表

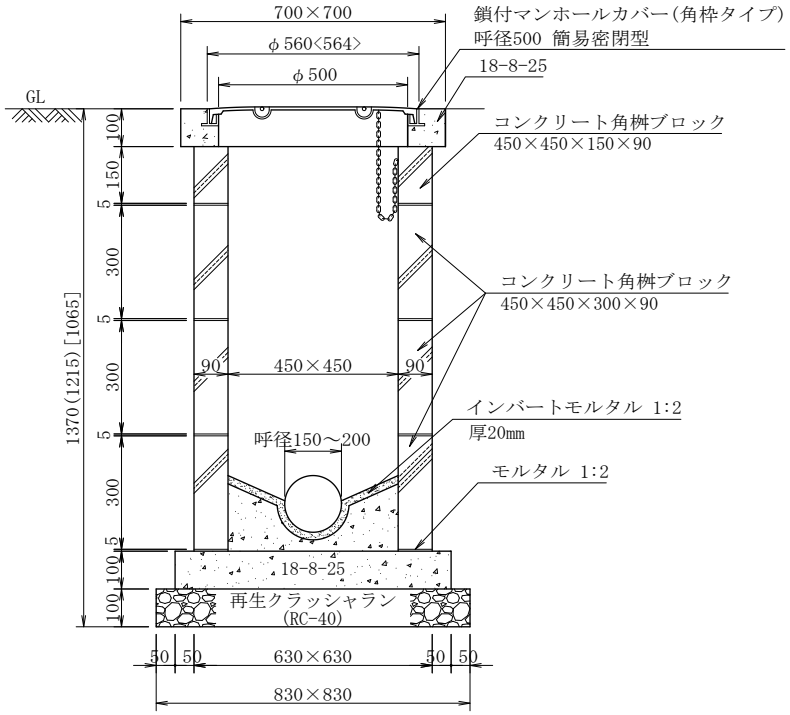
名称		材料表 コンクリート 18-8-25 (m³)	単粒度砕石 4号 (m³)	コンクリート角桝（個） 450×300×90	グレーチング蓋チェーン付（枚） T-2細目 553×550×25	グレーチング蓋チェーン付（枚） T-14細目 543×550×32	受枠（組） T-2用 572×567×29.5	受枠（組） T-14用 570×570×44	透水性底ふた φ190 t=50 (枚)	ラベル 70×100 (枚)	10か所当り 型枠 (m²)	摘要
浸透450 A'-1	T-2	0.621	1.06	40	10	—	10	—	10	10	7.12	
	T-14	0.609	1.06	40	—	10	—	10	10	10	6.94	
浸透450 A'-2	T-2	0.621	1.06	30	10	—	10	—	10	10	7.12	
	T-14	0.609	1.06	30	—	10	—	10	10	10	6.94	
浸透450 B'-1	T-2	0.549	1.06	40	10	—	10	—	10	10	6.22	
	T-14	0.513	1.06	40	—	10	—	10	10	10	5.74	
浸透450 B'-2	T-2	0.549	1.06	30	10	—	10	—	10	10	6.22	
	T-14	0.513	1.06	30	—	10	—	10	10	10	5.74	

注意事項
1. （ ）内は450A'-2, 450B'-2の寸法とする。
2. 集水桝450B'は舗装部に使用する。
3. ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋・ﾁｪｰﾝは、溶融亜鉛ﾒｯｷ品とする。
4. 受枠は、黒ﾍﾟｲﾝﾄ塗りとする。
5. ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞの材質は一般構造用圧延鋼材(SS-400)とし、溶融亜鉛ﾒｯｷ品とする。
6. ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞの主部材の表面は、ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ加工処理とする。
7. グレーチングの寸法については、設計荷重を満足し納まり等支障のないものを使用してよいものとする。
8. 受枠はグレーチングがずれることがないようロの字型とし、４方向に枠を有するものを使用すること。

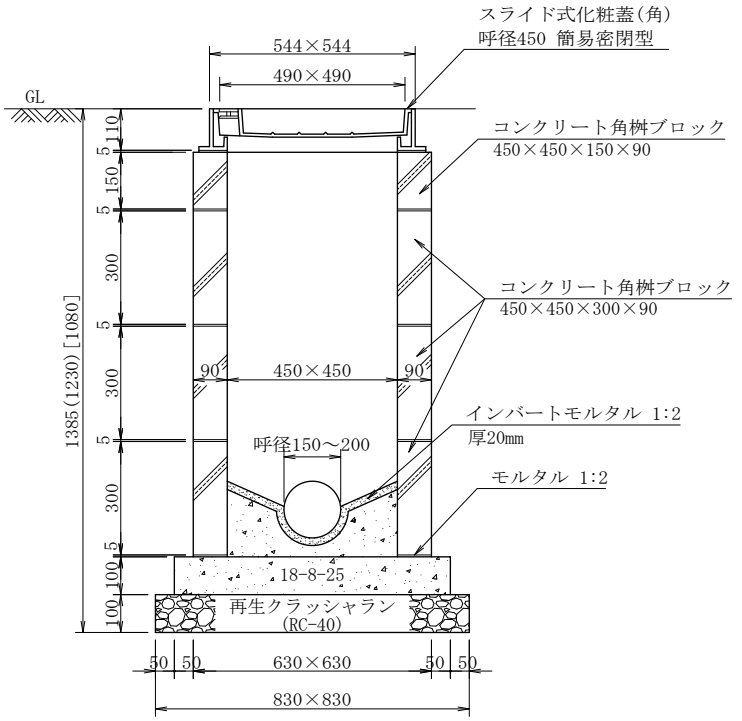
大分類	中分類	小分類	適用年度
100 排水工	汚水桝工	A，A’，B，B’	R7.4

汚　水　桝　工

A・A’-１，２，３



B・B’-１，２，３



汚水桝工（A，A’，B，B’）材料表

名称	材料表 10ケ所当り									摘要
	再生クラッシャラン RC-40 (m³)	コンクリート 18-8-25 (m³)	モルタル 1:2 (m³)	コンクリート角桝（個）		マンホールカバー(汚マーク入)		マンホールカバー(ILB充填型)		型枠 (m²)	
				450×300×90	450×150×90	T-2	T-14	T-2	T-14		
A－１	0.689	1.049	0.041	30	10	10	—	—	—	6.58	
A－２	0.689	1.049	0.041	30	—	10	—	—	—	6.58	
A－３	0.689	1.049	0.041	20	10	10	—	—	—	6.58	
A’－１	0.689	1.047	0.041	30	10	—	10	—	—	6.51	
A’－２	0.689	1.047	0.041	30	—	—	10	—	—	6.51	
A’－３	0.689	1.047	0.041	20	10	—	10	—	—	6.51	
B－１	0.689	0.778	0.041	30	10	—	—	10	—	2.92	
B－２	0.689	0.778	0.041	30	—	—	—	10	—	2.92	
B－３	0.689	0.778	0.041	20	10	—	—	10	—	2.92	
B’－１	0.689	0.778	0.041	30	10	—	—	—	10	2.92	
B’－２	0.689	0.778	0.041	30	—	—	—	—	10	2.92	
B’－３	0.689	0.778	0.041	20	10	—	—	—	10	2.92	

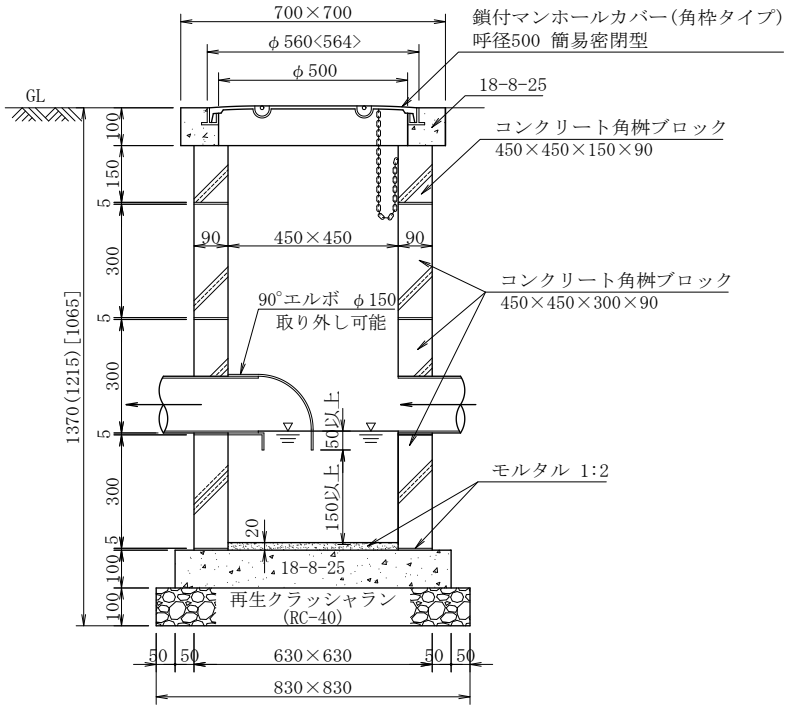
注意事項

1. （ ）内は、A－２，A’－２，B－２，B’－２の寸法とする。
2. [ ]内は、A－３，A’－３，B－３，B’－３の寸法とする。
3. 〈 〉内は、A’－１，A’－２，A’－３の寸法とする。
4. 汚水用ハンドホール蓋は、鋳鉄製、簡易密閉型、角枠タイプ、T-2またはT-14以上、「汚水」文字鋳出、樹脂系塗料塗装品とする。

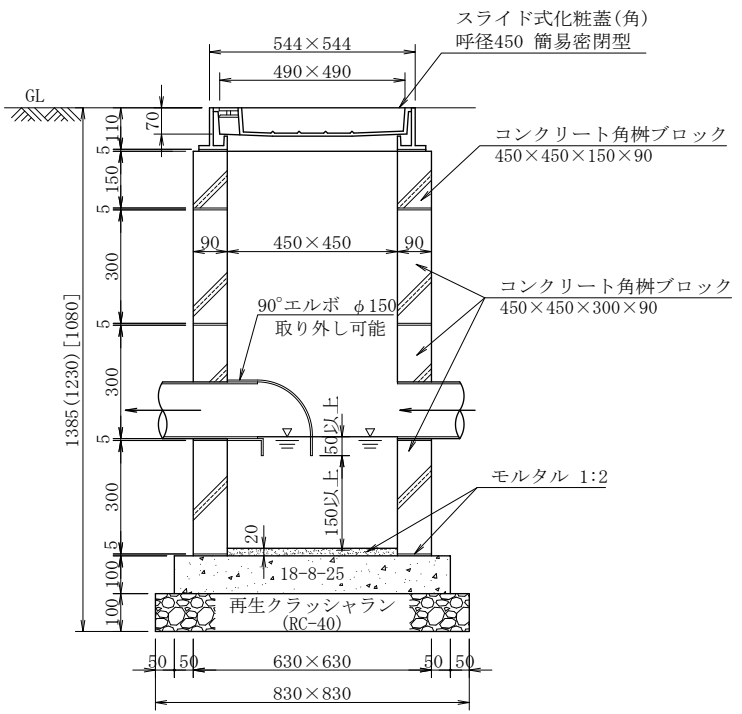
大分類	中分類	小分類	適用年度
100 排水工	防臭桝工	A，A’，B，B’	R7.4

防臭桝工

A・A’-1，2，3



B・B’-1，2，3



防臭桝工（A，A’，B，B’）材料表

名称	再生クラッシャラン RC-40 (m³)	コンクリート 18-8-25 (m³)	モルタル 1:2 (m³)	材料表 10ヶ所当り							摘要
				コンクリート角桝（個）		マンホールカバー(汚マーク入)		マンホールカバー(ILB充填型)		型枠	90°エルボ
				450×300×90	450×150×90	T-2（個）	T-14(個)	T-2（個）	T-14(個)	(m²)	φ150 （個）	
A－1	0.689	0.804	0.041	30	10	10	—	—	—	6.58	10	
A－2	0.689	0.804	0.041	30	—	10	—	—	—	6.58	10	
A－3	0.689	0.804	0.041	20	10	10	—	—	—	6.58	10	
A’－1	0.689	0.800	0.041	30	10	—	10	—	—	6.51	10	
A’－2	0.689	0.800	0.041	30	—	—	10	—	—	6.51	10	
A’－3	0.689	0.800	0.041	20	10	—	10	—	—	6.51	10	
B－1	0.689	0.533	0.041	30	10	—	—	10	—	2.92	10	
B－2	0.689	0.533	0.041	30	—	—	—	10	—	2.92	10	
B－3	0.689	0.533	0.041	20	10	—	—	10	—	2.92	10	
B’－1	0.689	0.533	0.041	30	10	—	—	—	10	2.92	10	
B’－2	0.689	0.533	0.041	30	—	—	—	—	10	2.92	10	
B’－3	0.689	0.533	0.041	20	10	—	—	—	10	2.92	10	

注意事項

1. （ ）内は、A－2，A’－2，B－2，B’－2の寸法とする。
2. ［ ］内は、A－3，A’－3，B－3，B’－3の寸法とする。
3. 〈 〉内は、A’－1，A’－2，A’－3の寸法とする。
4. 汚水用ハンドホール蓋は、鋳鉄製、簡易密閉型、角枠タイプ、T-2またはT-14以上、「汚水」文字鋳出、樹脂系塗料塗装品とする。
5. 流出管がφ150の場合とする。

大分類	中分類	小分類	適用年度
100 排水工	自由勾配側溝工	自由勾配側溝工	R7.4

自 由 勾 配 側 溝 工

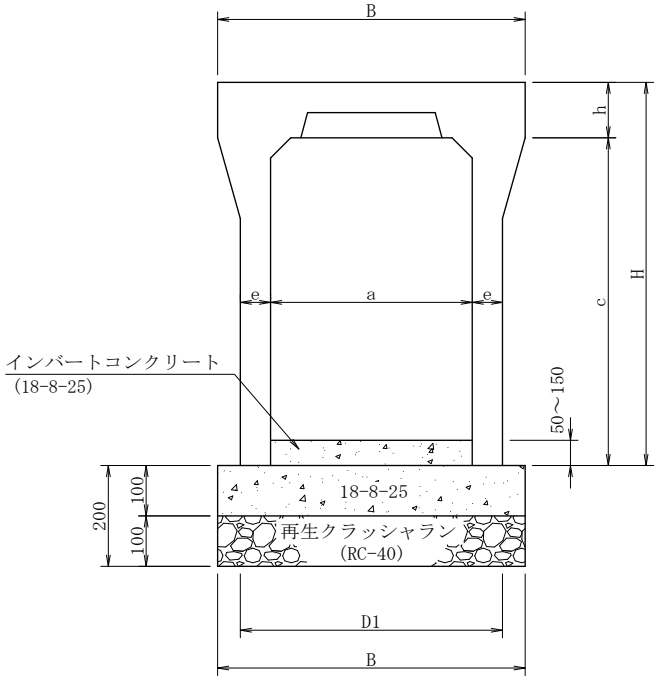
自 由 勾 配 側 溝 工　材 料 表

名称	材料表 10m当り 再生クラッシャラン RC-40(m³)	コンクリート 18-8-25(m³)	目地モルタル 1:2 (m³)	側溝 (個)	摘要
自由勾配側溝工 (300×300)	0.500	0.500	0.003	5	
自由勾配側溝工 (300×400)	0.500	0.500	0.003	5	
自由勾配側溝工 (300×500)	0.500	0.500	0.004	5	
自由勾配側溝工 (300×600)	0.500	0.500	0.004	5	
自由勾配側溝工 (300×700)	0.500	0.500	0.005	5	
自由勾配側溝工 (300×800)	0.500	0.500	0.005	5	
自由勾配側溝工 (400×400)	0.610	0.610	0.003	5	
自由勾配側溝工 (400×500)	0.610	0.610	0.004	5	
自由勾配側溝工 (400×600)	0.610	0.610	0.004	5	
自由勾配側溝工 (400×700)	0.610	0.610	0.005	5	
自由勾配側溝工 (400×800)	0.610	0.610	0.005	5	
自由勾配側溝工 (500×500)	0.720	0.720	0.004	5	
自由勾配側溝工 (500×600)	0.720	0.720	0.004	5	
自由勾配側溝工 (500×700)	0.720	0.720	0.005	5	
自由勾配側溝工 (500×800)	0.720	0.720	0.005	5	

自 由 勾 配 側 溝 工　寸 法 表

(参考値)

名称	寸法表 単位(mm) B	H	a	c	h	e	L	摘要
自由勾配側溝工 (300×300)	500	445	300	350	95	55	2000	
自由勾配側溝工 (300×400)	500	545	300	450	95	55	2000	
自由勾配側溝工 (300×500)	500	645	300	550	95	55	2000	
自由勾配側溝工 (300×600)	500	745	300	650	95	65	2000	
自由勾配側溝工 (300×700)	500	845	300	750	95	65	2000	
自由勾配側溝工 (300×800)	500	945	300	850	95	75	2000	
自由勾配側溝工 (400×400)	610	560	400	450	110	60	2000	
自由勾配側溝工 (400×500)	610	660	400	550	110	60	2000	
自由勾配側溝工 (400×600)	610	760	400	650	110	60	2000	
自由勾配側溝工 (400×700)	610	860	400	750	110	70	2000	
自由勾配側溝工 (400×800)	610	960	400	850	110	70	2000	
自由勾配側溝工 (500×500)	720	675	500	550	125	60	2000	
自由勾配側溝工 (500×600)	720	775	500	650	125	70	2000	
自由勾配側溝工 (500×700)	720	875	500	750	125	70	2000	
自由勾配側溝工 (500×800)	720	975	500	850	125	70	2000	



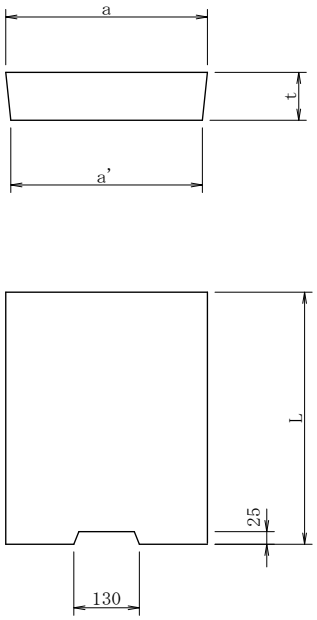
注意事項

1. インバートコンクリートは50～150mmとし、別途に材料を計上する。
2. 基礎工（再生クラッシャラン、コンクリート）は、省略することができる。
3. 側溝ふたは2枚掛を標準とする。
4. 接合部については、各製品の仕様に基づき適正に施工すること。

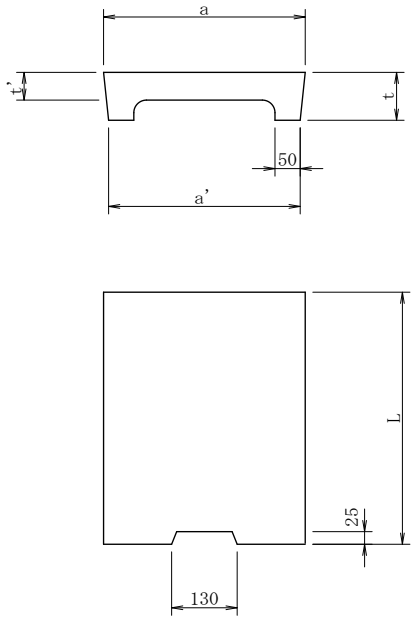
大分類	中分類	小分類	適用年度
100 排水工	自由勾配側溝工	側溝用ふた	R7.4

自由勾配側溝工

自由勾配側溝　車道用ふた



自由勾配側溝　軽荷重用ふた



自由勾配側溝　車道用ふた寸法表

名称	寸法表 単位(mm)				摘要
	a	a'	t	L	
300用ふた	400	380	95	500	
400用ふた	500	480	110	500	
500用ふた	600	580	125	500	

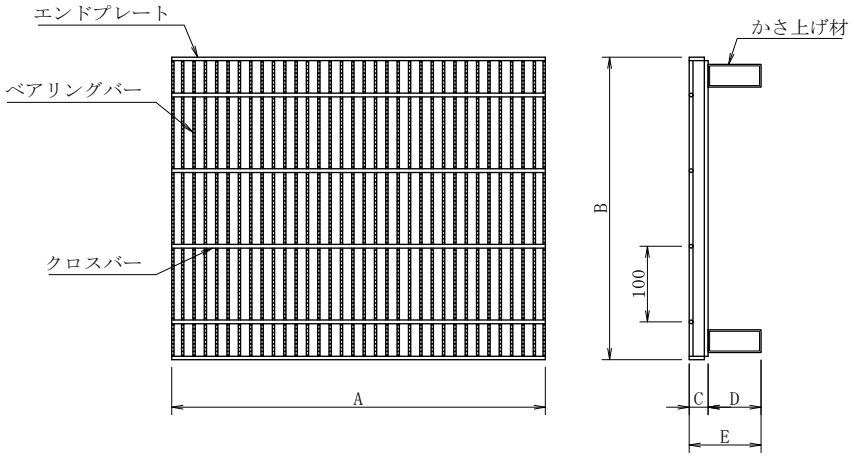
自由勾配側溝　軽荷重用ふた寸法表

名称	寸法表 単位(mm)					摘要
	a	a'	t	t'	L	
300用ふた	400	380	95	55	500	
400用ふた	500	480	110	65	500	
500用ふた	600	580	125	70	500	

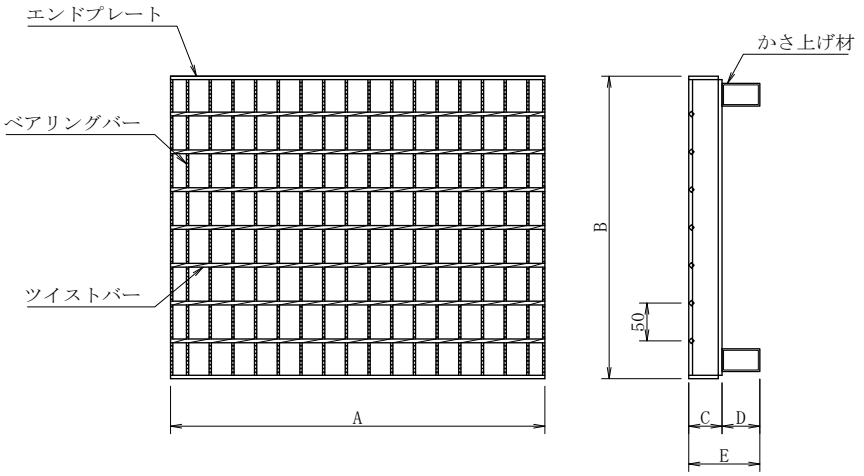
大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
100 排　水　工	自由勾配側溝工	側　溝　用 グレーチングふた	R7.4

自由勾配側溝用グレーチングふた

細　目



並　目



注意事項

1. グレーチングの材質は、一般構造用圧延鋼材（SS-400）とし、溶融亜鉛メッキ品とする。
2. グレーチングの主部材の表面部は、ノンスリップ加工処理とする。
3. 車道用はT-14並目，T-20並目、歩道乗入部はT-14細目、歩道用はT-2細目とする。
4. 使用するグレーチングの寸法については、設計荷重を満足し、納り等支障の無いものを使用してもよいものとする。

自由勾配側溝用グレーチングふた寸法表

細　目												
荷重	T－2						T－14					
	寸　法						寸　法					
溝幅	参考重量(kg)	A	B	C	D	E	参考重量(kg)	A	B	C	D	E
300用	14.9	494	400	25	70	95	17.4	494	400	32	60	92
400用	18.1	494	500	25	85	110	25.2	500	500	38	70	108
500用	22.7	494	600	25	100	125	47.2	500	600	50	75	125

自由勾配側溝用グレーチングふた寸法表

並　目												
荷重	T－14						T－20					
	寸　法						寸　法					
溝幅	参考重量(kg)	A	B	C	D	E	参考重量(kg)	A	B	C	D	E
300用	14.7	495	400	44	50	94	17.8	501	400	50	45	95
400用	21.9	501	500	50	60	110	23.0	501	500	55	55	110
500用	29.3	501	600	60	65	125	34.6	501	600	75	50	125

(標準) アスファルトコンクリート舗装工

アスファルトコンクリート舗装工（車道　再生砕石又は改良砕石）

単位（cm）

交通量の区分	設計CBR	舗装構成 表層 密粒度アスコン	基層 粗粒度アスコン	路盤 瀝青安定処理	路盤 改良砕石又は粒調砕石	路盤 再生クラッシャラン	しや断層 砂	必要厚 TA	設定厚 TA'	合計厚さ
N_2・N_3	（2）	（5）	—	—	（20）	（20）	（20）	（17）	（17.0）	（45）
	3	5	—	—	15	20	—	15	15.3	40
	4	5	—	—	15	15	—	14	14.0	35
	6	5	—	—	10	15	—	12	12.3	30
	8以上	5	—	—	10	10	—	11	11.0	25
N_4	（2）	（5）	—	—	（25）	（30）	（20）	（21）	（21.3）	（60）
	3	5	—	—	15	35	—	19	19.0	55
	4	5	—	—	10	40	—	18	18.5	55
	6	5	—	—	10	30	—	16	16.0	45
	8	5	—	—	15	15	—	14	14.0	35
	12以上	5	—	—	10	20	—	13	13.5	35
N_5	（2）	（5）	（5）	—	（30）	（35）	（20）	（29）	（29.3）	（75）
	3	5	5	—	25	30	—	26	26.3	65
	4	5	5	—	15	35	—	24	24.0	60
	6	5	5	—	10	30	—	21	21.0	50
	8	5	5	—	15	15	—	19	19.0	40
	12以上	5	5	—	10	15	—	17	17.3	35
N_6	（2）	（5）	（5）	（10）	（35）	（35）	（20）	（39）	（39.0）	（90）
	3	5	5	8	25	40	—	35	35.2	83
	4	5	5	8	20	35	—	32	32.2	73
	6	5	5	8	20	20	—	28	28.4	58
	8	5	5	9	15	15	—	26	26.2	49
	12以上	5	5	9	10	10	—	23	23.2	39

注意事項

1. 再生材料の使用を標準とする。
2. 改良砕石はKC-40、粒調砕石はM-40、再生クラッシャランはRC-40の使用を標準とするが、厚さを10cmとする場合はM-25、RC-30等を使用する。
3. （　）は、修繕工事などで既存の路床の設計ＣＢＲが2であるものの、路床を改良することが困難な場合に適用する。
4. 設計ＣＢＲ2以下の場合は仕上厚20cmの厚さのしや断層を設ける。
5. 上記の舗装構成は、再生クラッシャランの修正ＣＢＲ30以上の場合の数値であり、修正ＣＢＲ20以上の場合は別途考慮すること。

舗　装　構　成

表　層　工	厚　5cm	密粒度アスコン	
基　層　工	厚　5cm	粗粒度アスコン	（必要な場合）
上層路盤工	厚　8～10cm 厚　10～35cm	ソイルアスコン 改良砕石or粒調砕石	（必要な場合）
下層路盤工	厚　10～40cm	再生クラッシャラン	
しや断工	厚　20cm	砂	（必要な場合）

大分類	中分類	小分類	適用年度
200 舗装工	アスファルトコンクリート舗装工	車道 再生砕石(1/2)	R7.4

201

名古屋市緑政土木局　作成年月　H22.4

大分類	中分類	小分類	適用年度
200 舗装工	アスファルト コンクリート舗装工	車道 再生砕石(2/2)	R7.4

(標準) アスファルトコンクリート舗装工

アスファルトコンクリート舗装工（車道，再生砕石）

材料表　　100m²当り

交通量の区分	設計 CBR	アスコン合材 (m³) 密粒度(1) 13mm以下	アスコン合材 (m³) 密粒度(2) 20mm以下	アスコン合材 (m³) 粗粒度	タックコート カオチン系PK-4 (ℓ)	安定処理路盤材 瀝青安定処理材 (m³)	プライムコート カオチン系PK-3 (ℓ)	改良砕石又は粒調砕石 (m³)	再生クラッシャラン (m³)	砂 クッション用 不洗(m³)
N_2・N_3	(2)	(5)	—	—	—	—	(126.0)	(20.0)	(20.0)	(20.0)
	3	5	—	—	—	—	126.0	15.0	20.0	—
	4	5	—	—	—	—	126.0	15.0	15.0	—
	6	5	—	—	—	—	126.0	10.0	15.0	—
	8 以上	5	—	—	—	—	126.0	10.0	10.0	—
N_4	(2)	(5)	—	—	—	—	(126.0)	(25.0)	(30.0)	(20.0)
	3	5	—	—	—	—	126.0	15.0	35.0	—
	4	5	—	—	—	—	126.0	10.0	40.0	—
	6	5	—	—	—	—	126.0	10.0	30.0	—
	8	5	—	—	—	—	126.0	15.0	15.0	—
	12 以上	5	—	—	—	—	126.0	10.0	20.0	—
N_5	(2)	—	(5)	(5)	(42.8)	—	(126.0)	(30.0)	(35.0)	(20.0)
	3	—	5	5	42.8	—	126.0	25.0	30.0	—
	4	—	5	5	42.8	—	126.0	15.0	35.0	—
	6	—	5	5	42.8	—	126.0	10.0	30.0	—
	8	—	5	5	42.8	—	126.0	15.0	15.0	—
	12 以上	—	5	5	42.8	—	126.0	10.0	15.0	—
N_6	(2)	—	(5)	(5)	(85.6)	(10)	(126.0)	(35.0)	(35.0)	(20.0)
	3	—	5	5	85.6	8	126.0	25.0	40.0	—
	4	—	5	5	85.6	8	126.0	20.0	35.0	—
	6	—	5	5	85.6	8	126.0	20.0	20.0	—
	8	—	5	5	85.6	9	126.0	15.0	15.0	—
	12 以上	—	5	5	85.6	9	126.0	10.0	10.0	—

注意事項

1. 再生材料の使用を標準とする。
2. 改良砕石はKC-40、粒調砕石はM-40、再生クラッシャランはRC-40の使用を標準とするが、厚さを10cmとする場合はM-25、RC-30等を使用する。
3. (　)は、修繕工事などで既存の路床の設計ＣＢＲが2であるものの、路床を改良することが困難な場合に適用する。
4. 設計ＣＢＲ2以下の場合は仕上厚20cmの厚さのしゃ断層を設ける。
5. 上表は、割増補正を考慮していない数値である。
6. プライムコートは現場状況に応じて計上すること。

(標準) アスファルトコンクリート舗装工

大分類	中分類	小分類	適用年度
200 舗装工	アスファルトコンクリート舗装工	車道，スラグ(1/2)	R7.4

203

アスファルトコンクリート舗装工（車道，スラグ）

交通量の区分	設計CBR	舗装構成								単位（cm）
		表層	基層	路盤			しや断層	必要厚 TA	設定厚 TA'	合計厚さ
		密粒度アスコン	粗粒度アスコン	瀝青安定処理	水硬性粒調スラグ	クラッシャランスラグ	砂			
N_2・N_3	（2）	（5）	—	—	（10）	（30）	（20）	（17）	（18.0）	（45）
	3	5	—	—	10	20	—	15	15.5	35
	4	5	—	—	10	15	—	14	14.3	30
	6	5	—	—	10	10	—	12	13.0	25
	8以上	5	—	—	10	10	—	11	13.0	25
N_4	（2）	（5）	—	—	（15）	（35）	（20）	（21）	（22.0）	（55）
	3	5	—	—	15	25	—	19	19.5	45
	4	5	—	—	15	20	—	18	18.3	40
	6	5	—	—	15	15	—	16	17.0	35
	8	5	—	—	10	15	—	14	14.3	30
	12以上	5	—	—	10	10	—	13	13.0	25
N_5	（2）	（5）	（5）	—	（25）	（25）	（20）	（29）	（30.0）	（60）
	3	5	5	—	20	20	—	26	26.0	50
	4	5	5	—	15	25	—	24	24.5	50
	6	5	5	—	15	15	—	21	22.0	40
	8	5	5	—	10	15	—	19	19.3	35
	12以上	5	5	—	10	10	—	17	18.0	30
N_6	（2）	（5）	（5）	（7）	（30）	（30）	（20）	（39）	（39.6）	（77）
	3	5	5	7	20	35	—	35	35.4	72
	4	5	5	8	15	30	—	32	32.1	63
	6	5	5	8	15	15	—	28	28.4	48
	8	5	5	7	10	20	—	26	26.1	47
	12以上	5	5	7	10	10	—	23	23.6	37

注意事項

1. 再生材料の使用を標準とする。
2. （　）は、修繕工事などで既存の路床の設計ＣＢＲが2であるものの、路床を改良することが困難な場合に適用する。
3. 設計ＣＢＲ2以下の場合は仕上厚20cmの厚さのしや断層を設ける。
4. 水硬性粒調スラグはHMS-25、クラッシャランスラグはCS-40及びCS-20の使用を標準とする。
5. 上記の舗装構成は、クラッシャランの修正ＣＢＲ30以上の数値であり、修正ＣＢＲ20以上とする場合は別途考慮すること。

大分類	中分類	小分類	適用年度
200 舗装工	アスファルトコンクリート舗装工	車道，スラグ(2/2)	R7.4

（標準）アスファルトコンクリート舗装工

アスファルトコンクリート舗装工（車道，スラグ）

材料表　100m²当り

交通量の区分	設計CBR	アスコン合材 (m³)			タックコート	安定処理路盤材	プライムコート	水硬性粒調スラグ (m³)	クラッシャランスラグ (m³)	砂
		密粒度(1) 13mm以下	密粒度(2) 20mm以下	粗粒度	カオチン系PK-4 (ℓ)	瀝青安定処理材 (m³)	カオチン系PK-3 (ℓ)			クッション用 (m³)
N_2・N_3	（2）	（5）	—	—	—	—	（126.0）	（10.0）	（30.0）	（20.0）
	3	5	—	—	—	—	126.0	10.0	20.0	—
	4	5	—	—	—	—	126.0	10.0	15.0	—
	6	5	—	—	—	—	126.0	10.0	10.0	—
	8 以上	5	—	—	—	—	126.0	10.0	10.0	—
N_4	（2）	（5）	—	—	—	—	（126.0）	（15.0）	（35.0）	（20.0）
	3	5	—	—	—	—	126.0	15.0	25.0	—
	4	5	—	—	—	—	126.0	15.0	20.0	—
	6	5	—	—	—	—	126.0	15.0	15.0	—
	8	5	—	—	—	—	126.0	10.0	15.0	—
	12 以上	5	—	—	—	—	126.0	10.0	10.0	—
N_5	（2）	—	（5）	（5）	（42.8）	—	（126.0）	（25.0）	（25.0）	（20.0）
	3	—	5	5	42.8	—	126.0	20.0	20.0	—
	4	—	5	5	42.8	—	126.0	15.0	25.0	—
	6	—	5	5	42.8	—	126.0	15.0	15.0	—
	8	—	5	5	42.8	—	126.0	10.0	15.0	—
	12 以上	—	5	5	42.8	—	126.0	10.0	10.0	—
N_6	（2）	—	（5）	（5）	（85.6）	（7）	（126.0）	（30.0）	（30.0）	（20.0）
	3	—	5	5	85.6	7	126.0	20.0	35.0	—
	4	—	5	5	85.6	8	126.0	15.0	30.0	—
	6	—	5	5	85.6	8	126.0	15.0	15.0	—
	8	—	5	5	85.6	7	126.0	10.0	20.0	—
	12 以上	—	5	5	85.6	7	126.0	10.0	10.0	—

注意事項

1. 再生材料の使用を標準とする。
2. プライムコートおよび砂については現場状況に応じて計上すること。
3. （　）は、修繕工事などで既存の路床の設計ＣＢＲが2であるものの、路床を改良することが困難な場合に適用する。
4. 上表は、割増補正を考慮していない数値である。
5. 水硬性粒調スラグはHMS-25、クラッシャランスラグはCS-40及びCS-20の使用を標準とする。

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
200 舗　装　工	アスファルト コンクリート舗装工	（車道） 生活道路舗装	R7.4

（標準）アスファルトコンクリート舗装工
（車道）生活道路舗装

単位（cm）

交通量の区分	設計CBR	舗装構成					
		表層	路盤		必要厚	設定厚	合計厚
		密粒度アスコン	瀝青安定処理	改良砕石又は粒調砕石	TA	TA’	
N_1	（２）	（５）	—	（２０）	（１１）	（１２.０）	（２５）
	３・４	5	—	15	9	10.3	20
	６以上	5	—	10	8	8.5	15

注意事項

1. 再生材料の使用を標準とする。
2. 改良砕石はKC-40、粒調砕石はM-40の使用を標準とするが、厚さを10cmとする場合はM-25等を使用する。
3. 交通量の区分「N_2・N_3」は、（標準）アスファルト舗装工を適用する。
4. （）は、修繕工事などで既存の路床の設計ＣＢＲが2であるものの、路床を改良することが困難な場合に適用する。

(標準) セメントコンクリート舗装工

大分類	中分類	小分類	適用年度
200 舗装工	セメントコンクリート舗装工	車道 再生砕石(1/2)	R7.4

セメントコンクリート舗装工（車道，再生砕石又は改良砕石）

単位（cm）

交通量の区分	設計CBR	舗装構成						
		表層	中間層	路盤			しや断層	合計厚さ
		コンクリート版	密粒度アスコン	セメント安定処理	改良砕石又は粒調砕石	再生クラッシャラン	砂	
N_1・N_2・N_3	（2）	（15）	—	—	（25）	（40）	（20）	（100）
	3	15	—	—	20	25	—	60
	4	15	—	—	25	—	—	40
	6	15	—	—	20	—	—	35
	8	15	—	—	15	—	—	30
	12以上	15	—	—	15	—	—	30
N_4	（2）	（20）	—	—	（25）	（40）	（20）	（105）
	3	20	—	—	20	25	—	65
	4	20	—	—	25	—	—	45
	6	20	—	—	20	—	—	40
	8	20	—	—	15	—	—	35
	12以上	20	—	—	15	—	—	35
N_5	（2）	（25）	—	—	（35）	（45）	（20）	（125）
	3	25	—	—	30	30	—	85
	4	25	—	—	20	25	—	70
	6	25	—	—	25	—	—	50
	8	25	—	—	20	—	—	45
	12以上	25	—	—	15	—	—	40
N_6	（2）	（28）	（4）	—	（25）	（45）	（20）	（122）
	3	28	4	—	20	30	—	82
	4	28	4	—	10	25	—	67
	6	28	4	—	15	—	—	47
	8	28	4	—	15	—	—	47
	12以上	28	4	—	15	—	—	47
N_7	（2）	（30）	（4）	—	（25）	（45）	（20）	（124）
	3	30	4	—	20	30	—	84
	4	30	4	—	10	25	—	69
	6	30	4	—	15	—	—	49
	8	30	4	—	15	—	—	49
	12以上	30	4	—	15	—	—	49

注意事項

1. 再生材料の使用を標準とする。
2. 改良砕石はKC-40、粒調砕石はM-40、再生クラッシャランはRC-40の使用を標準とするが、厚さを10cmとする場合はM-25、RC-30等を使用する。
3. （ ）は、修繕工事などで既存の路床の設計ＣＢＲが2であるものの、路床を改良することが困難な場合に適用する。
4. 設計ＣＢＲ2以下の場合は仕上厚20cmの厚さのしや断層を設ける。

舗装構成

表層工	厚 15～30cm	コンクリート版	
中間工	厚 4cm	密粒度アスコン	（必要な場合）
上層路盤工	厚 10～35cm	改良砕石or粒調砕石	（必要な場合）
下層路盤工	厚 20～40cm	再生クラッシャラン	（必要な場合）
路床	厚 20cm	砂	（必要な場合）

(標準) セメントコンクリート舗装工

大分類	中分類	小分類	適用年度
200 舗装工	セメントコンクリート舗装工	車道 再生砕石(2/2)	R7.4

セメントコンクリート舗装工（車道，再生砕石）

（標準）

交通量の区分	設計CBR	材料表 100m²当り					
		コンクリート	アスコン合材	プライムコート	改良砕石又は粒調砕石	再生クラッシャラン	砂
		曲4.5-6.5-40 (m^3)	密粒度13mm以下 (m^3)	カチオン系PK-3 (ℓ)	(m^3)	(m^3)	(m^3)
N_1・N_2・N_3	（2）	（15.00）	—	（126.00）	（25.00）	（40.00）	（20.00）
	3	15.00	—	126.00	20.00	25.00	—
	4	15.00	—	126.00	25.00	—	—
	6	15.00	—	126.00	20.00	—	—
	8	15.00	—	126.00	15.00	—	—
	12以上	15.00	—	126.00	15.00	—	—
N_4	（2）	（20.00）	—	（126.00）	（25.00）	（40.00）	（20.00）
	3	20.00	—	126.00	20.00	25.00	—
	4	20.00	—	126.00	25.00	—	—
	6	20.00	—	126.00	20.00	—	—
	8	20.00	—	126.00	15.00	—	—
	12以上	20.00	—	126.00	15.00	—	—
N_5	（2）	（25.00）	—	（126.00）	（35.00）	（45.00）	（20.00）
	3	25.00	—	126.00	30.00	30.00	—
	4	25.00	—	126.00	20.00	25.00	—
	6	25.00	—	126.00	25.00	—	—
	8	25.00	—	126.00	20.00	—	—
	12以上	25.00	—	126.00	15.00	—	—
N_6	（2）	（28.00）	（4）	—	（25.00）	（45.00）	（20.00）
	3	28.00	4	—	20.00	30.00	—
	4	28.00	4	—	10.00	25.00	—
	6	28.00	4	—	15.00	—	—
	8	28.00	4	—	15.00	—	—
	12以上	28.00	4	—	15.00	—	—
N_7	（2）	（30.00）	（4）	—	（25.00）	（45.00）	（20.00）
	3	30.00	4	—	20.00	30.00	—
	4	30.00	4	—	10.00	25.00	—
	6	30.00	4	—	15.00	—	—
	8	30.00	4	—	15.00	—	—
	12以上	30.00	4	—	15.00	—	—

注意事項

1. 再生材料の使用を標準とする。
2. 改良砕石はKC-40、粒調砕石はM-40、再生クラッシャランはRC-40の使用を標準とするが、厚さを10cmとする場合はM-25、RC-30等を使用する。
3. （　）は、修繕工事などで既存の路床の設計ＣＢＲが2であるものの、路床を改良することが困難な場合に適用する。
4. 上表は、プライムコートのみ材料ロス分を含むが、その他は割増補正を考慮していない数値である。
5. 設計ＣＢＲ2以下の場合は、仕上厚20cmの厚さのしゃ断層を設ける。
6. アスファルト中間層や瀝青安定処理路盤以外の路盤面は、プライムコートを行う。

(標準) セメントコンクリート舗装工

大分類	中分類	小分類	適用年度
200 舗装工	セメントコンクリート舗装工	車道，スラグ(1/2)	R7.4

セメントコンクリート舗装工（車道，スラグ）

単位（cm）

交通量の区分	設計CBR	舗装構成					
		表層	中間層	路盤			路床
		コンクリート版	密粒度アスコン	セメント安定処理	水硬性粒調スラグ	クラッシャランスラグ	砂
N_1・N_2・N_3	（2）	（15）	—	—	（20）	（25）	（20）
	3	15	—	—	15	20	—
	4	15	—	—	15	—	—
	6	15	—	—	15	—	—
	8	15	—	—	15	—	—
	12以上	15	—	—	15	—	—
N_4	（2）	（20）	—	—	（20）	（25）	（20）
	3	20	—	—	15	20	—
	4	20	—	—	15	—	—
	6	20	—	—	15	—	—
	8	20	—	—	15	—	—
	12以上	20	—	—	15	—	—
N_5	（2）	（25）	—	—	（20）	（40）	（20）
	3	25	—	—	20	20	—
	4	25	—	—	20	—	—
	6	25	—	—	15	—	—
	8	25	—	—	15	—	—
	12以上	25	—	—	15	—	—
N_6	（2）	（28）	（4）	—	（20）	（40）	（20）
	3	28	4	—	20	20	—
	4	28	4	—	20	—	—
	6	28	4	—	15	—	—
	8	28	4	—	15	—	—
	12以上	28	4	—	15	—	—
N_7	（2）	（30）	（4）	—	（20）	（40）	（20）
	3	30	4	—	20	20	—
	4	30	4	—	20	—	—
	6	30	4	—	15	—	—
	8	30	4	—	15	—	—
	12以上	30	4	—	15	—	—

注意事項

1. 再生材料の使用を標準とする。
2. 粒調スラグは、必要に応じてセメント安定処理として計上することができる。なお、セメント安定処理を計上する場合はＡｓ中間層は計上しない。
3. （　）は、修繕工事などで既存の路床の設計ＣＢＲが2であるものの、路床を改良することが困難な場合に適用する。設計ＣＢＲ2以下の場合は、仕上厚20㎝の厚さのしゃ断層を設ける。
4. 上表は、割増補正を考慮していない数値である。
5. 水硬性粒調スラグはHMS-25、クラッシャランスラグはCS-40及びCS-20の使用を標準とする。

(標準) セメントコンクリート舗装工

大分類	中分類	小分類	適用年度
200 舗装工	セメントコンクリート舗装工	車道，スラグ(2/2)	R7.4

セメントコンクリート舗装工（車道，スラグ）

交通量の区分	設計CBR	材料表 100㎡当り					
		コンクリート	アスコン合材	プライムコート	水硬性粒調スラグ	クラッシャランスラグ	砂
		曲4.5-6.5-40 (m³)	密粒度13mm以下 (m³)	カチオン系PK-3 (ℓ)	(m³)	(m³)	(m³)
N1・N2・N3	（2）	（15.00）	—	（126.00）	（20.00）	（25.00）	（20.00）
	3	15.00	—	126.00	15.00	20.00	—
	4	15.00	—	126.00	15.00	—	—
	6	15.00	—	126.00	15.00	—	—
	8	15.00	—	126.00	15.00	—	—
	12以上	15.00	—	126.00	15.00	—	—
N4	（2）	（20.00）	—	（126.00）	（20.00）	（25.00）	（20.00）
	3	20.00	—	126.00	15.00	20.00	—
	4	20.00	—	126.00	15.00	—	—
	6	20.00	—	126.00	15.00	—	—
	8	20.00	—	126.00	15.00	—	—
	12以上	20.00	—	126.00	15.00	—	—
N5	（2）	（25.00）	—	（126.00）	（20.00）	（40.00）	（20.00）
	3	25.00	—	126.00	20.00	20.00	—
	4	25.00	—	126.00	20.00	—	—
	6	25.00	—	126.00	15.00	—	—
	8	25.00	—	126.00	15.00	—	—
	12以上	25.00	—	126.00	15.00	—	—
N6	（2）	（28.00）	（4）	—	（20.00）	（40.00）	（20.00）
	3	28.00	4	—	20.00	20.00	—
	4	28.00	4	—	20.00	—	—
	6	28.00	4	—	15.00	—	—
	8	28.00	4	—	15.00	—	—
	12以上	28.00	4	—	15.00	—	—
N7	（2）	（30.00）	（4）	—	（20.00）	（40.00）	（20.00）
	3	30.00	4	—	20.00	20.00	—
	4	30.00	4	—	20.00	—	—
	6	30.00	4	—	15.00	—	—
	8	30.00	4	—	15.00	—	—
	12以上	30.00	4	—	15.00	—	—

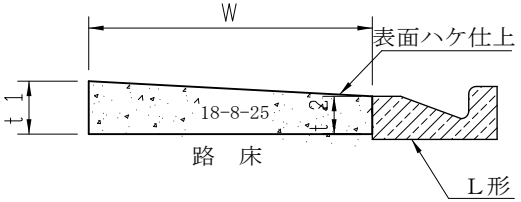
注意事項

1. 再生材料の使用を標準とする。
2. 粒調スラグは、必要に応じてセメント安定処理として計上することができる。なお、セメント安定処理を計上する場合はＡｓ中間層は計上しない。
3. （　）は、修繕工事などで既存の路床の設計ＣＢＲが2であるものの、路床を改良することが困難な場合に適用する。設計ＣＢＲ2以下の場合は、仕上厚20㎝の厚さのしゃ断層を設ける。
4. 上表は、プライムコートのみ材料ロス分を含むが、その他は割増補正を考慮していない数値である。
5. 水硬性粒調スラグはHMS-25、クラッシャランスラグはCS-40及びCS-20の使用を標準とする。
6. アスファルト中間層や瀝青安定処理路盤以外の路盤面は、プライムコートを行う。

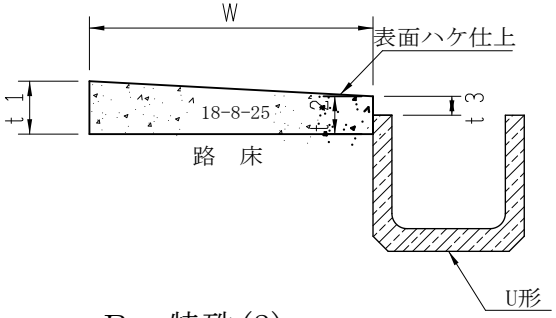
大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
200 舗　装　工	セメント コンクリート舗装工	（A），（B）	R7.4

セメントコンクリート舗装工

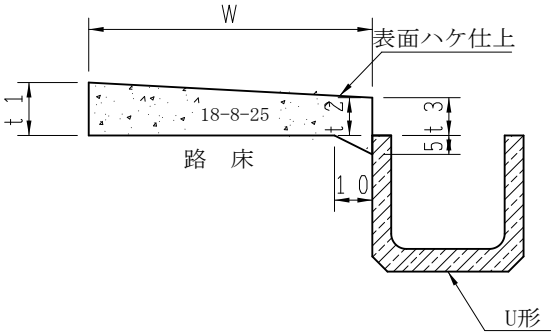
A　標準



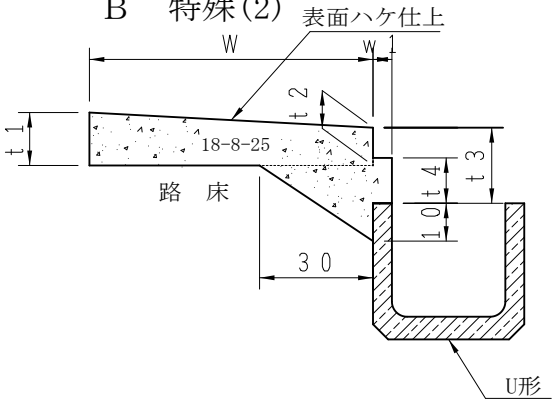
B　標準



B　特殊(1)

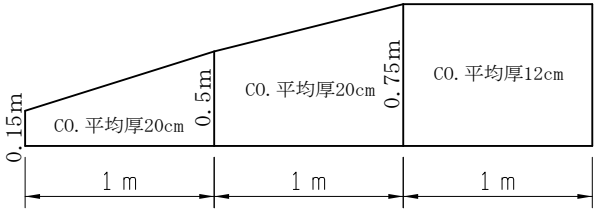


B　特殊(2)



名　称	寸　法　表　単位(cm)			適　用
	平均舗装厚 t	t1	t2	
A	12	14	10	
B	12	14	10	
（A－1 B－1）	15	17	13	
（A－2 B－2）	18	20	16	
（A－3 B－3）	20	22	18	
（A－4 B－4）	23	25	21	
（A－5 B－5）	25	27	23	

平　面　図



注意事項

1. 収縮目地（瀝青目地板10㎜）の間隔は最大5mとする。
（電柱・桝等必要に応じて設置する。）
2. 端部の施工厚（長さ2m分）は20cmとすること。

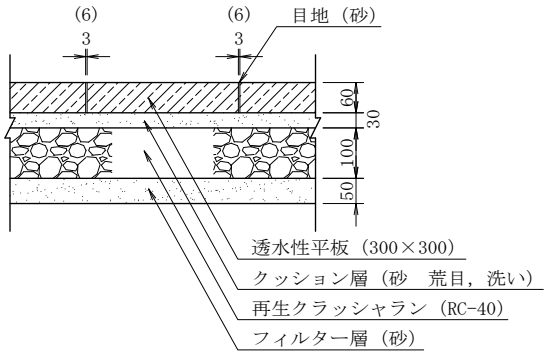
3. ｔ２－ｔ３＝５～２５ｃｍの時はＢを使用。
ｔ２－ｔ３＝０～４．９９ｃｍの時はＢ特殊(1)を使用。
ｔ２－ｔ３＝－２５～－０．０１ｃｍの時はＢ特殊(2)を使用。

t1:車道側施工厚　　(17～27cm)
t2:側溝側施工厚　　(10～23cm)
t3:側溝側仕上がり高　(0～35cm)
t4:蓋掛嵩仕上げ高　(0～30cm)
W1:蓋掛上げ幅

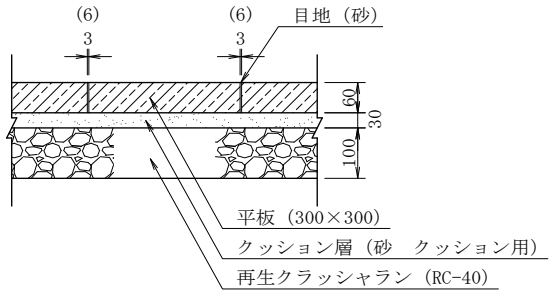
大分類	中分類	小分類	適用年度
200 舗装工	コンクリート平板舗装工	歩道用	R7.4

コンクリート平板舗装工（歩道用）

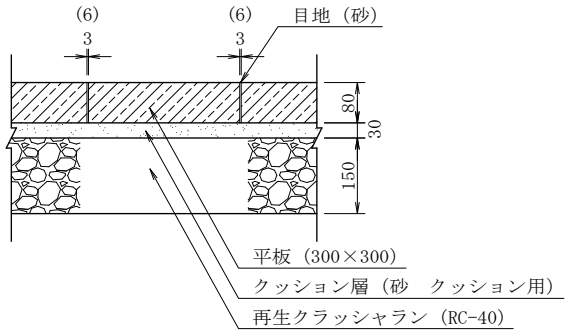
一般部（透水性）



一般部（非透水性）

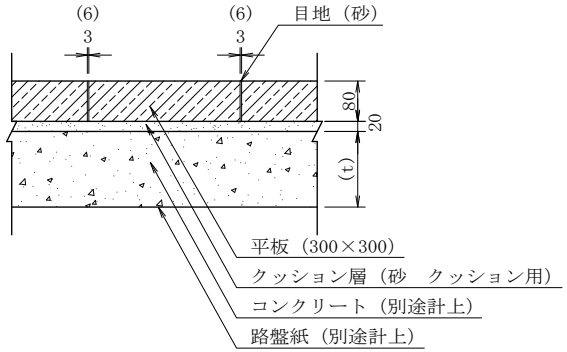


乗入れ部（非透水性）



補強部（非透水性）

［景観に配慮しなければならない場合のみ使用］



コンクリート平板舗装工（歩道用）材料表

名称	材料表 100m²当り						摘要
	平板（300×300）（枚）		クッション層		再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 (m³)	フィルター層 砂 (m³)	
	t=60	t=80	砂 荒目，洗い (m³)	砂 クッション用 (m³)			
一般部（透水性）	1089	—	3.00	—	10.00	5.00	
一般部（非透水性）	1089	—	—	3.00	10.00	—	
乗入れ部（非透水性）	—	1089	—	3.00	15.00	—	
補強〔乗入れ等〕部（非透水性）	—	1089	—	2.00	—	—	都市景観に配慮する場合の歩道の補強部に限り適用する。

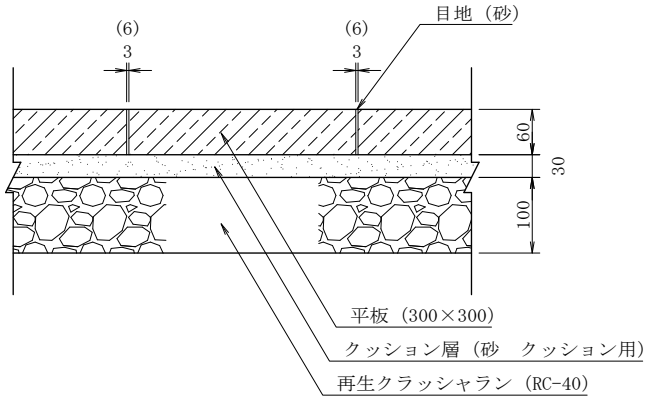
注意事項

1. 本構造は歩道・自歩道に適用するものとし、園路（公園）については別途考慮し、車道には適用しない。
2. (t)は現場条件により所定の厚みを確保すること。
3. (　)内の数字は、復旧の場合とする。
4. 乗入れ部の構造は道路構造令による小型自動車までとし、それ以上の車両が出入りする場合は、「213 歩道補強」の採用を標準とする。また、不特定多数の小型自動車が出入りする共同駐車場においても、同様にすることが望ましい。
   なお、都市景観に配慮しなければならない場合は、図中の補強部を採用することができる。
5. 洗い出し平板、擬石平板にも適用する。
6. 伸縮目地が必要な場合は10m間隔に設置する。（別途計上）
7. コンクリート基礎のコンクリート強度は、21-8-25を標準とする。

大分類	中分類	小分類	適用年度
200 舗装工	公園平板舗装工	公園平板舗装工	R7.4

公園平板舗装工

歩行者用（非透水性）



公園平板舗装工材料表

名称	材料表			100m²当り	摘要
	平板（300×300）（枚）	クッション層	路盤		
	t=60	砂 クッション用（m³）	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40（m³）		
歩行者用　（非透水性）	1089	3.00	10.00		

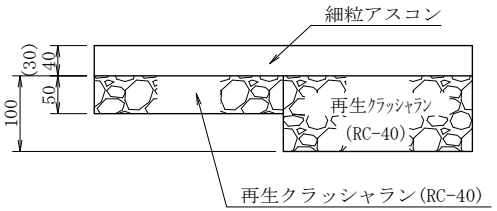
注意事項

1. 本構造は園路（公園）に適用し、歩道・自歩道及び車道については別途考慮すること。
2. （ ）内の数字は、復旧の場合とする。
3. 洗出平板、擬石平板にも適用する。
4. 洗出平板の種石は、金華・蛇紋程度とする。
5. 擬石平板の石質は、イナダ・サビミカゲ程度とし、仕上は小たたきとする。

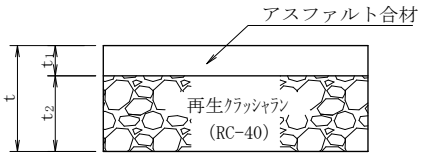
大分類	中分類	小分類	適用年度
200 舗装工	アスコン，ベンガラアスコン，脱色アスコン，透水性脱色アスコン，透水性アスコン，コンクリート舗装工	歩道用	R7.4

アスコン，ベンガラアスコン，脱色アスコン
透水性脱色アスコン，透水性アスコン，コンクリート舗装工

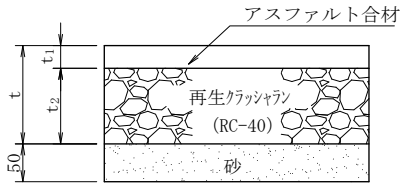
アスコン舗装工



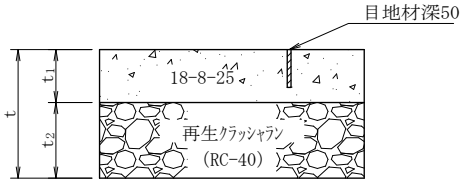
ベンガラアスコン舗装工
脱色アスコン舗装工



透水性脱色アスコン舗装工
透水性アスコン舗装工



コンクリート舗装工



アスコン舗装工　材料表

名称	材料表 100m²当り				摘要
	アスコン合材 細粒アスコン (m³)		再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 (m³)		
A	4.00	(3.00)	5.00	(5.00)	
B	4.00	(3.00)	5.00	(10.00)	

ベンガラアスコン舗装工　材料表

名称	寸法表 単位(mm)			材料表 100m²当り		摘要
	t	t1	t2	アスファルト合材 細粒ベンガラ入(m³)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 (m³)	
A	140(130)	40(30)	100	4.00(3.00)	10.00	
B	190	40	150	4.00	15.00	
C	0	40(30)	0	4.00(3.00)	──	

脱色アスコン舗装工　材料表

名称	寸法表 単位(mm)			材料表 100m²当り		摘要
	t	t1	t2	脱色アスファルト合材 密粒(m³)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 (m³)	
A	130	30	100	3.00	10.00	
B	190	40	150	4.00	15.00	

透水性脱色アスコン舗装工　材料表

名称	寸法表 単位(mm)			材料表 100m²当り			摘要
	t	t1	t2	脱色アスファルト 透水性アスコン(m³)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 (m³)	砂 (m³)	
A	130	30	100	3.00	10.00	5.00	
B	190	40	150	4.00	15.00	5.00	

透水性アスコン舗装工　材料表

名称	寸法表 単位(mm)			材料表 100m²当り			摘要
	t	t1	t2	透水性アスコン(m³)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 (m³)	砂 (m³)	
A	140	40	100	4.00	10.00	5.00	
B	200	50	150	5.00	15.00	5.00	

コンクリート舗装工　材料表

名称	寸法表 単位(mm)			材料表 100m²当り		摘要
	t	t1	t2	コンクリート 18-8-25(m³)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 (m³)	
A	170	70	100	7.00	10.00	
B	250	100	150	10.00	15.00	
(C)	90	90	0	9.00	0.00	
(D)	150	150	0	15.00	0.00	

(歩道補強)

名称	寸法表 単位(mm)	材料表 100m²当り	摘要
	t	コンクリート 21-8-25(m³)	
A	90	9.00	
B	120	12.00	
C	150	15.00	
D	180	18.00	
E	200	20.00	
F	250	25.00	

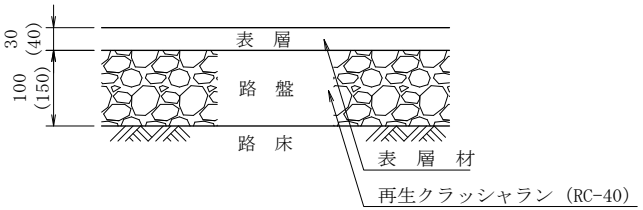
注意事項

1. コンクリート舗装の表面仕上げは、はけ引き仕上げを標準とし、目地は5m間隔を標準とする。
2. ( )内の数値は、3cm厚の舗装に適用する。
3. 歩道補強A～Fは、路盤紙を設ける。

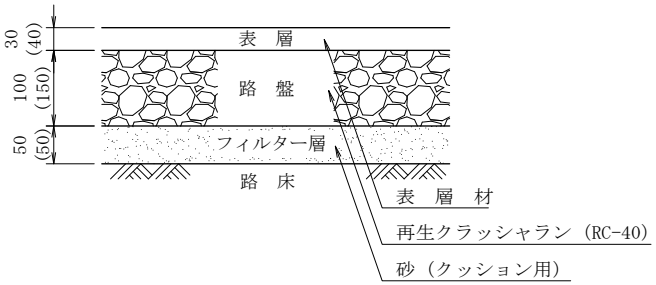
大分類	中分類	小分類	適用年度
200 舗装工	アスファルト系舗装工 コンクリート舗装工	公園用	R7.4

アスファルト系舗装工，コンクリート舗装工

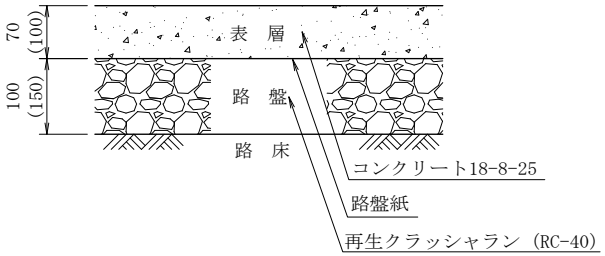
アスファルト舗装工
脱色アスファルト舗装工



透水性アスファルト舗装工
透水性脱色アスファルト舗装工
透水性ベンガラアスファルト舗装工



コンクリート舗装工



アスファルト舗装工
脱色アスファルト舗装工　材料表

（公園用）

名称		材料表 100m²当り			摘要
		表層		路盤	
		アスファルト合材 再生細粒度アスコン13(m³)	脱色アスファルト合材 密粒度アスコン13(m³)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40(m³)	
歩行者用園路	アスファルト舗装	3.00	──	10.0	
	脱色アスファルト舗装	──	3.00	10.0	
管理車両用園路	アスファルト舗装	4.00	──	15.0	
	脱色アスファルト舗装	──	4.00	15.0	

コンクリート舗装工　材料表

（公園用）

名称	材料表 100m²当り			摘要
	表層	路盤紙	路盤	
	コンクリート 18-8-25(m³)	クラフト紙系 (m²)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40(m³)	
歩行者用園路	7.0	100.0	10.0	
管理車両用園路	10.0	100.0	15.0	

透水性アスファルト舗装工
透水性脱色アスファルト舗装工
透水性ベンガラアスファルト舗装工　材料表

（公園用）

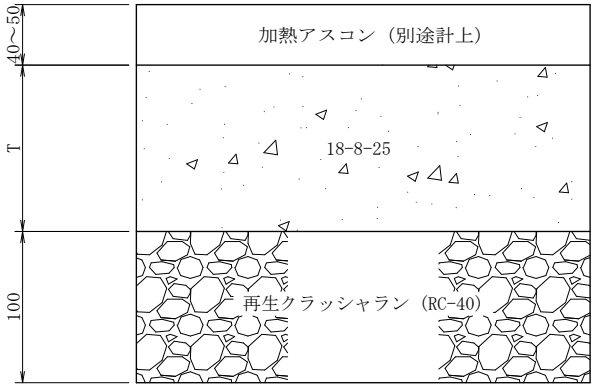
名称		材料表 100m²当り					摘要
		表層			路盤	フィルター層	
		アスファルト合材 透水性アスコン13(m³)	脱色アスファルト合材 透水性アスコン13(m³)	アスファルト合材 ベンガラ入 透水性アスコン13(m³)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40(m³)	砂（クッション用）(m³)	
歩行者用園路	透水性アスファルト舗装	3.00	──	──	10.0	5.0	
	透水性脱色アスファルト舗装	──	3.00	──	10.0	5.0	
	透水性ベンガラアスファルト舗装	──	──	3.00	10.0	5.0	
管理車両用園路	透水性アスファルト舗装	4.00	──	──	15.0	5.0	
	透水性脱色アスファルト舗装	──	4.00	──	15.0	5.0	
	透水性ベンガラアスファルト舗装	──	──	4.00	15.0	5.0	

注意事項

1. 断面図（ ）内の数字は管理車両用園路に適用する。
2. 緊急車両等大型車両の利用が想定される場合は、舗装厚を別途考慮すること。
3. コンクリート舗装の表面仕上げは、はけ引き仕上げを標準とし、目地は5m間隔を標準とする。

大分類	中分類	小分類	適用年度
200 舗装工	取合せ舗装路盤工	取合せ舗装路盤工	R7.4

取合せ舗装路盤工



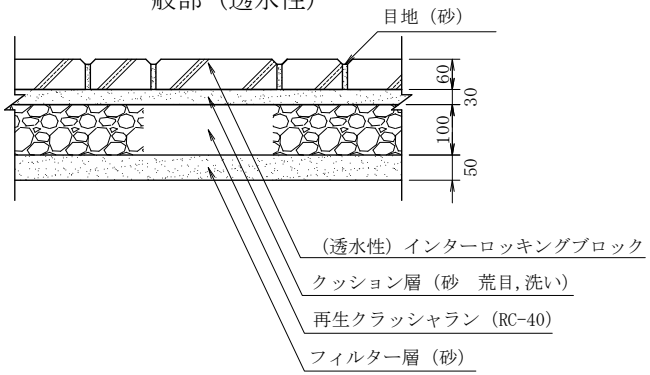
取合せ舗装路盤工　材料表

舗装厚 (mm)	材料表 100m²当り		摘要
	コンクリート 18-8-25(m³)	再生クラッシャラン RC-40(m³)	
T=110	11.00	10.00	
T=160	16.00	10.00	
T=190	19.00	10.00	
T=210	21.00	10.00	

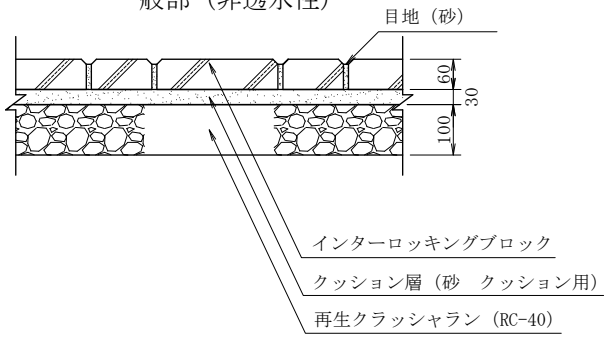
大分類	中分類	小分類	適用年度
200 舗装工	ブロック舗装工	歩道用	R7.4

ブロック舗装工（歩道用）

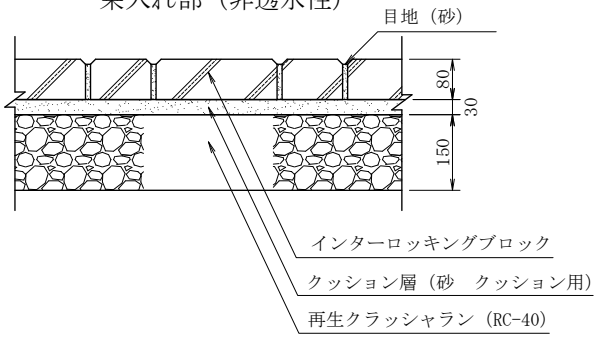
一般部（透水性）



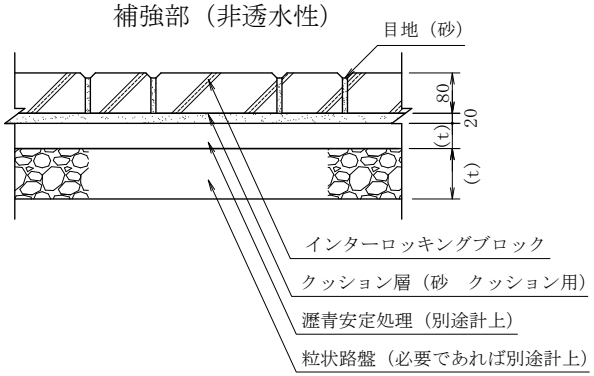
一般部（非透水性）



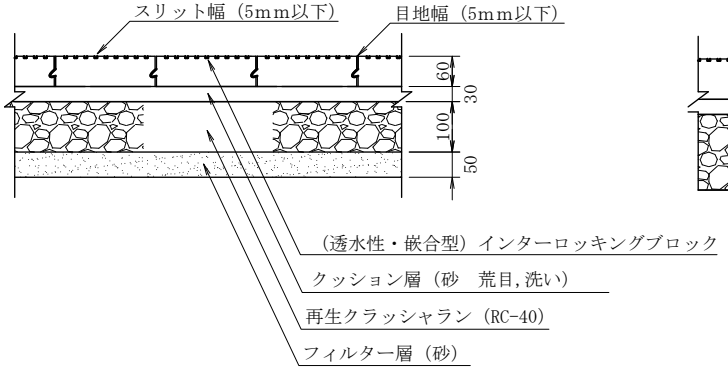
乗入れ部（非透水性）



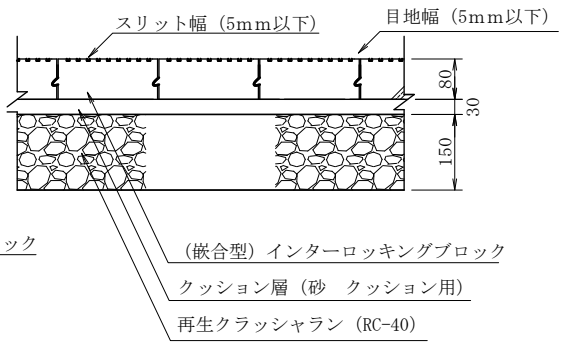
補強部（非透水性）



嵌合型一般部（透水性）



嵌合型乗入れ部（非透水性）



ブロック舗装工（歩道用）材料表

名称		材料表 100m²当り インターロッキングブロック (m²) t=60	インターロッキングブロック (m²) t=80	クッション層 砂 荒目，洗い (m³)	クッション層 砂 クッション用 (m³)	再生クラッシャラン RC-40 (m³)	フィルター層 砂 (m³)	摘要
一般部	（透水性）	100.00	—	3.00	—	10.00	5.00	
一般部	（非透水性）	100.00	—	—	3.00	10.00	—	
乗入れ部	（非透水性）	—	100.00	—	3.00	15.00	—	
補強〔乗入れ等〕部	（非透水性）	—	100.00	—	2.00	—	—	歩道の補強部に適用する。
嵌合型一般部	（透水性）	100.00	—	3.00	—	10.00	5.00	
嵌合型乗入れ部	（非透水性）	—	100.00	—	3.00	15.00	—	

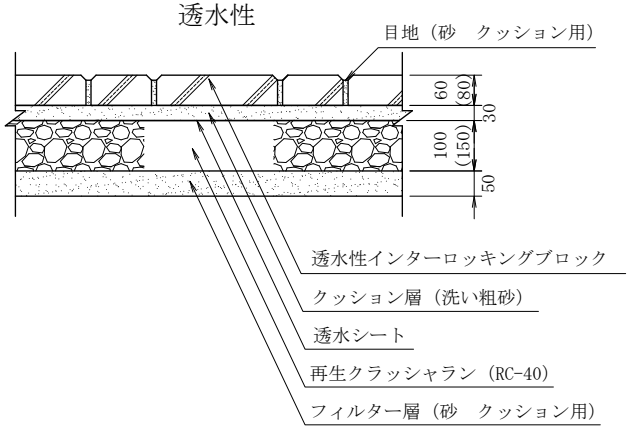
注意事項

1. 本構造は歩道・自歩道に適用し、園路（公園）及び車道については別途考慮すること。
2. (t)は現場条件により所定の厚みを確保すること。
3. 乗入れ部の構造は道路構造令による小型自動車までとし、それ以上の車両が出入りする場合は、補強部を採用すること。
   また、不特定多数の小型自動車が出入りする共同駐車場においても、同様にすることが望ましい。
   なお、ガソリンスタンド、バス転回・駐車場、消防署及びこれらに類似する車両の、出入りがある駐車場の乗入れ部は、「213 歩道補強」の採用を標準とする。
4. 瀝青安定路盤は再生アスファルト安定処理（20）を標準とし、既設の路盤が無い若しくは掘削等により路盤が無くなるなどの場合は、現場条件による所定の厚みで粒状（砕石）路盤を構築することができる。
5. コミュニティ道路において、隅切などを補強しなければならない場合は、補強部の構造を採用することができる。

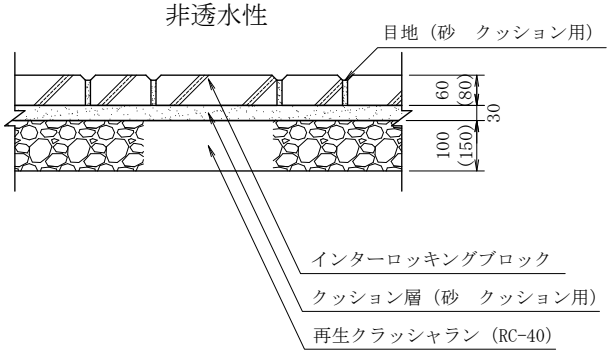
大分類	中分類	小分類	適用年度
200 舗装工	ブロック舗装工	公園用	R7.4

ブロック舗装工（公園用）

透水性



非透水性



注意事項

1. 本構造は園路（公園）に適用し、歩道・自歩道及び車道については別途考慮すること。
2. 透水シートは60g/m^{2}以上の不織布とし、監督員の承認を得ること。
3. 図中の(　)の数値は管理車両用とする。

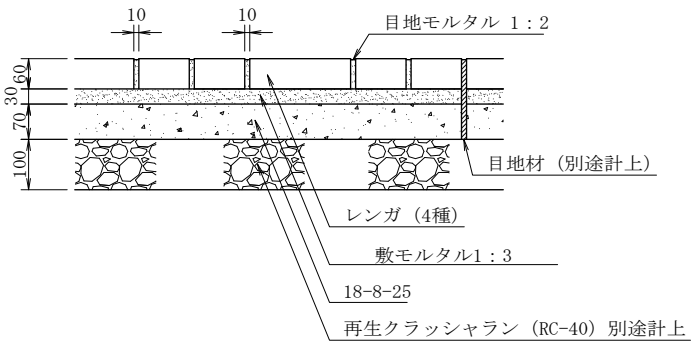
ブロック舗装工（公園用）材料表

名称	材料表 100m^{2}当り									摘要
	透水性インターロッキングブロック (m^2)		インターロッキングブロック (m^2)		クッション層 (m^3)		透水シート (m^2)	路盤 再生クラッシャラン RC-40 (m^3)	フィルター層 砂(ｸｯｼｮﾝ用) (m^3)	
	t=60	t=80	t=60	t=80	砂 洗い粗砂	砂 クッション用				
歩行者用　(透水性)	100.00	—	—	—	3.00	—	100.00	10.00	5.00	
管理車両用　(透水性)	—	100.00	—	—	3.00	—	100.00	15.00	5.00	
歩行者用　(非透水性)	—	—	100.00	—	—	3.00	—	10.00	—	
管理車両用　(非透水性)	—	—	—	100.00	—	3.00	—	15.00	—	

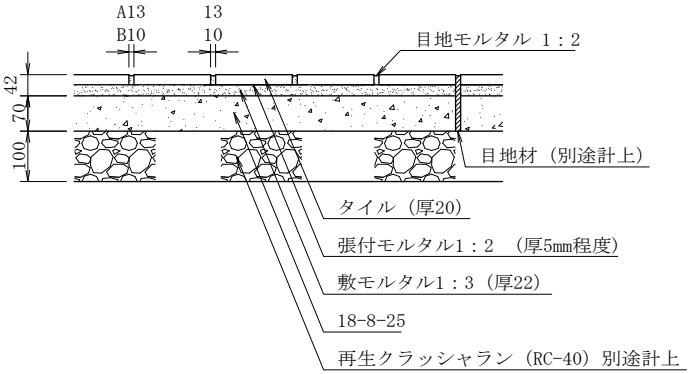
大分類	中分類	小分類	適用年度
200 舗装工	レンガ，タイル，石張舗装工	レンガ，タイル，石張舗装工	R7.4

レンガ，タイル，石張舗装工

レンガ舗装工

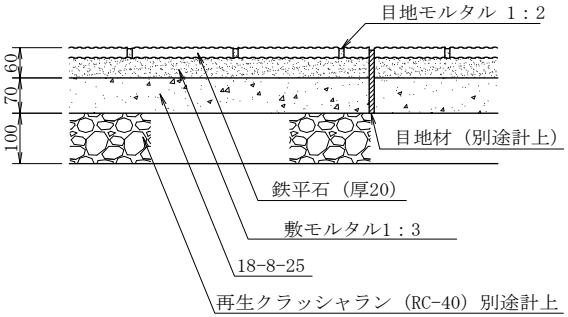


タイル舗装工



A：クリンカータイル（せっ器質）
B：レンガ調タイル（せっ器質）

石張舗装工



A：鉄平石（乱形）
B：鉄平石（方形）

レンガ，タイル，石張舗装工 材料表

名称		材料表 100㎡当り								摘要
		コンクリート 18-8-25 (m³)	モルタル (m³)			レンガ 4種（個） 210×100	タイル（せっ器質）（枚）		鉄平石 (m²)		
			敷 (1：3)	貼付 (1：2)	目地 (1：2)		クリンカー 152×152	レンガ調 210×100	乱形 φ330厚20内	方形 厚20内外	
レンガ舗装工		7.000	3.000	—	0.755	4132.2	—	—	—	—	
タイル舗装工	クリンカータイル	7.000	2.200	0.500	0.272	—	3673.1	—	—	—	
	レンガ調タイル	7.000	2.200	0.500	0.238	—	—	4132.2	—	—	
石張舗装	鉄平石（乱形）	7.000	4.000	—	0.130	—	—	—	100	—	
	鉄平石（方形）	7.000	4.000	—	0.170	—	—	—	—	100	

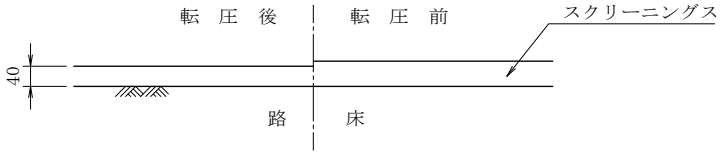
注意事項

1. 目地の仕上りは天端を2㎜下りを標準とする。
2. 目地は10㎜間隔を標準とする。

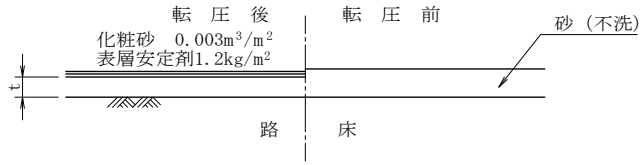
大分類	中分類	小分類	適用年度
200 舗装工	表層工	ダスト表層 砂表層	R7.4

表層工

ダスト表層



砂表層



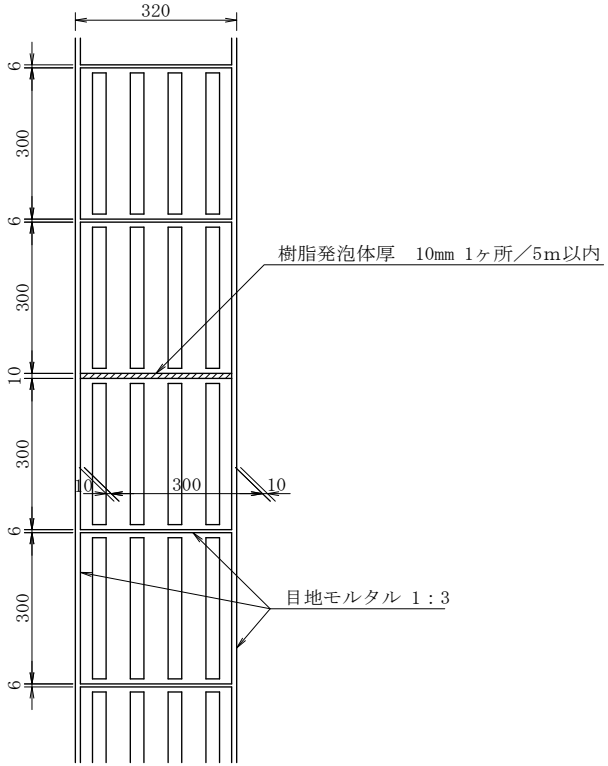
表層工材料表

名称		材料表 100m²当り スクリーニングス 粒径2.5～0(m³)	表層安定剤 塩化マグネシウム等(kg)	砂 (m³) 不洗	砂 (m³) 洗細砂（化粧用）	摘要
ダスト表層		4.000	—	—	—	
砂表層	t=40	—	120.00	4.00	0.30	
	t=70	—	120.00	7.00	0.30	

大分類	中分類	小分類	適用年度
200 舗装工	視覚障害者誘導用平板舗装工	誘導部	R7.4

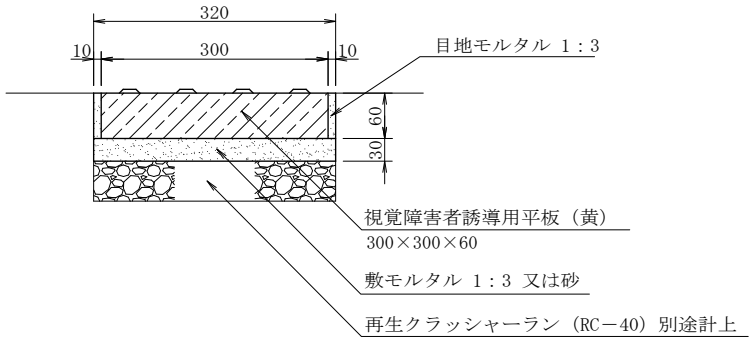
視覚障害者誘導用平板舗装工

平面図

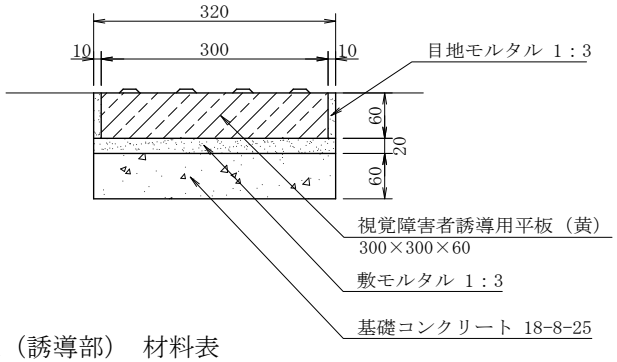


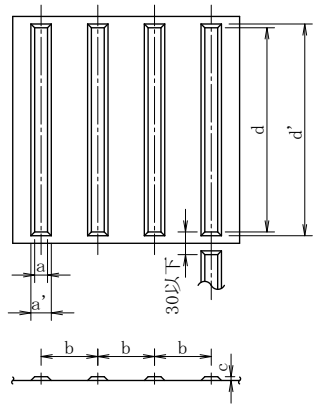
断面図

（基礎コンクリート無）



（基礎コンクリート有）





単位（mm）

記号	寸法	許容差
a	17	+1.5 0
a'	a+10	
b	75	
c	5	+1 0
d	270以上	
d'	d+10	

線状突起の形状・寸法及びその配列

視覚障害者誘導用平板舗装工（誘導部） 材料表

名称	材料表 100m当り						摘要
	コンクリート平板(黄)（点状ブロック）（線状ブロック）300×300×60（枚）	敷モルタル又は敷砂		コンクリート	目地		
		モルタル 1：3 (m^3)	砂 クッション用 (m^3)	18-8-25 (m^3)	樹脂発泡体 厚10mm (m^2)	モルタル 1：3 (m^3)	
基礎コンクリート無（基礎モルタル）	326.80	0.96	—	—	0.261	0.155	
基礎コンクリート無（敷　　砂）	326.80	—	0.96	—	0.261	0.155	
基礎コンクリート有	326.80	0.64	—	1.920	0.261	0.155	

注意事項

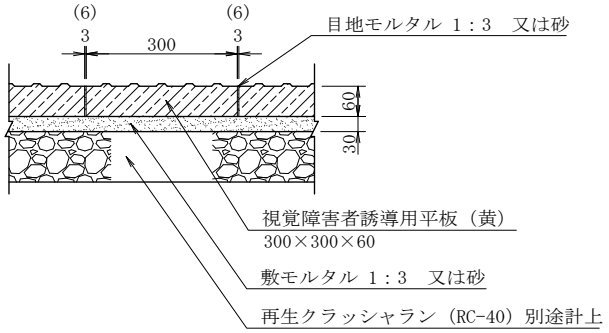
1. 視覚障害者誘導用ブロックはJIS T 9251とする。

大分類	中分類	小分類	適用年度
200 舗装工	視覚障害者誘導用平板舗装工	一般部	R7.4

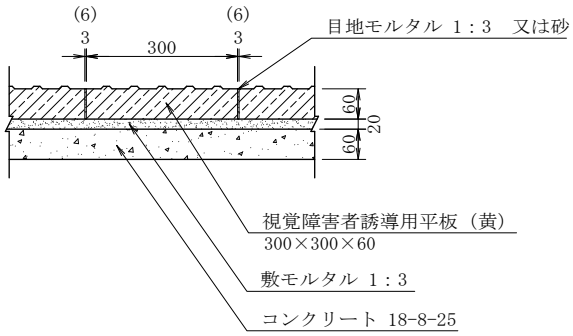
視覚障害者誘導用平板舗装工

断面図

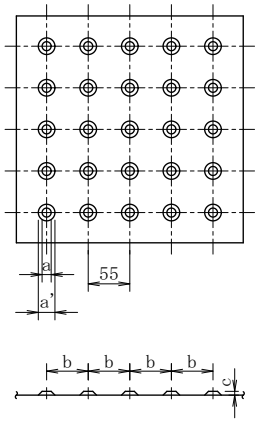
（基礎コンクリート無）



（基礎コンクリート有）



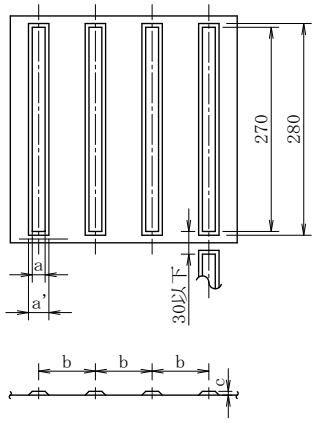
点状突起の形状・寸法及びその配列



単位（mm）

記号	寸法	許容差
a	12	+1.5 0
a'	a+10	
b	55～60	
c	5	+1 0

線状突起の形状・寸法及びその配列



単位（mm）

記号	寸法	許容差
a	17	+1.5 0
a'	a+10	
b	75	
c	5	+1 0
d	270以上	
d'	d+10	

視覚障害者誘導用平板舗装工（一般部） 材料表

名称	材料表 100m²当り			摘要
	コンクリート平板(黄)（点状ブロック）（線状ブロック）300×300×60（枚）	敷砂又は敷モルタル		コンクリート 18-8-25 (m³)	
		砂 クッション用 (m³)	モルタル 1：3 (m³)		
基礎コンクリート無（基礎モルタル）	1089	—	3.00	—	
基礎コンクリート無（敷　　砂）	1089	3.00	—	—	
基礎コンクリート有	1089	—	2.00	6.00	

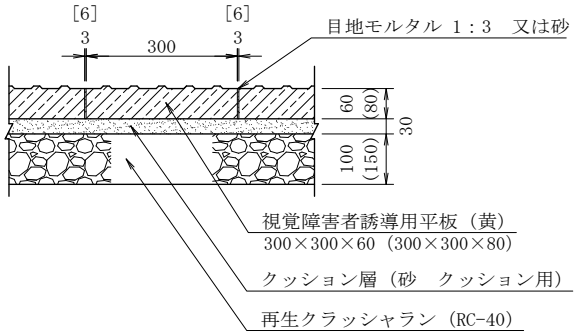
注意事項

1. 視覚障害者誘導用ブロックはJIS T 9251とする。
2. 伸縮目地は10m間隔に設置する。（別途計上）
3. （　）内の数字は復旧の場合とする。

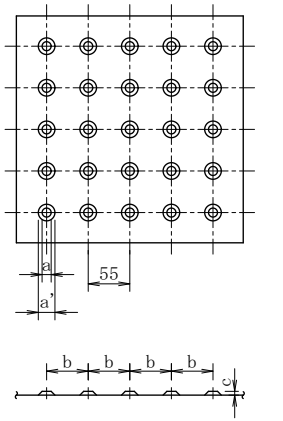
大分類	中分類	小分類	適用年度
200 舗装工	視覚障害者誘導用平板舗装工	公園用	R7.4

視覚障害者誘導用平板舗装工（公園用）

断面図



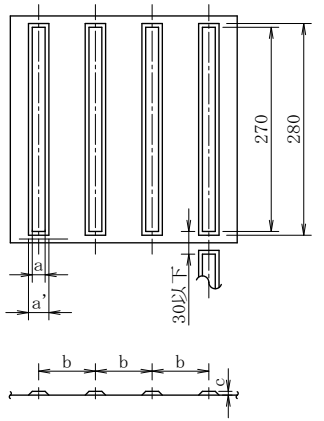
点状突起の形状・寸法及びその配列



単位（mm）

記号	寸法	許容差
a	12	+1.5 0
a'	a+10	
b	55～60	
c	5	+1 0

線状突起の形状・寸法及びその配列



単位（mm）

記号	寸法	許容差
a	17	+1.5 0
a'	a+10	
b	75	
c	5	+1 0
d	270以上	
d'	d+10	

視覚障害者誘導用平板舗装工（公園用） 材料表

名称	材料表 100m²当り				摘要
	コンクリート平板(黄)（点状ブロック）（線状ブロック）300×300×60（枚）	コンクリート平板(黄)（点状ブロック）（線状ブロック）300×300×80（枚）	クッション層	路盤	
			砂 クッション用 (m³)	再生クラッシャラン RC-40 (m³)	
歩行者用	1089	—	3.00	10.00	
管理車両用	—	1089	3.00	15.00	

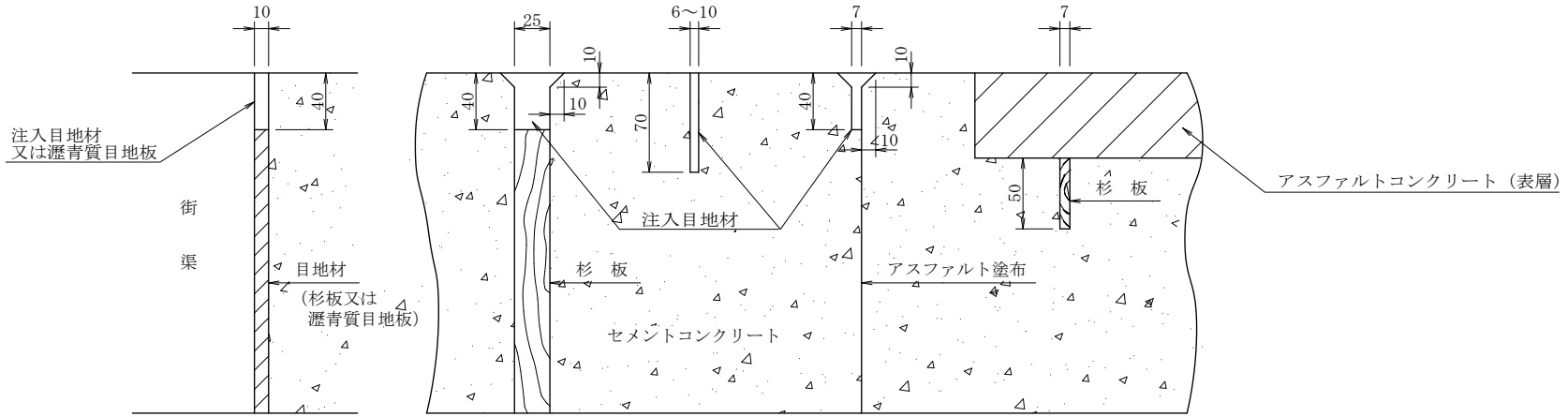
注意事項

1. 視覚障害者誘導用ブロックはJIS T 9251とする。
2. 図中の（ ）の数値は管理車両用とする。
3. [ ]内の数字は、復旧の場合とする。

大分類	中分類	小分類	適用年度
200 舗装工	目地工	目地工	R7.4

目　地　工

自由縁部　　膨張目地　　収縮目地（カッター目地）　　施工目地　　めくら目地



目　地　工　材　料　表

名称		材料表 10m当り 杉板 厚7mm (m³)	杉板 厚10mm (m³)	杉板 厚25mm (m³)	填充材 加熱注入式目地材 (kg)	摘要
膨張目地	舗装厚15cm	—	—	0.028	11.22	
	舗装厚20cm	—	—	0.040	11.22	
	舗装厚23cm	—	—	0.048	11.22	
	舗装厚25cm	—	—	0.053	11.22	
	舗装厚30cm	—	—	0.065	11.22	
収縮目地		—	—	—	5.50	
施工目地		0.003	—	—	3.14	
めくら目地		0.004	—	—	—	
自由縁部目地	舗装厚15cm	—	0.011	—	4.20	
	舗装厚20cm	—	0.016	—	4.20	
	舗装厚23cm	—	0.019	—	4.20	
	舗装厚25cm	—	0.021	—	4.20	
	舗装厚30cm	—	0.026	—	4.20	

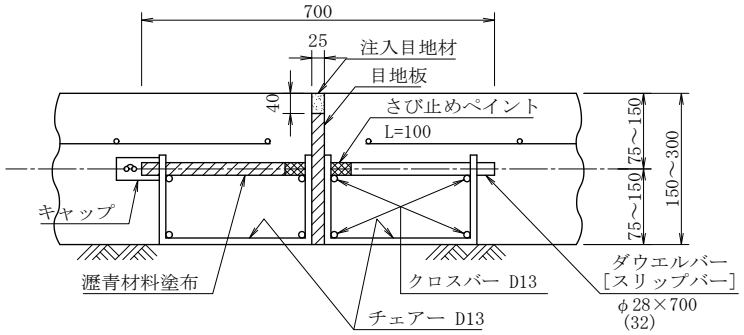
注意事項

1. 目地補修工は、施工目地及び自由縁物の深さ3cm程度とする。

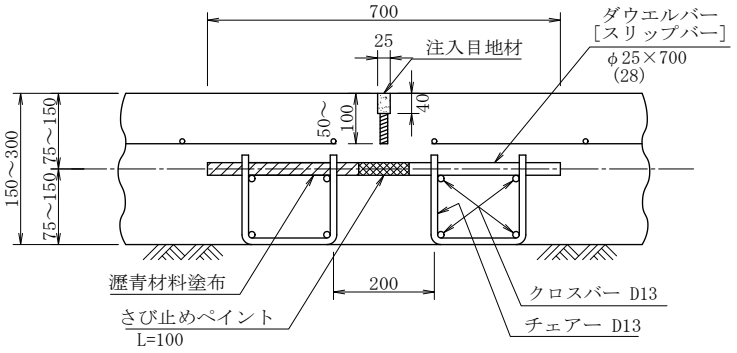
大分類	中分類	小分類	適用年度
200 舗装工	横目地工	(1／2)	R7.4

横　目　地　工

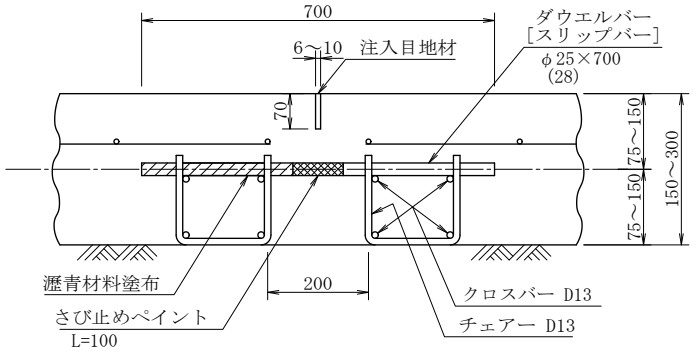
横膨張目地



打込み目地



カッター目地



横目地工材料表

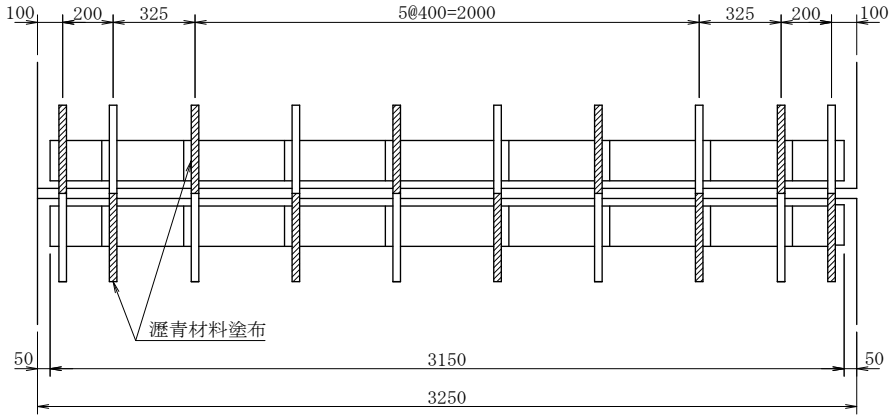
名称	材料表 100本当り				摘要
	ダウエルバー [スリップバー] SR235 L=700		チェアー D13	キャップ	
	径	(本)	(個)	(個)	
横膨張目地	φ28(32)	100	200	100	
カッタ目地	φ25(28)	100	200	—	
打込み目地	φ25(28)	100	200	—	

注意事項

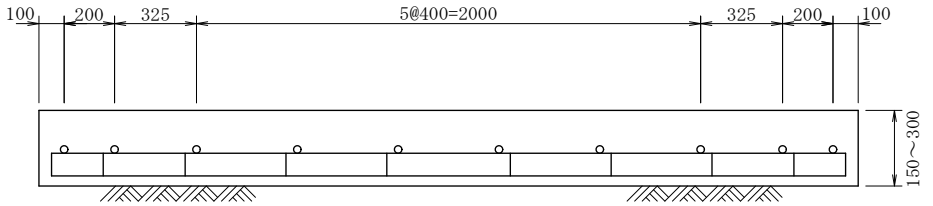
1. 膨張目地
   D交通で著しく大型車交通量の多い場合、ダウエルバー[スリップバー]は径32㎜を使用する。
2. カッタ目地，打込み目地
   D交通で著しく大型車交通量の多い場合、ダウエルバー[スリップバー]は径28㎜を使用する。

大分類	中分類	小分類	適用年度
200 舗装工	横目地工	(2／2)	R7.4

横目地工



断面図



横目地工寸法表

コンクリート版の幅 m	材料表 ダウエルバー[スリップバー]の間隔 cm	摘要
2.75	(10)＋17.5＋30＋4@40＋30＋17.5＋(10)	
3.00	(10)＋20＋6@40＋20＋(10)	
3.25	(10)＋20＋32.5＋5@40＋32.5＋20＋(10)	
3.50	(10)＋15＋30＋6@40＋30＋15＋(10)	
3.75	(10)＋22.5＋35＋6@40＋35＋22.5＋(10)	
4.00	(10)＋20＋30＋7@40＋30＋20＋(10)	
4.25	(15)＋22.5＋35＋7@40＋35＋22.5＋(15)	
4.50	(15)＋20＋30＋8@40＋30＋20＋(15)	

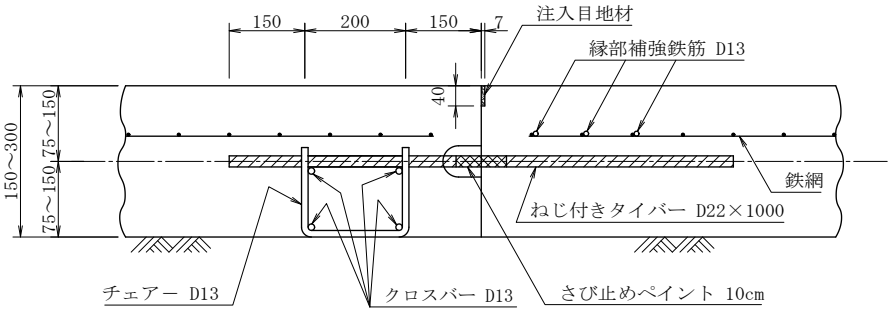
注意事項

1. 幅は縦自由縁部と縦目地の間隔をいう。
2. (　)内の数字は縦自由縁部、または縦目地とダウエルバー[スリップバー]の間隔を示す。
3. ダウエルバー[スリップバー]は、一端は固定し、他端を伸縮させるために瀝青材料を塗布する。

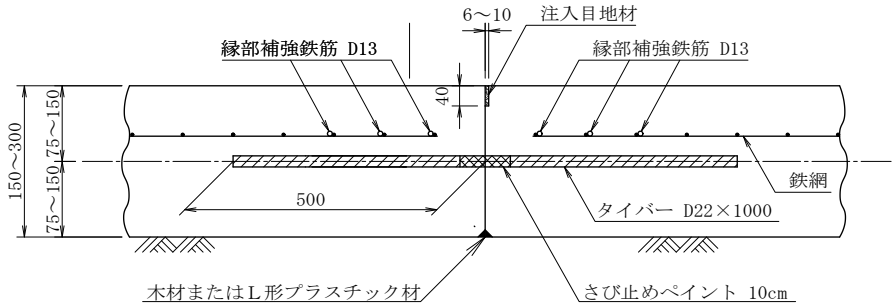
大分類	中分類	小分類	適用年度
200 舗装工	縦目地工	縦目地工	R7.4

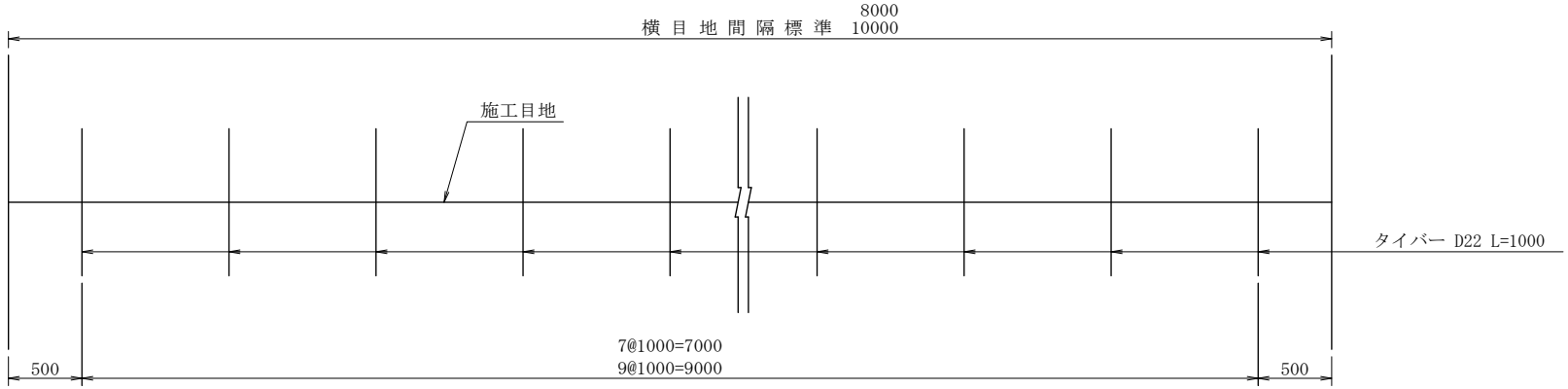
縦目地工

突合せ目地



ダミー目地





縦目地工材料表

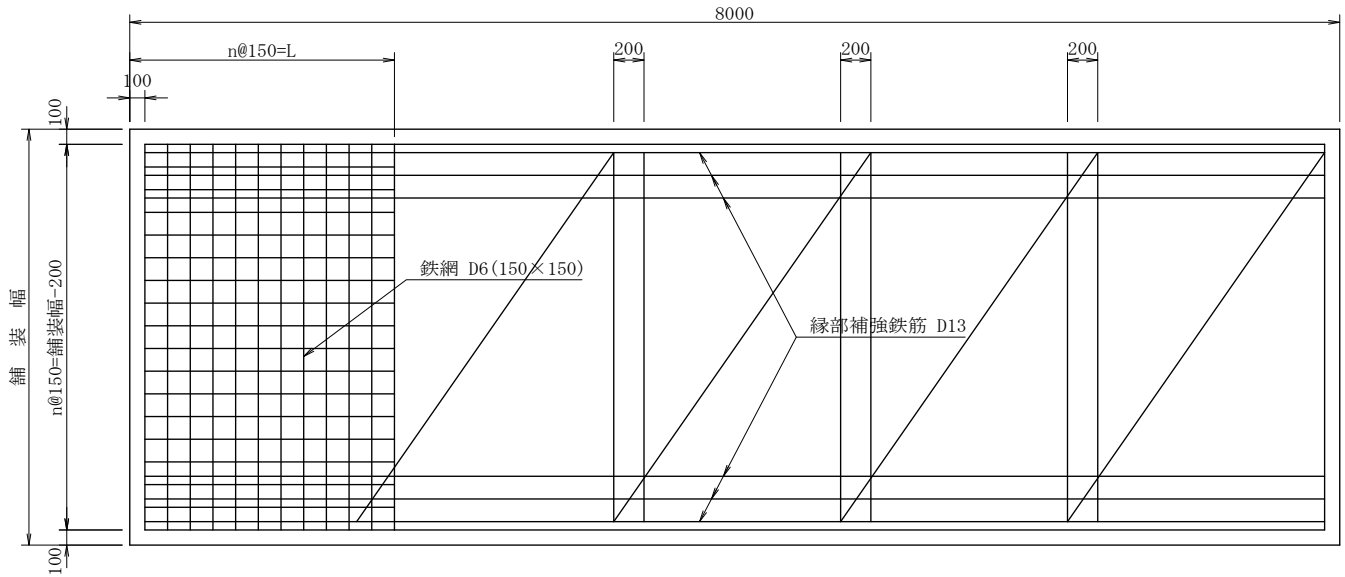
名称	材料表 100本当り				摘要
	タイバー 鉄筋 D22 L=500 継手(ナット付) (本)	タイバー 鉄筋 D22 L=500 ネジ切付 (本)	タイバー 鉄筋 D22 L=1000 (本)	チェアー D13 (個)	
突合せ目地	100	100	―	100	
ダミー目地	―	―	100	―	

注意事項

1. 突合せ目地
   1車線ごとに施工する場合に適用する。
2. ダミー目地
   2車線同時に施工する場合に適用する。

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
200 舗　装　工	鉄網挿入工 縁部補強鉄筋	鉄網挿入工 縁部補強鉄筋	R7.4

鉄 網 挿 入 工　縁 部 補 強 鉄 筋



鉄網挿入工　縁部補強鉄筋　材料表

名　　称	材　　料　　表　　100m²当り		摘　要
	溶　接　鉄　筋 D6mm網目　150×150mm(kg)	鉄　　筋 D13mm　（ｔ）	
鉄 網 挿 入 縁部補強鉄筋	349	0.09	

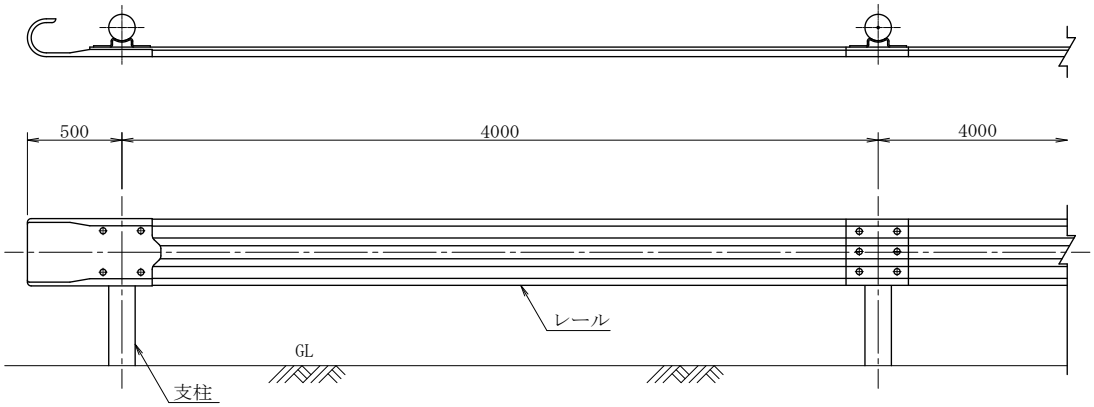
注意事項

1. 鉄網の規格はJIS G 3551,鉄筋の規格はJIS G 3112を使用する。
2. 鉄網の埋込深は、コンクリート表面から版厚の1／3の位置とする。
   ただし、版厚が15cmの場合は1／2の位置とする。
3. 鉄網の重ね合わせる幅は、20cmとし目地間隔の間に収まるようにする。

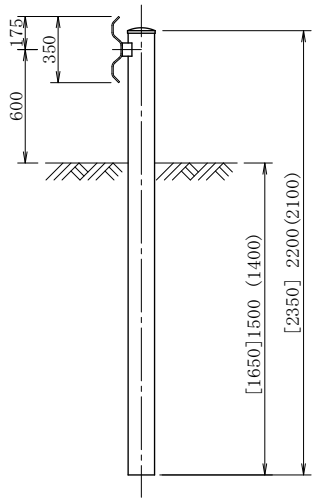
大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
300 安全施設工	ガードレール設置工	土中用	R7.4

ガ ー ド レ ー ル 設 置 工

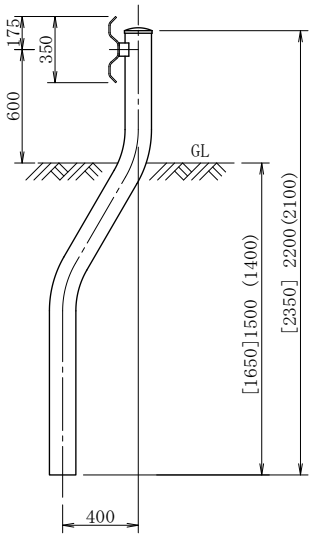
組立図



支柱



曲柱



[　]内寸法はＡ種を示す。
(　)内寸法はＣ種を示す。

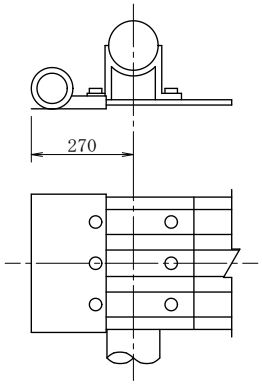
路側用ガードレール材料表

名　称	材　料　表　100ｍ当り ガードレール(m)	摘　要
路側用 ガードレール	100	

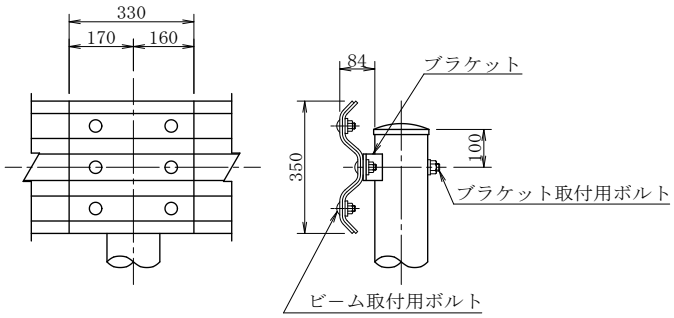
路側用ガードレール寸法表

名　称	寸　法　表　単位（mm）		摘　要
	レール	支　柱	
Ｇｒ－Ａ－４Ｅ	4.0×350×4330	φ139.8×4.5×2350	
Ｇｒ－Ｂ－４Ｅ	3.2×350×4330	φ114.3×4.5×2200	
Ｇｒ－Ｃ－４Ｅ	2.3×350×4330	φ114.3×4.5×2100	

袖キャップ図



取付詳細図

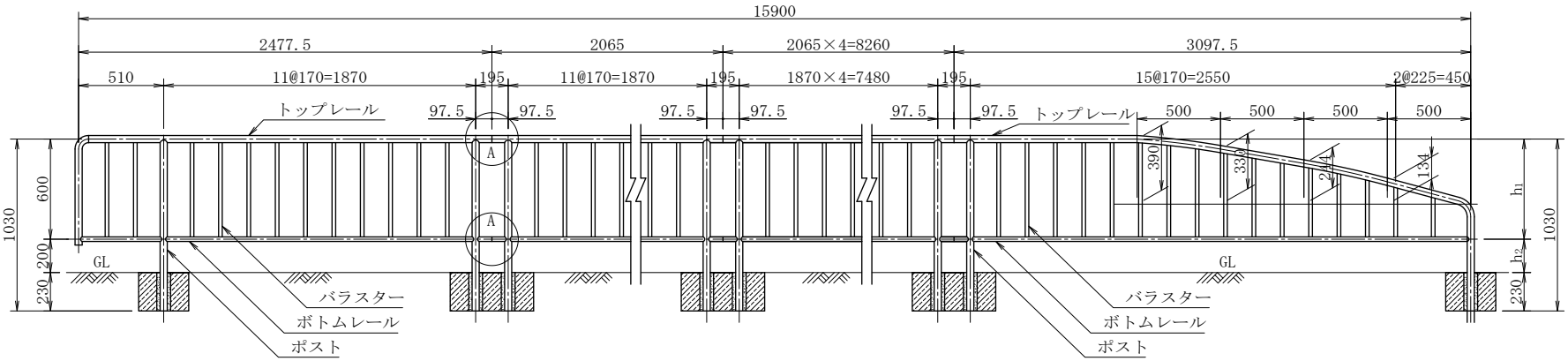


注意事項
1. 白色以外を使用する場合の締付用ボルト及びナット等は、ガードレールの色彩に塗装すること。
2. 支柱の外周に反射テープを設置すること。

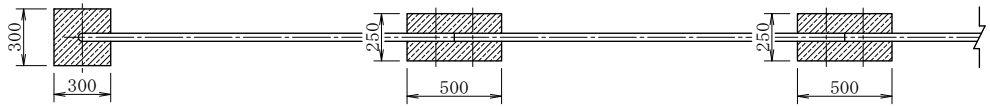
大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
300 安全施設工	ガードフェンス 設置工	1　型	R7.4

ガードフェンス設置工

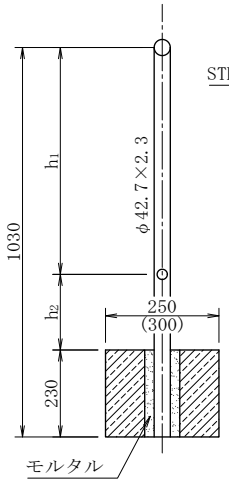
側面図



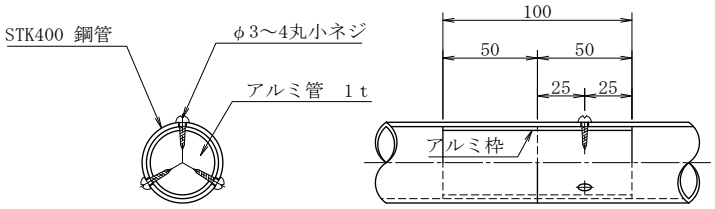
平面図



基礎工詳細図



A部詳細図



維持補修用

注意事項

1. 防錆処理（亜鉛メッキ地肌のまま）
2. 支柱の外周に反射テープを設置すること。

ガードフェンス設置工（1 型）寸法表

名　称	寸　法　表　　単位（mm）						摘　要
	ポスト	トップレール	ボトムレール	バラスター	h_1	h_2	
ガードフェンス 1 型（A）	φ42.7×2.3	φ42.7×2.3	φ27.2×2.0	φ21.7×2.0	600	200	
ガードフェンス 1 型（B）	φ60.5×3.2	φ60.5×3.2	φ42.7×2.3	φ34.0×2.3	650	150	

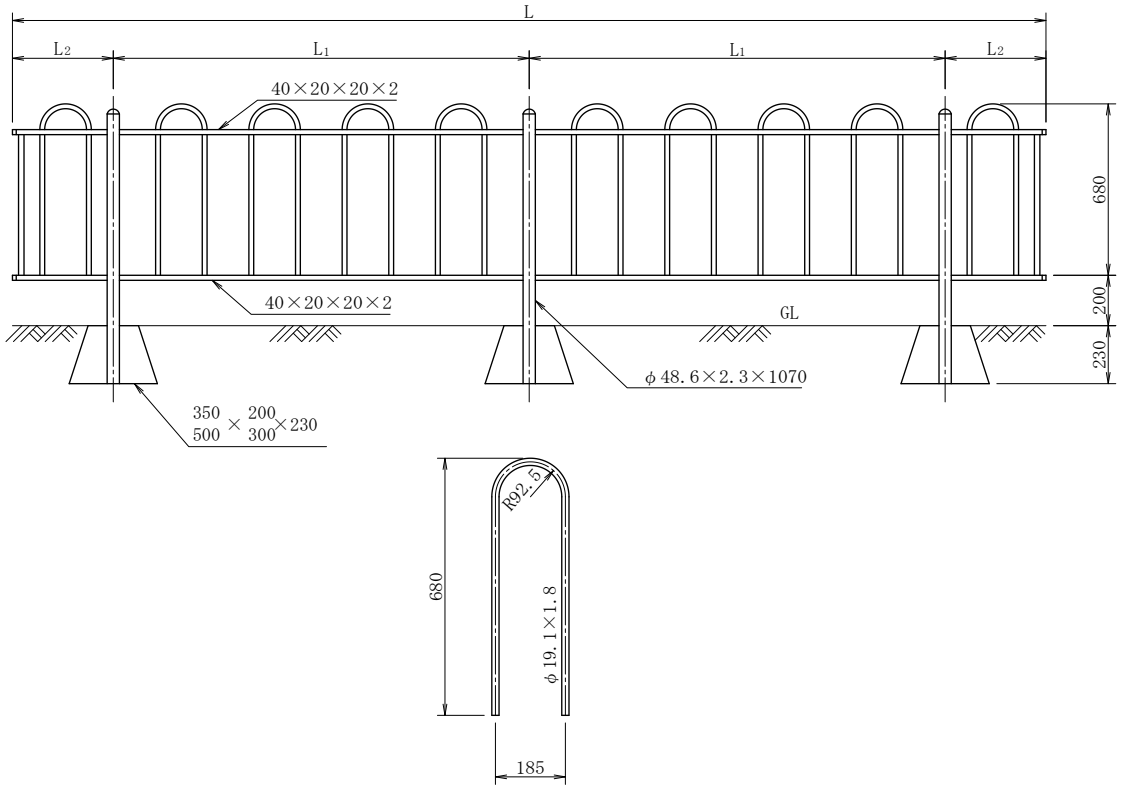
ガードフェンス設置工（1 型）材料表

名　称	材　料　表　　100m当り				摘　要
	ガードフェンス（m）	コンクリートブロック（個）		モルタル（1：3）（m^3）	
		500×250×230	300×300×230		
ガードフェンス 1 型（A）	100	38	14	0.148	
ガードフェンス 1 型（B）	100	38	14	0.148	

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
300 安全施設工	ガードフェンス 設置工	3　型	R7.4

ガードフェンス設置工

側面図



ガードフェンス設置工（3型）寸法表

名　称	寸　法　表　　単位（mm）				摘　要
	全　長 (L)	割　付 (L_2 + L_1 + L_1 + L_2)	支柱数 (本)	⋂パイプ数 (本)	
A	4100	400 + 1650 + 1650 + 400	3	4	
B	4200	450 + 1650 + 1650 + 450	3	4	
C	4300	500 + 1650 + 1650 + 500	3	4	
D	4400	550 + 1650 + 1650 + 550	3	4	
E	4500	400 + 1850 + 1850 + 400	3	5	
F	4000	550 + 1450 + 1450 + 550	3	4	
G	3900	500 + 1450 + 1450 + 500	3	4	
H	3800	450 + 1450 + 1450 + 450	3	4	
I	3700	400 + 1450 + 1450 + 400	3	4	
J	3600	550 + 1250 + 1250 + 550	3	3	
K	3500	500 + 1250 + 1250 + 500	3	3	

アッパービーム1850以上のものは中央の⋂パイプに落下防止ピンを入れる。

ガードフェンス設置工（3型）材料表（参考）

名　　称	材　　料　　表　　100m当り			摘　　要
	ガードフェンス (m)	コンクリートブロック(個) 350 200 500 ×300×230	モルタル (1：3)（m^3）	
ガードフェンス 3 型	100	75	0.103	

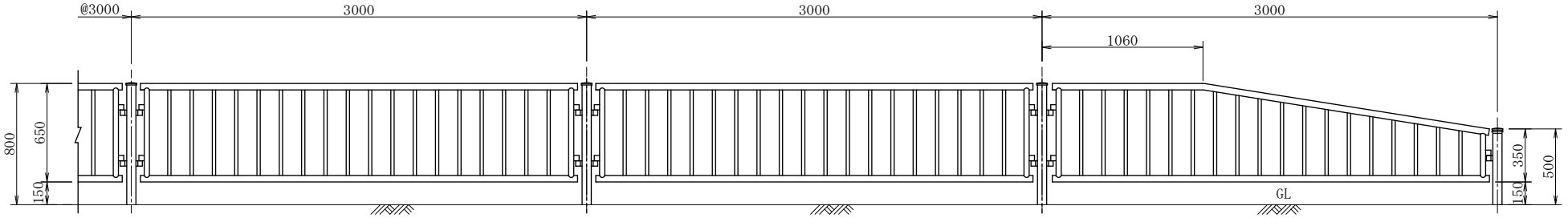
注意事項

1. 防錆処理（樹脂コーティング仕上による）
2. 色　彩
   (1) 防護柵の塗装は、原則として工場で仕上げ塗装まで行うこと。
   (2) 色彩は、本市の指定色とする。
3. 植栽帯のある中央帯に使用のこと。
4. 支柱の外周に反射テープを設置すること。

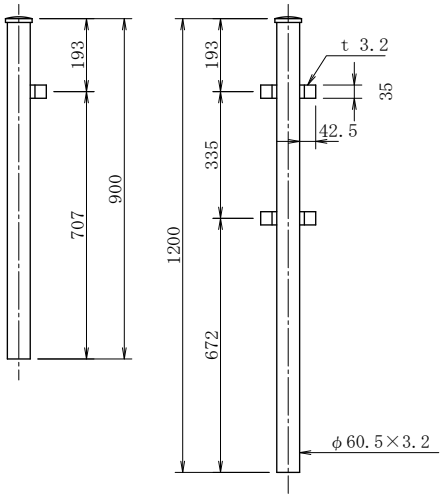
大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
300 安全施設工	ガードフェンス 設置工	中央帯用0.8m	R7.4

ガードフェンス設置工（中央帯用）

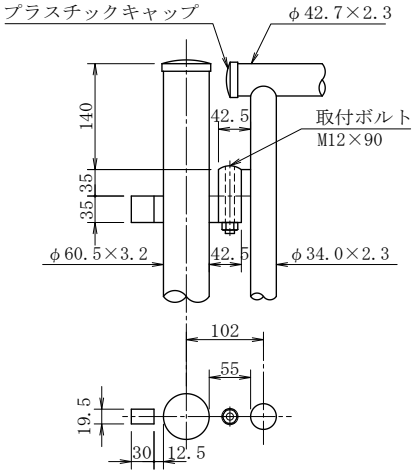
側　面　図



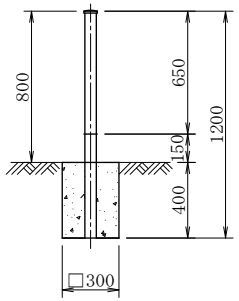
支　柱



パネル取付詳細図

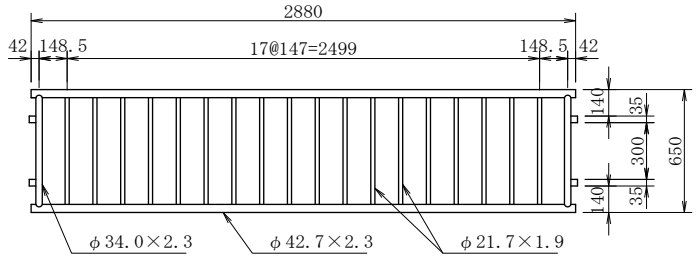


断　面　図

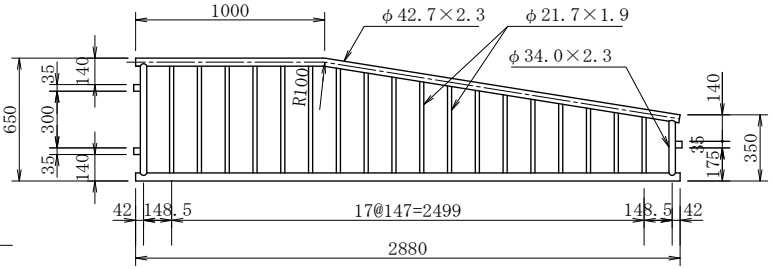


パ ネ ル 詳 細 図

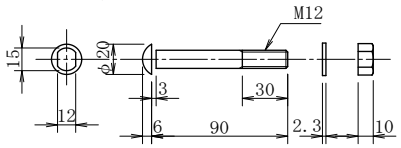
(中間パネル)



(端部パネル)



取 付 ボ ル ト



ガードフェンス設置工（中央帯用）材料表

名　称	材　料　表　100m当り			摘　要
	ガードフェンス (m)	コンクリートブロック(個) 300×300×400	モルタル (1：3) (m^3)	
ガードフェンス	100	33.3	0.066	

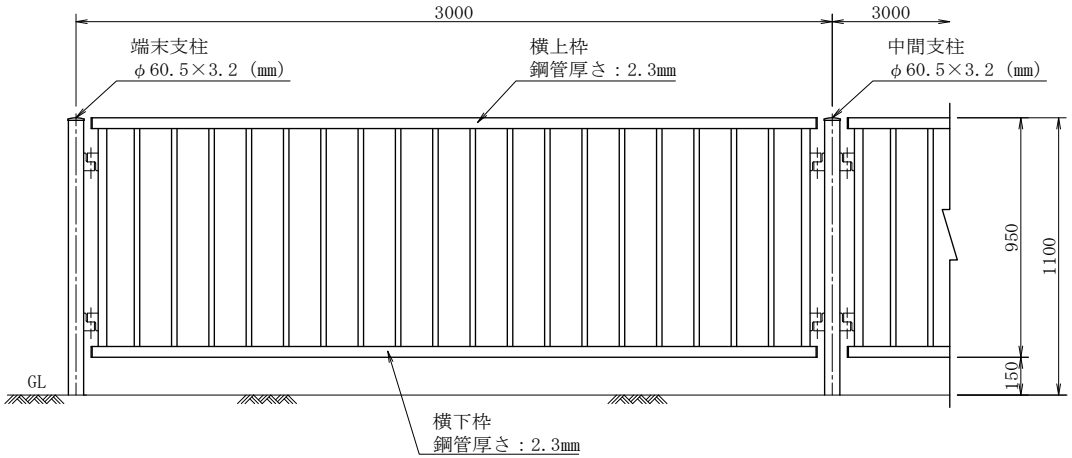
注意事項

1. 支柱の外周に反射テープを設置すること。

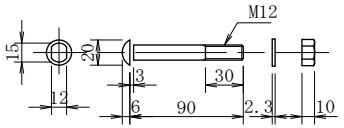
大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
300 安全施設工	ガードフェンス 設置工	中央帯用 1.1m	R7.4

ガードフェンス設置工（中央帯用 1.1m）

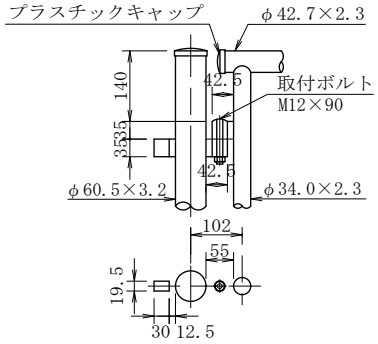
側　面　図



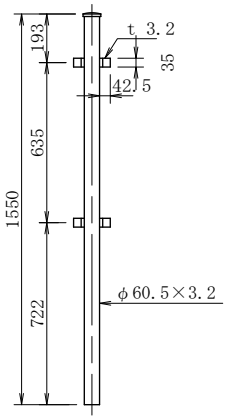
取 付 ボ ル ト



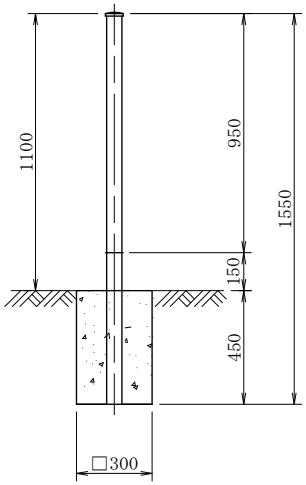
パネル取付詳細図



支　柱



断　面　図



ガードフェンス設置工（中央帯用 1.1m）材料表

名　称	材　料　表　100m当り		摘　要
	ガードフェンス（m）	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ(個) 300×300×450	
ガードフェンス (H=1100)	100	33.3	

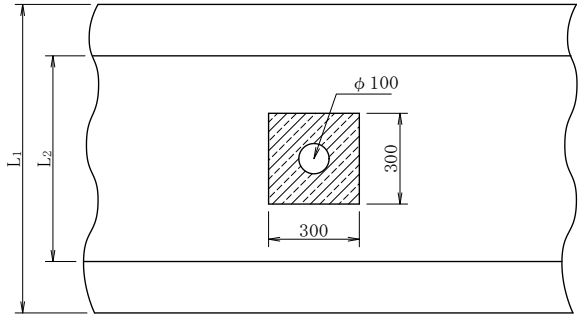
注意事項

1. 白色以外を使用する場合の締付用ボルト及びナット等は、ガードパイプの色彩に塗装すること。
2. 桟間隔及び部材と路面の間隔を150mm以下とすること。
3. 支柱の外周に反射テープを設置すること。

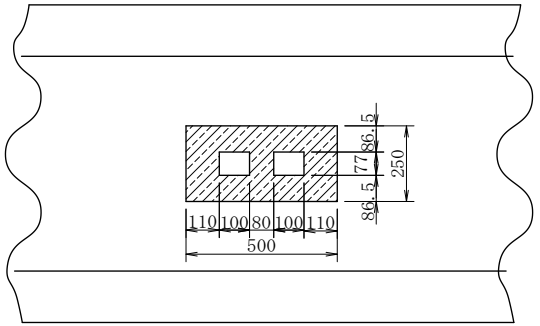
大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
300 安全施設工	ガードフェンス 設置工	1 型 用 基礎ブロック	R7.4

ガードフェンス設置工

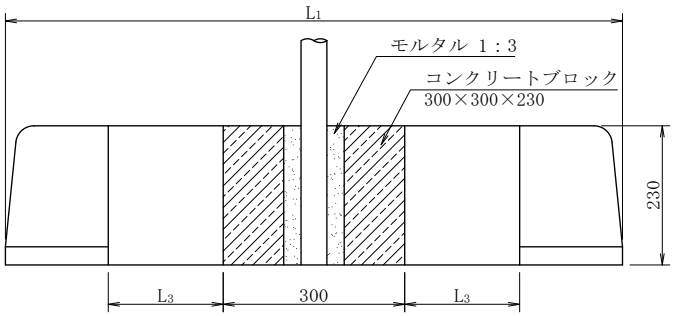
平　面　図



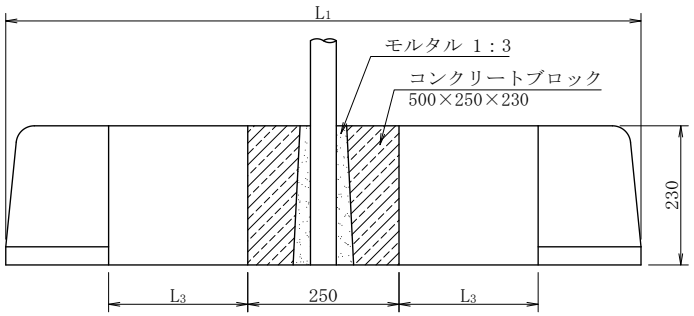
平　面　図



断　面　図



断　面　図



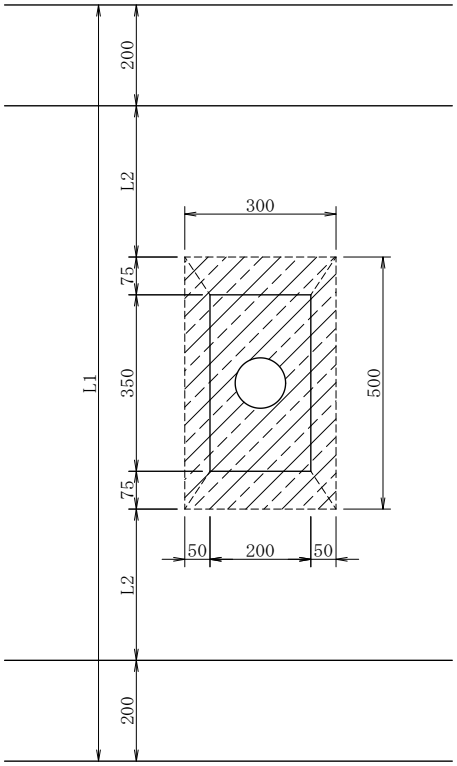
注意事項

1. コンクリートブロックは、JIS A 5371付属書2による。

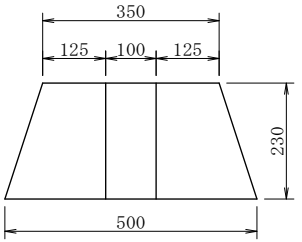
大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
300 安全施設工	ガードフェンス 設置工	2型，3型用 基礎ブロック	R7.4

ガードフェンス設置工

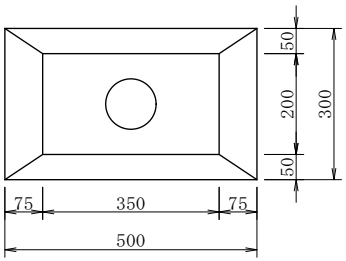
平面図



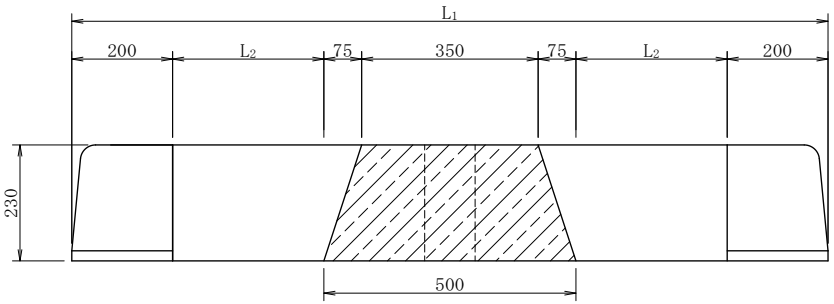
ブロック断面図



ブロック平面図



断面図



注意事項

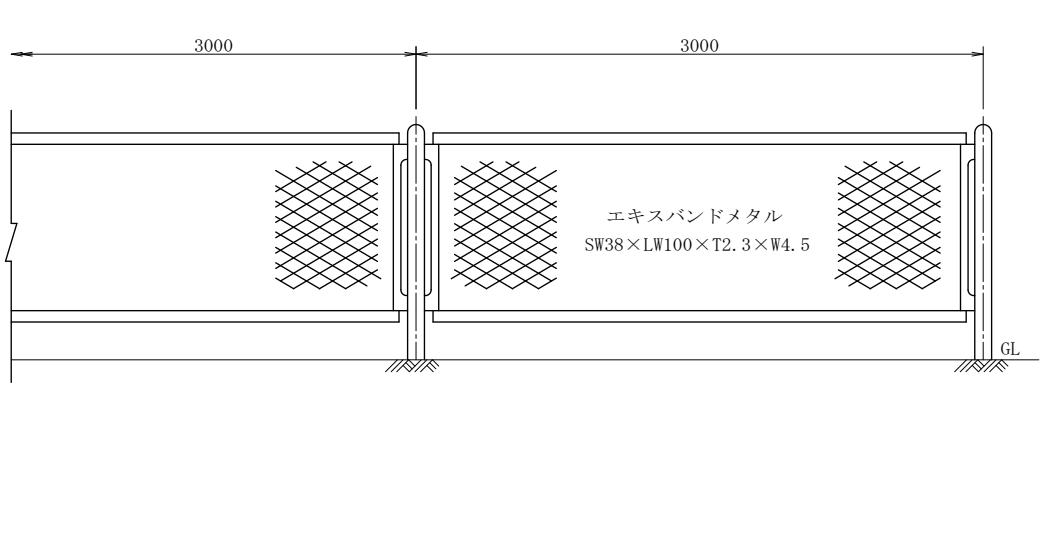
1. コンクリートブロックは、JIS A 5371付属書2による。

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
300 安全施設工	ガードフェンス 設置工	14型（水路沿用）	R7.4

ガードフェンス設置工

断面図

土中用



ガードフェンス設置工（14型水路沿用）材料表

名　称	材　料　表		100m当り	摘　要
	ガードフェンス（m）	コンクリート 18-8-25（m^3）	型　枠（m^2）	
土　中　用	100	—	—	

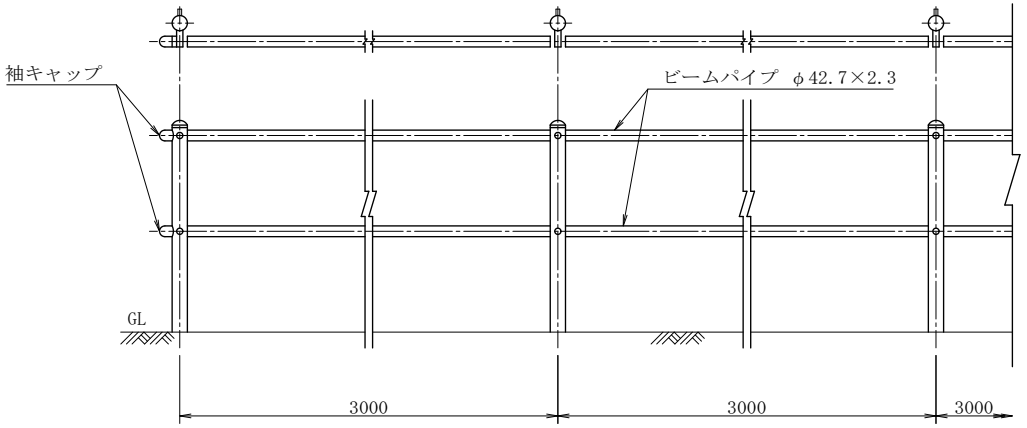
注意事項

1. 防錆処理（塗装仕上げによる）
2. 色　彩
   (1) 防護柵の塗装は、原則として工場で仕上げ塗装まで行うこと。
   (2) 色彩は、本市の指定色とする。
3. 支柱の外周に反射テープを設置すること。

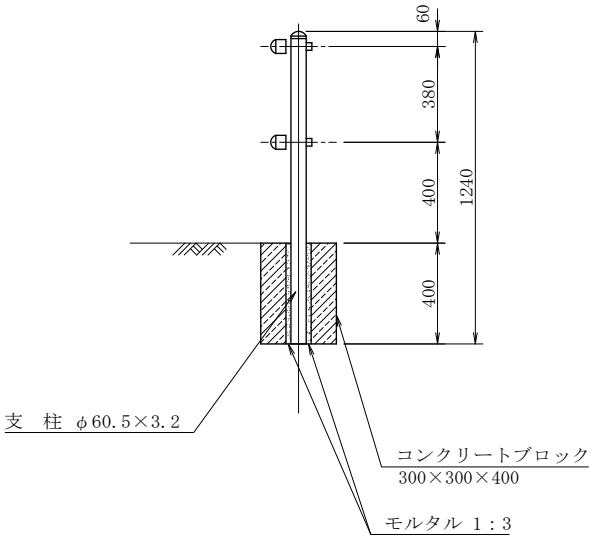
大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
300 安全施設工	ガードパイプ 設置工	21 型	R7.4

ガードパイプ設置工

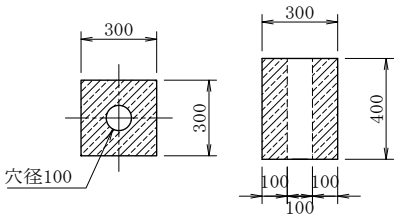
組立図



支柱



コンクリートブロック



ガードパイプ設置工（21型歩道用）材料表

名　称	材　料　表　100m当り			摘　要
	ガードパイプ (m)	コンクリートブロック 300 300 ×400（個）	モルタル (1：3)（m^3）	
ガードパイプ21型 (H=1240)	100	33.3	0.066	

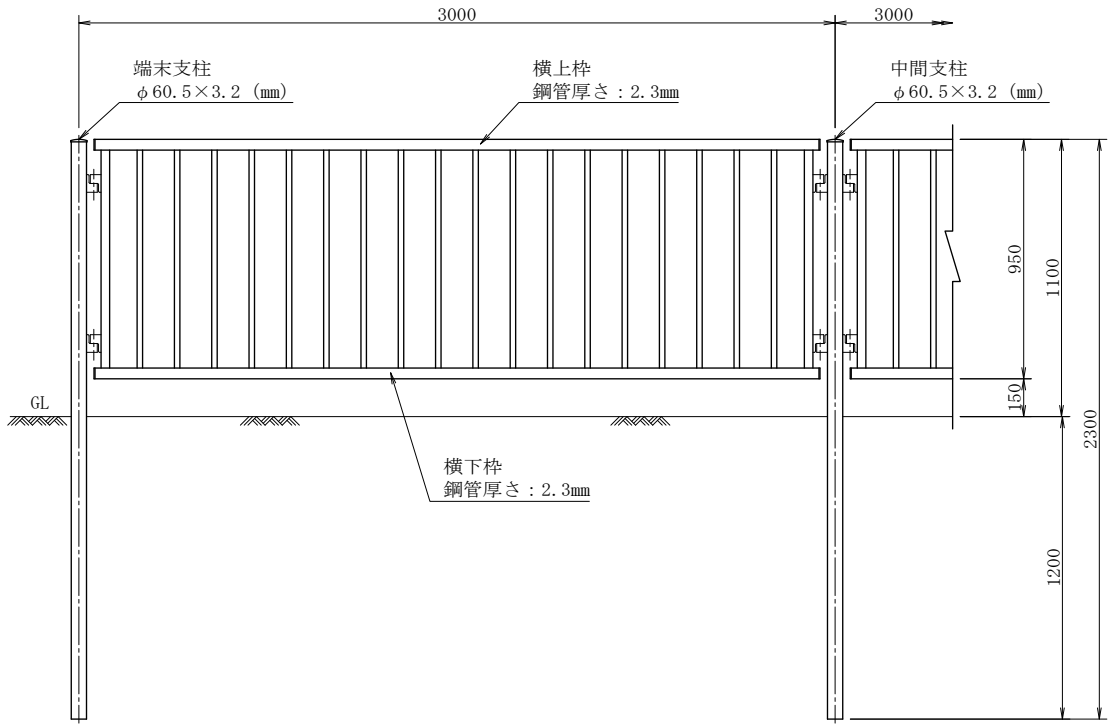
注意事項

1. 防錆処理（塗装仕上げによる）
2. 色　彩
   (1) 防護柵の塗装は、原則として工場で仕上げ塗装まで行うこと。
   (2) 色彩は、本市の指定色とする。
3. コンクリートブロックは、JIS A 5371付属書2による。
4. 標準色（白色）以外を使用する場合の締付用ボルト及びナット等は、ガードパイプの色彩に塗装すること。
5. 支柱の外周に反射テープを設置すること。

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
300 安全施設工	ガードパイプ 設置工	転落防止柵	R7.4

ガードパイプ設置工

組　立　図



ガードパイプ（転落防止柵）材料表

名　　称	材 料 表　100m当り ガードパイプ（m）	摘　要
ガードパイプ （転落防止柵）	100	

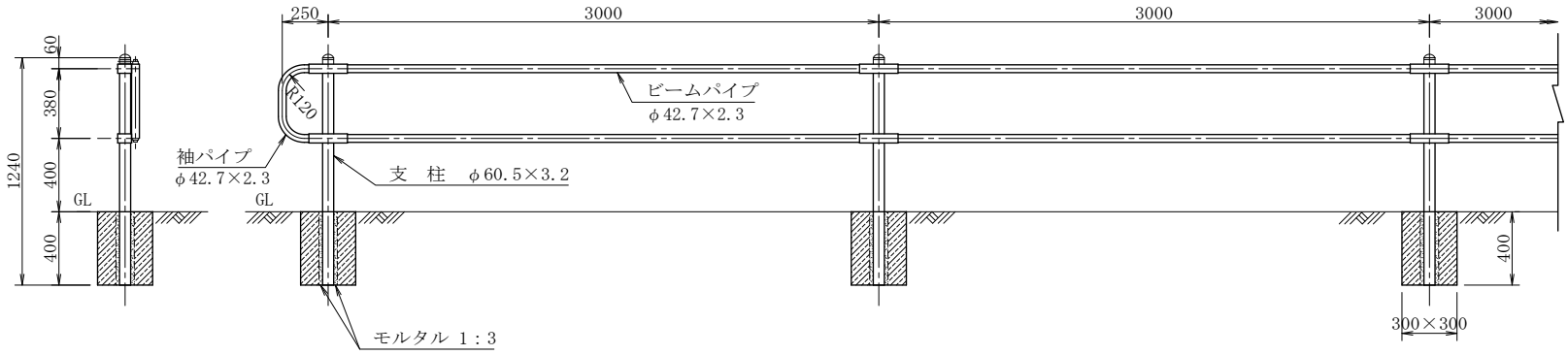
注意事項

1. 白色以外を使用する場合の締付用ボルト及びナット等は、ガードパイプの色彩に塗装すること。
2. 桟間隔及び部材と路面の間隔を150㎜以下とすること。
3. 支柱の外周に反射テープを設置すること。

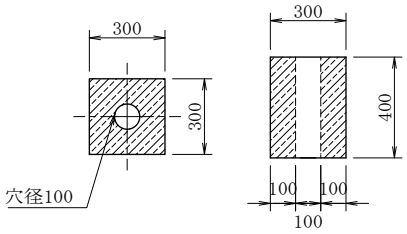
大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
300 安全施設工	ガードパイプ 設置工	22 型（歩道用）	R7.4

ガ ー ド パ イ プ 設 置 工

側　面　図



コンクリートブロック



ガードパイプ設置工（22型歩道用）材料表

名　　称	材　　料　　表　　100m当り			摘　　要
	ガードパイプ （m）	コンクリートブロック 300 300 ×400（個）	モルタル （1：3）（m^3）	
ガードパイプ22型 (H=1240)	100	33.3	0.066	

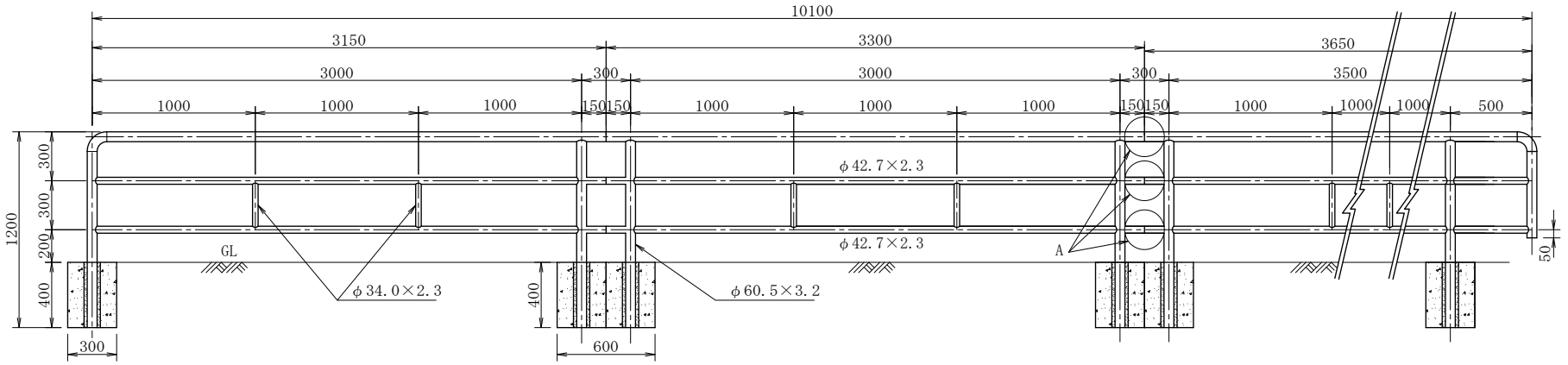
注意事項

1. 防錆処理（塗装仕上げによる）
2. 色　彩
   （1）防護柵の塗装は、原則として工場で仕上げ塗装まで行うこと。
   （2）色彩は、本市の指定色とする。
3. コンクリートブロックは、JIS A 5371付属書2による。
4. 標準色（白色）以外を使用する場合の締付用ボルト及びナット等は、ガードパイプの色彩に塗装すること。
5. 支柱の外周に反射テープを設置すること。

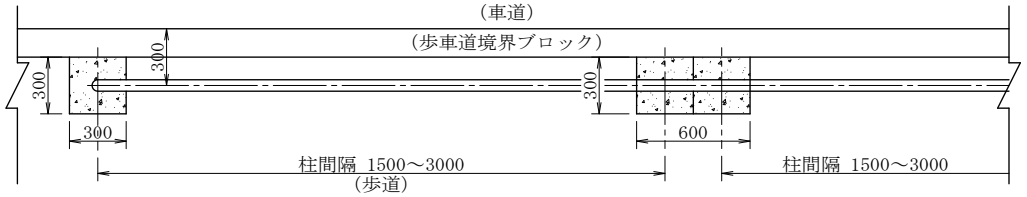
大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
300 安全施設工	ガードパイプ 設置工	23 型（歩道用）	R7.4

ガードパイプ設置工

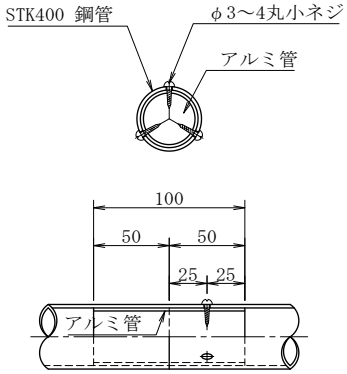
側面図



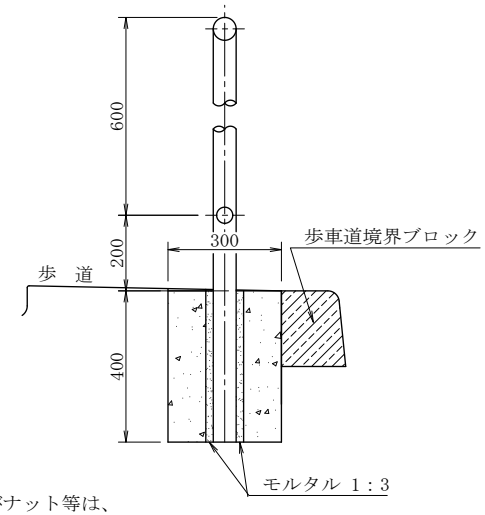
平面図



A部詳細図



基礎工詳細図



ガードパイプ設置工（23型歩道用）材料表

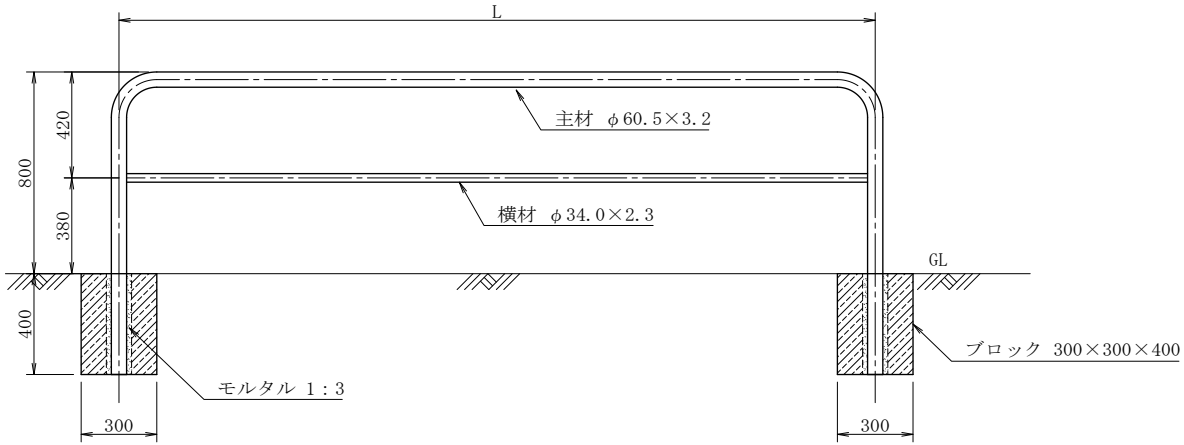
名　称	材料表 100m当り			摘　要
	ガードパイプ（m）	コンクリートブロック 300/300 ×400（個）	モルタル（1：3）（m^3）	
ガードパイプ23型 (H=1200)	100	58.6	0.117	

注意事項

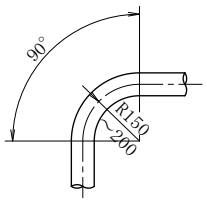
1. 防錆処理（塗装仕上げによる）
2. コンクリートブロックは、JIS A 5371付属書2による。
3. 標準色（白色）以外を使用する場合の締付用ボルト及びナット等は、ガードパイプの色彩に塗装すること。
4. 支柱の外周に反射テープを設置すること。

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
300 安全施設工	ガードパイプ 設置工	24 型（歩道用）	R7.4

ガ ー ド パ イ プ 設 置 工

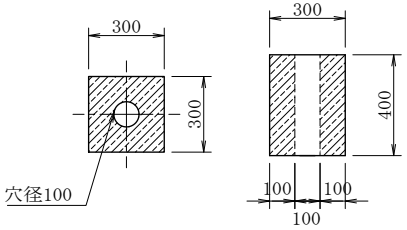


曲 部 詳 細 図



※　曲げ施工に代えて90°
エルボ使用でも良い。

コンクリートブロック



ガードパイプ設置工（24型歩道用）材料表

名　称	材　料　表　10基当り			摘　要
	ガードパイプ 24型　（基）	コンクリートブロック 300 300 ×400（個）	モルタル （1：3）（m^3）	
ガードパイプ24型 (H=1240)	10	20	0.040	

部材寸法表

スパン延長	
形　状	L（m）
24 - 1	3.0
24 - 2	2.0
24 - 3	1.5
24 - 4	1.0

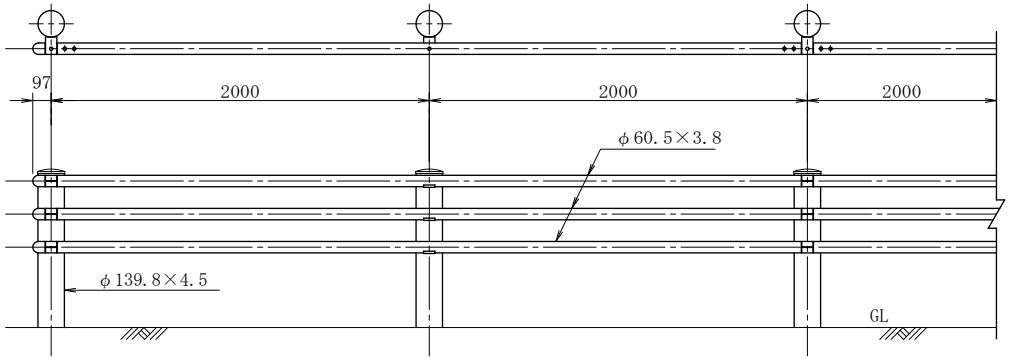
注意事項

1. 防錆処理（塗装仕上げによる）
2. 色　彩
   (1) 防護柵の塗装は、原則として工場で仕上げ塗装まで行うこと。
   (2) 色彩は、本市の指定色とする。
3. コンクリートブロックは、JIS A 5371付属書2による。
4. 支柱の外周に反射テープを設置すること。

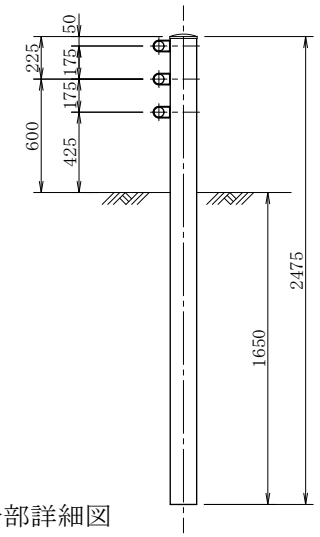
大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
300 安全施設工	ガードパイプ 設置工	Gp-Ap-2E （歩道用）	R7.4

ガードパイプ設置工

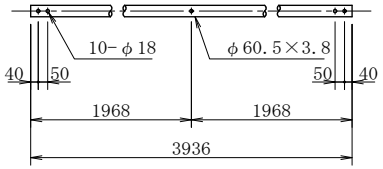
組立図



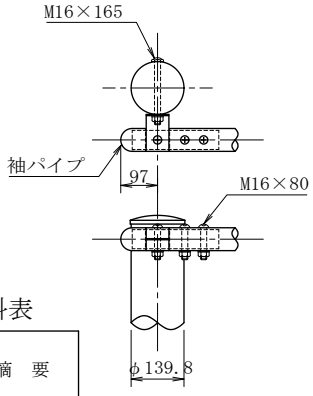
Ap-2E



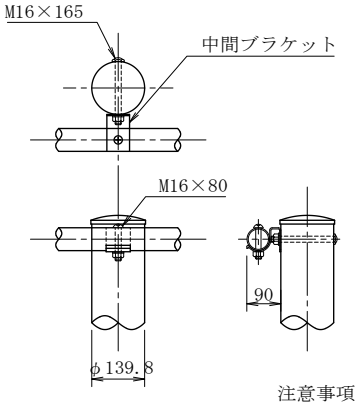
ビームパイプ



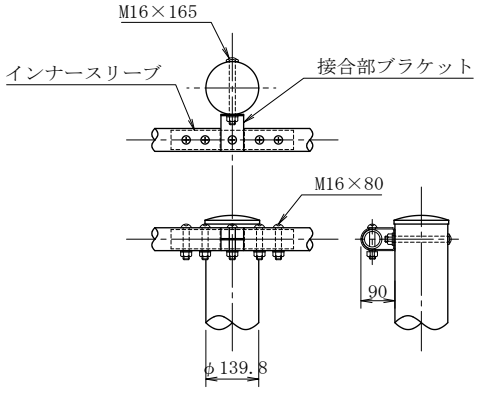
端部詳細図



中間部詳細図



接合部詳細図



ガードパイプ（Gp-Ap-2E）材料表

名　称	材料表　100m当り ガードパイプ（m）	摘　要
ガードパイプ (Gp-Ap-2E)	100	

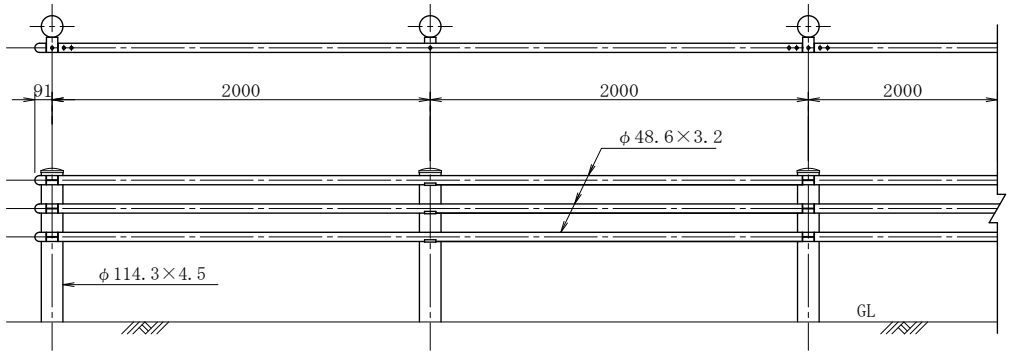
注意事項

1．白色以外を使用する場合の締付用ボルト及びナット等は、ガードパイプの色彩に塗装すること。
2．支柱の外周に反射テープを設置すること。

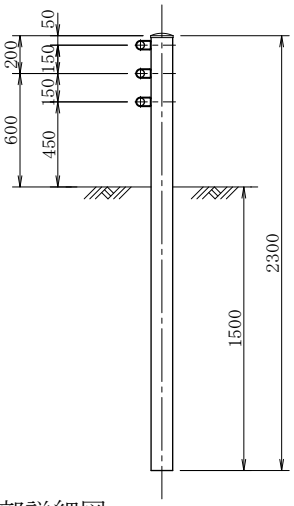
大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
300 安全施設工	ガードパイプ 設置工	Gp-Bp-2E （歩道用）	R7.4

ガードパイプ設置工

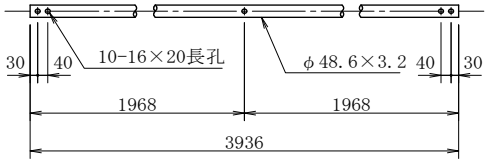
組　立　図



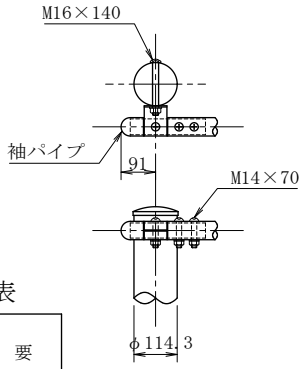
Bp-2E



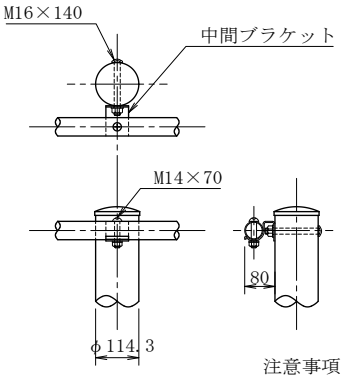
ビームパイプ



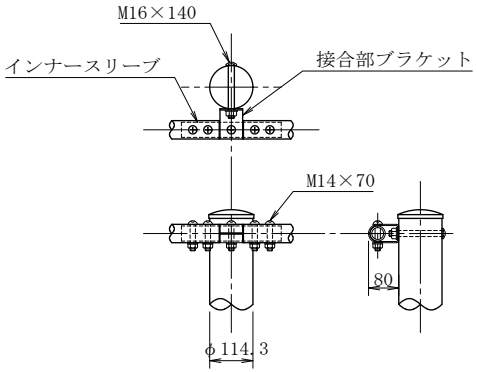
端部詳細図



中間部詳細図



接合部詳細図



ガードパイプ（Gp-Bp-2E）材料表

名　称	材料表　100m当り ガードパイプ（m）	摘　要
ガードパイプ (Gp-Bp-2E)	100	

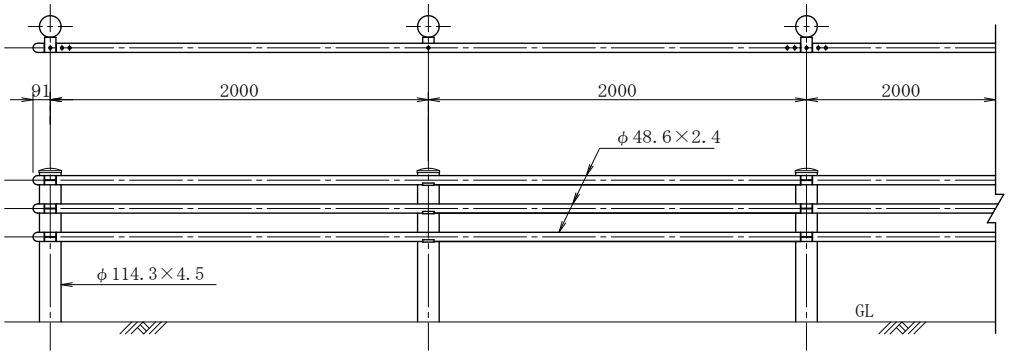
注意事項

1．白色以外を使用する場合の締付用ボルト及びナット等は、ガードパイプの色彩に塗装すること。
2．支柱の外周に反射テープを設置すること。

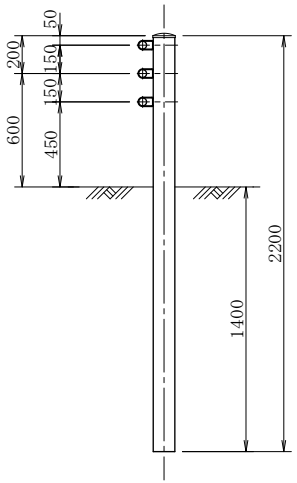
大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
300 安全施設工	ガードパイプ 設置工	Gp-Cp-2E （歩道用）	R7.4

ガ ー ド パ イ プ 設 置 工

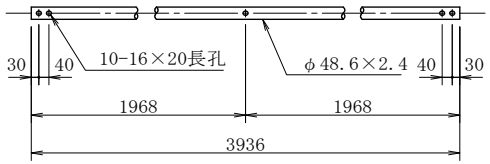
組　立　図



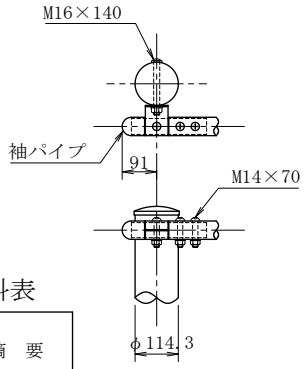
Cp-2E



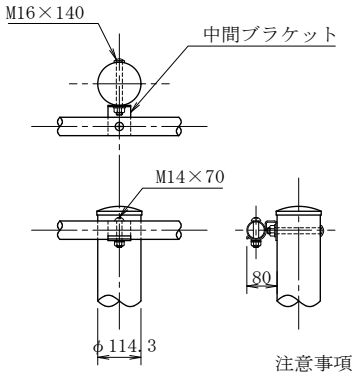
ビームパイプ



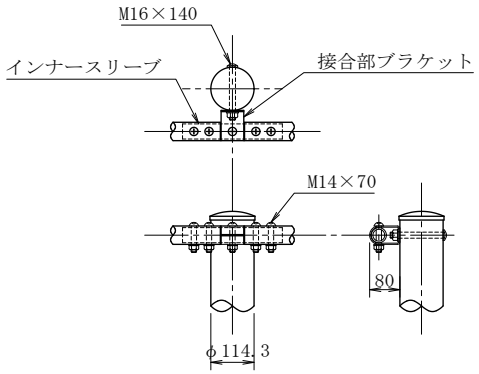
端部詳細図



中間部詳細図



接合部詳細図



ガードパイプ（Gp-Cp-2E）材料表

名　　称	材 料 表　100m当り ガードパイプ（m）	摘　要
ガードパイプ (Gp-Cp-2E)	100	

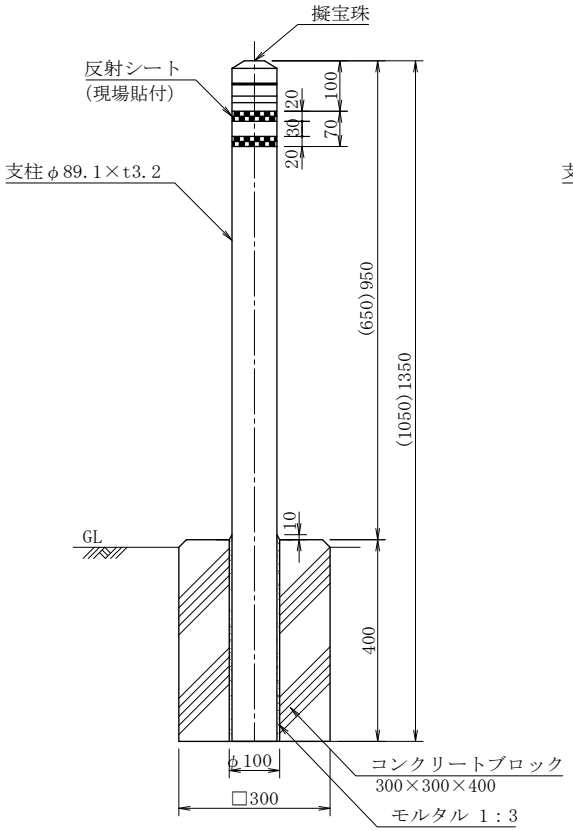
注意事項

1．白色以外を使用する場合の締付用ボルト及びナット等は、ガードパイプの色彩に塗装すること。
2．支柱の外周に反射テープを設置すること。

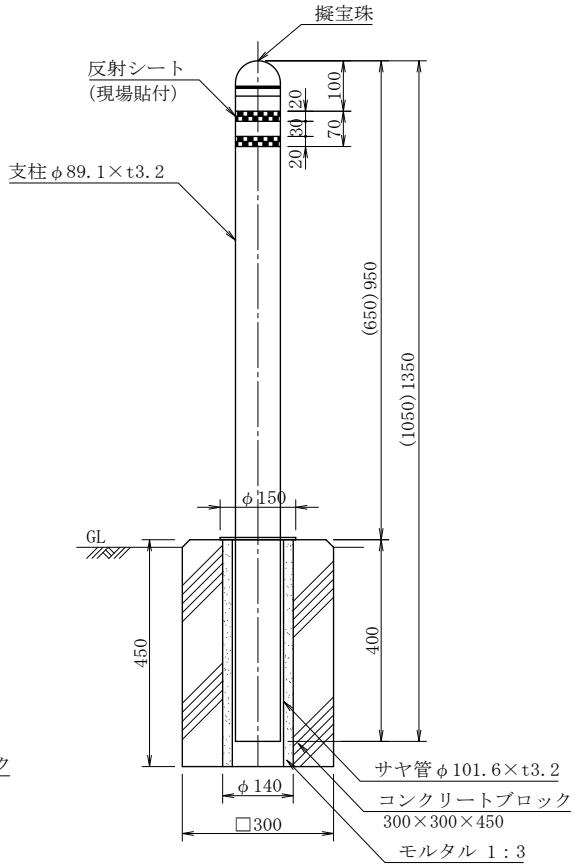
大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
300 安全施設工	車両乗り上げ 防止柵工	固定，可動式	R7.4

車 両 乗 り 上 げ 防 止 柵 工

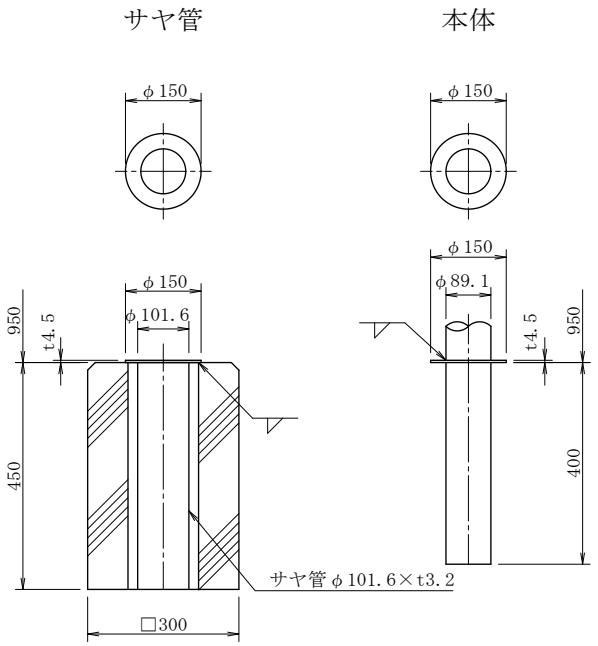
（ 固 定 式 ）



（ 可 動 式 ）



（ 可 動 詳 細 図 ）



車両乗り上げ防止柵工 材料表

名　称	材料表 10基当り					摘　要
	モルタル (1：3)(m^3)	コンクリートブロック 300×300×400（個）	コンクリートブロック 300×300×450（個）	固定柱（本）	可動柱（本）	
防止柵 φ89.1 1350㎜	0.006	10		10		
	0.033		10		10	
防止柵 φ89.1 1050㎜	0.006	10		10		
	0.033		10		10	

注意事項

1. 擬宝珠　アルミ合金　静電粉体塗装
   形状については、監督員の指示によること。
2. 支　柱　STK400　亜鉛メッキ＋静電粉体塗装
3. 反射シート　黄　色
4. 固定柱は、300×300×400ブロック使用とし、
   可動柱は、300×300×450ブロック使用とする。
5. コンクリートブロックは、JIS A 5371付属書2による。

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
300 安全施設工	防護柵塗装工	防護柵塗装工	R7.4

防 護 柵 塗 装 工

防 護 柵 塗 装 工 材 料 表

名　　称	材　料　表　　100m^{2}当り			摘　　要
	規　　格	単位	数　量	
塗料（下塗）	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料	kg	20	
塗料（中・上塗）	弱溶剤厚膜形ふっ素樹脂中塗・上塗兼用塗料	kg	18	

素 地 調 整 工

名　　称	ケレン種別	摘　　要
素地調整	3 種ケレン程度	

注意事項

1. 材料表の塗料数量については、はけ・ローラー塗りの場合の使用量を示す。
2. 素地調整工のケレン種別については、さびの程度により適宜判断する。

防 護 柵 塗 装 工 数 量 表（参 考）

図面番号	中 分 類	名称・規格	数量（m2）	摘　要
302	ガードレール設置工	Ｇｒ－Ａ－４Ｅ	90.39	100m当り
〃	〃	Ｇｒ－Ｂ－４Ｅ	88.80	〃
〃	〃	Ｇｒ－Ｃ－４Ｅ	88.80	〃
304	ガードフェンス設置工	１型（Ａ）	51.09	〃
〃	〃	１型（Ｂ）	78.21	〃
306	〃	３型（Ａ～Ｄ）	51.78	〃
〃	〃	３型（Ｅ）	53.20	〃
〃	〃	３型（Ｆ～Ｉ）	55.60	〃
〃	〃	３型（Ｊ～Ｋ）	54.11	〃
307	〃	中央帯用、H=0.8m	52.65	〃
307-2	〃	中央帯用、H=1.1m	65.51	〃
311	ガードパイプ設置工	２１型	32.39	〃
312	〃	転落防止柵	65.51	〃
313	〃	２２型	32.39	〃
314	〃	２３型	56.13	〃

図面番号	中 分 類	名称・規格	数量（m2）	摘　要
315	ガードパイプ設置工	２４型－１	11.88	10基当り
〃	〃	２４型－２	8.91	〃
〃	〃	２４型－３	7.43	〃
〃	〃	２４型－４	5.94	〃
316	〃	Ｇｐ－Ａｐ－２Ｅ	76.24	100m当り
317	〃	Ｇｐ－Ｂｐ－２Ｅ	60.95	〃
318	〃	Ｇｐ－Ｃｐ－２Ｅ	60.95	〃
321	パイプ柵工	H=0.45m	14.30	〃
〃	〃	H=0.60m	19.61	〃
〃	〃	H=0.70m	29.26	〃
322	格子柵工	H=0.75m	69.21	〃
323	〃	H=1.10m	84.85	〃

注意事項

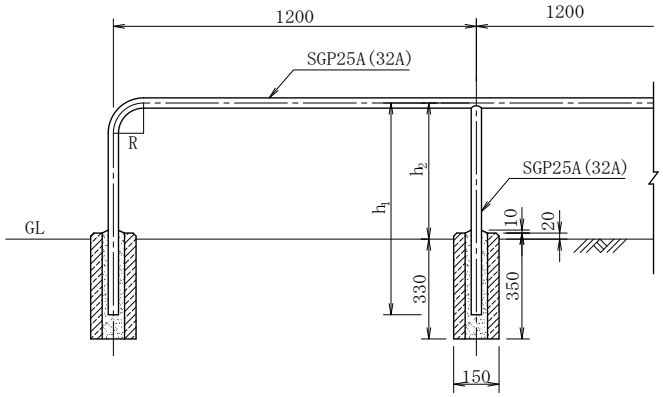
1. 表の数量については、標準断面での数量を示す。端部等については必要に応じて考慮すること。

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
300 安全施設工	パイプ柵工	H=0.45，0.60 0.70m	R7.4

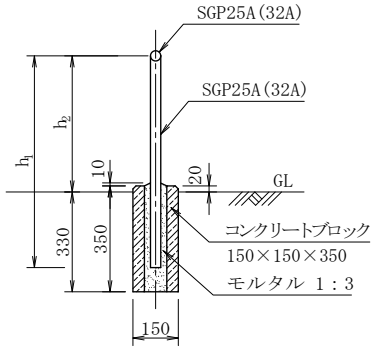
パ　イ　プ　柵　工

立　面　図
H=0.45m（H=0.6m）

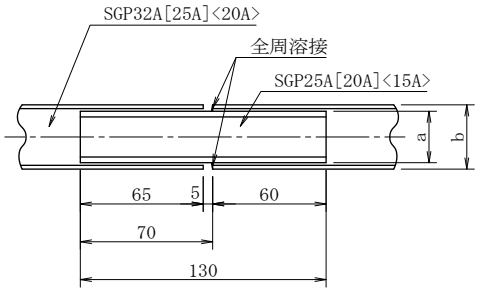
※（　）内は、H=0.6mを表す



断　面　図
H=0.45m（H=0.6m）



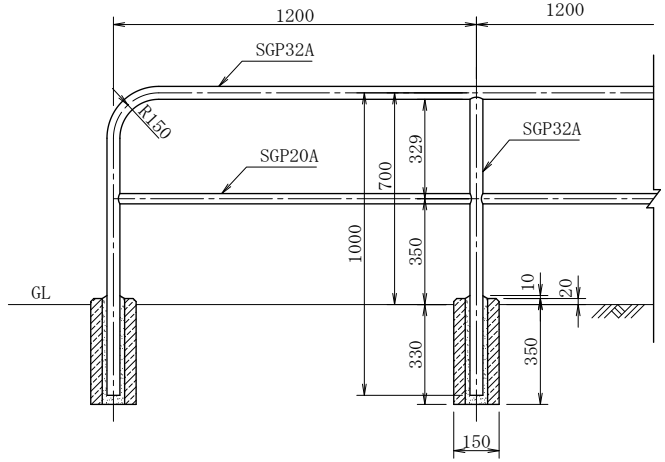
伸縮継手詳細図



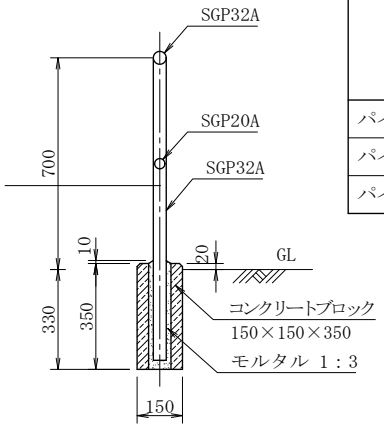
パイプ柵寸法表

名　称	寸　法　表　単位（mm）					摘　要
	h1	h2	R	a	b	
パイプ柵（H=0.45m）	700	450	100	27.2	34.0	
パイプ柵（H=0.6 m）	900	600	150	34.0	42.7	
パイプ柵（H=0.7 m）	—	—	—	34.0 21.7	42.7 27.2	

立　面　図
H=0.7m



断　面　図
H=0.7m



パイプ柵工材料表

名　称	材　料　表　12m当り						摘　要
	モルタル（1：3）（m³）	コンクリートブロック 150×150×350（個）	パイプ柵（m） H=0.45m	H=0.6m	H=0.7m	塗装 鉄部（m²）	
パイプ柵（H=0.45m）	0.025	10	12.0	—	—	1.70	
パイプ柵（H=0.6 m）	0.024	10	—	12.0	—	2.20	
パイプ柵（H=0.7 m）	0.024	10	—	—	12.0	3.50	

注意事項

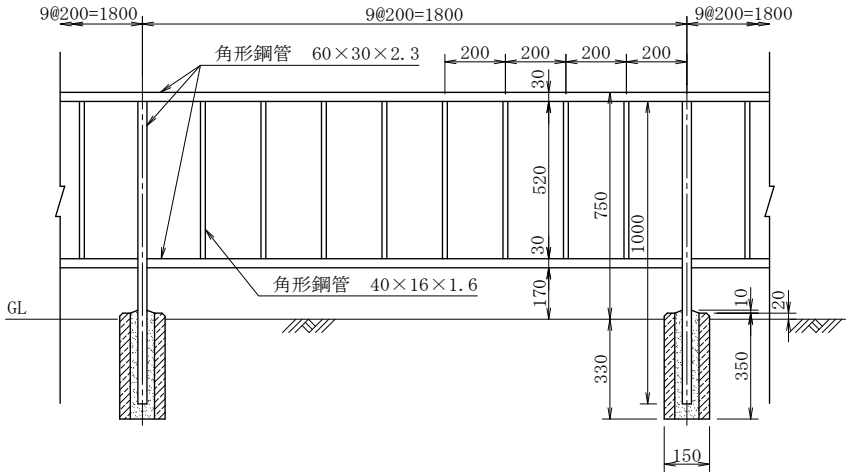
1. 鉄部の防食処理は、電気亜鉛メッキ（JIS H 8610）2種4級以上とする。
2. 鉄部の塗装は、下塗り、中塗り、ポリウレタン樹脂塗料(指定色)
   各１回塗装とする。
3. 伸縮継手は、@20mを標準とする。
4. コンクリートブロックは、JIS A 5371付属書Bによる。

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
300 安全施設工	格子柵工	H=0.75m	R7.4

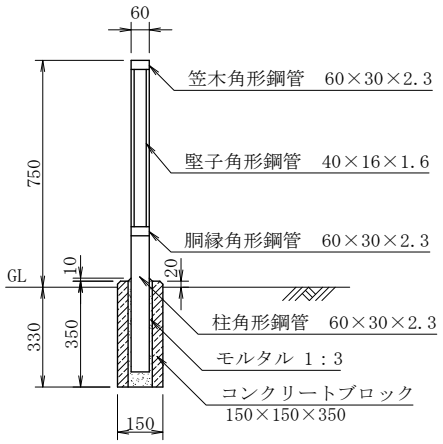
格　子　柵　工

立　面　図

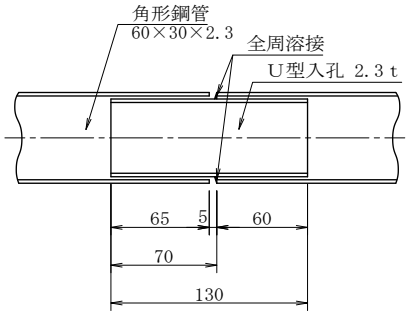
H=0.75m



断　面　図



伸　縮　継　手　詳　細　図



格 子 柵 工（H=0.75m） 材 料 表

名　称	材　料　表　18m当り				摘　要
	モルタル（1：3）(m^3)	コンクリートブロック 150×150×350（個）	格子柵（m） H=0.75m	塗　装 鉄部(m^2)	
格子柵（H=0.75m）	0.023	10	18.0	12.19	

注意事項

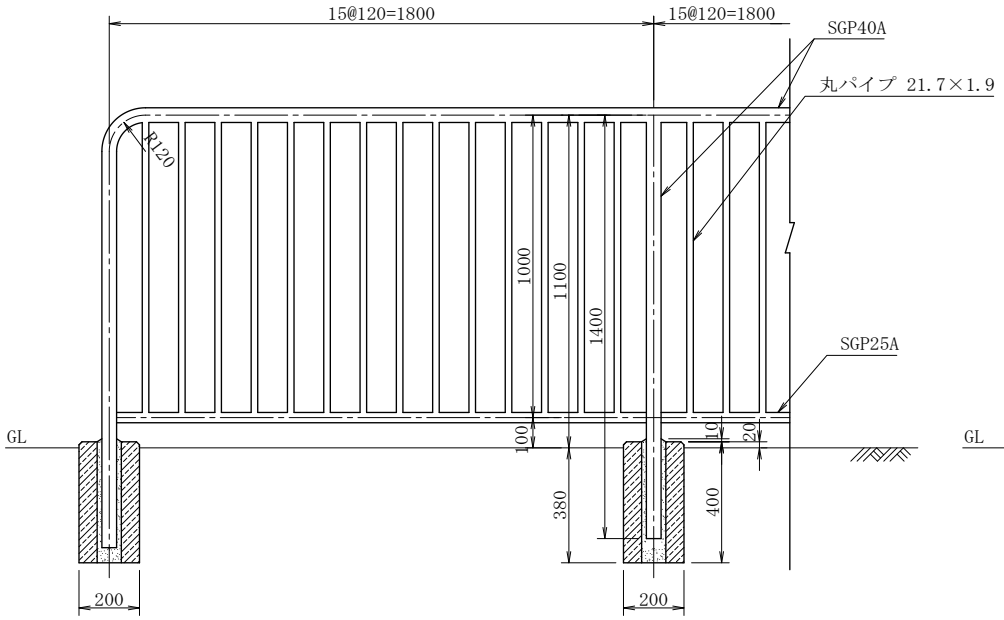
1. 鉄部の防食処理は、電気亜鉛メッキ（JIS H 8610）2種4級以上とする。
2. 鉄部の塗装は、下塗り、中塗り、ポリウレタン樹脂塗料(指定色)
   各１回塗装とする。
3. 伸縮継手は、@20mを標準とする。
4. コンクリートブロックは、JIS A 5371付属書Bによる。

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
300 安全施設工	格子柵工	H=1.1m	R7.4

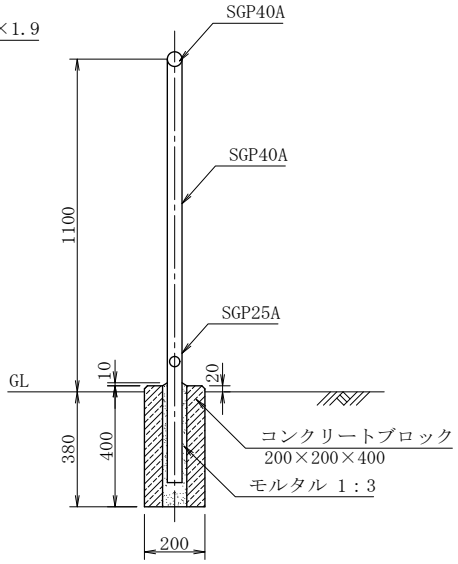
格　子　柵　工

立　面　図

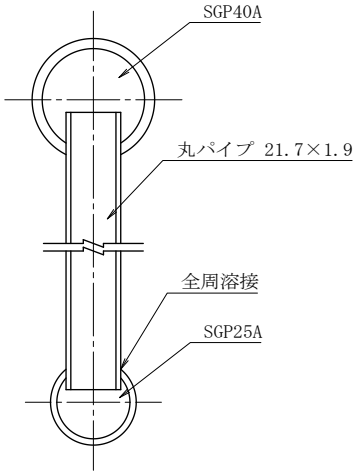
H=1.1m



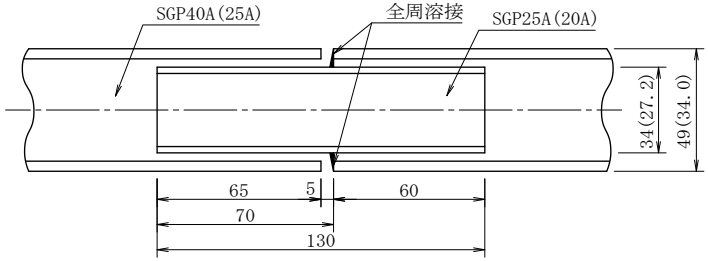
断　面　図



接続部詳細図



伸縮継手詳細図



格子柵工（H=1.1m）材料表

名　称	材　料　表　18.0m当り				摘　要
	モルタル（1：3）(m^3)	コンクリートブロック 200×200×400（個）	格子柵（m）H=1.1m	塗　装 鉄部(m^2)	
格子柵（H=1.1m）	0.025	10	18.0	14.23	

注意事項

1. 鉄部の防食処理は、電気亜鉛メッキ（JIS H 8610）2種4級以上とする。
2. 鉄部の塗装は、下塗り、中塗り、ポリウレタン樹脂塗料(指定色）各１回塗装とする。
3. 伸縮継手は、@20mを標準とする。
4. コンクリートブロックは、JIS A 5371付属書Bによる。

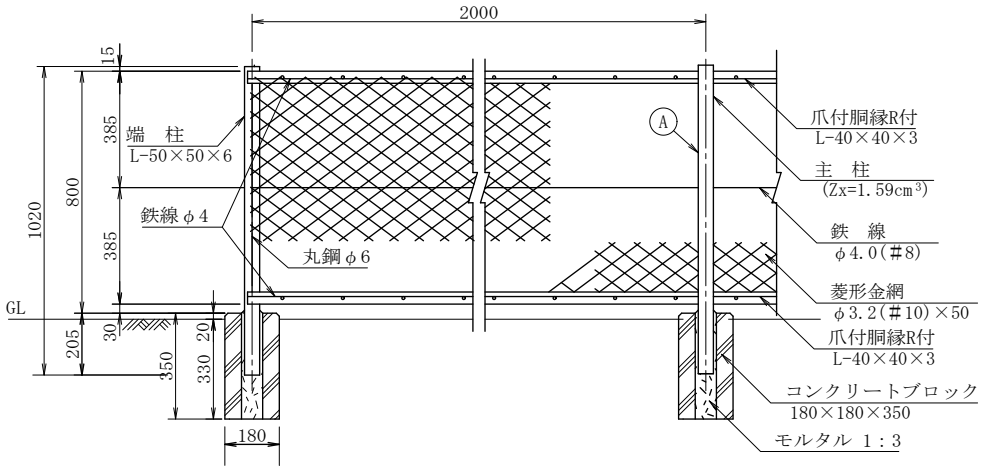
大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
300 安全施設工	フェンス工	H=0.8，1.5，2.0m	R7.4

フ　ェ　ン　ス　工

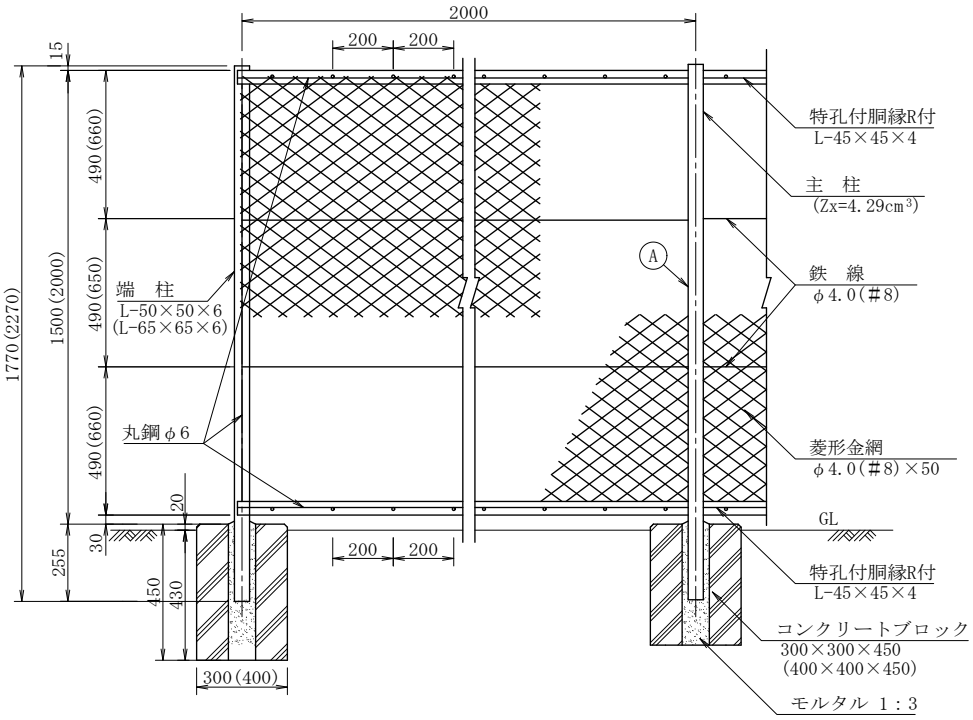
正　面　図
H=0.8m

主柱Ⓐ部断面参考図





正　面　図
H=1.5m，H=2.0m



フ　ェ　ン　ス　工　材　料　表

名　　称	材　料　表　20m当り							摘　要
	モルタル	コンクリートブロック（個）			フ　ェ　ン　ス　（m）			
	(1：3)(m³)	180×180×350	300×300×450	400×400×450	H=0.8m	H=1.5m	H=2.0m	
フェンス（H=0.8m）	0.027	10	―	―	20.00	―	―	
フェンス（H=1.5m）	0.096	―	10	―	―	20.00	―	
フェンス（H=2.0m）	0.096	―	―	10	―	―	20.00	

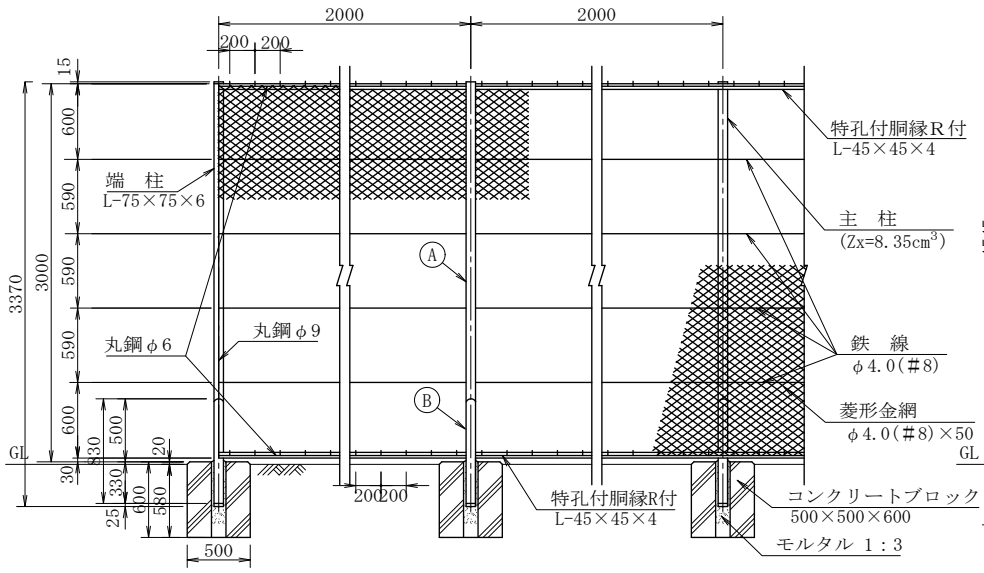
注意事項

1. （　）内の寸法は、H=2.0mのものとする。
2. フェンスの向きは監督員の指示によるものとするが、原則として金網は動的施設がある側に設置するものとする。
3. 柱・胴縁は、JIS G 3302溶融亜鉛めっき鋼板SGH400-Z27（275g／m²以上）または、JIS G 3101一般構造用圧延鋼材・SS-400に亜鉛メッキ（400g／m²以上）とし、焼付塗装する。
4. 柱の断面係数（Zx）は図示以上とする。
5. 金網・鉄線はJIS G 3552 C-GS3（3種亜鉛メッキ鉄線に焼付塗装したもの）とする。
6. ボルト取付金具および丸鋼は溶融亜鉛メッキ品とし、縦丸鋼は端部及び折点に施工する。
7. コンクリートブロックは、JIS A 5371付属書Bによる。

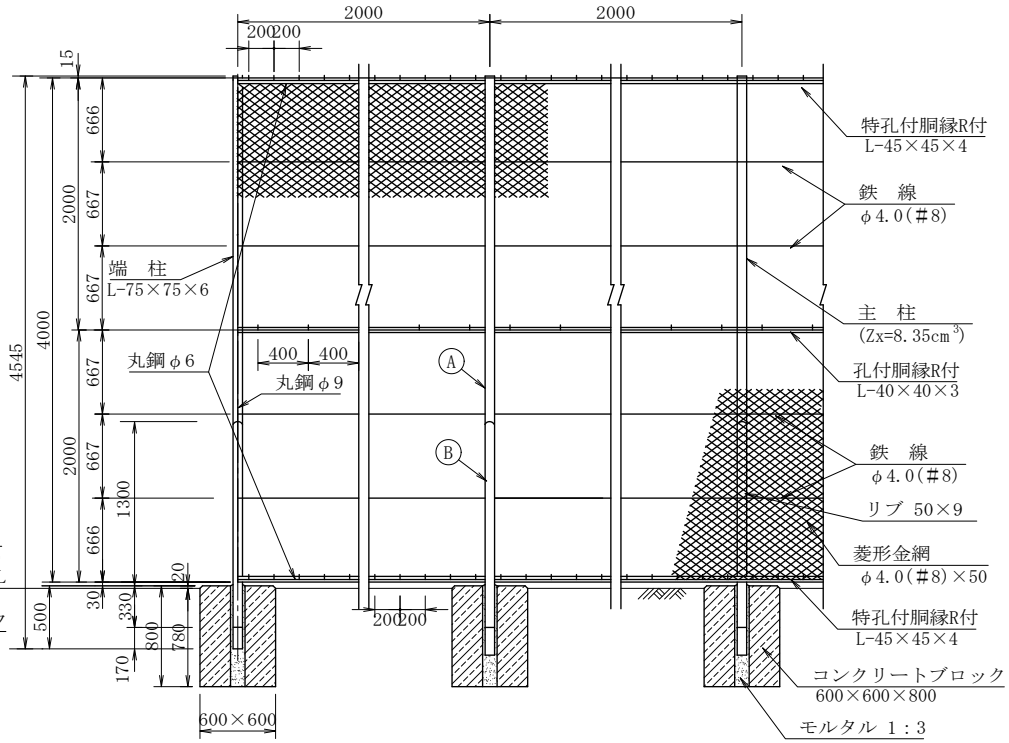
大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
300 安全施設工	フェンス工	H=3.0，4.0m	R7.4

フ　ェ　ン　ス　工

正　面　図
H=3.0m



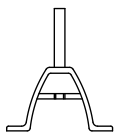
正　面　図
H=4.0m



主柱Ⓐ部断面参考図



主柱Ⓑ部断面参考図
（リブ付き）



フェンス工材料表

名　　称	材　料　表　20m当り					摘　要
	モルタル	コンクリートブロック（個）		フェンス（m）		
	(1：3)(m³)	500×500×600	600×600×800	H=3.0m	H=4.0m	
フェンス（H=3.0m）	0.128	10	—	20.00	—	
フェンス（H=4.0m）	0.171	—	10	—	20.00	

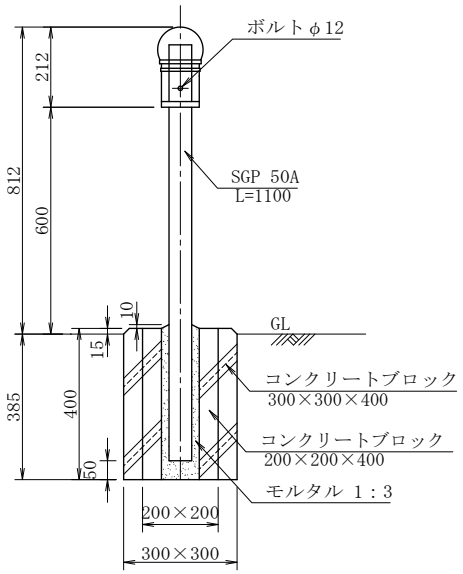
注意事項

1. フェンスの向きは監督員の指示によるものとするが、原則として金網は動的施設がある側に設置するものとする。
2. 柱・胴縁は、JIS G 3302溶融亜鉛めっき鋼板SGH400-Z27（275g/m²以上）または、JIS G 3101一般構造用圧延鋼材・SS-400に亜鉛メッキ（400g／m²以上）とし、焼付塗装する。
3. 柱の断面係数（Zx）は図示以上とする。
4. 金網・鉄線はJIS G 3552 C-GS3（3種亜鉛メッキ鉄線に焼付塗装したもの）とする。
5. ボルト取付金具および丸鋼は溶融亜鉛メッキ品とし、縦丸鋼は端部及び折点に施工する。
6. コンクリートブロックは、JIS A 5371付属書Bによる

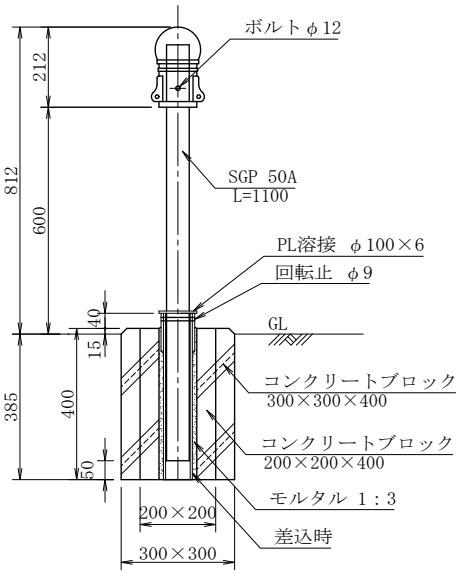
大分類	中分類	小分類	適用年度
300 安全施設工	車止工	固定，可動，可動（鍵付）	R7.4

車　止　工

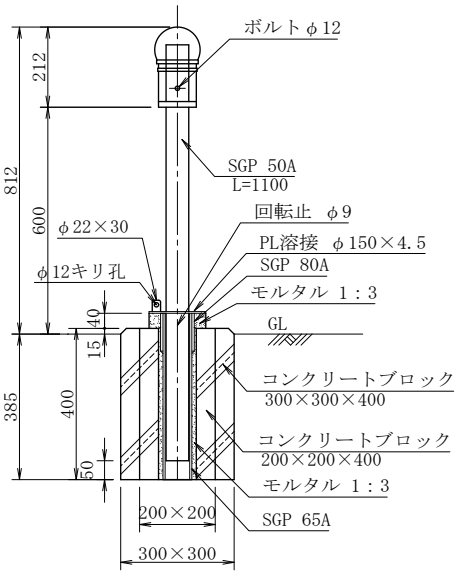
固　定



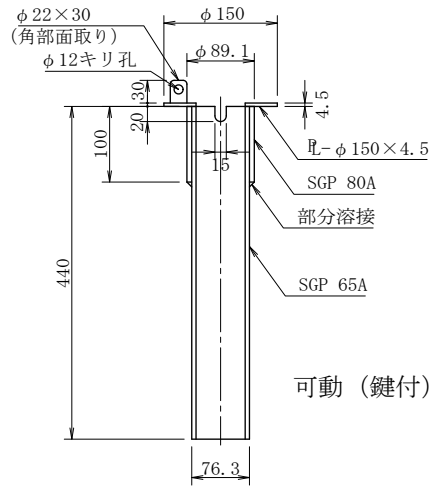
可　動



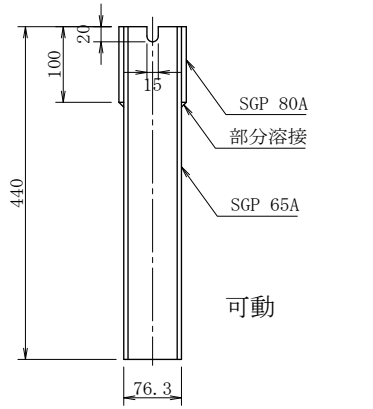
可　動［鍵　付］



差込筒詳細図



可動（鍵付）



可動

車止（固定，可動，可動（鍵付））材料表

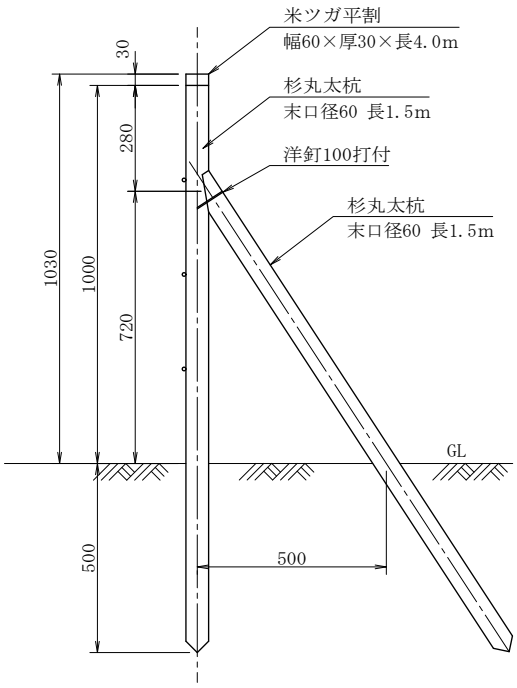
名称		材料表 モルタル (1：3)(m³)	コンクリートブロック（個） 200×200×400	コンクリートブロック（個） 300×300×400	固定柱A (本)	可動柱A (本)	可動柱E (本)	南京錠 真ちゅう製(個)	10本当り 塗装 (m²)	摘要
固定	A－1	0.021	－	10	10	－	－	－	1.8	
固定	A'－1	0.021	10	－	10	－	－	－	1.8	
可動	A－2	0.013	－	10	－	10	－	－	1.8	
可動	A'－2	0.013	10	－	－	10	－	－	1.8	
可動（鍵付）	E	0.018	－	10	－	－	10	10	1.8	
可動（鍵付）	E'	0.018	10	－	－	－	10	10	1.8	

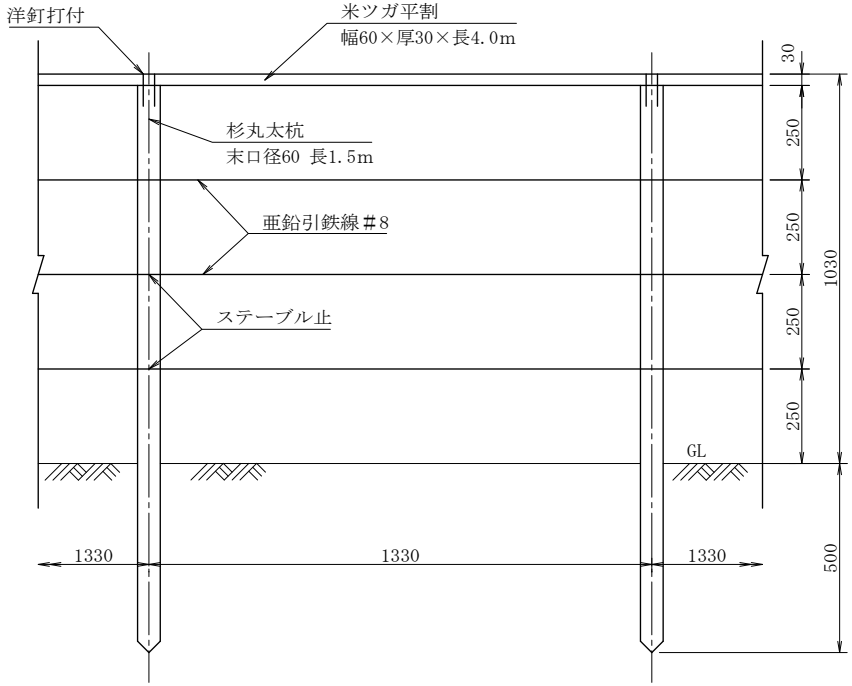
注意事項

1. 鉄部の防食処理は、電気亜鉛メッキ（JIS H 8610）2種4級以上とする。
2. 鉄部の塗装は、下塗り、中塗り、ポリウレタン樹脂塗料（指定色）各１回塗装とする。
3. 固定柱A・可動柱A・Eは、300×300×400ブロック使用とし、固定柱A'、可動柱A'・E'は、200×200×400ブロック使用とする。
4. コンクリートブロックは、JIS A 5371付属書Bによる。
5. 南京錠の種類は、本市監督員の指示によるものとする。

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
300 安全施設工	バリケード工 （鉄線柵）	バリケード工 （鉄線柵）	R7.4

バ リ ケ ー ド 工 （鉄線柵）





バリケード工（鉄線柵）材料表

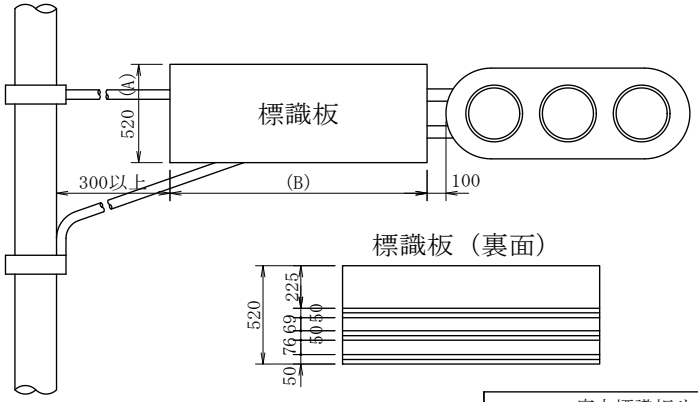
名　称	材　料　表　12m当り			摘　要
	杉丸太杭 1.5m×60（本）	米ツガ平割 4m×60×30（本）	亜鉛引鉄線 ＃8（kg）	
バリケード鉄線柵	10	3	3.55	

注意事項

1. 杭および平割は、防腐剤加圧注入処理品とする。
2. 控杭は、端部・折れ点を主とし、@12mを標準とする。

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
300 安全施設工	案内標識設置工	信号機アーム取付	R7.4

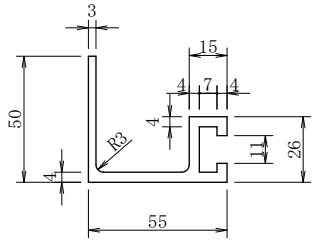
案 内 標 識 設 置 工

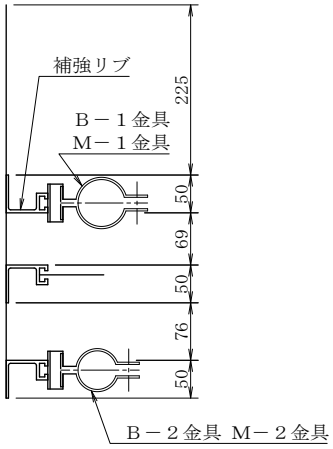


標識板（裏面）

案内標識板サイズ	
文字数	A × B × t
5 文字	520 ×1360 × 2t
4 文字	520 ×1120 × 2t
3 文字	520 × 880 × 2t

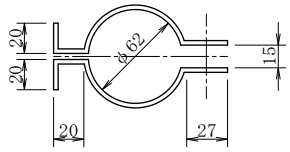
補強リブ

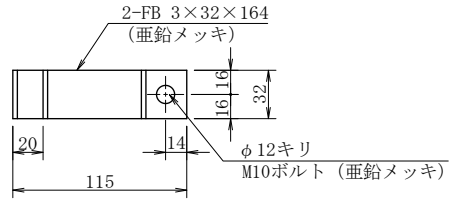




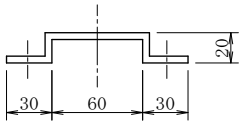
金 具 数 量 表			(1基当り)
種　別	形状・寸法	数量	備　考
F B	3 ×32×164	2	B－１金具
F B	4.5×50×160	1	M－１金具
F B	3 ×32×147	2	B－２金具
F B	4.5×50×160	1	M－２金具
M BOLT	M10×40	2	
M BOLT	W3／8×32	4	

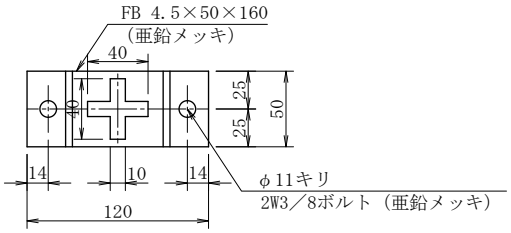
B－１金具



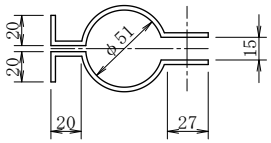


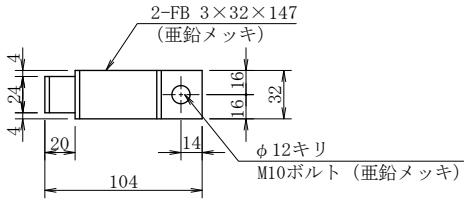
M－１金具



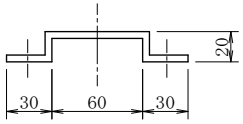


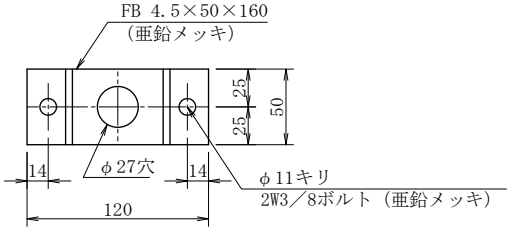
B－２金具





M－２金具





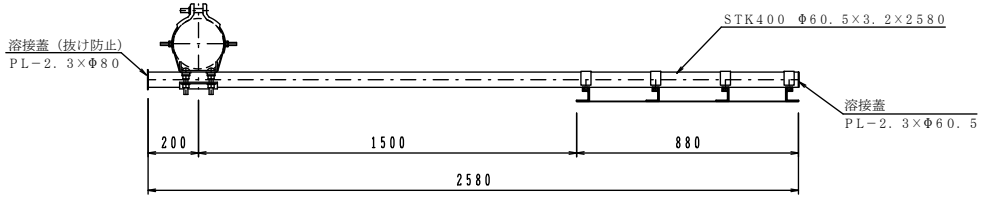
注意事項

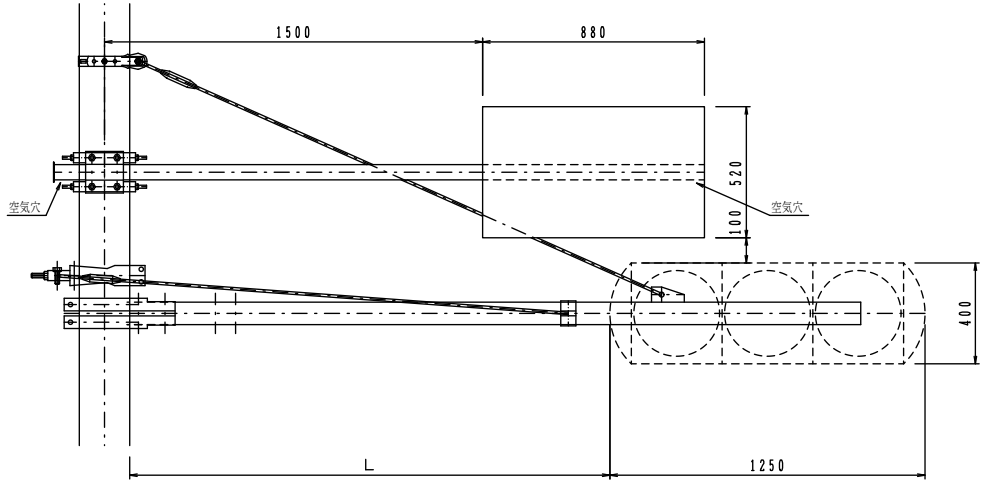
1．114の２－Ａ型は、Ｂ－１金具，Ｍ－１金具各3組取り付け、Ｂ－２金具，Ｍ－２金具各1組取り付けること。
2．各金具は、溶融亜鉛メッキ（JIS H 8641）仕様とする。

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
300 安全施設工	案内標識設置工	地点名標識	R7.4

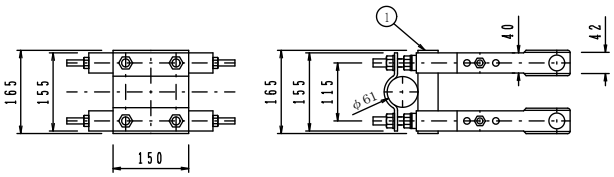
地点名標識設置工　S＝1／30

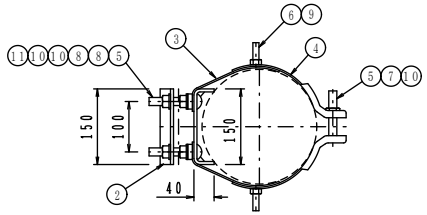
3文字以下（520×880）

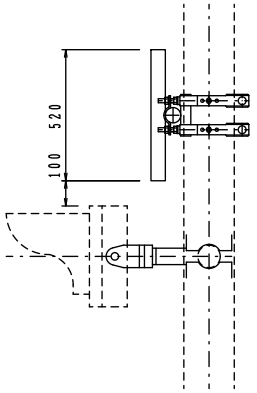




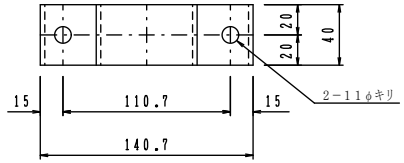
取付金具詳細図　S＝1／15　溶融亜鉛メッキ仕上げ

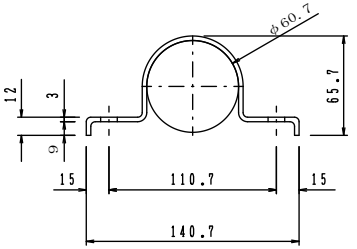






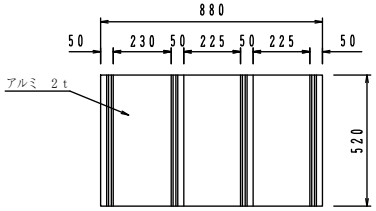
金具詳細図　S＝1／5





L
0．5m
1．0m
1．5m
2．0m
2．5m
3．0m
3．5m

標識板裏面図　S＝1／30



取付金具材料表　　1基当り

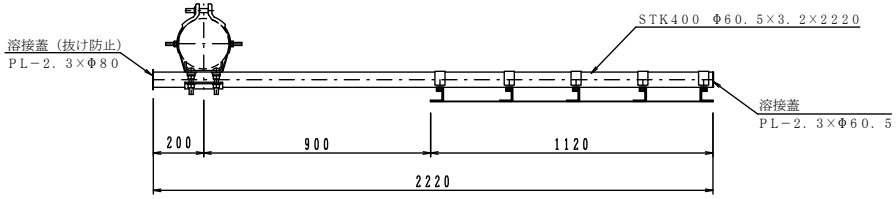
番号	名　称	材　料　表 形状・寸法	単位	数量	摘要
1	本体	t6	個	1	
2	押え板	t6	個	1	
3	ブレード	t3．2	個	4	
4	Bブレード	t3．2	個	4	
5	角根丸頭ボルト	M16×95	個	6	
6	さらボルト	M12×50	個	4	
7	六角ナット	M16・H16	個	2	
8	六角ナット	M16・H13	個	8	
9	六角ナット	M12	個	4	
10	ばね座金	M16用	個	10	
11	丸座金	M16用	個	4	

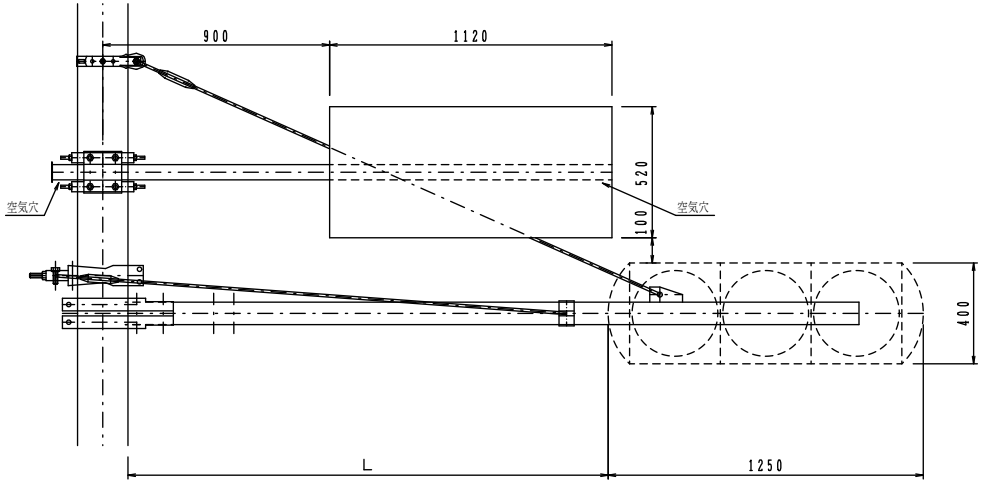
※メッキ用空気穴は、両端各1箇所として、下向きで設置すること。

大分類	中分類	小分類	適用年度
300 安全施設工	案内標識設置工	地点名標識	R7.4

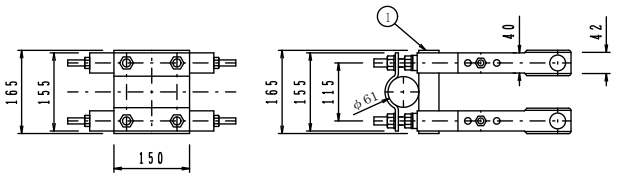
地点名標識設置工　S＝1／30

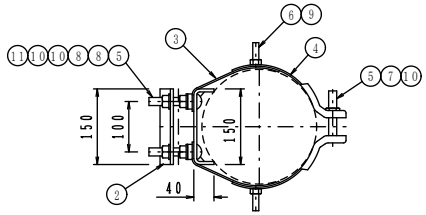
4文字（520×1120）

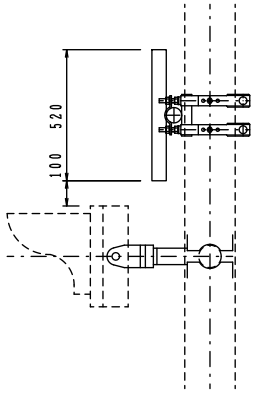




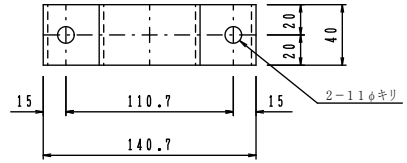
取付金具詳細図　S＝1／15　溶融亜鉛メッキ仕上げ

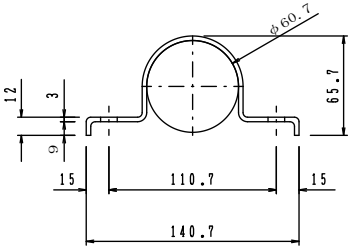






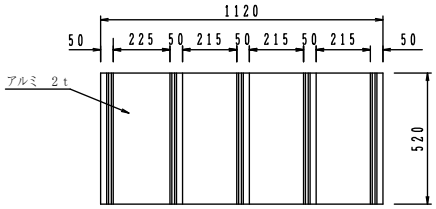
金具詳細図　S＝1／5





L
0．5m
1．0m
1．5m
2．0m
2．5m
3．0m
3．5m

標識板裏面図　S＝1／30



取付金具材料表　　1基当り

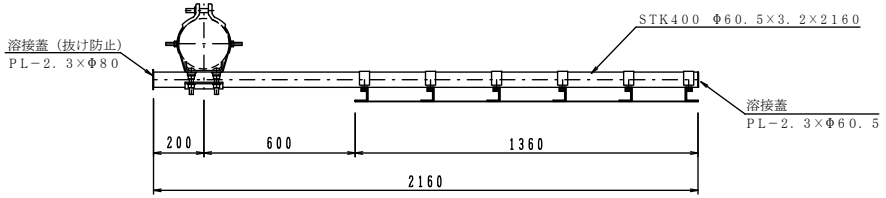
番号	名称	材料表 形状・寸法	単位	数量	摘要
1	本体	t6	個	1	
2	押え板	t6	個	1	
3	ブレード	t3．2	個	4	
4	Bブレード	t3．2	個	4	
5	角根丸頭ボルト	M16×95	個	6	
6	さらボルト	M12×50	個	4	
7	六角ナット	M16・H16	個	2	
8	六角ナット	M16・H13	個	8	
9	六角ナット	M12	個	4	
10	ばね座金	M16用	個	10	
11	丸座金	M16用	個	4	

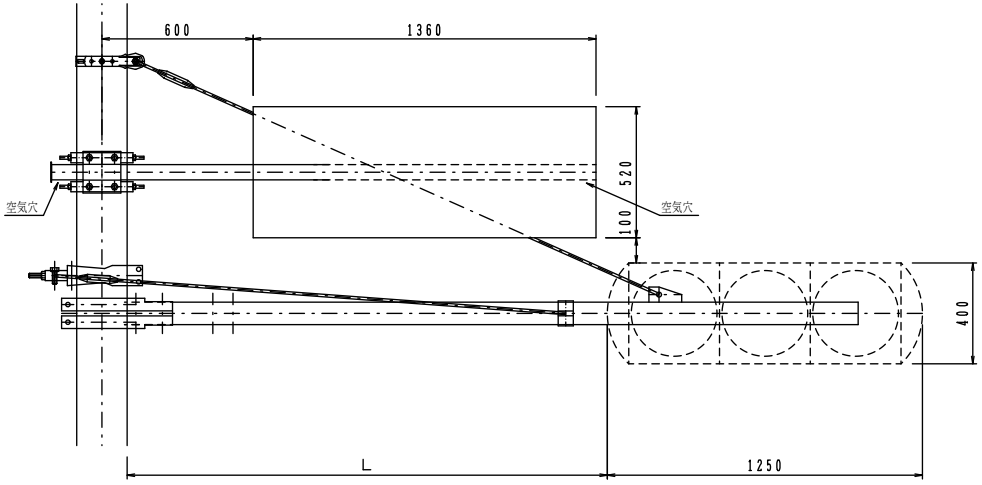
※メッキ用空気穴は、両端各1箇所として、下向きで設置すること。

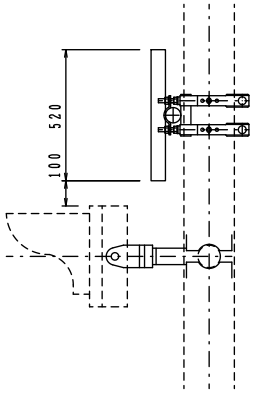
大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
300 安全施設工	案内標識設置工	地点名標識	R7.4

地点名標識設置工　S＝1／30

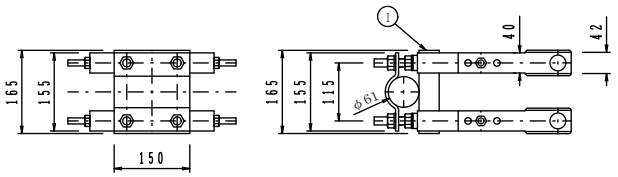
5，6文字（520×1360）

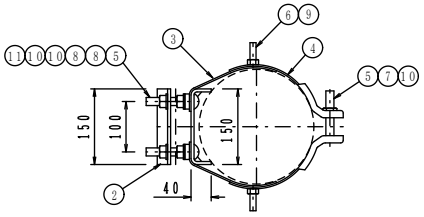




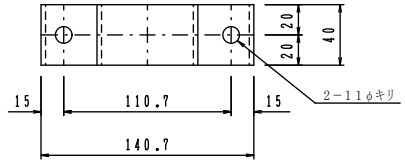


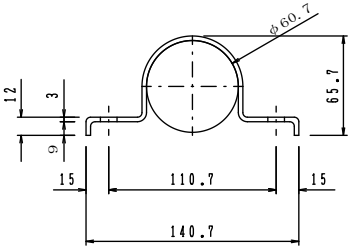
取付金具詳細図　S＝1／15　溶融亜鉛メッキ仕上げ





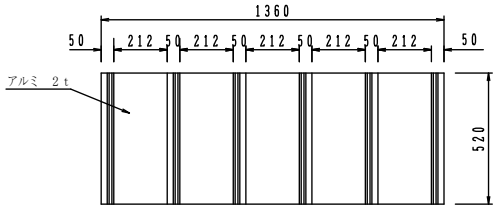
金具詳細図　S＝1／5





L
0．5m
1．0m
1．5m
2．0m
2．5m
3．0m
3．5m

標識板裏面図　S＝1／30



取付金具材料表　　1基当り

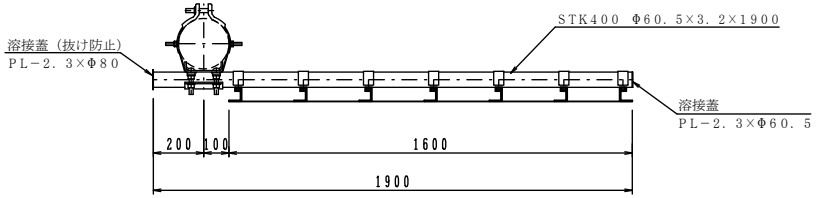
番号	名　称	材　料　表			摘要
		形状・寸法	単位	数量	
1	本体	t 6	個	1	
2	押え板	t 6	個	1	
3	ブレード	t 3．2	個	4	
4	Bブレード	t 3．2	個	4	
5	角根丸頭ボルト	M16×95	個	6	
6	さらボルト	M12×50	個	4	
7	六角ナット	M16・H16	個	2	
8	六角ナット	M16・H13	個	8	
9	六角ナット	M12	個	4	
10	ばね座金	M16用	個	10	
11	丸座金	M16用	個	4	

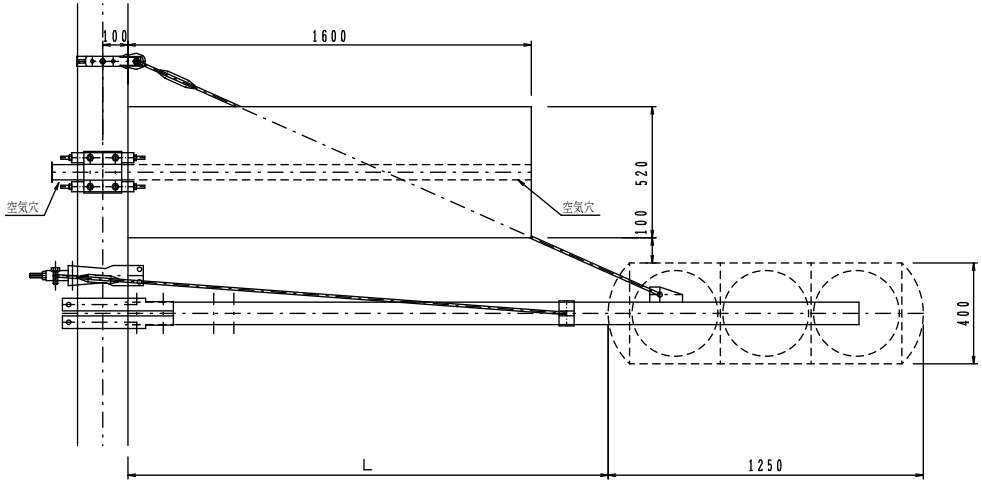
※メッキ用空気穴は、両端各1箇所として、下向きで設置すること。

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
300 安全施設工	案内標識設置工	地点名標識	R7.4

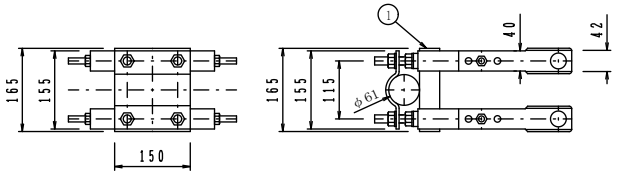
地点名標識設置工　S＝1／30

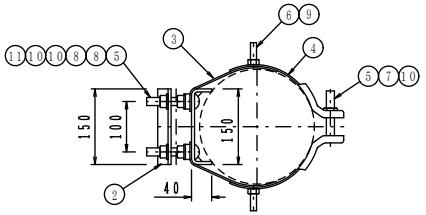
7文字（520×1600）

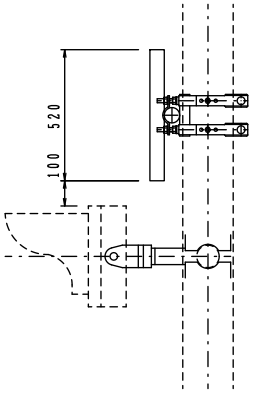




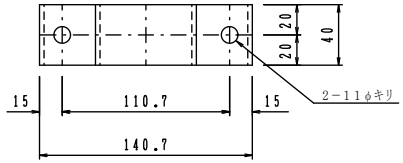
取付金具詳細図　S＝1／15　溶融亜鉛メッキ仕上げ

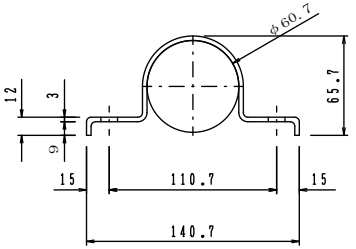




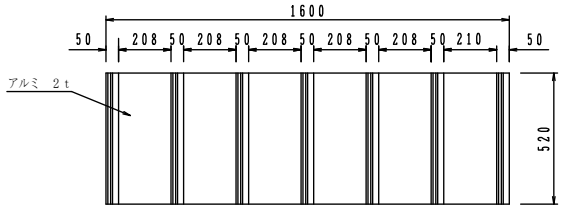


金具詳細図　S＝1／5





標識板裏面図　S＝1／30



L
0．5m
1．0m
1．5m
2．0m
2．5m
3．0m
3．5m

取付金具材料表　　1基当り

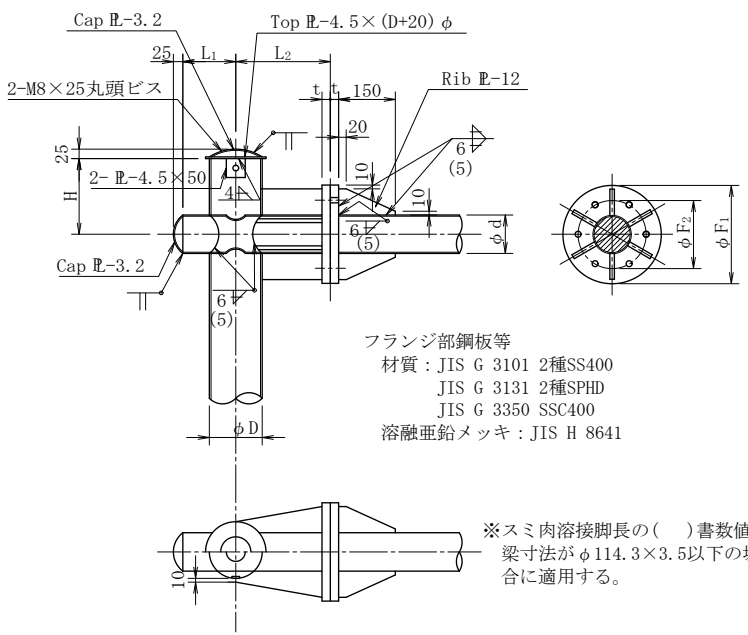
番号	名　称	材　料　表			摘要
		形状・寸法	単位	数量	
1	本体	t6	個	1	
2	押え板	t6	個	1	
3	ブレード	t3．2	個	4	
4	Bブレード	t3．2	個	4	
5	角根丸頭ボルト	M16×95	個	6	
6	さらボルト	M12×50	個	4	
7	六角ナット	M16・H16	個	2	
8	六角ナット	M16・H13	個	8	
9	六角ナット	M12	個	4	
10	ばね座金	M16用	個	10	
11	丸座金	M16用	個	4	

※メッキ用空気穴は、両端各1箇所として、下向きで設置すること。

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
300 安全施設工	案内標識設置工	Ｆ－１型	R7.4

案 内 標 識 設 置 工

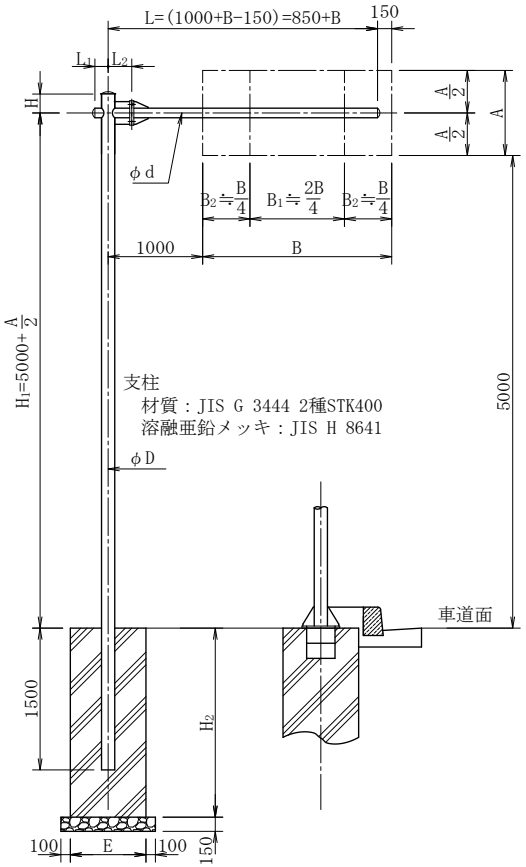
フランジ部詳細図



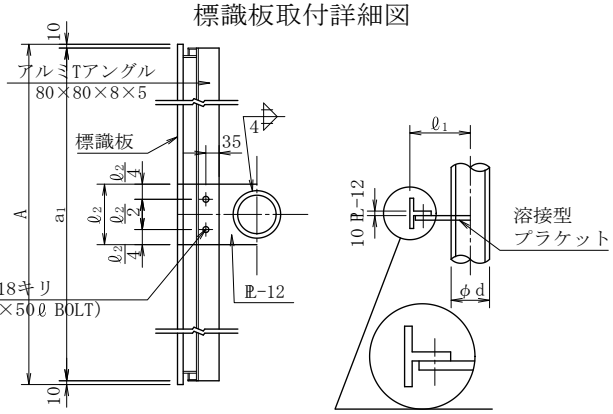
フランジ部鋼板等
材質：JIS G 3101 2種SS400
JIS G 3131 2種SPHD
JIS G 3350 SSC400
溶融亜鉛メッキ：JIS H 8641

※スミ肉溶接脚長の(　)書数値は梁寸法がφ114.3×3.5以下の場合に適用する。

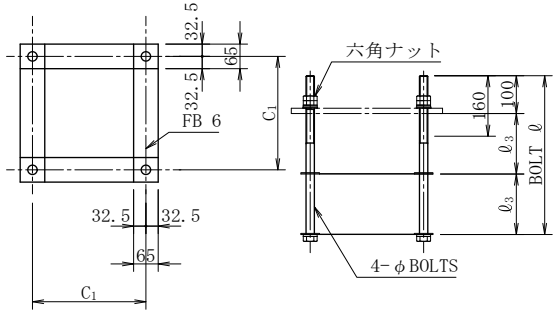
① Ｆ－１型（張出長1.0mの場合）



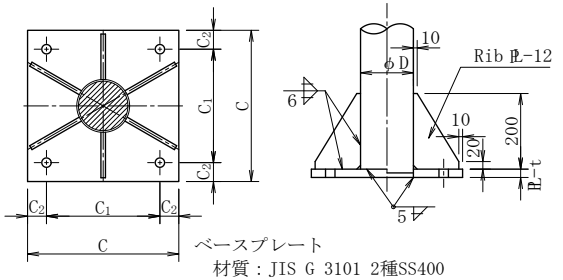
標識板取付詳細図



アンカーボルト詳細図



ベースプレート詳細図



ベースプレート
材質：JIS G 3101 2種SS400
溶融亜鉛メッキ：JIS H 8641

アンカーボルト，ベースプレート寸法表

（単位：mm）

支柱径 φD	アンカーボルト n－φ	アンカーボルト ℓ	ℓ3	ベースプレート t	C	C1	C2	リブプレート t
139.8	4-M22	700	300	22	400	300	50	12
165.2	4-M22	700	300	22	400	300	50	12
190.7	4-M22	700	300	22	450	350	50	12
216.3	4-M27	850	375	22	450	350	50	12
267.4	4-M27	850	375	25	500	400	50	12

Ｆ－１型　　支柱・梁寸法表　　フランジ部寸法表

（単位：mm）

標識板面積 A × B	支柱寸法 φD×t	梁寸法 φd×t	L1	L2	H	フランジ φF1	フランジ φF2	フランジプレート t	フランジボルト n×φ	ℓ1	ℓ2
1.0m²以下	139.8×4.5	101.6×3.2	140	250	200	260	180	12	6×M16	160	160
1.0m²超～1.5m²以下	165.2×4.5	114.3×3.5	160	250	200	260	180	12	6×M16	160	160
1.5m²超～2.5m²以下	190.7×5.3	139.8×4.5	190	250	200	300	220	16	6×M22	200	200
2.5m²超～3.5m²以下	216.3×5.8	165.2×4.5	220	250	250	350	260	19	6×M22	200	200
3.5m²超～4.5m²以下	267.4×6.6	190.7×5.3	260	300	250	400	300	19	6×M22	200	200

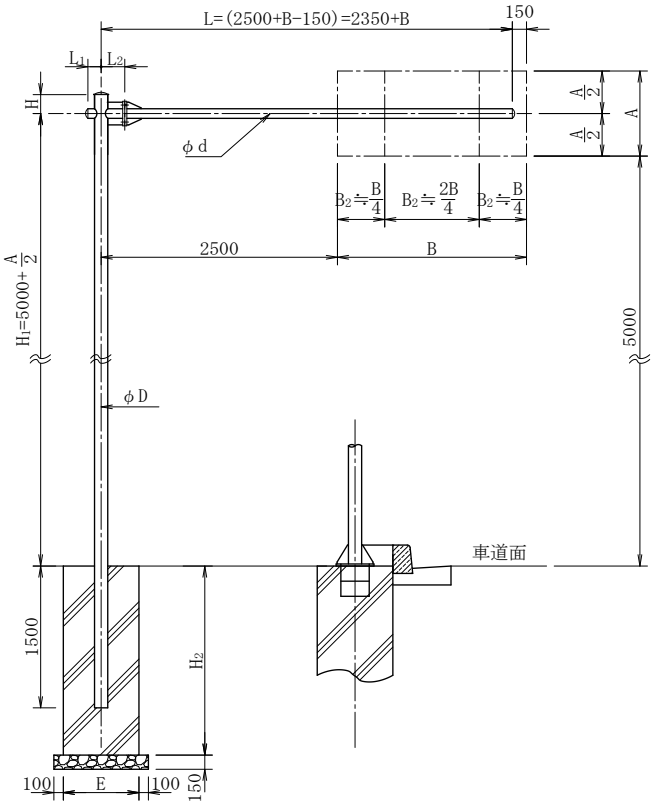
注意事項

1. Ｆ－１型使用はA≦1.5mかつ標識板面積≦4.5m²の場合
2. 支柱径200mm以下の場合は、埋込式を原則とする。

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
300 安全施設工	案内標識設置工	Ｆ－１型	R7.4

案 内 標 識 設 置 工

③ Ｆ－１型（張出長2.5ｍの場合）



アンカーボルト，ベースプレート寸法表　（単位：mm）

支柱径 φD	アンカーボルト n－φ	アンカーボルト ℓ	ℓ3	ベースプレート t	C	C1	C2	リブプレート t
139.8	4-M22	700	300	22	400	300	50	12
165.2	4-M22	700	300	22	400	300	50	12
190.7	4-M22	700	300	22	450	350	50	12
216.3	4-M27	850	375	22	450	350	50	12
267.4	4-M27	850	375	25	500	400	50	12

Ｆ－１型　　支柱・梁寸法表　　フランジ部寸法表　（単位：mm）

標識板面積 A × B	縦横比 B／A	支柱寸法 φD× t	梁寸法 φd× t	L1	L2	H	フランジ φF1	フランジ φF2	フランジプレート t	フランジボルト n×φ	ℓ1	ℓ2
0.7m²以下	―	139.8×4.5	101.6×3.2	140	250	200	260	180	12	6×M16	160	160
0.7m²超～1.0m²以下	―	165.2×4.5	114.3×3.5	160	250	200	260	180	12	6×M16	160	160
1.0m²超～1.7m²以下	―	190.7×5.3	139.8×4.5	190	250	200	300	220	16	6×M22	200	200
1.7m²超～2.0m²以下	2.5未満											
	2.5以上	216.3×5.8	165.2×4.5	220	250	250	350	260	19	6×M22	200	200
2.0m²超～2.5m²以下	4.0未満											
	4.0以上	267.4×6.6	190.7×5.3	260	300	250	400	300	19	6×M27	200	200
2.5m²超～3.5m²以下	―											

注意事項

1. Ｆ－１型使用はA≦1.5ｍかつ標識板面積≦4.5m²の場合
2. 支柱径200mm以下の場合は、埋込式を原則とする。

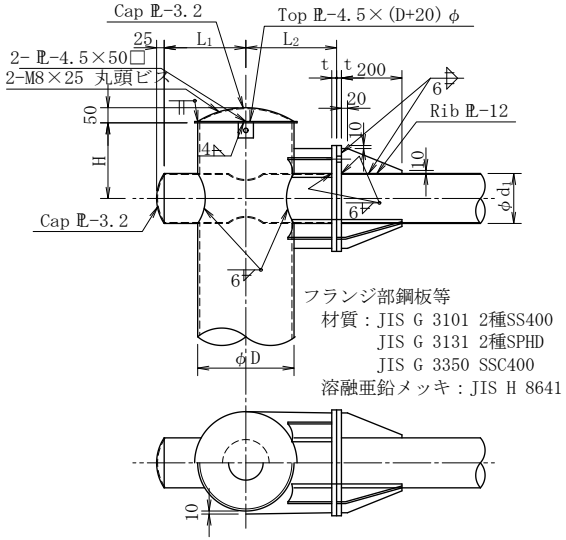
フランジ部
標識板取付
ベースプレート
アンカーボルト
｝詳細図についてはＦ－１型（張出長1.0ｍの場合）と同じ

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
300 安全施設工	案内標識設置工	Ｆ－２型	R7.4

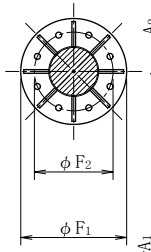
案 内 標 識 設 置 工

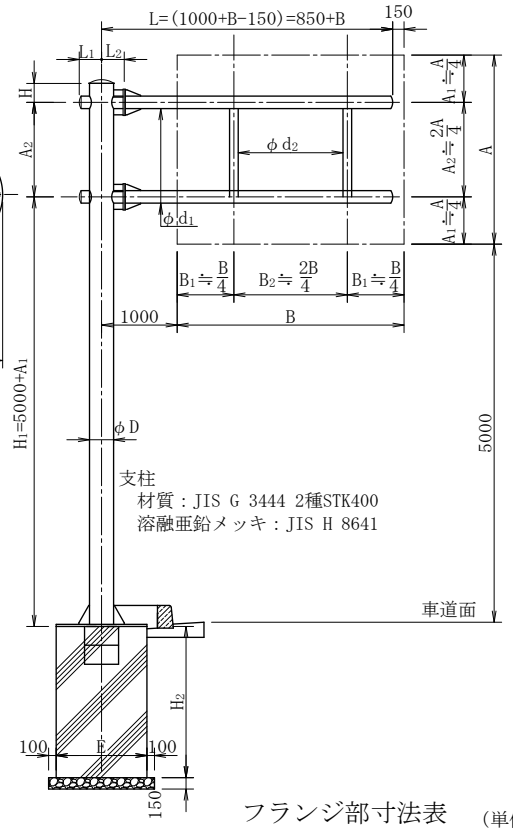
② Ｆ－２型（張出長1.0mの場合）

フランジ部詳細図

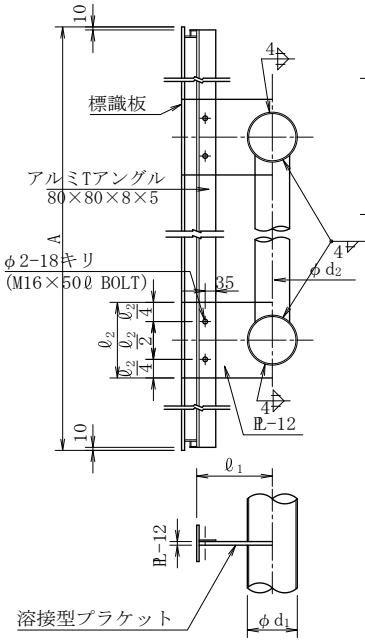


フランジ部鋼板等
材質：JIS G 3101 2種SS400
JIS G 3131 2種SPHD
JIS G 3350 SSC400
溶融亜鉛メッキ：JIS H 8641

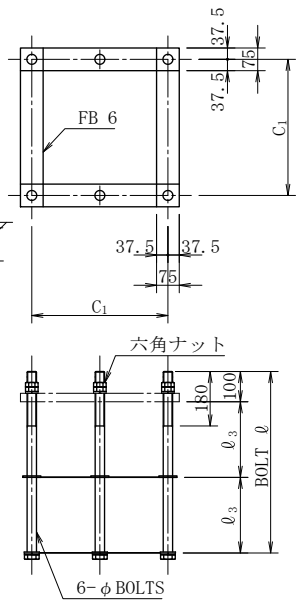




標識板取付詳細図



アンカーボルト詳細図

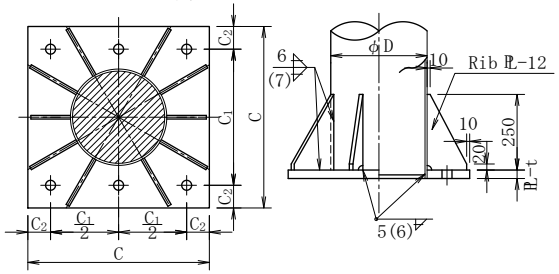


アンカーボルト，ベースプレート寸法表

（単位：mm）

支柱径 φD	アンカーボルト n－φ	アンカーボルト ℓ	ℓ3	ベースプレート t	C	C1	C2	リブプレート t
216.3	6-M22	700	300	22	600	450	75	12
267.4	6-M27	850	375	25	600	450	75	12
318.5	6-M33	1000	450	28	600	450	75	12
355.6	6-M33	1000	450	32	650	500	75	12
406.4	6-M36	1000	450	32	700	550	75	12

ベースプレート詳細図



ベースプレート
材質：JIS G 3101 2種SS400
溶融亜鉛メッキ：JIS H 8641

※スミ肉溶接脚長の（　）書数値は支柱寸法がφ318.5×6.9以上の場合に適用する。

Ｆ－２型　支柱・梁寸法表

フランジ部寸法表

（単位：mm）

標識板面積 A × B	縦横比 B／A	支柱寸法 φD×t	梁寸法 φd1×t	梁寸法 φd2×t	L1	L2	H	フランジ φF1	フランジ φF2	フランジプレート t	フランジボルト n－φ	ℓ1	ℓ2
3.5m²以下	―	216.3×5.8	114.3×4.5	76.3×3.2	190	250	200	300	220	12	8-M16	200	200
3.5m²超～4.5m²以下	―	267.4×6.6	139.8×4.5	101.6×4.2	230	250	200	300	220	16	8-M20	200	200
4.5m²超～5.5m²以下	2.0未満												
	2.0以上	318.5×6.9	165.2×4.5	114.3×4.5	270	300	250	350	260	16	8-M20	250	250
5.5m²超～7.0m²以下	―												
7.0m²超～8.0m²以下	1.5未満												
	1.5以上	355.6×7.9	190.7×5.3	139.8×4.5	300	300	250	400	300	16	8-M22	250	250
8.0m²超～9.5m²以下	―												
9.5m²超～14.0m²以下	―	406.4×9.5	216.3×5.8	139.8×4.5	340	350	300	400	300	22	8-M27	250	250

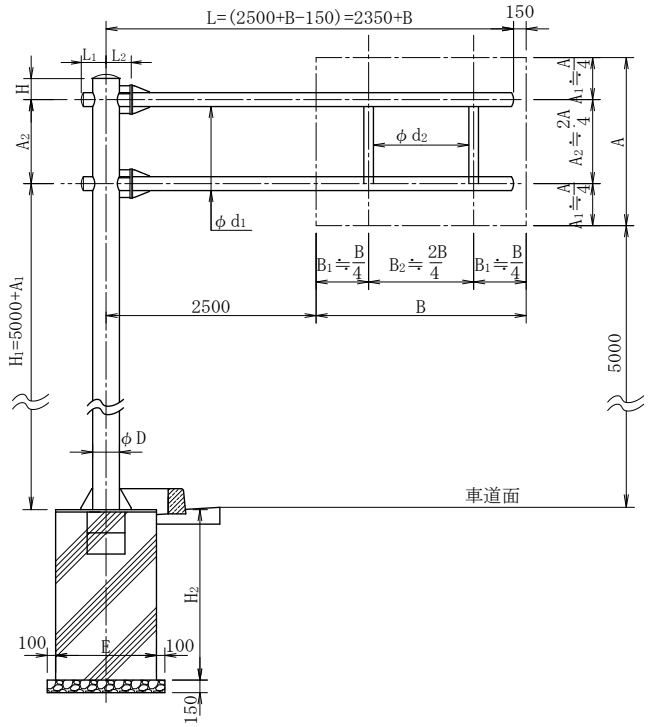
注意事項

1. Ｆ－２型使用は標識板縦寸法＞1.5m又は標識板面積＞4.5m²の場合

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
300 安全施設工	案内標識設置工	Ｆ－２型	R7.4

案 内 標 識 設 置 工

④ Ｆ－２型（張出長2.5ｍの場合）



アンカーボルト，ベースプレート寸法表　（単位：mm）

支柱径 φD	アンカーボルト n－φ	アンカーボルト ℓ	ℓ3	ベースプレート t	C	C1	C2	リブプレート t
216.3	6-M22	700	300	22	600	450	75	12
267.4	6-M27	850	375	25	600	450	75	12
318.5	6-M33	1000	450	28	600	450	75	12
355.6	6-M33	1000	450	32	650	500	75	12
406.4	6-M36	1000	450	32	700	550	75	12

Ｆ－２型　　支柱・梁寸法表　　フランジ部寸法表　（単位：mm）

標識板面積 A × B	縦横比 B／A	支柱寸法 φD× t	梁寸法 φd1×t	梁寸法 φd2×t	L1	L2	H	フランジ φF1	フランジ φF2	フランジプレート t	フランジボルト n－φ	ℓ1	ℓ2
2.5m²以下	2.5未満	216.3×5.8	114.3×4.5	76.3×3.2	190	250	200	300	220	12	6-M16	200	200
	2.5以上	267.4×6.6	139.8×4.5	101.6×4.2	230	250	200	300	220	16	8-M20	200	200
2.5m²超～3.5m²以下	2.5未満												
	2.5以上	318.5×6.9	165.2×4.5	114.3×4.5	270	300	250	350	260	16	8-M20	250	250
3.5m²超～5.0m²以下	2.0未満												
	2.0以上	355.6×7.9	190.7×5.6	139.8×4.5	300	300	250	400	300	16	8-M20	250	250
5.0m²超～6.5m²以下	──												
6.5m²超～7.5m²以下	2.0未満												
	2.0以上	406.4×9.5	216.3×5.8	139.8×4.5	340	350	300	400	300	22	8-M20	250	250
7.5m²超～9.5m²以下	──												
9.5m²超～10.5m²以下	1.5未満												

注意事項

1. Ｆ－２型使用は標識板縦寸法＞1.5ｍ又は標識板面積＞4.5m²の場合

フランジ部
標識板取付
ベースプレート
アンカーボルト
} 詳細図についてはＦ－２型（張出長1.0ｍの場合）と同じ

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
300 安全施設工	案内標識設置工	Ｆ型標識 基礎寸法表	R7.4

案 内 標 識 設 置 工

Ｆ型標識の基礎寸法表（張出長1.0ｍの場合）

区　分	標識板面積 A × B	標識板縦横比 B／A	支柱寸法 φD×t（mm）	基礎の寸法（cm） 標準の場合	基礎の寸法（cm） 標準により難い場合
Ｆ－１型	1.0m²以下	―	139.8×4.5	※ E E H₂ 80×80×180	E E H₂ 100×100×140
	1.0m²超～1.5m²以下	―	165.2×4.5	※80×80×180	100×100×140
	1.5m²超～2.5m²以下	―	190.7×5.3	※80×80×210	100×100×170
	2.5m²超～3.5m²以下	―	216.3×5.8	※80×80×240	100×100×200
	3.5m²超～4.5m²以下	―	267.4×6.6	※80×80×270	100×100×230
Ｆ－２型	3.5m²以下	―	216.3×5.8	※80×80×240	100×100×200
	3.5m²超～4.5m²以下	―	267.4×6.6	100×100×250	120×120×220
	4.5m²超～5.5m²以下	2.0未満			
		2.0以上	318.5×6.9	120×120×250	140×140×220
	5.5m²超～7.0m²以下	―			
	7.0m²超～8.0m²以下	1.5未満			
		1.5以上	355.6×7.9	140×140×250	160×160×220
	8.0m²超～9.5m²以下	―			

注意事項

1. 基礎の寸法は上表の値を原則とするが※印については現地の状況及び施工性、経済性等によりCの値を直径とする円形基礎とすることができる。

Ｆ型標識の基礎寸法表（張出長2.5ｍの場合）

区　分	標識板面積 A × B	標識板縦横比 B／A	支柱寸法 φD×t（mm）	基礎の寸法（cm） 標準の場合	基礎の寸法（cm） 標準により難い場合
Ｆ－１型	0.7m²以下	―	139.8×4.5	※ E E H₂ 80×80×180	E E H₂ 100×100×140
	0.7m²超～1.0m²以下	―	165.2×4.5	※80×80×180	100×100×140
	1.0m²超～1.7m²以下	―	190.7×5.3	※80×80×210	100×100×170
	1.7m²超～2.0m²以下	2.5未満			
		2.5以上	216.3×5.8	※80×80×240	100×100×200
	2.0m²超～2.5m²以下	4.0未満			
		4.0以上	267.4×6.6	※80×80×270	100×100×230
	2.5m²超～3.5m²以下	―			
Ｆ－２型	2.5m²以下	2.5未満	216.3×5.8	※80×80×240	100×100×200
		2.5以上	267.4×6.6	100×100×250	120×120×200
	2.5m²超～3.5m²以下	2.5未満			
		2.5以上	318.5×6.9	120×120×250	140×140×220
	3.5m²超～5.0m²以下	2.0未満			
		2.0以上	355.6×7.9	140×140×250	160×160×220
	5.0m²超～6.5m²以下	―			
	6.5m²超～7.5m²以下	2.0未満			
		2.0以上	406.4×9.5	240×140×250	
	7.5m²超～9.5m²以下	―			
	9.5m²超～10.5m²以下	1.5未満			

注意事項

1. 基礎の寸法は上表の値を原則とするが※印については現地の状況及び施工性、経済性等によりCの値を直径とする円形基礎とすることができる。

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
300 安全施設工	案内標識設置工	アンカーボルト 数 量 表	R7.4

案 内 標 識 設 置 工

Ｆ－１型　　アンカーボルト数量表

φ139.8～φ165.2（4-M22×700）　　（10基当り）

部材名称	規格及寸法	単　重	数　量	重 量（kg）
ボルト（丸鋼）	M22×700	2.09　kg／本	40　本	83.6
平　　鋼	65×6×365	1.12　kg／枚	80　枚	89.6
ナ　ッ　ト	六角ナットM22	0.076 kg／個	120　個	（ 9.1）
座　　金		0.027 kg／枚	40　枚	（ 1.1）
			総重量（kg）	173.2

φ190.7　　（4-M22×700）　　（10基当り）

部材名称	規格及寸法	単　重	数　量	重 量（kg）
ボルト（丸鋼）	M22×700	2.09　kg／本	40　本	83.6
平　　鋼	65×6×415	1.27　kg／枚	80　枚	101.6
ナ　ッ　ト	六角ナットM22	0.076 kg／個	120　個	（ 9.1）
座　　金		0.027 kg／枚	40　枚	（ 1.1）
			総重量（kg）	185.2

φ216.3　　（4-M27×850）　　（10基当り）

部材名称	規格及寸法	単　重	数　量	重 量（kg）
ボルト（丸鋼）	M27×850	3.82　kg／本	40　本	152.8
平　　鋼	65×6×415	1.27　kg／枚	80　枚	101.6
ナ　ッ　ト	六角ナットM27	0.161 kg／個	120　個	（19.3）
座　　金		0.047 kg／枚	40　枚	（ 1.9）
			総重量（kg）	254.4

φ267.4　　（4-M27×850）　　（10基当り）

部材名称	規格及寸法	単　重	数　量	重 量（kg）
ボルト（丸鋼）	M22×850	3.82　kg／本	40　本	152.8
平　　鋼	65×6×465	1.42　kg／枚	80　枚	113.6
ナ　ッ　ト	六角ナットM27	0.161 kg／個	120　個	（19.3）
座　　金		0.047 kg／枚	40　枚	（ 1.9）
			総重量（kg）	266.4

Ｆ－２型　　アンカーボルト数量表

φ216.3　　（6-M22×700）　　（10基当り）

部材名称	規格及寸法	単　重	数　量	重 量（kg）
ボルト（丸鋼）	M22×700	2.09　kg／本	60　本	125.4
平　　鋼	75×6×525	1.85　kg／枚	80　枚	148.0
ナ　ッ　ト	六角ナットM22	0.076 kg／個	180　個	（13.7）
座　　金		0.019 kg／枚	60　枚	（ 1.1）
			総重量（kg）	273.4

φ267.4　　（6-M27×850）　　（10基当り）

部材名称	規格及寸法	単　重	数　量	重 量（kg）
ボルト（丸鋼）	M27×850	3.82　kg／本	60　本	229.2
平　　鋼	75×6×525	1.85　kg／枚	80　枚	148.0
ナ　ッ　ト	六角ナットM27	0.160 kg／個	180　個	（28.8）
座　　金		0.044 kg／枚	60　枚	（ 2.6）
			総重量（kg）	377.2

φ318.5　　（6-M33×1000）　　（10基当り）

部材名称	規格及寸法	単　重	数　量	重 量（kg）
ボルト（丸鋼）	M33×1000	6.71　kg／本	60　本	402.6
平　　鋼	75×6×525	1.85　kg／枚	80　枚	148.0
ナ　ッ　ト	六角ナットM33	0.280 kg／個	180　個	（50.4）
座　　金		0.085 kg／枚	60　枚	（ 5.1）
			総重量（kg）	550.6

φ355.6　　（6-M33×1000）　　（10基当り）

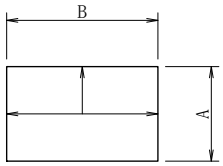
部材名称	規格及寸法	単　重	数　量	重 量（kg）
ボルト（丸鋼）	M33×1000	6.71　kg／本	60　本	402.6
平　　鋼	75×6×575	2.03　kg／枚	80　枚	162.4
ナ　ッ　ト	六角ナットM33	0.280 kg／個	180　個	（50.4）
座　　金		0.085 kg／枚	60　枚	（ 5.1）
			総重量（kg）	565.0

φ406.4　　（6-M36×1000）　　（10基当り）

部材名称	規格及寸法	単　重	数　量	重 量（kg）
ボルト（丸鋼）	M36×1000	7.99　kg／本	60　本	479.4
平　　鋼	75×6×625	2.21　kg／枚	80　枚	176.8
ナ　ッ　ト	六角ナットM36	0.384 kg／個	180　個	（69.1）
座　　金		0.105 kg／枚	60　枚	（ 6.3）
			総重量（kg）	656.2

大分類	中分類	小分類	適用年度
300 安全施設工	案内標識設置工	Ｆ型柱重量表	R7.4

案内標識設置工



Ｆ型柱重量表

・Ｆ－１型使用は、A≦1.5mかつ標識板面積≦4.5m²の場合
・Ｆ－２型使用は、A＞1.5m又は標識板面積＞4.5m²の場合

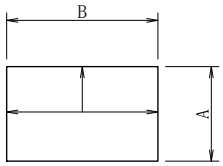
（張出長 2.5m 植栽 有・(無)）

※植栽がある場合支柱寸法+300㎜とする。

区分	標識板面積 A×B	標識板縦横比 B／A	支柱寸法 φD×t（mm）	支柱重量（kg／m）	梁重量（kg／m）	梁立鋼重量（kg／m）	フランジ等重量（kg）	アンカーボルト重量（kg）	合計（kg）	摘要
Ｆ－１型	0.7m²以下	―	139.8×4.5(15)	$(5000+\frac{A}{2}+200)\times15$	(101.6×3.2)(7.76) (140+2500+B−150)×7.76	―	60.55	17.32		
	0.7m²超～1.0m²以下	―	165.2×4.5(17.8)	$(5000+\frac{A}{2}+200)\times17.8$	(114.3×3.5)(9.56) (160+2500+B−150)×9.56	―	57.77	17.32		
	1.0m²超～1.7m²以下	―	190.7×5.3(24.2)	$(5000+\frac{A}{2}+200)\times24.2$	(139.8×4.5)(15.0) (190+2500+B−150)×15.0	―	75.81	18.52		
	1.7m²超～2.0m²以下	2.5未満								
		2.5以上	216.3×5.8(30.1)	$(5000+\frac{A}{2}+250)\times30.1$	(165.2×4.5)(17.8) (220+2500+B−150)×17.8	―	83.58	25.44		
	2.0m²超～2.5m²以下	4.0未満								
		4.0以上	267.4×6.6(42.2)	$(5000+\frac{A}{2}+250)\times42.4$	(190.7×5.3)(24.2) (260+2500+B−150)×24.2	―	106.72	26.64		
	2.5m²超～3.5m²以下	―								
Ｆ－２型	2.5m²以下	2.5未満	216.3×5.8(30.1)	$(5000+\frac{A}{4}+\frac{A}{2}+200)\times30.1$	(114.3×4.5)(12.2) (190+2500+B−150)×12.2×2	(76.3×3.2)(5.77) $\frac{A}{2}\times5.77\times2$	154.01	27.34		
		2.5以上	267.4×6.6(42.4)	$(5000+\frac{A}{4}+\frac{A}{2}+200)\times42.4$	(139.8×4.5)(15.0) (230+2500+B−150)×15.0×2	(101.6×4.2)(10.1) $\frac{A}{2}\times10.1\times2$	156.80	37.72		
	2.5m²超～3.5m²以下	2.5未満								
		2.5以上	318.5×6.9(53.0)	$(5000+\frac{A}{4}+\frac{A}{2}+250)\times53.0$	(165.2×4.5)(17.8) (270+2500+B−150)×17.8×2	(114.3×4.5)(12.2) $\frac{A}{2}\times12.2\times2$	182.15	55.06		
	3.5m²超～5.0m²以下	2.0未満								
		2.0以上	355.6×7.9(67.7)	$(5000+\frac{A}{4}+\frac{A}{2}+250)\times67.7$	(190.7×5.3)(24.2) (300+2500+B−150)×24.2×2	(139.8×4.5)(15.0) $\frac{A}{2}\times15.0\times2$	219.44	56.50		
	5.0m²超～6.5m²以下	―								
	6.5m²超～7.5m²以下	2.0未満								
		2.0以上	406.4×9.5(93.0)	$(5000+\frac{A}{4}+\frac{A}{2}+300)\times93.0$	(216.3×5.8)(30.1) (340+2500+B−150)×30.1×2	(139.8×4.5)(15.0) $\frac{A}{2}\times15.0\times2$	252.53	65.62		
	7.5m²超～9.5m²以下	―								
	9.5m²超～10.5m²以下	1.5未満								

大分類	中分類	小分類	適用年度
300 安全施設工	案内標識設置工	Ｆ型柱重量表	R7.4

案内標識設置工



Ｆ型柱重量表
・Ｆ－１型使用は、A≦1.5mかつ標識板面積≦4.5m^{2}の場合
・Ｆ－２型使用は、A＞1.5m又は標識板面積＞4.5m^{2}の場合

（張出長 1.0m
植栽 有・(無)）

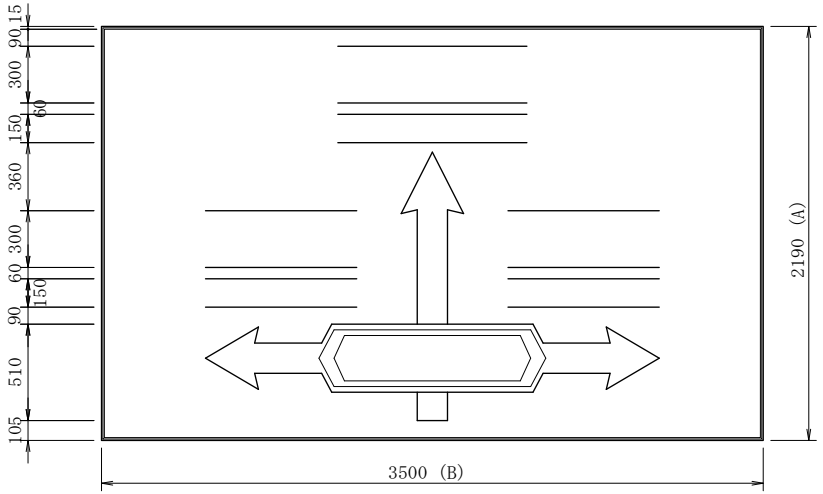
※植栽がある場合支柱寸法+300㎜とする。

区分	標識板面積 A×B	標識板縦横比 B／A	支柱寸法 φD×t（mm）	支柱重量（kg／m）	梁重量（kg／m）	梁立鋼重量（kg／m）	フランジ等重量（kg）	アンカーボルト重量（kg）	合計（kg）	摘要
Ｆ－１型	1.0m^{2}以下	―	139.8×4.5	$(5000+\frac{A}{2}+200)\times 15.0$	(101.6×3.2)(7.76) (140+1000+B−150)×7.76	―	60.55	17.32		
	1.0m^{2}超～1.5m^{2}以下	―	165.2×4.5	$(5000+\frac{A}{2}+200)\times 17.8$	(114.3×3.5)(9.56) (160+1000+B−150)×9.56	―	57.77	17.32		
	1.5m^{2}超～2.5m^{2}以下	―	190.7×5.3	$(5000+\frac{A}{2}+200)\times 24.2$	(139.8×4.5)(15.0) (190+1000+B−150)×15.0	―	75.81	18.52		
	2.5m^{2}超～3.5m^{2}以下	―	216.3×5.3	$(5000+\frac{A}{2}+250)\times 30.1$	(162.2×4.5)(17.8) (220+1000+B−150)×17.8	―	83.58	25.44		
	3.5m^{2}超～4.5m^{2}以下	―	267.4×6.6	$(5000+\frac{A}{2}+250)\times 42.4$	(190.7×5.3)(24.2) (260+1000+B−150)×24.2	―	103.78	26.64		
Ｆ－２型	3.5m^{2}以下	―	216.3×5.3	$(5000+\frac{A}{4}+\frac{A}{2}+200)\times 30.1$	(114.3×4.4)(12.2) (190+1000+B−150)×12.2×2	(76.3×3.2)(5.77) $\frac{A}{2}\times 5.77\times 2$	154.01	27.34		
	3.5m^{2}超～4.5m^{2}以下	―	267.4×6.6	$(5000+\frac{A}{4}+\frac{A}{2}+200)\times 42.4$	(139.8×4.5)(15.0) (230+1000+B−150)×15.0×2	(101.6×4.2)(10.1) $\frac{A}{2}\times 10.1\times 2$	156.01	37.72		
	4.5m^{2}超～5.5m^{2}以下	2.0未満								
		2.0以上	318.5×6.9	$(5000+\frac{A}{4}+\frac{A}{2}+250)\times 53.0$	(165.2×4.5)(17.8) (270+1000+B−150)×17.8×2	(114.3×4.5)(12.2) $\frac{A}{2}\times 12.2\times 2$	182.15	55.06		
	5.5m^{2}超～7.0m^{2}以下	―								
	7.0m^{2}超～8.0m^{2}以下	1.5未満								
		1.5以上	355.6×7.9	$(5000+\frac{A}{4}+\frac{A}{2}+250)\times 67.7$	(190.7×5.3)(24.2) (300+1000+B−150)×24.2×2	(139.8×4.5)(15.0) $\frac{A}{2}\times 15.0\times 2$	219.44	56.50		
	8.0m^{2}超～9.5m^{2}以下	―								
	9.5m^{2}超～14.0m^{2}以下	―	406.4×9.5	$(5000+\frac{A}{4}+\frac{A}{2}+300)\times 93.0$	(216.3×5.8)(30.1) (340+1000+B−150)×30.1×2	(139.8×4.5)(15.0) $\frac{A}{2}\times 15.0\times 2$	252.53	65.62		

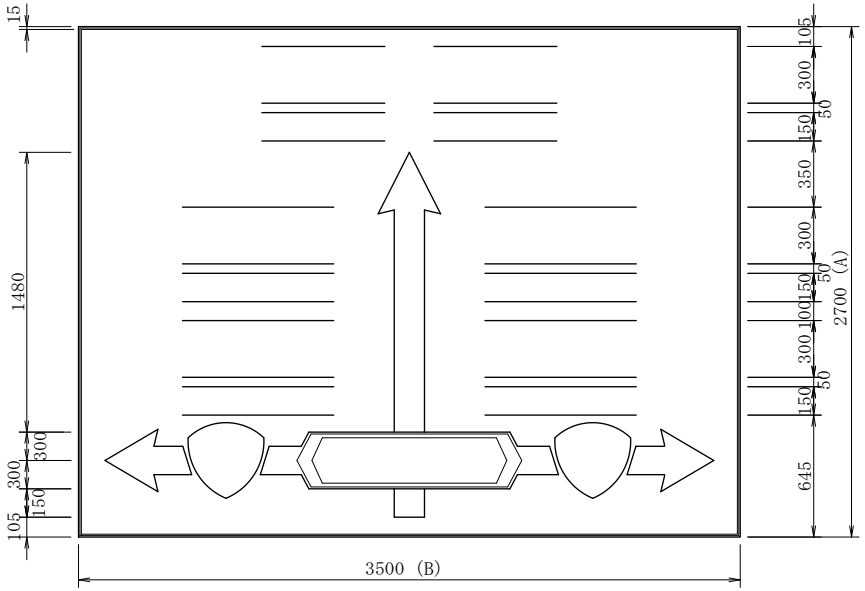
大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
300 安全施設工	案内標識設置工	標 示 板 レイアウト図	R7.4

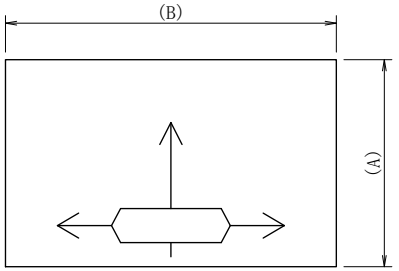
案 内 標 識 設 置 工

標示板レイアウト図（右左折地名　1段標示の場合）



標示板レイアウト図（右左折地名　2段標示の場合）





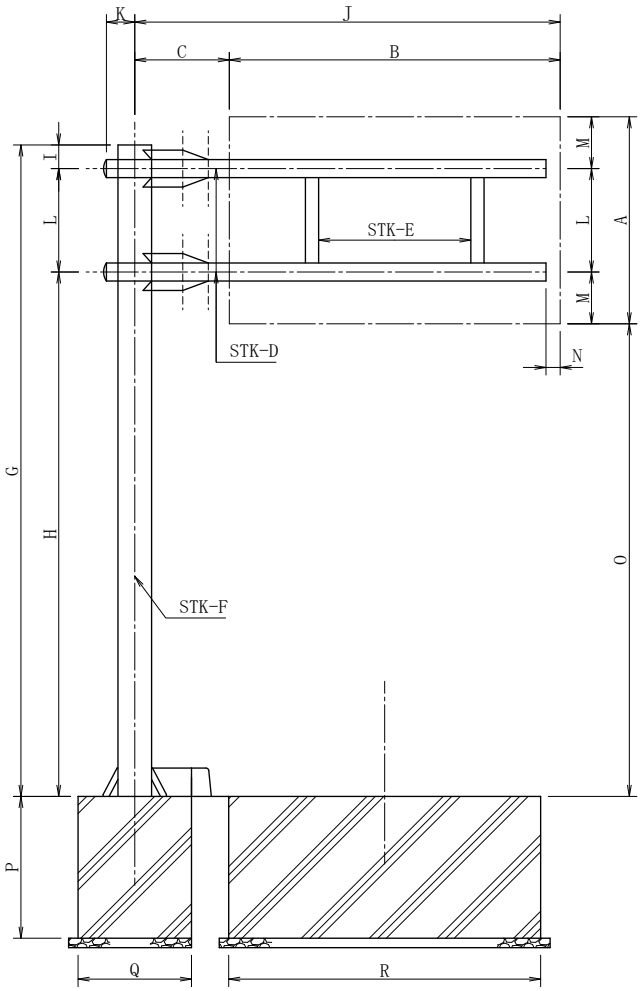
交差点案内標識（108の4）の基本寸法

標示板の寸法は、
a. 横寸法　3500㎜
b. 縦寸法
　ア. 右左折地名　一段標示の場合　2190㎜
　イ. 右左折地名　二段標示の場合　2700㎜
と文字数によらず、原則的にこの寸法とする。
尚、文字高は300㎜を標準とする。

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
300 安全施設工	案内標識設置工	Ｆ－２型 寸法，材料表	R7.4

案 内 標 識 設 置 工

（片 持 式）



(1) Ｆ－２型　2190㎜×3500㎜［標示板サイズ］

寸法・材料表　　(7.67m²)

標識板	A	2190
	B	3500
張出りし	C	1000
		2500
部材	D	φ190.7×5.3
		φ216.3×5.8
	E	φ139.8×4.5
		φ139.8×4.5
	F	φ355.6×7.9
		φ406.4×9.5
柱	G	6892 (7192)
	H	5548 (5848)
	I	250
		300
梁	J	4500
	K	300
	L	1094
	M	548
	N	150
設置高さ	O	5000
基礎	P	1500
	Q	1200
	R	3300

(2) Ｆ－２型　2700㎜×3500㎜［標示板サイズ］

寸法・材料表　　(9.45m²)

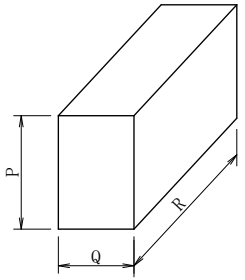
標識板	A	2700
	B	3500
張出りし	C	1000
		2500
部材	D	φ190.7×5.3
		φ216.3×5.8
	E	φ139.8×4.5
		φ139.8×4.5
	F	φ355.6×7.9
		φ406.4×9.5
柱	G	7325 (7625)
	H	5675 (5975)
	I	300
梁	J	4500
	K	300
	L	1350
	M	675
	N	150
設置高さ	O	5000
基礎	P	1500
	Q	1200
		1400
	R	3300
		4000

注意事項

1. 植栽のある場合は(　)内寸法とする。
2. 部材法の上段は張出長1.0m
　〃　　下段は張出長2.5m
3. 基礎の上段は張出長1.0m
　〃　下段は張出長2.5m
4. 柱（Ｉ）の上段は張出長1.0m
　〃　　下段は張出長2.5m
5. フランジ、ベースプレート、アンカーボルト、取付については、道路案内標識Ｆ型構造図集による。

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
300 安全施設工	案内標識設置工	Ｆ－２型寸法表	R7.4

案 内 標 識 設 置 工

標識板面積　A × B	B／A	支 柱 寸 法	梁 寸 法	基礎寸法　Q × R × P	備　　考
3.5m^{2}以下	──	267.4×6.6	139.8×4.5	1000×2000×1500	
3.5m^{2}超～4.5m^{2}以下	──	267.4×6.6	139.8×4.5	1000×2600×1500	
4.5m^{2}超～5.5m^{2}以下	2.0未満	318.5×6.9	165.2×4.5		
	2.0以上	318.5×6.9	165.2×4.5	1200×2700×1500	
5.5m^{2}超～7.0m^{2}以下	──	355.6×7.9	190.7×5.3		
7.0m^{2}超～8.0m^{2}以下	1.5未満	355.6×7.9	190.7×5.3	1200×3300×1500	
	1.5以上	355.6×7.9	190.7×5.3		
8.0m^{2}超～9.5m^{2}以下	──	355.6×7.9	190.7×5.3		
9.5m^{2}超～12.7m^{2}以下 (特)	──	406.4×12.7	267.4×9.3	1400×4000×1500	

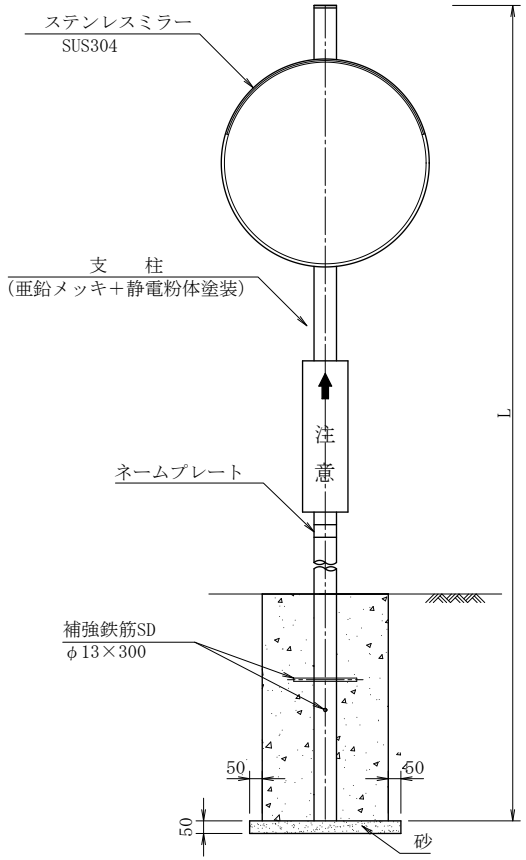
注意事項

1．表は地下埋設物のある場合に適用。
2．地下埋設物のない場合は標準基礎を適用する。

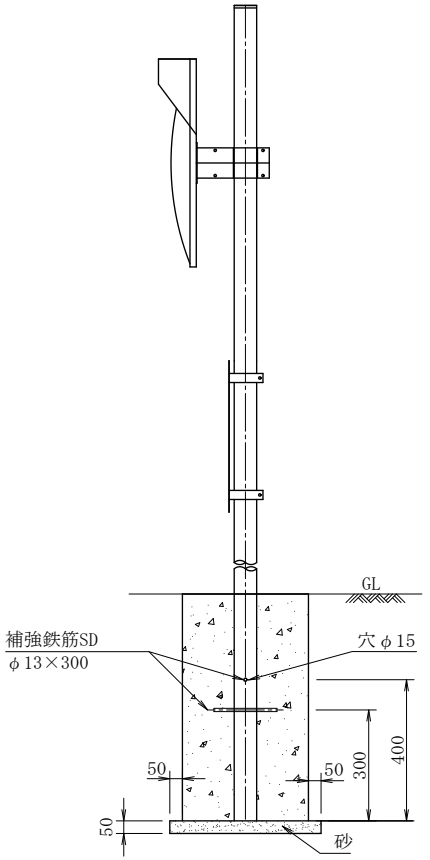
大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
300 安全施設工	道路反射鏡設置工	丸　型	R7.4

道 路 反 射 鏡 設 置 工

正　面　図



側　面　図



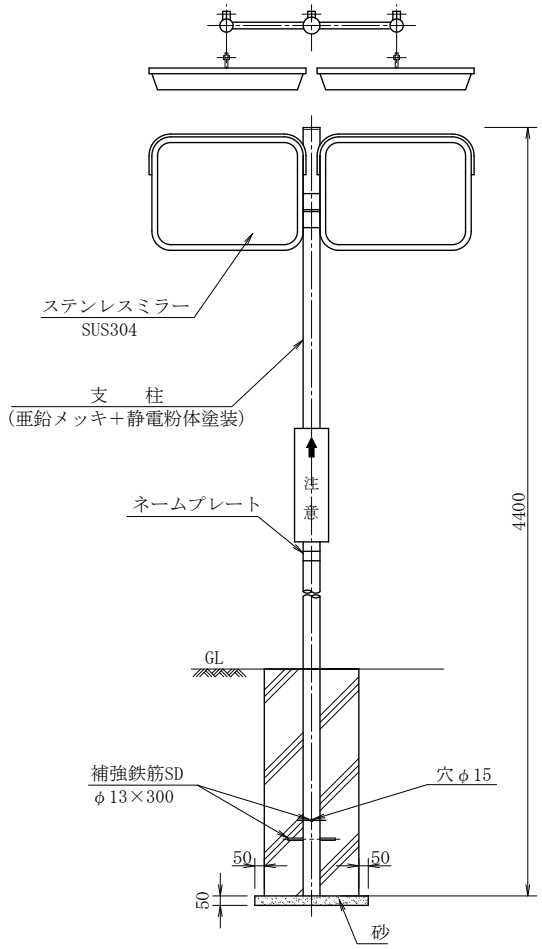
道 路 反 射 鏡 設 置 工 材 料 表

名　称	材　料　表					10本当り
	反射鏡の種類	支　柱　(本)		コンクリート	型　枠	砂
		φ76.3×4000	φ89.1×4400	18-8-40 (m^3)	(m^2)	(m^3)
道路反射鏡設置工	φ600片面	10	──	1.5	12	0.180
〃	φ800片面	10	──	2.25	18	0.180
〃	φ1000片面	──	10	3.0	24	0.180

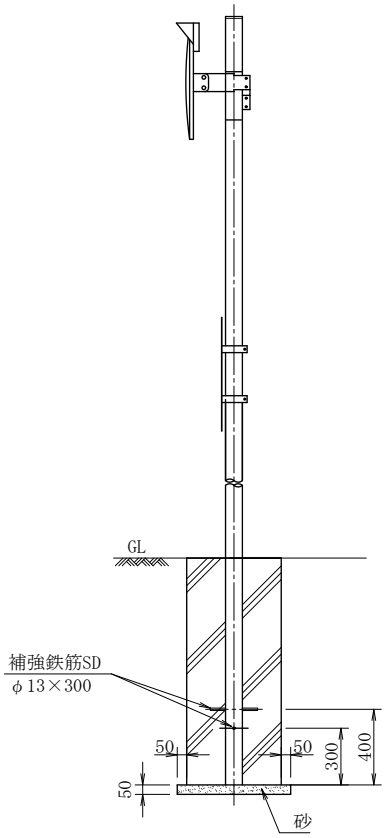
大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
300 安全施設工	道路反射鏡設置工	角　型	R7.4

道 路 反 射 鏡 設 置 工

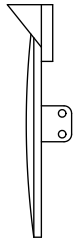
正　面　図



側　面　図



鏡 面 断 面 図



道 路 反 射 鏡 設 置 工 材 料 表

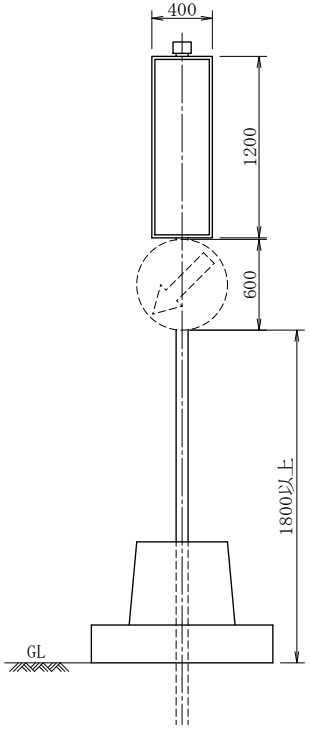
名　称	材　料　表　10本当り				
	反射鏡の種類	支　柱（本）	コンクリート	型　枠	砂
		φ89.1×4400	18-8-40 (m^3)	(m^2)	(m^3)
道路反射鏡設置工	600×800角2面	10	3.0	24	0.180

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
300 安全施設工	道路標識設置工	案内，警戒 規制標識	R7.4

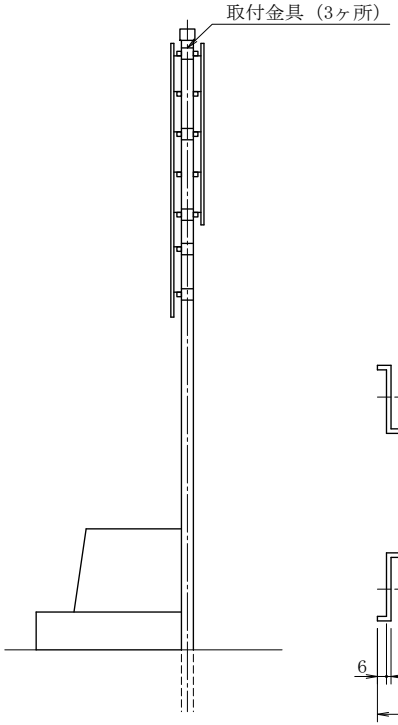
道 路 標 識 設 置 工

案 内 標 識 設 置 工
（114の2-B中央帯設置）

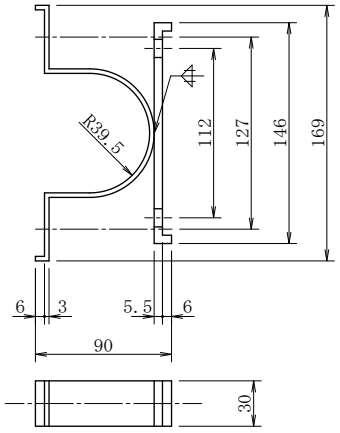
正　面　図



側　面　図

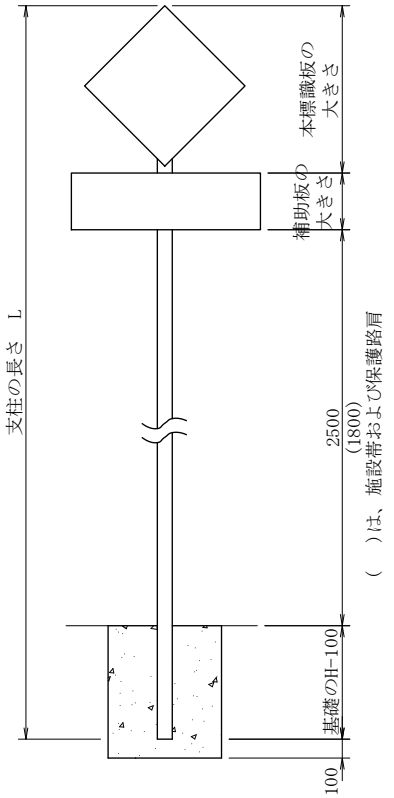


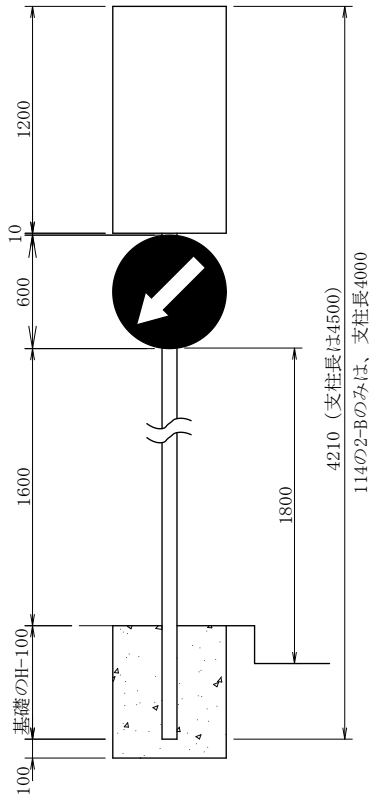
取付金具



警戒・規制標識設置工

（歩道・路肩設置）　　（中央帯設置）





注意事項

1. 基板耐食アルミ板2㎜。
2. 反射シート全面カプセルレンズ型

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
300 安全施設工	安全施設基礎工	安全施設基礎工	R7.4

安 全 施 設 基 礎 工

標識基礎分類表	
基礎工（A）	500×500×600
基礎工（B）	500×500×900
基礎工（C）	500×500×1200
基礎工（D）	300×300×400
基礎工（E）	400×400×500

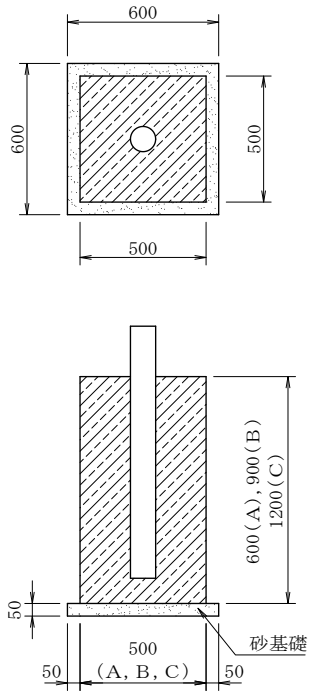
単柱標識	中央分離帯 交差点名標識	交差道路標識 1段式	交差道路標識 2段式（クロス式）	通称名標識
標識番号 ＼ 板の拡大率	114の2-B	118-B，118-C， 118の2-B，118の2-C		119-A，B，C
1.0倍体	基礎工（A）	基礎工（A）	基礎工（A）	基礎工（A）
1.5倍体	―	―	―	基礎工（B）
2.0倍体	―	―	―	大型標識に共架する場合あり

単柱標識	案内（ルート番号） 標識	警戒標識		
標識番号	118-A	201 ～ 215		
板の拡大率	118の2-A	主板×1 （補助板含む）	主板×2 （補助板含む）	主板×1 補助板×2
1.0倍体	基礎工（A）	基礎工（A）	基礎工（A）	基礎工（A）
1.3倍体	基礎工（B）	基礎工（A）	基礎工（B）	基礎工（A）
1.6倍体	基礎工（B）	基礎工（B）	基礎工（C）	基礎工（B）

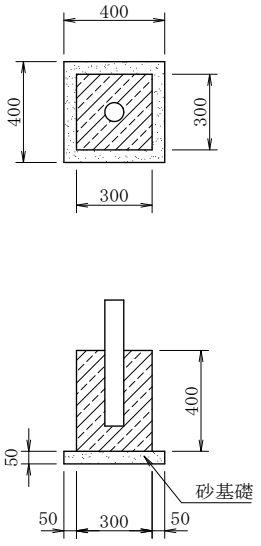
単柱標識	規制標識＋案内標識	規制標識
標識番号	311-F＋114の2-B	311-F
板の拡大率	交差点名標識＋ 指定方向外進行禁止	指定方向外進行禁止
1.0倍体	基礎工（B）	基礎工（A）
2／3倍体	基礎工（A）	基礎工（A）
1／2倍体	基礎工（A）	基礎工（E）

道路反射鏡	
φ600片面	基礎工（A）
φ800片面	基礎工（B）
φ1000片面	基礎工（C）
□600×800両面	基礎工（C）

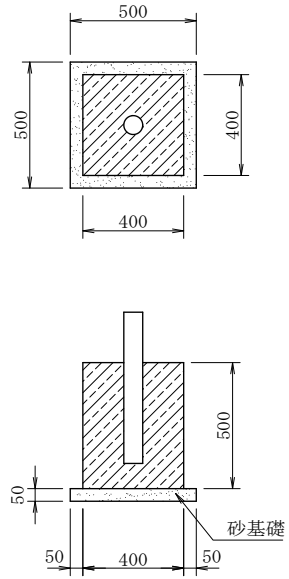
基礎工図（A，B，C）



基礎工図（D）



基礎工図（E）



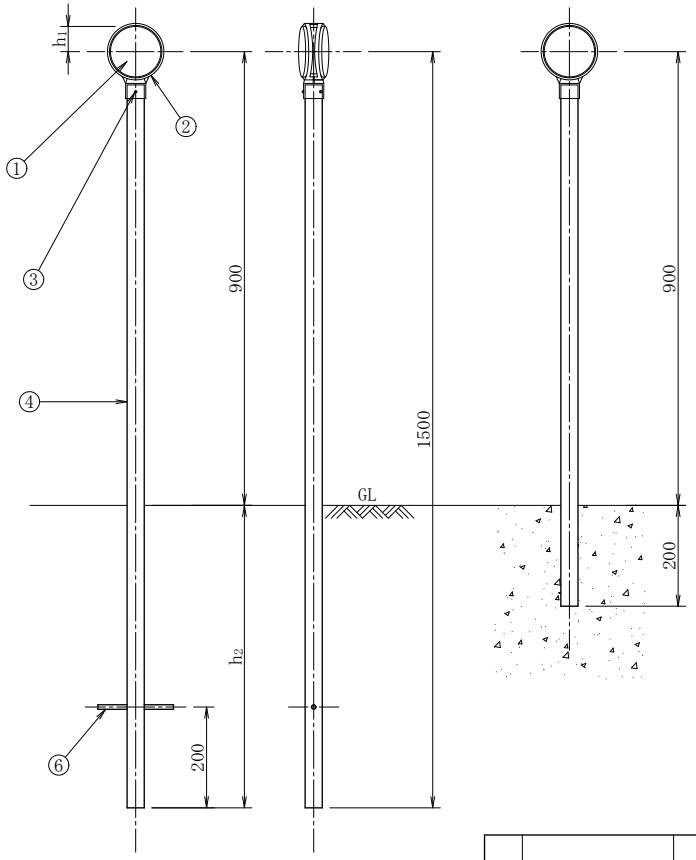
注意事項

1．地下埋設物等により、標準基礎によりがたいときは別途考慮すること。
2．道路標識板を設置する際に、同じ高さで両面式とする場合は自重を考慮せず片面として基礎サイズを決定すること。
3．道路反射鏡には基礎コンクリートブロックを使用しない。
4．基礎コンクリートブロックを使用する場合は、砂基礎を施工すること。
5．コンクリート強度は「18-8-40」以上のものを使用すること。
6．基礎ブロックを未舗装箇所へ設置する場合は、別途考慮すること。

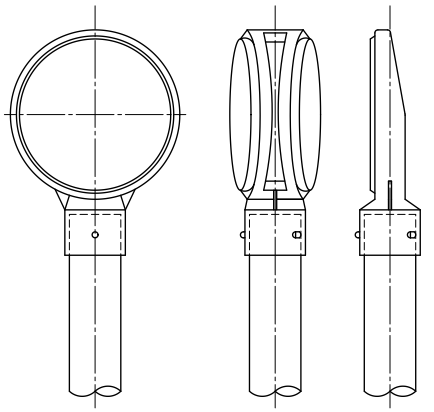
大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
300 安全施設工	視線誘導標設置工	視線誘導標設置工 （ 1／2 ）	R7.4

視 線 誘 導 標 設 置 工

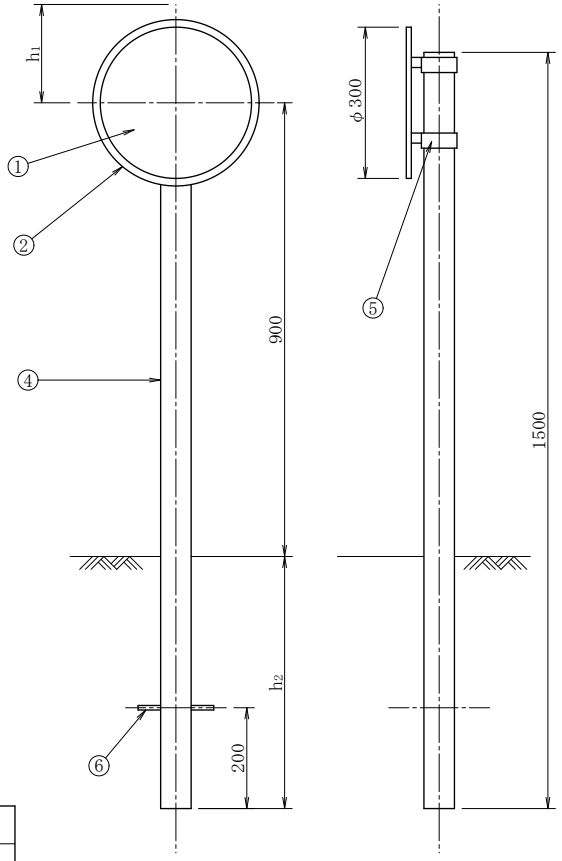
土 中 用　　構 造 物 用



頭 部 詳 細 図



土 中 用　（大　型）



視線誘導標設置工寸法表

名　称	寸法表　単位（mm）		摘　要
	h1	h2	
φ300	150	500	
φ100	50	600	

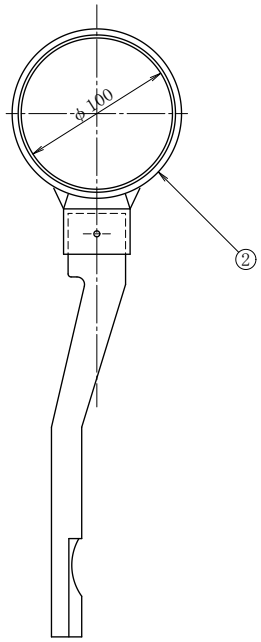
部　材　表

No.	品　名	仕　様	規　格
		大　型	φ100　土中・構造物
①	レ　ン　ズ	φ300 アクリルダイアモンドカット	φ100 アクリルダイアモンドカット
②	頭　　部	アルミ枠+スライドチャンネル	アルミ合金ダイキャスト
③	ビ　　ス	―――	ステンレス製
④	ポ　ー　ル	φ60.5×2.3t 亜鉛メッキ鋼管柱	φ34×2.3t 亜鉛メッキ鋼管柱
⑤	ボルト・ナット	φ60.5用Uバンド（メッキ）	―――
⑥	根　止　め	φ9×150L　丸鋼	φ9×150L　丸鋼

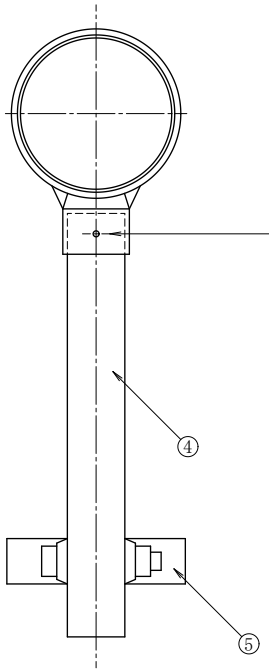
大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
300 安全施設工	視線誘導標設置工	視線誘導標設置工 （ 2／2 ）	R7.4

視 線 誘 導 標 設 置 工

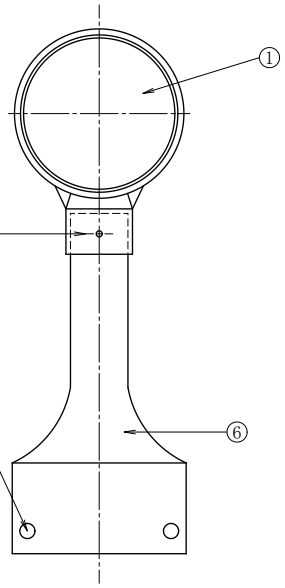
ボルト式（鋼製）



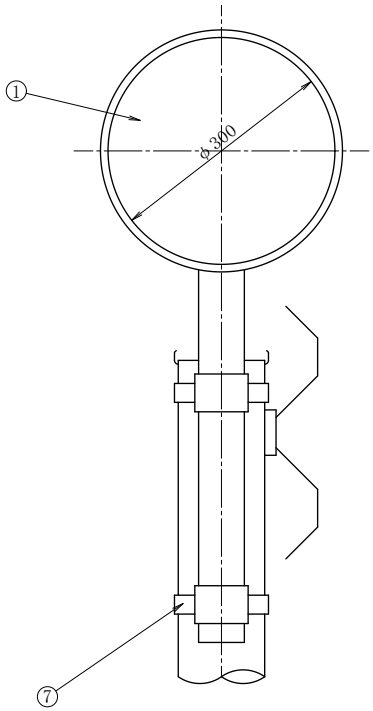
バ　ン　ド　式



か　ぶ　せ　式



大 型 バ ン ド 式



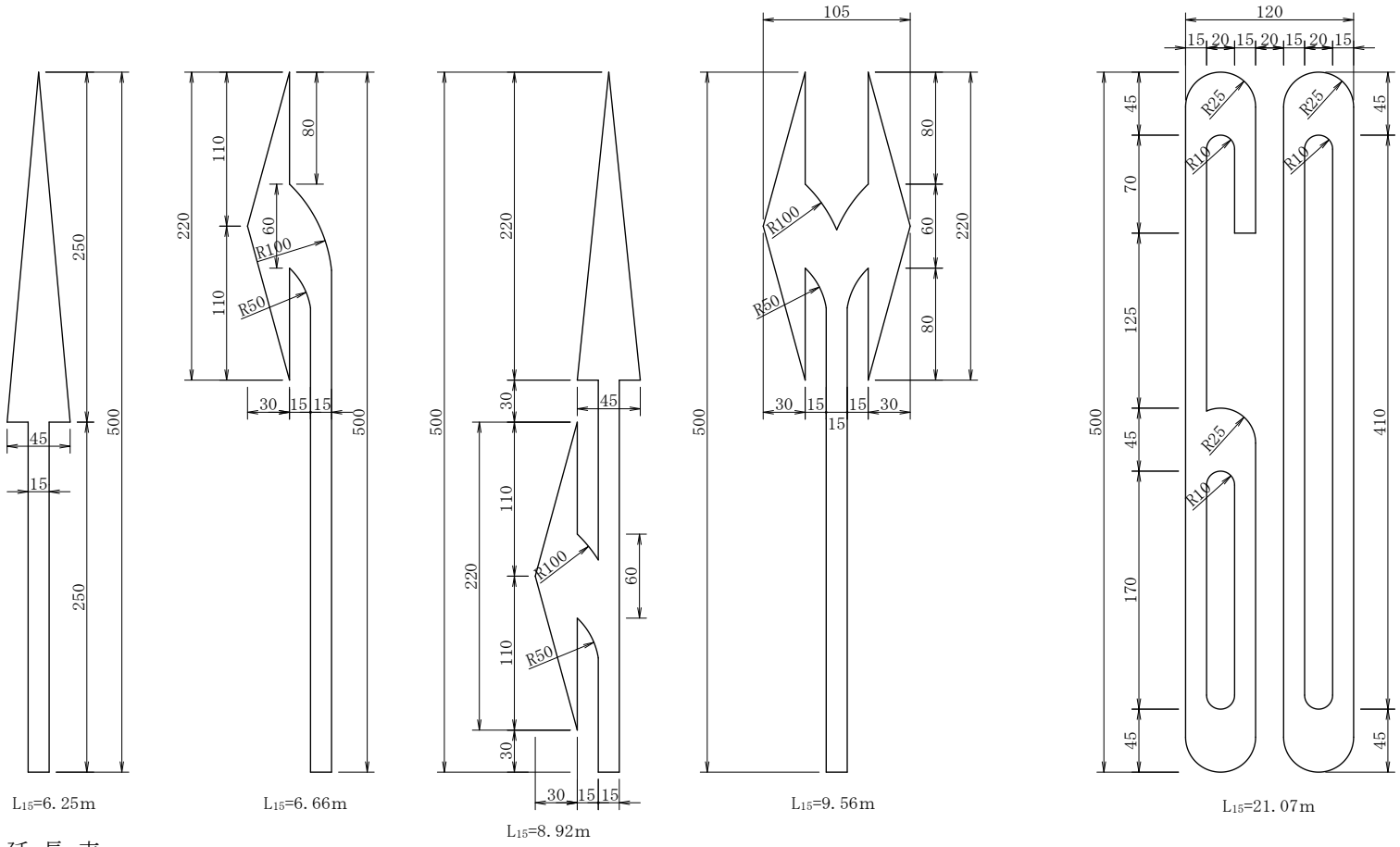
部　材　表

No.	品　名	仕 様 ・ 規 格
①	レ　ン　ズ	φ100, φ300 アクリルダイアモンドカット
②	頭　　部	アルミ合金ダイキャスト
③	ビ　　ス	ステンレス製
④	ポ　ー　ル	φ38亜鉛メッキ鋼管柱
⑤	取付バンド	Uバンド（鋼製） φ114.3用
⑥	キャップ台	アルミ合金鋳物
⑥	共架金具	アルミ　φ60.5+φ114.3用

大分類	中分類	小分類	適用年度
300 安全施設工	区画線設置工	文字記号	R7.4

区画線設置工

（寸法：cm）



L_{15}=6.25m　L_{15}=6.66m　L_{15}=8.92m　L_{15}=9.56m　L_{15}=21.07m

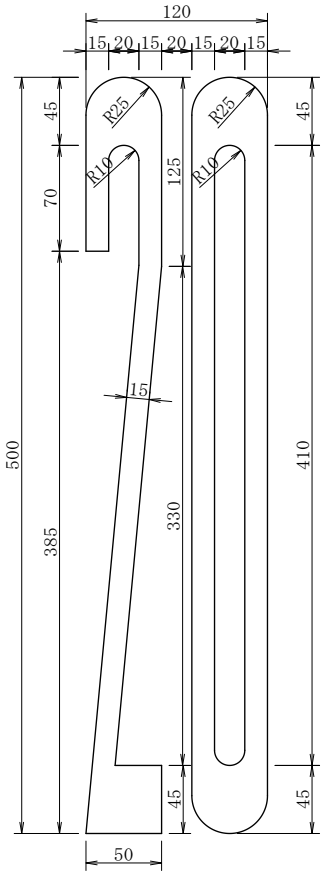
換算延長表

項目	換算延長 単位（m） L	摘要
↑	L_{15} = 6.25m	
↰	L_{15} = 6.66m	
↑↰	L_{15} = 8.92m	
↰↱	L_{15} = 9.56m	
60	L_{15} =21.07m	

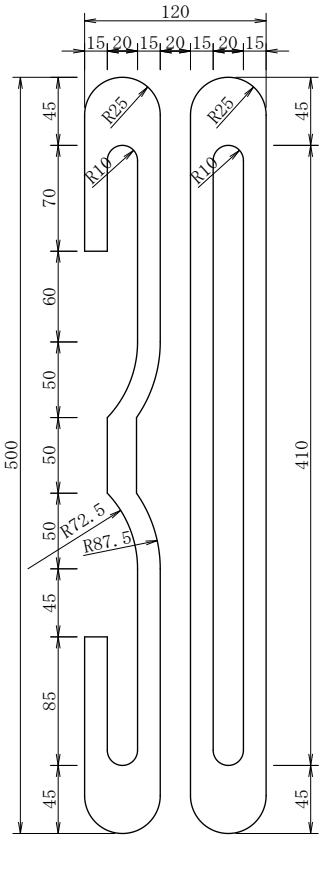
大分類	中分類	小分類	適用年度
300 安全施設工	区画線設置工	文字記号	R7.4

区画線設置工

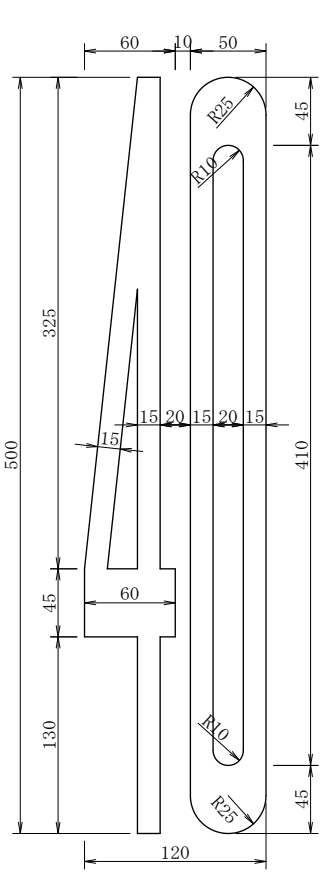
（寸法：cm）



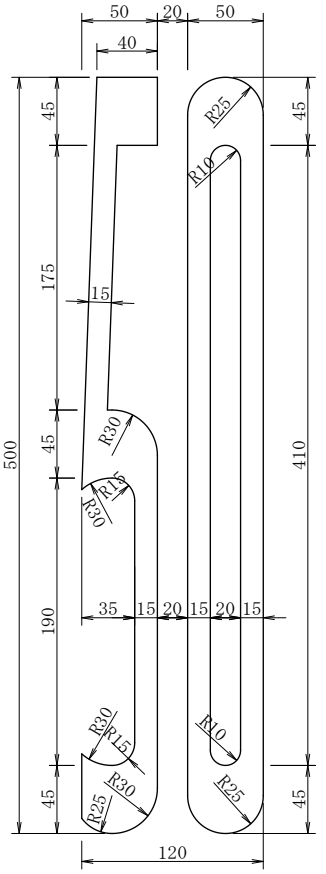
L_{15}=18.49m



L_{15}=19.33m



L_{15}=19.80m



L_{15}=18.56m

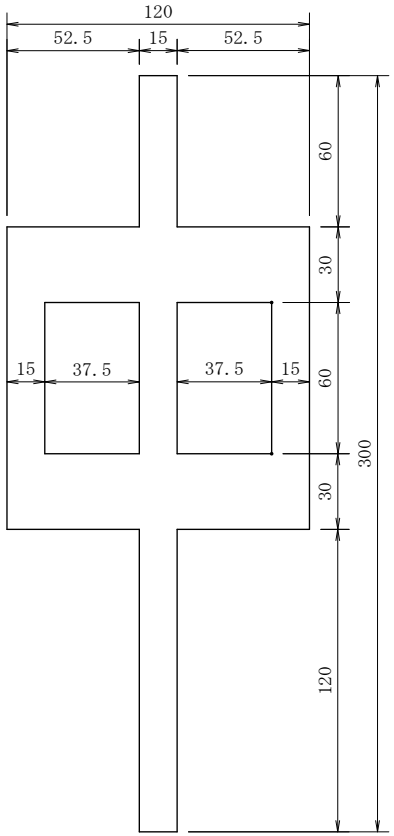
換算延長表

項目	換算延長 単位（m） L	摘要
20	L_{15} =18.49m	
30	L_{15} =19.33m	
40	L_{15} =19.80m	
50	L_{15} =18.56m	

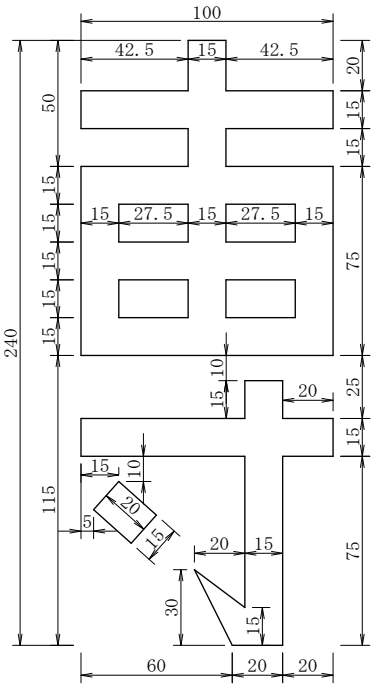
大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
300 安全施設工	区画線設置工	文 字 記 号	R7.4

区 画 線 設 置 工

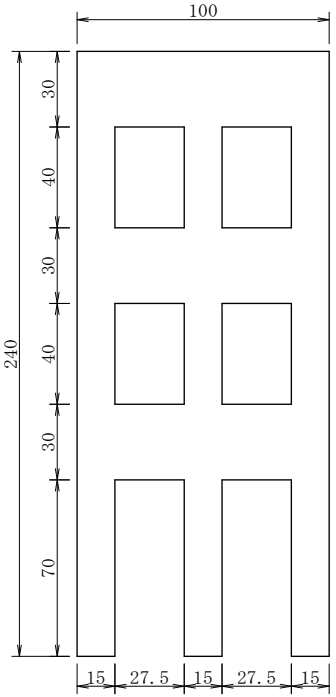
（寸法：cm）



L_{15}=8.40m



L_{15}=7.51m



L_{15}=10.50m

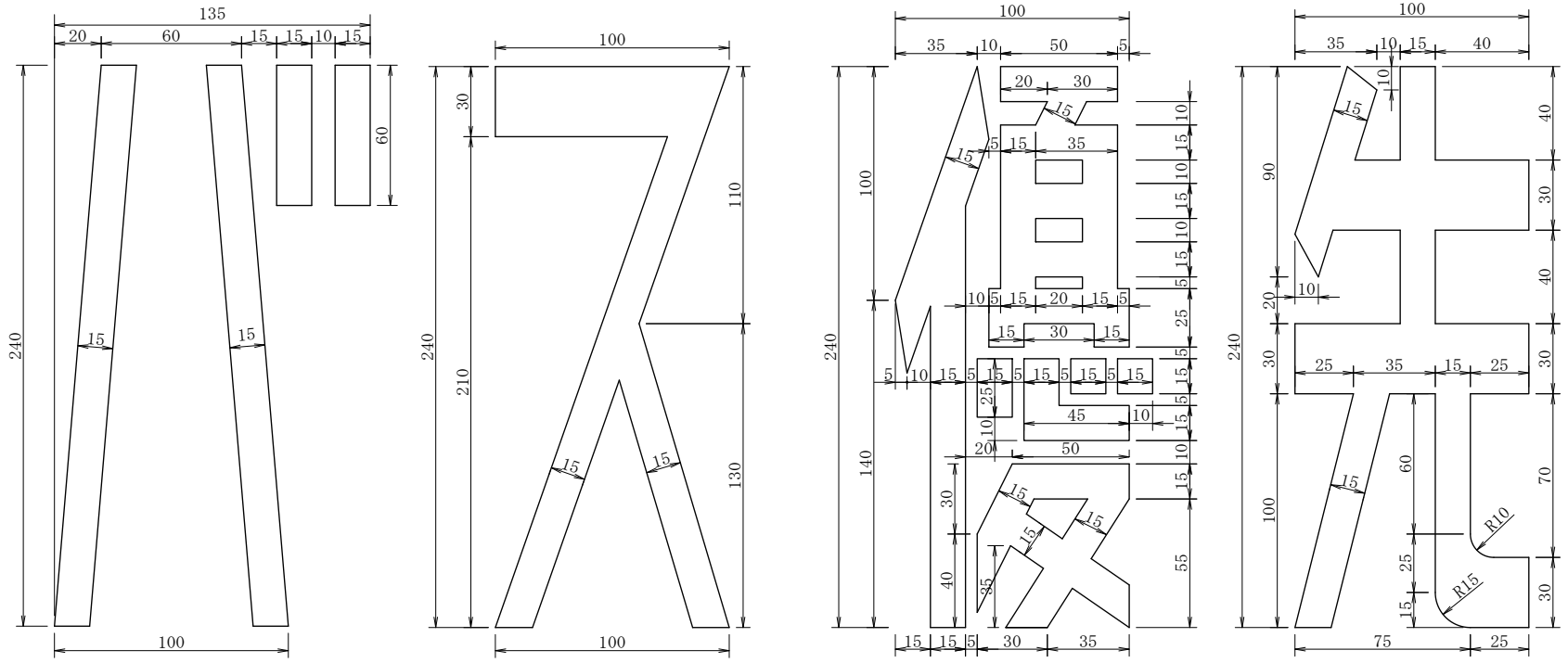
換 算 延 長 表

項　　目	換 算 延 長　　単位（m） L	摘　要
中	L_{15} = 8.40m	
専	L_{15} = 7.51m	
用	L_{15} =10.50m	

大分類	中分類	小分類	適用年度
300 安全施設工	区画線設置工	文字記号	R7.4

区画線設置工

（寸法：cm）



L_{15}=6.01m　　L_{15}=5.34m　　L_{15}=9.22m　　L_{15}=7.68m

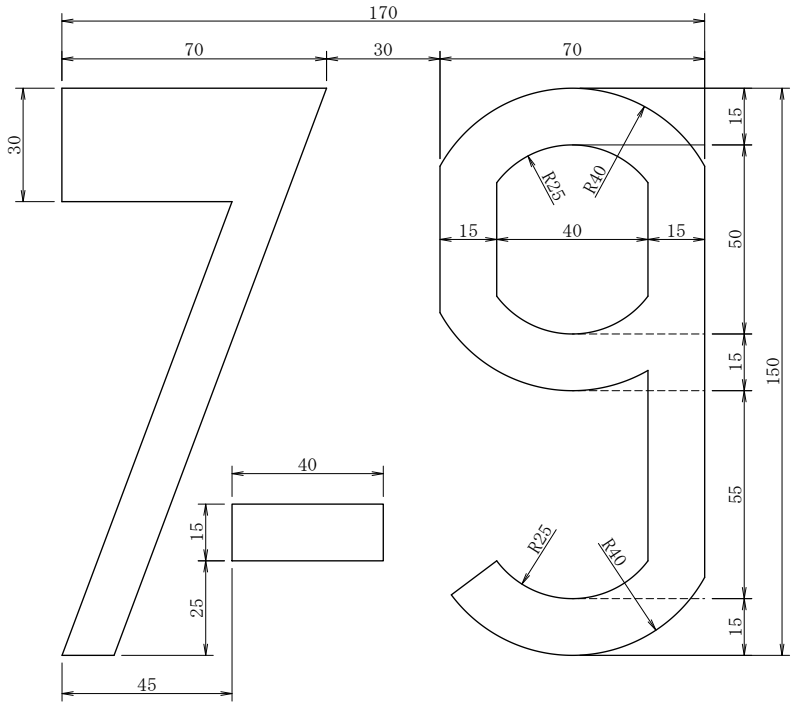
換算延長表

項目	換算延長　単位（m） L	摘要
バ	L_{15} = 6.01m	
ス	L_{15} = 5.34m	
優	L_{15} = 9.22m	
先	L_{15} = 7.68m	

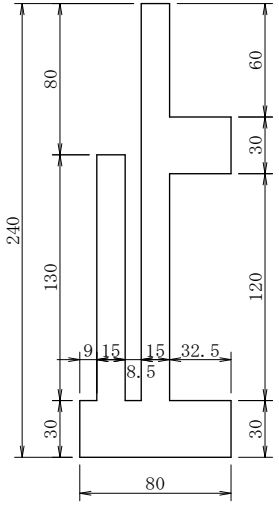
大分類	中分類	小分類	適用年度
300 安全施設工	区画線設置工	文字記号	R7.4

区画線設置工

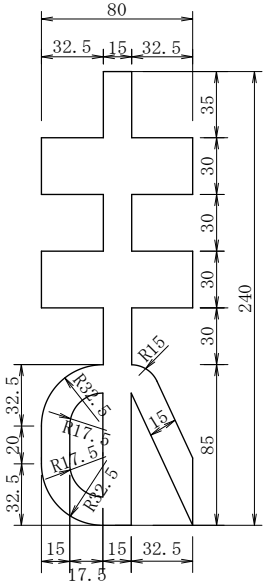
（寸法：cm）



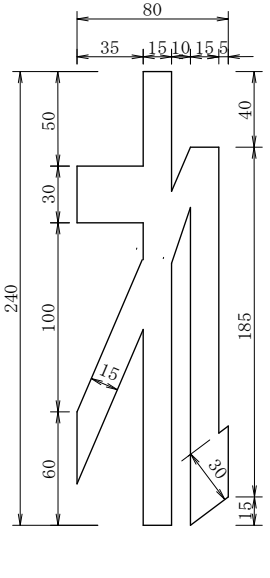
L_{15}=6.22m



L_{15}=5.65m



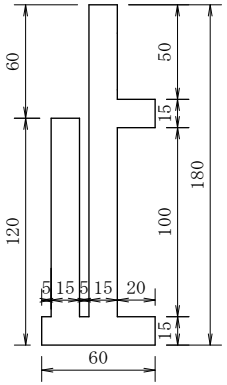
L_{15}=6.68m



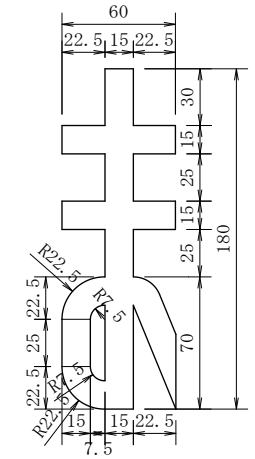
L_{15}=6.31m

換算延長表

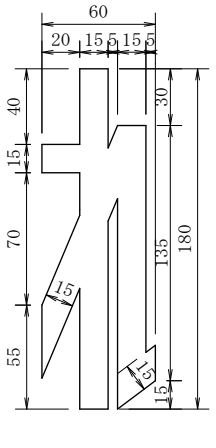
項目	換算延長 単位（m） L	摘要
7 - 9	L_{15} = 6.22m	
止	L_{15} = 5.65m	
ま	L_{15} = 6.68m	
れ	L_{15} = 6.31m	
止	L_{15} = 3.50m	車道幅員5.0m未満の道路
ま	L_{15} = 3.92m	車道幅員5.0m未満の道路
れ	L_{15} = 4.15m	車道幅員5.0m未満の道路



L_{15}=3.50m



L_{15}=3.92m



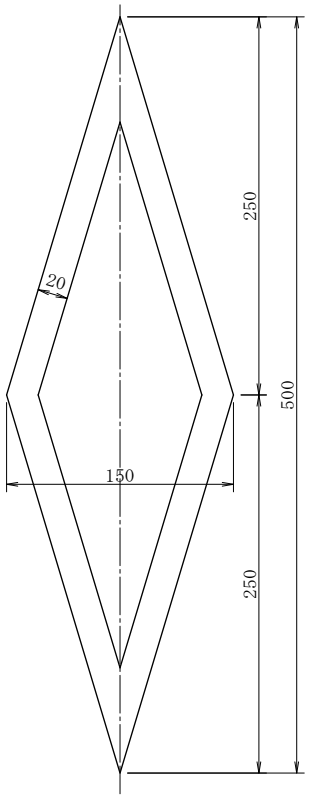
L_{15}=4.15m

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
300 安全施設工	区画線設置工	文 字 記 号	R7.4

区 画 線 設 置 工

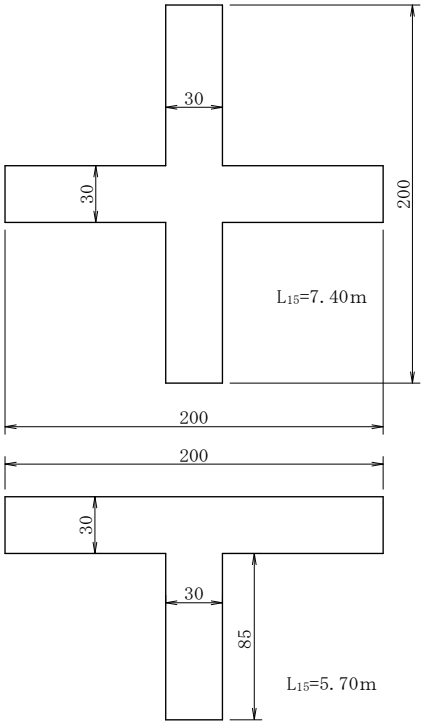
（寸法：cm）

横断歩道あり



L_{15}=11.98m

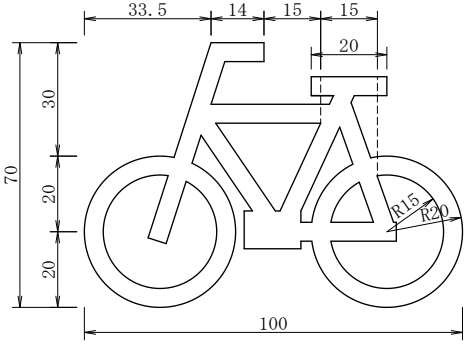
交差点指示



L_{15}=7.40m

L_{15}=5.70m

自転車マーク



L_{15}=1.54m

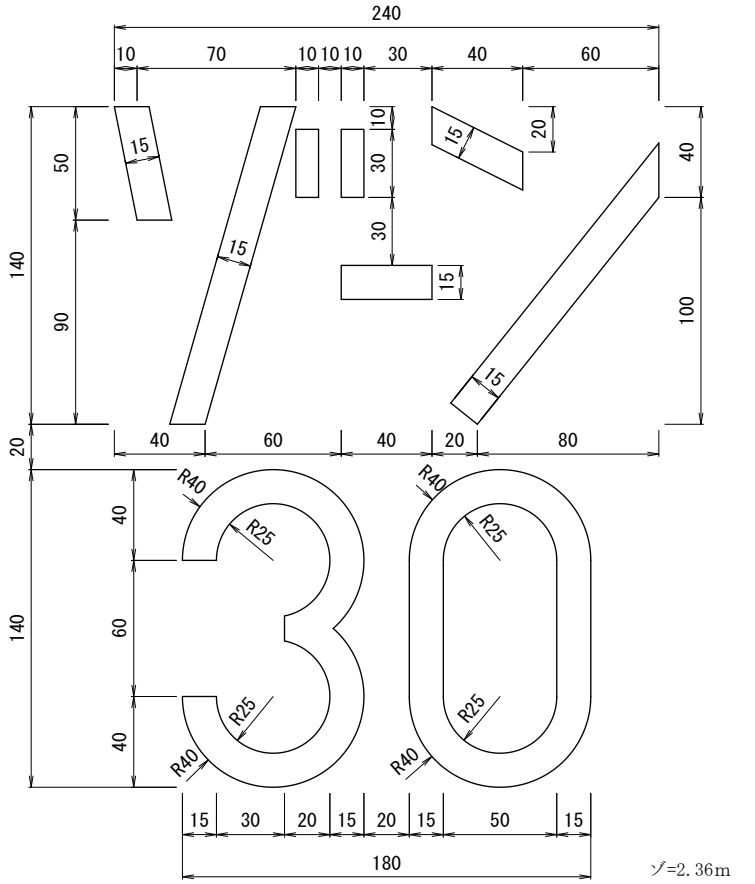
換 算 延 長 表

項　目	換算延長　単位（m） L	摘　要
┼	L_{15} = 7.40m	
◊	L_{15} =11.98m	
🚲	L_{15} = 1.54m	
┬	L_{15} = 5.70m	

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
300 安全施設工	区画線設置工	文 字 記 号	R7.4

区 画 線 設 置 工

（寸法：cm）



ゾ=2.36m
ー=0.40m
ン=1.82m
３=2.78m
０=3.24m
L_{15}=10.60m

換 算 延 長 表

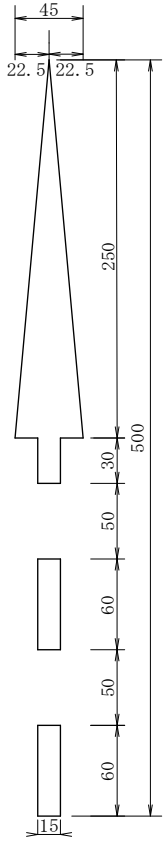
項　　目	換 算 延 長　　単位（m） L	摘　要
ゾーン３０	L_{15} =10.60m	

大分類	中分類	小分類	適用年度
300 安全施設工	区画線設置工	文字記号	R7.4

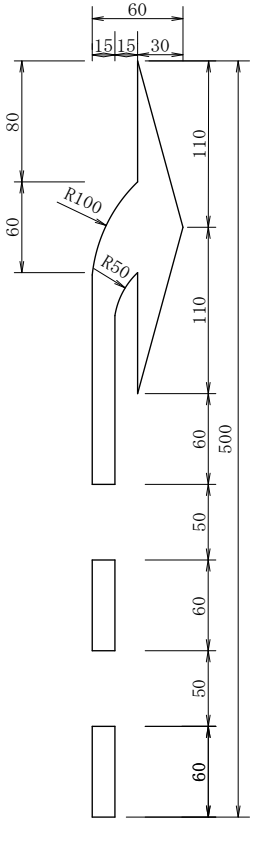
区画線設置工

（寸法：cm）

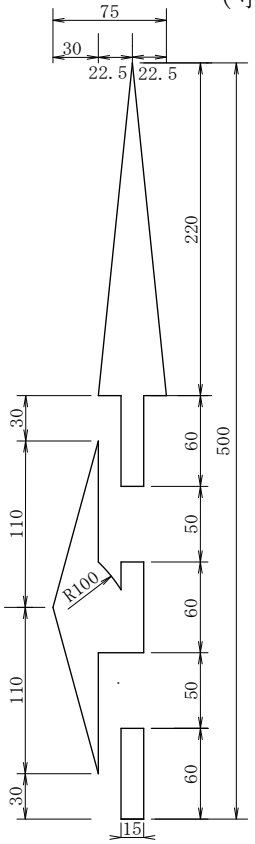
転回禁止



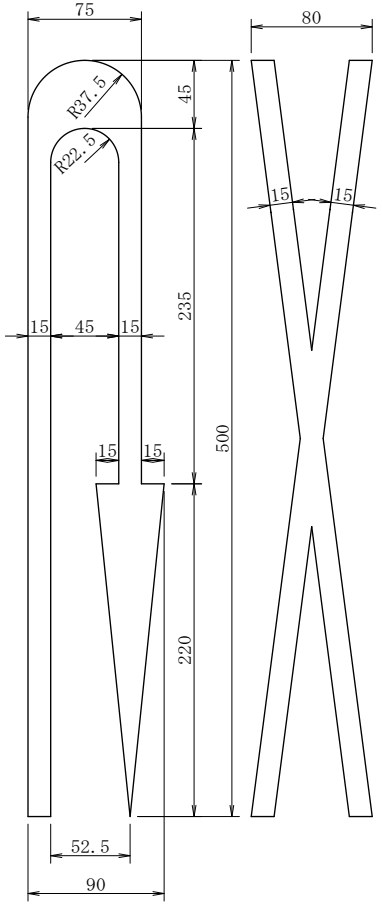
L_{15}=5.25m



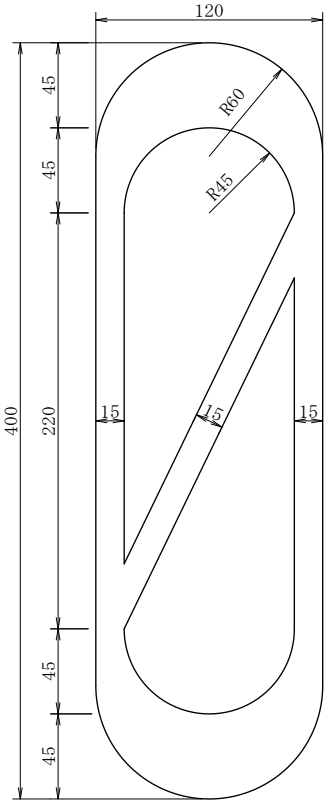
L_{15}=5.66m



L_{15}=7.81m



L_{15}=21.68m （ =12.19m, =9.49m ）



L_{15}=14.56m

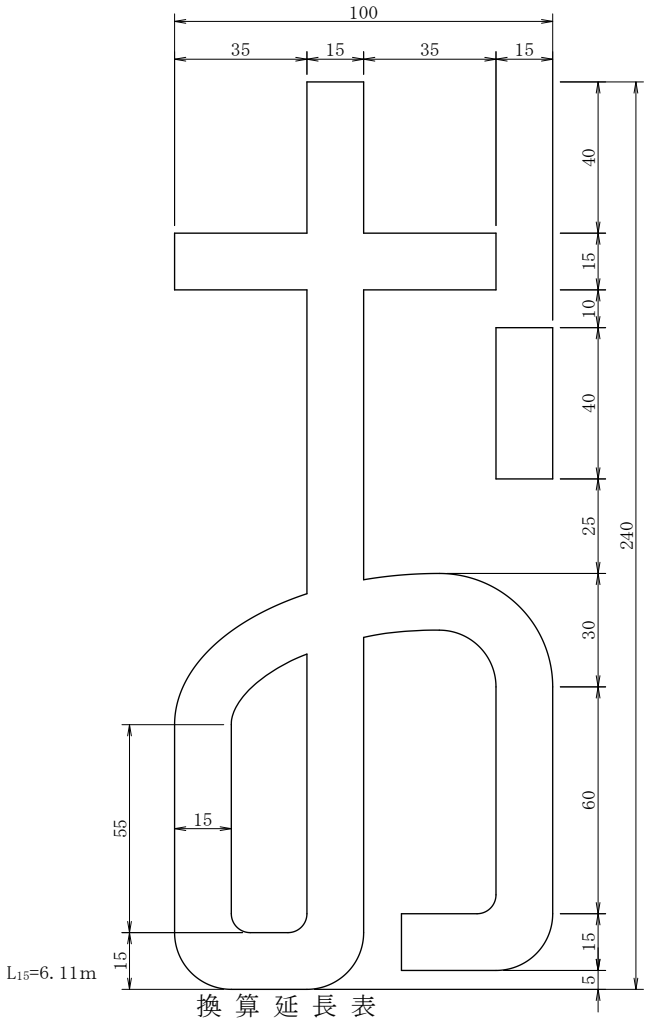
換算延長表

項目	換算延長 単位（m） L	摘要
	L_{15} = 5.25m	
	L_{15} = 5.66m	
	L_{15} = 7.81m	
	L_{15} =21.68m	
	L_{15} =14.56m	

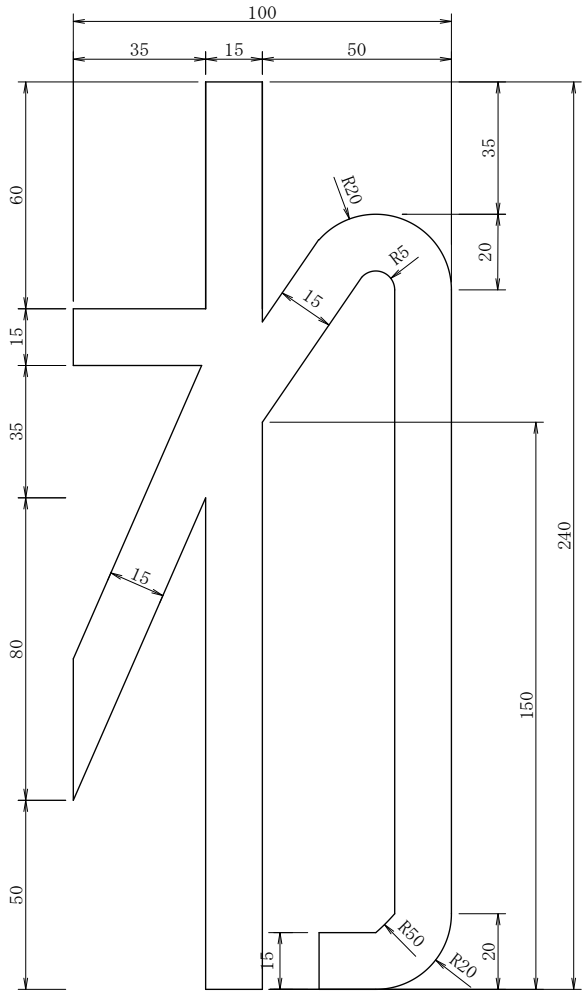
大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
300 安全施設工	区画線設置工	文 字 記 号	R7.4

区 画 線 設 置 工

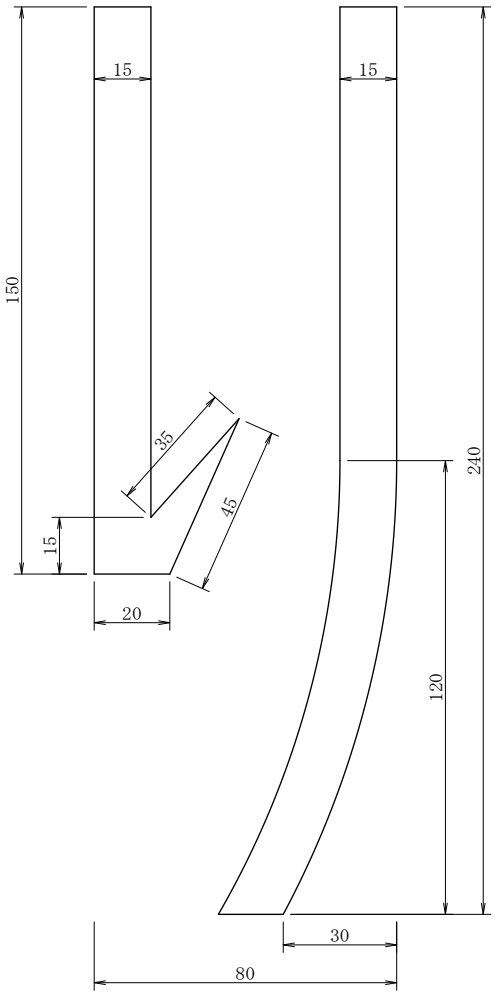
（寸法：cm）



L_{15}=6.11m



L_{15}=6.28m



L_{15}=4.13m

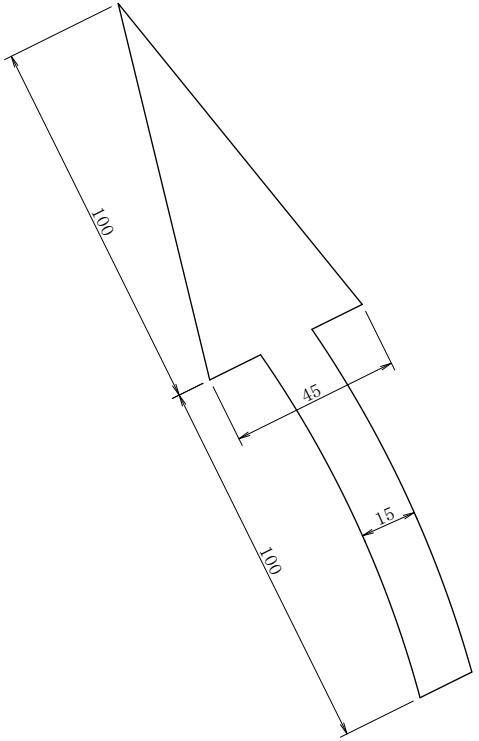
換 算 延 長 表

項　　目	換 算 延 長　　単位（m） L	摘　要
お	L_{15} = 6.11m	
わ	L_{15} = 6.28m	
り	L_{15} = 4.13m	

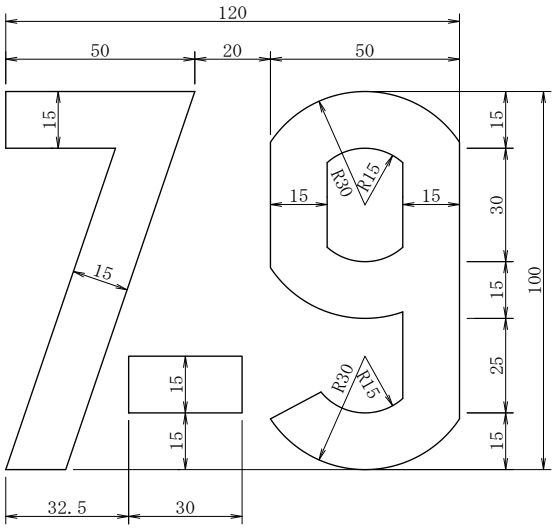
大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
300 安全施設工	区画線設置工	文 字 記 号	R7.4

区 画 線 設 置 工

（寸法：cm）



L_{15}=2.50m



L_{15}=3.76m

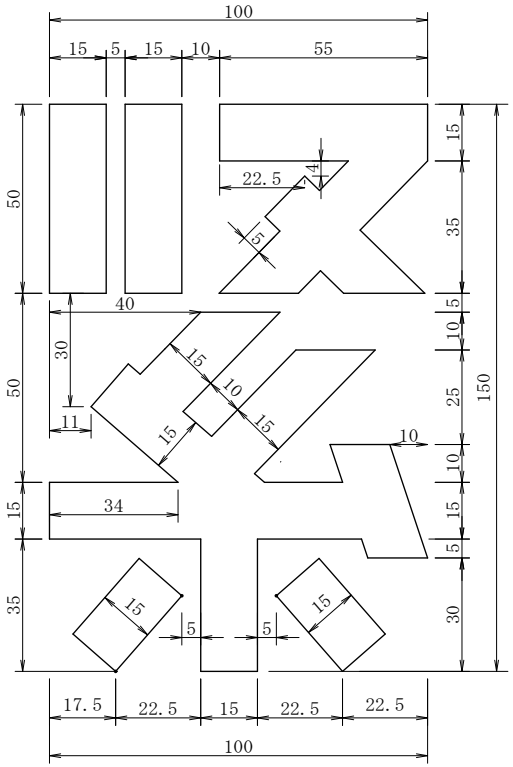
換 算 延 長 表

項　　目	換 算 延 長　　単位（m） L	摘　要
↖	L_{15} = 2.50m	
7 － 9	L_{15} = 3.76m	

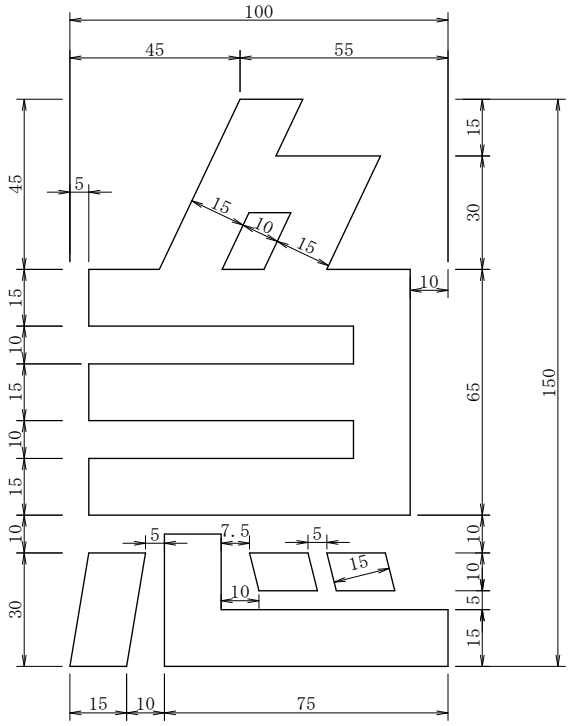
大分類	中分類	小分類	適用年度
300 安全施設工	区画線設置工	文字記号	R7.4

区画線設置工

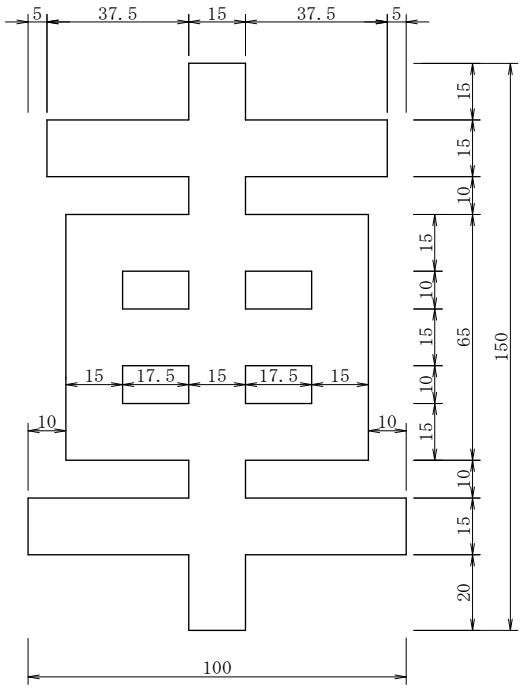
（寸法：cm）



L_{15}=5.37m



L_{15}=5.14m



L_{15}=5.45m

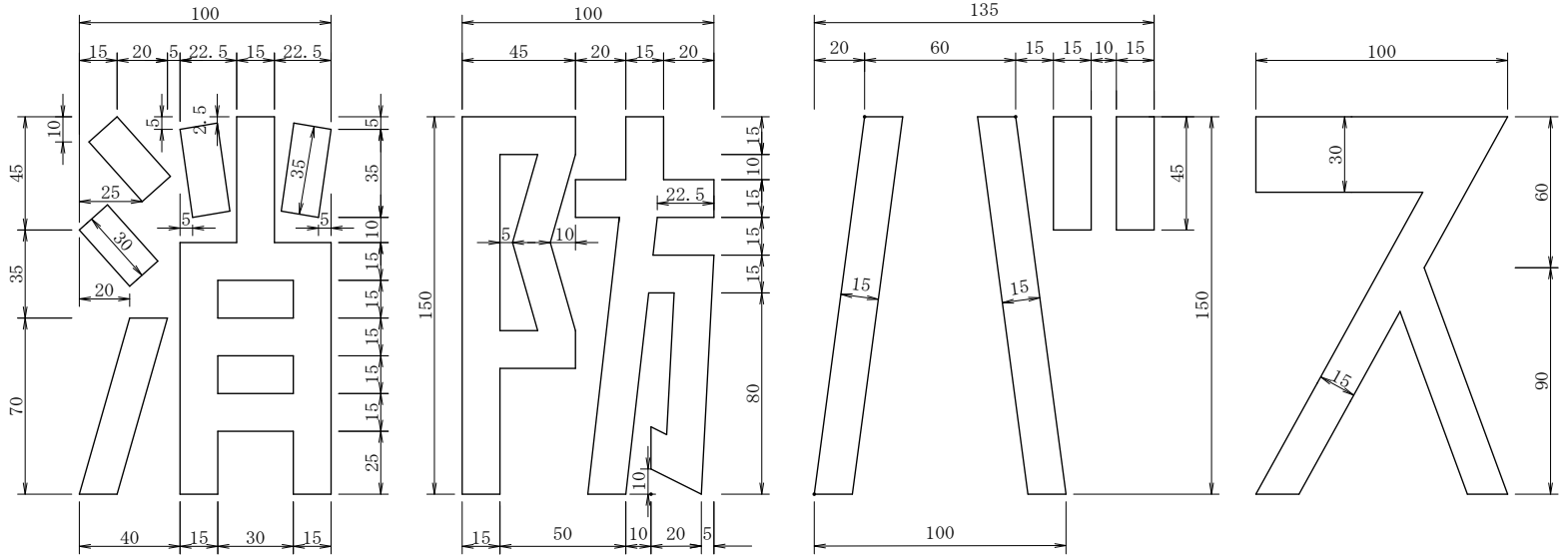
換算延長表

項目	換算延長 単位（m） L	摘要
緊	L_{15} = 5.37m	
急	L_{15} = 5.14m	
車	L_{15} = 5.45m	

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
300 安全施設工	区画線設置工	文 字 記 号	R7.4

区 画 線 設 置 工

（寸法：cm）



L_{15}=5.47m　　L_{15}=5.81m　　L_{15}=3.92m　　L_{15}=4.07m

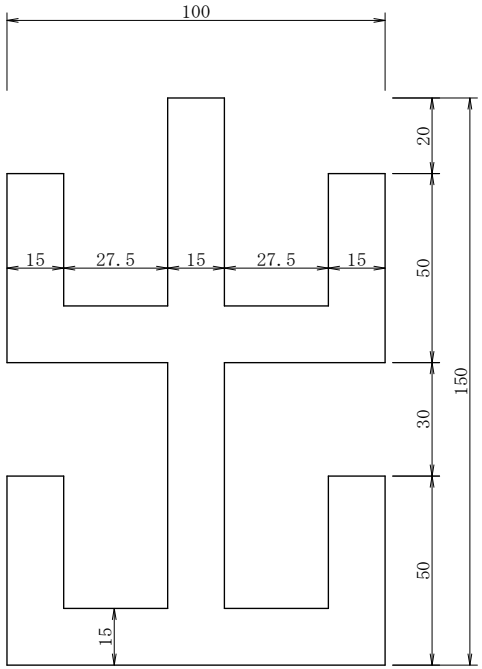
換 算 延 長 表

項　　目	換 算 延 長　　単位（m） L	摘　要
消	L_{15} = 5.47m	
防	L_{15} = 5.81m	
バ	L_{15} = 3.92m	
ス	L_{15} = 4.07m	

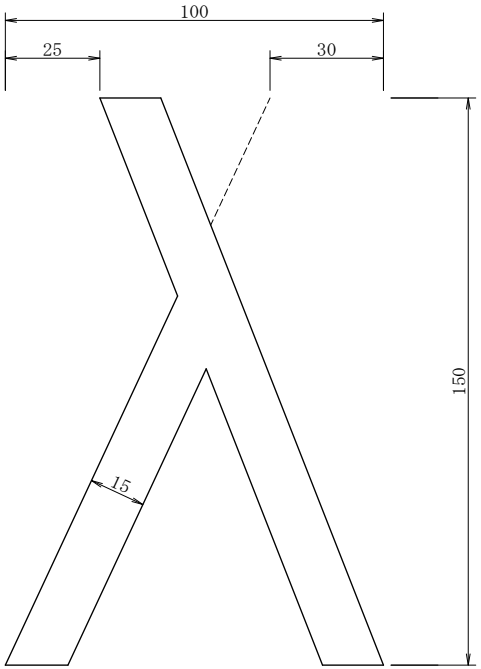
大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
300 安全施設工	区画線設置工	文 字 記 号	R7.4

区 画 線 設 置 工

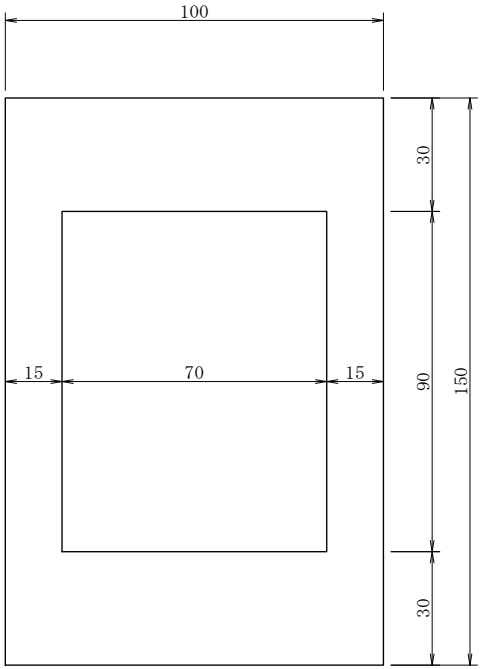
（寸法：cm）



L_{15}=4.60m



L_{15}=2.57m



L_{15}=5.80m

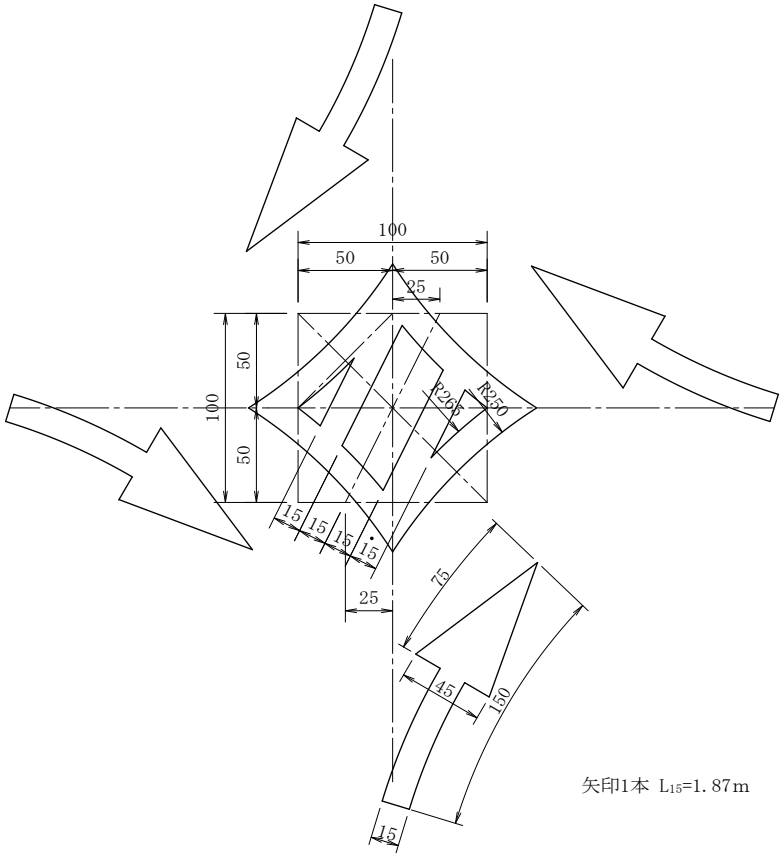
換 算 延 長 表

項　　目	換 算 延 長　　単位（m） L	摘　要
出	L_{15} = 4.60m	
入	L_{15} = 2.57m	
口	L_{15} = 5.80m	

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
300 安全施設工	区画線設置工	文 字 記 号	R7.4

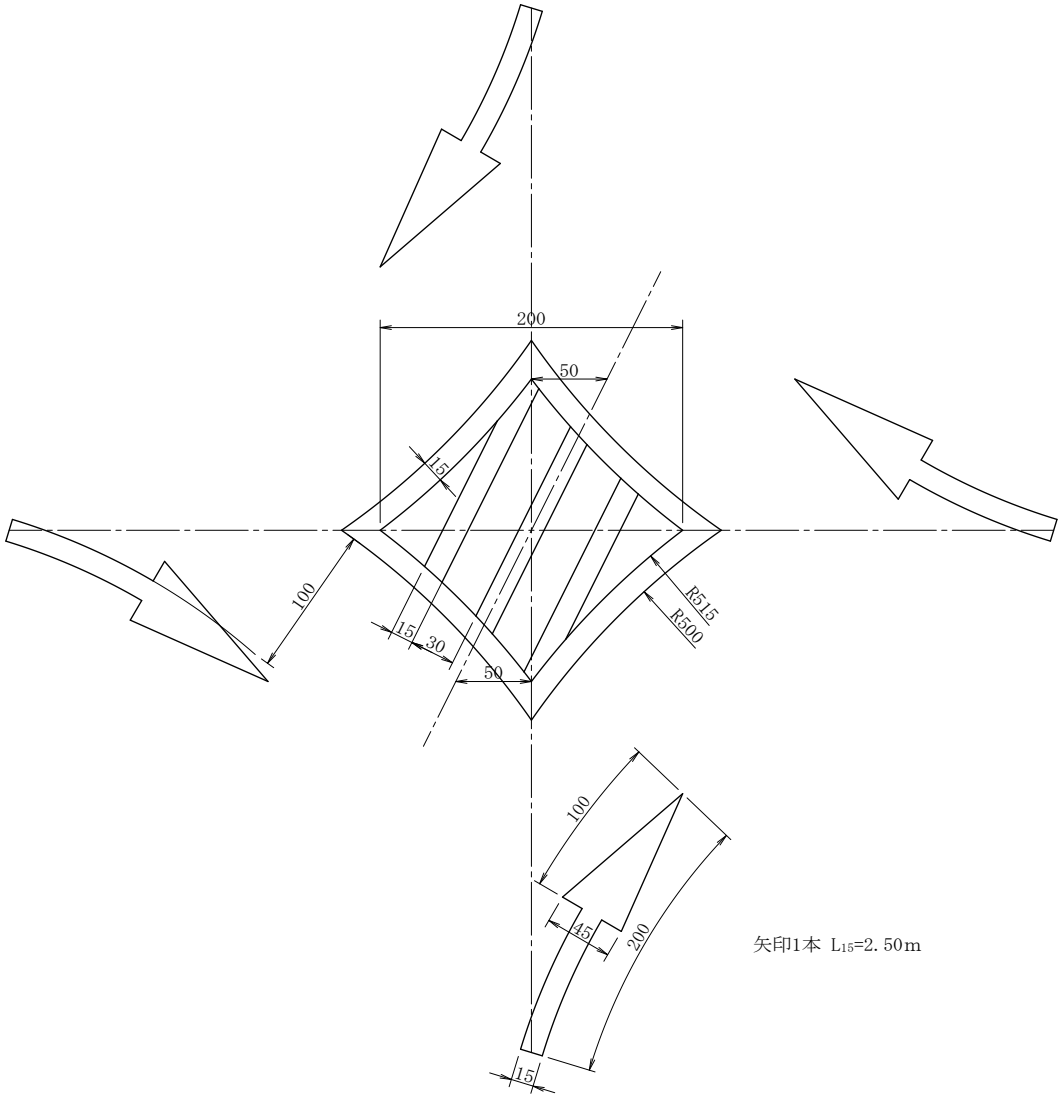
区 画 線 設 置 工

（寸法：cm）



矢印1本 L_{15}=1.87m

L_{15}=12.31m



矢印1本 L_{15}=2.50m

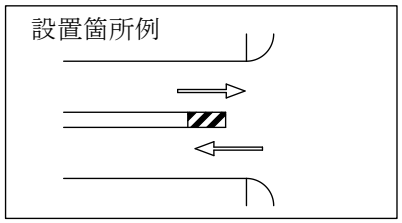
L_{15}=20.47m

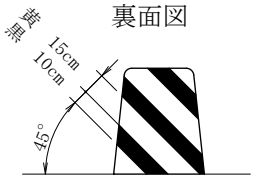
換 算 延 長 表

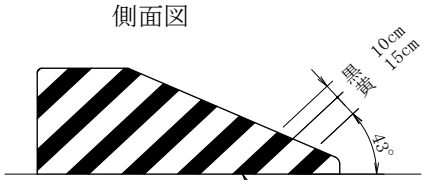
項　　目	換 算 延 長　単位（m） L	摘　要
	L_{15} = 12.31m	
	L_{15} = 20.47m	

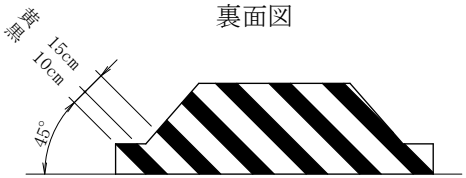
大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
300 安全施設工	中央帯先端壁 塗装図	(1)	R7.4

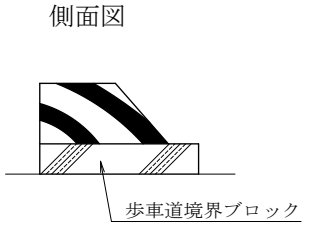
中央帯先端壁　塗装図（1）
（対面通行の場合）







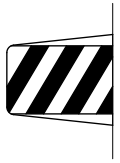


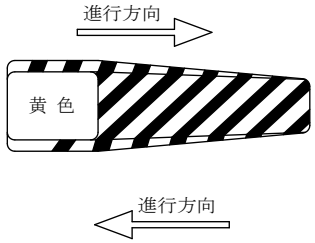


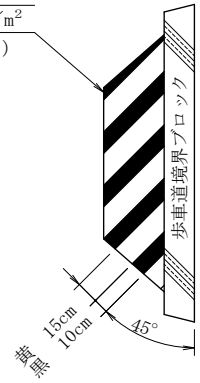
（塗　装　構　成）

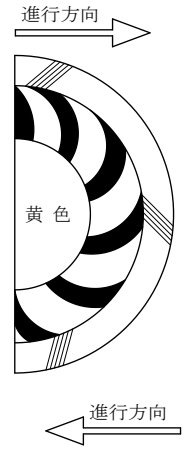
1. コンクリート面清掃【標準使用量】	
2. 下塗り（白）	0.15kg／m^2
3. 上塗り（蛍光黄）	0.15kg／m^2
4. 上塗り（透明）	0.12kg／m^2
5. 上塗り（黒）	0.14kg／m^2

（1から5までの施工順とする）







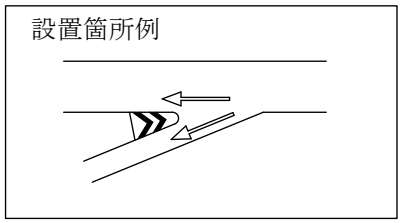


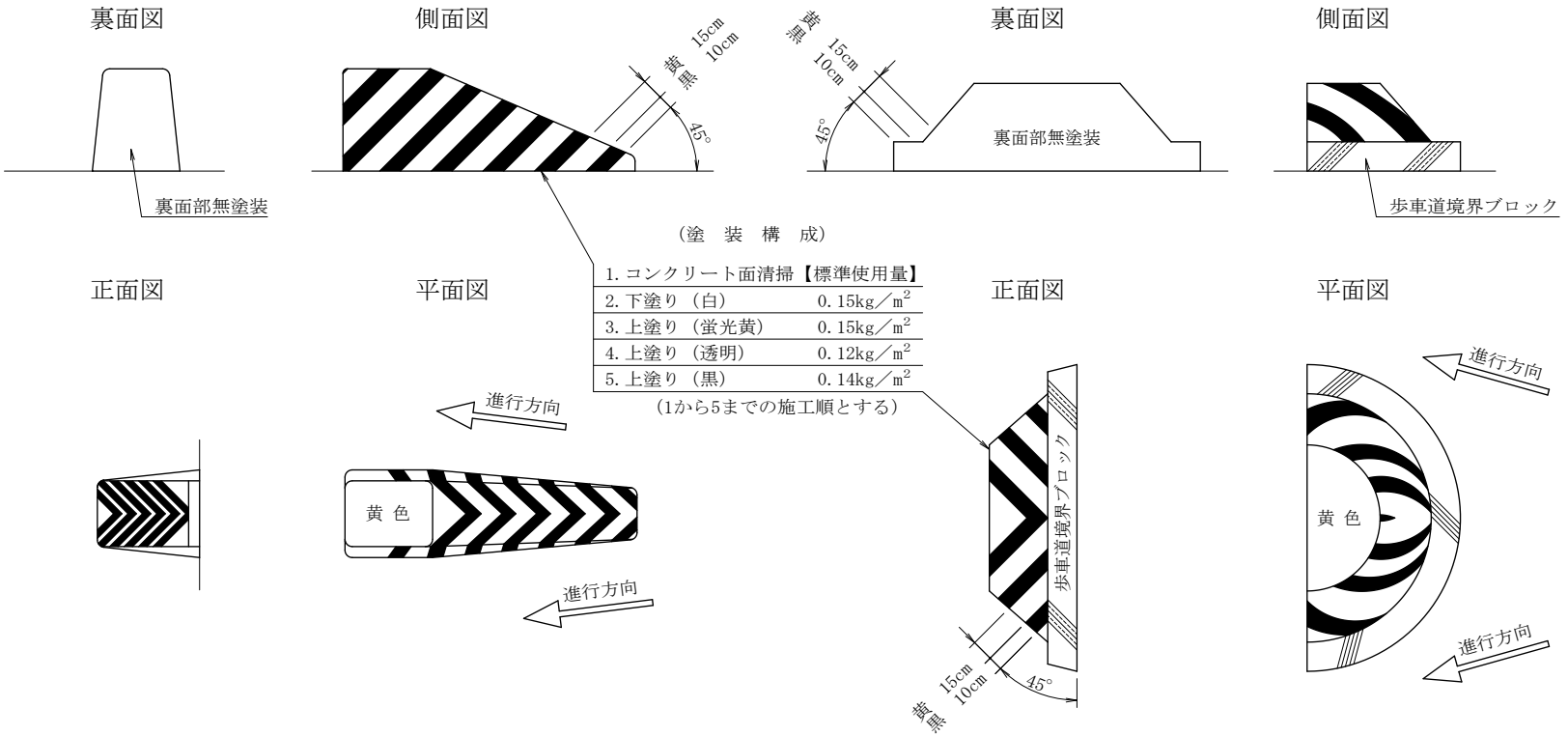
注意事項

1．使用する塗料は、非水分散型アクリル樹脂塗料とする。
2．蛍光黄塗料は、JIS Z 9103に規定する安全色の近似色とする。

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
300 安全施設工	中央帯先端壁 塗装図	(2)	R7.4

中央帯先端壁　塗装図（2）
（交通島の場合）



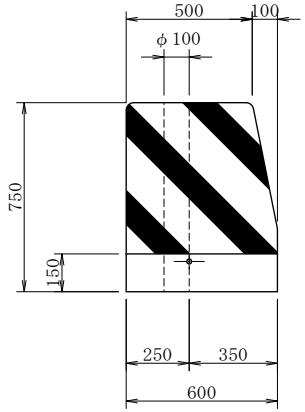


注意事項

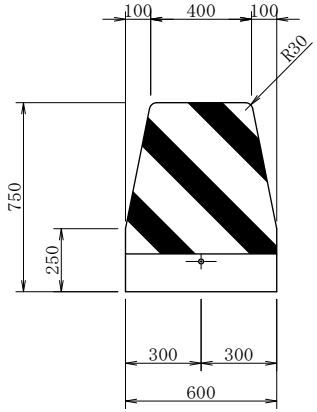
1．使用する塗料は、非水分散型アクリル樹脂塗料とする。
2．蛍光黄塗料は、JIS Z 9103に規定する安全色の近似色とする。

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
300 安全施設工	中央帯先端壁工	1 号	R7.4

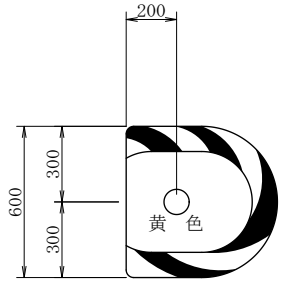
中 央 帯 先 端 壁 工



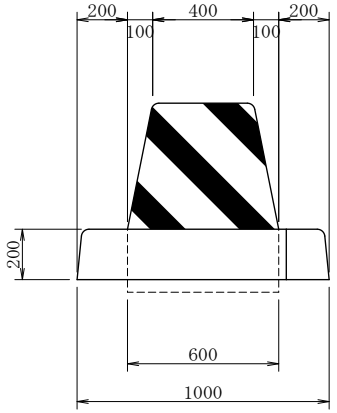
側　面　図



正　面　図



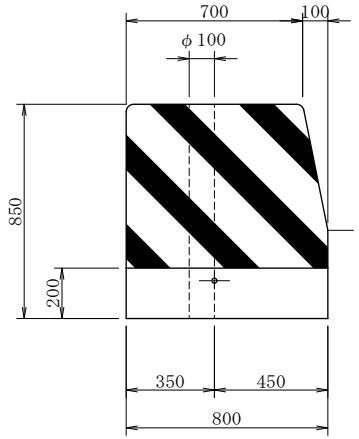
平　面　図



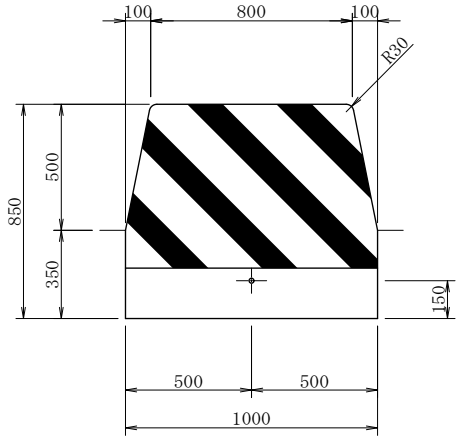
黄色150－黒色100

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
300 安全施設工	中央帯先端壁工	２ 号	R7.4

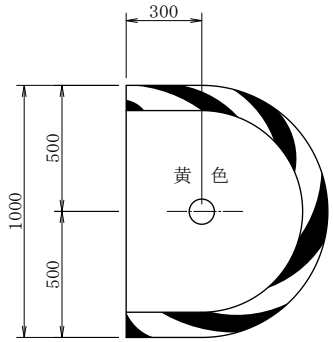
中 央 帯 先 端 壁 工



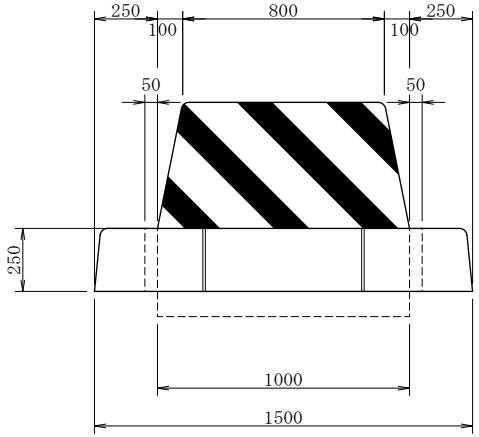
側　面　図



正　面　図



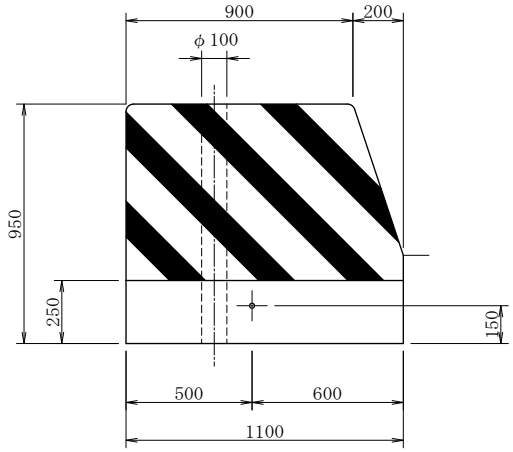
平　面　図



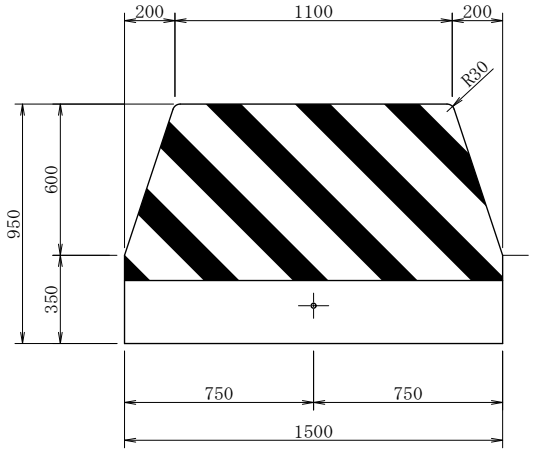
黄色150－黒色100

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
300 安全施設工	中央帯先端壁工	３ 号 Ａ	R7.4

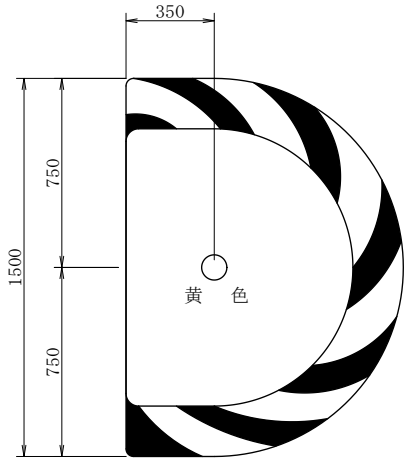
中 央 帯 先 端 壁 工



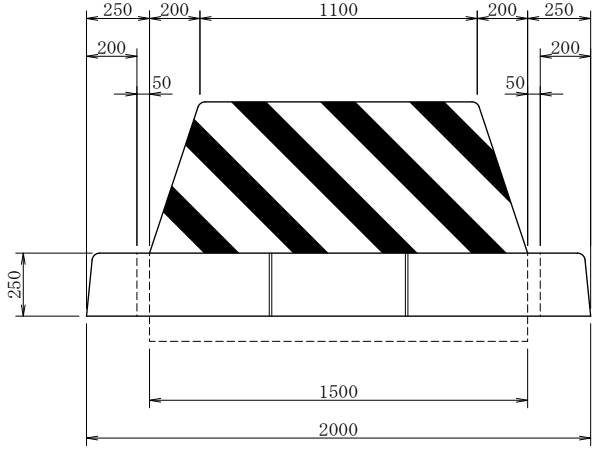
側　面　図



正　面　図



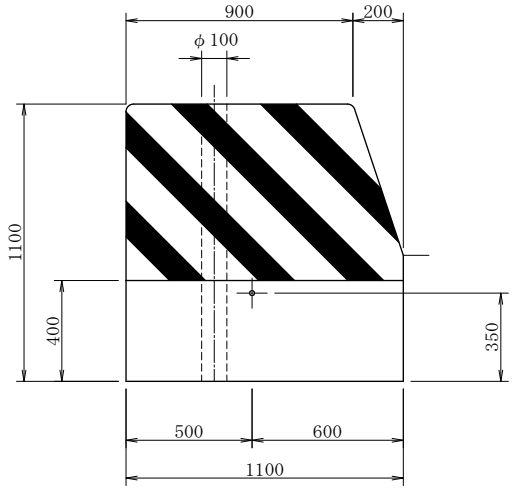
平　面　図



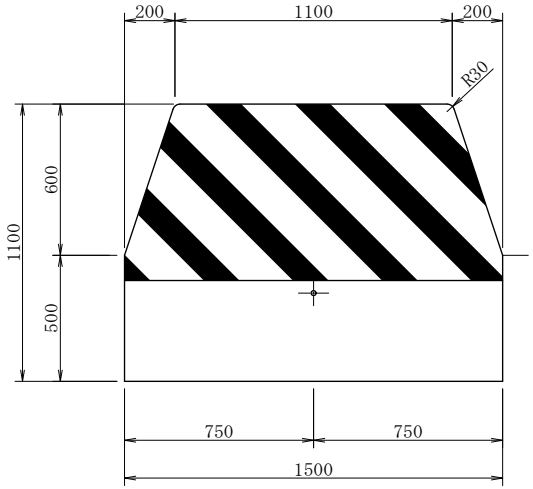
黄色150－黒色100

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
300 安全施設工	中央帯先端壁工	３ 号 Ｂ	R7.4

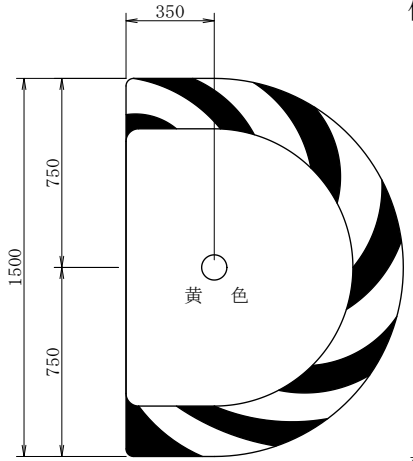
中 央 帯 先 端 壁 工



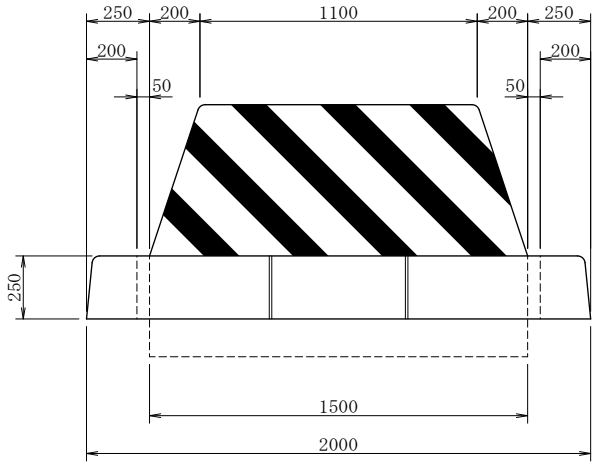
側　面　図



正　面　図



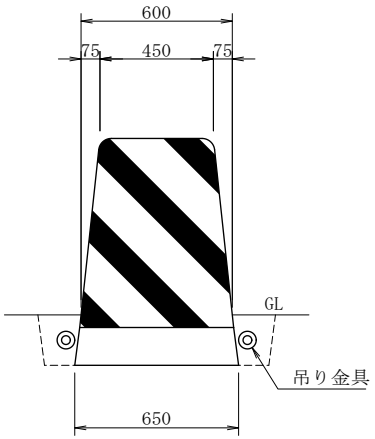
平　面　図

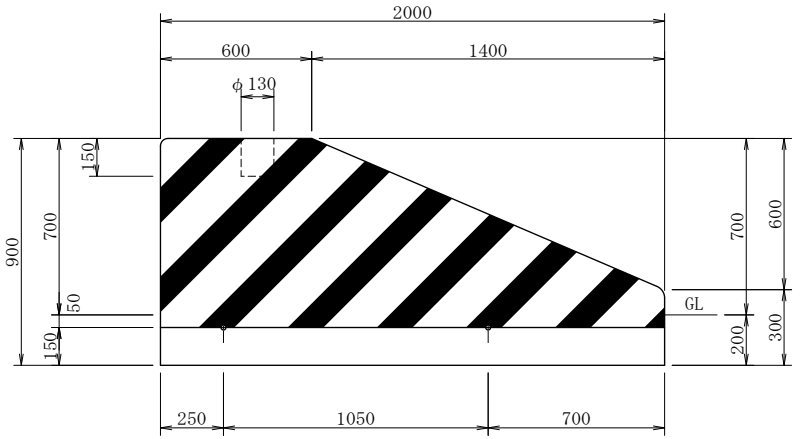


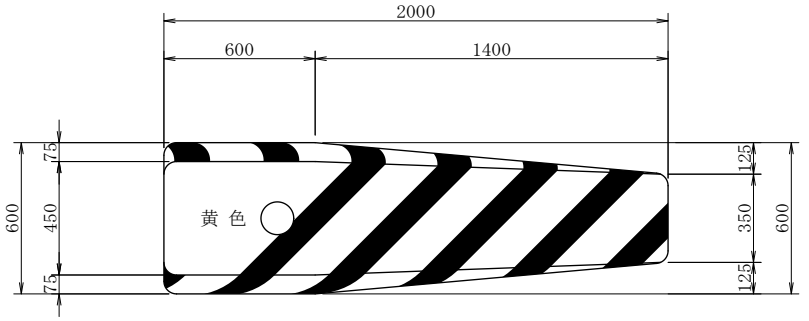
黄色150－黒色100

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
300 安全施設工	中央帯先端壁工	４ 号 Ａ	R7.4

中 央 帯 先 端 壁 工



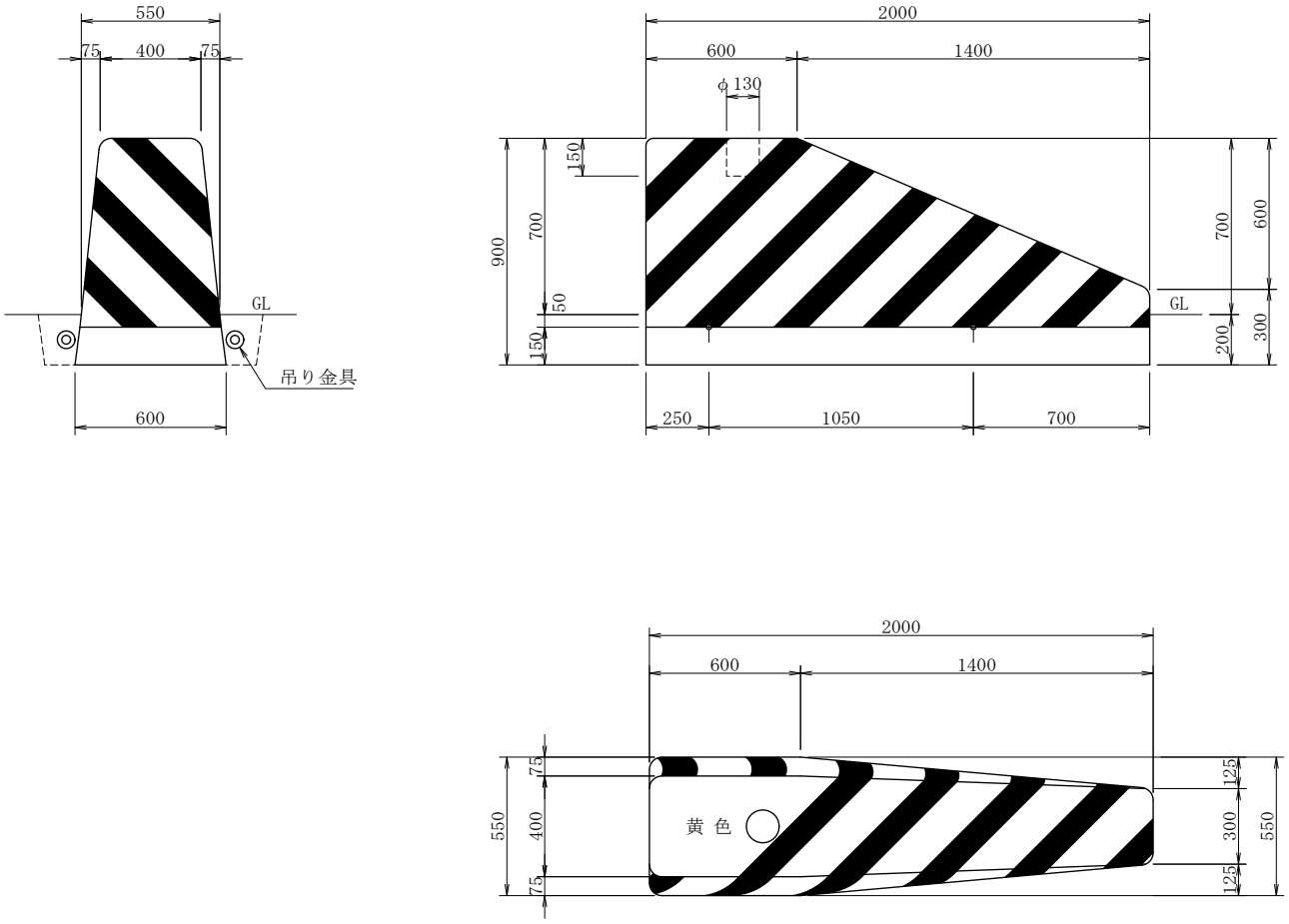




黄色150－黒色100

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
300 安全施設工	中央帯先端壁工	４ 号 Ｂ	R7.4

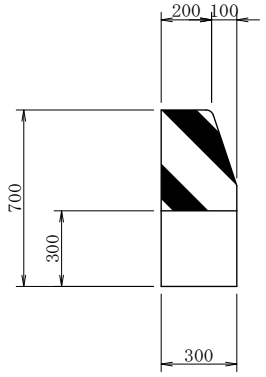
中 央 帯 先 端 壁 工



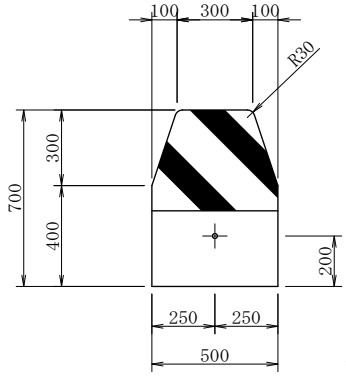
黄色150－黒色100

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
300 安全施設工	中央帯先端壁工	5 号	R7.4

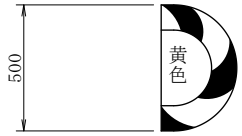
中 央 帯 先 端 壁 工



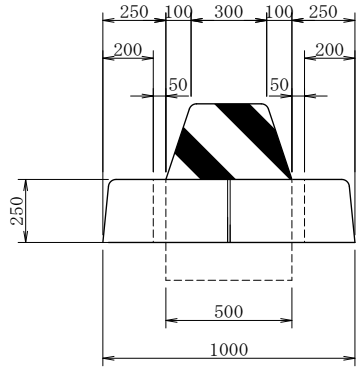
側　面　図



正　面　図



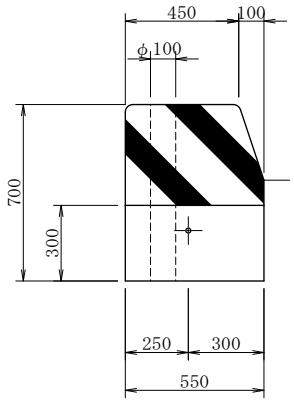
平　面　図



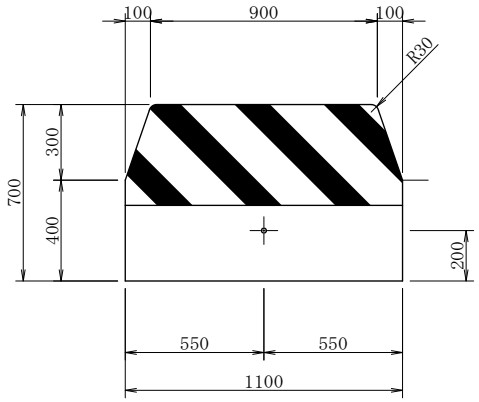
黄色150－黒色100

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
300 安全施設工	中央帯先端壁工	6 号	R7.4

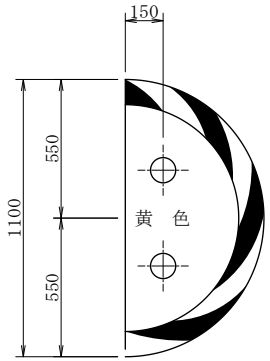
中 央 帯 先 端 壁 工



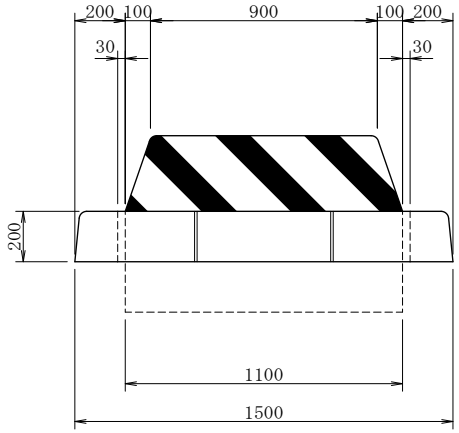
側　面　図



正　面　図



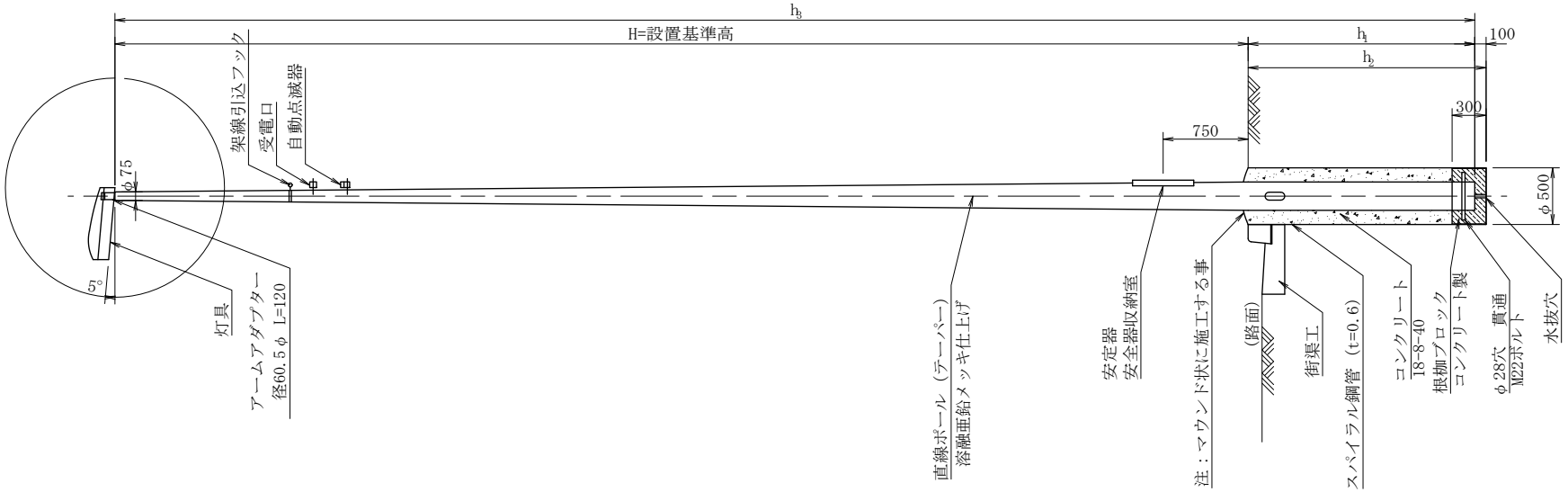
平　面　図



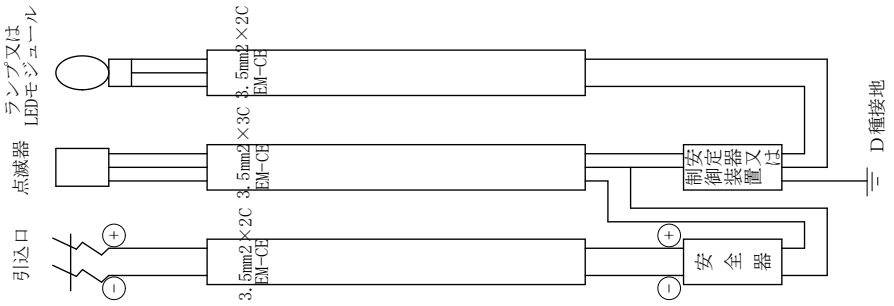
黄色150－黒色100

大分類	中分類	小分類	適用年度
400 電気施設工	道路照明設置工	直線ポール (1／2)	R7.4

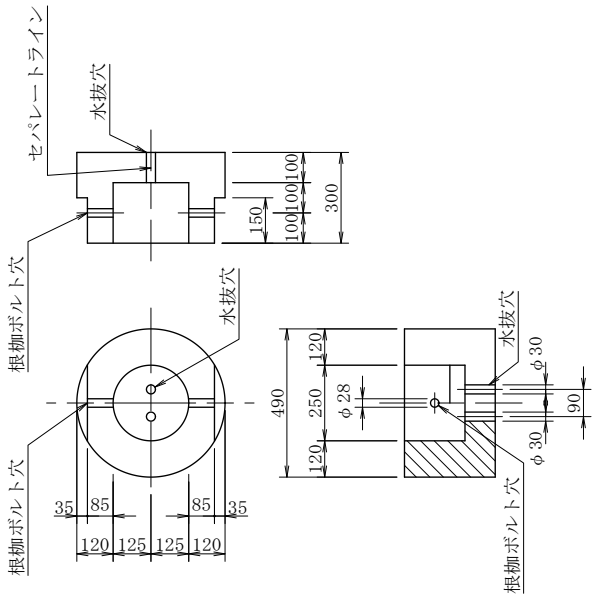
道路照明設置工



結線図



根枷ブロック



道路照明設置工寸法表

名称	寸法表 単位（mm）				摘要
	H	h1	h2	h3	
道路照明設置工 (H=8.00m)	8000	1500	1600	9500	
道路照明設置工 (H=10.00m)	10000	2000	2100	12000	
道路照明設置工 (H=12.00m)	12000	2000	2100	14000	

注意事項

1. 灯具落下防止のため、灯具取付部にポール貫通ボルト、もしくは落下防止ワイヤを取付けるものとする。
2. 基礎は、原則として路面に露出させること。

大分類	中分類	小分類	適用年度
400 電気施設工	道路照明設置工	直線ポール (2／2)	R7.4

道路照明設置工

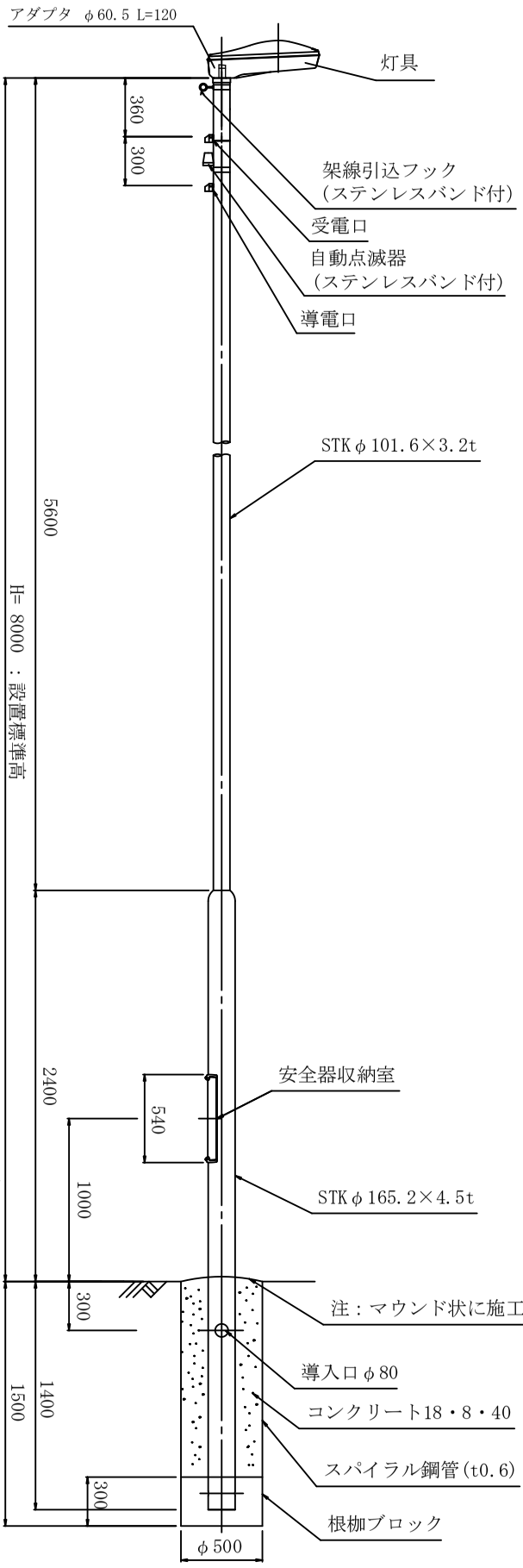
道路照明設置工材料表

材料表　　1基当り

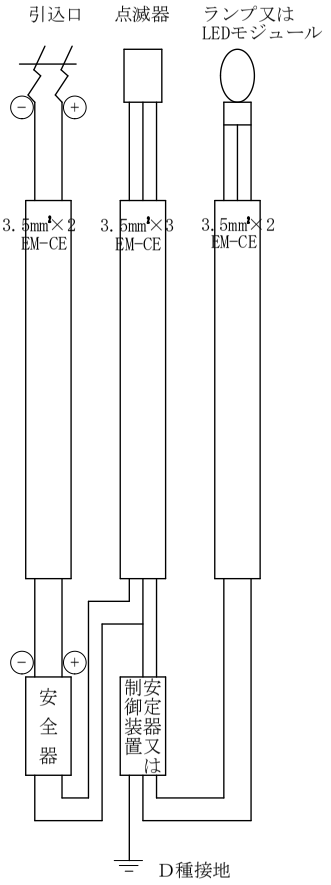
名称		形状寸法	単位	数量							摘要
				H=8.00m			H=10.00m			H=12.00m	
				CMT220W	LED150W以下 幹線道路 (片側2車線) 局部	LED150W以下 幹線道路 (片側2車線) 連続	CMT220W	LED200W以下 幹線道路 (片側3車線) 局部	LED200W以下 幹線道路 (片側3車線) 連続	CMT360W	
灯柱	H=8.00m	直線ポール (テーパー) 埋込式　亜鉛メッキ仕上	本	1	1	1	—	—	—	—	
	H=10.00m	〃	〃	—	—	—	1	1	1	—	
	H=12.00m	〃	〃	—	—	—	—	—	—	1	
灯具	CMT220W	KSH-2 同等品以上	個	1	—	—	1	—	—	—	
	CMT360W	KSH-3 同等品以上	〃	—	—	—	—	—	—	1	
	LED200W以下	幹線道路 (片側3車線) 局部	〃	—	—	—	—	1	—	—	
		幹線道路 (片側3車線) 連続	〃	—	—	—	—	—	1	—	
	LED150W以下	幹線道路 (片側2車線) 局部	〃	—	1	—	—	—	—	—	
		幹線道路 (片側2車線) 連続	〃	—	—	1	—	—	—	—	
セラミックメタルハライドランプ	CMT220W	CMT220W 同等品以上	〃	1	—	—	1	—	—	—	
	CMT360W	CMT360W 同等品以上	〃	—	—	—	—	—	—	1	
安定器	CMT220W	一般形　200V　250W　高力率	〃	1	—	—	1	—	—	—	
	CMT360W	一般形　200V　400W　高力率	〃	—	—	—	—	—	—	1	
自動点滅器		光電式　200V　6A　分離型	〃	1	—	—	1	—	—	1	
		光電式　200V　3A　分離型	〃	—	1	1	—	1	1	—	
安全器		2P-15A (20Aブレーカー)	〃	1	1	1	1	1	1	1	
架線引込フック		SUS製バンド付	〃	1	1	1	1	1	1	1	
受電口			〃	1	1	1	1	1	1	1	
管理番号標		番号札　屋外用塩ビフィルム　90×85	組	1	1	1	1	1	1	1	
		不点連絡用　屋外用塩ビフィルム　185×85									
		施工銘板　屋外用塩ビフィルム　70×105									
電線		EM-CE 3.5mm^2×2C	m	15	15	15	18	18	18	20	
		EM-CE 3.5mm^2×3C	〃	7	7	7	8	8	8	8	
		EM-IE より線 3.5mm^2	〃	2	2	2	2	2	2	2	
丸形アース棒		E−B3 φ10×1000mm	本	1	1	1	1	1	1	1	
根枷ブロック			組	1	1	1	1	1	1	1	
コンクリート		18-8-40	m^3	0.226	0.226	0.226	0.308	0.308	0.308	0.298	
スパイラル鋼管		φ500　t=0.6	m	1.6	1.6	1.6	2.1	2.1	2.1	2.1	

道路照明設置工

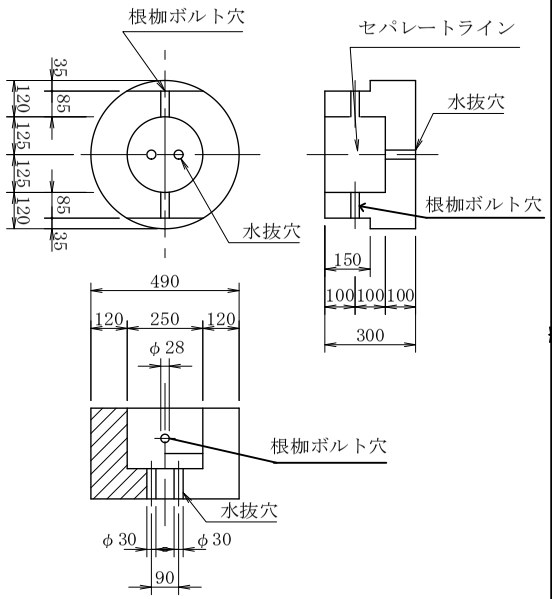
直線型



結線図



根枷ブロック



※灯具落下防止のため、灯具取付部にポール貫通ボルト、
もしくは落下防止ワイヤを取付けるものとする。

大分類	中分類	小分類	作成年度
400 電気施設工	道路照明設置工	段付鋼管柱 H=8.0m (1/2)	R7.4

402

名古屋市緑政土木局 | 作成年月 | R2.10

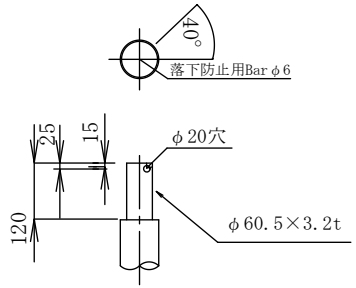
大分類	中分類	小分類	適用年度
400 電気施設工	道路照明設置工	段付鋼管柱 H=8.0m (2/2)	R7.4

道 路 照 明 設 置 工

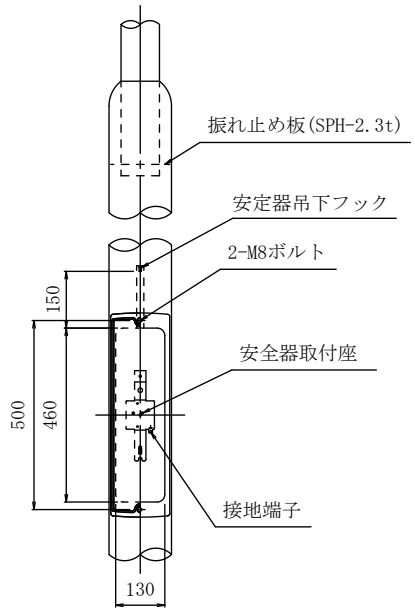
道路照明設置工材料表

名　　称	材　　料　　表 形　状　寸　法	単位	1基当り 数量 H=8.0m CMT150W	LED100W以下	LED60W以下	摘　要
灯　　柱	段付鋼管柱亜鉛メッキ　H=8.0m　埋込式	本	1	1	1	
灯　　具	KSH-2　相当品	個	1	—	—	
	LED照明器具(補助幹線局部照明)	〃	—	1	—	
	LED照明器具(補助幹線連続照明)	〃	—	—	1	
セラミックメタルハライドランプ	CMT150W　相当品	〃	1	—	—	
安　定　器	一般形200V　150W高力率	〃	1	—	—	
自動点滅器	光電式200V　6A分離型	〃	1	—	—	
	光電式100V　3A分離型	〃	—	1	1	
安　　全　　器	２Ｐ－１５Ａ　（２０Ａブレーカー）	〃	1	1	1	
架線引込フック	ＳＵＳ製バンド付	〃	1	1	1	
受　　電　　口		〃	2	2	2	
管　理　番　号　標	番号札　　屋外用塩ビフィルム　90×85 不点連絡用　屋外用塩ビフィルム　185×85 施工銘板　　屋外用塩ビフィルム　70×105	組	1	1	1	
電　　線	ＥＭ－ＣＥ３．５㎟×２Ｃ	m	15	15	15	
	ＥＭ－ＣＥ３．５㎟×３Ｃ	〃	7	7	7	
	ＥＭ－ＩＥ より線 ３．５㎟	〃	2	2	2	
丸形アース棒	Ｅ－Ｂ３ φ１０×１０００㎜	本	1	1	1	
根枷ブロック		組	1	1	1	
コンクリート	１８・８・４０	m^3	0.210	0.210	0.210	
スパイラル鋼管	φ５００　ｔ＝０．６	m	1.5	1.5	1.5	

照明器具取付部

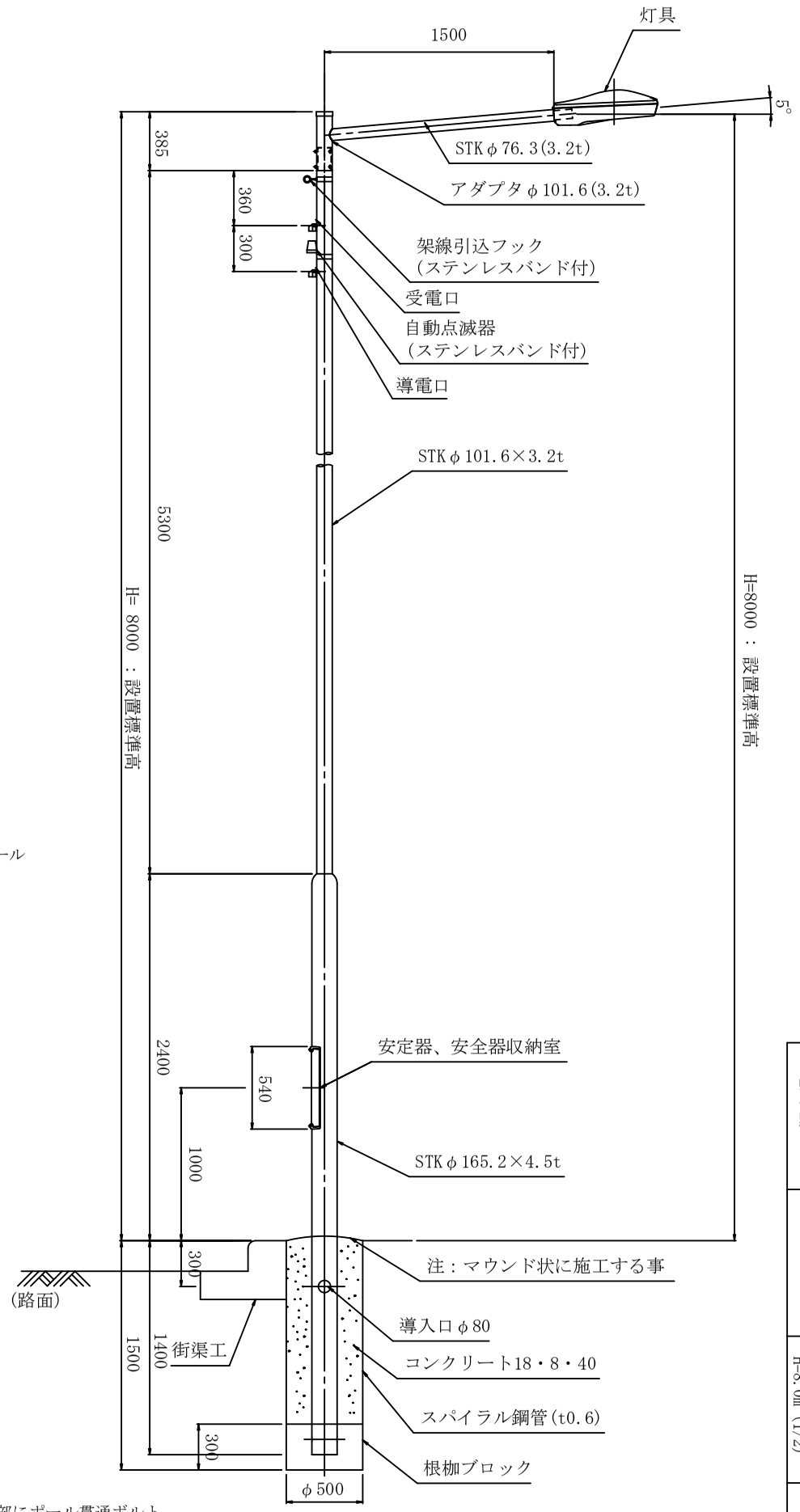


安定器収納室

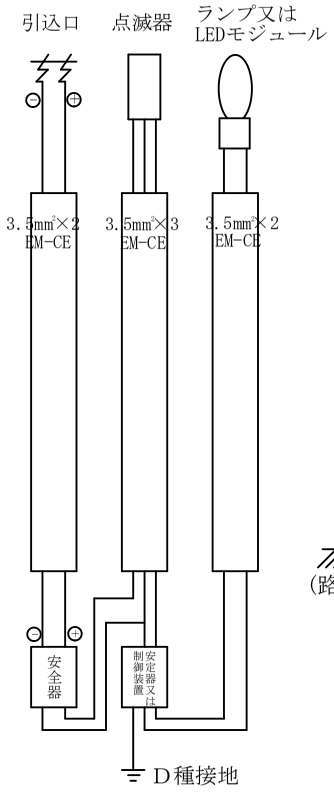


道路照明設置工

アーム型



結線図



※灯具落下防止のため、灯具取付部にポール貫通ボルト、
もしくは落下防止ワイヤを取付けるものとする。

大分類	中分類	小分類	作成年度
400 電気施設工	道路照明設置工	段付鋼管柱 アーム付 H=8.0m (1/2)	R7. 4

作成年月
R2. 10

名古屋市緑政土木局

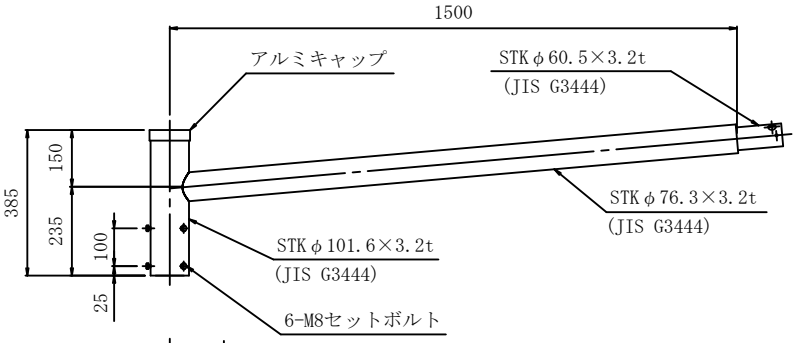
大分類	中分類	小分類	適用年度
400 電気施設工	道路照明設置工	段付鋼管柱 アーム付 H=8.0m (2/2)	R7.4

道 路 照 明 設 置 工

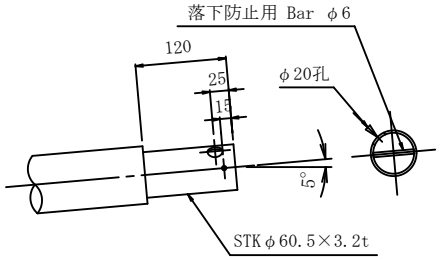
道路照明設置工材料表

名称	材料表 形状寸法	単位	1基当り 数量 H=8.0m CMT150W	LED100W以下	LED60W以下	摘要
灯柱	段付鋼管柱亜鉛メッキ H=8.0m アーム付 埋込式	本	1	1	1	
灯具	KSH-2 相当品	個	1	—	—	
	LED照明器具(補助幹線局部照明)	〃	—	1	—	
	LED照明器具(補助幹線連続照明)	〃	—	—	1	
セラミックメタルハライドランプ	CMT150W 相当品	〃	1	—	—	
安定器	一般形200V 150W高力率	〃	1	—	—	
自動点滅器	光電式200V 6A分離型	〃	1	—	—	
	光電式100V 3A分離型	〃	—	1	1	
安全器	2P−15A (20Aブレーカー)	〃	1	1	1	
架線引込フック	SUS製バンド付	〃	1	1	1	
受電口		〃	2	2	2	
管理番号標	番号札 屋外用塩ビフィルム 90×85 不点連絡用 屋外用塩ビフィルム 185×85 施工銘板 屋外用塩ビフィルム 70×105	組	1	1	1	
電線	EM−CE3.5mm²×2C	m	17	17	17	
	EM−CE3.5mm²×3C	〃	7	7	7	
	EM−IE より線 3.5mm²	〃	2	2	2	
丸形アース棒	E−B3 φ10×1000mm	本	1	1	1	
根枷ブロック		組	1	1	1	
コンクリート	18・8・40	m³	0.210	0.210	0.210	
スパイラル鋼管	φ500 t=0.6	m	1.5	1.5	1.5	

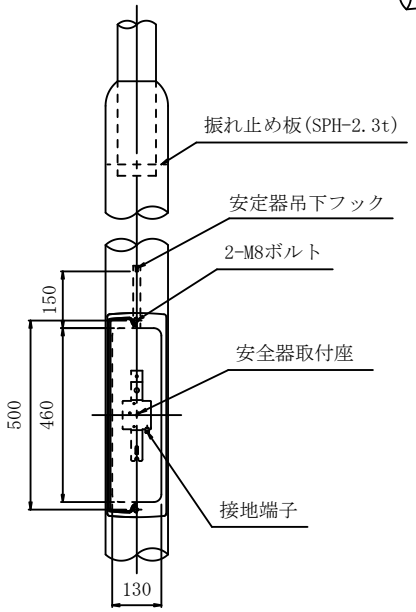
アーム部



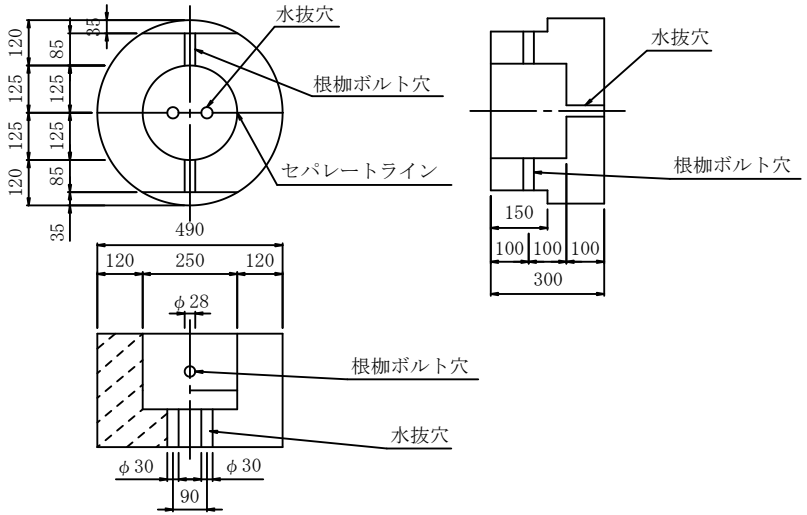
照明器具取付部



安定器収納室



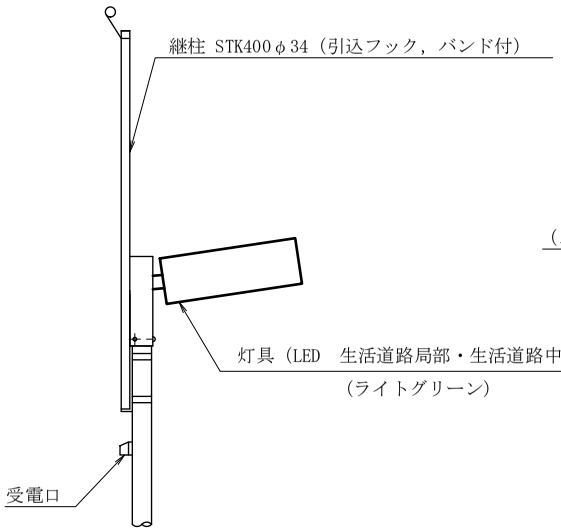
根枷ブロック



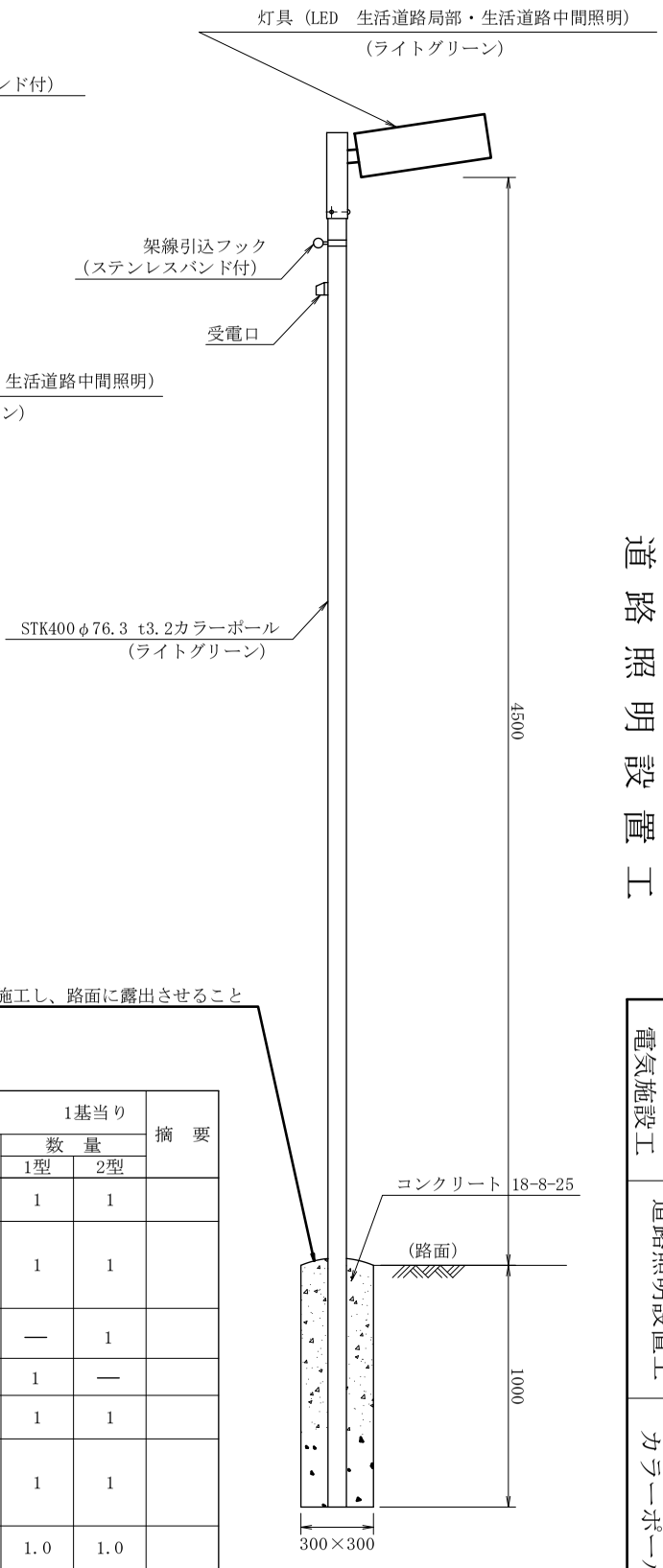
道路照明設置工

大分類	中分類	小分類	適用年度
400 電気施設工	道路照明設置工	生活道路カラーポール	R7.4

1 型



2 型



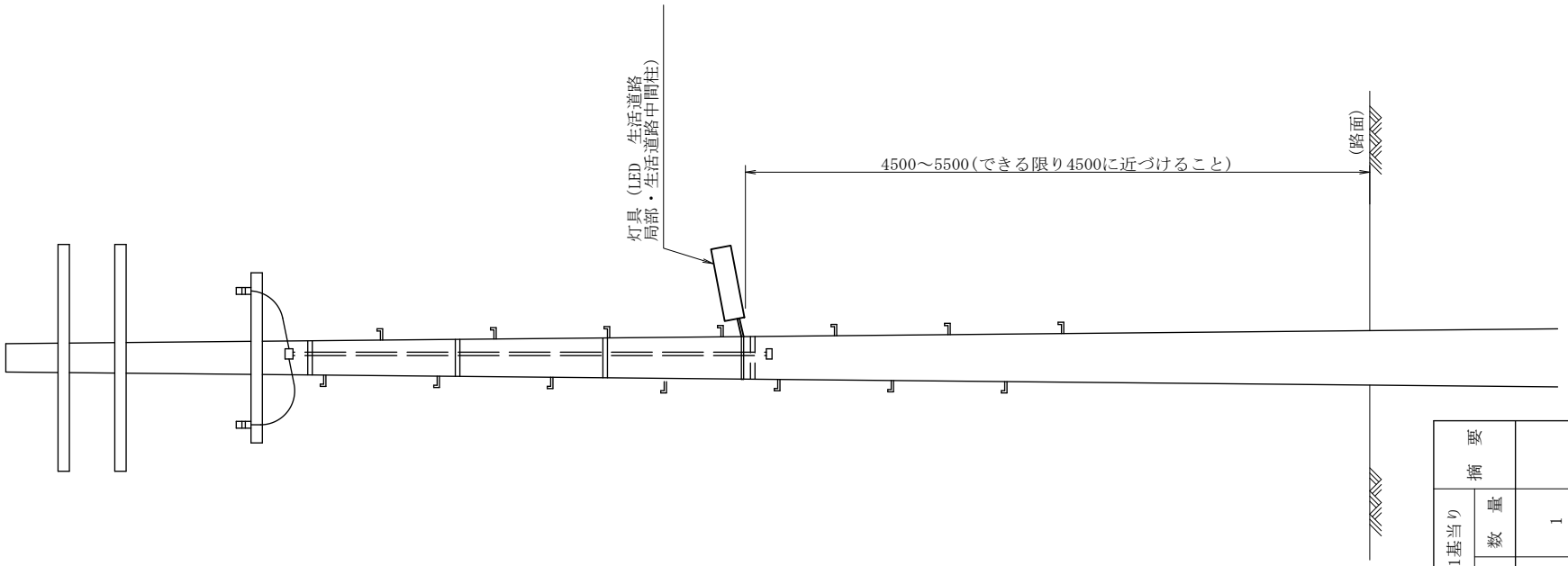
注：マウンド状に施工し、路面に露出させること

道路照明設置工材料表

名称	材料表 形状寸法	単位	1基当り 数量 1型	1基当り 数量 2型	摘要
灯柱	カラーポール 地上高4.5mφ76.3×t3.2	本	1	1	
灯具	LED照明（生活道路局部・生活道路中間照明） LEDモジュール制御装置内蔵 自動点滅器　1L形相当内蔵 ポールアダプター加工共	個	1	1	
架線引込フック	SUS製　バンド付 φ34有効高　1.5m架線引込フック	個	—	1	
継柱	取付バンド共　メッキ柱　STK400	本	1	—	
受電口		個	1	1	
管理番号標	番号札　屋外用塩ビフィルム　90×85 不点連絡用　屋外用塩ビフィルム 185×85 施工銘板　屋外用塩ビフィルム 70×105	組	1	1	
電線	ＥＭ－ＩＥ より線 ３．５㎟	m	1.0	1.0	
丸形アース棒	Ｅ－Ｂ３ φ１０×１０００㎜	本	1	1	
コンクリート	18-8-25	m^3	0.085	0.085	
型枠		m^2	0.90	0.90	

大分類	中分類	小分類	適用年度
400 電気施設工	道路照明設置工	生活道路 コンクリート柱共架	R7.4

道路照明設置工



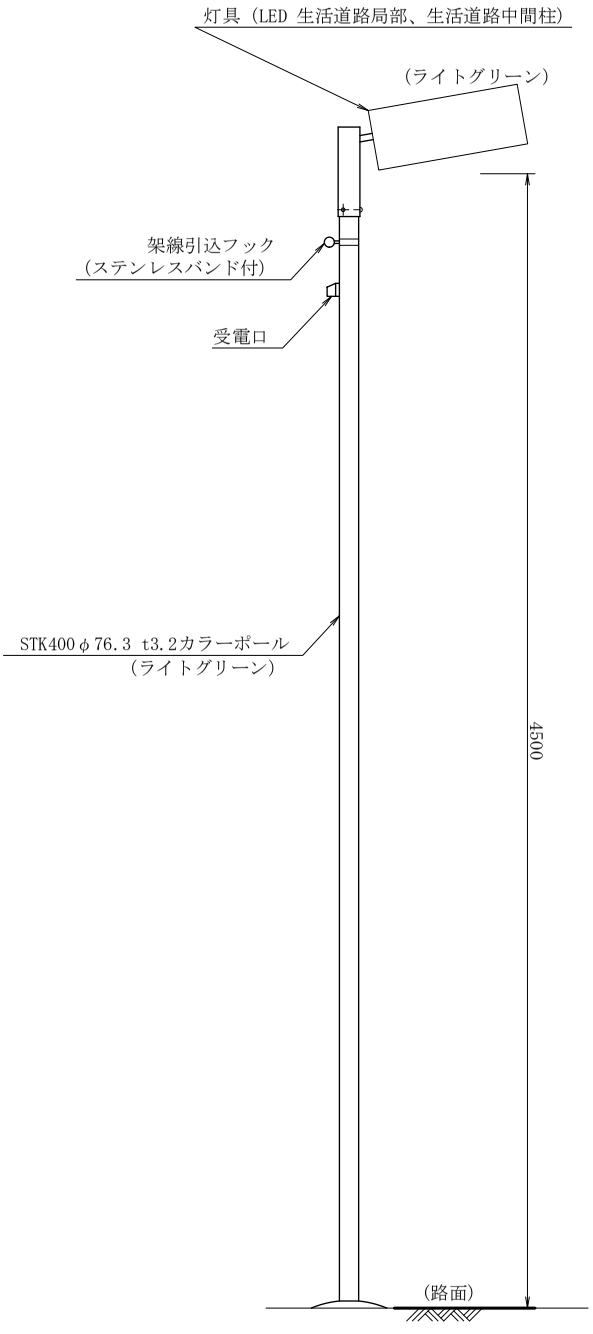
道路照明設置工 材料表

名称	材料表 形状寸法	1基当り 単位	1基当り 数量	摘要
灯具	LED照明（生活道路局部照明・生活道路中間照明） LEDモジュール制御装置内蔵 自動点滅器　1L形相当内蔵	個	1	
装柱金具	灯具取付用　40mm	個	1	
管理番号標	番号札　　屋外用塩ビフィルム　90×85 不点連絡用　屋外用塩ビフィルム　185×85 施工銘板　　屋外用塩ビフィルム　70×105	組	1	

道路照明設置工(灯具取替)

大分類	中分類	小分類	適用年度
400 電気施設工	道路照明設置工 (灯具替工)	カラーポール	R7.4

既設カラーポール柱（蛍光灯　安定器内蔵型）



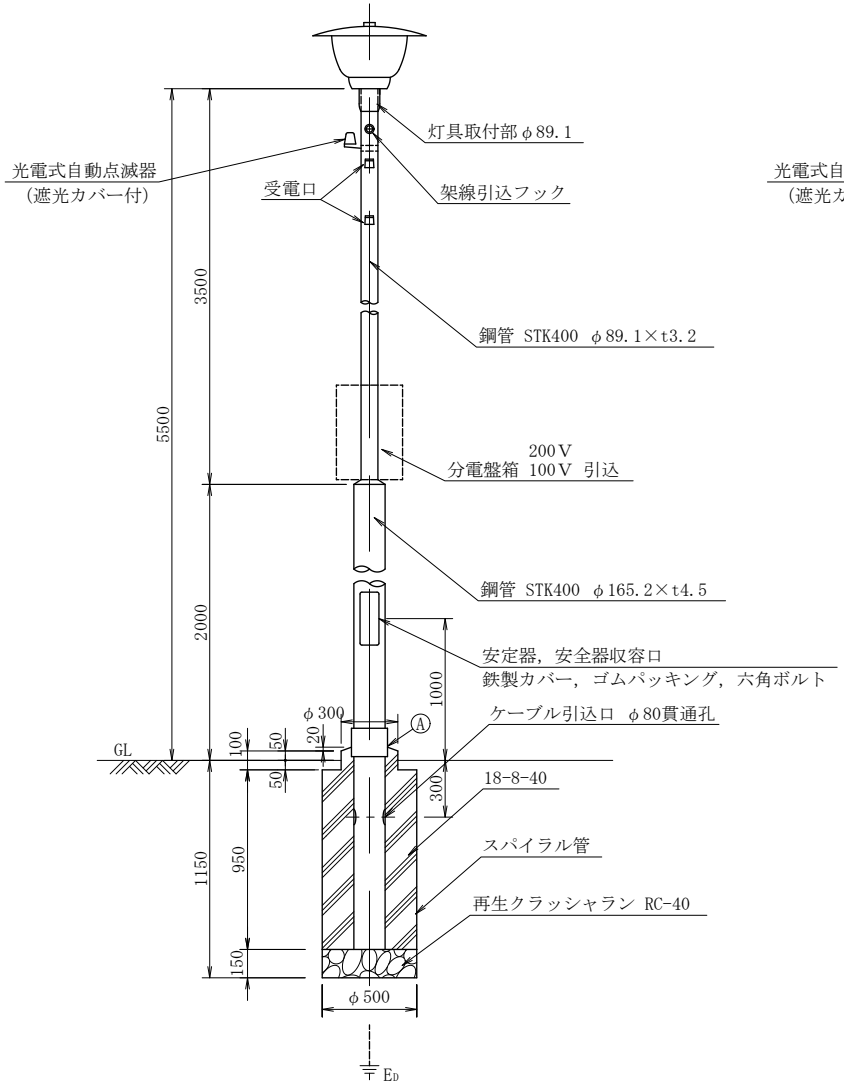
道路照明設置工(灯具取替) 材 料 表

名　称	材　料　表　形状寸法	1基当り 単位	1基当り 数量	摘　要
灯　具	LED照明（生活道路局部、生活道路中間柱） 制御装置内蔵 自動点滅器　3A　内蔵 アームアダプター加工共	個	1	
管理番号標	番号札　屋外用塩ビフィルム　90×85 不点連絡用　屋外用塩ビフィルム 185×85 施工銘板　屋外用塩ビフィルム 70×105	組	1	

大分類	中分類	小分類	適用年度
400 電気施設工	公園灯工	A，B，C，引込柱 中間柱	R7.4

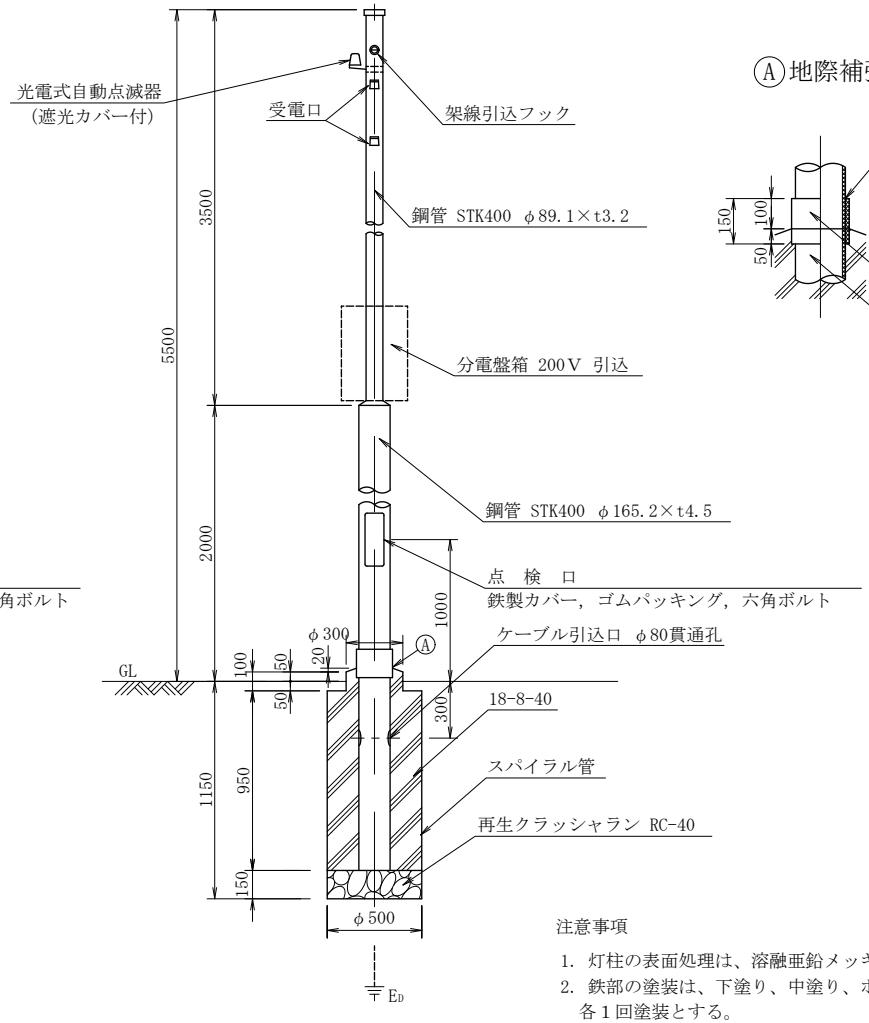
公園灯工

公園灯（A－1，B－1 / A－2，B－2 / B－3，C）

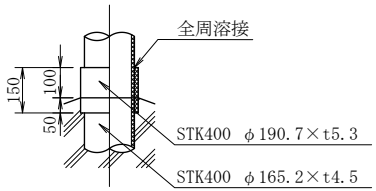


注）A－1，A－2は100V地下ケーブル用、B－1，B－2，B－3は200V地下ケーブル用、Cは100V架空線用とする。

引込柱
中間柱



Ⓐ地際補強図



注意事項

1. 灯柱の表面処理は、溶融亜鉛メッキとする。
2. 鉄部の塗装は、下塗り、中塗り、ポリウレタン樹脂塗料(指定色)各1回塗装とする。
3. 六角ボルトは、ステンレス製（SUS304）とする。
4. 基礎コンクリート貫通部ケーブルは、直接埋込まず、スリーブ（HIVE、又はFEP）に入れること。

大分類	中分類	小分類	適用年度
400 電気施設工	公園灯工	A，B，C，引込柱， 中間柱架空線	R7.4

公園灯工

公園灯材料表

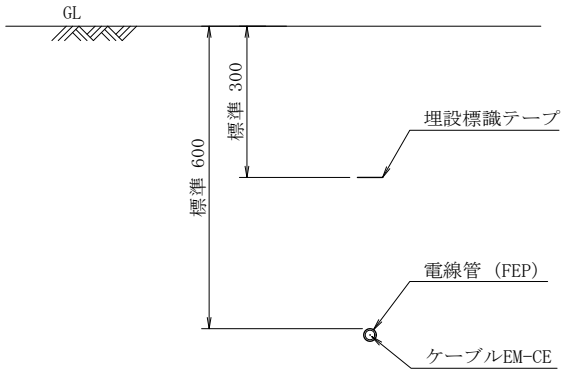
名称	形状寸法	単位	数量 1基当り									摘要
			公園灯						引込柱	引込柱	中間柱	
			A－1	A－2	B－1	B－2	B－3	C	A	B		
再生クラッシャラン	RC-40	m^3	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	
コンクリート	18-8-40	m^3	0.17	0.17	0.17	0.17	0.17	0.17	0.17	0.17	0.17	
円形空洞型枠	φ３００	m	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
スパイラル管	口径500mm　厚0.6mm	m	0.95	0.95	0.95	0.95	0.95	0.95	0.95	0.95	0.95	
鋼管柱	地上高5.5m	本	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
照明器具	公園灯　灯具	個	1	1	1	1	1	1	—	—	—	
セラミックメタルハライドランプ	CMF190W　拡散形	個	1	1	1	1	1	1	—	—	—	
安定器（一般形）	100V 200W 高力率1灯	個	1	1	—	—	—	1	—	—	—	
安定器（一般形）	200V 200W 高力率1灯	個	—	—	1	1	1	—	—	—	—	
安全器	磁器製 2P15A	個	1	1	—	1	1	1	—	—	—	
ジョイントユニット	MCB,テストスイッチ付 110/220V　15A	個	—	—	1	—	—	—	—	—	—	
光電式自動点滅器（分離型）	金具取付式 100V 6A	個	1	—	—	—	—	1	—	—	—	
光電式自動点滅器（分離型）	金具取付式 200V 10A	個	—	—	1	—	1	—	1	—	—	
架線引込フック	バンド付,SUS製	個	1	—	1	—	1	1	1	1	1	
受電口		個	2	—	2	—	2	2	2	1	—	
架橋ポリ絶縁耐燃性ポリシースケーブル	CE/F(EM-CE) 2心　3.5mm2	m	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	9.0	—	—	—	
架橋ポリ絶縁耐燃性ポリシースケーブル	CE/F(EM-CE) 3心　3.5mm2	m	4.5	—	4.5	—	4.5	4.5	4.5	—	—	
架橋ポリ絶縁耐燃性ポリシースケーブル	CE/F(EM-CE) 3心　5.5mm2	m	4.5	—	—	—	—	—	—	—	—	
架橋ポリ絶縁耐燃性ポリシースケーブル	CE/F(EM-CE) 2心　5.5mm2	m	—	—	4.5	—	4.5	—	4.5	—	—	
D種接地材	丸型アース棒 E-B3 10φ×1000mm,耐燃性ポリエチレン絶縁電線 600V IE/F(EM-IE) より線3.5mm2	式	1	1	1	1	1	1	1	1	—	
塗装	鉄部	m^2	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	
分電盤		面	1	—	—	—	1	—	1	—	—	

架空配線工 材料表

名称	材料表 10m当り			摘要
	形状寸法	単位	数量	
引込用ビニル絶縁電線	DV　2.6mm　2心平形	m	10.00	

大分類	中分類	小分類	適用年度
400 電気施設工	公園灯工	電線管布設工 ケーブル入線工	R7.4

電線管布設工，ケーブル入線工



電線管布設工 材料表

名称	材料表 形状寸法	単位	数量	摘要
波付硬質ポリエチレン管	FEPφ30	m	10.0	
〃	FEPφ40	〃	10.0	
〃	FEPφ50	〃	10.0	
〃	FEPφ65	〃	10.0	
〃	FEPφ80	〃	10.0	
埋設標識テープ	ポリエチレンクロス・ダブル 幅150mm	〃	10.0	

（材料表 10m当り）

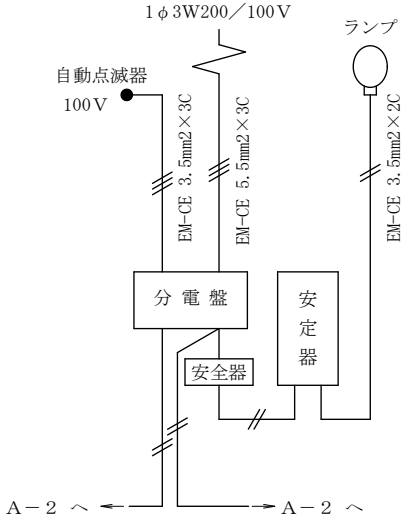
ケーブル入線工 材料表

名称	材料表 形状寸法	単位	数量	摘要
ケーブル	600V.EM-CE 5.5□×2C	m	10.0	
〃	600V.EM-CE 5.5□×3C	〃	10.0	
〃	600V.EM-CE 8□×2C	〃	10.0	
〃	600V.EM-CE 8□×3C	〃	10.0	
〃	600V.EM-CE 14□×2C	〃	10.0	
〃	600V.EM-CE 14□×3C	〃	10.0	
〃	600V.EM-CE 22□×2C	〃	10.0	
〃	600V.EM-CE 22□×3C	〃	10.0	

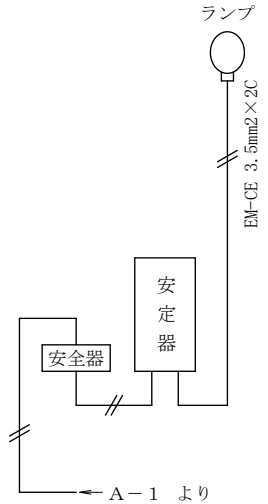
（材料表 10m当り）

大分類	中分類	小分類	適用年度
400 電気施設工	公園灯工	A，B，C，引込柱 中間柱回路図	R7.4

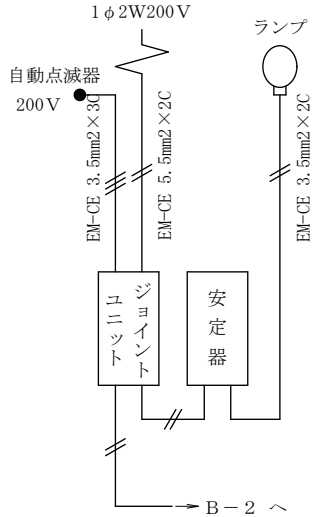
A，B，C，引込柱・中間柱回路図



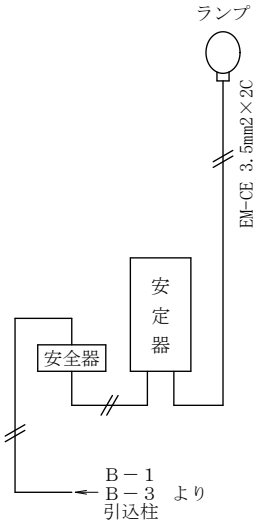
A－1



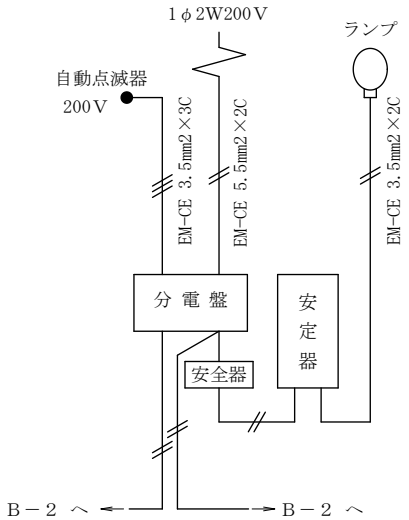
A－2



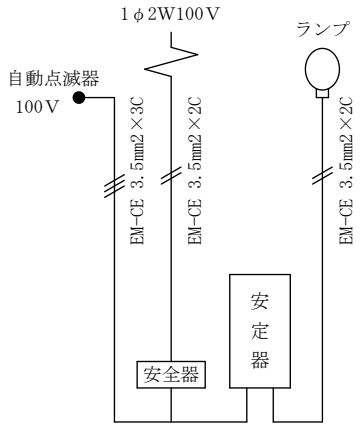
B－1



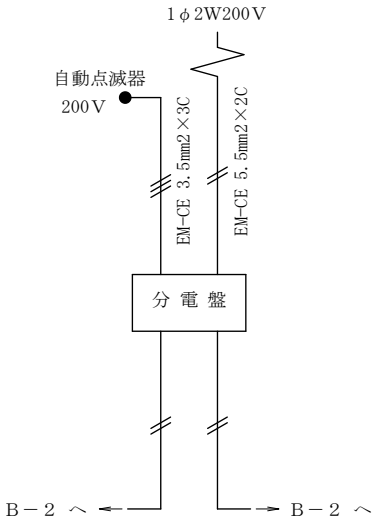
B－2



B－3



C

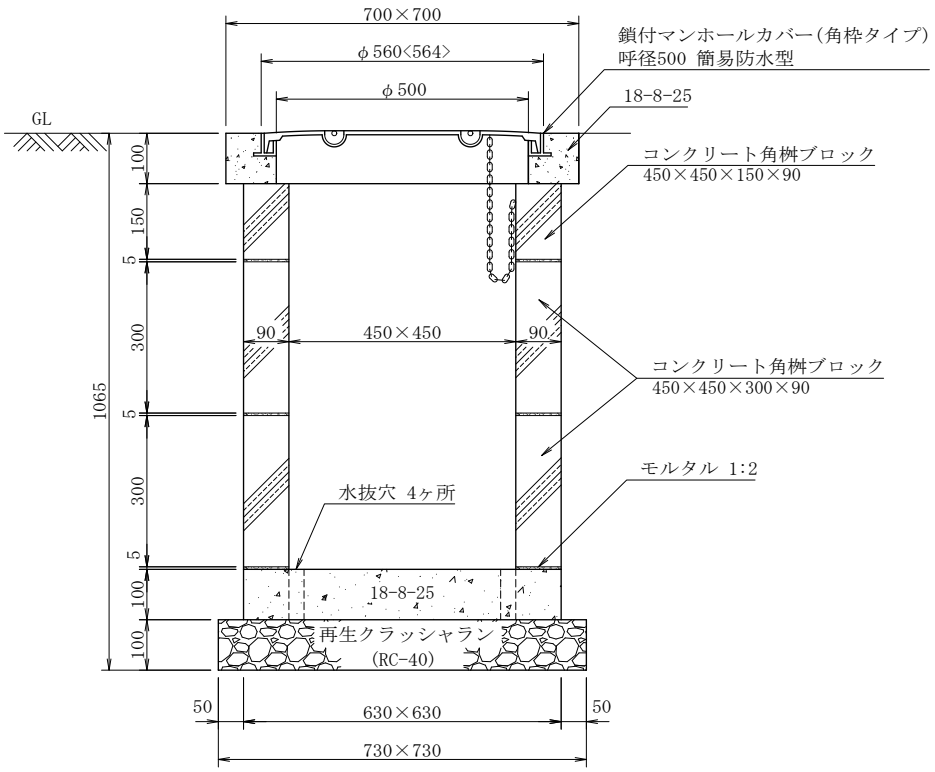


引込柱

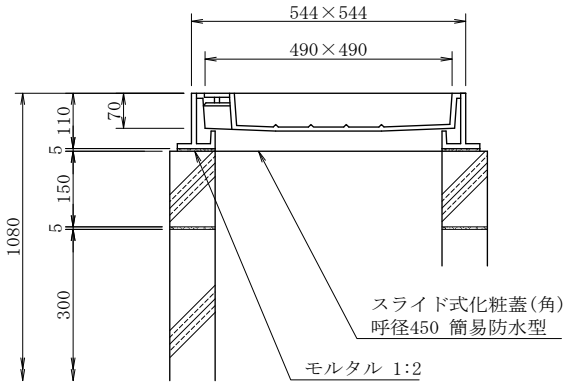
大分類	中分類	小分類	適用年度
400 電気施設工	ハンドホール工	A，A’，B，B’	R7.4

ハンドホール工

A，A’



B，B’



ハンドホール工（A，A’，B，B’）材料表

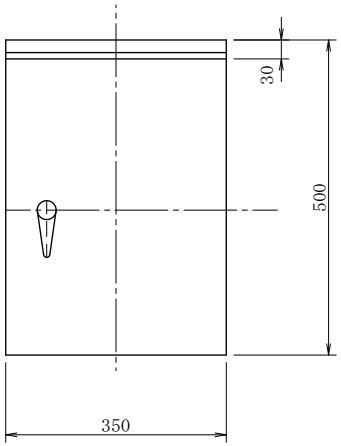
名称	材料表								10ヶ所当り	摘要
	再生クラッシャラン RC-40 (m^3)	コンクリート 18-8-25 (m^3)	コンクリート角桝（個）		マンホールカバー(電マーク入)		マンホールカバー(ILB充填型)		型枠 (m^2)	
			450×300×90	450×150×90	T-2	T-14	T-2	T-14		
A	0.533	0.668	20	10	10	—	—	—	6.18	
A’	0.533	0.664	20	10	—	10	—	—	6.11	
B	0.533	0.397	20	10	—	—	10	—	2.52	
B’	0.533	0.397	20	10	—	—	—	10	2.52	

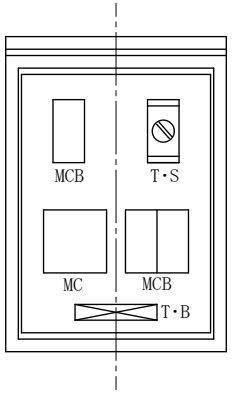
注意事項

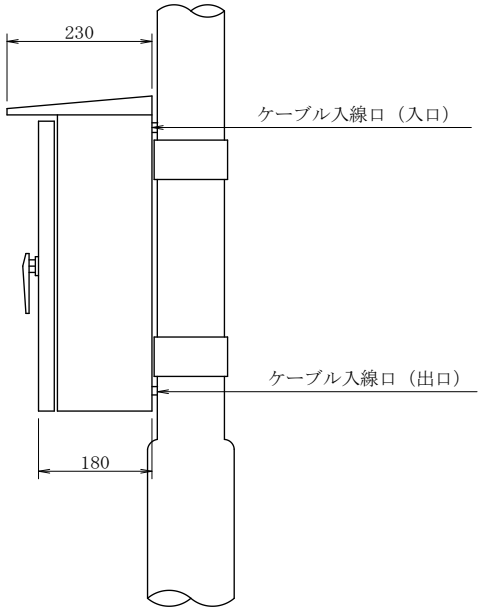
1. 〈 〉内は、A’の寸法とする。
2. 電気用ハンドホール蓋は、鋳鉄製、簡易防臭型、角枠タイプ、T-2またはT-14以上、「電気」文字鋳出、樹脂系塗料塗装品とする。また、鎖は溶融亜鉛メッキ品とする。

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
400 電気施設工	分 電 盤 工	分 電 盤 工	R7.4

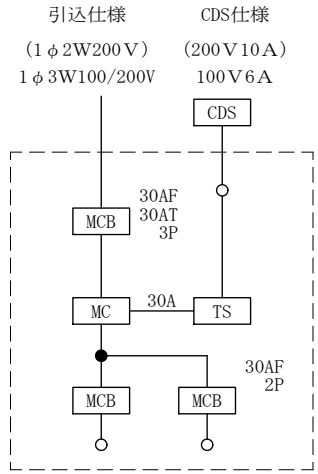
分　電　盤　工







分電盤内結線図



MCB:配線用遮断器
M C:電磁開閉器
T S:テストスイッチ
T B:端子盤
CDS:光電式自動点滅器

分 電 盤 工 材 料 表

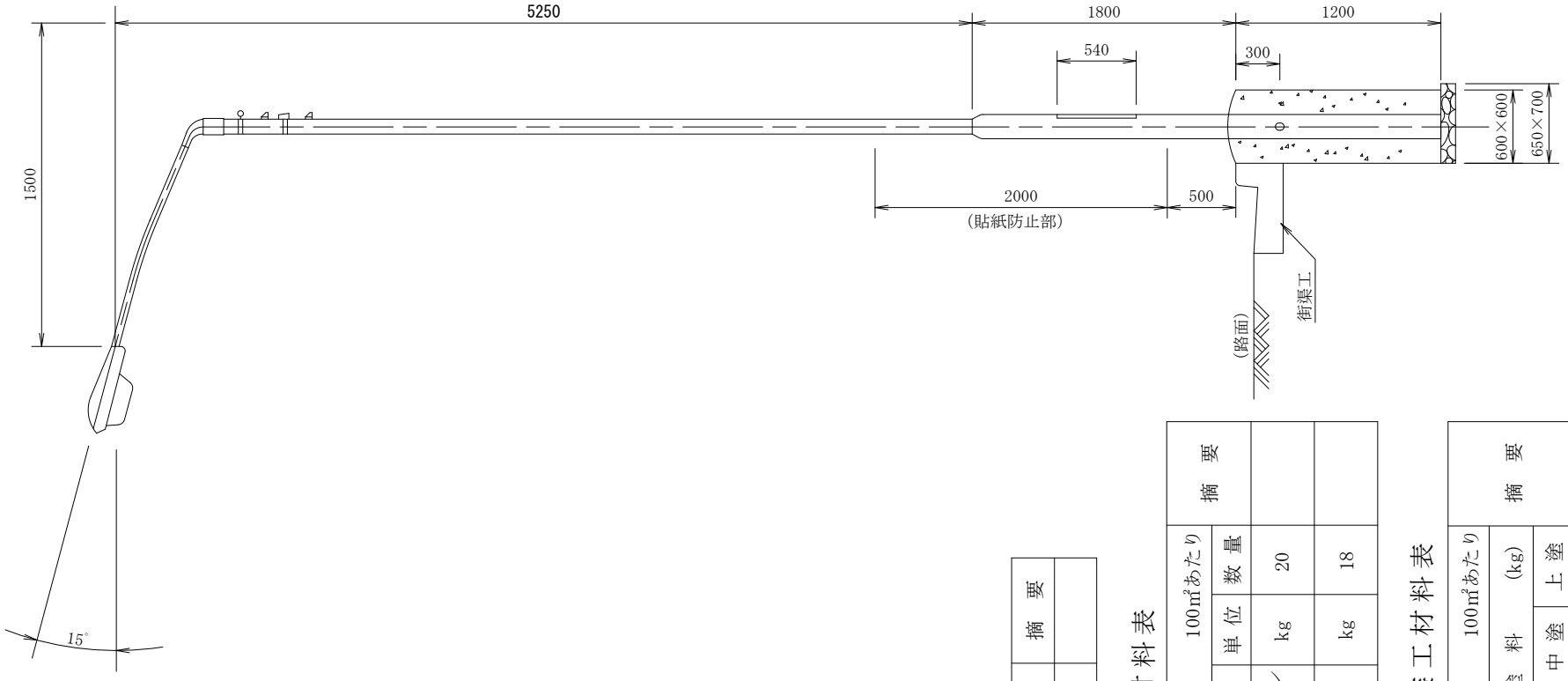
名　　称	材　料　表　1面当り 分電盤箱（鋼板） 500×350×180（面）	摘　　要
分電盤（鋼板）	1	盤内機器共

注意事項

1. （　）内は、Ｂ－３，引込柱の場合とする。
2. 分電盤箱は、屋根付き完全防水とし、錠・鍵付きとする。
（特に指定のないかぎり鍵ナンバーは200または500）
3. 盤材の厚さは、鋼板製1.6㎜以上とする。
4. ケーブル入線口は雨水等が入り込まないように処理すること。
5. 塗装は、灯柱と同系色とし、焼付塗装とする。

大分類	中分類	小分類	適用年度
400 電気施設工	道路照明塗装工	道路照明塗装工	R7.4

道路照明塗装工



素地調整工

名称	ケレン種別	摘要
素地調整	3種ケレン	

塗装工材料表

名称	材料表 規格	単位	100㎡あたり 数量	摘要
塗料(下塗)	弱溶剤形変性エポキシ樹脂さび止め塗料	kg	20	
塗料(中・上塗)	弱溶剤厚膜形ふっ素樹脂中上塗兼用塗料	kg	18	

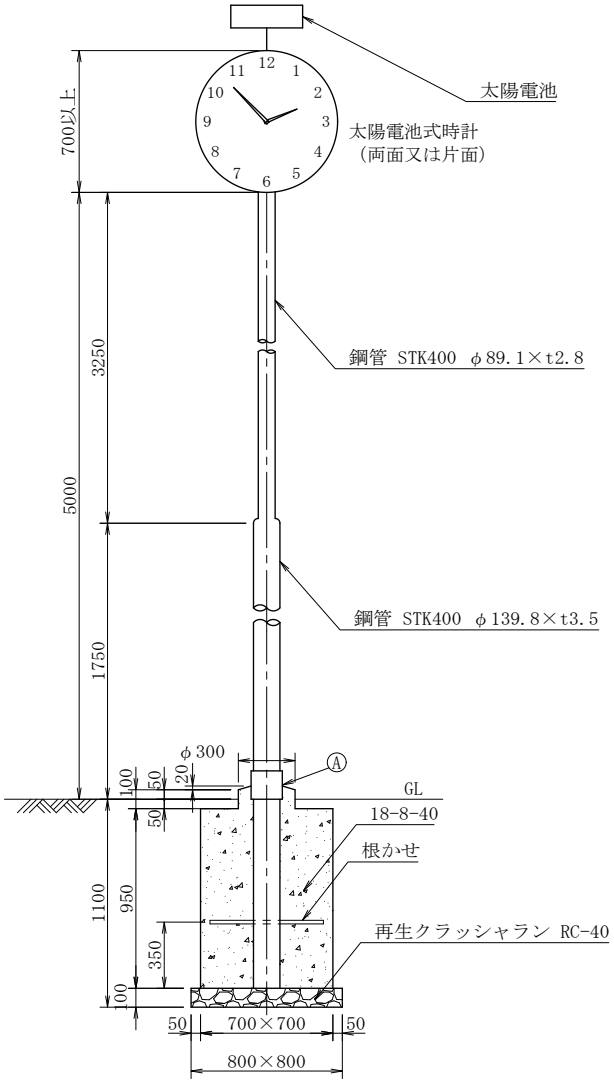
貼紙防止塗装工材料表

名称	材料表 100㎡あたり 塗装前処理(kg)	塗料(kg) 下塗	塗料(kg) 中塗	塗料(kg) 上塗	摘要
メッキ柱	7	30	—	15	

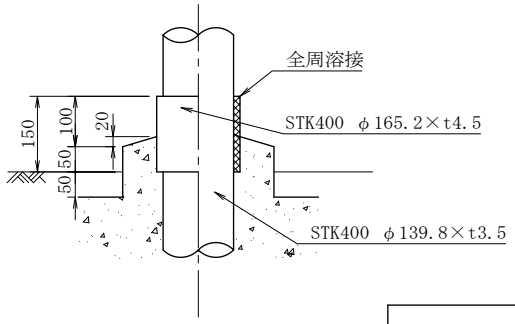
注意事項
ケレン種別は現場状態で判断する。

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
400 電気施設工	太陽電池式 時計塔工	太陽電池式 時計塔工	R7.4

太陽電池式時計塔工　A，B



Ⓐ地際補強図



太陽電池式時計塔 材料表

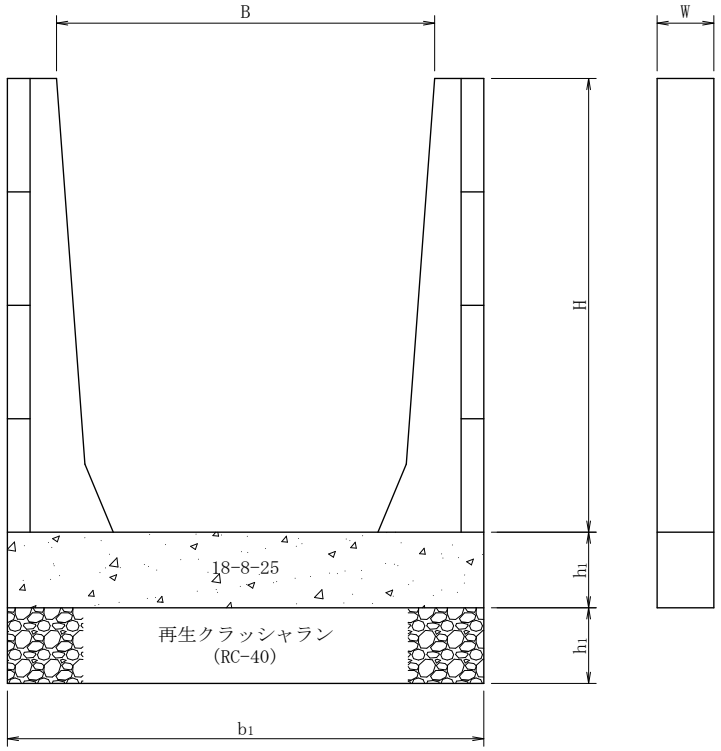
名　称	材　料　表		10基当り		摘　要
	形状寸法	単　位	数　量		
			A（両面）	B（片面）	
再生クラッシャラン	RC-40	m^3	0.64	0.64	
コンクリート	18-8-40	m^3	4.6	4.6	
時　計　塔	太陽電池式	基	10	－	
時　計　塔	太陽電池式	基	－	10	
型　枠		m^2	27.5	27.5	
塗　装		m^2	16.8	16.8	

注意事項

1. 太陽電池式時計については、以下の仕様とする。
   ・丸形とし、大きさは直径が700㎜以上の両面もしくは片面式とする。
   ・枠は鋼板製又はアルミ押出成型品とし、塗装は焼付又は電解発色とする。
   ・文字盤は鋼板製又はアルミ製とし、下地塗装の上、文字は印刷とする。
   ・文字盤カバーはポリカーボネイト製とし、厚さは3㎜とする。
   ・機器はDC3.6V、30秒有極式、精度は月差3秒以内の機能を有するものとする。
   ・本体内蔵型の操作式機器（時刻調整用回路機器）を有し、時計の秒合わせが表裏別々に調整できるものとする。
   ・サマータイム機構を搭載したものとする。
2. 太陽電池パネルは、解放電圧5.4V以上、出力450mW以上で、鳥除け針の付いたものとする。
3. 蓄電池の種類は、ニッケルカドミウム3.6V、1.2Ah以上、無日照動作日90日以上とし、操作用機器と共にポール内に内蔵できるものとする。
4. ポールの形は段付ポールとし、地上部高が5.0ｍで、材質はSTKφ139.8×t3.5㎜（段付上段φ89.1×t2.8㎜）以上の強度を有するものでなければならない。
5. ポールの表面処理は、溶融亜鉛メッキとする。
6. ポールの地際はSTKφ165.2×t4.5㎜を全周溶接し、根かせを取り付けるものとする。
7. 鉄部の塗装は、下塗り、中塗り、ポリウレタン樹脂塗料（指定色）各１回塗装とする。
8. 本体及び支柱部等のネジ部は、すべてステンレス製とする。

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
500 河川水路施設工	Ｕ 形 柵 渠 工	H=0.6m～1.2m	R7.4

Ｕ 形 柵 渠 工



Ｕ 形 柵 渠 工 寸 法 表

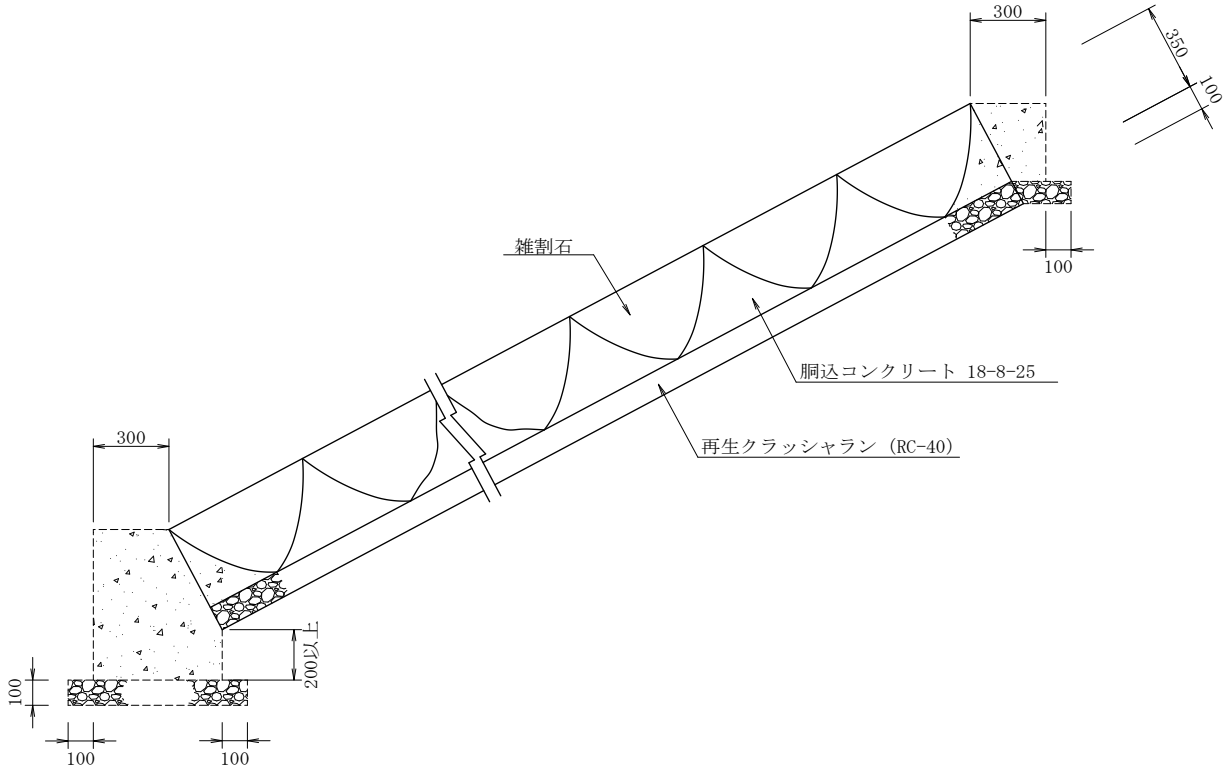
名　称	寸法表 単位（mm）					摘　要
	B	H	h_1	b_1	W	
H 600×B 600	600	600	120	840	120	
H 600×B 1000	600	1000	120	1240	120	
H 900×B 600	900	600	130～160	840～850	120	
H 900×B 1000	900	1000	130～160	1240～1250	120	
H 1200×B 800	1200	800	160～200	1040～1060	150	
H 1200×B 1000	1200	1000	160～200	1240～1260	150	

Ｕ 形 柵 渠 工 寸 法 表

名　称	材料表 15m当り					摘　要
	再生クラッシャラン RC-40(m^3)	コンクリート 18-8-25(m^3)	型枠工 (m^2)	U型アーム (個)	ＲＣ柵板 (枚)	
H 600×B 600	1.512	1.391	3.312	10.0	40	
H 600×B 1000	2.232	2.111	3.312	10.0	40	
H 900×B 600	1.638	1.507	3.588	10.0	60	
H 900×B 1000	2.418	2.287	3.588	10.0	60	
H 1200×B 800	2.496	2.294	4.320	10.0	80	
H 1200×B 1000	2.976	2.736	4.320	10.0	80	

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
500 河川･水路施設工	石　張　工	石　張　工	R7.4

石 張 工



石 張 工 材 料 表

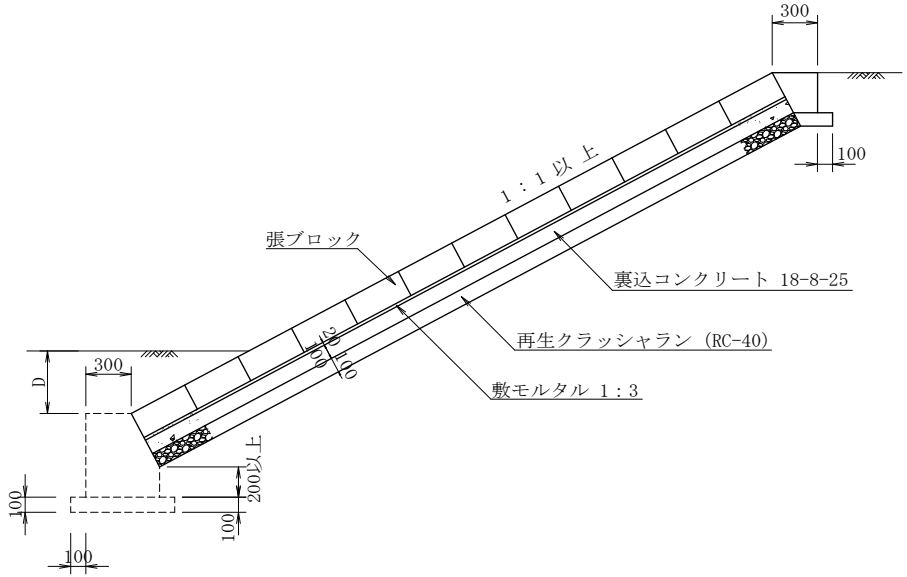
名　称	材　料　表　10m²当り			摘　要
	再生クラッシャラン RC-40(m³)	胴込コンクリート 18-8-25(m³)	雑割石 控長35cm(個)	
石　張　工	1.00	1.925	110	

注意事項

1. 施工延長20m以内に1か所(瀝青質目地板　t=10mm)を施工する。
2. 基礎、天端については平張コンクリートブロック工と同様とする。
3. 道路用として適用する場合は裏込コンクリート18-8-25とする。

大分類	中分類	小分類	適用年度
500 河川･水路施設工	平張コンクリート ブロック工	平張コンクリート ブロック工	R7.4

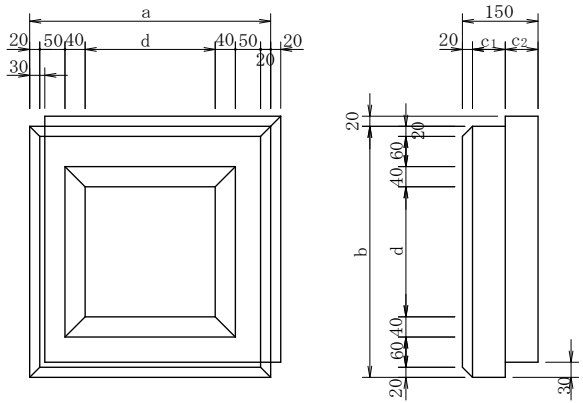
平張コンクリートブロック工



平張コンクリートブロック寸法表

単位（mm）

	名称	a	b	c	c_1	c_2	d	体積（m^3/ケ）	重量（kg/ケ）	数量（ケ/m^3）	質量（kg/m^3）
1	400×400×120	398	398	120	50	50	158	0.017497	40.2	6.25	251
2	400×400×150	398	398	150	65	65	158	0.022131	50.9	6.25	318
3	400×400×200	398	398	200	90	90	158	0.029855	68.7	6.25	429
4	500×500×120	498	498	120	50	50	258	0.027077	62.3	4	249
5	500×500×150	498	498	150	65	65	258	0.034369	79.0	4	310



平張コンクリートブロック材料表

名称	材料表 10m^2当り						摘要
	コンクリートブロック	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40(m^3)	裏込コンクリート 18-8-25(m^3)	敷モルタル 1：3(m^3)	鉄筋 SR235 φ9(kg)	目地モルタル 1：2(m^3)	
平張コンクリートブロック工	別表	1.00	1.00	0.20	必要に応じ計上	必要に応じ計上	

注意事項

1. 根入れ長Dは通常1mであるが状況に応じて考慮する。
2. 施工延長20m以内に1か所(瀝青質目地板　t=10mm)を施工する。
3. 道路用として適用する場合は裏込コンクリートを18-8-25とする。

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
500 河川･水路施設工	開渠ブロック 基 礎 工	A、B	R7.4

開　渠　ブ　ロ　ッ　ク　基　礎　工

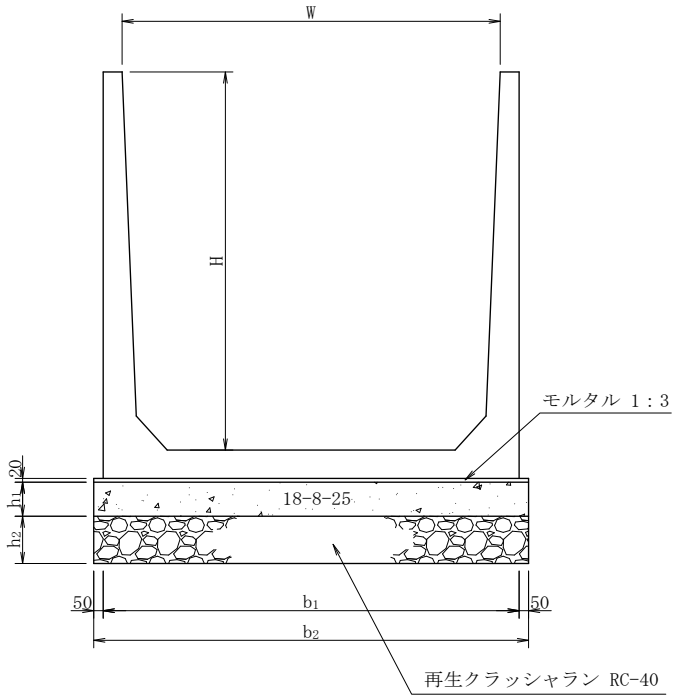
開渠ブロック基礎工寸法表

名　称	寸　法　表　単位（mm）						摘　要
	H	W	h_1	h_2	b_1	b_2	
A	600 ～1400	－	150	200	－	－	
B	1500 ～2000	－	180	250	－	－	

開渠ブロック基礎工材料表

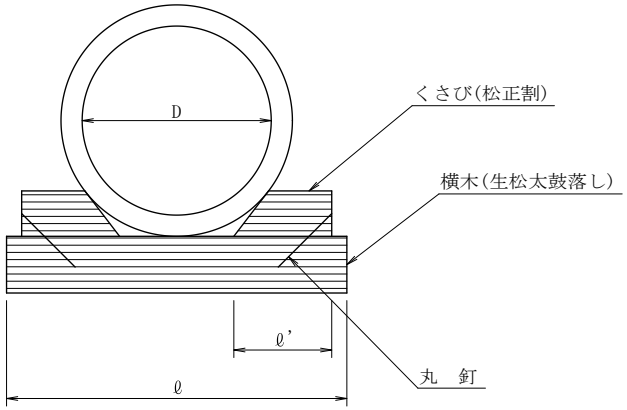
名　称	材　料　表　10m当り					摘　要
	開　渠 ブロック (個)	コンクリート 18-8-25(m^3)	モルタル 1 ： 3(m^3)	型　枠 (m^2)	再　生 クラッシャラン RC-40(m^3)	
A	5	－	－	3.00	－	
B	5	－	－	3.60	－	

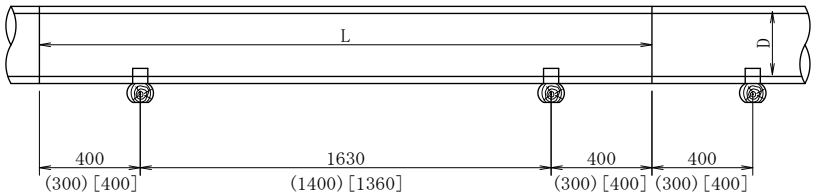
開渠ブロック基礎工（A、B）



大分類	中分類	小分類	適用年度
600 管渠工	まくら土台基礎工	まくら土台基礎工	R7.4

まくら土台基礎工





(　　)内数値は長さ　2000㎜管の場合
[　　]内数値は長さ　2360㎜管の場合

まくら土台基礎工材料表

1m当り

内径(㎜) ＼ 名称	生松太鼓落(横木材)	松正割(くさび材)	丸くぎ
	形状寸法		
	数量		
250～350	長㎜ 末口cm 仕上げcm 450 × 10.5 × 7.5	長m 末口cm 仕上げcm 4.0 × 6.0 × 6.0	径㎜ × 長㎜ 4 × 100
	0.0050 m^3	0.0010 m^3	0.023 kg
400	450 × 12.0 × 9.0	4.0 × 6.0 × 6.0	4 × 100
	0.0054	0.0008	0.019
450～600	600 × 12.0 × 9.0	4.0 × 6.0 × 6.0	4 × 100
	0.0071	0.0011	0.019
700～1000	900 × 15.0 × 12.0	4.0 × 7.5 × 7.5	5 × 150
	0.0169	0.0026	0.040
1100,1200	1200 × 15.0 × 12.0	4.0 × 7.5 × 7.5	5 × 150
	0.0247	0.0037	0.040
1350	1500 × 15.0 × 12.0	4.0 × 7.5 × 7.5	5 × 150
	0.0280	0.0037	0.040
1500	1500 × 18.0 × 15.0	4.0 × 9.0 × 9.0	5 × 150
	0.0399	0.0053	0.040
1650,1800	1800 × 18.0 × 15.0	4.0 × 9.0 × 9.0	5 × 150
	0.0477	0.0053	0.040

まくら土台基礎工寸法表

内径 D	寸法表 単位(㎜)				摘要
	横木材		くさび材		
	生松太鼓落	ℓ	松正割	ℓ'	
250～350	105× 75	450	60×60	150	
400	120× 90	450	60×60	150	
450～600	120× 90	600	60×60	200	
700～1000	150×120	900	75×75	300	
1100～1200	150×120	1200	75×75	400	
1350	150×120	1500	75×75	400	
1500	180×150	1500	90×90	400	
1650～1800	180×150	1800	90×90	400	

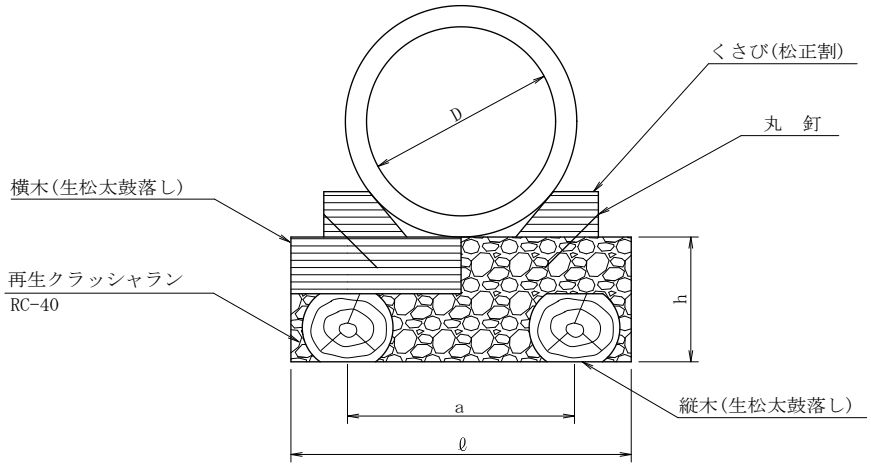
大分類	中分類	小分類	適用年度
600 管渠工	はしご胴木基礎工	はしご胴木基礎工	R7.4

はしご胴木基礎工

はしご胴木基礎工寸法表

単位（mm）

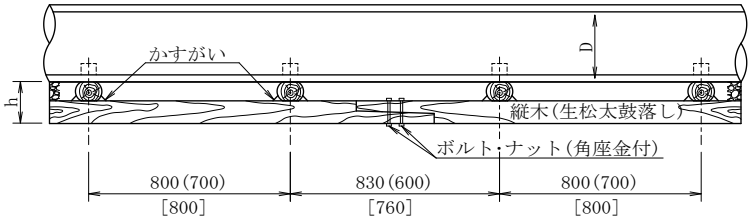
名称 / 内径(D)	寸法表 縦木間隔(a)	基礎幅(ℓ)	基礎厚(h)	くさび長さ	摘要
250～350	300	450	165	150	
400	300	450	180	150	
450～600	400	600	180	200	
700～1000	600	900	240	300	
1100, 1200	800	1200	240	400	
1350	1000	1500	240	400	
1500	1000	1500	300	400	
1650, 1800	1200	1800	300	400	



はしご胴木基礎工材料表

1m当り

名称 / 内径(mm)	生松太鼓落(横木材)	生松太鼓落(縦木材)	松正割(くさび材)	丸くぎ	かすがい	ボルト・ナット(角座金付)	再生クラッシャラン
	形状寸法						
	数量						
250～350	長 mm 末口 cm 仕上げ cm 450 × 10.5 × 7.5	長 m 末口 cm 仕上げ cm 4.0 × 12.0 × 9.0	長 m 末口 cm 仕上げ cm 4.0 × 6.0 × 6.0	径 長さ mm 4 × 100	径 長さ mm 9 × 150	径 直下 mm 9 × 125	RC-40
	0.0075 m³	0.0304 m³	0.0014 m³	0.033 kg	5 本	1.047 kg	0.043 m³
400	450 × 12.0 × 9.0	4.0 × 12.0 × 9.0	4.0 × 6.0 × 6.0	4 × 100	9 × 150	9 × 125	RC-40
	0.0080	0.0304	0.0012	0.027	5	1.047	0.052
450～600	600 × 12.0 × 9.0	4.0 × 12.0 × 9.0	4.0 × 6.0 × 6.0	4 × 100	9 × 150	9 × 125	RC-40
	0.0107	0.0304	0.0016	0.027	5	1.047	0.080
700～1000	900 × 15.0 × 12.0	4.0 × 15.0 × 12.0	4.0 × 7.5 × 7.5	4 × 150	9 × 180	9 × 150	RC-40
	0.0203	0.0479	0.0040	0.060	5	1.064	0.172
1100, 1200	1200 × 15.0 × 12.0	4.0 × 15.0 × 12.0	4.0 × 7.5 × 7.5	4 × 150	9 × 180	9 × 150	RC-40
	0.0370	0.0479	0.0056	0.060	5	1.064	0.244
1350	1500 × 15.0 × 12.0	4.0 × 15.0 × 12.0	4.0 × 7.5 × 7.5	4 × 150	9 × 180	9 × 150	RC-40
	0.0420	0.0479	0.0056	0.060	5	1.064	0.324
1500	1500 × 18.0 × 15.0	4.0 × 18.0 × 15.0	4.0 × 9.0 × 9.0	4 × 150	12 × 210	13 × 210	RC-40
	0.0599	0.0703	0.0080	0.060	5	1.081	0.384
1650, 1800	1800 × 18.0 × 15.0	4.0 × 18.0 × 15.0	4.0 × 9.0 × 9.0	4 × 150	12 × 210	13 × 210	RC-40
	0.0716	0.0703	0.0080	0.060	5	1.081	0.478



(　　)内数値は長さ　2000㎜管の場合
[　　]内数値は長さ　2360㎜管の場合

大分類	中分類	小分類	適用年度
600 管渠工	コンクリート巻立基礎工	90°巻	R7.4

90° コンクリート巻立基礎工

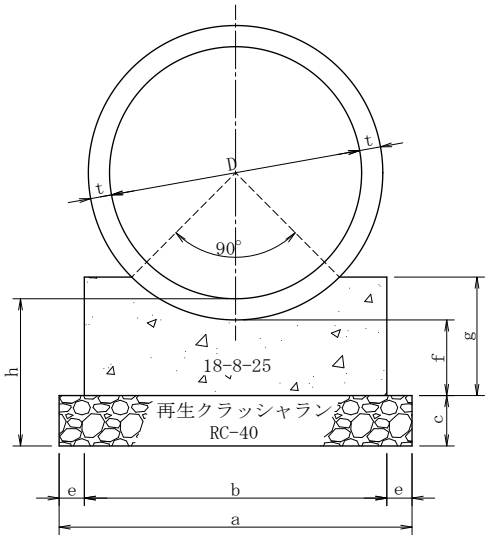
90° コンクリート巻立基礎工寸法表

名称	寸法表 単位(mm)									摘要
	D	t	a	b	c	e	f	h	g	
B 150	150	26	450	350	100	50	100	226	130	
B 200	200	27	500	400	100	50	100	227	137	
B 250	250	28	500	400	100	50	100	228	145	
B 300	300	30	550	450	100	50	100	230	153	
B 350	350	32	600	500	100	50	100	232	161	
B 400	400	35	650	550	100	50	100	235	169	
B 450	450	38	650	550	100	50	100	238	177	
B 500	500	42	700	600	100	50	150	292	235	
B 600	600	50	800	700	100	50	150	300	252	
B 700	700	58	950	850	100	50	200	358	320	
B 800	800	66	1050	950	100	50	200	366	336	
B 900	900	75	1200	1100	100	50	200	375	354	
B1000	1000	82	1350	1250	100	50	200	382	370	
B1100	1100	88	1450	1350	150	50	250	488	437	
B1200	1200	95	1550	1450	150	50	250	495	453	
B1350	1350	103	1750	1650	150	50	250	503	478	
C1500	1500	112	1850	1750	150	50	300	562	552	
C1650	1650	120	2000	1900	150	50	300	570	577	
C1800	1800	127	2200	2100	150	50	300	577	601	
C2000	2000	145	2400	2300	150	50	350	645	685	
C2200	2200	160	2650	2550	150	50	400	710	769	
C2400	2400	175	2850	2750	150	50	400	725	803	

90° コンクリート巻立基礎工材料表

名称	材料表 10m当り			摘要
	再生クラッシャラン RC-40(m³)	コンクリート 18-8-25(m³)	型枠 (m²)	
150	0.45	0.426	2.6	
200	0.50	0.502	2.7	
250	0.50	0.513	2.9	
300	0.55	0.592	3.1	
350	0.60	0.682	3.2	
400	0.65	0.772	3.4	
450	0.65	0.776	3.5	
500	0.70	1.167	4.7	
600	0.80	1.415	5.1	
700	0.95	2.246	6.4	
800	1.05	2.253	6.7	
900	1.20	3.108	7.1	
1000	1.35	3.660	7.4	
1100	2.18	4.739	8.7	
1200	2.33	5.192	9.1	
1350	2.63	6.162	9.6	
1500	2.78	7.542	11.0	
1650	3.00	8.418	11.5	
1800	3.30	9.694	12.0	
2000	3.60	12.019	13.7	
2200	3.98	15.085	15.4	
2400	4.28	16.694	16.1	

90° コンクリート巻立基礎工



注意事項

1. BはB形管、CはC形管を表す。
2. 床均しを含む。

大分類	中分類	小分類	適用年度
600 管渠工	コンクリート巻立基礎工	120°巻	R7.4

120° コンクリート巻立基礎工

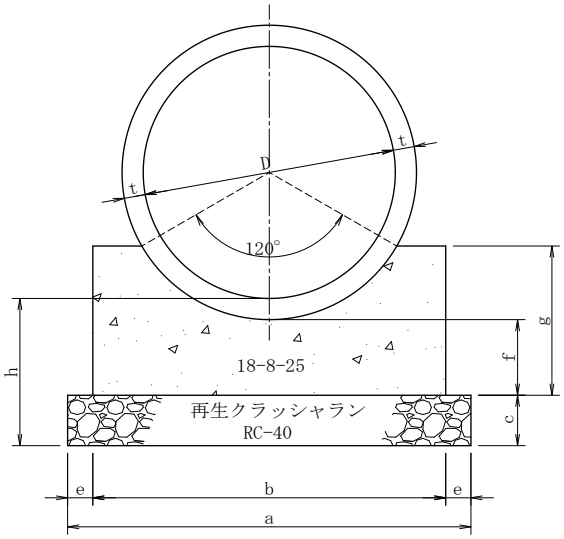
120° コンクリート巻立基礎工寸法表

名称	寸法表 単位(mm)									摘要
	D	t	a	b	c	e	f	h	g	
B 150	150	26	450	350	100	50	100	226	151	
B 200	200	27	500	400	100	50	100	227	164	
B 250	250	28	550	450	100	50	100	228	177	
B 300	300	30	600	500	100	50	100	230	190	
B 350	350	32	650	550	100	50	100	232	204	
B 400	400	35	700	600	100	50	100	235	218	
B 450	450	38	750	650	100	50	100	238	232	
B 500	500	42	800	700	100	50	150	292	296	
B 600	600	50	900	800	100	50	150	300	325	
B 700	700	58	1000	900	100	50	150	308	354	
B 800	800	66	1150	1050	100	50	150	316	383	
B 900	900	75	1350	1250	100	50	200	375	463	
B1000	1000	82	1450	1350	100	50	200	382	491	
B1100	1100	88	1550	1450	150	50	250	488	569	
B1200	1200	95	1700	1600	150	50	250	495	598	
B1350	1350	103	1900	1800	150	50	250	503	639	
C1500	1500	112	2050	1950	150	50	300	562	731	
C1650	1650	120	2250	2150	150	50	300	570	773	
C1800	1800	127	2400	2300	150	50	300	577	814	
C2000	2000	145	2600	2500	150	50	350	645	923	
C2200	2200	160	2800	2700	150	50	400	710	1030	
C2400	2400	175	3000	2900	150	50	400	725	1088	

120° コンクリート巻立基礎工材料表

名称	材料表 10m当り			摘要
	再生クラッシャラン RC-40(m³)	コンクリート 18-8-25(m³)	型枠 (m²)	
150	0.45	0.466	3.0	
200	0.50	0.557	3.3	
250	0.55	0.653	3.5	
300	0.60	0.751	3.8	
350	0.65	0.859	4.1	
400	0.70	0.969	4.4	
450	0.75	1.084	4.6	
500	0.80	1.549	5.9	
600	0.90	1.848	6.5	
700	1.00	2.165	7.1	
800	1.15	2.689	7.7	
900	1.35	4.097	9.3	
1000	1.45	4.550	9.8	
1100	2.33	5.753	11.4	
1200	2.55	6.605	12.0	
1350	2.85	7.789	12.8	
1500	3.08	9.696	14.6	
1650	3.38	11.141	15.5	
1800	3.60	12.251	16.3	
2000	3.90	15.032	18.5	
2200	4.20	18.070	20.6	
2400	4.50	19.953	21.8	

120° コンクリート巻立基礎工



注意事項

1. BはB形管、CはC形管を表す。
2. 床均しを含む。

大分類	中分類	小分類	適用年度
600 管渠工	コンクリート巻立基礎工	180°巻	R7.4

180° コンクリート巻立基礎工

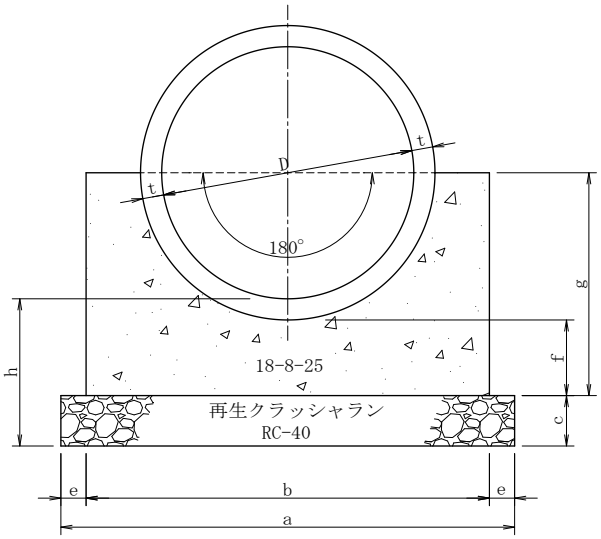
180° コンクリート巻立基礎工寸法表

名称	寸法表 単位(mm)									摘要
	D	t	a	b	c	e	f	h	g	
B 150	150	26	500	400	100	50	100	226	201	
B 200	200	27	550	450	100	50	100	227	227	
B 250	250	28	600	500	100	50	100	228	253	
B 300	300	30	650	550	100	50	100	230	280	
B 350	350	32	700	600	100	50	100	232	307	
B 400	400	35	750	650	100	50	100	235	335	
B 450	450	38	850	750	100	50	100	238	363	
B 500	500	42	900	800	100	50	150	292	442	
B 600	600	50	1000	900	100	50	150	300	500	
B 700	700	58	1100	1000	100	50	200	358	608	
B 800	800	66	1300	1200	100	50	200	366	666	
B 900	900	75	1450	1350	100	50	200	375	725	
B1000	1000	82	1600	1500	100	50	200	382	782	
B1100	1100	88	1750	1650	150	50	250	488	888	
B1200	1200	95	1900	1800	150	50	250	495	945	
B1350	1350	103	2100	2000	150	50	250	503	1028	
C1500	1500	112	2200	2100	150	50	300	562	1162	
C1650	1650	120	2450	2350	150	50	300	570	1245	
C1800	1800	127	2600	2500	150	50	300	577	1327	
C2000	2000	145	2850	2750	150	50	350	645	1495	
C2200	2200	160	3050	2950	150	50	400	710	1660	
C2400	2400	175	3350	3250	150	50	400	725	1775	

180° コンクリート巻立基礎工材料表

名称	材料表 10m当り			摘要
	再生クラッシャラン RC-40(m³)	コンクリート 18-8-25(m³)	型枠 (m²)	
150	0.50	0.643	4.0	
200	0.55	0.768	4.5	
250	0.60	0.897	5.1	
300	0.65	1.031	5.6	
350	0.70	1.169	6.1	
400	0.75	1.310	6.7	
450	0.85	1.637	7.3	
500	0.90	2.197	8.8	
600	1.00	2.577	10.0	
700	1.10	3.467	12.2	
800	1.30	4.583	13.3	
900	1.45	5.460	14.5	
1000	1.60	6.412	15.6	
1100	2.63	8.261	17.8	
1200	2.85	9.427	18.9	
1350	3.15	11.057	20.6	
1500	3.30	12.736	23.2	
1650	3.68	15.237	24.9	
1800	3.90	16.616	26.5	
2000	4.28	20.523	29.9	
2200	4.58	24.045	33.2	
2400	5.03	28.005	35.5	

180° コンクリート巻立基礎工



注意事項

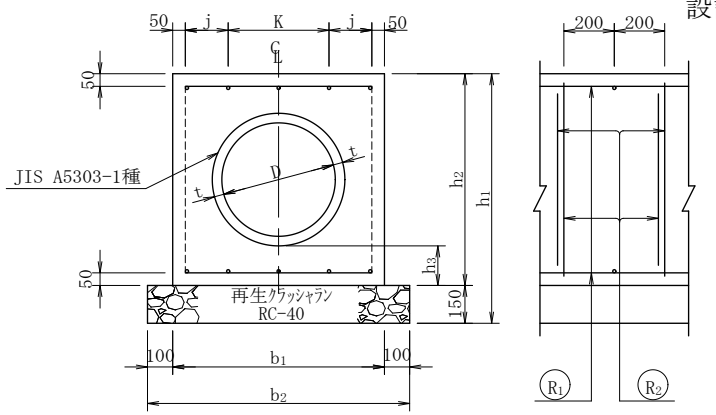
1. BはB形管、CはC形管を表す。
2. 床均しを含む。

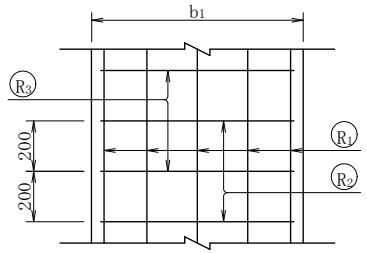
大分類	中分類	小分類	適用年度
600 管渠工	コンクリート巻立基礎工	360°巻 P3型	R7.4

P3型

コンクリート巻立基礎工

設計基準強度　基礎コンクリート　σck = 18N/mm²

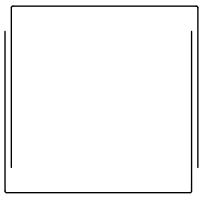




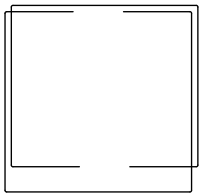
注意事項

1. 使用管種は JIS A5303 遠心力鉄筋コンクリート管外圧管第1種を標準とする。
2. 基礎材の使用材料を図中(　)内に明記すること。
3. 管きょ断面を決定する場合は、断面に余裕を見込むこと。
4. 型わく面積は、基礎コンクリート両側面のみ計上した。
5. 管本数の計算に用いた単管長は、管径D200～350の場合を2000mm、D400～1800の場合を2430mmとしている。
6. 継手形式は、別途考慮すること。
7. 呑口、吐口の構造を十分検討すること。

鉄筋組立図
(D450以上)



(D400以下)



P 3 型（管きょ：360° 固定基礎）寸法および材料表

単位（mm）

名称	寸法表 D	t	b1	b2	h1	h2	h3	j	K	材料表 10m当り コンクリート 18-8-25(m³)	再生クラッシャラン RC-40(m³)	型枠 (m²)	コンクリート管 本数	摘要
P3 - D200	200	27	460	660	610	460	100	—	360(=2×180)	1.610	0.990	9.200	5.0	JIS A 5303 遠心力鉄筋コンクリート管(1種)を使用
P3 - D250	250	28	520	720	670	520	100	—	420(=2×210)	1.969	1.080	10.400	5.0	
P3 - D300	300	30	560	760	710	560	100	—	460(=2×230)	2.118	1.140	11.200	5.0	
P3 - D350	350	32	620	820	770	620	100	160	200	2.499	1.230	12.400	5.0	
P3 - D400	400	35	780	980	930	780	150	140	400(=2×200)	4.350	1.470	15.600	4.1	
P3 - D450	450	38	840	1040	990	840	150	170	400(=2×200)	4.884	1.560	16.800	4.1	
P3 - D500	500	42	900	1100	1050	900	150	—	800(=2×400)	5.428	1.650	18.000	4.1	

P 3 型　鉄筋材料表

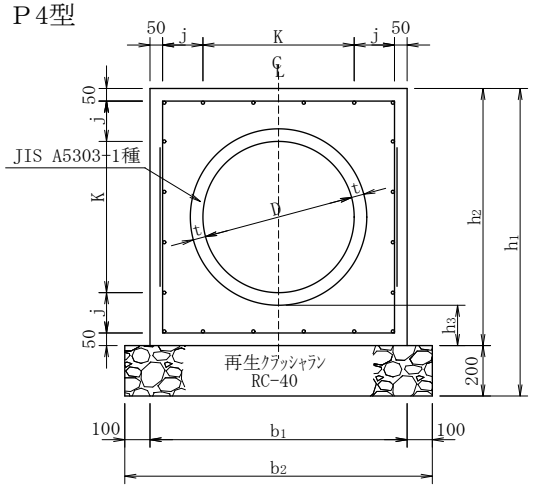
名称	縦方向鉄筋 R1 1m当り 鉄筋径	本数	単位重量(kg/m)	重量(kg)	横方向鉄筋 R2 1m当り 鉄筋径	本数	1本当り長さ(mm)	単位重量(kg/m)	重量(kg)	横方向鉄筋 R3 1m当り 鉄筋径	本数	1本当り長さ(mm)	単位重量(kg/m)	重量(kg)	形状	鉄筋総重量(kg)	摘要
P3 - D200	D13	6	0.995	5.970	D13	5	360	0.995	1.791	D13	5	1240	0.995	6.169		13.930	
P3 - D250	D13	6	0.995	5.970	D13	5	420	0.995	2.090	D13	5	1360	0.995	6.766		14.826	
P3 - D300	D13	6	0.995	5.970	D13	5	460	0.995	2.289	D13	5	1440	0.995	7.164		15.423	
P3 - D350	D13	8	0.995	7.960	D13	5	520	0.995	2.587	D13	5	1560	0.995	7.761		18.308	
P3 - D400	D13	10	0.995	9.950	D13	5	680	0.995	3.383	D13	5	1880	0.995	9.353		22.686	
P3 - D450	D13	10	0.995	9.950	D13	5	740	0.995	3.682	D13	5	2000	0.995	9.950		23.582	
P3 - D500	D16	10	1.560	15.600	D13	5	800	0.995	3.980	D13	5	2120	0.995	10.547		30.127	

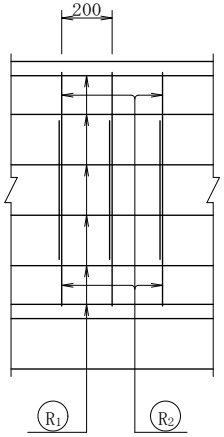
大分類	中分類	小分類	適用年度
600 管渠工	コンクリート巻立基礎工	360° 巻 P4型	R7.4

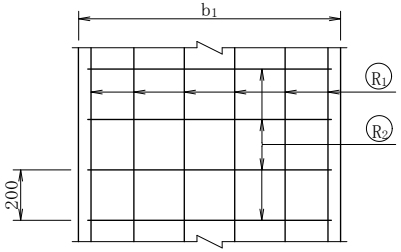
コンクリート巻立基礎工

設計基準強度　基礎コンクリート　σck = 18N/mm²

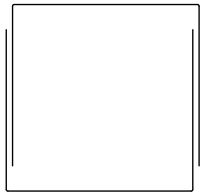
P4型







鉄筋組立図



P 4 型　　鉄 筋 材 料 表

名称	縦方向鉄筋 R1 1m当り				横方向鉄筋 R3 1m当り						鉄筋総重量 (kg)	摘要
	鉄筋径	本数	単位重量 (kg/m)	重量 (kg)	鉄筋径	本数	1本当り長さ(mm)	単位重量 (kg/m)	重量 (kg)	形状		
P4 - D600	D13	20	0.995	19.900	D13	10	2320	0.995	23.084		42.984	
P4 - D700	D13	24	0.995	23.880	D13	10	2760	0.995	27.462		51.342	
P4 - D800	D16	28	1.560	43.680	D13	10	3000	0.995	29.850		73.530	
P4 - D900	D16	28	1.560	43.680	D13	10	3240	0.995	32.238		75.918	
P4 - D1000	D16	32	1.560	49.920	D13	10	3480	0.995	34.626		84.546	

注意事項

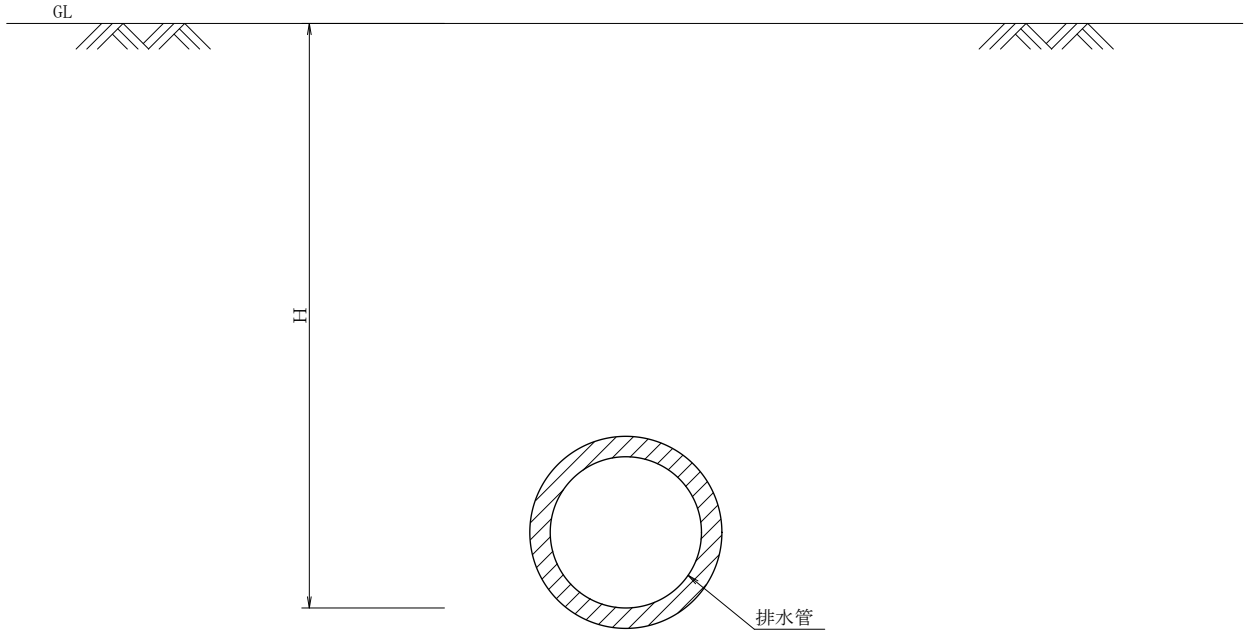
1. 使用管種は JIS A5303 遠心力鉄筋コンクリート管外圧管第1種を標準とする。
2. 基礎材の使用材料を図中( )内に明記すること。
3. 管きょ断面を決定する場合は、断面に余裕を見込むこと。
4. 型わく面積は、基礎コンクリート両側面のみ計上した。
5. 管本数の計算に用いた単管長は、管径D200～350の場合を2000mm、D400～1800の場合を2430mmとしている。
6. 継手形式は、別途考慮すること。
7. 呑口、吐口の構造を十分検討すること。

P 4 型（管きょ：360° 固定基礎）寸法および材料表

名称	寸法表 単位(mm)									材料表 10m当り				摘要
	D	t	b1	b2	h1	h2	h3	j	K	コンクリート 18-8-25(m³)	再生クラッシャラン RC-40(m³)	型枠 (m²)	コンクリート管 本数	
P4 - D600	600	50	1000	1200	1200	1000	150	150	600(=3×200)	6.154	2.400	20.000	4.1	JIS A 5303 遠心力鉄筋コンクリート管(1種)を使用
P4 - D700	700	58	1220	1420	1420	1220	200	160	800(=4×200)	9.657	2.840	24.400	4.1	
P4 - D800	800	66	1340	1540	1540	1340	200	120	1000(=5×200)	11.137	3.080	26.800	4.1	
P4 - D900	900	75	1460	1660	1660	1460	200	180	1000(=5×200)	12.661	3.320	29.200	4.1	
P4 - D1000	1000	82	1580	1780	1780	1580	200	140	1200(=6×200)	14.328	3.560	31.600	4.1	

大分類	中分類	小分類	適用年度
600 管渠工	公園管渠工	公園管渠工	R7.4

公　園　管　渠　工



公園管渠工材料表

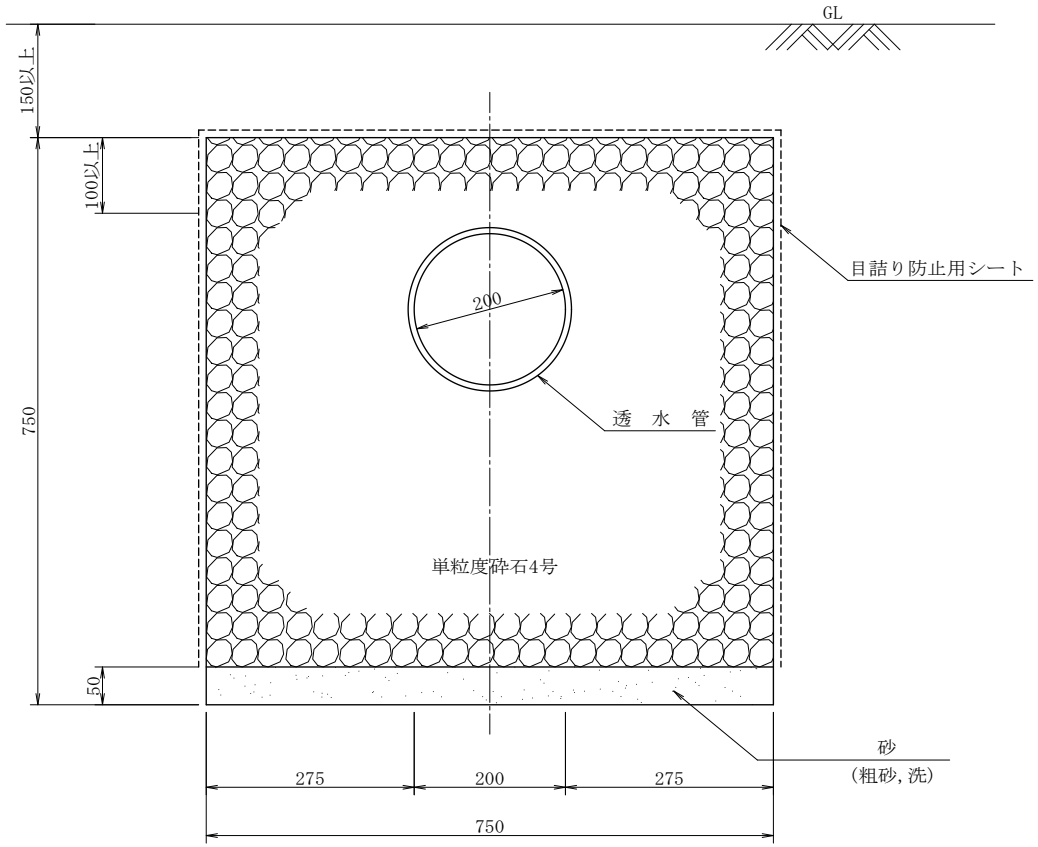
名称		材料表 10m当り								摘要
		陶管（本）		遠心力鉄筋コンクリート管(本)		硬質塩化ビニル管（m）		モルタル	滑剤	
		φ150×19.5×660	φ200×23×660	B型 1種 φ150×26×2000	B型 1種 φ200×27×2000	ゴム輪受口片受 φ150	ゴム輪受口片受 φ200	1：2(m³)	(kg)	
陶管 T.P	φ150	15.152	—	—	—	—	—	0.020	—	
	φ200	—	15.152	—	—	—	—	0.030	—	
遠心力鉄筋コンクリート管 H.P	φ150	—	—	5.000	—	—	—	—	—	
	φ200	—	—	—	5.000	—	—	—	—	
硬質塩化ビニル管 V.U	φ150	—	—	—	—	10.000	—	—	0.05	
	φ200	—	—	—	—	—	10.000	—	0.06	

注意事項

1. Hは特に指定のあるものを除き使用する桝の標準取付位置とする。

大分類	中分類	小分類	適用年度
600 管渠工	浸透地下埋管工	浸透地下埋管工	R7.4

浸透地下埋管工



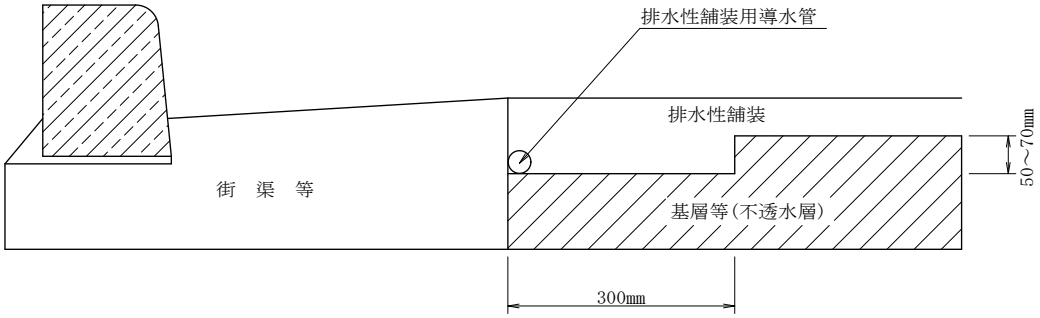
浸透地下埋管工材料表

名称	材料表 10m当り				摘要
	透水管塩ビ管VP φ200 (m)	単粒度砕石4号 (m^3)	砂、粗砂、洗 (m^3)	目詰り防止用シート ＃300 (m^2)	
浸透地下埋管工	10.0	4.883	0.375	22.50	

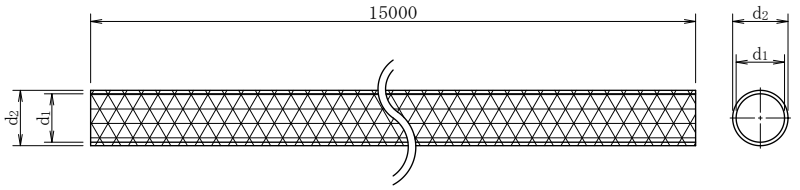
大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
600 管　渠　工	排水性舗装用 導水管設置工	排水性舗装用 導水管設置工	R7.4

排水性舗装用導水管設置工

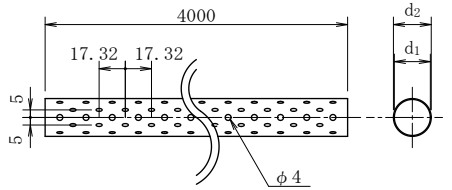
縦断方向



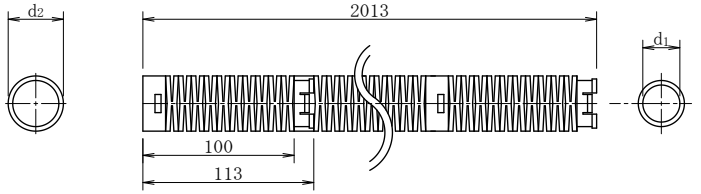
合成樹脂網状管



ＳＵＳ有孔管



再生樹脂管



排水性舗装用導水管設置工材料表　　100m当り

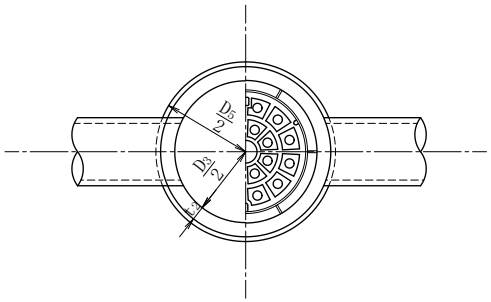
名　称		形状寸法 単位（mm） d1	d2	L	数量 L	摘　要
合成樹脂網状管	φ20mm	20.0	24.0	15000	100.0	
	φ30mm	32.0	36.6	15000	100.0	
ＳＵＳ有孔管	φ20mm	20.5	21.7	4000	100.0	
	φ25mm	23.8	25.0	4000	100.0	
再生樹脂管	φ20mm	20.0	24.0	113	100.0	
	φ30mm	30.5	36.5	113	100.0	

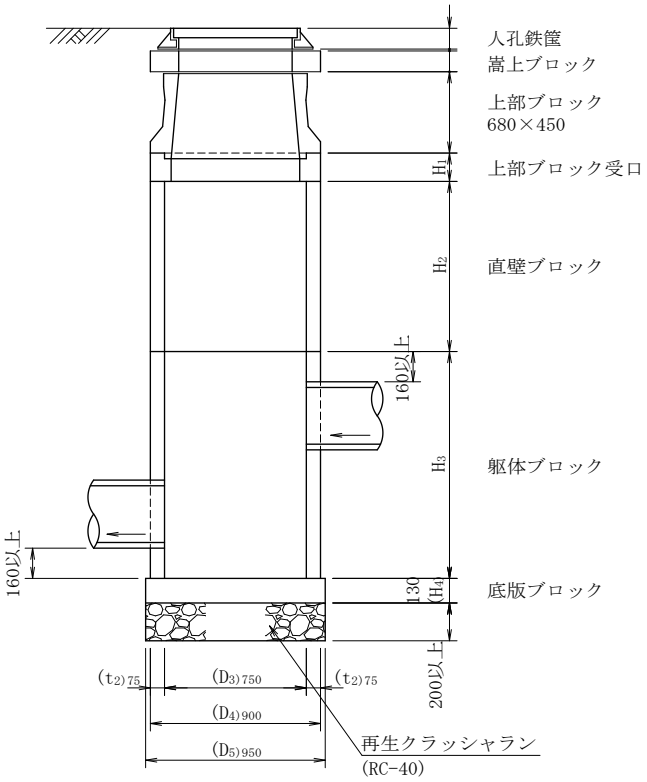
注意事項

1. 合成樹脂網状管及び再生樹脂導水管の材質は、100％リサイクル材を使用する。
2. 合成樹脂網状管は、縦糸があるタイプとする。
3. ＳＵＳ有孔管の材質は、18-8ステンレス(ＳＵＳ304)とする。
4. ＳＵＳ有孔管を街渠桝等に接続する場合は、フレキシブルパイプを用いて接続すること。
5. 再生樹脂管を街渠桝等に接続する場合は、Ｔ字継手(チーズ)を用いて接続することもできる。

大分類	中分類	小分類	適用年度
700 人孔工	丸組立人孔工	０号	R7.4

丸組立人孔工（０号）

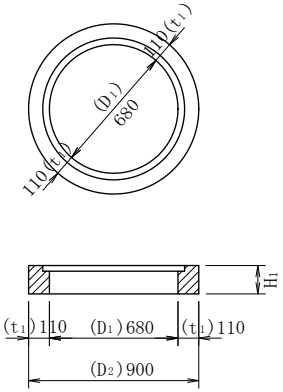




第０号丸組立人孔工寸法表

名称		寸法表 H1	寸法表 H2	寸法表 H3	摘要
上部ブロック受口	680×100	100	——	——	
	680×150	150	——	——	
	680×200	200	——	——	
直壁・躯体ブロック	750×300	——	300	——	
	750×600	——	600	600	
	750×900	——	900	900	
	750×1200	——	1200	1200	
	750×1500	——	1500	1500	
	750×1800	——	1800	1800	

上部ブロック受口（０号丸）



寸法の許容差

単位(mm)

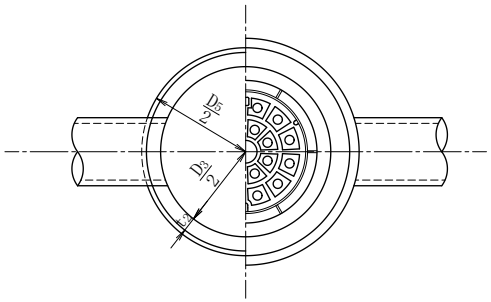
呼び名	D1	H1	D3	H2	H3	t2	D5	H4	
上部ブロック受口	±8	±5	——	——	——	——	——	——	
直壁ブロック	——	——	±5	±5	——	+9 −2	——	——	
躯体ブロック	——	——	±5	——	±5	+9 −2	——	——	
底版ブロック	——	——	——	——	——	——	±4	±5	

注意事項

1. 上部ブロック受口の下端面の形状は、組立マンホール部材との接合面と一致する凹凸加工を施した形状とする。

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
700 人　孔　工	丸組立人孔工	１号	R7.4

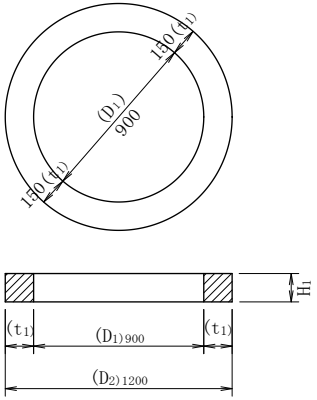
丸組立人孔工（１号）

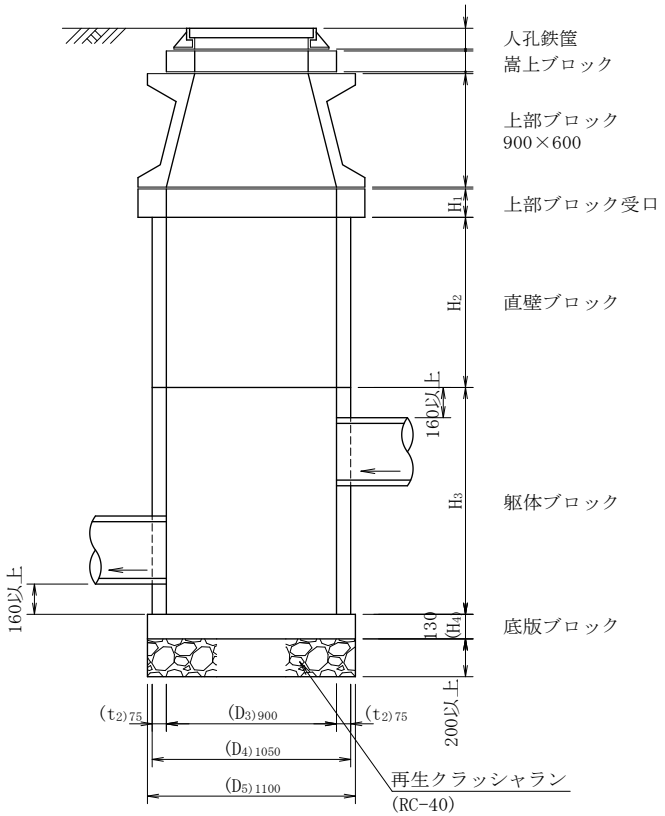


第１号丸組立人孔工寸法表

名　称		寸法表 単位(mm) H1	H2	H3	摘　要
上部ブロック受口	900×100	100	——	——	
	900×150	150	——	——	
	900×200	200	——	——	
直壁・躯体ブロック	900×300	——	300	——	
	900×600	——	600	600	
	900×900	——	900	900	
	900×1200	——	1200	1200	
	900×1500	——	1500	1500	
	900×1800	——	1800	1800	

上部ブロック受口（１号丸）





寸　法　の　許　容　差

単位(mm)

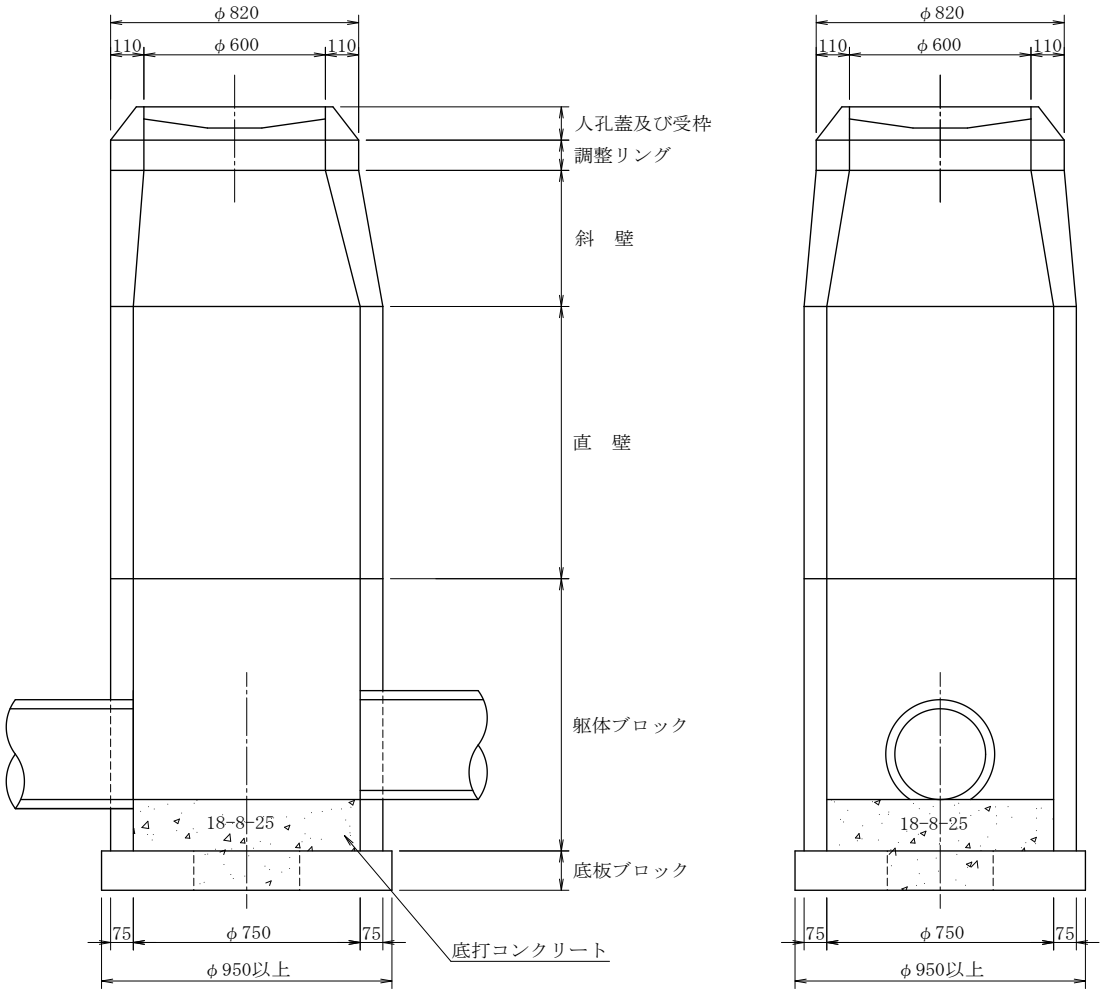
呼　び　名	D1	H1	D3	H2	H3	t2	D5	H4	
上部ブロック受口	±8	±5	——	——	——	——	——	——	
直壁ブロック	——	——	±5	±5	——	+9 −2	——	——	
躯体ブロック	——	——	±5	——	±5	+9 −2	——	——	
底版ブロック	——	——	——	——	——	——	±5	±5	

注意事項

1. 上部ブロック受口の下端面の形状は、組立マンホール部材との接合面と一致する凹凸加工を施した形状とする。

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
700 人　孔　工	組立人孔工	０　号	R7.4

組立人孔工０号



調整リング寸法表

	径 × 高　(㎜)
調整リング	600×50
	600×100
	600×150

０号斜壁ブロック寸法表

	上径×下径×高(㎜)
ブロック斜壁	600×750×300
	600×750×450

０号直壁ブロック寸法表

	径 × 高　(㎜)
ブロック直壁	750×300
	750×600
	750×900
	750×1200
	750×1500

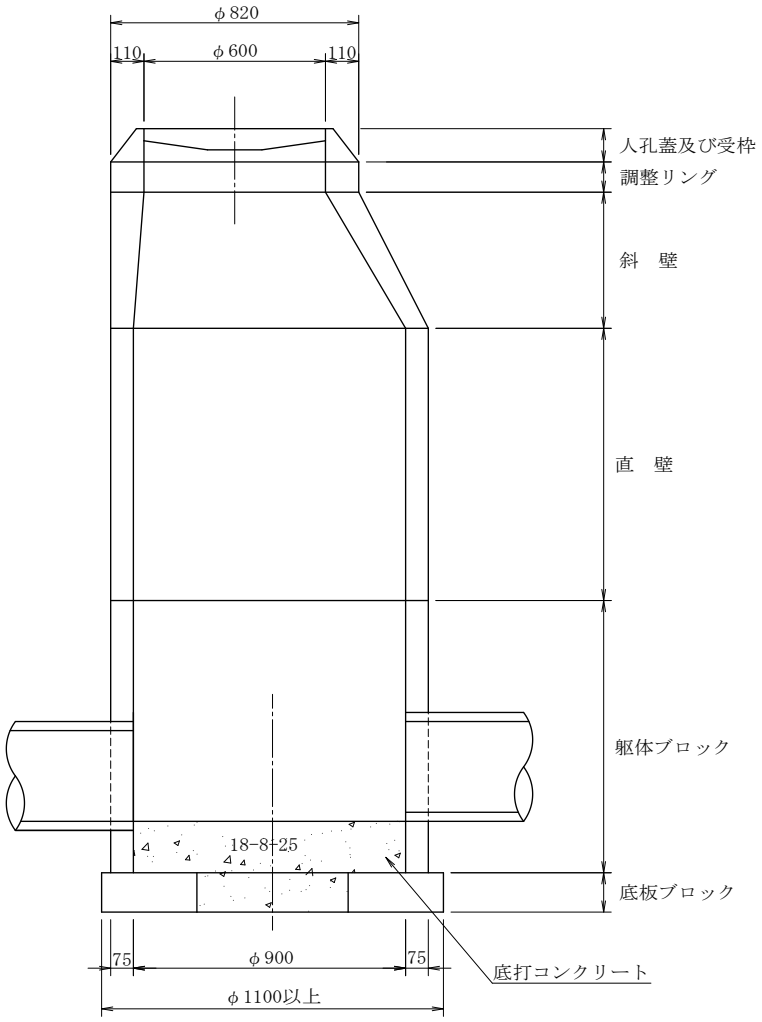
０号躯体ブロック寸法表

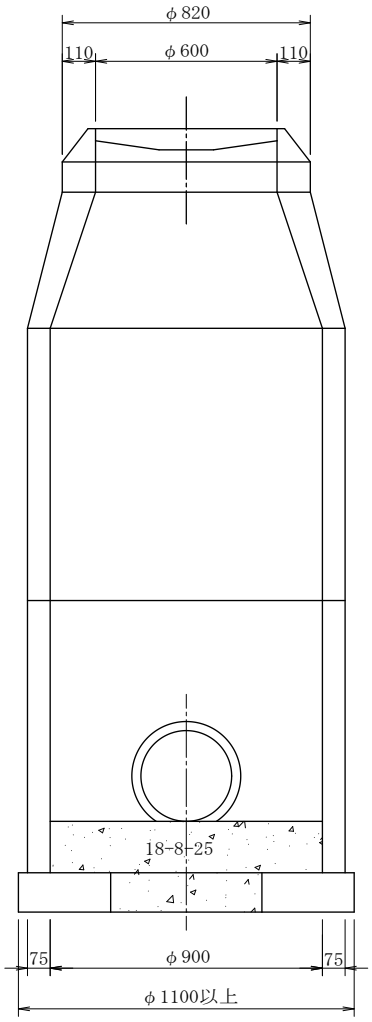
	径 × 高　(㎜)
ブロック躯体	750×600
	750×900
	750×1200
	750×1500

底板ブロック　有効高130㎜

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
700 人　孔　工	組立人孔工	１　号	R7.4

組立人孔工１号





調整リング寸法表

	径 × 高 （㎜）
調整リング	600×50
	600×100
	600×150

１号斜壁ブロック寸法表

	上径×下径×高（㎜）
ブロック斜壁	600×900×300
	600×900×450
	600×900×600

１号直壁ブロック寸法表

	径 × 高 （㎜）
ブロック直壁	900×300
	900×600
	900×900
	900×1200
	900×1500
	900×1800

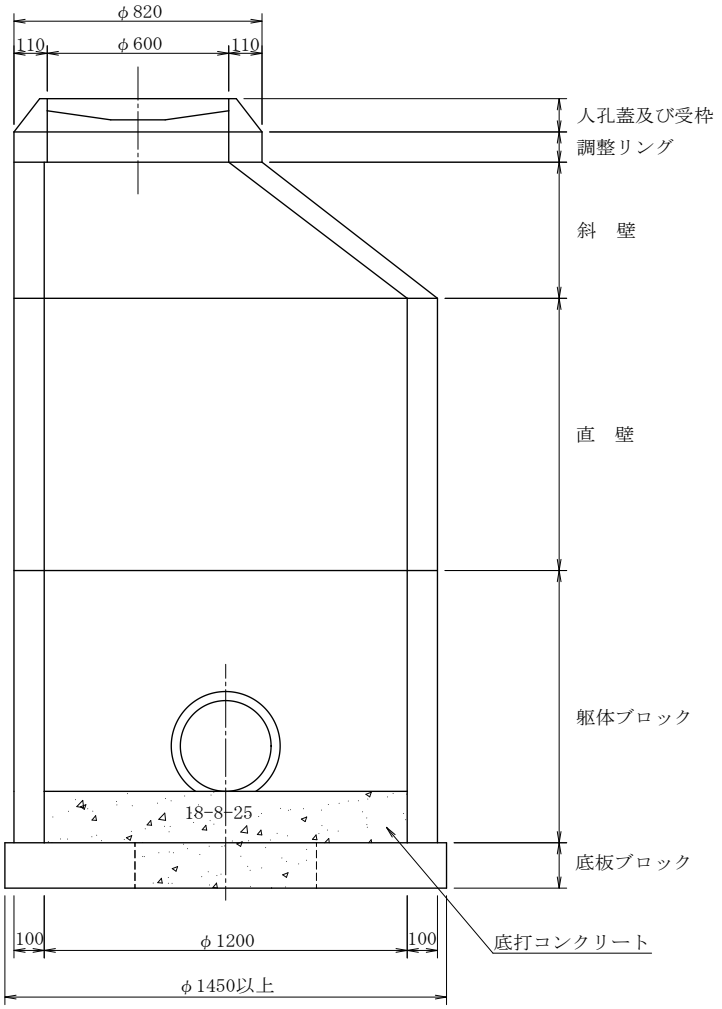
１号躯体ブロック寸法表

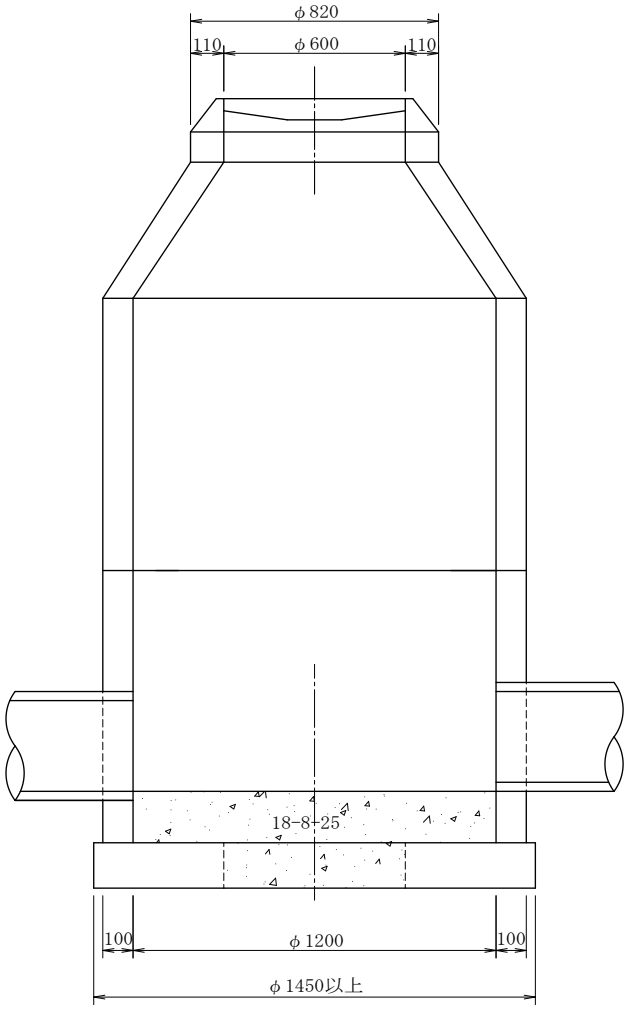
	径 × 高 （㎜）
ブロック躯体	900×600
	900×900
	900×1200
	900×1500
	900×1800

底板ブロック　有効高130㎜

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
700 人　孔　工	組立人孔工	２　号	R7.4

組立人孔工２号





調整リング寸法表

	径 × 高　(mm)
調整リング	600×50
	600×100
	600×150

２号斜壁ブロック寸法表

	上径×下径×高 (mm)
ブロック斜壁	600×1200×300
	600×1200×450
	600×1200×600
	900×1200×300

２号直壁ブロック寸法表

	径 × 高　(mm)
ブロック直壁	1200×600
	1200×900
	1200×1200
	1200×1500
	1200×1800

２号躯体ブロック寸法表

	径 × 高　(mm)
ブロック躯体	1200×900
	1200×1200
	1200×1500
	1200×1800
	1200×2100
	1200×2400

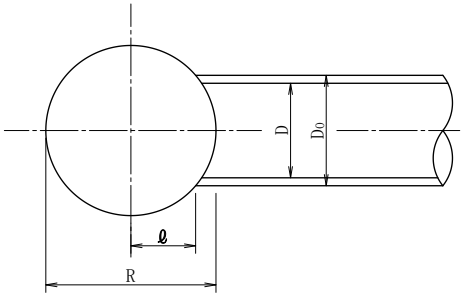
底板ブロック　有効高150㎜

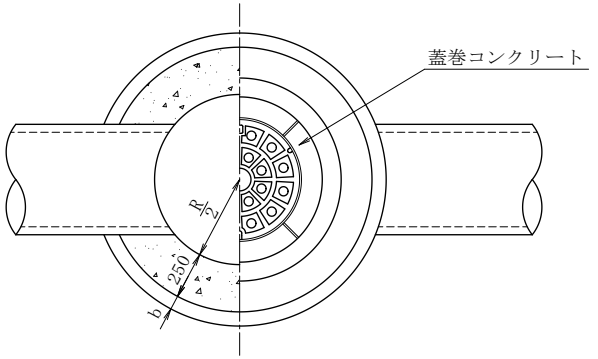
大分類	中分類	小分類	適用年度
700 人孔工	丸人孔工	１号、２号	R7.4

丸 人 孔 工

管布設延長控除分一覧表

R	管径D	Do	ℓ
900	300	360	413
900	350	414	400
900	400	470	384
900	450	526	365
900	500	584	343
1200	600	700	487
1200	700	816	440
1200	800	932	378
1200	900	1050	290



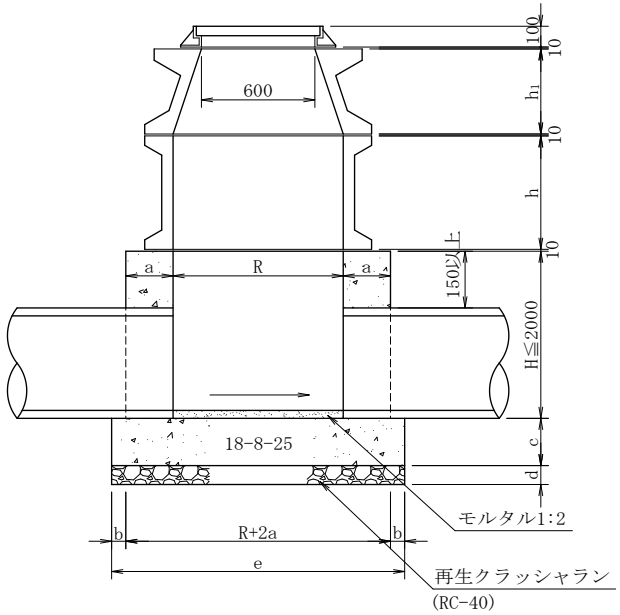


丸 人 孔 寸 法 表

名称	寸法表 単位(mm)								摘要
	R	h1	h	a	b	c	d	e	
１号丸人孔	900	300 450 600	300 600	250	75	250	100	1550	本管内径 500以下
２号丸人孔	1200	600	300 600	250	75	250	100	1850	600～900

丸人孔底部工材料表

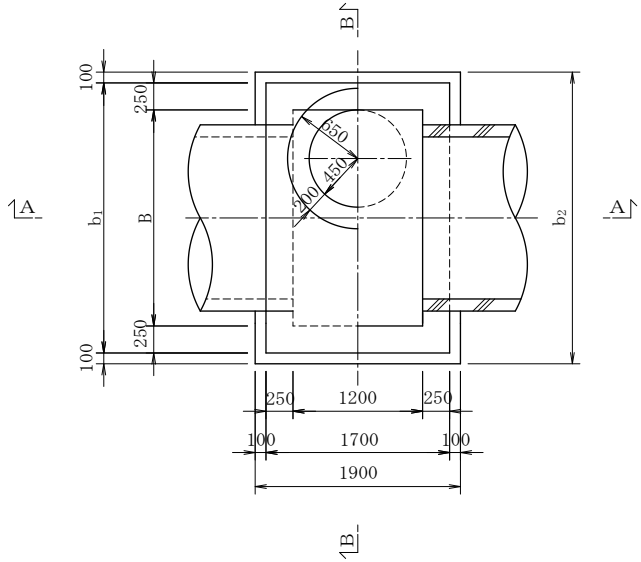
名称	材料表 1ヶ所当り			摘要
	再生クラッシャラン (RC-40) (m^3)	コンクリート 18-8-25 (m^3)	型枠 (m^2)	
１号丸人孔	0.189	0.471	1.217	
２号丸人孔	0.269	0.672	1.452	



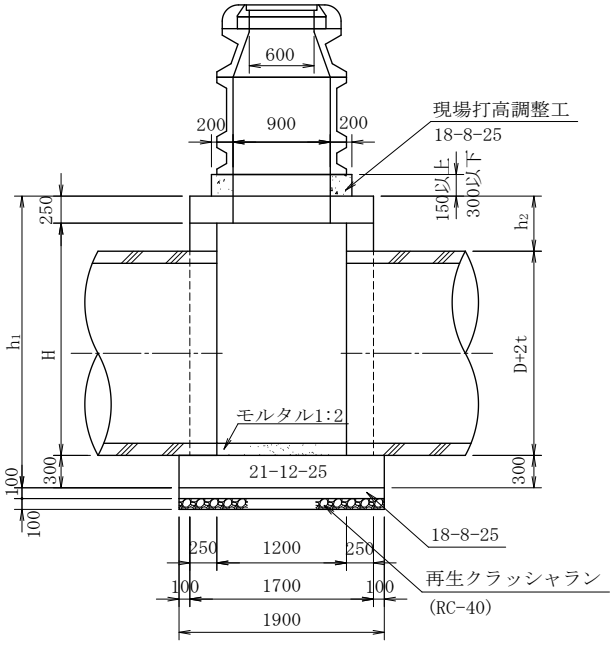
大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
700 人　孔　工	角人孔工	３号、４号、５号 ６号、７号	R7.4

角　人　孔　工

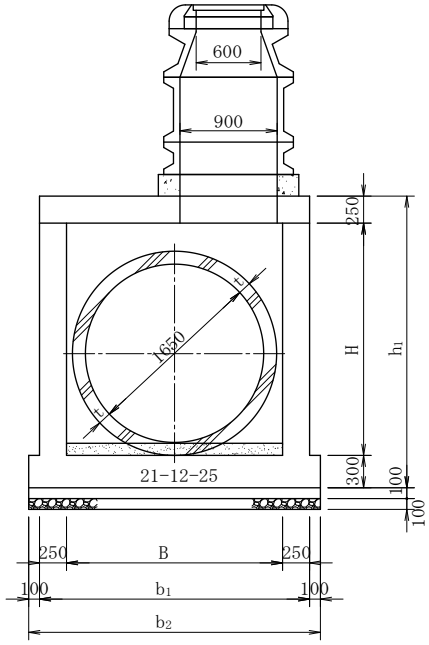
平　面　図



Ａ　－　Ａ



Ｂ　－　Ｂ



角　人　孔　工　寸　法　表

名　称	寸　法　表　　単位(mm)									摘　要
	B	b_1	b_2	H	h_1	h_2	D	t	D+2t	
３号角人孔	1300	1800	2000	1550	2100	524	1100	88	1276	
４号角人孔	1600	2100	2300	1850	2400	544	1350	103	1556	
５号角人孔	2000	2500	2700	2150	2700	510	1650	120	1890	
６号角人孔	2400	2900	3100	2550	3100	510	2000	145	2290	
７号角人孔	2800	3300	3500	3000	3550	500	2400	175	2750	

注意事項

1. 人孔の上流側と下流側の落差を10㎜とする。

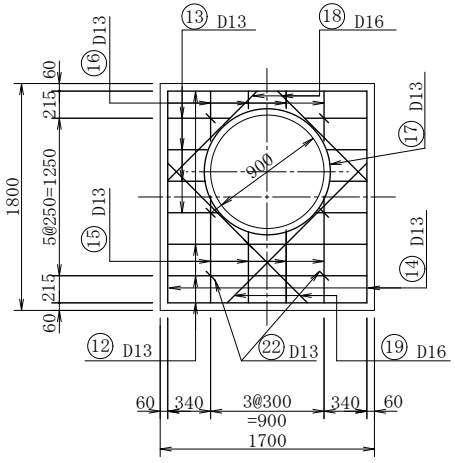
大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
700 人　孔　工	角人孔工	３号配筋図 （その1）	R7.4

３ 号 角 人 孔 工

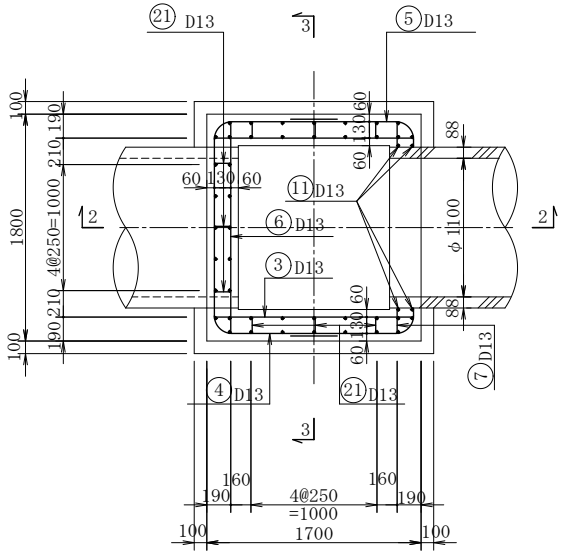
配　筋　図（その１）

頂　版

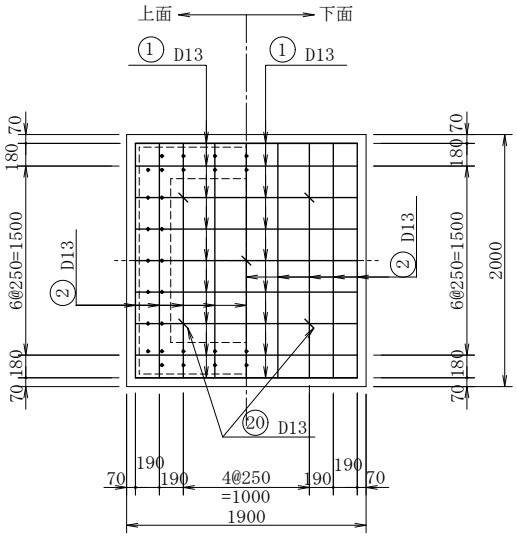
上・下面共通



1－1 断 面



底　版

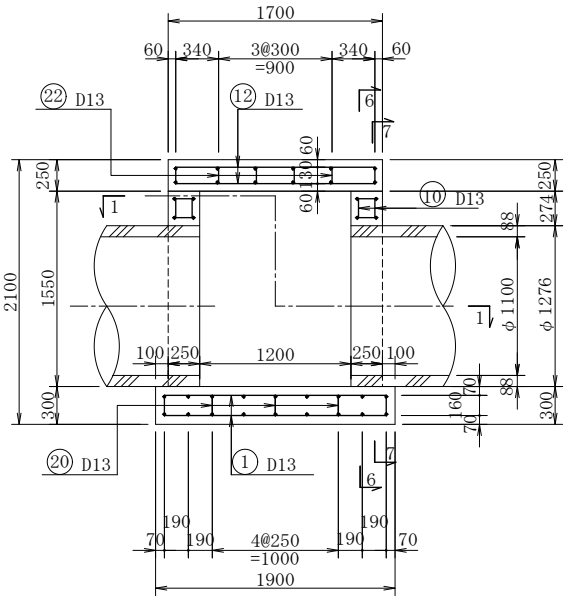


大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
700 人　孔　工	角人孔工	３号配筋図 （その２）	R7.4

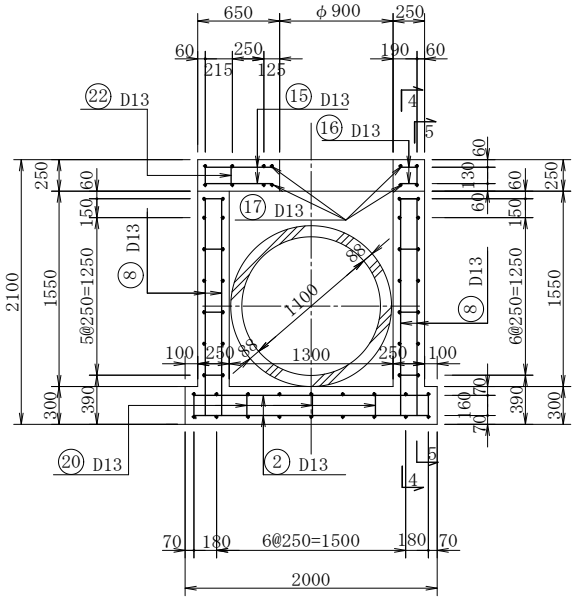
３ 号 角 人 孔 工

配　筋　図（その２）

２－２ 断 面



３－３ 断 面

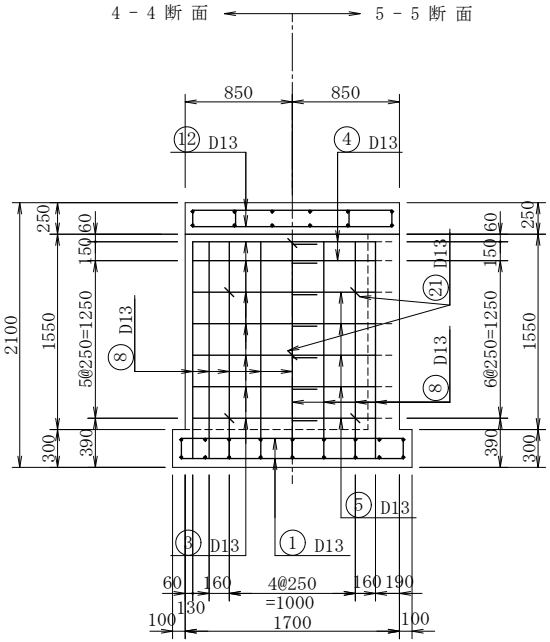


大分類	中分類	小分類	適用年度
700 人孔工	角人孔工	３号配筋図（その３）	R7.4

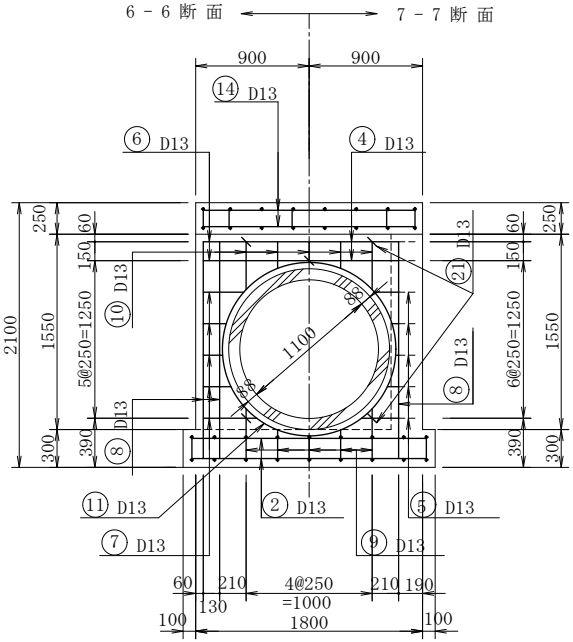
３号角人孔工

配筋図（その３）

側壁



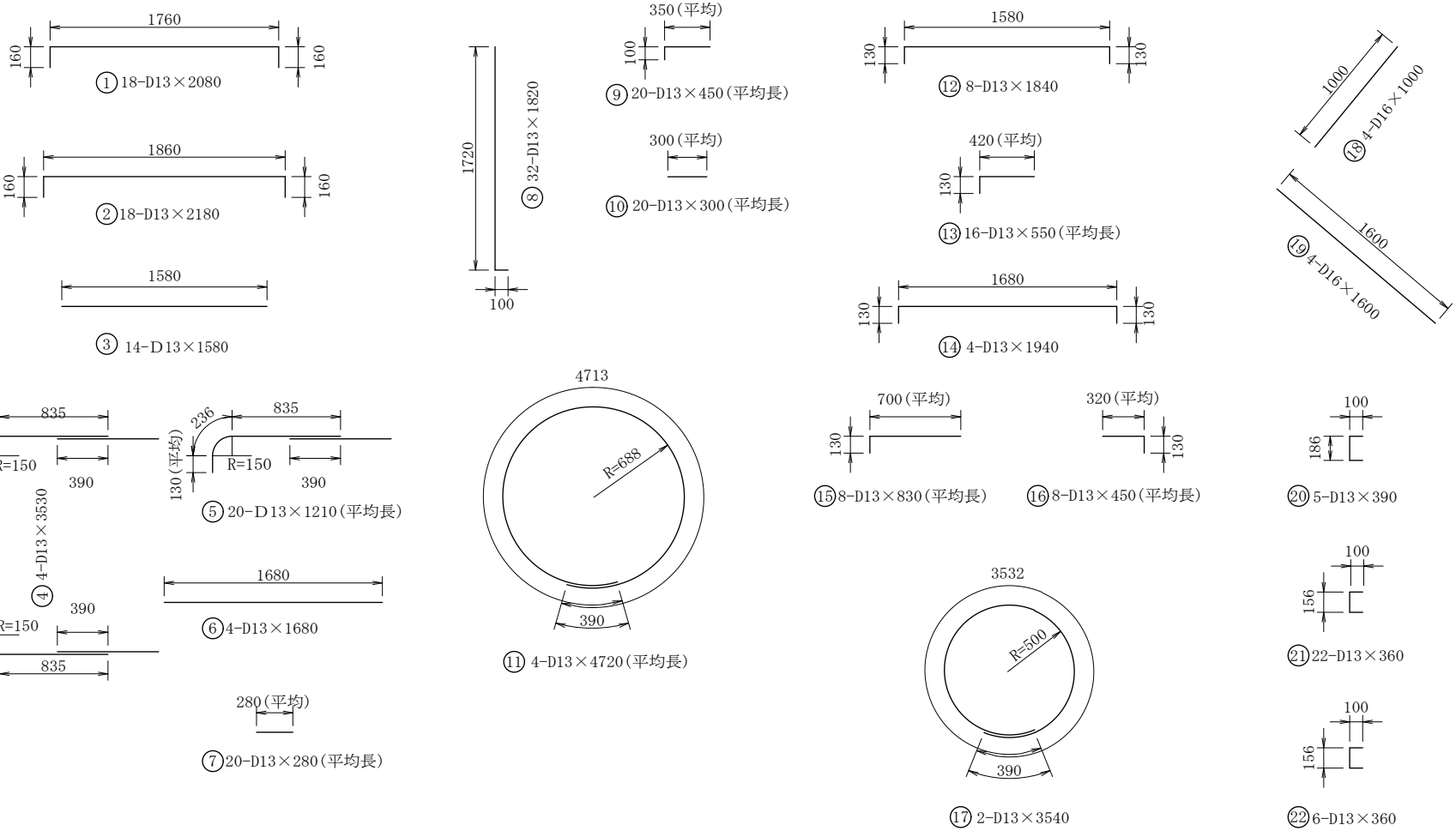
側壁



大分類	中分類	小分類	適用年度
700 人孔工	角人孔工	3号鉄筋加工図	R7.4

3 号 角 人 孔 工

鉄 筋 加 工 図



大分類	中分類	小分類	適用年度
700 人孔工	角人孔工	３号材料表	R7.4

３号角人孔工

鉄筋表

符号	径	長さ(mm)	本数	単位重量(kg/m)	1本当り重量	重量(kg)	摘要
①	D13	2080	18	0.995	2.070	37.3	⌐¬
②	〃	2180	18	〃	2.169	39.0	〃
③	〃	1580	14	〃	1.572	22.0	―
④	〃	3530	4	〃	3.512	14.0	⊏
⑤	〃	1210	20	〃	1.204	24.1	⌐ (平均長)
⑥	〃	1680	4	〃	1.672	6.7	―
⑦	〃	280	20	〃	0.279	5.6	〃 (平均長)
⑧	〃	1820	32	〃	1.811	58.0	└
⑨	〃	450	20	〃	0.448	9.0	〃 (平均長)
⑩	〃	300	20	〃	0.299	6.0	| (〃)
⑪	〃	4720	4	〃	4.696	18.8	○
⑫	〃	1840	8	〃	1.831	14.6	⌐¬
⑬	〃	550	16	〃	0.547	8.8	⌐ (平均長)
⑭	〃	1940	4	〃	1.930	7.7	⌐¬
⑮	〃	830	8	〃	0.826	6.6	⌐ (平均長)
⑯	〃	450	8	〃	0.448	3.6	¬ (〃)
⑰	〃	3540	2	〃	3.522	7.0	○
⑱	D16	1000	4	1.56	1.560	6.2	／
⑲	〃	1600	4	〃	2.496	10.0	＼
⑳	D13	390	5	0.995	0.388	1.9	⊏
㉑	〃	360	22	〃	0.358	7.9	〃
㉒	〃	360	6	〃	0.358	2.1	〃
				D16	16.2 kg		
				D13	300.7 kg		
				合計	316.9 kg		

管径による壁立上り面積の増減表

名称	増減表		1m²当り	摘要
	コンクリート 21-12-25(m³)	鉄筋工 D13(kg)	型枠 (m²)	
３号角人孔工	0.25	25.60	1.00	

３号角人孔工材料表

名称	材料表					1ヶ所当り	摘要
	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40(m³)	コンクリート(m³)		鉄筋 (kg)		型枠 (m²)	
		18-8-25	21-12-25	D16	D13		
３号角人孔工	0.38	0.38	3.432	16	301	24.68	

注意事項

1. 材料表はＣ型管1,100㎜が両側に接合した場合であり、これ以外の接合の場合は管径による壁立上り面積の増減表により数量を補正する。

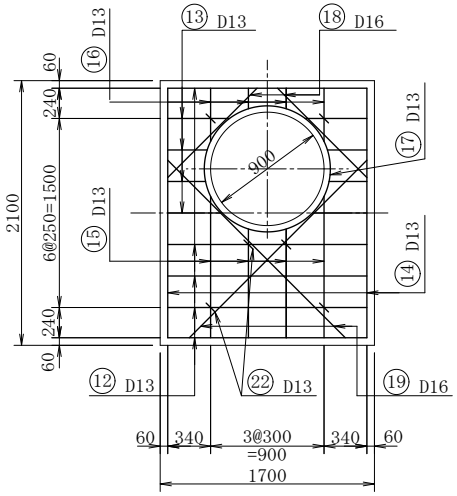
大分類	中分類	小分類	適用年度
700 人孔工	角人孔工	4号配筋図（その1）	R7.4

4 号 角 人 孔 工

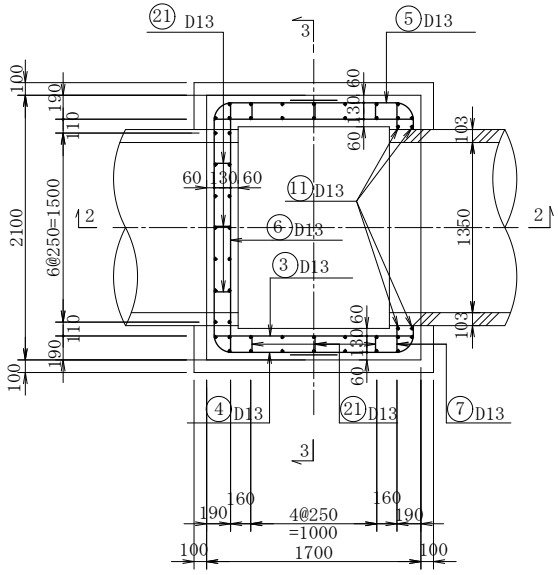
配　筋　図（その１）

頂　版

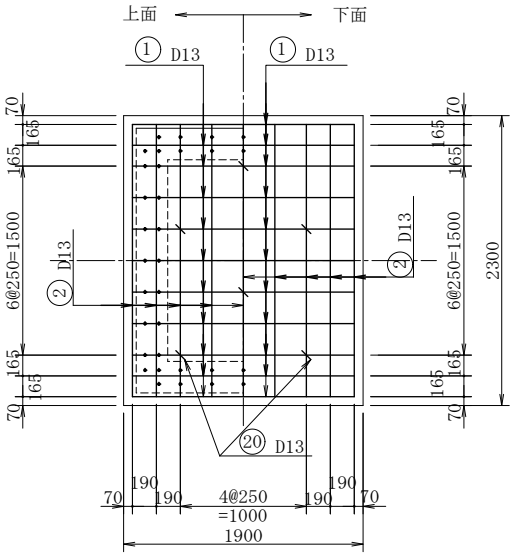
上・下面共通



1－1 断 面



底　版

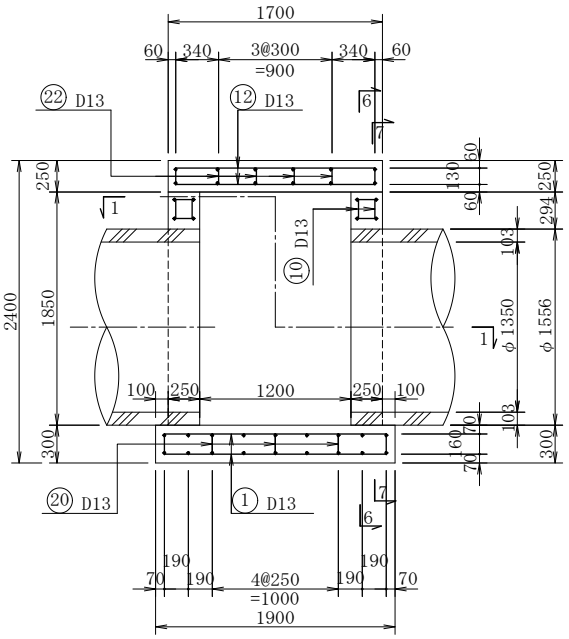


大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
700 人　孔　工	角人孔工	４号配筋図 （その２）	R7.4

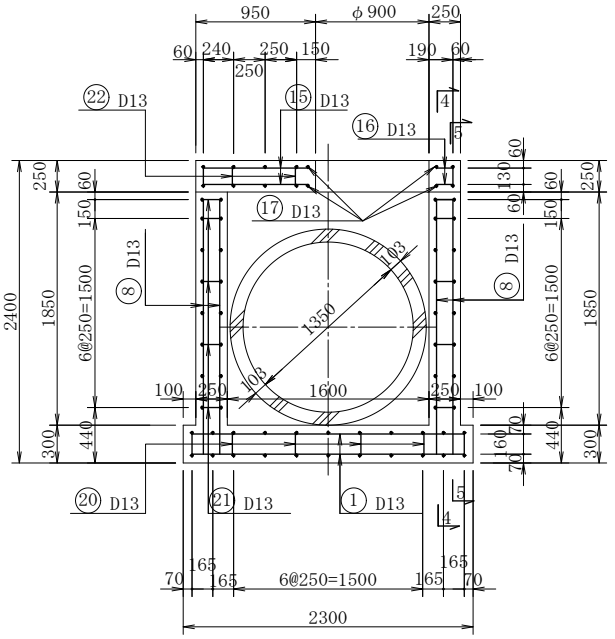
４ 号 角 人 孔 工

配　筋　図（その２）

２－２ 断 面



３－３ 断 面

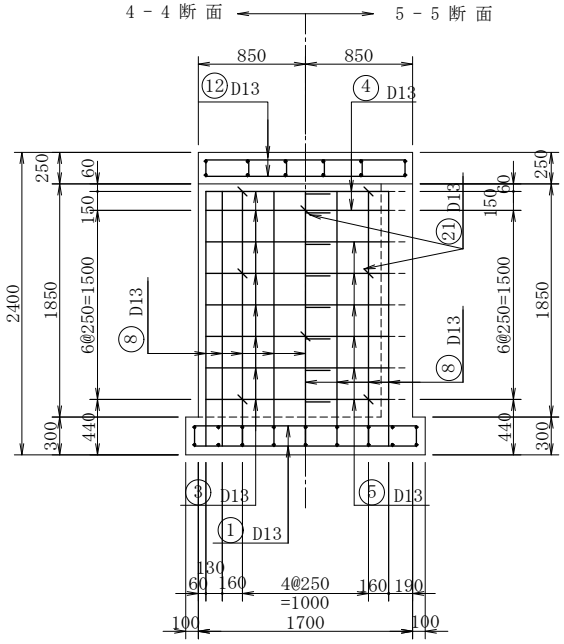


大分類	中分類	小分類	適用年度
700 人孔工	角人孔工	4号配筋図（その3）	R7.4

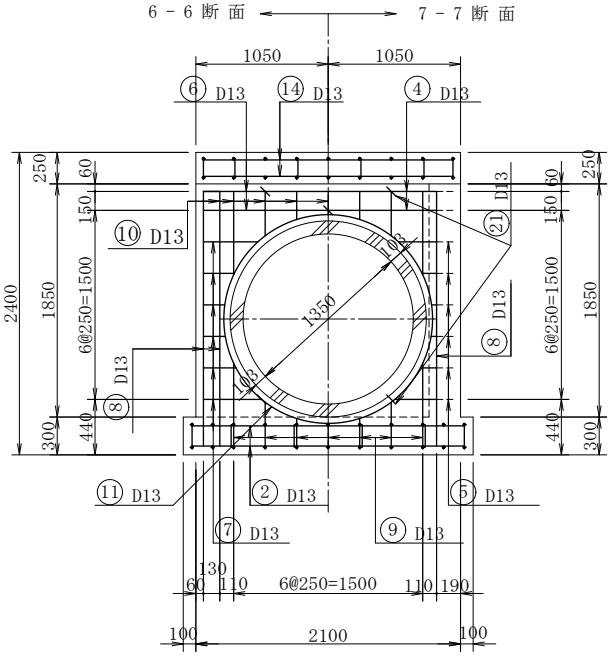
4 号 角 人 孔 工

配　筋　図（その３）

側　壁



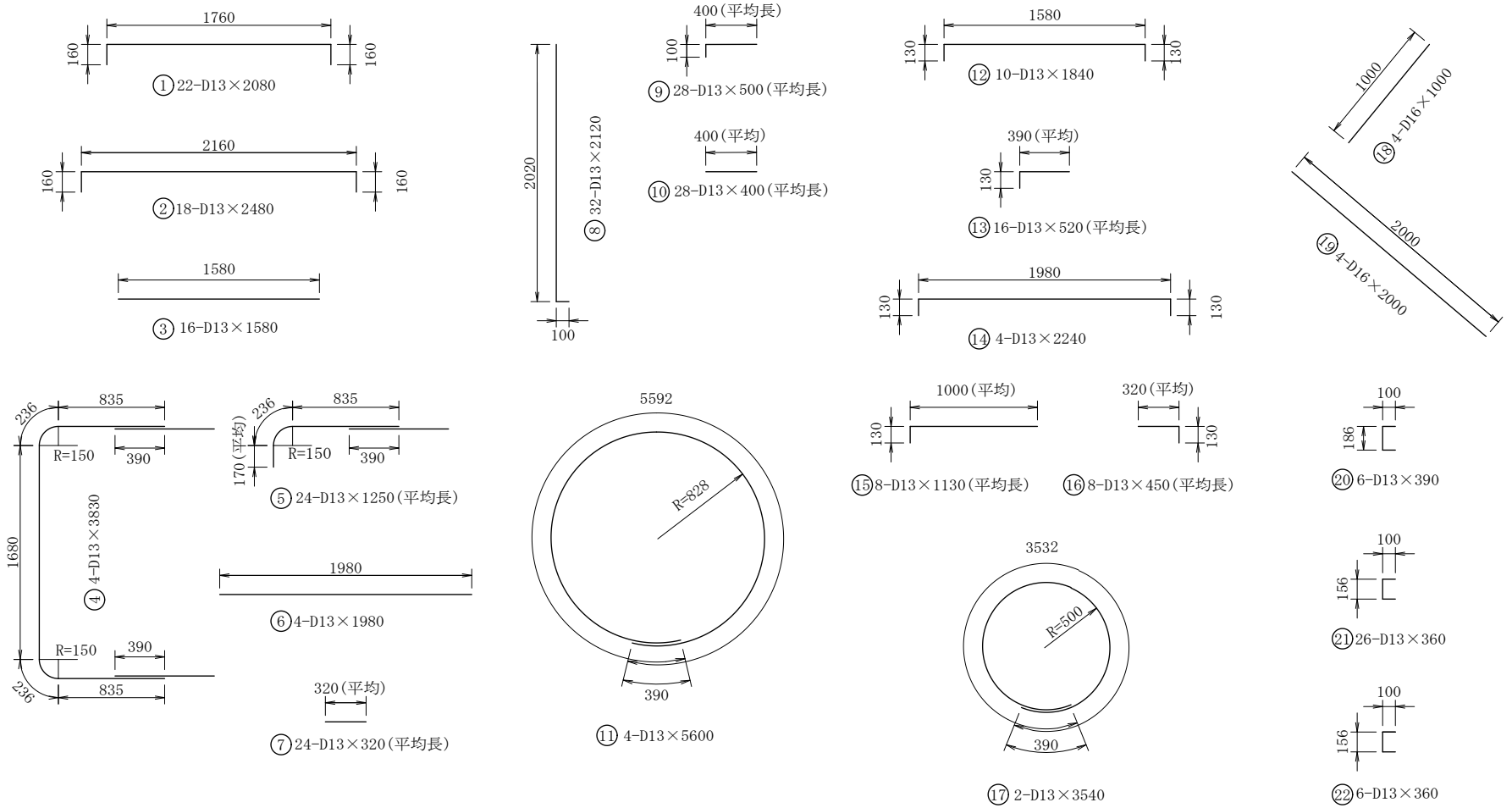
側　壁



大分類	中分類	小分類	適用年度
700 人孔工	角人孔工	4号鉄筋加工図	R7.4

4 号 角 人 孔 工

鉄 筋 加 工 図



大分類	中分類	小分類	適用年度
700 人孔工	角人孔工	４号材料表	R7.4

４号角人孔工

鉄筋表

符号	径	長さ(mm)	本数	単位重量(kg/m)	1本当り重量	重量(kg)	摘要
①	D13	2080	22	0.995	2.070	45.5	┌──┐
②	〃	2480	18	〃	2.468	44.4	〃
③	〃	1580	16	〃	1.572	25.2	――
④	〃	3830	4	〃	3.811	15.2	┌
⑤	〃	1250	24	〃	1.244	29.9	┌ (平均長)
⑥	〃	1980	4	〃	1.970	7.9	――
⑦	〃	320	24	〃	0.318	7.6	〃 (平均長)
⑧	〃	2120	32	〃	2.109	67.5	└
⑨	〃	500	28	〃	0.498	13.9	〃 (平均長)
⑩	〃	400	28	〃	0.398	11.1	│ (〃)
⑪	〃	5600	4	〃	5.572	22.3	○
⑫	〃	1840	10	〃	1.831	18.3	┌──┐
⑬	〃	520	16	〃	0.517	8.3	┌ (平均長)
⑭	〃	2240	4	〃	2.229	8.9	┌──┐
⑮	〃	1130	8	〃	1.124	9.0	┌ (平均長)
⑯	〃	450	8	〃	0.448	3.6	┐ (〃)
⑰	〃	3540	2	〃	3.522	7.0	○
⑱	D16	1000	4	1.56	1.560	6.2	／
⑲	〃	2000	4	〃	3.120	12.5	＼
⑳	D13	390	6	0.995	0.388	2.3	┌
㉑	〃	360	26	〃	0.358	9.3	〃
㉒	〃	360	6	〃	0.358	2.1	〃
				D16	18.7 kg		
				D13	359.3 kg		
				合計	378.0 kg		

管径による壁立上り面積の増減表

名称	増減表 1m²当り			摘要
	コンクリート 21-12-25(m³)	鉄筋工 D13(kg)	型枠 (m²)	
４号角人孔工	0.25	24.90	1.00	

４号角人孔工材料表

名称	材料表 1ヶ所当り						摘要
	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40(m³)	コンクリート(m³)		鉄筋 (kg)		型枠 (m²)	
		18-8-25	21-12-25	D16	D13		
４号角人孔工	0.437	0.437	4.147	19	359	30.16	

注意事項

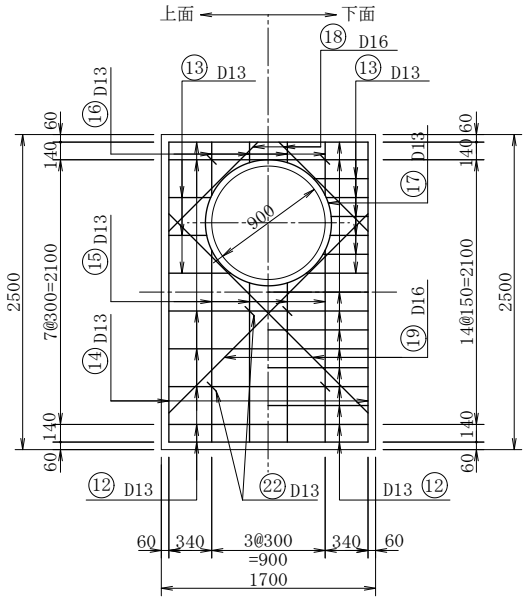
1. 材料表はＣ型管1,350㎜が両側に接合した場合であり、これ以外の接合の場合は管径による壁立上り面積の増減表により数量を補正する。

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
700 人　孔　工	角人孔工	５号配筋図 （その１）	R7.4

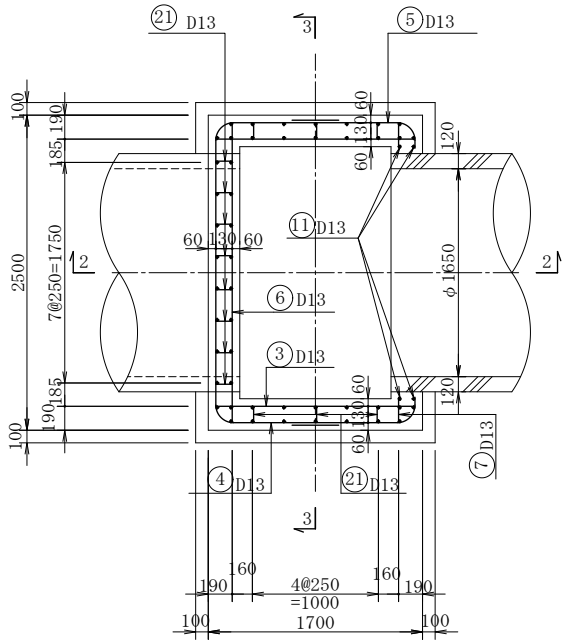
５ 号 角 人 孔 工

配　筋　図（その１）

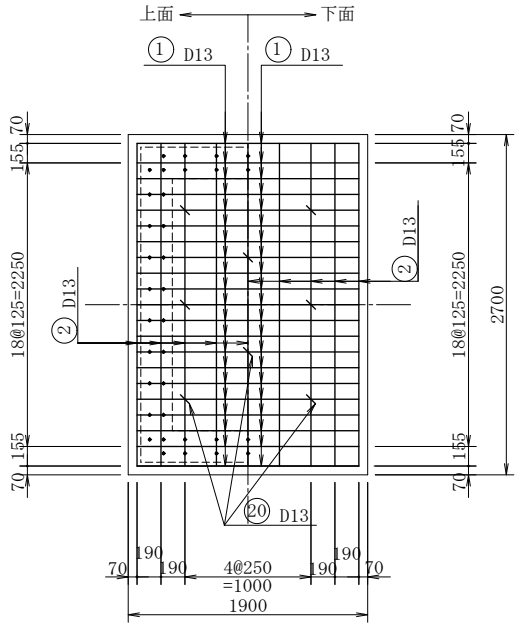
頂　版



1－1 断 面



底　版

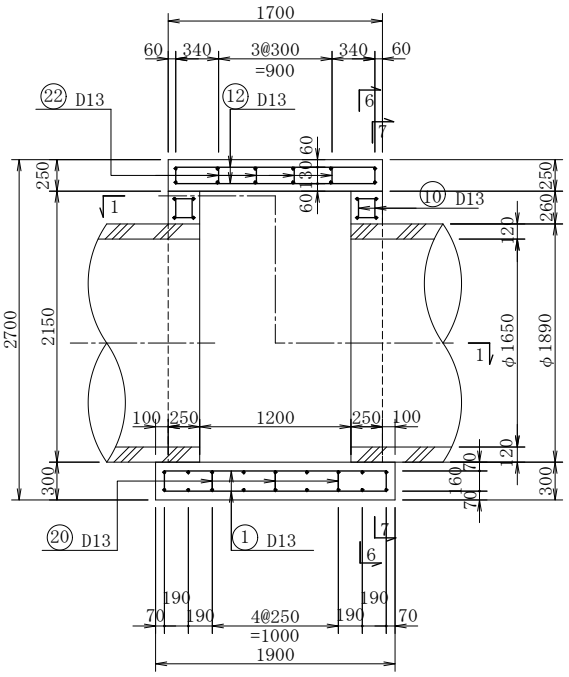


大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
700 人　孔　工	角人孔工	５号配筋図 （その２）	R7.4

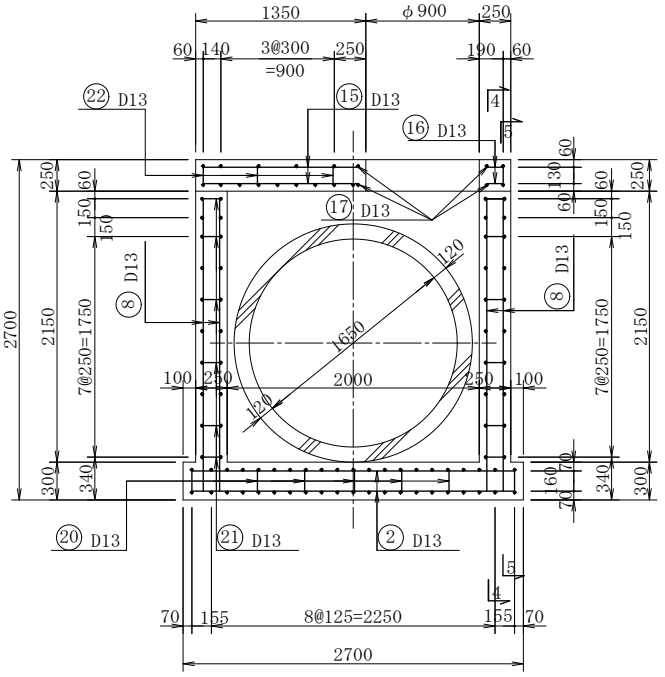
５ 号 角 人 孔 工

配　筋　図（その２）

２－２ 断 面



３－３ 断 面

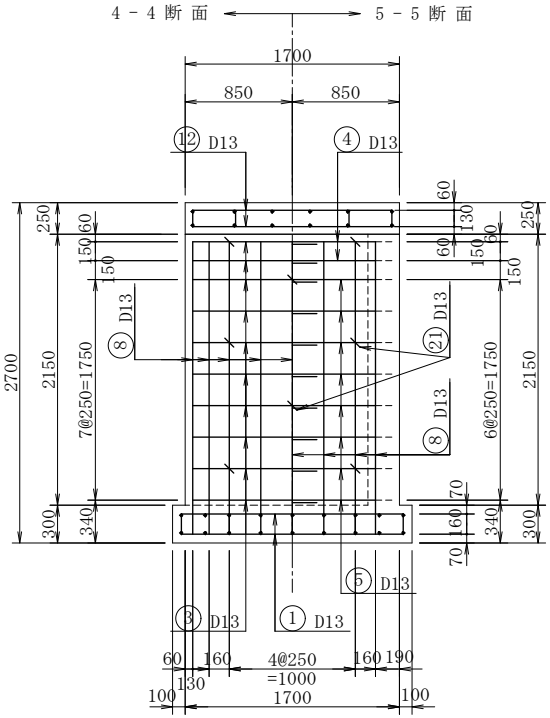


大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
700 人　孔　工	角人孔工	５号配筋図 （その３）	R7.4

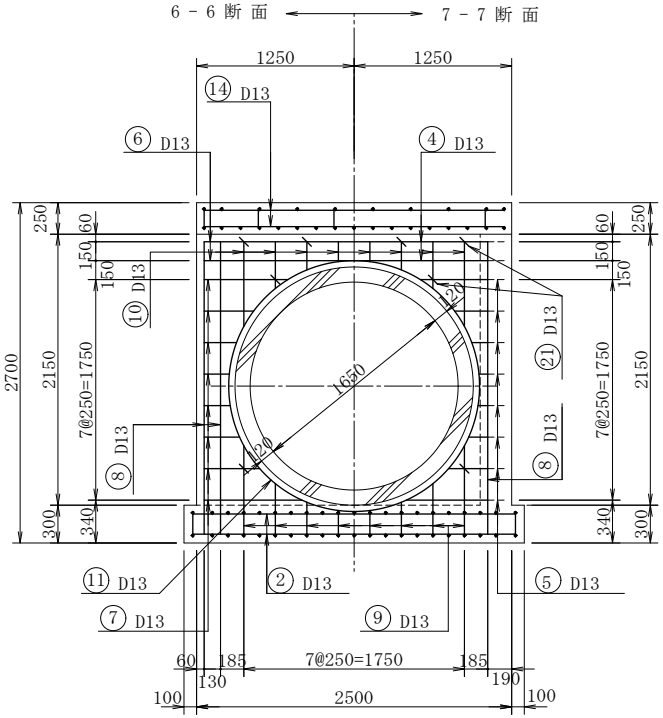
５ 号 角 人 孔 工

配　筋　図（その３）

側　　壁



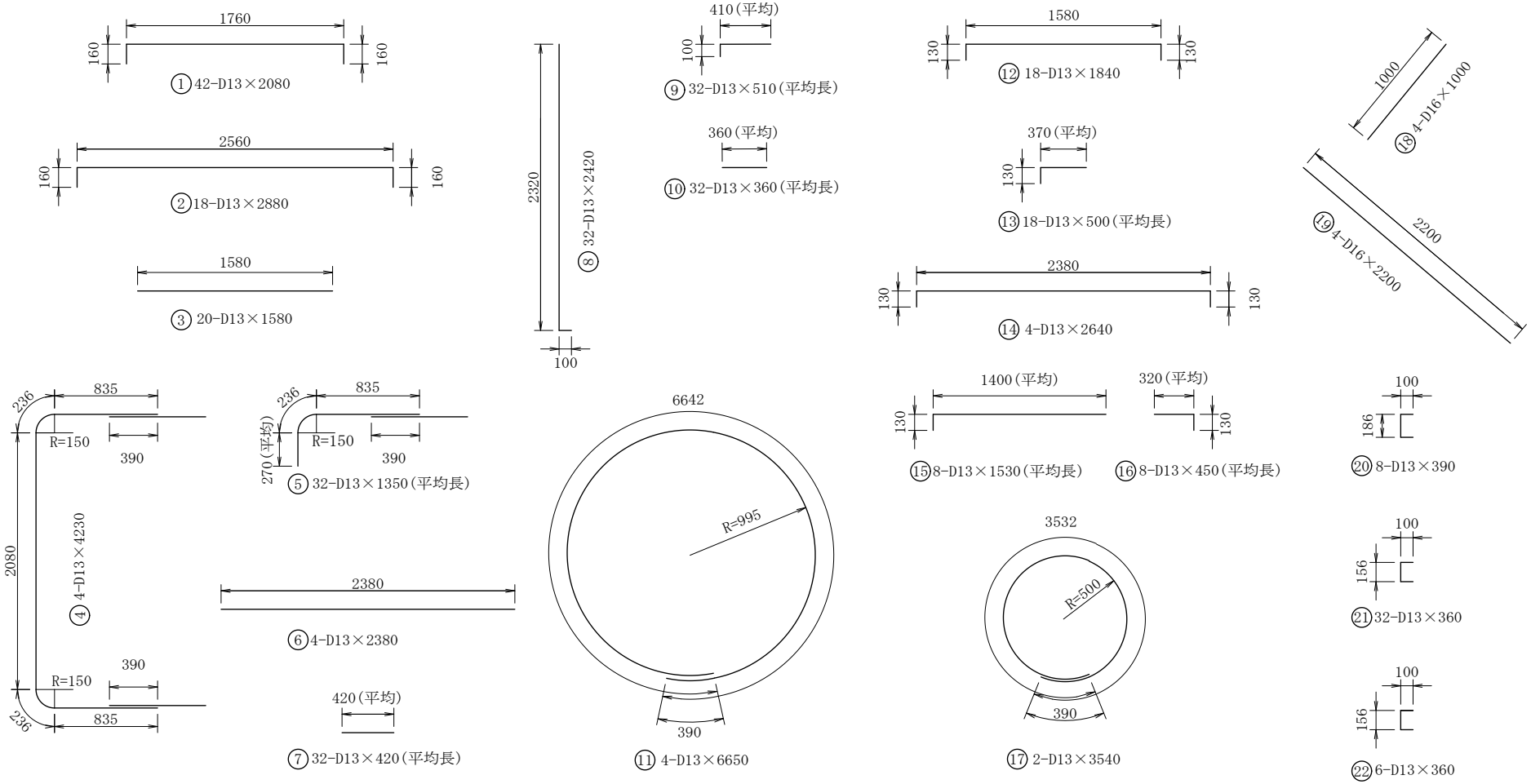
側　　壁



大分類	中分類	小分類	適用年度
700 人孔工	角人孔工	5号鉄筋加工図	R7.4

5 号 角 人 孔 工

鉄 筋 加 工 図



大分類	中分類	小分類	適用年度
700 人孔工	角人孔工	５号材料表	R7.4

５号角人孔工

鉄筋表

符号	径	長さ(mm)	本数	単位重量(kg/m)	1本当り重量	重量(kg)	摘要
①	D13	2080	42	0.995	2.070	86.9	┌──┐
②	〃	2880	18	〃	2.866	51.6	〃
③	〃	1580	20	〃	1.572	31.4	――
④	〃	4230	4	〃	4.209	16.8	┌
⑤	〃	1350	32	〃	1.343	43.0	┌ (平均長)
⑥	〃	2380	4	〃	2.368	9.5	――
⑦	〃	420	32	〃	0.418	13.4	〃 (平均長)
⑧	〃	2420	32	〃	2.408	77.1	└
⑨	〃	510	32	〃	0.507	16.2	〃 (平均長)
⑩	〃	360	32	〃	0.358	11.5	│ (〃)
⑪	〃	6650	4	〃	6.617	26.5	○
⑫	〃	1840	18	〃	1.831	33.0	┌──┐
⑬	〃	500	18	〃	0.498	9.0	┌ (平均長)
⑭	〃	2640	4	〃	2.627	10.5	┌──┐
⑮	〃	1530	8	〃	1.522	12.2	┌ (平均長)
⑯	〃	450	8	〃	0.448	3.6	┐ (〃)
⑰	〃	3540	2	〃	3.522	7.0	○
⑱	D16	1000	4	1.56	1.560	6.2	／
⑲	〃	2200	4	〃	3.432	13.7	＼
⑳	D13	390	8	0.995	0.388	3.1	┌
㉑	〃	360	32	〃	0.358	11.5	〃
㉒	〃	360	6	〃	0.358	2.1	〃
				D16	19.9 kg		
				D13	475.9 kg		
				合計	495.8 kg		

管径による壁立上り面積の増減表

名称	増減表 1m²当り			摘要
	コンクリート 21-12-25(m³)	鉄筋工 D13(kg)	型枠 (m²)	
５号角人孔工	0.25	24.90	1.00	

5号角人孔工材料表

名称	材料表 1ヶ所当り						摘要
	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40(m³)	コンクリート(m³)		鉄筋 (kg)		型枠 (m²)	
		18-8-25	21-12-25	D16	D13		
５号角人孔工	0.513	0.513	5.018	20	476	36.95	

注意事項

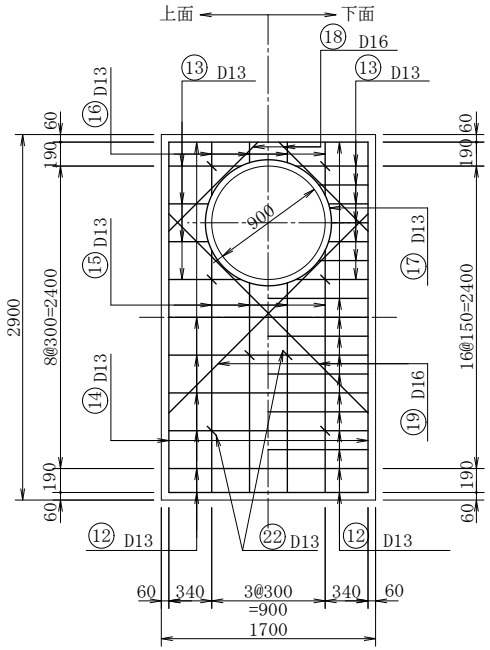
1. 材料表はＣ型管1,650㎜が両側に接合した場合であり、これ以外の接合の場合は管径による壁立上り面積の増減表により数量を補正する。

大分類	中分類	小分類	適用年度
700 人孔工	角人孔工	６号配筋図（その１）	R7.4

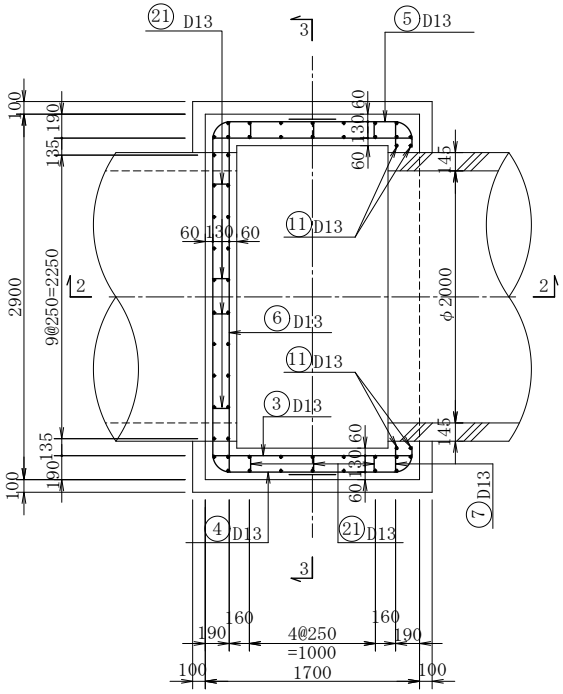
６号角人孔工

配筋図（その１）

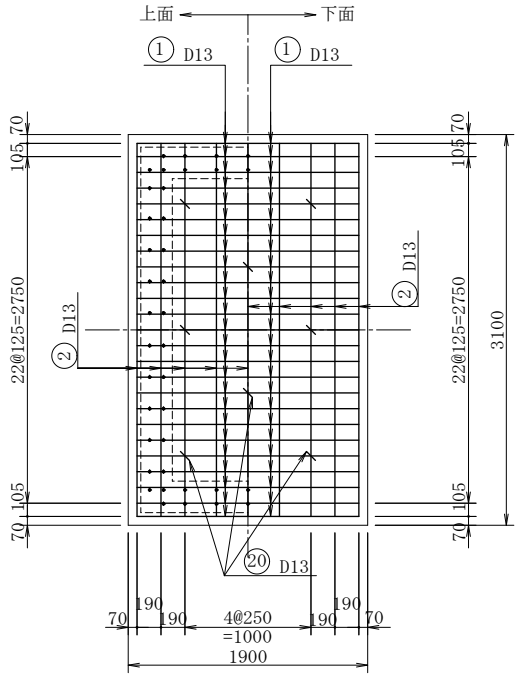
頂版



1－1断面



底版

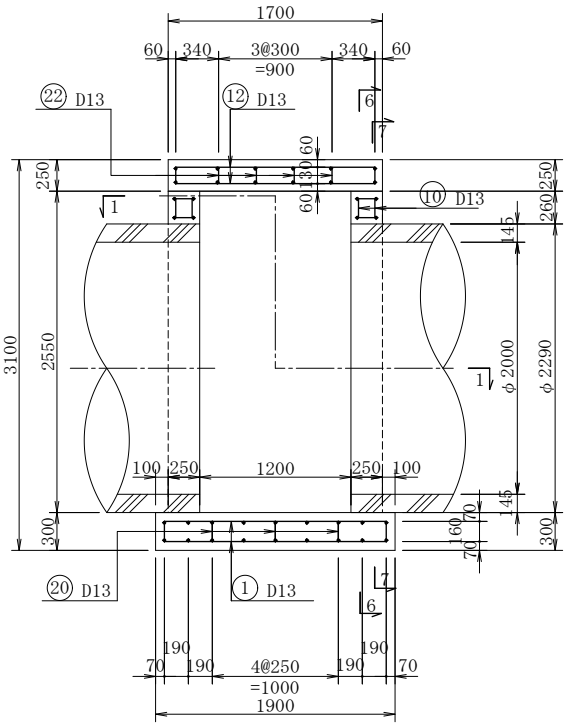


大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
700 人　孔　工	角人孔工	６号配筋図 （その２）	R7.4

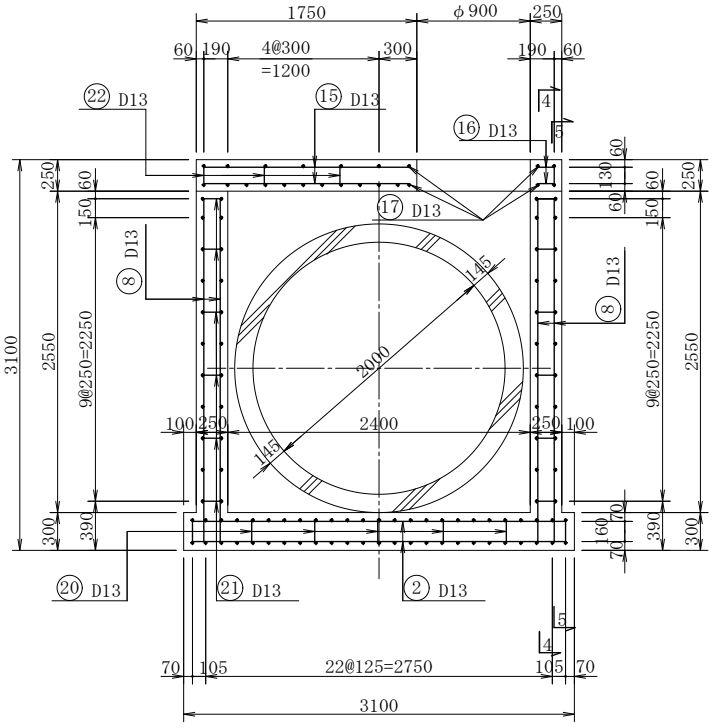
６ 号 角 人 孔 工

配　筋　図（その２）

２－２ 断 面



３－３ 断 面

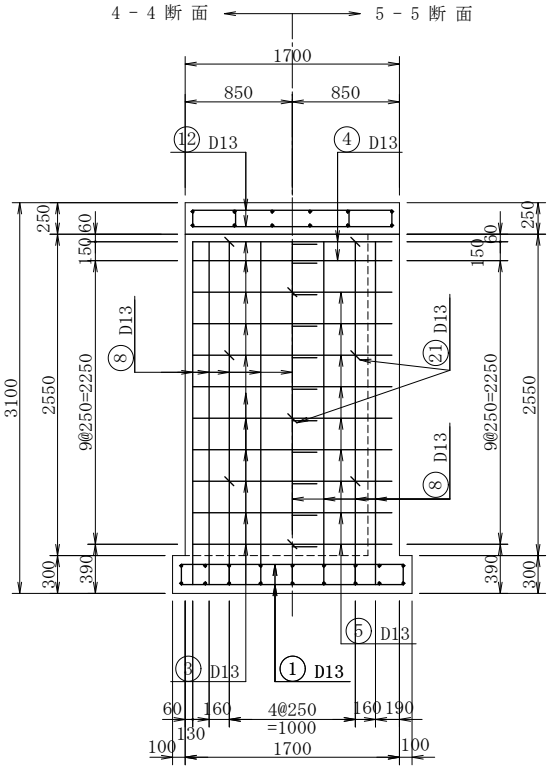


大分類	中分類	小分類	適用年度
700 人孔工	角人孔工	6号配筋図（その3）	R7.4

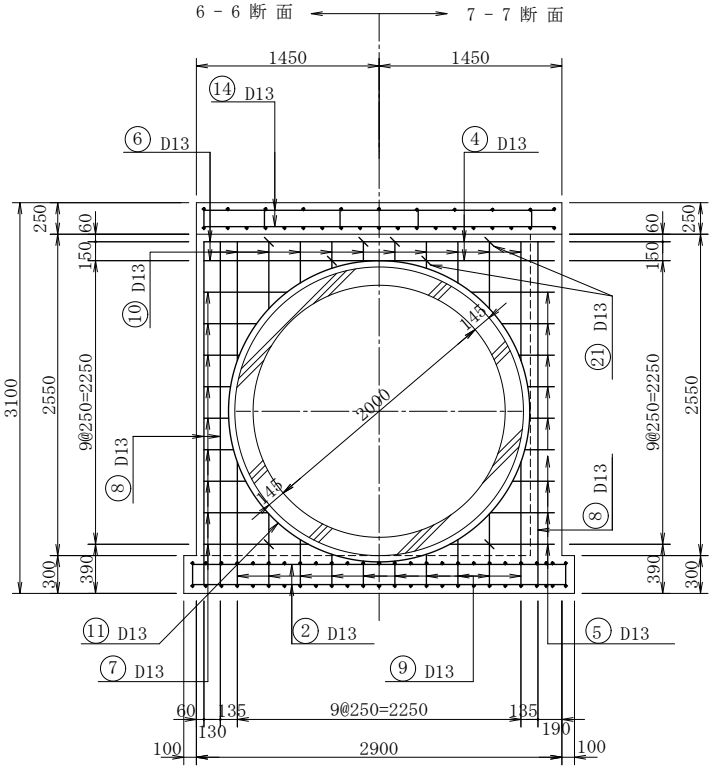
6 号 角 人 孔 工

配　筋　図（その３）

側　　壁



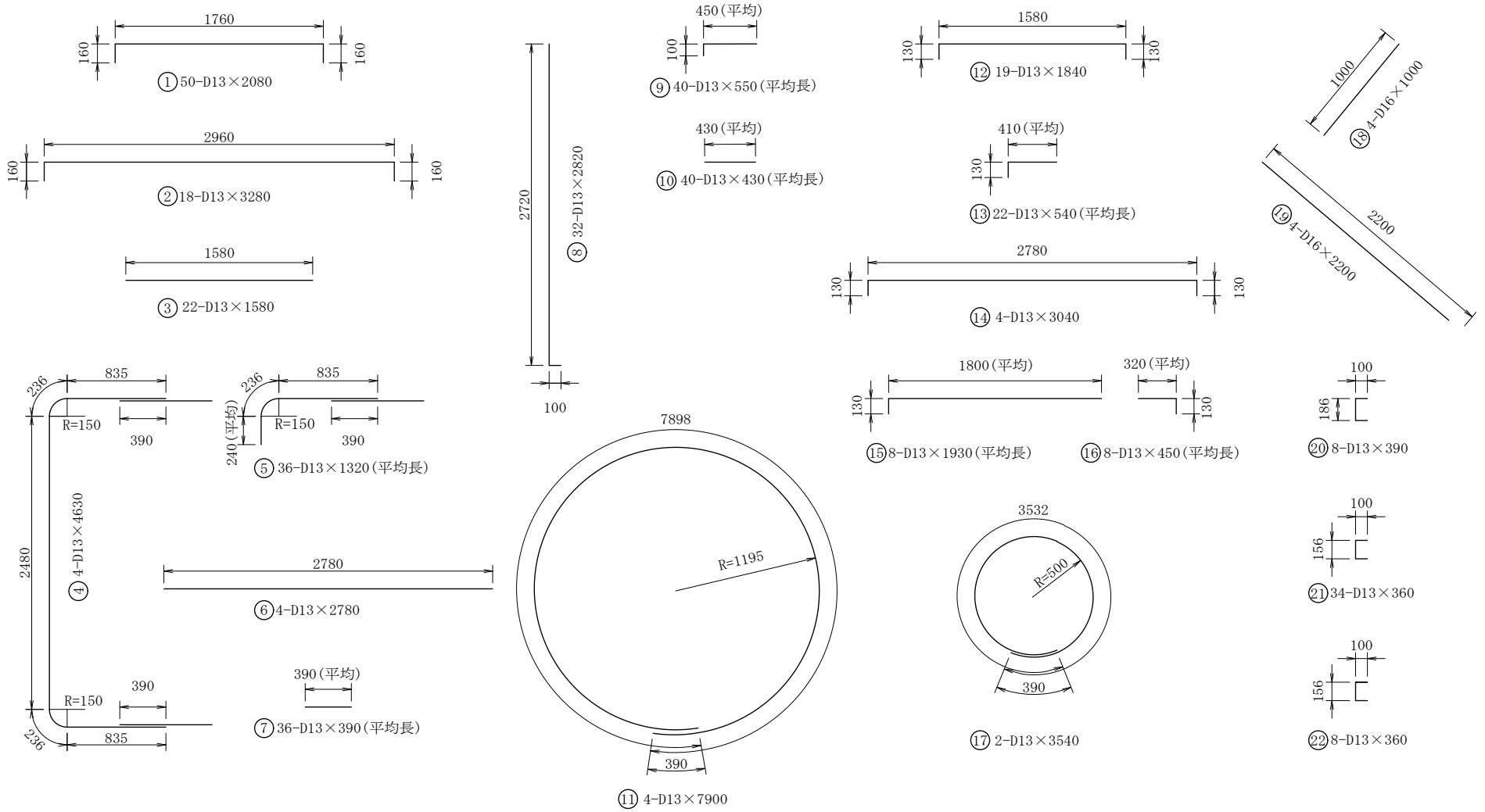
側　　壁



大分類	中分類	小分類	適用年度
700 人孔工	角人孔工	6号鉄筋加工図	R7.4

6号角人孔工

鉄筋加工図



大分類	中分類	小分類	適用年度
700 人孔工	角人孔工	6号材料表	R7.4

6 号 角 人 孔 工

鉄 筋 表

符号	径	長さ(mm)	本数	単位重量(kg/m)	1本当り重量	重量(kg)	摘 要
①	D13	2080	50	0.995	2.070	103.5	┌──┐
②	〃	3280	18	〃	3.264	58.8	〃
③	〃	1580	22	〃	1.572	34.6	――
④	〃	4630	4	〃	4.607	18.4	┌
⑤	〃	1320	36	〃	1.313	47.3	┌ (平均長)
⑥	〃	2780	4	〃	2.766	11.1	――
⑦	〃	390	36	〃	0.388	14.0	〃 (平均長)
⑧	〃	2820	32	〃	2.806	89.8	└
⑨	〃	550	40	〃	0.547	21.9	〃 (平均長)
⑩	〃	430	40	〃	0.428	17.1	│ (〃)
⑪	〃	7900	4	〃	7.861	31.4	○
⑫	〃	1840	19	〃	1.831	34.8	┌──┐
⑬	〃	540	22	〃	0.537	11.8	┌ (平均長)
⑭	〃	3040	4	〃	3.025	12.1	┌──┐
⑮	〃	1930	8	〃	1.920	15.4	┌ (平均長)
⑯	〃	450	8	〃	0.448	3.6	┐ (〃)
⑰	〃	3540	2	〃	3.522	7.0	○
⑱	D16	1000	4	1.56	1.560	6.2	／
⑲	〃	2200	4	〃	3.432	13.7	＼
⑳	D13	390	8	0.995	0.388	3.1	┌
㉑	〃	360	34	〃	0.358	12.2	〃
㉒	〃	360	8	〃	0.358	2.9	〃
				D16	19.9 kg		
				D13	550.8 kg		
				合計	570.7 kg		

管径による壁立上り面積の増減表

名 称	増減表		1m²当り	摘 要
	コンクリート 21-12-25(m³)	鉄筋工 D13(kg)	型 枠 (m²)	
6号角人孔工	0.25	23.50	1.00	

6号角人孔工材料表

名 称	材料表					1ヶ所当り	摘 要
	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40(m³)	コンクリート(m³)		鉄 筋 (kg)		型 枠 (m²)	
		18-8-25	21-12-25	D16	D13		
6号角人孔工	0.589	0.589	6.010	20	551	45.52	

注意事項

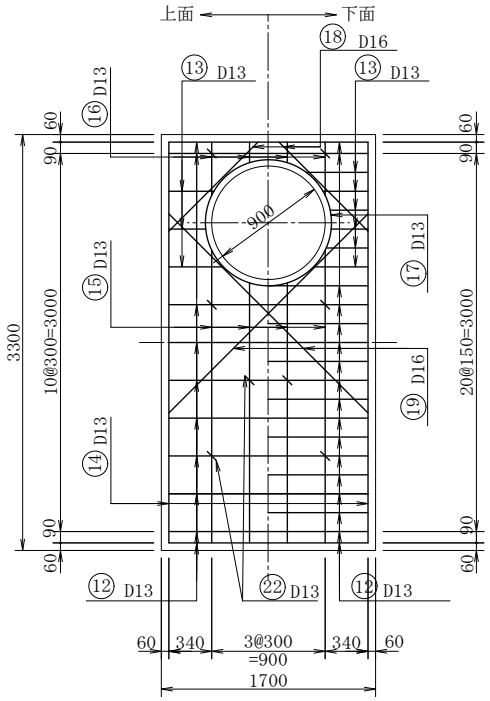
1. 材料表はC型管2,000㎜が両側に接合した場合であり、これ以外の接合の場合は管径による壁立上り面積の増減表により数量を補正する。

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
700 人　孔　工	角人孔工	７号配筋図 （その１）	R7.4

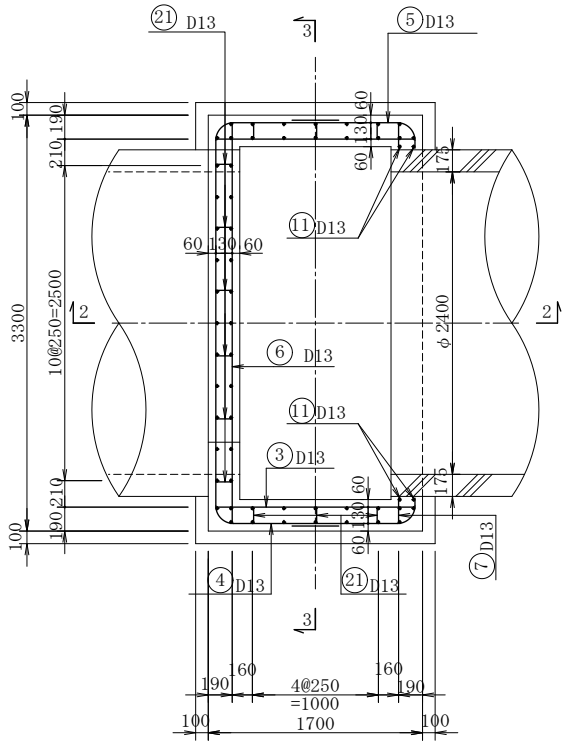
７ 号 角 人 孔 工

配　筋　図（その１）

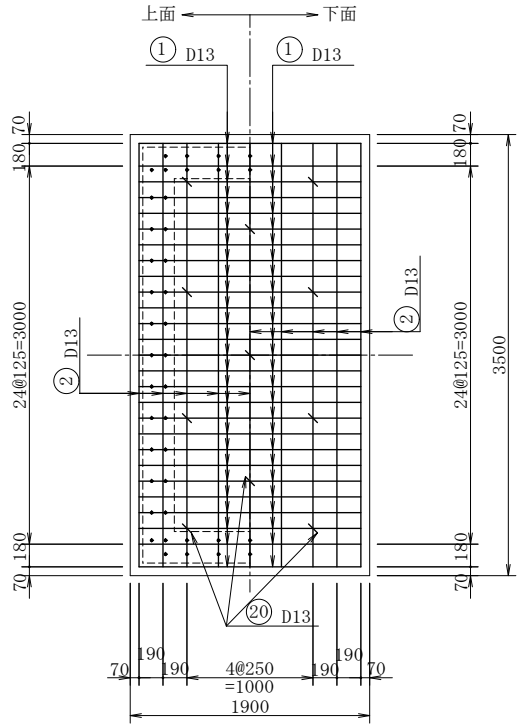
頂　版



1－1 断 面



底　版

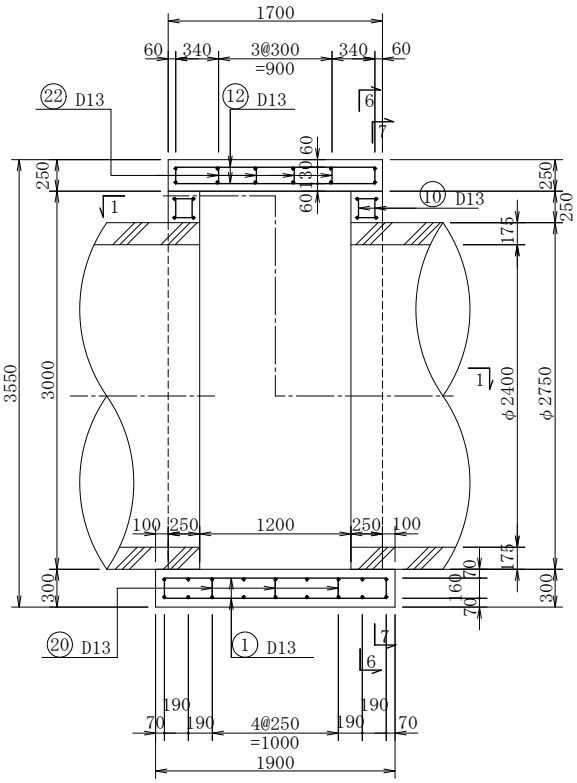


大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
700 人　孔　工	角人孔工	７号配筋図 （その２）	R7.4

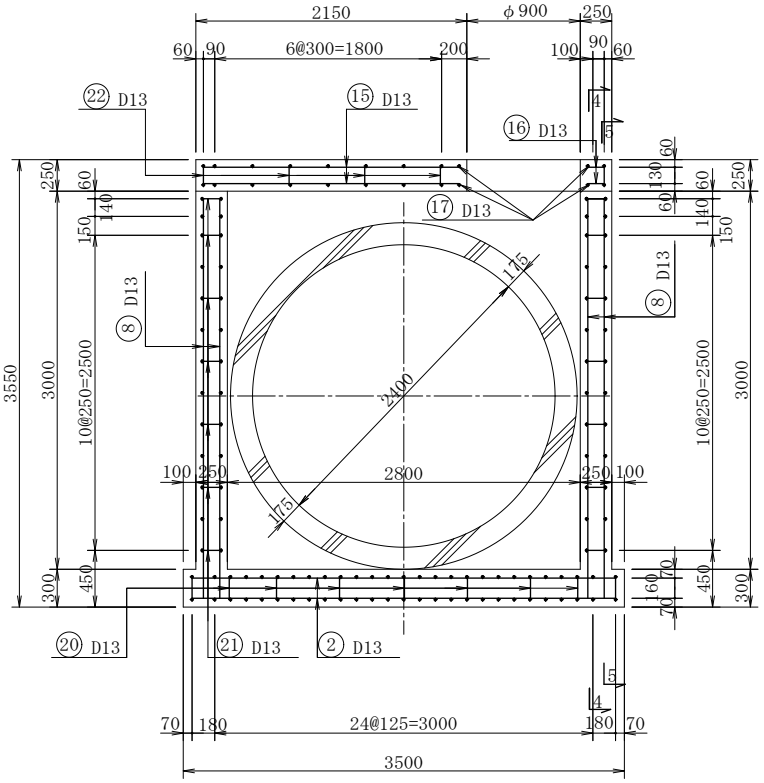
７ 号 角 人 孔 工

配　筋　図（その２）

２－２ 断 面



３－３ 断 面

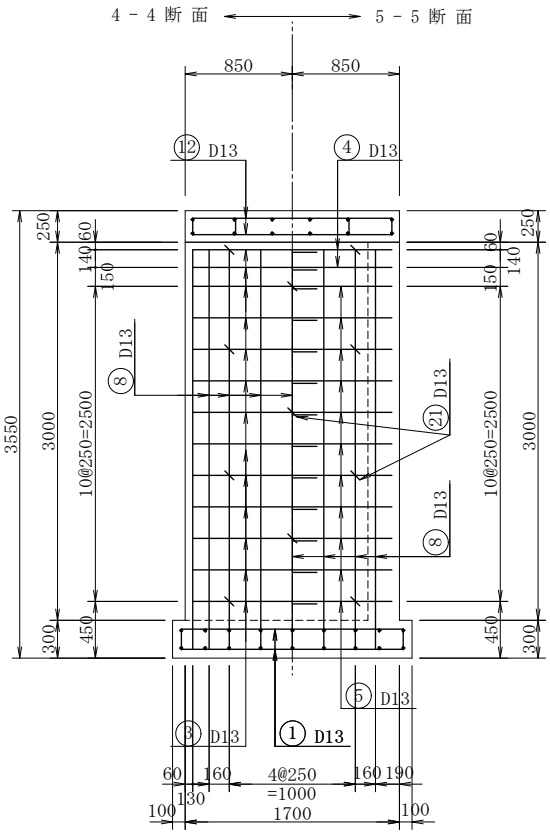


大分類	中分類	小分類	適用年度
700 人孔工	角人孔工	７号配筋図（その３）	R7.4

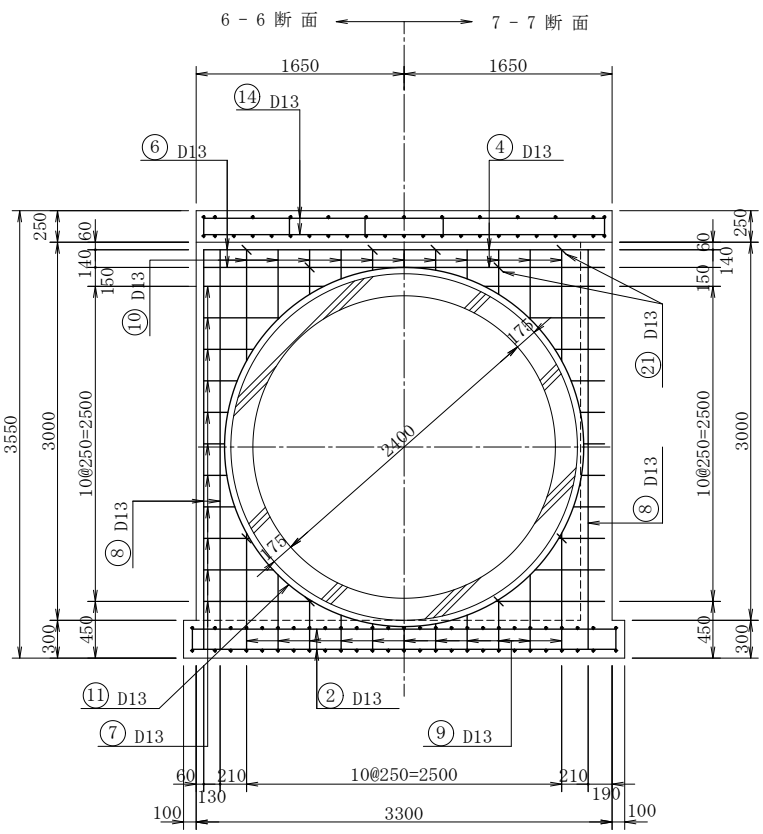
７号角人孔工

配筋図（その３）

側壁



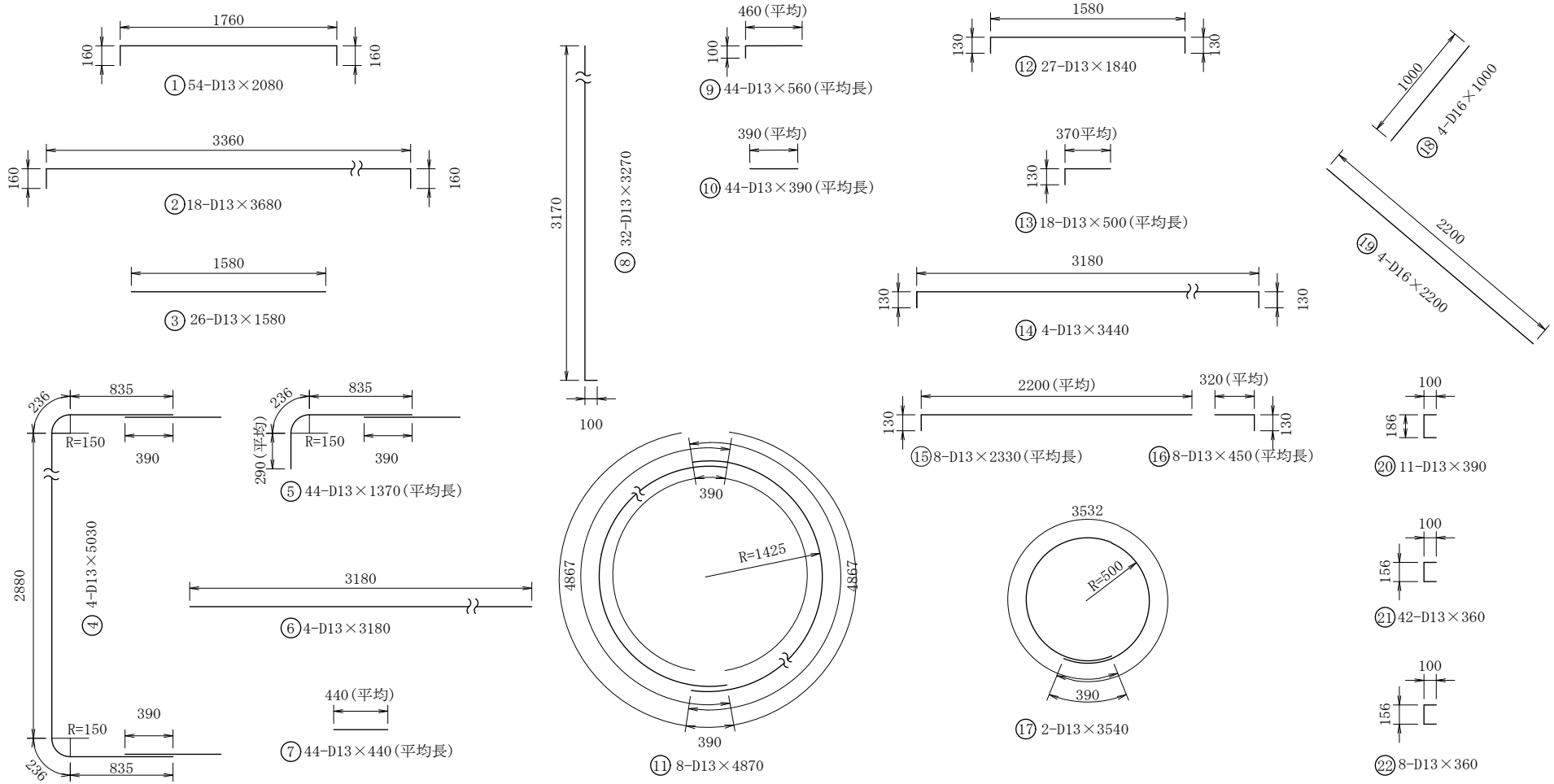
側壁



大分類	中分類	小分類	適用年度
700 人孔工	角人孔工	7号鉄筋加工図	R7.4

7 号 角 人 孔 工

鉄 筋 加 工 図



大分類	中分類	小分類	適用年度
700 人孔工	角人孔工	７号材料表	R7.4

７号角人孔工

鉄筋表

符号	径	長さ(mm)	本数	単位重量(kg/m)	1本当り重量	重量(kg)	摘要
①	D13	2080	54	0.995	2.070	111.8	┌──┐
②	〃	3680	18	〃	3.662	65.9	〃
③	〃	1580	26	〃	1.572	40.9	――
④	〃	5030	4	〃	5.005	20.0	┗
⑤	〃	1370	44	〃	1.363	60.0	┌ (平均長)
⑥	〃	3180	4	〃	3.164	12.7	――
⑦	〃	440	44	〃	0.438	19.3	〃 (平均長)
⑧	〃	3270	32	〃	3.254	104.1	└
⑨	〃	560	44	〃	0.557	24.5	〃 (平均長)
⑩	〃	390	44	〃	0.388	17.1	│ (〃)
⑪	〃	4870	8	〃	4.846	38.8	○
⑫	〃	1840	27	〃	1.831	49.4	┌──┐
⑬	〃	500	18	〃	0.498	9.0	┌ (平均長)
⑭	〃	3440	4	〃	3.423	13.7	┌──┐
⑮	〃	2330	8	〃	2.318	18.5	┌ (平均長)
⑯	〃	450	8	〃	0.448	3.6	┐ (〃)
⑰	〃	3540	2	〃	3.522	7.0	○
⑱	D16	1000	4	1.56	1.560	6.2	／
⑲	〃	2200	4	〃	3.432	13.7	＼
⑳	D13	390	11	0.995	0.388	4.3	┗
㉑	〃	360	42	〃	0.358	15.0	〃
㉒	〃	360	8	〃	0.358	2.9	〃
				D16	19.9 kg		
				D13	638.5 kg		
				合計	658.4 kg		

管径による壁立上り面積の増減表

名称	増減表		1m²当り	摘要
	コンクリート 21-12-25(m³)	鉄筋工 D13(kg)	型枠 (m²)	
７号角人孔工	0.25	23.30	1.00	

７号角人孔工材料表

名称	材料表					1ヶ所当り	摘要
	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40(m³)	コンクリート(m³)		鉄筋 (kg)		型枠 (m²)	
		18-8-25	21-12-25	D16	D13		
７号角人孔工	0.665	0.665	7.020	20	639	55.26	

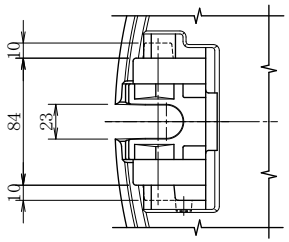
注意事項

1. 材料表はＣ型管2,400㎜が両側に接合した場合であり、これ以外の接合の場合は管径による壁立上り面積の増減表により数量を補正する。

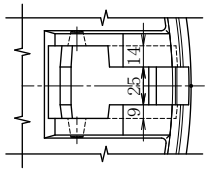
大分類	中分類	小分類	適用年度
700 人孔工	人孔鉄蓋構造図	T-25用	R7.4

人孔鉄蓋構造図

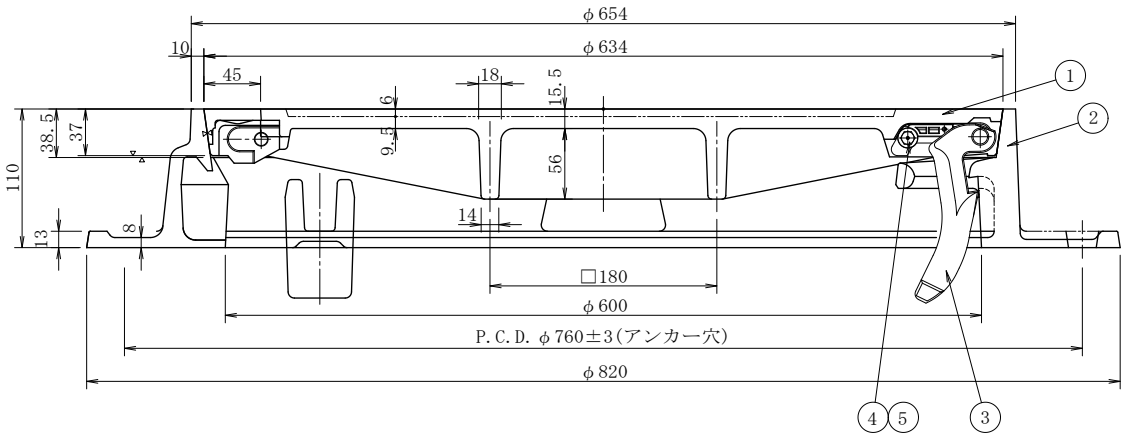
(浮上防止参考図)



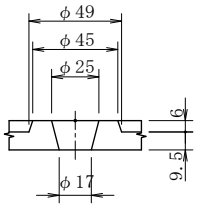
蓋裏蝶番取付座詳細図



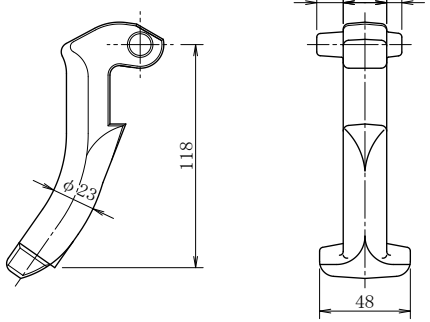
蓋、枠断面図



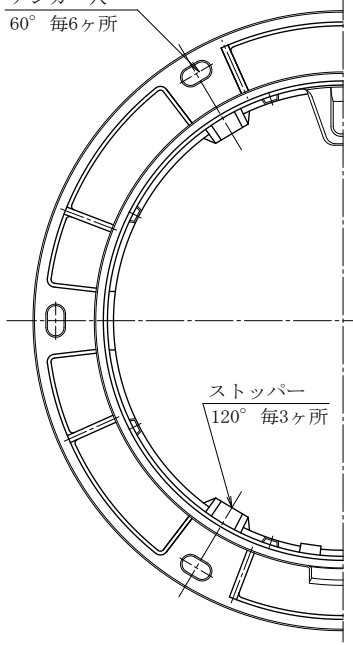
ガス穴詳細図



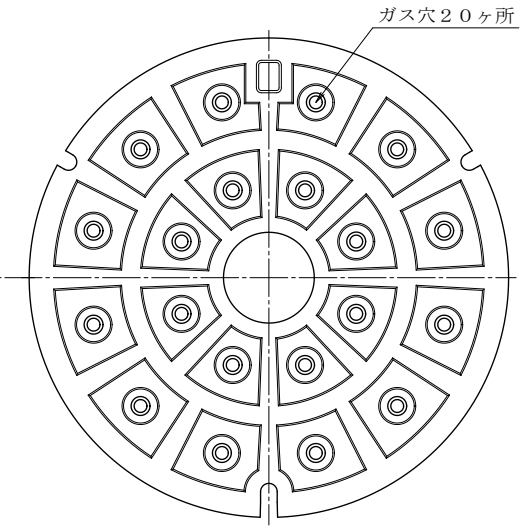
③ 蝶番金物詳細図



② 受枠平面図



① 蓋平面図



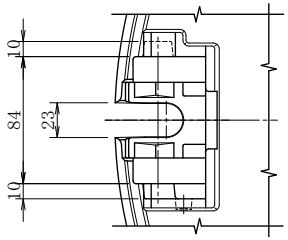
人孔鉄蓋部材表

名称		材質	個数	参考重量
①	蓋	FCD700	1	45kg
②	受枠	FCD600	1	46kg
③	蝶番金物	FCD600	1	
④	蝶番押え	PA	1	
⑤	六角ボルト Uナット	SUS-304	1	

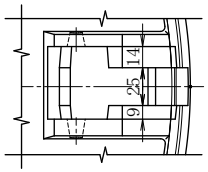
大分類	中分類	小分類	適用年度
700 人孔工	人孔鉄蓋構造図	T-14用	R7.4

人孔鉄蓋構造図

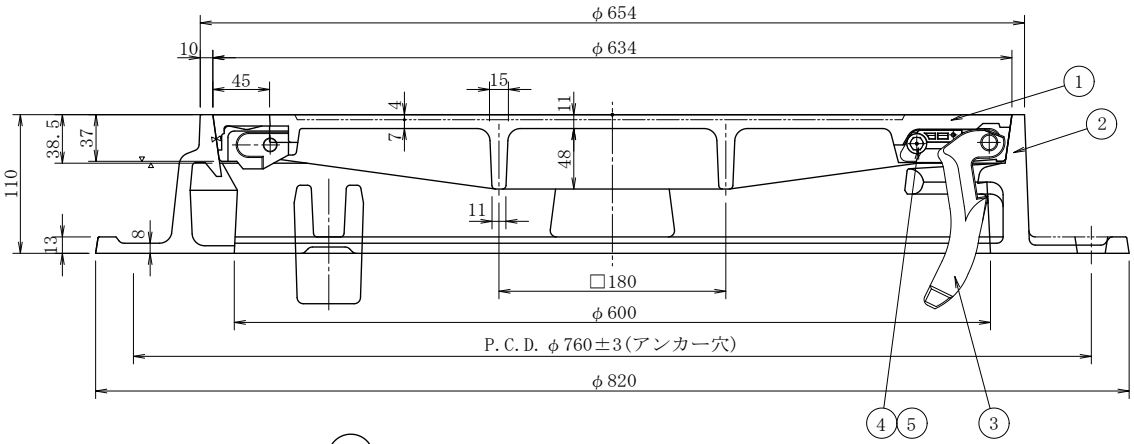
(浮上防止参考図)



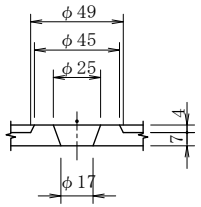
蓋裏蝶番取付座詳細図



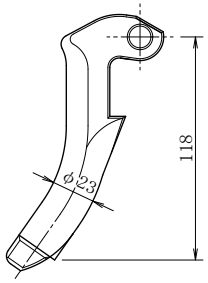
蓋、枠断面図

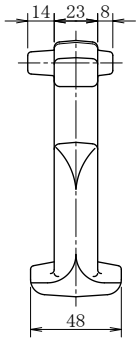


ガス穴詳細図

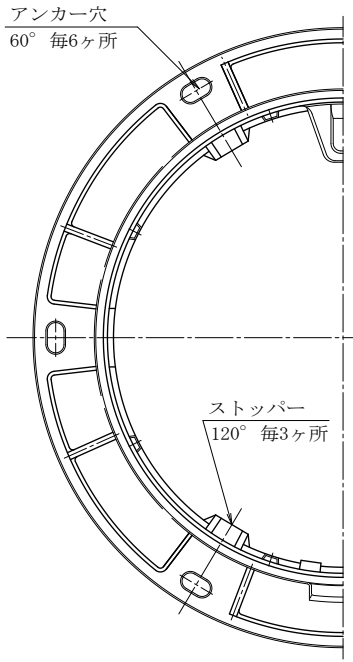


③ 蝶番金物詳細図

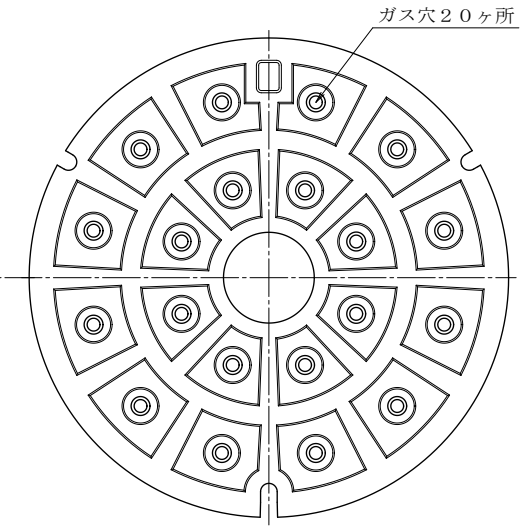




② 受枠平面図



① 蓋平面図



人孔鉄蓋部材表

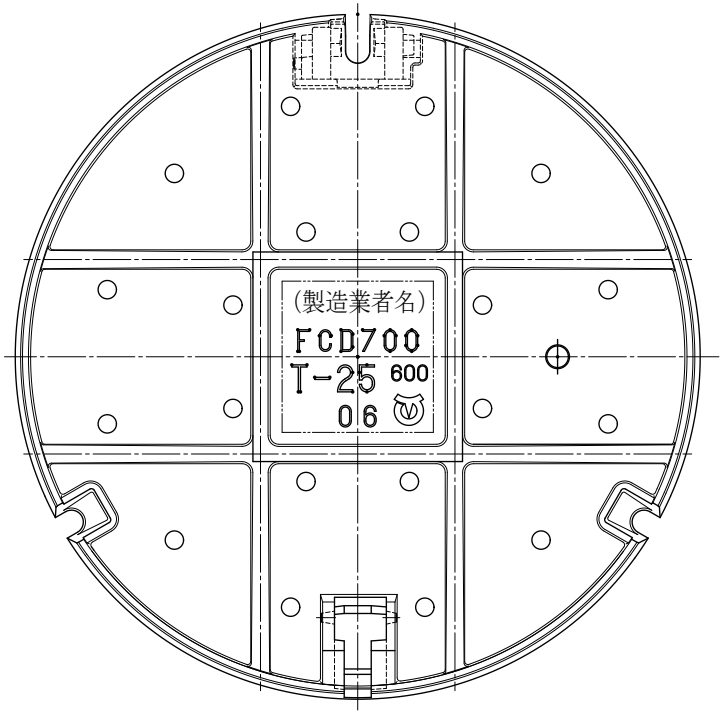
名称		材質	個数	参考重量
①	蓋	FCD700	1	34kg
②	受枠	FCD600	1	46kg
③	蝶番金物	FCD600	1	
④	蝶番押え	PA	1	
⑤	六角ボルト Uナット	SUS-304	1	

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
700 人　孔　工	人孔鉄蓋構造図	T-25、T-14 蓋裏面図	R7.4

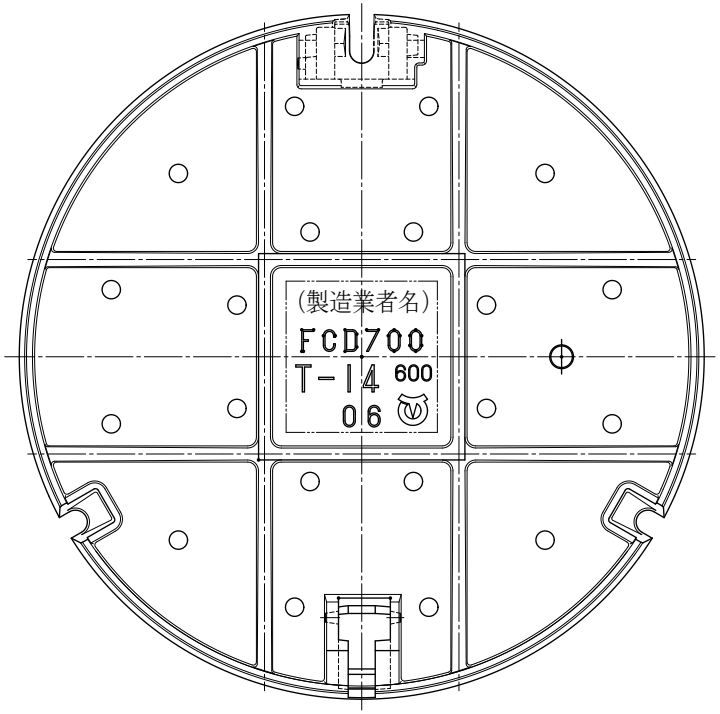
人 孔 鉄 蓋 構 造 図

蓋 裏 面 図

Ｔ－２５



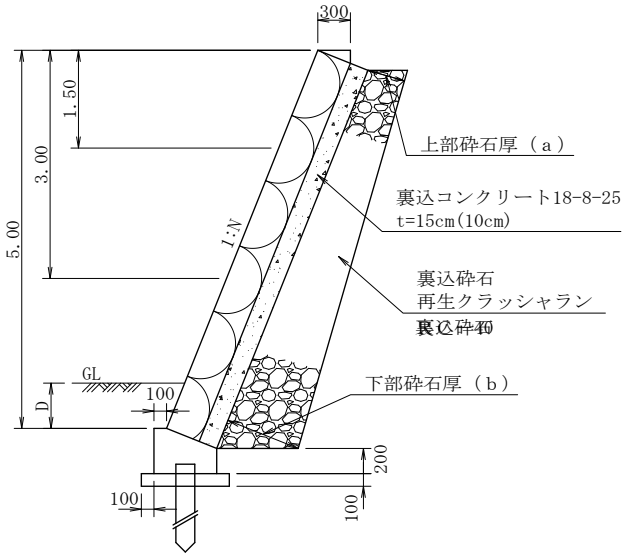
Ｔ－１４



大分類	中分類	小分類	適用年度
800 擁壁工	コンクリートブロック積工 石積工	コンクリートブロック積工 石積工（1/2）	R7.4

コンクリートブロック積工・石積工

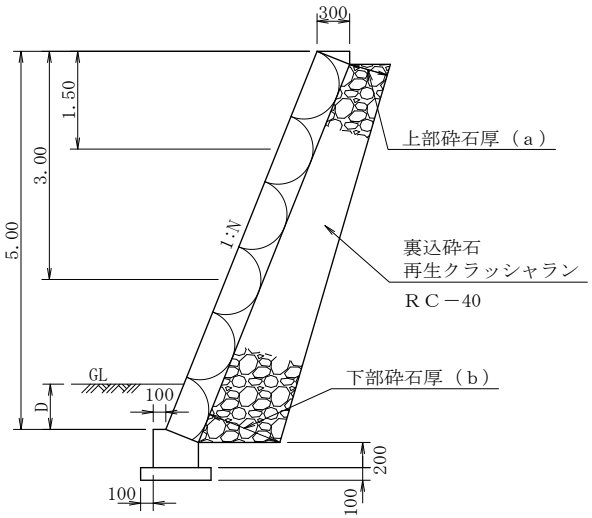
（A）裏込コンクリートあり



・擁壁（A）は、

1. 直高2.0m以上で、護岸肩部が兼用道路の場合に使用する。
2. 直高3.0m以上で、護岸の背面土質材料が砂質等吸い出され易いもの及び軟弱地盤の場合に使用する。

（B）裏込コンクリートなし



・擁壁（B）は、

1. 一般的な場合に使用する。
2. 基礎コンクリートの寸法は基礎杭のある場合は別途考慮する。
3. 根入れ長Dは通常1mであるが状況に応じて考慮する。

擁壁工寸法表

直高 (m)		寸法表 前面こう配 N	裏込コンクリート厚 t	裏込砕石厚 (a)	裏込砕石厚 (b)	摘要
1.50	A	盛土 1:0.3	－	300	450	
	B	切土 1:0.3	－			
2.00	A	盛土 1:0.4	－	300	600	
	B	切土 1:0.4	－			
3.00	A	盛土 1:0.4	100	300	600	
	B	切土 1:0.4	－			
3.50	A	盛土 1:0.4	100	300	800	
	B	切土 1:0.4	100			
5.00	A	盛土 1:0.4	150	300	800	
	B	切土 1:0.4	150			

単位（mm）

擁壁工材料表

10m²当り

名称	間知ブロック 控長35cm σ_{ca}=18N/mm²以上（kg）	雑割石 控長35cm（個）	コンクリート(m³) 胴込 18-8-25	コンクリート(m³) 裏込 18-8-25	裏込砕石 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ(m³)	水抜管 VPφ50（m） RC－40	吸出し防止材 cm cm mm 30×30×20（m²）	摘要
コンクリートブロック石積工	3500	－	1.9	(1.0)				
石積工	－	110	1.9	(1.0)				
〃	－	130	1.9	(1.0)				

注意事項

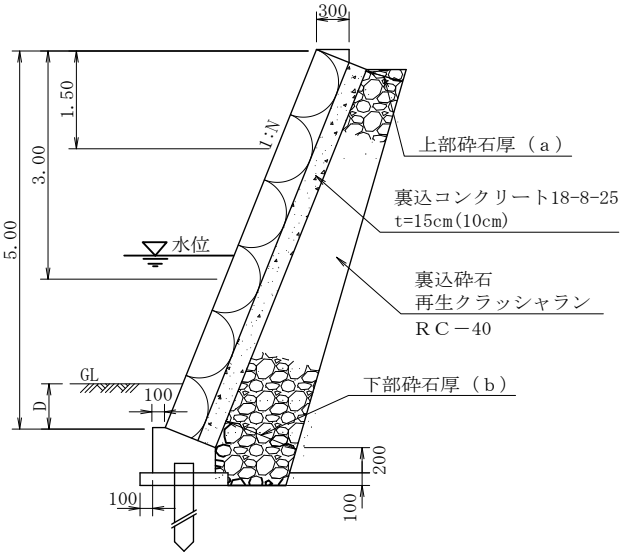
1. 裏込コンクリート厚は、直高により上下等厚とする。
2. 裏込砕石厚、裏込コンクリート厚は前面勾配に直角とする。
3. 比較的よく締った地山の切土の裏込砕石については、裏込材の厚さを上下等厚としてもよい（0.30m～0.40m）。
4. 河積確保の必要があるとき、又は、接続構造物に合致せしめる必要のあるときは、本表勾配を適用しない。
5. 施工延長20m以内に１ヶ所、目地工（瀝青質目地板　t=10㎜）を施工する。
6. 水抜管の本数は計画河床以上について、1か所以上／3m²とする。

大分類	中分類	小分類	適用年度
800 擁壁工	コンクリートブロック積工 石積工	コンクリートブロック積工 石積工(2/2)	R7.4

コンクリートブロック積工・石積工

（A）裏込コンクリートあり

（前面の水位を考慮する場合）

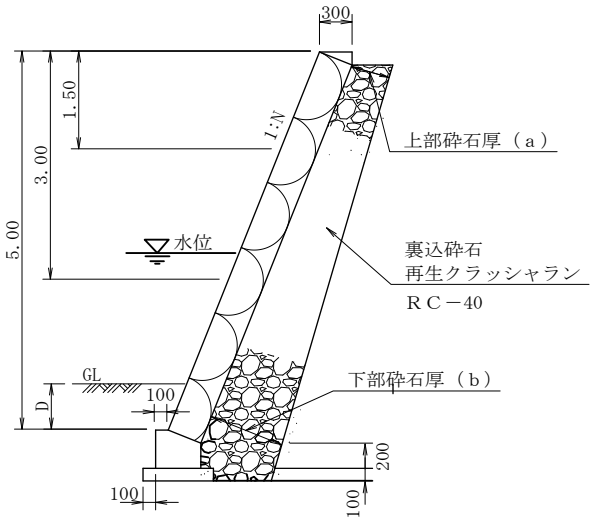


・擁壁（A）は、

1. 直高2.0m以上で、護岸肩部が兼用道路の場合に使用する。
2. 直高3.0m以上で、護岸の背面土質材料が砂質等吸い出され易いもの及び軟弱地盤の場合に使用する。

（B）裏込コンクリートなし

（前面の水位を考慮する場合）



・擁壁（B）は、

1. 一般的な場合に使用する。
2. 基礎コンクリートの寸法は基礎杭のある場合は別途考慮する。
3. 根入れ長Dは通常1mであるが状況に応じて考慮する。

擁壁工寸法表

単位（mm）

直高（m）		前面こう配 N	裏込コンクリート厚 t	裏込砕石厚 (a)	裏込砕石厚 (b)	摘要
1.50	A	盛土 1:0.3	－	300	450	
	B	切土 1:0.3	－			
2.00	A	盛土 1:0.4	－	300	600	
	B	切土 1:0.4	－			
3.00	A	盛土 1:0.4	100	300	600	
	B	切土 1:0.4	－			
3.50	A	盛土 1:0.4	100	300	800	
	B	切土 1:0.4	100			
5.00	A	盛土 1:0.4	150	300	800	
	B	切土 1:0.4	150			

擁壁工材料表

10m²当り

名称	間知ブロック 控長35cm σ_{ca}=18N/mm²以上（kg）	雑割石 控長35cm（個）	コンクリート(m³) 胴込 18-8-25	コンクリート(m³) 裏込 18-8-25	裏込砕石 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ(m³)	水抜管 VPφ50（m） RC－40	吸出し防止材 cm cm mm 30×30×20（m²）	摘要
コンクリートブロック石積工	3500	－	1.9	(1.0)				
石積工	－	110	1.9	(1.0)				
〃	－	130	1.9	(1.0)				

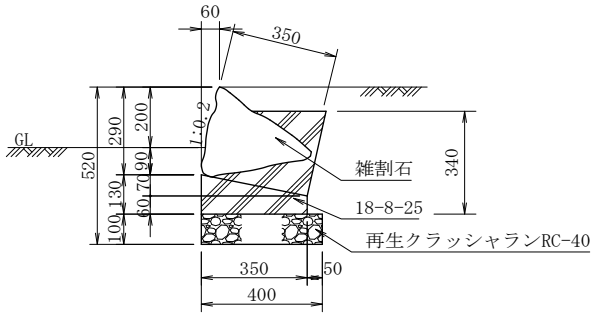
注意事項

1. 裏込コンクリート厚は、直高により上下等厚とする。
2. 裏込砕石厚、裏込コンクリート厚は前面勾配に直角とする。
3. 比較的よく締った地山の切土の裏込砕石については、裏込材の厚さを上下等厚としてもよい（0.30m～0.40m）。
4. 河積確保の必要があるとき、又は、接続構造物に合致せしめる必要のあるときは、本表勾配を適用しない。
5. 施工延長20m以内に１ヶ所、目地工（瀝青質目地板　t=10mm）を施工する。
6. 水抜管は平水位以下には設けないものとし、1か所以上／3m² とする。
7. 擁壁の前面に水位がある場合は、裏込砕石を基礎地盤程度まで設置すること。

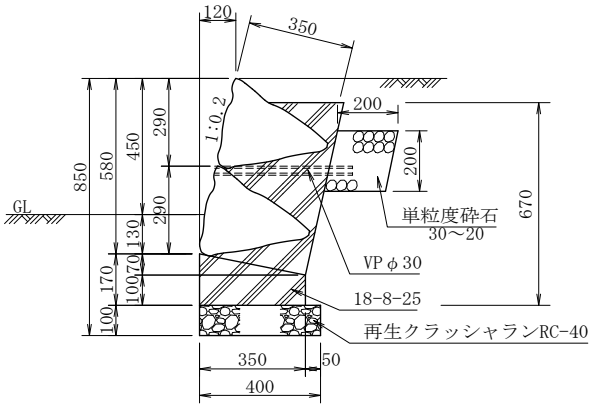
大分類	中分類	小分類	適用年度
800 擁壁工	公園石積工	1段、2段、3段	R7.4

公園石積工

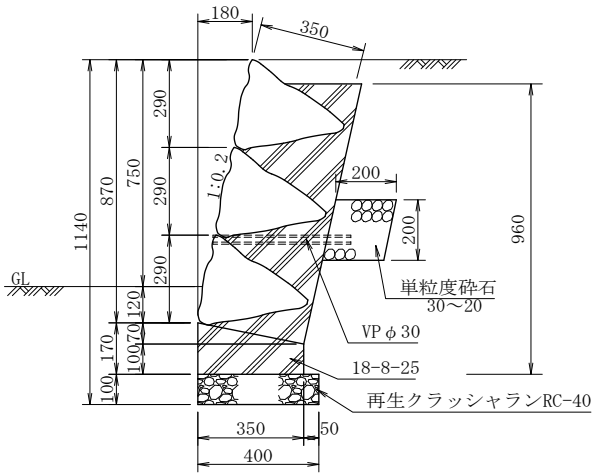
1段



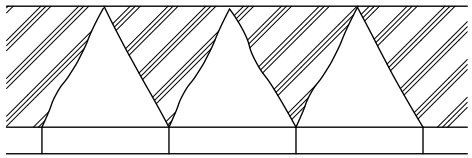
2段



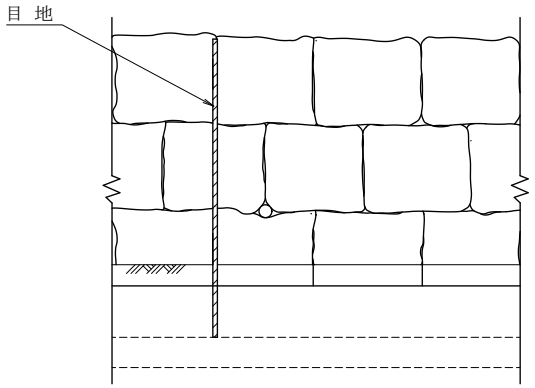
3段



平面図（参考図）



正面図（参考図）



公園石積工材料表

名称	材料表 10m当り								摘要
	再生クラッシャランRC-40(m³)	コンクリート18-8-25(m³) 基礎用	コンクリート18-8-25(m³) 胴込用	雑割石(四方落し)控35cm(個)	単粒度砕石 30～20(m³)	VP φ30(m)	目地工 (m²)	型枠 (m²)	
石積1段	0.400	0.333	0.581	33.0	──	──	0.122	1.900	
石積2段	0.400	0.473	1.290	66.0	0.400	0.80	0.242	2.700	
石積3段	0.400	0.473	1.999	99.0	0.400	0.80	0.348	2.700	

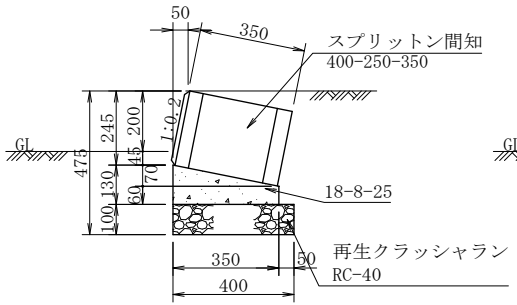
注意事項

1. 施工延長10m以内に1ヶ所、目地工（瀝青質目地板 t＝10㎜）を施工する。
2. 排水層は帯状とし、水抜パイプは@5mを標準とする。
3. 雑割石は、石面300×300内外、控35cmのものとする。
4. 石の角は面取りを行うものとする。
5. 石の角を払い落とし、互いの合端をなじませることで、石材同士の隙間を極力少なくすること。
6. 胴込用コンクリートは、型枠を適切に使用して施工すること。

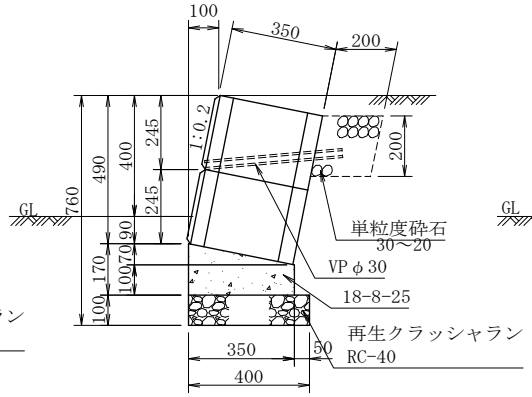
大分類	中分類	小分類	適用年度
800 擁壁工	公園ブロック積工	1段、2段、3段 4段	R7.4

公園ブロック積工

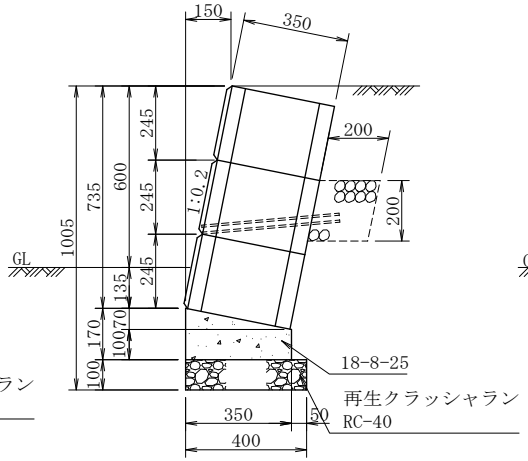
1　段



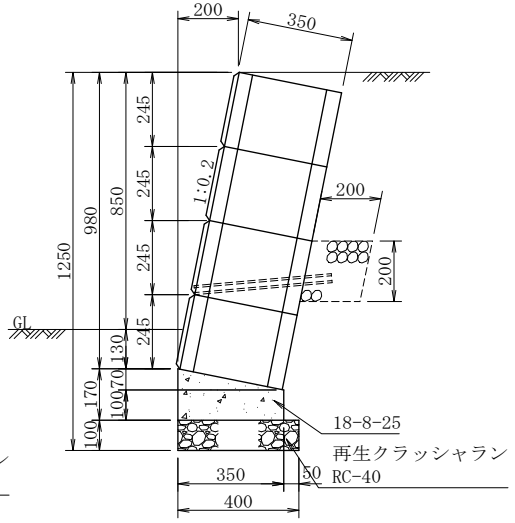
2　段



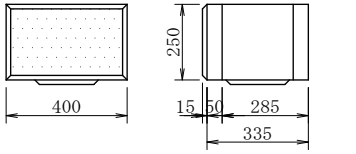
3　段

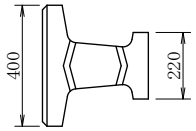


4　段



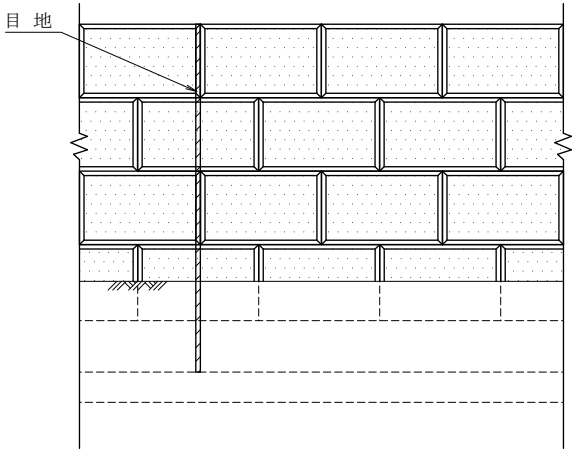
スプリットン間知





A 型 ブ ロ ッ ク

正　面　図　（参考図）



公園ブロック積工　材料表

名称	材料表 10m当り							
	再生クラッシャラン RC-40(m³)	コンクリート 18-8-25(m³) 基礎用	コンクリート 18-8-25(m³) 胴込用	積ブロック間知（個） 400×250×350	単粒度砕石 30～20(m³)	VP φ30(m)	目地工 (m²)	型枠 (m²)
ブロック積1段	0.400	0.333	0.550	25.0	—	—	0.121	1.900
ブロック積2段	0.400	0.473	1.100	50.0	0.400	0.80	0.277	2.700
ブロック積3段	0.400	0.473	1.650	75.0	0.400	0.80	0.317	2.700
ブロック積4段	0.400	0.473	2.200	100.0	0.400	0.80	0.407	2.700

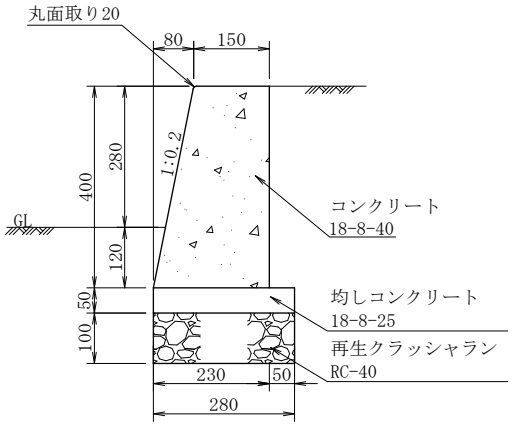
注意事項

1. 施工延長10m以内に1ヶ所、目地工（瀝青質目地板 t＝10㎜）を施工する。
2. 排水層は帯状とし、水抜パイプは@5mを標準とする。

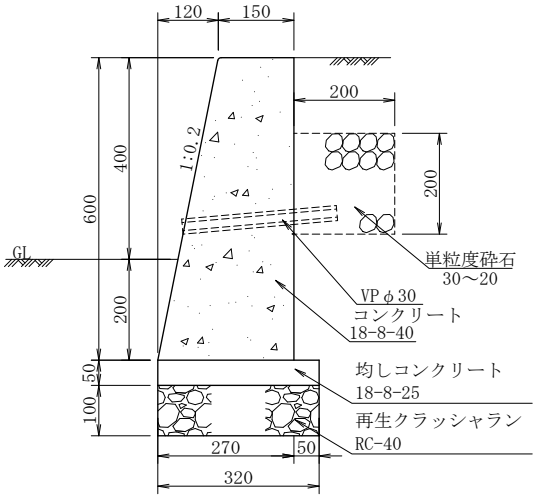
大分類	中分類	小分類	適用年度
800 擁壁工	コンクリート擁壁工	H=0.4m、0.6m、0.8m	R7.10

コンクリート擁壁工

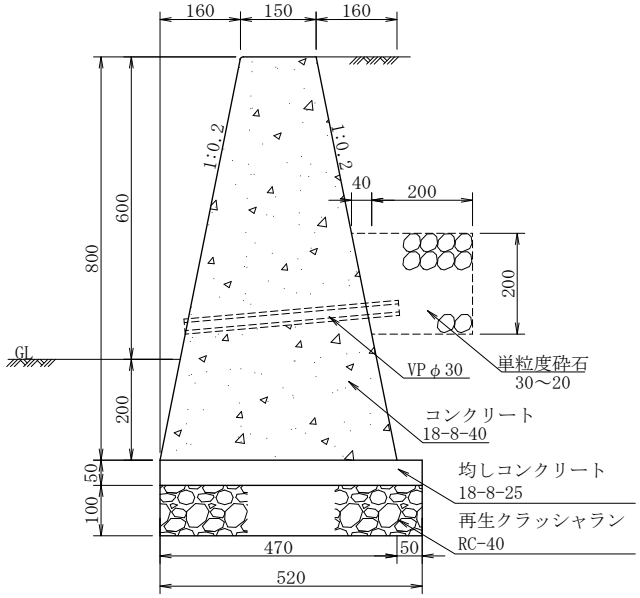
H＝0.4m



H＝0.6m



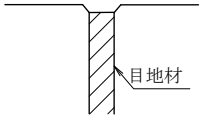
H＝0.8m



コンクリート擁壁工材料表

名称	材料表 10m当り								摘要
	再生クラッシャラン RC-40(m³)	コンクリート 18-8-40(m³)	均しｺﾝｸﾘｰﾄ 18-8-25(m³)	単粒度砕石 30～20(m³)	ＶＰ φ30(m)	目地工 (m²)	型枠 (m²)	均し型枠 (m²)	
コンクリート壁（H＝0.4m）	0.280	0.760	0.140	——	——	0.076	8.079	1.000	
コンクリート壁（H＝0.6m）	0.320	1.260	0.160	0.400	0.50	0.126	12.119	1.000	
コンクリート壁（H＝0.8m）	0.520	2.480	0.260	0.440	0.80	0.248	16.317	1.000	

目地詳細図



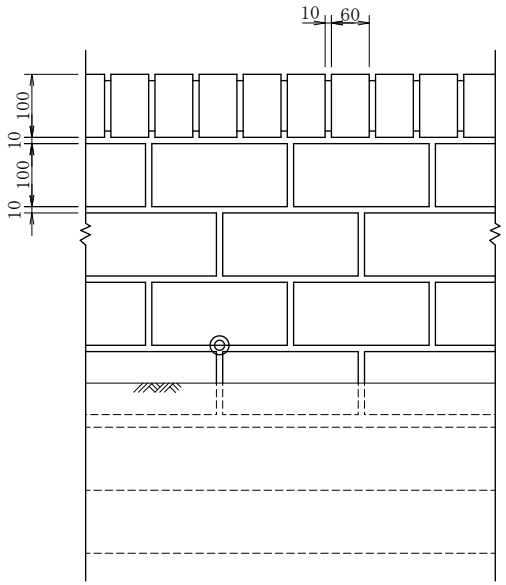
注意事項

1. 施工延長10m以内に１ヶ所、目地工（瀝青質目地板　t＝10㎜）を施工する。
2. 排水層は帯状とし、水抜パイプは@5mを標準とする。

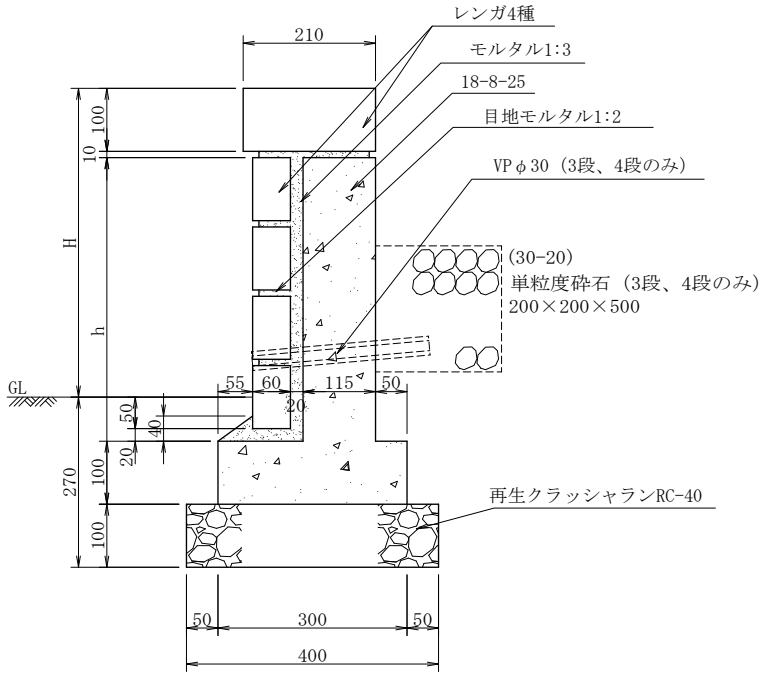
大分類	中分類	小分類	適用年度
800 擁壁工	レンガ張壁工	2段、3段、4段	R7.4

レ ン ガ 張 壁 工

正 面 図



断 面 図



レンガ張壁工寸法表

名称		寸法表 単位（mm） H	h	摘要
レンガ張壁	2段	270	230	
	3段	380	340	
	4段	490	450	

レ ン ガ 張 壁 工 材 料 表

名称		材料表 再生クラッシャランRC-40(m³)	コンクリート 18-8-25(m³)	モルタル(m³) 敷(1:3)	モルタル(m³) 目地(1:2)	レンガ 210×100×60 4種（個）	単粒度砕石 30～20(m³)	VP φ30(m)	10m当り 目地工 (m²)	10m当り 型枠 (m²)	摘要
レンガ張壁	2段	0.400	0.565	0.088	0.038	233.8	——	——	0.056	6.60	
	3段	0.400	0.691	0.110	0.047	279.2	0.040	0.40	0.069	8.80	
	4段	0.400	0.818	0.132	0.055	324.7	0.040	0.40	0.082	11.00	

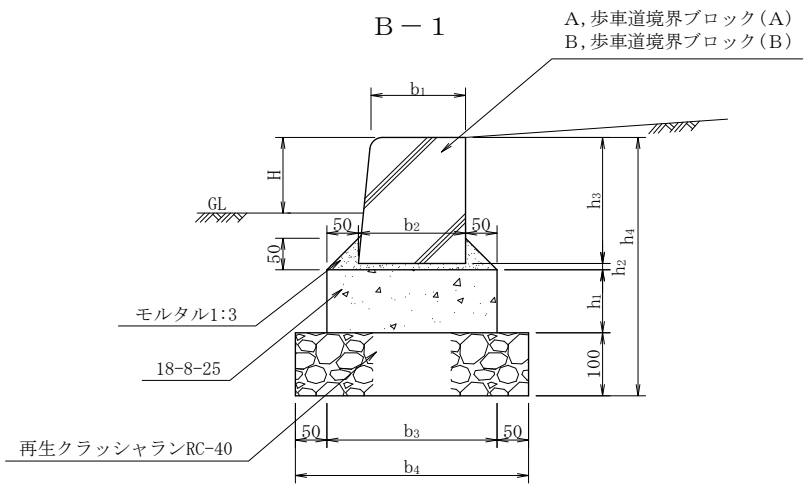
注意事項

1. 化粧目地の深さは、3～5㎜とする。
2. 排水層はスポット状とし、@5mを標準とする。
3. 施工延長10m以内に１ヶ所、目地工（瀝青質目地板　t=10㎜）を施工する。
4. コーナー部分については、面取りを行い角を落とすこと。

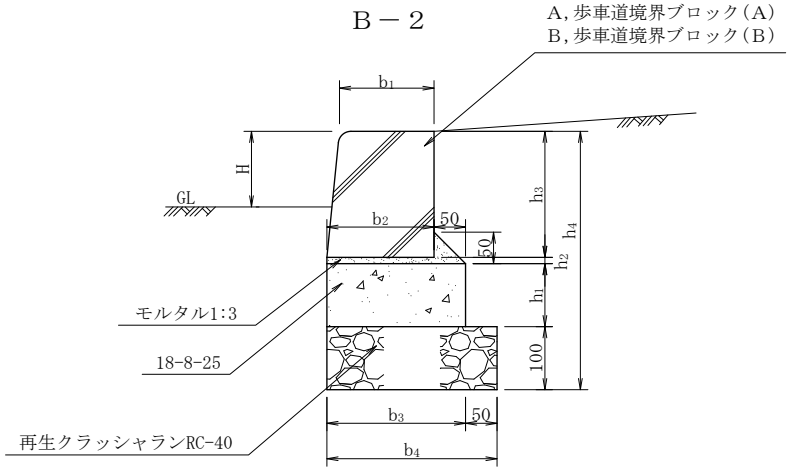
大分類	中分類	小分類	適用年度
900 縁石工	ブロック縁石工	A・B	R7.4

ブロック縁石工（A・B）

A－1
B－1



A－2
B－2



ブロック縁石工（A・B）寸法表

名称	寸法表 単位（mm）									摘要
	b_1	b_2	b_3	b_4	H	h_1	h_2	h_3	h_4	
ブロック縁石工(A－1)	150	170	270	370	120	100	10	200	410	Aブロック
						0	30		330	
ブロック縁石工(A－2)	150	170	220	270	120	100	10	200	410	〃
						0	30		330	
ブロック縁石工(B－1)	180	205	305	405	150	100	10	250	460	Bブロック
						0	30		380	
ブロック縁石工(B－2)	180	205	255	305	150	100	10	250	460	〃
						0	30		380	

ブロック縁石工（A・B）材料表

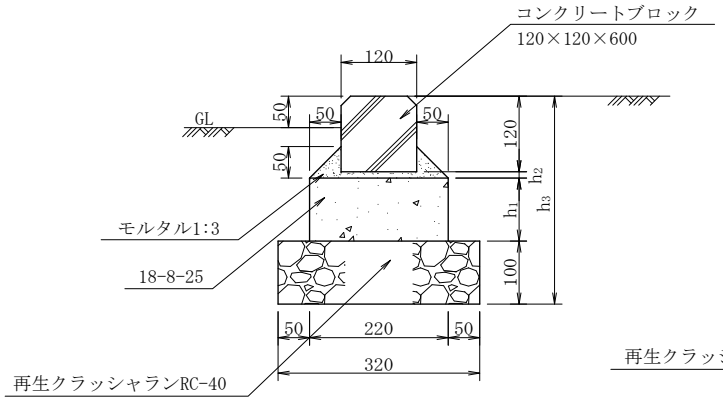
名称	材料表 10m当り						摘要
	再生クラッシャランRC-40(m^3)	コンクリート 18-8-25(m^3)	モルタル(m^3) 敷モルタル（1：3）	モルタル(m^3) 目地モルタル（1：2）	歩車道境界ブロック（本）	型枠 (m^2)	
ブロック縁石工(A－1)	0.370	0.270	0.042	0.003	16.5	2.00	
		0	0.076			0	
ブロック縁石工(A－2)	0.270	0.220	0.030	0.003	16.5	2.00	
		0	0.064			0	
ブロック縁石工(B－1)	0.410	0.305	0.046	0.004	16.5	2.00	
		0	0.087			0	
ブロック縁石工(B－2)	0.310	0.255	0.033	0.004	16.5	2.00	
		0	0.074			0	

注意事項
1. 目地幅は5mmとする。

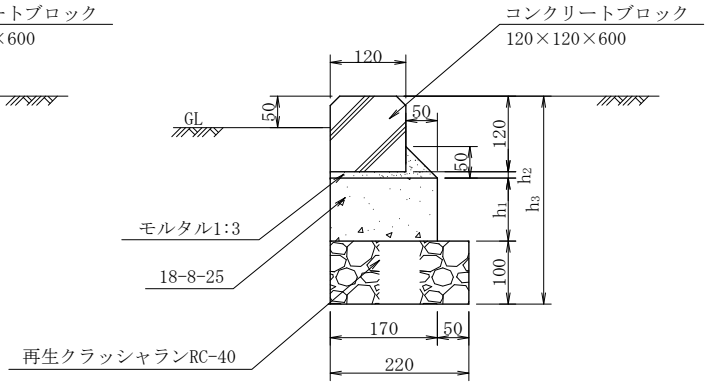
大分類	中分類	小分類	適用年度
900 縁石工	ブロック縁石工	C・D	R7.4

ブロック縁石工（C・D）

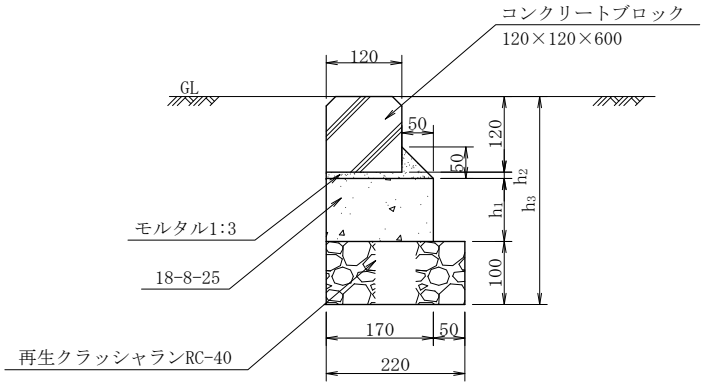
C－1



C－2



D



ブロック縁石工（C・D）寸法表

名称	寸法表 単位（mm）			摘要
	h_1	h_2	h_3	
ブロック縁石工(C－1)	100	10	330	
	0	30	250	
ブロック縁石工(C－2)	100	10	330	
	0	30	250	
ブロック縁石工(D)	100	10	330	
	0	30	250	

ブロック縁石工（C・D）材料表

名称	材料表 10m当り						摘要
	再生クラッシャラン RC-40(m^3)	コンクリート 18-8-25(m^3)	モルタル(m^3) 敷モルタル（1：3）	モルタル(m^3) 目地モルタル（1：2）	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ 120×120×600（本）	型枠 (m^2)	
ブロック縁石工(C－1)	0.320	0.220	0.037	0.001	16.5	2.00	
		0	0.061			0	
ブロック縁石工(C－2)	0.220	0.170	0.020	0.001	16.5	2.00	
		0	0.049			0	
ブロック縁石工(D)	0.220	0.170	0.020	0.001	16.5	2.00	
		0	0.049			0	

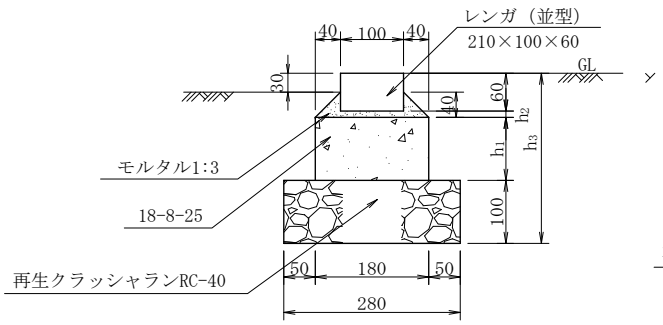
注意事項

1. 目地幅は5㎜とする。
2. ブロック縁石Cのブロックは、地先境界ブロック（A）、擬石ブロック（2面仕上げ）、洗出しブロック（2面仕上げ）のいずれかとする。
3. ブロック縁石Dのブロックは、地先境界ブロック（A）、擬石ブロック（1面仕上げ）、洗出しブロック（1面仕上げ）のいずれかとする。

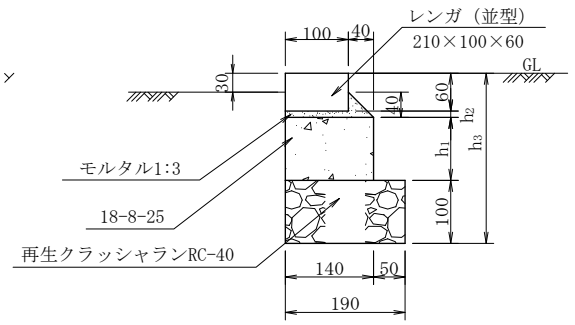
大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
900 縁 石 工	レンガ縁石工	A・B・C	R7.4

レンガ縁石工（A・B・C ）

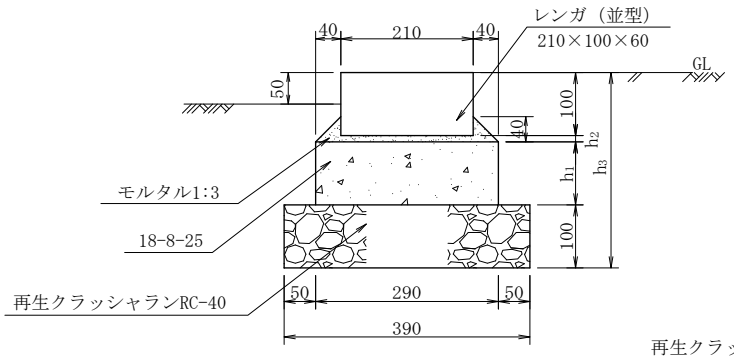
A－1



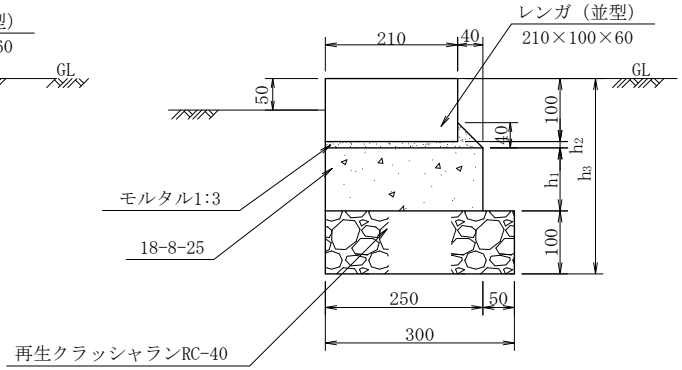
A－2



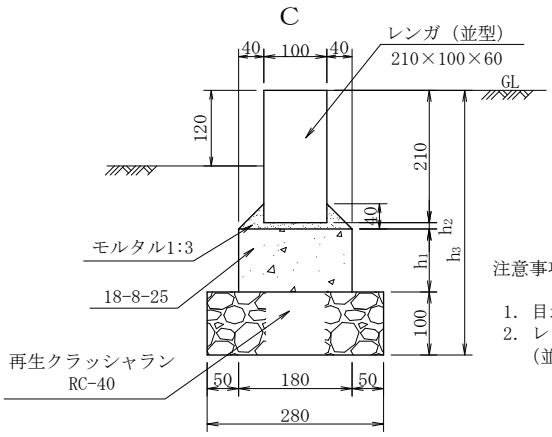
B－1



B－2



C



レンガ縁石工（A・B・C）寸法表

名　称	寸法表　単位（mm）			摘　要
	h_1	h_2	h_3	
レンガ縁石工(A－1)	100	10	270	
	0	30	190	
レンガ縁石工(A－2)	100	10	270	
	0	30	190	
レンガ縁石工(B－1)	100	10	310	
	0	30	230	
レンガ縁石工(B－2)	100	10	310	
	0	30	230	
レンガ縁石工(　C　)	100	10	420	
	0	30	340	

レンガ縁石工（A・B・C）材料表

名　称	材料表　10m当り						摘　要
	再生クラッシャランRC-40(m^3)	コンクリート 18-8-25(m^3)	モルタル(m^3) 敷モルタル（1：3）	モルタル(m^3) 目地モルタル（1：3）	レンガ 210×100×60 3種（個）	型枠(m^2)	
レンガ縁石工(A－1)	0.280	0.180	0.026	0.002	45.5	2.00	
		0	0.046			0	
レンガ縁石工(A－2)	0.190	0.140	0.018	0.002	45.5	2.00	
		0	0.038			0	
レンガ縁石工(B－1)	0.390	0.290	0.037	0.030	142.9	2.00	
		0	0.079			0	
レンガ縁石工(B－2)	0.300	0.250	0.029	0.030	142.9	2.00	
		0	0.071			0	
レンガ縁石工(　C　)	0.280	0.180	0.026	0.030	142.9	2.00	
		0	0.046			0	

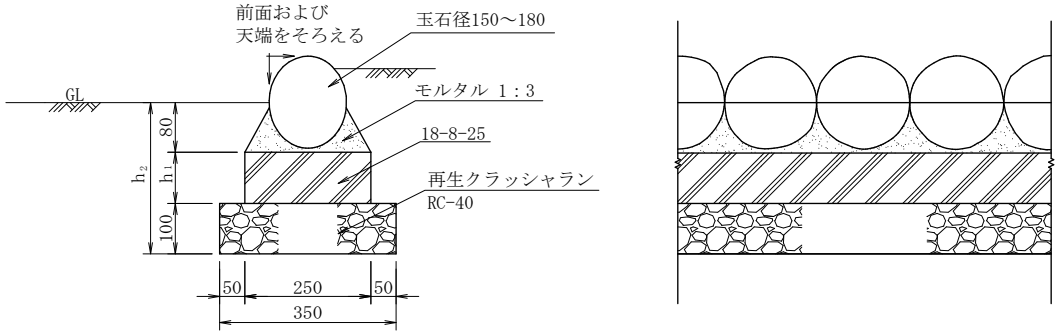
注意事項

1. 目地は化粧目地とし、幅10㎜、深3～5㎜とする。
2. レンガは、普通レンガ（3種－並型）、焼過レンガ（並型）のいずれかとする。

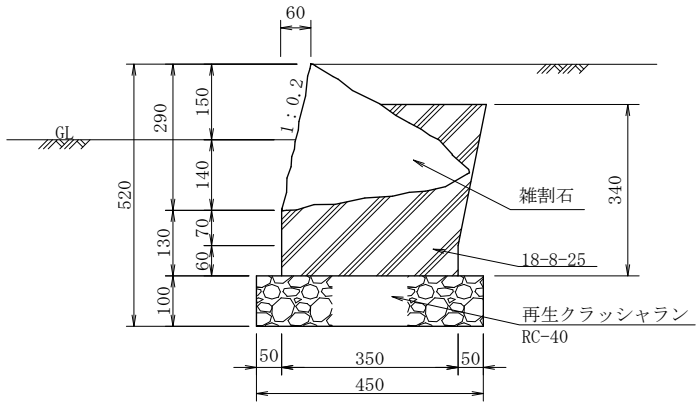
大分類	中分類	小分類	適用年度
900 縁石工	玉石・雑割石縁石工		R7.4

玉石・雑割石縁石工

玉石縁石



雑割石縁石



玉石・雑割石縁石工材料表

名称	材料表						10m当り	摘要
	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 (m³)	コンクリート 18-8-25 (m³)	敷モルタル (1：3) (m³)	目地工 (m²)	玉石 φ150～180 (個)	雑割石 (四方落し) 控35cm	型枠	
玉石縁石	0.350	0.250 0	0.102	—	55	—	2.00 0	
雑割石縁石	0.450	0.913	—	—	—	33	4.76	

玉石縁石工寸法表

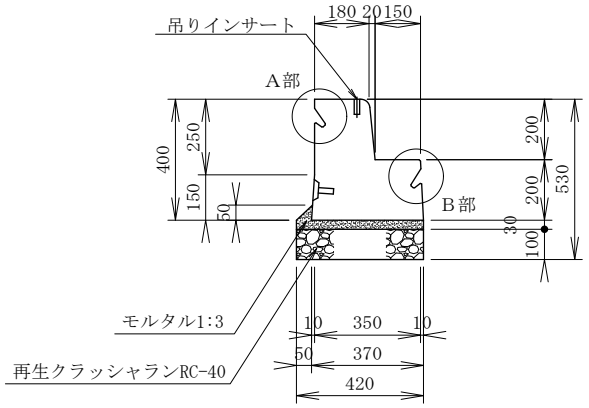
名称	寸法表 単位(mm)		摘要
	h1	h2	
玉石縁石工	100	280	
	0	180	

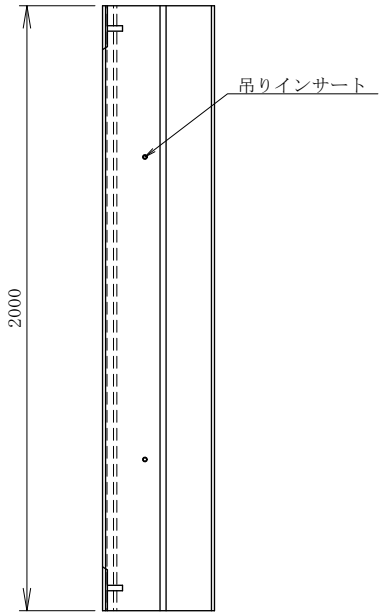
注意事項

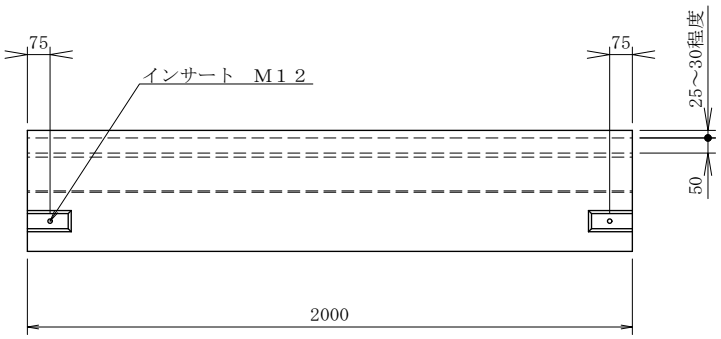
1. 雑割石は、控35cmものとし、石面300×300内外使いとする。
2. 石の角は、面取りを行うものとする。

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
900 縁 石 工	防草ブロック工	B	R7.4

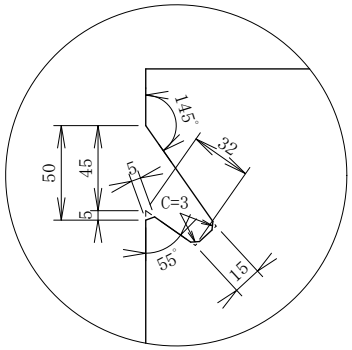
防草ブロック工（ベース付片面ブロックB）



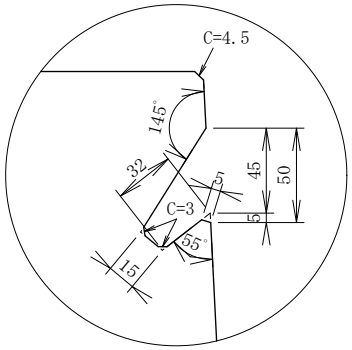




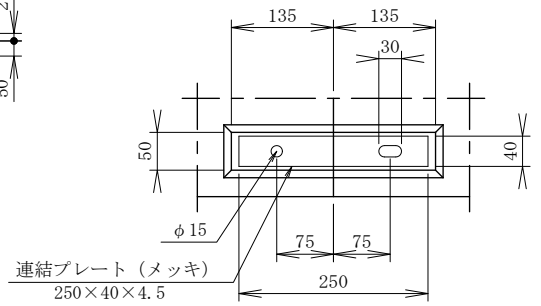
A部詳細図

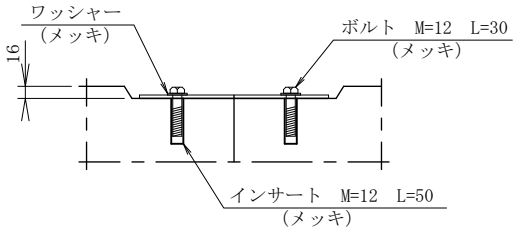


B部詳細図



連結部詳細図





連結プレート、ボルト、ワッシャー、インサートの仕様
1. 材質はSS400または同等以上のもの
2. 電気亜鉛メッキ（JIS H 8610）2種3種級または同等以上のもの

防草ブロック工　材料表

名　称	材料表 10m当り				摘　要
	再生クラッシャラン RC-40(m³)	モルタル (m³)		ベース付片面ブロックB(本)	
		敷モルタル (1：3)	目地モルタル (1：2)		
防草ブロック工	0.420	0.139	0.003	5	

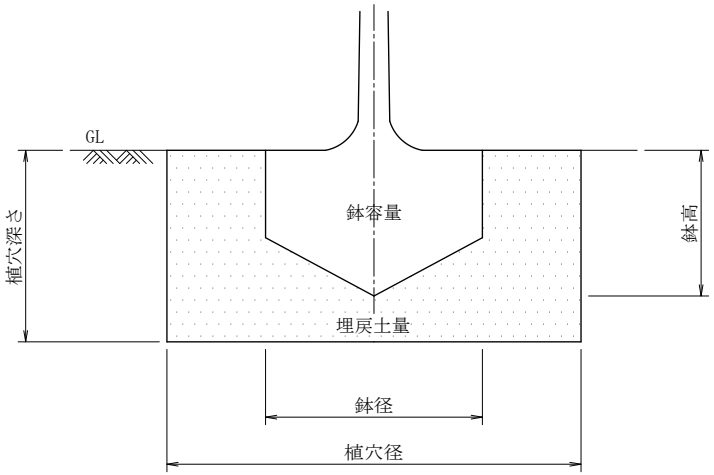
注意事項
1. 目地幅は5㎜とする。

大分類	中分類	小分類	適用年度
1000 植栽工	植栽	公園用	R7.4

植　栽　工

（公園用）

名称 (cm)			寸法表 鉢径 (cm)	鉢高 (cm)	鉢容量 (m^3)	植穴径 (cm)	植穴深さ (cm)	植穴容量 (m^3)	摘要
中低木	(樹高)	30未満	15	8	0.001	29	23	0.015	
	30以上	50未満	17	10	0.002	33	26	0.022	
	50以上	80未満	20	12	0.004	37	28	0.030	
	80以上	100未満	22	13	0.005	41	31	0.041	
	100以上	150未満	26	16	0.008	46	35	0.058	
	150以上	200未満	30	19	0.013	54	40	0.092	
	200以上	250未満	35	23	0.022	61	46	0.134	
	250以上	300未満	40	26	0.032	69	51	0.191	
高木	(幹周り)	10未満	33	25	0.017	69	37	0.138	
	10以上	15未満	38	28	0.028	75	40	0.178	
	15以上	20未満	47	33	0.061	87	46	0.273	
	20以上	25未満	57	39	0.110	99	53	0.408	
	25以上	30未満	66	45	0.170	111	59	0.571	
	30以上	35未満	71	48	0.210	117	62	0.666	
	35以上	45未満	90	59	0.400	141	75	1.170	
	45以上	60未満	113	74	0.740	171	90	2.066	
	60以上	75未満	141	91	1.320	207	109	3.666	
	75以上	90未満	170	108	2.080	243	128	5.933	
	90以上		199	127	2.920	281	146	9.050	

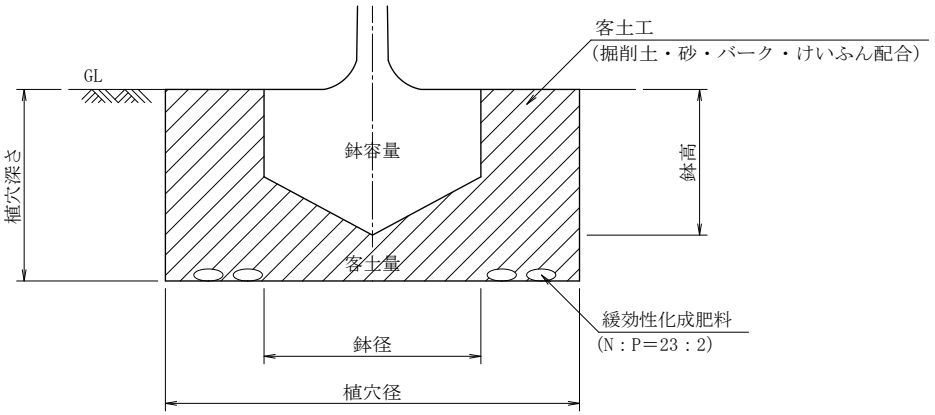


注意事項

1. 残土は植栽地附近に敷均しすること。

大分類	中分類	小分類	適用年度
1000 植栽工	植栽	公園客土工 施肥工	R7.4

公園客土工・施肥工



公園客土材料表

名称	材料表 10m³当り				摘要
	掘削土 4 (m³)	砂 5 (m³)	バーク堆肥 1 (kg)	発酵けいふん (kg)	
公園客土工	4.0	5.0	500	100	

(公園用)

名称 (cm)		材料表 1本当り (標準)						摘要
		客土工 (m³)	客土工内訳 (4：5：1) 掘削土 4 (m³)	砂 5 (m³)	バーク堆肥 1 (kg)	発酵けいふん (kg)	施肥工 緩効性化成肥料 (g)	
中低木	(樹高) 30未満	0.014	0.006	0.008	0.7	0.1	45	
	30以上 50未満	0.020	0.008	0.012	1.0	0.2	45	
	50以上 80未満	0.026	0.010	0.016	1.3	0.3	60	
	80以上 100未満	0.036	0.014	0.022	1.8	0.4	60	
	100以上 150未満	0.050	0.020	0.030	2.5	0.5	75	
	150以上 200未満	0.079	0.032	0.047	4.0	0.8	75	
	200以上 250未満	0.112	0.045	0.067	5.6	1.1	105	
	250以上 300未満	0.159	0.064	0.095	8.0	1.6	105	
高木	(幹周り) 10未満	0.121	0.048	0.073	6.1	1.2	150	
	10以上 15未満	0.150	0.060	0.090	7.5	1.5	210	
	15以上 20未満	0.212	0.085	0.127	10.6	2.1	210	
	20以上 25未満	0.298	0.119	0.179	14.9	3.0	210	
	25以上 30未満	0.401	0.160	0.241	20.1	4.0	300	
	30以上 35未満	0.456	0.182	0.274	22.8	4.6	300	
	35以上 45未満	0.770	0.308	0.462	38.5	7.7	300	
	45以上 60未満	1.326	0.530	0.796	66.3	13.3	405	
	60以上 75未満	2.346	0.938	1.408	117.3	23.5	405	
	75以上 90未満	3.853	1.541	2.312	192.7	38.5	405	
	90以上	6.130	2.452	3.678	306.5	61.3	405	

注意事項
1. 残土は植栽地附近に敷均しすること。

大分類	中分類	小分類	適用年度
1000 植栽工	客土工	公園用	R7.4

客　土　工

公園地被客土材料表

名称	材料表 100m²当り				
	砂 クッション用 不洗(m³)	バーク堆肥 (kg)	芝用化成肥料 N:P:K 6:5:3 (kg)	油粕 (kg)	摘要
公園地被客土工	12.0	1500	10.0	10.0	H=150mm

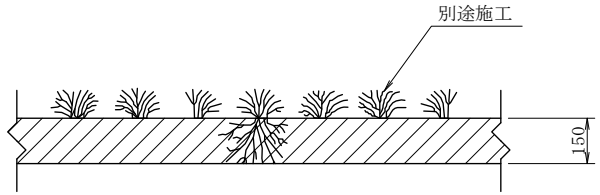
草花客土材料表

名称	材料表 10m³当り					
	砂 クッション用 不洗(m³)	バーク堆肥 (kg)	緩効性化成肥料 N :P :K :Mg 10:10:10:1 (kg)	ピートモス 石灰調整済 pH7 (ℓ)	保水材（土壌改良材） 真珠岩ﾊﾟｰﾗｲﾄ2.5mm以下 (ℓ)	摘要
草花客土工A	6.0	1000	5.0	2000	－	
草花客土工B	5.0	1000	5.0	1000	2000	

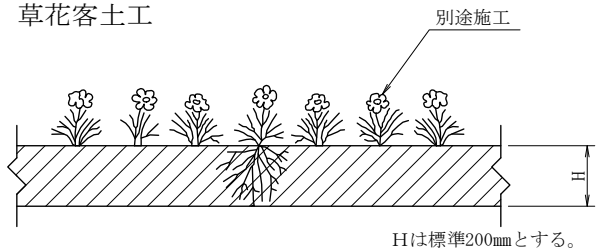
植桝客土材料表

名称	材料表 10m³当り				
	砂 不洗 (m³)	バーク堆肥 (kg)	緩効性化成肥料 N:P(23:2) (kg)	発酵けいふん (kg)	摘要
植桝客土工	8.0	1000	7.0	50.0	

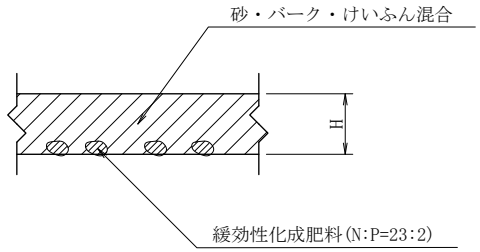
公園地被客土工



草花客土工



植桝客土工



注意事項

1. Hは、現場に合わせた必要な高さとし、緩効性化成肥料は、植物材料の根に直接触らない深さに敷き並べること。

大分類	中分類	小分類	適用年度
1000 植栽工	高木植栽工	単独用	R7.4

高木植栽工

植穴寸法表

名称		寸法表 単位（mm）					摘要
		B	W	H	h_1	h_2	
高木	マルチング有	1000	700	560	500	60	
	マルチング無	1000	700	520	500	20	

客土材料表

（街路用）

名称	材料表 10m³当り					摘要
	砂 クッション用 不洗（m³）	バーク堆肥（kg）	緩効性化成肥料 N P K 23:2:0（kg）	固形肥料 N P K 3:6:4（kg）	保水材（土壌改良材） 真珠岩ﾊﾟｰﾗｲﾄ2.5mm以下（ℓ）	
客土A	8.0	1000	7	7	—	
客土C	6.0	1000	7	7	2000	

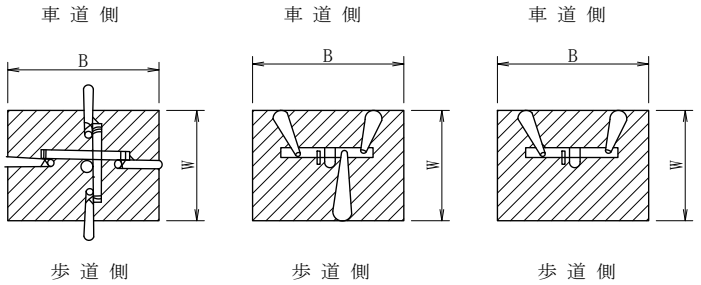
※（砂、バーク堆肥、保水材は均一に混合すること。）

高木植栽（単独用）組合せ表

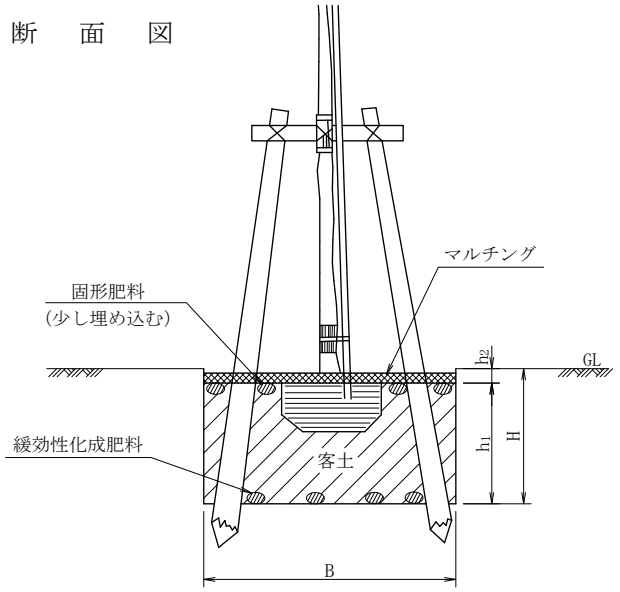
（街路用）

名称	寸法・形状	単位	組合せ表 100本当り							摘要
			幹まわり 15cm未満		幹まわり 15cm以上 20cm未満		幹まわり 20cm以上 30cm未満	幹まわり 30cm以上 40cm未満	幹まわり 40cm以上 60cm未満	
高木	Hm,Cm,Wm	本	100	100	100	100	100	100	100	
二脚支柱工E	二脚、添竹有	組	100	—	100	—	—	—	—	
二脚支柱工F	二脚、添竹無	組	—	100	—	100	—	—	—	
三脚支柱工B	三脚、添竹無	組	—	—	—	—	100	—	—	
四脚支柱工B	四脚、添竹無	組	—	—	—	—	—	100	—	
四脚支柱工C	四脚、添竹無	組	—	—	—	—	—	—	100	
客土		m³	31.9	31.9	30.1	30.1	22.7			

平面図



断面図



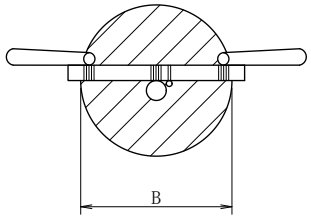
注意事項

1. 掘削土の運搬・残土処理は別途計上とする。

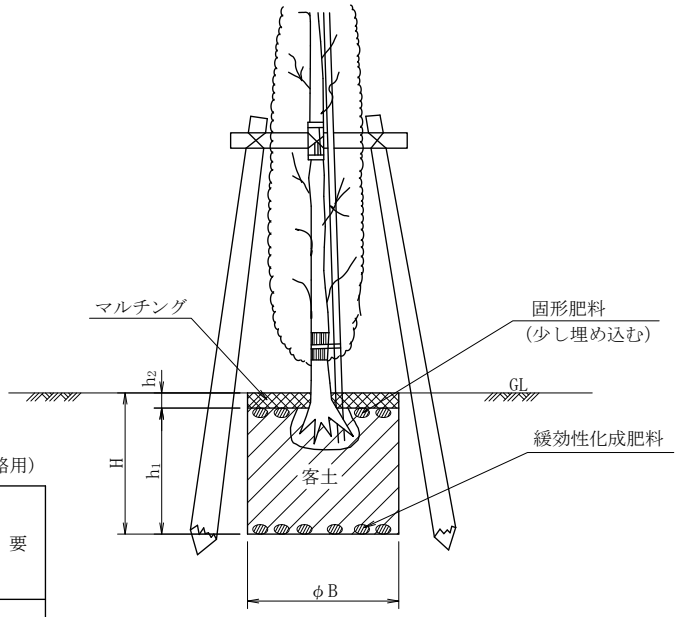
大分類	中分類	小分類	適用年度
1000 植栽工	中木植栽工	単独用	R7.4

中木植栽工

平面図



断面図



客土材料表

(街路用)

名称	材料表 10m³当り					摘要
	砂 クッション用 不洗 (m³)	バーク堆肥 (kg)	緩効性化成肥料 (大) N P K 23:2:0 (kg)	固形肥料 (大) N P K 3:6:4 (kg)	保水材 (土壌改良材) 真珠岩パーライト2.5mm以下 (ℓ)	
客土A	8.0	1000	7	7	−	
客土C	6.0	1000	7	7	2000	

※(砂、バーク堆肥、保水材は均一に混入すること。)

中木植栽(単独用)組合せ表

(街路用)

名称	寸法・形状	単位	組合せ表 100本当り								摘要
			樹高 120cm以上 150cm未満		樹高 150cm以上 200cm未満		樹高 200cm以上 250cm未満		樹高 250cm以上		
中木	Hm, Wm	本	100	100	100	100	100	100	100	100	
二脚支柱工C	二脚・添竹有	組	100	−	100	−	100	−	100	−	
二脚支柱工D	二脚・添竹無	組	−	100	−	100	−	100	−	100	
客土		m³	13.1	13.1	12.5	12.5	11.8	11.8	10.9	10.9	

植穴寸法表

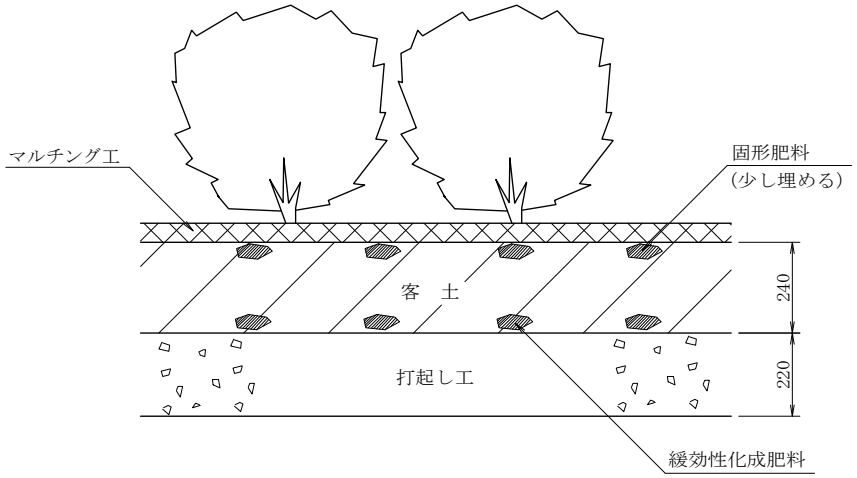
名称		寸法表 単位(mm)					摘要
		B	H	h1	h2		
中木	マルチング有	600	560	500	60		
	マルチング無	600	520	500	20		

注意事項

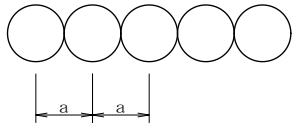
1. 掘削土の運搬・残土処理は別途計上とする。

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
1000 植 栽 工	低木植栽工	街路用	R7.4

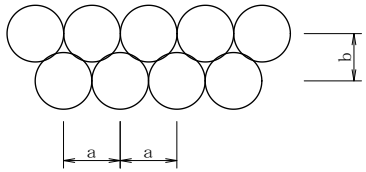
低　木　植　栽　工



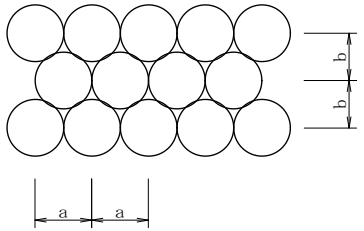
1列植栽



2列植栽



3列植栽



打起し材料表

名　称	材　料　表　10m²当り		摘　要
	パーライト 黒曜石系4～25mm (ℓ)	土　砂 在来土　(実m³)	
打起し工	200	2	

客土材料表

(街路用)

名　称	材　料　表　10m³当り					摘　要
	砂 クッション用 不洗　(m³)	バーク堆肥 (kg)	緩効性化成肥料 (大) N　P　K 23：2：0(kg)	固形肥料 (大) N　P　K 3：6：4(kg)	保水材（土壌改良材） 真珠岩ﾊﾟｰﾗｲﾄ2.5mm以下 (ℓ)	
客土材A	8.0	1000	7	7	－	
客土材C	6.0	1000	7	7	2000	

※（砂、バーク堆肥、保水材は均一に混入すること。）

植栽寸法表

名　称	寸　法　表　(mm)		摘　要
	a	b	
植栽間隔	500	500	

注意事項

1. 掘削土の運搬・残土処理は別途計上とする。
2. 打起し工は掘削後パーライトを2cm厚に敷均し、在来土の厚さ20cmを打起し混合する。
3. 客土の仕上り高は、ブロック天端より6cm下がりを標準とする。

大分類	中分類	小分類	適用年度
1000 植栽工	高木・中木植栽工	街路用	R7.4

高木・中木植栽工

客土材料表

（街路用）

名称	材料表 10m³当り					摘要
	砂 クッション用 不洗 (m³)	バーク堆肥 (kg)	緩効性化成肥料 N P K (大) 23:2:0 (kg)	固形肥料 N P K (大) 3:6:4 (kg)	保水材（土壌改良材） 真珠岩パーライト2.5mm以下 (ℓ)	
客土A	8.0	1000	7	7	—	
客土C	6.0	1000	7	7	2000	

※（砂、バーク堆肥、保水材は均一に混入すること。）

中木植栽（連続植栽用）組合せ表

（街路用）

名称	寸法・形状	単位	組合せ表 100本当り								摘要
			樹高 120cm以上 150cm未満		樹高 150cm以上 200cm未満		樹高 200cm以上 250cm未満		樹高 250cm以上		
高木	Hm, Wm	本	100	100	100	100	100	100	100	100	
二脚支柱工C	二脚、添竹有	組	—	100	—	100	—	100	—	100	
二脚支柱工D	二脚、添竹無	組	100	—	100	—	100	—	100	—	
客土		m³	22.4	22.4	21.8	21.8	21.1	21.1	20.2	20.2	

高木植栽（連続植栽用）組合せ表

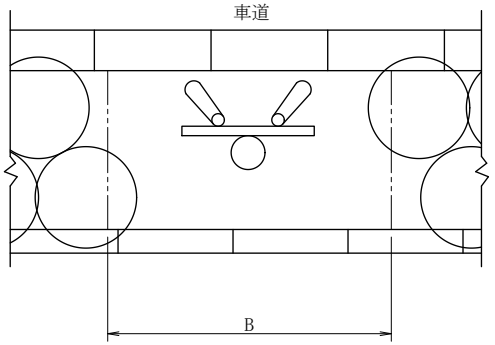
（街路用）

名称	寸法・形状	単位	組合せ表 100本当り							摘要
			幹まわり 15cm未満		幹まわり 15cm以上 20cm未満		幹まわり 20cm以上 30cm未満	幹まわり 30cm以上 40cm未満	幹まわり 40cm以上 60cm未満	
高木	Hm, Cm, Wm	本	100	100	100	100	100	100	100	
二脚支柱工E	二脚、添竹有	組	100	—	100	—	—	—	—	
二脚支柱工F	二脚、添竹無	組	—	100	—	100	—	—	—	
三脚支柱工B	三脚、添竹無	組	—	—	—	—	100	—	—	
四脚支柱工B	四脚、添竹無	組	—	—	—	—	—	100	—	
四脚支柱工C	四脚、添竹無	組	—	—	—	—	—	—	100	
客土		m³	55.4	55.4	53.6	53.6	46.2			

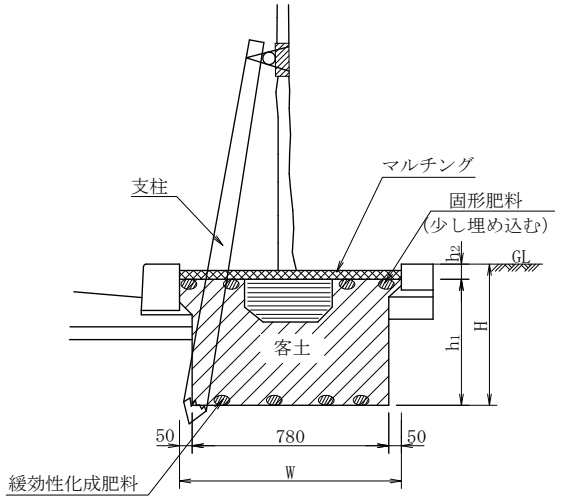
植穴寸法表

名称		寸法表 単位 (mm)					摘要
		B	W	H	h_1	h_2	
高木	マルチング有	1500	880	560	500	60	
	マルチング無	1500	880	520	500	20	
中木	マルチング有	600	880	560	500	60	
	マルチング無	600	880	520	500	20	

平面図



断面図



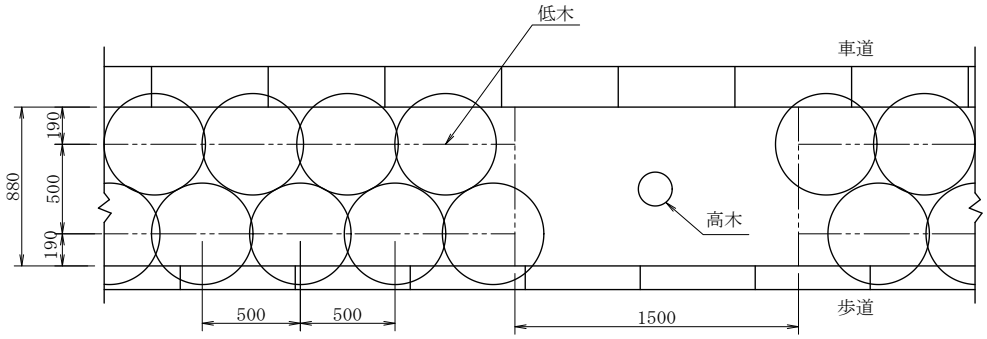
注意事項

1. 掘削土の運搬・残土処理は別途計上とする。

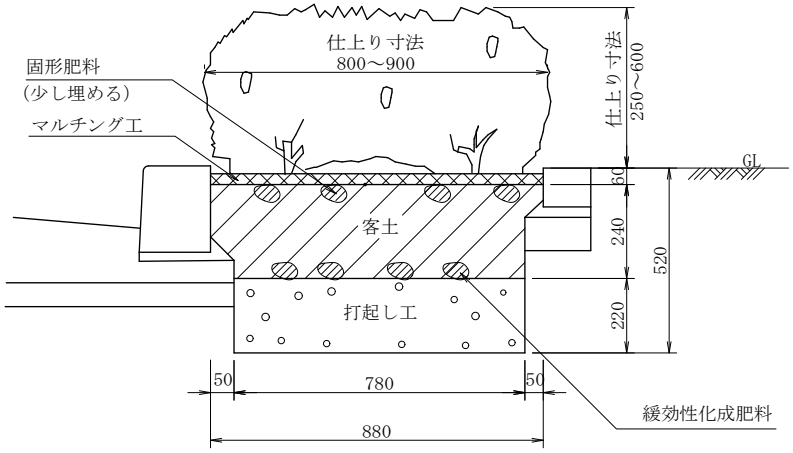
大分類	中分類	小分類	適用年度
1000 植栽工	歩道緑化工	街路用	R7.4

歩道緑化工

標準平面図



断面図



打起し材料表

名称	材料表 10m²当り		摘要
	パーライト 黒曜石系4～25mm (ℓ)	土砂 在来土 (実m³)	
打起し工	200	2	

客土材料表

(街路用)

名称	材料表 10m³当り					摘要
	砂 クッション用 不洗 (m³)	バーク堆肥 (kg)	緩効性化成肥料 (大) N P K 23：2：0(kg)	固形肥料 (大) N P K 3：6：4(kg)	保水材 (土壌改良材) 真珠岩ﾊﾟｰﾗｲﾄ2.5mm以下 (ℓ)	
客土A	8.0	1000	7	7	―	
客土C	6.0	1000	7	7	2000	

※(砂、バーク堆肥、保水材は均一に混入すること。)

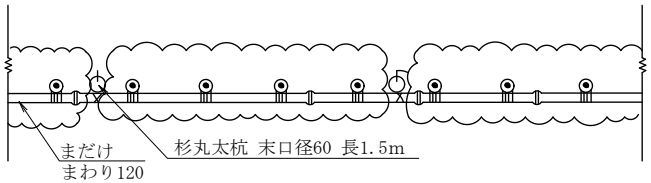
注意事項

1. 掘削は、ブロック天端より320下りとする。
2. 打起し工は、掘削後パーライトを2cm厚に敷均し、在来土の厚さ20cmを打起し混合する。
3. 植栽の間隔は、樹種、葉張により変更することができる。

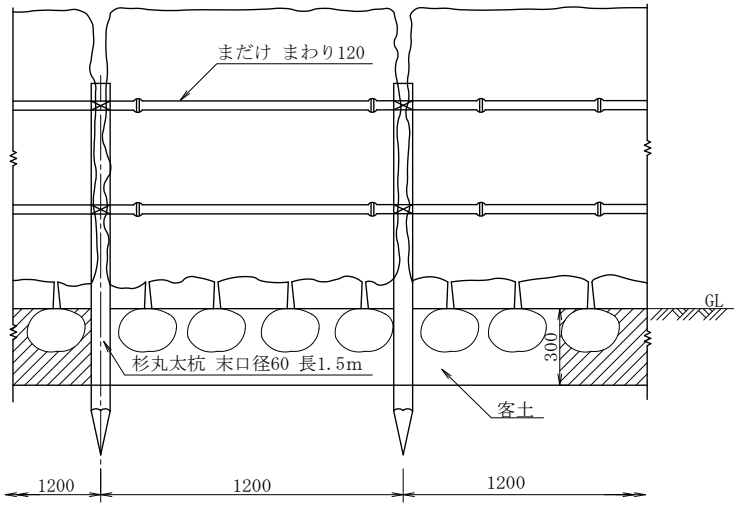
大分類	中分類	小分類	適用年度
1000 植栽工	生垣植栽工 生垣支柱工	公園用	R7.4

生垣植栽工
生垣支柱工

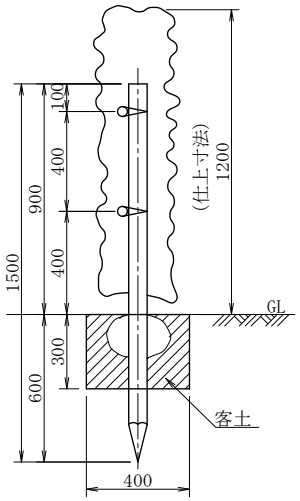
平面図



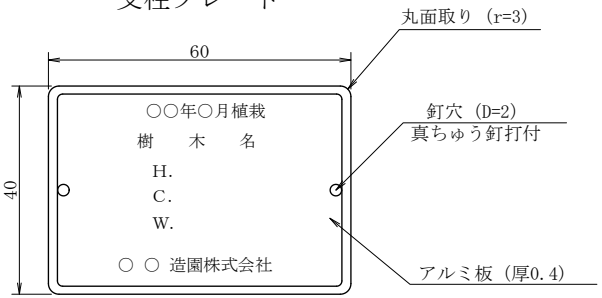
正面図



側面図



支柱プレート



※耐候性の文字で記入する

注意事項

1. 丸太杭は、防腐剤加圧注入処理品とし、見え掛り切り口は面取り仕上げとする。
2. まだけと丸太杭との結束は、釘打ちのうえ、亜鉛引鉄線#16で二重綾掛けとする。
3. 施肥工は、緩効性化成肥料（大）N：P：K＝23：2：0とする。
4. 釘寸法はN65とする。
5. まだけと生垣樹との結束は、杉皮、しゅろ縄割掛とし、上下2か所結束すること。
6. 支柱プレートが必要な場合は、別途計上すること。
7. 生垣樹植付数量は、40本／12m当りとする。

生垣支柱・公園客土・施肥　材料表

（公園用）

名称	材料表 12m当り				摘要
	杉丸太杭 1.5m×60㎜ (本)	まだけ まわり120㎜ (本)	公園客土 (m^3)	施肥 (kg)	
生垣支柱工	10	5.3	—		
公園客土工	—	—	1.2	—	
施肥工	—	—	—	2.4	

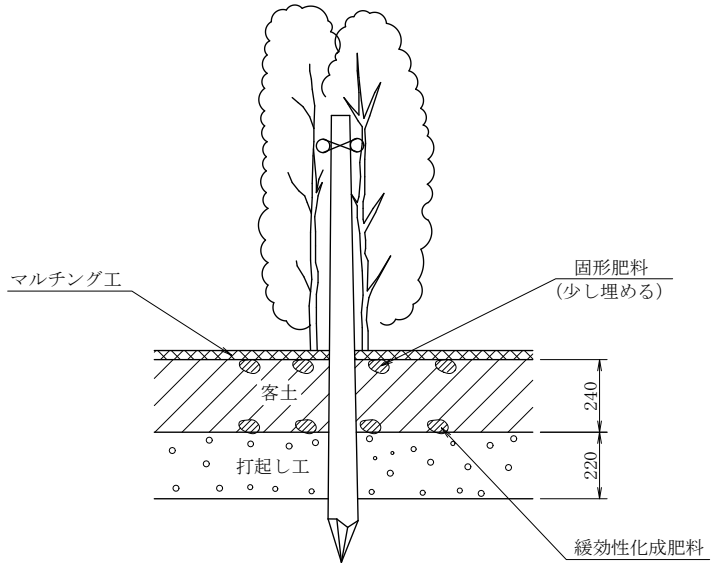
公園客土　材料表

名称	材料表 10m^3当り				摘要
	掘削土 (m^3)	砂 (m^3)	バーク堆肥 (kg)	発酵けいふん (kg)	
公園客土工	4.0	6.0	500	100	

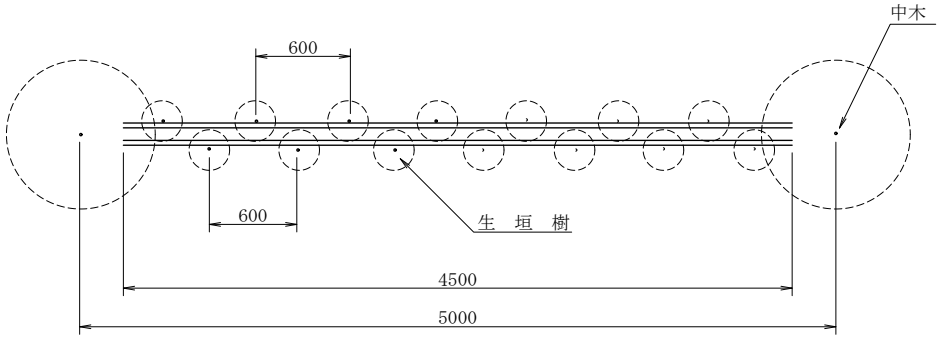
大分類	中分類	小分類	適用年度
1000 植栽工	生垣植栽工	街路用	R7.4

生垣植栽工

断面図



平面図



打起し材料表

名称	材料表 10m³当り		摘要
	パーライト 黒曜石系4～25mm (ℓ)	土砂 在来土 (実m³)	
打起し工	200	2	

生垣植栽組合せ表

(街路用)

名称	寸法・形状	単位	組合せ表 45m当り	摘要
中木	Hm, Wm	本	140	
生垣支柱B		m	45	

客土材料表

(街路用)

名称	材料表 10m³当り					摘要
	砂 クッション用 不洗 (m³)	バーク堆肥 (kg)	緩効性化成肥料 N P K 23:2:0(kg)	固形肥料 N P K 3:6:4(kg)	保水材(土壌改良材) 真珠岩パーライト2.5mm以下 (ℓ)	
客土A	8.0	1000	7	7	—	
客土C	6.0	1000	7	7	2000	

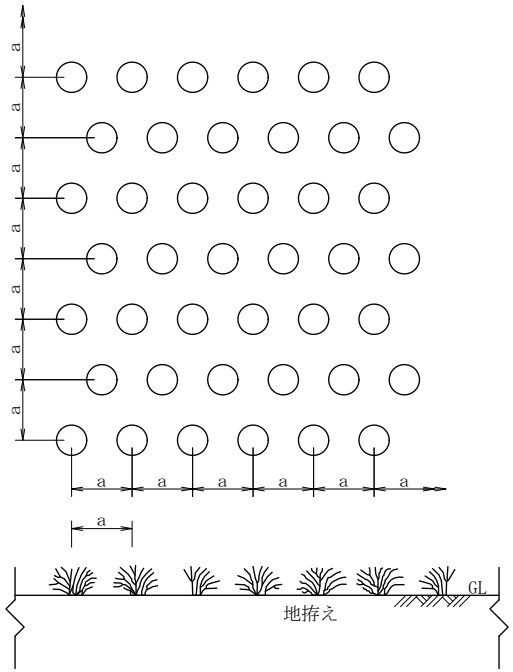
※(砂、バーク堆肥、保水材は均一に混入すること。)

注意事項

1. 標準的な中央分離帯(中木間隔1スパン5.0m)の生垣に適用する。
2. 植栽は支柱の両外側(2列)とする
3. 掘削土の運搬・残土処理は別途計上とする。
4. 打起し工は、掘削後パーライトを2cm厚に敷均し、在来上の厚さ20cmを打起し混合する。
6. 客土の仕上り高は、ブロック天端より6cm下がりを標準とする。

大分類	中分類	小分類	適用年度
1000 植栽工	地被植付工	公園用	R7.4

地被植付工

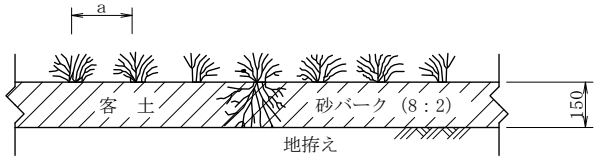


地被植付材料表

寸法表		摘要
植付間隔 a（m）	植付数量（鉢/m²）	
0.10	100	
0.15	44	
0.20	25	
0.25	16	
0.30	11	
0.33	9	

公園地被客土工

・客土別途の場合

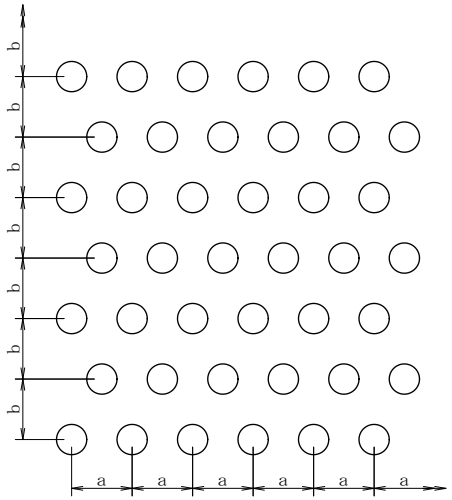


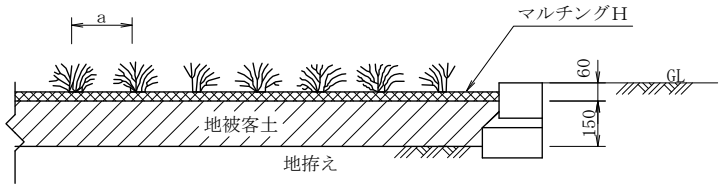
公園地被客土材料表

名称	材料表 100m²当り				摘要
	砂 クッション用 不洗(m³)	バーク肥料 (kg)	芝用化成肥料 N:P:K 6:5:3 (kg)	油粕 (kg)	
公園地被客土工	12.0	1500	10.0	10.0	

大分類	中分類	小分類	適用年度
1000 植栽工	地被植付工	街路用	R7.4

地被植付工





地被植付材料表

寸法表			摘要
植付間隔 (m)		植付数量 (鉢/m²)	
a	b		
0.15	0.15	44	
0.20	0.20	25	
0.25	0.25	16	
0.30	0.30	11	
0.33	0.33	9	

地被客土材料表

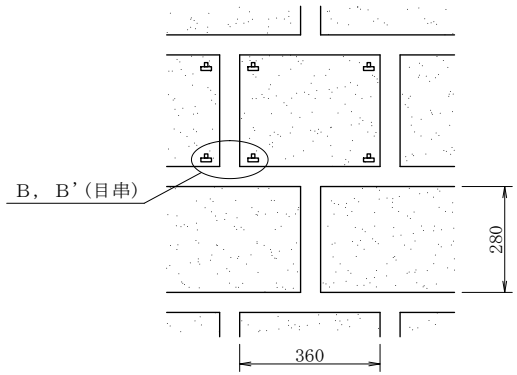
名称	材料表 10m³当り					摘要
	砂 クッション用 不洗(m³)	バーク堆肥 (kg)	芝用化成肥料 N:P:K 6:5:3 (kg)	油粕 (kg)	保水材(土壌改良材) 真珠岩ﾊﾟｰﾗｲﾄ2.5mm以下 (ℓ)	
地被客土A	8.0	1000	7.0	7.0	−	
地被客土B	6.0	1000	7.0	7.0	2000	

注意事項
1. 土工は別途計上とする。

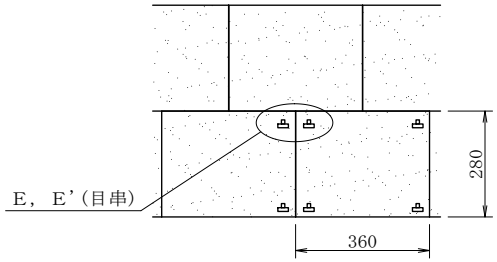
大分類	中分類	小分類	適用年度
1000 植栽工	張芝工	公園用A, B, D, E	R7.4

張　芝　工

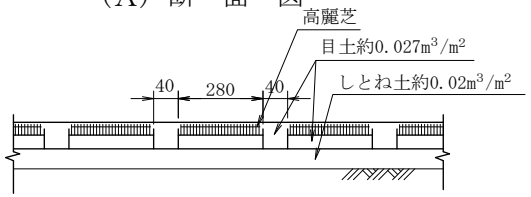
A・B　平　面　図



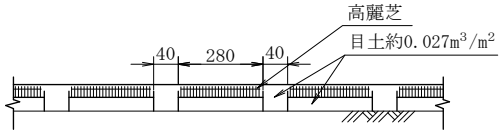
D・E　平　面　図



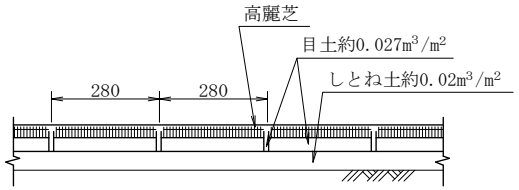
（A）断　面　図



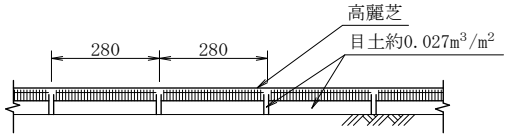
（A'）断　面　図



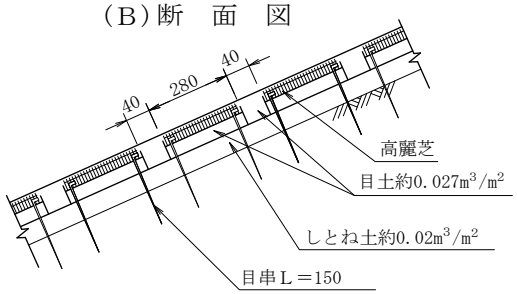
（D）断　面　図



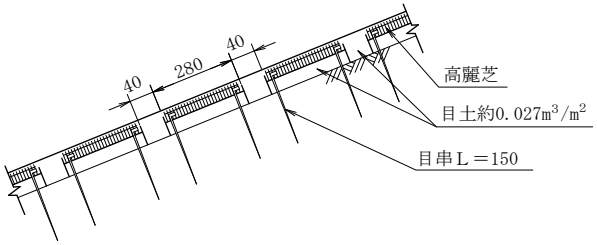
（D'）断　面　図



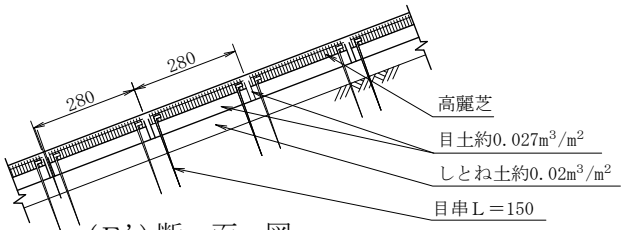
（B）断　面　図



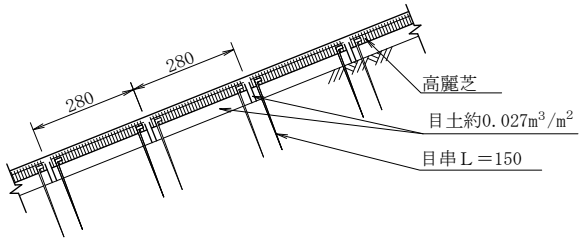
（B'）断　面　図



（E）断　面　図



（E'）断　面　図



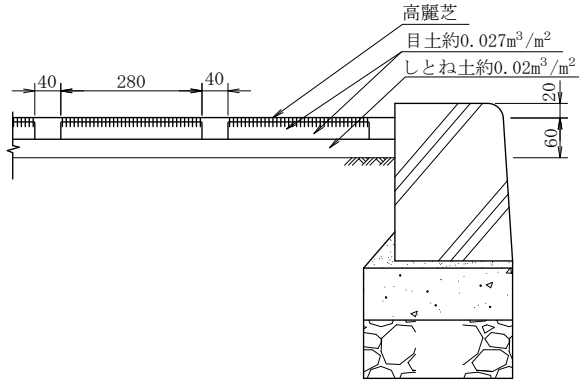
張　芝　材　料　表

（公園用）

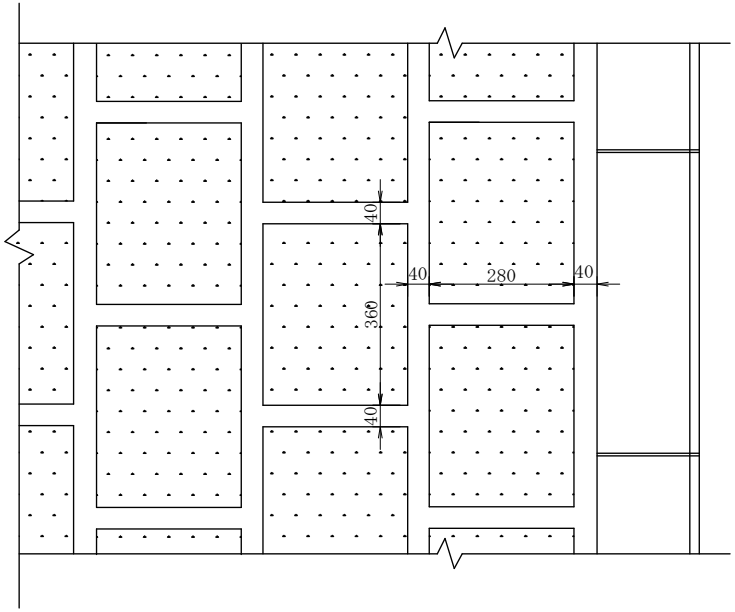
名称		材料表 高麗芝（実m²）	砂 クッション用 不洗(m³)	油粕 (kg)	芝用化成肥料 N:P:K 6:5:3 (kg)	目串 竹 L=150㎜ (束)	100m²当り	摘要
A	A	78.8	4.7	10.0	10.0	—		
	A'	78.8	2.7	10.0	10.0	—		
B	B	78.8	4.7	10.0	10.0	31.3		
	B'	78.8	2.7	10.0	10.0	31.3		
D	D	100.0	4.7	10.0	10.0	—		
	D'	100.0	2.7	10.0	10.0	—		
E	E	100.0	4.7	10.0	10.0	39.7		
	E'	100.0	2.7	10.0	10.0	39.7		

大分類	中分類	小分類	適用年度
1000 植栽工	張芝工	街路用C	R7.4

張　芝　工



平　面　図



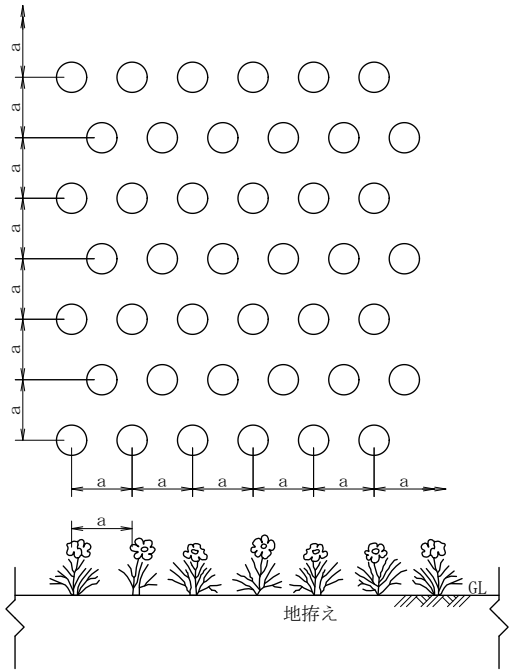
張　芝　材　料　表　（街路用）

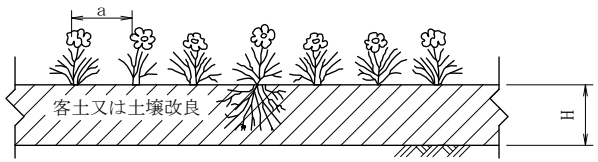
名　称	材料表 100m²当り				摘　要
	高麗芝 (実m²)	砂 クッション用 不洗(m³)	油粕 (kg)	芝用化成肥料 N:P:K 6:5:3 (kg)	
張芝C	78.8	4.7	10.0	10.0	

注意事項
1. 芝の仕上り高は、ブロック天端より20㎜下がりを標準とする。
2. 土工は別途計上とする。

大分類	中分類	小分類	適用年度
1000 植栽工	草花植付工	街路用 公園用	R7.4

草 花 植 付 工





・客土を計上した場合（土工は別途計上とする）

草 花 植 付 材 料 表

寸法表		摘要
植付間隔 a（m）	植付数量（株/m²）	
0.15	44	
0.20	25	
0.25	16	
0.30	11	
0.33	9	

草 花 客 土 材 料 表

名称	材料表 10m³当り					摘要
	砂 クッション用 不洗(m³)	バーク肥料 (kg)	ピートモス 石灰調整済 pH7 (ℓ)	保水材（土壌改良材） 真珠岩パーライト2.5mm以下 (ℓ)	緩効性化成肥料 N:P:K:Mg 10:10:10:1 (kg)	
草花客土A	6.0	1000	2000	－	5.0	
草花客土B	5.0	1000	1000	2000	5.0	

注意事項

1. Hは標準200mmとする。

大分類	中分類	小分類	適用年度
1000 植栽工	高木補植工	街路用	R7.4

高木補植工

客土材料表

（街路用）

名称	材料表 10m³当り					摘要
	土砂 在来土 (実m³)	バーク堆肥 (kg)	緩効性化成肥料 (大) N:P:K 23:2:0 (kg)	固形肥料 (大) N:P:K 3:6:4 (kg)	保水材（土壌改良材） 真珠岩パーライト2.5mm以下 (ℓ)	
客土B	9	500	7	7	—	
客土D	7	500	7	7	2000	

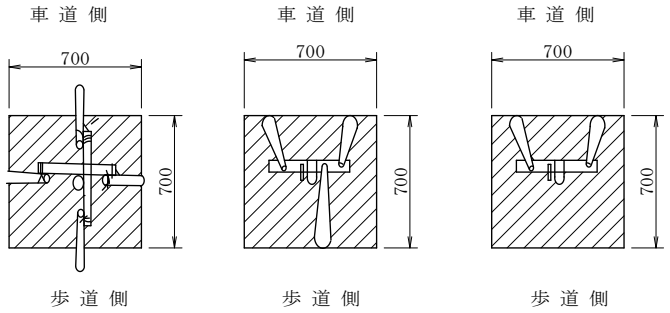
※（在来土にバーク堆肥、保水材を均一に混入すること。）

高木補植組合せ表

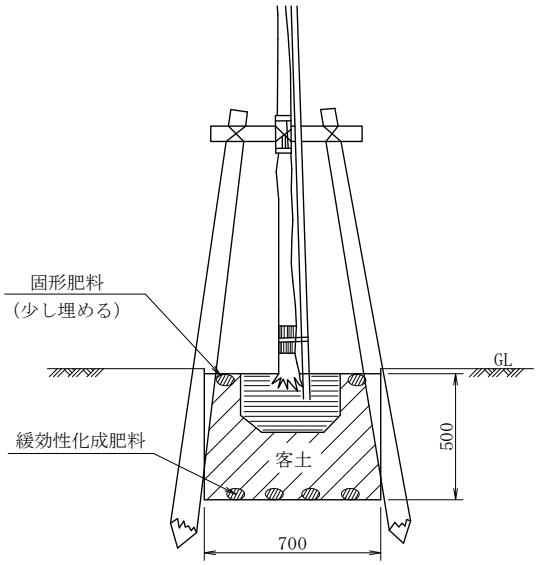
（街路用）

名称	寸法・形状	単位	組合せ表 100本当り							摘要
			幹まわり 15cm未満		幹まわり 15cm以上 20cm未満		幹まわり 20cm以上 30cm未満	幹まわり 30cm以上 40cm未満	幹まわり 40cm以上 60cm未満	
高木	Hm,Cm,Wm	本	100	100	100	100	100	100	100	
二脚支柱工E	二脚、添竹有	組	100	—	100	—	—	—	—	
二脚支柱工F	二脚、添竹無	組	—	100	—	100	—	—	—	
三脚支柱工B	三脚、添竹無	組	—	—	—	—	100	—	—	
四脚支柱工B	四脚、添竹無	組	—	—	—	—	—	100	—	
四脚支柱工C	四脚、添竹無	組	—	—	—	—	—	—	100	
客土		m³	21.4	21.4	19.6	19.6	12.2			

平面図



断面図



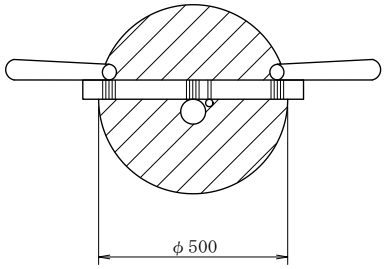
注意事項

1. 客土の仕上り高は、ブロック天端より2cm下がりを標準とする。ただし、マルチングを行う場合は6cm下がりとする。

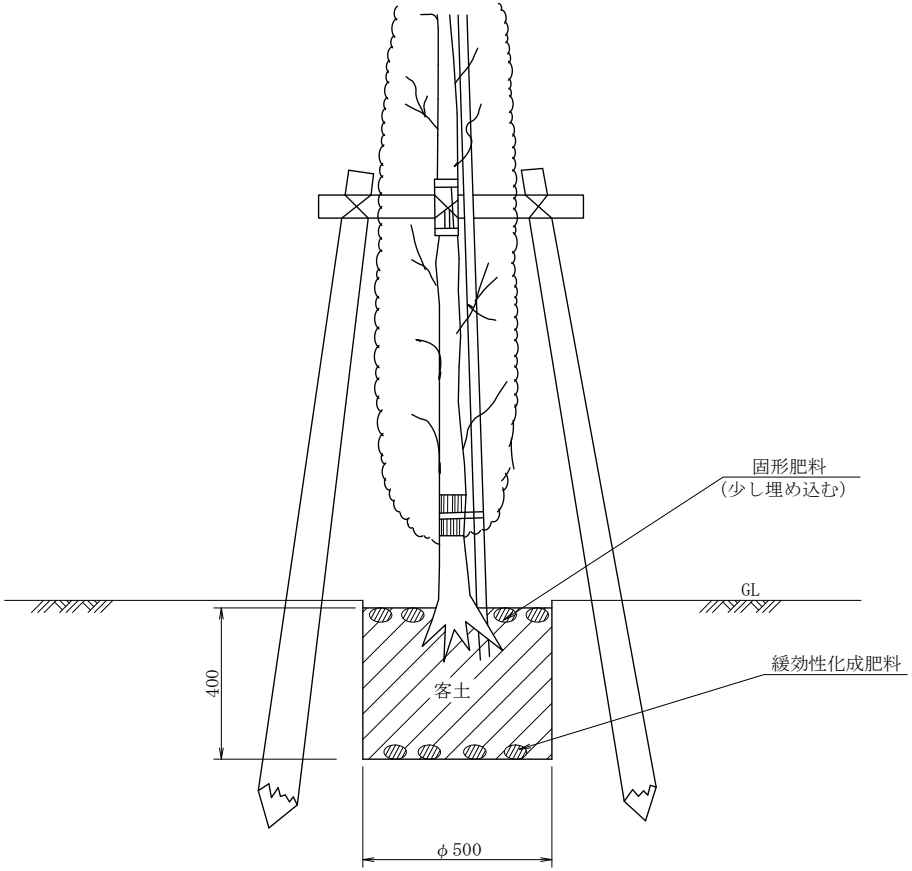
大分類	中分類	小分類	適用年度
1000 植栽工	中木補植工	街路用	R7.4

中木補植工

平面図



断面図



客土材料表

(街路用)

名称	材料表 10m³当り 砂 在来土 (実m³)	バーク堆肥 (kg)	緩効性化成肥料 (大) N:P:K 23:2:0 (kg)	固形肥料 (大) N:P:K 3:6:4 (kg)	保水材 (土壌改良材) 真珠岩ﾊﾟｰﾗｲﾄ2.5mm以下 (ℓ)	摘要
客土B	9	500	7.0	7.0	—	
客土D	7	500	7.0	7.0	2000	

※(在来土にバーク堆肥、保水材を均一に混入すること。)

中木補植組合せ表

(街路用)

名称	寸法・形状	単位	組合せ表 100本当り 樹高 120cm以上 150cm未満		樹高 150cm以上 200cm未満		樹高 200cm以上 250cm未満		樹高 250cm以上		摘要
中木	Hm,Wm	本	100	100	100	100	100	100	100	100	
二脚支柱工C	二脚・添竹有	組	100	—	100	—	100	—	100	—	
二脚支柱工D	二脚・添竹無	組	—	100	—	100	—	100	—	100	
客土		m³	6.9	6.9	6.3	6.3	5.6	5.6	4.7	4.7	

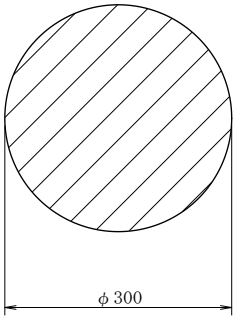
注意事項

1. 客土の仕上り高は、ブロック天端より2cm下がりを標準とする。ただし、マルチングを行う場合は6cm下がりとする。

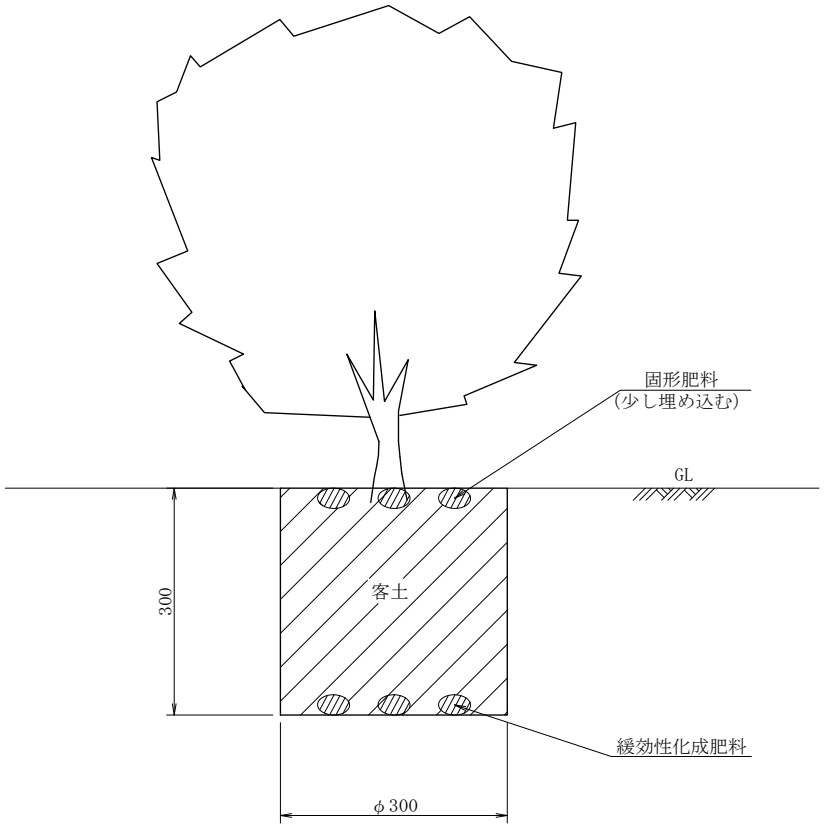
大分類	中分類	小分類	適用年度
1000 植栽工	中低木補植工	街路用	R7.4

中 低 木 補 植 工

平面図



断面図



客土材料表

(街路用)

名称	材料表 10m³当り					摘要
	土砂 在来土 (実m³)	バーク堆肥 (kg)	緩効性化成肥料 (大) N:P:K 23:2:0 (kg)	固形肥料 (大) N:P:K 3:6:4 (kg)	保水材 (土壌改良材) 真珠岩ﾊﾟｰﾗｲﾄ2.5mm以下 (ℓ)	
客土B	9	500	7.0	7.0	—	
客土D	7	500	7.0	7.0	2000	

※(在来土にﾊﾞｰｸ堆肥、保水材を均一に混合すること。)

中低木補植組合せ表

(街路用)

名称	寸法・形状	単位	組合せ表 100本当り					摘要
			低木		中木			
			樹高 45cm未満	樹高 45cm以上 60cm未満	樹高 60cm以上 75cm未満	樹高 75cm以上 90cm未満	樹高 90cm以上 120cm未満	
中低木	Hm,Wm	本	100	100	100	100	100	
客土		m³	1.7	1.6	1.5	1.4	1.2	

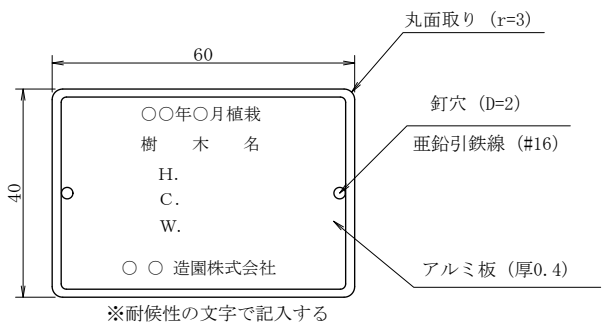
注意事項

1. 客土の仕上り高は、ブロック天端より2cm下がりを標準とする。ただし、マルチングを行う場合は6cm下がりとする。

大分類	中分類	小分類	適用年度
1000 植栽工	竹支柱工	街路・公園用　一本、三本	R7.4

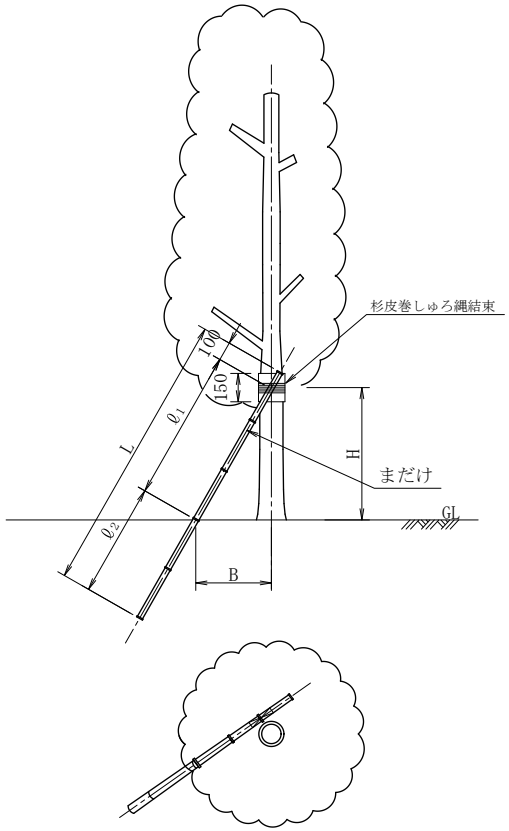
竹　支　柱　工

支柱プレート

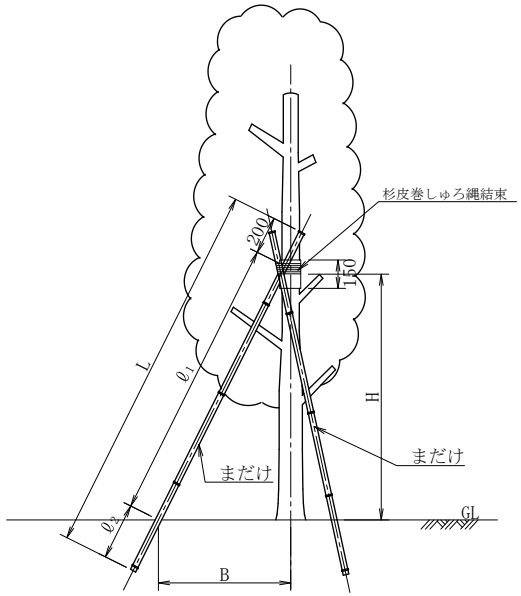


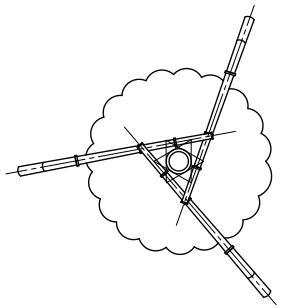
※耐候性の文字で記入する

一本竹支柱



三本竹支柱





竹支柱材料表

名称		材料表 まだけ 周囲120mm（本）	材料表 支柱プレート（枚）	10組当り 消耗品等（式）	摘要
一本竹支柱A	A－1	3.3	10	1	公園用
	A－2	3.3	－	1	〃
一本竹支柱B	B－1	3.3	10	1	街路用
	B－2	3.3	－	1	〃
三本竹支柱A	A－1	15.0	10	1	公園用
	A－2	15.0	－	1	〃
三本竹支柱B	B－1	10.0	10	1	街路用
	B－2	10.0	－	1	〃

竹支柱寸法表

名称	寸法表 単位（mm） B	L	ℓ_1	ℓ_2	H	摘要
一本竹支柱工A	400	1500	800	600	700	公園用
一本竹支柱工B	400	1500	800	600	700	街路用
三本竹支柱工A	700	2000	1500	300	1300	公園用
三本竹支柱工B	400	1500	900	400	800	街路用

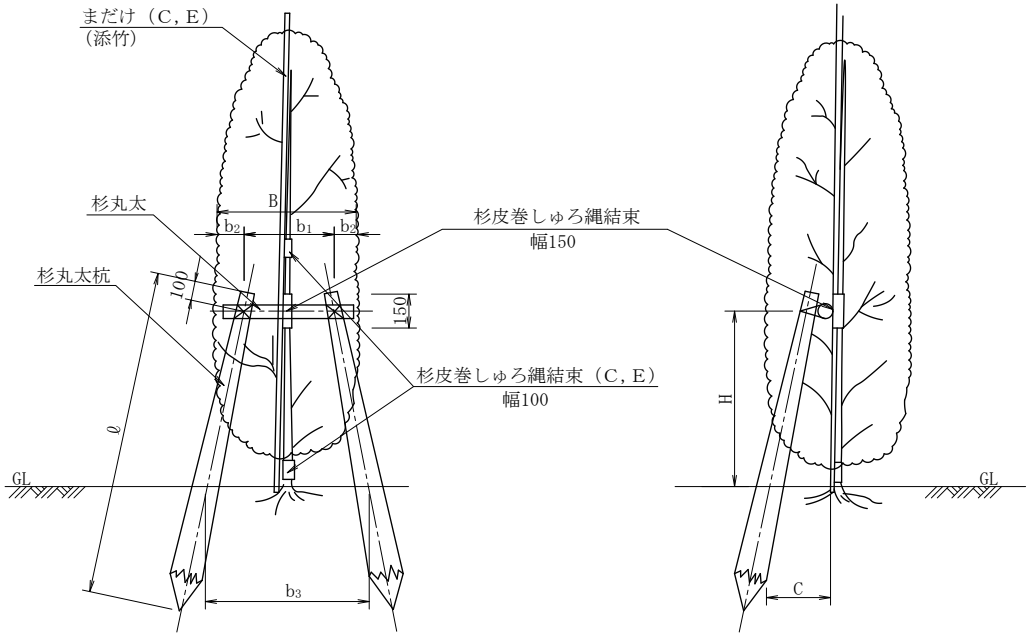
注意事項

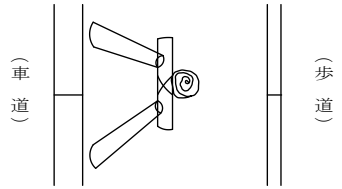
1. まだけは、末口径25mm内外、先端節止めとする。
2. 結束は、しゅろ縄（赤・径3mm）で綾・割掛けとする。
3. 支柱プレートは、亜鉛引鉄線（#16）で結束すること。

大分類	中分類	小分類	適用年度
1000 植栽工	二脚支柱工	街路用	R7.4

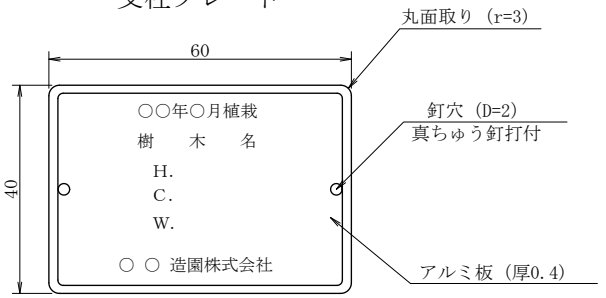
二 脚 支 柱 工

正 面 図　　側 面 図　　平 面 図





支柱プレート



※耐候性の文字で記入する

二脚支柱（C，D，E，F）材料表

名称		材料表 杉丸太（本） 長 末口径 0.6m×60㎜	杉丸太杭（本） 長 末口径 1.5m×60㎜	杉丸太杭（本） 長 末口径 1.8m×60㎜	まだけ まわり120㎜（本）	10組当り 支柱プレート（枚）	摘要
二脚支柱工C	C－1	10	20	－	5	10	街路用（中木）
	C－2	10	20	－	5	－	〃（中木）
二脚支柱工D	D－1	10	20	－	－	10	〃（中木）
	D－2	10	20	－	－	－	〃（中木）
二脚支柱工E	E－1	10	－	20	10	10	〃（高木）
	E－2	10	－	20	10	－	〃（高木）
二脚支柱工F	F－1	10	－	20	－	10	〃（高木）
	F－2	10	－	20	－	－	〃（高木）

二脚支柱（C，D，E，F）寸法表

名称	寸法表 単位（mm） B	b_1	b_2	b_3	C	ℓ	H	摘要
二脚支柱 C D	600	420	90	760	250	1500	800	街路用
二脚支柱 E F	600	420	90	650	250	1800	950	〃

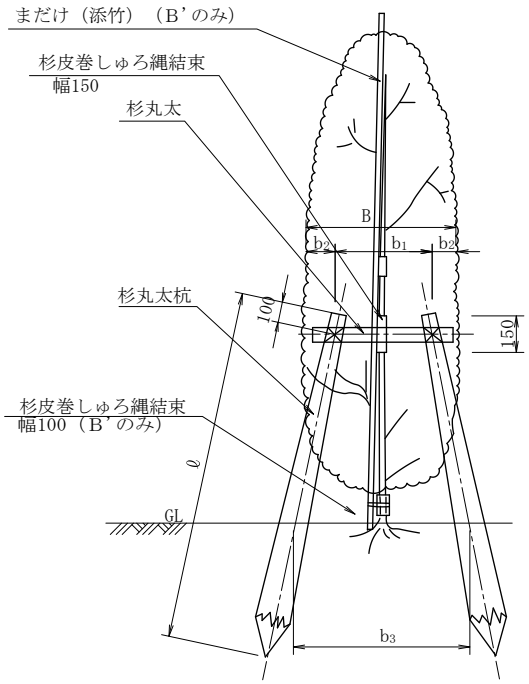
注意事項

1. 杉丸太、杉丸太杭は、防腐剤加圧注入処理品とし、見え掛り切り口は面取り仕上げとする。
2. 支柱の組立は、釘打ちのうえ亜鉛引鉄線（＃16）にて二重綾割縄掛とする。
3. 樹幹と、杉丸太との結束は、杉皮巻のうえ、しゅろ縄（赤・径3㎜）にて足場結び割縄掛け。
4. 添竹は、元口を埋立て、横木に亜鉛引鉄線（＃16）で二重綾割縄掛し、3箇所を杉皮巻のうえしゅろ縄（赤・径3㎜）5度掛け、うの首結びとする。
5. 釘寸法は、N100とする。
6. 添竹は、根鉢をいためない程度埋め込むこと。
7. 新植については、別途支柱プレートを計上する。

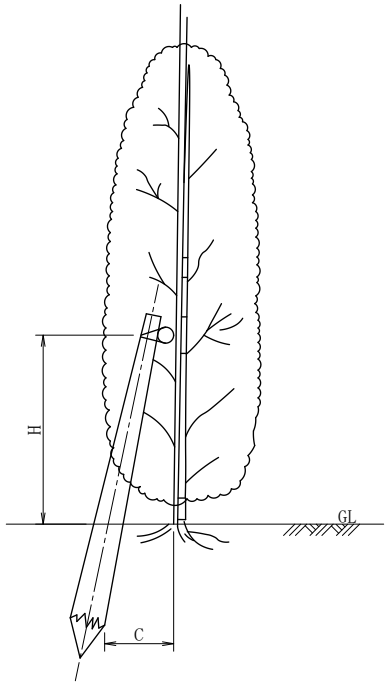
大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
1000 植 栽 工	二脚支柱工	公園用	R7.4

二　脚　支　柱　工

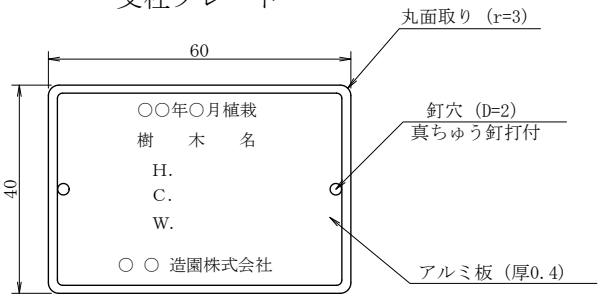
正　面　図



側　面　図



支柱プレート



※耐候性の文字で記入する

二脚支柱（B、B'）材料表

名　称	材　料　表		10組当り	摘　要
	杉丸太（本）	杉丸太杭（本）	まだけ まわり120㎜ （本）	
	長　末口径 0.6m×60㎜	長　末口径 1.8m×60㎜		
二脚支柱工B	10	20	—	公園用
二脚支柱工B'	10	20	10	〃

二脚支柱工（B、B'）寸法表

名　称	寸　法　表　単位（㎜）							摘　要
	B	b_1	b_2	b_3	C	ℓ	H	
二脚支柱工B	600	400	100	700	250	1800	1000	公園用
二脚支柱工B'	600	400	100	700	250	1800	1000	〃

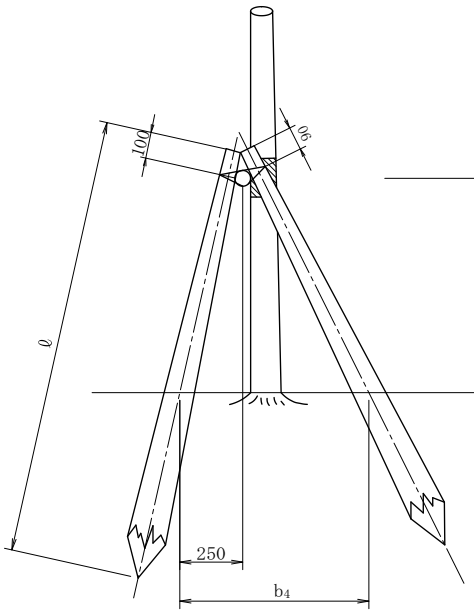
注意事項

1. 杉丸太、杉丸太杭は、防腐剤加圧注入処理品とし、見え掛り切り口は面取り仕上げとする。
2. 支柱の組立は、釘打ちのうえ亜鉛引鉄線（＃16）にて二重綾割縄掛とする。
3. 樹幹と、杉丸太との結束は、杉皮巻のうえ、しゅろ縄（赤・3㎜）にて足場結び割縄掛け。
4. 添竹（まわり120㎜）は、元口を埋立て、横木に亜鉛引鉄線（＃16）にて二重綾割縄掛し、3箇所を杉皮巻のうえしゅろ縄（赤・径3㎜）5度掛け、うの首結びとする。
5. 釘寸法は、N100とする。
6. 添竹は、根鉢をいためない程度埋め込むこと。
7. 新植については、別途支柱プレートを計上すること。

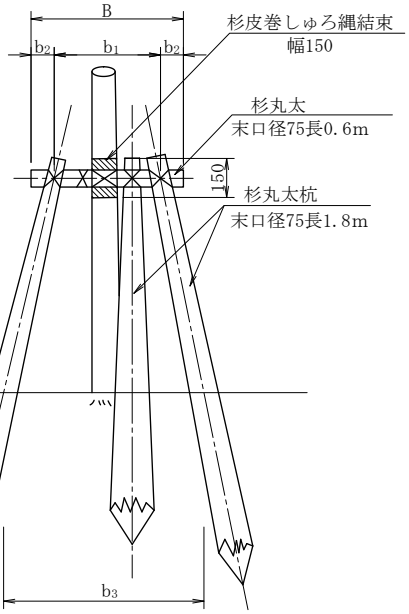
大分類	中分類	小分類	適用年度
1000 植栽工	三脚支柱工	街路・公園用 A、B	R7.4

三 脚 支 柱 工

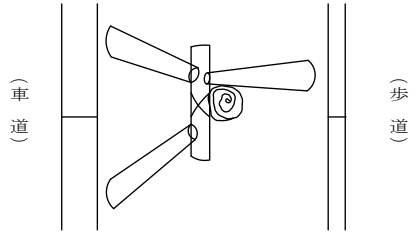
側 面 図



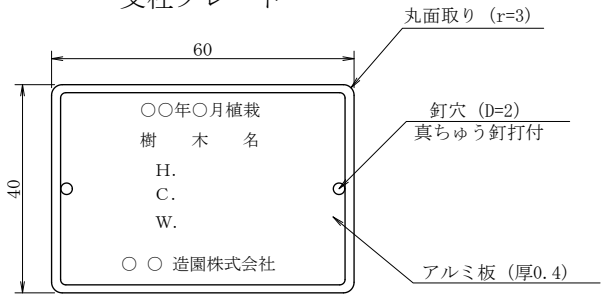
正 面 図



平 面 図



支柱プレート



※耐候性の文字で記入する

三脚支柱（A，B）材料表

名称		材料表 10組当り 杉丸太 長 末口径 0.6m×75㎜	杉丸太杭 長 末口径 1.8m×75㎜	支柱プレート（枚）	摘要
三脚支柱工A	A	10	30	－	公園用
三脚支柱工B	B－1	10	30	10	街路用
	B－2	10	30	－	街路用

三脚支柱（A、B）寸法表

名称	寸法表 単位（㎜） B	b1	b2	b3	b4	ℓ	H	摘要
三脚支柱工A	600	400	100	700	700	1800	1000	公園用
三脚支柱工B	600	420	90	800	750	1800	900	街路用

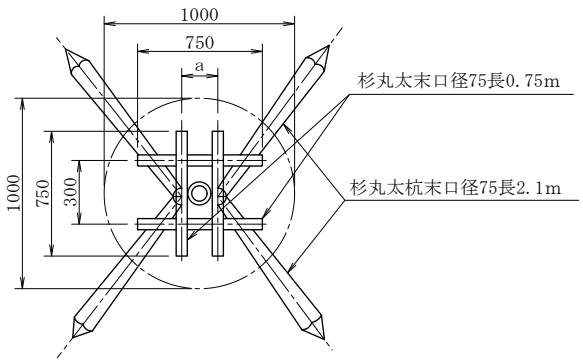
注意事項

1. 杉丸太、杉丸太杭は、防腐剤加圧注入処理品とし、見え掛り切り口は面取り仕上げとする。
2. 支柱の組立は、釘打ちのうえ亜鉛引鉄線（＃16）にて二重綾割縄掛とする。
3. 樹幹と、杉丸太との結束は、杉皮巻のうえ、しゅろ縄（赤・径3㎜）にて足場結び割縄掛け。
4. 釘寸法は、N100とする。
5. 新植については、別途支柱プレートを計上する。

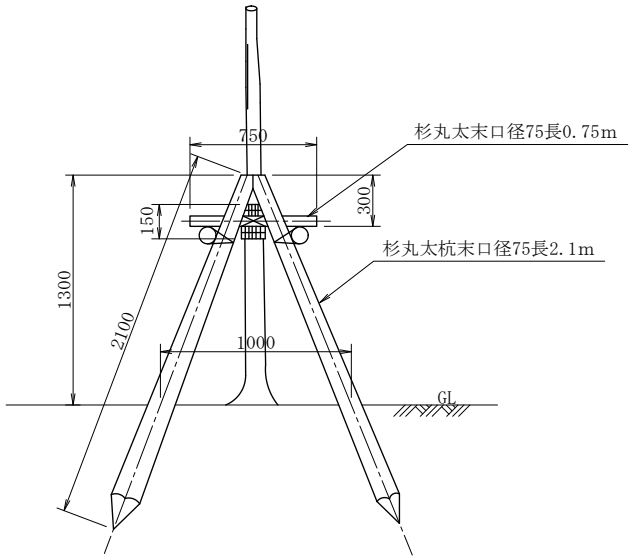
大分類	中分類	小分類	適用年度
1000 植栽工	四脚支柱工	公園用　A	R7.4

四　脚　支　柱　工

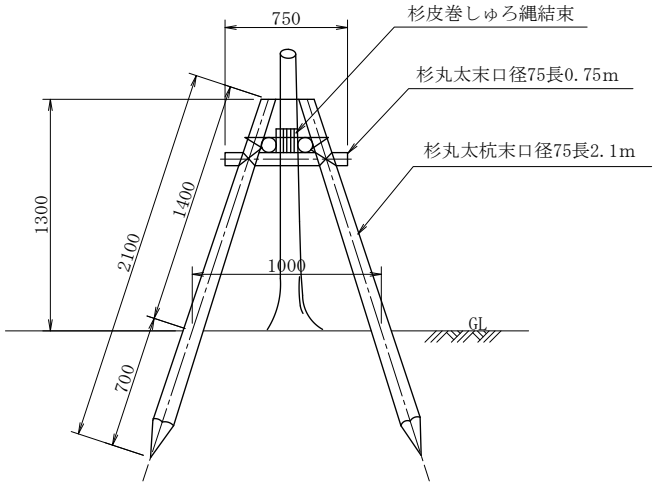
平　面　図



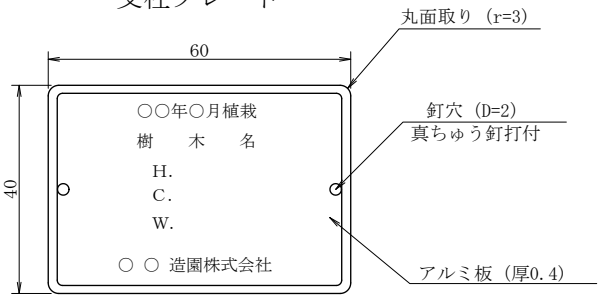
側　面　図



正　面　図



支柱プレート



※耐候性の文字で記入する

四脚支柱A　材料表

名　称	材料表　10組当り 杉丸太（本） 長　末口径 0.75m×75㎜	 杉丸太杭（本） 長　末口径 2.1m×75㎜	摘　要
四脚支柱工A	40	40	公園用

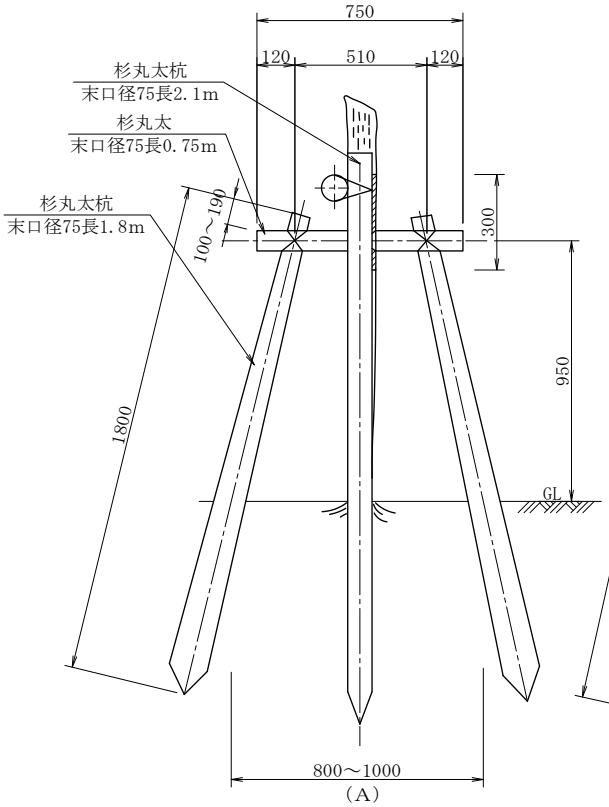
注意事項

1. 杉丸太、杉丸太杭は、防腐剤加圧注入処理品とし、見え掛り切り口は面取り仕上げとする。
2. 支柱の組立は、釘打ちのうえ亜鉛引鉄線（＃16）にて二重綾割縄掛とする。
3. 樹幹と、杉丸太との結束は、杉皮巻のうえ、しゅろ縄（赤・3㎜）にて足場結び割縄掛け。
4. ａの間隔は、樹木の成長の支障とならないよう広くとる。
5. 釘寸法は、N100とする。
6. 新植については、別途支柱プレートを計上する。

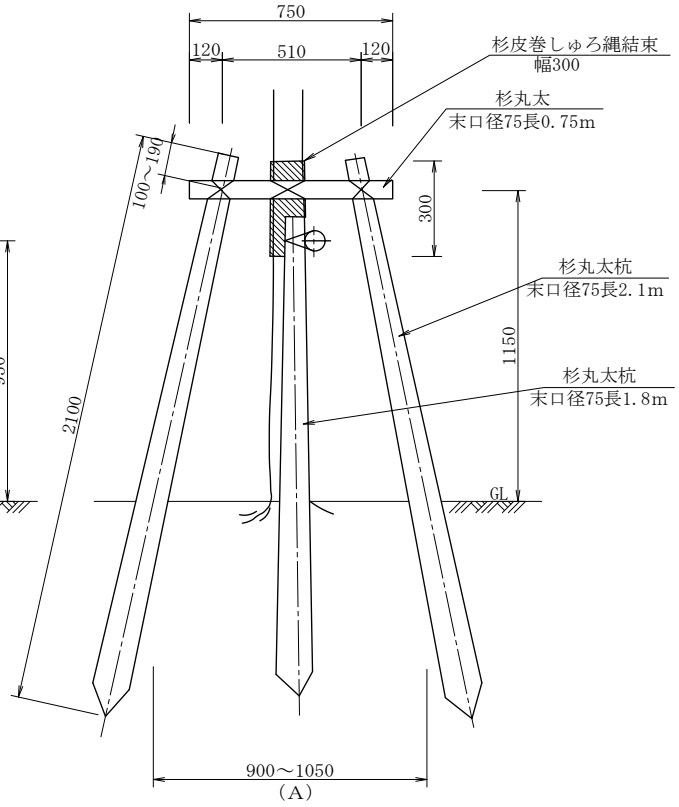
大分類	中分類	小分類	適用年度
1000 植栽工	四脚支柱工	街路用　B	R7.4

四　脚　支　柱　工

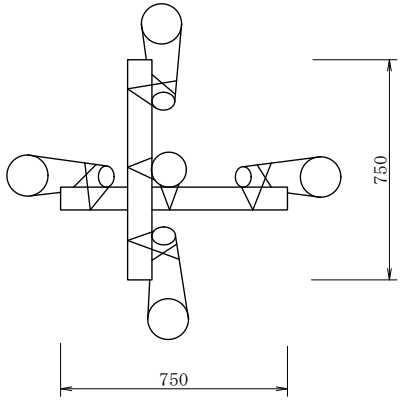
正面図



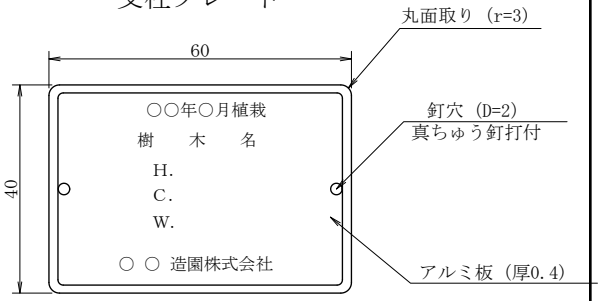
側面図



平面図



支柱プレート



※耐候性の文字で記入する

四脚支柱B材料表

（街路用）

名称		材料表 10組当り 杉丸太 長　末口径 0.75m×75㎜（本）	杉丸太杭（本） 長　末口径 1.8m×75㎜	杉丸太杭（本） 長　末口径 2.1m×75㎜	支柱プレート（枚）	摘要
四脚支柱工B	B－1	20	20	20	10	
	B－2	20	20	20	－	

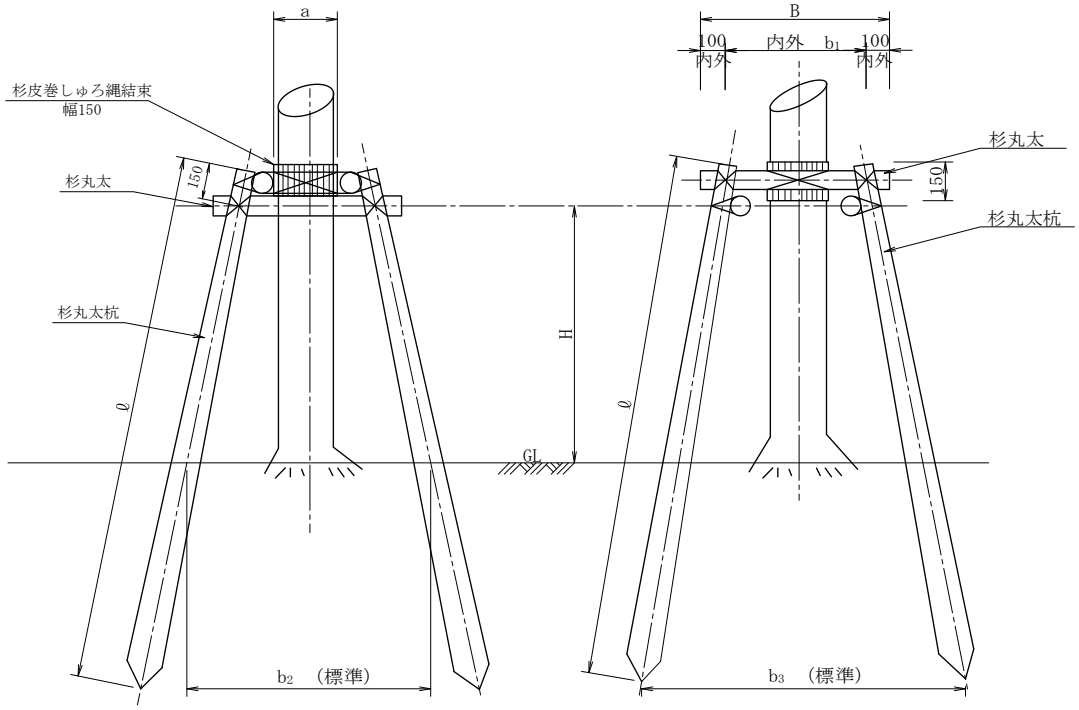
注意事項

1. 杉丸太、杉丸太杭は、防腐剤加圧注入処理品とし、見え掛り切り口は面取り仕上げとする。
2. 支柱の組立は、釘打ちのうえ亜鉛引鉄線（＃16）にて二重綾、割縄掛とする。
3. 樹幹と、杉丸太との結束は、杉皮巻のうえ、しゅろ縄（赤・径3㎜）にて足場結び割縄掛けとする。
4. 植栽箇所の状況により（A）の寸法は変更することがある。

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
1000 植 栽 工	四脚支柱工	街路用　C	R7.4

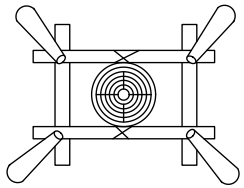
四　脚　支　柱　工

側　面　図

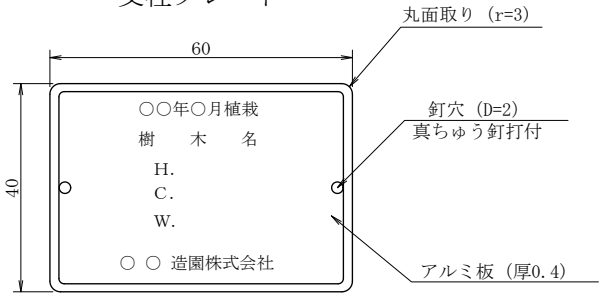


正　面　図

平　面　図



支柱プレート



※耐候性の文字で記入する

四脚支柱（C）材料表　（街路用）

名　称		材料表 10組当り			摘　要
		杉丸太（本） 長　末口径 0.75m×75㎜	杉丸太杭（本） 長　末口径 2.1m×75㎜	支柱プレート（枚）	
四脚支柱工C	C－1	40	40	10	
	C－2	40	40	－	

四脚支柱（C）寸法表

名　称	寸法表 単位（㎜）						摘　要
	B	b_1	b_2	b_3	ℓ	H	
四脚支柱工C	750	550	950～1050	950～1050	2100	1000	

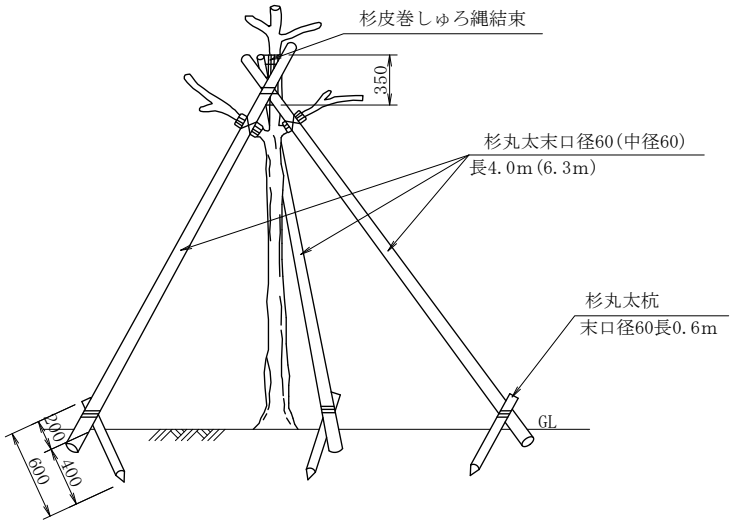
注意事項

1. 杉丸太、杉丸太杭は、防腐剤加圧注入処理品とし、見え掛り切り口は面取り仕上げとする。
2. 支柱の組立は、釘打ちのうえ亜鉛引鉄線（＃16）にて二重綾、割縄掛けとする。
3. 樹幹と杉丸太との結束は、杉皮巻のうえ、しゅろ縄（赤・径3㎜）にて足場結び割縄掛けとする。
4. aの間隔は、樹木の成長の支障とならないよう広くとる。
5. 釘寸法は、N100とする。
6. 植栽箇所の状況によりb2・b3の寸法は変ることがある。

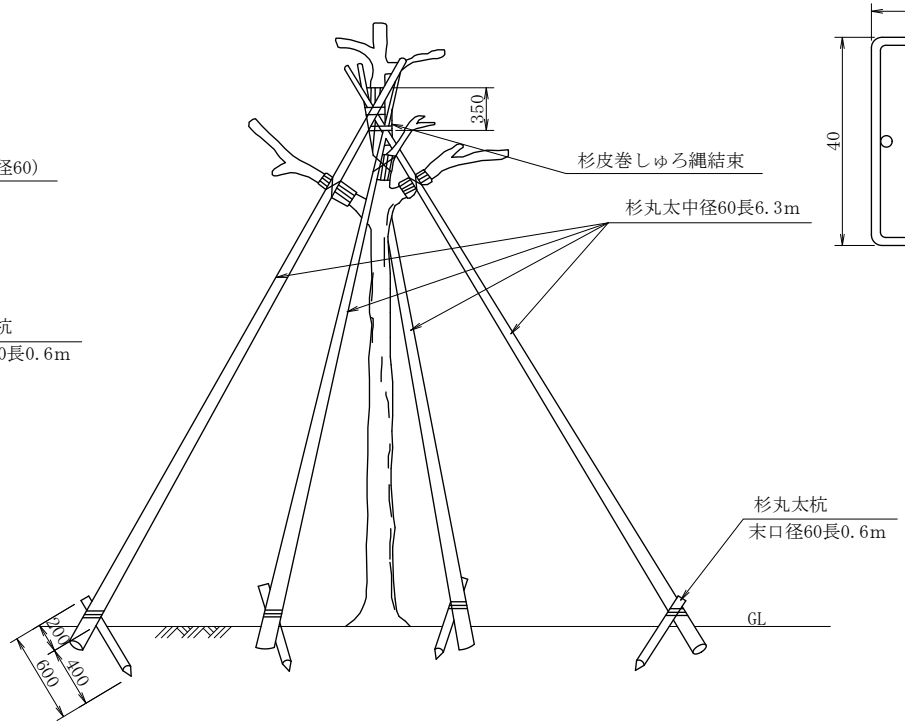
大分類	中分類	小分類	適用年度
1000 植栽工	陣立支柱工	公園用　三本、四本	R7.4

陣　立　支　柱　工

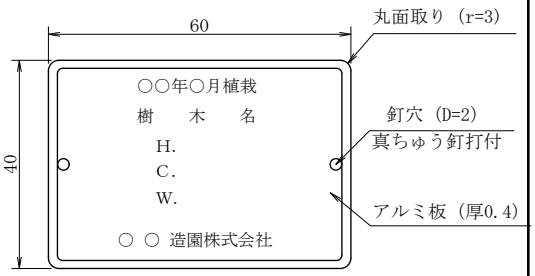
三本陣立支柱



四本陣立支柱



支柱プレート



※耐候性の文字で記入する

陣立支柱材料表

（公園用）

名称		材料表 10組当り 杉丸太（本） 長　末口径 4.0m×60㎜	杉丸太（本） 長　中径 6.3m×60㎜	杉丸太杭（本） 長　末口径 0.6m×60㎜	摘要
三本陣立支柱工	A	30	－	30	
	B	－	30	30	
四本陣立支柱工	A	－	40	40	

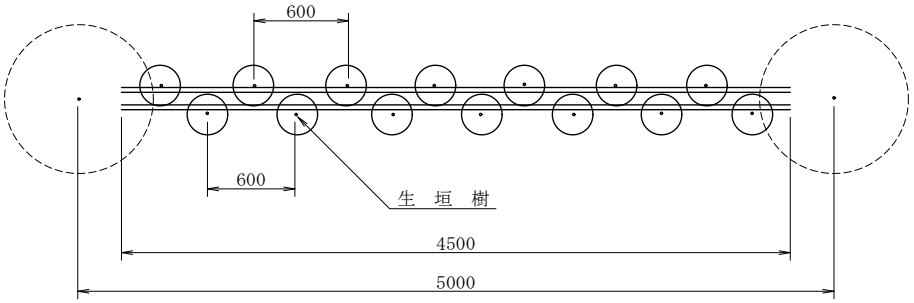
注意事項

1. 杉丸太、杉丸太杭は、防腐剤加圧注入処理品とし、見え掛り切り口は面取り仕上げとする。
2. 支柱の組立は、鉄打ちのうえ亜鉛引鉄線（#16）にて二重綾割縄掛とする。
3. 樹幹と、杉丸太との結束は、杉皮巻のうえ、しゅろ縄（赤・径3㎜）にて足場結び割縄掛け。
4. 樹木との結束位置は、樹高の2/3を標準とする。
5. 釘寸法は、N100とする。
6. （　）内は、三本陣立Ｂ－１・Ｂ－２の場合の寸法とする。
7. 新植については、別途支柱プレートを計上する。

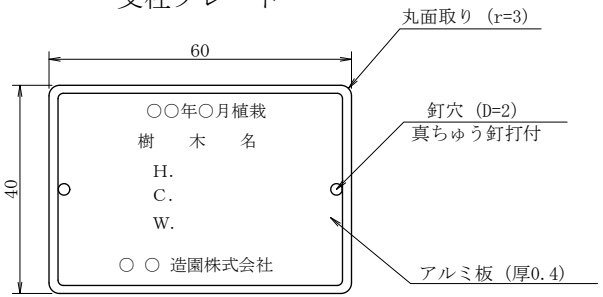
大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
1000 植 栽 工	生垣支柱工	街路用　B	R7.4

生　垣　支　柱　工

平　面　図

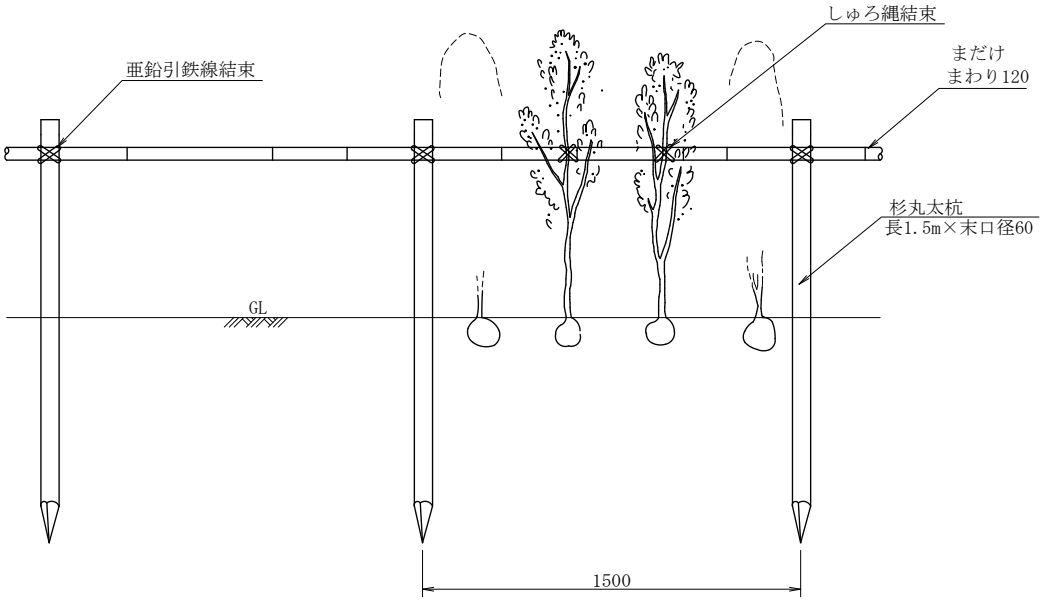


支柱プレート

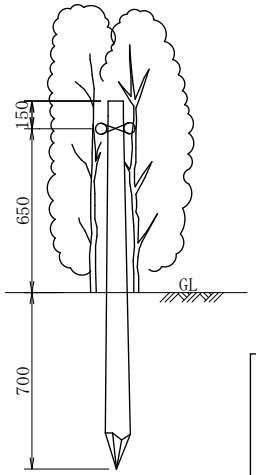


※耐候性の文字で記入する

側　面　図



断　面　図



生垣支柱Ｂ材料表

（街路用）

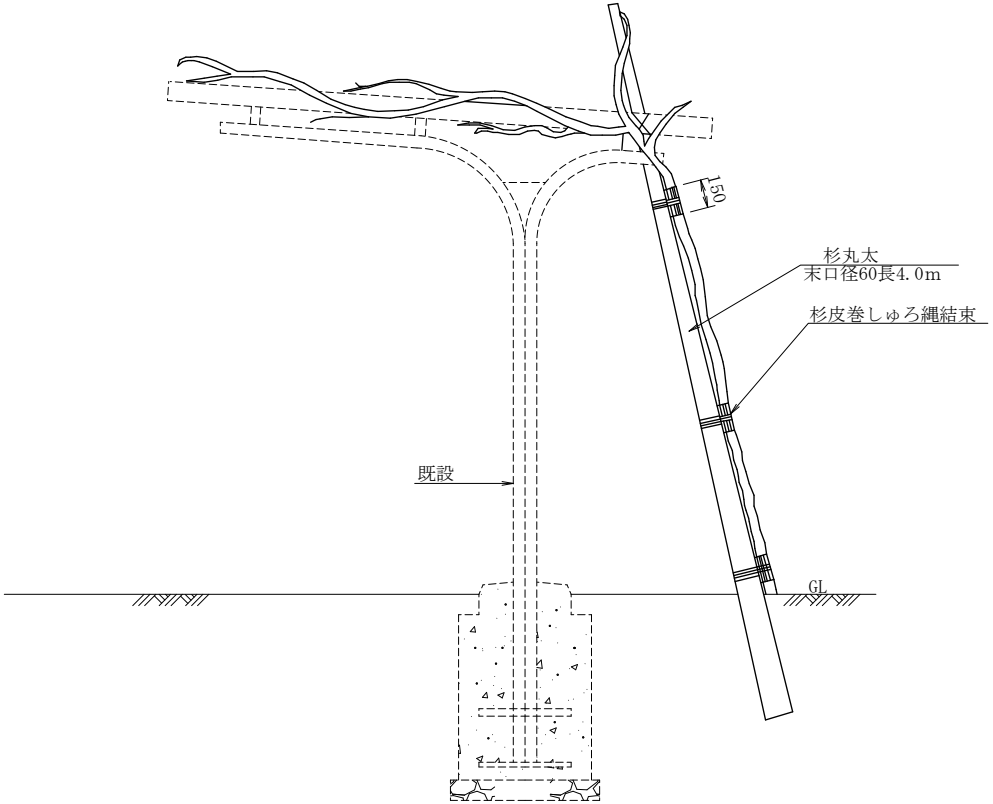
名　称	材　料　表　45m当り（10スパン）				摘　要
	杉丸太杭 1.5m×60（本）	まだけ まわり120 （本）	消耗品費等 （式）	支柱 プレート （枚）	
生垣支柱工Ｂ－１	40	20	1	1	
生垣支柱工Ｂ－２	40	20	1	－	

注意事項

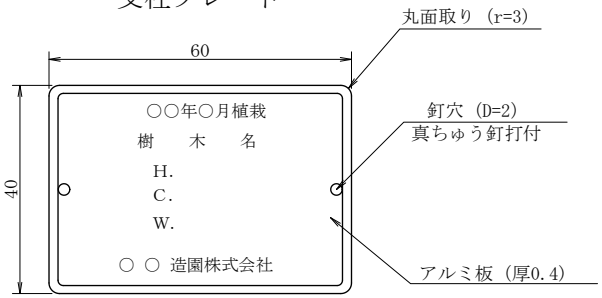
1. 標準的な中央分離帯（中木間隔１スパン5.0m）の生垣に適用する。
2. 杉丸太杭は、防腐剤加圧注入処理品とし、見え掛り切り口は面取り仕上げとする。
3. まだけと杉丸太杭との結束は、釘打ちのうえ、亜鉛引鉄線（＃16）で二重綾掛けとする。
4. まだけと樹木との結束は、しゅろ縄結束とする。
5. 植栽は支柱の両外側（２列）とする。
6. 釘寸法は、N65とする。

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
1000 植 栽 工	フジ支柱工	公園用	R7.4

フ　ジ　支　柱　工



支柱プレート



※耐候性の文字で記入する

フジ支柱材料表

名　称	材　料　表　10組当り 杉丸太(本) 長　末口径 4.0m×60㎜	摘　要
フジ支柱工	10	公園用

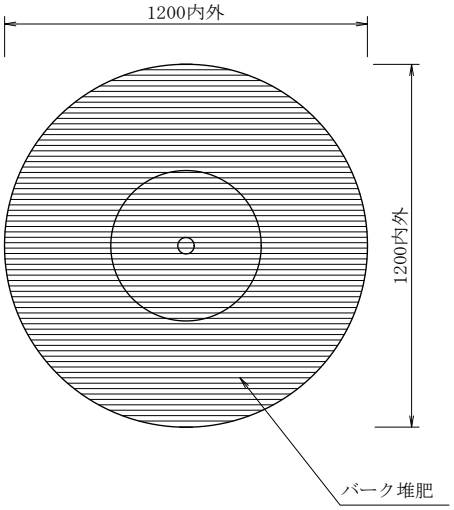
注意事項

1. 杉丸太は、防腐剤加圧注入処理品とし、見え掛り切り口は面取り仕上げとする。
2. 樹幹と、杉丸太との結束は、杉皮巻のうえ、しゅろ縄（赤・径3㎜）に掛け、うの首結びとする。
3. 新植時等、支柱プレートが必要な場合は、別途計上すること。

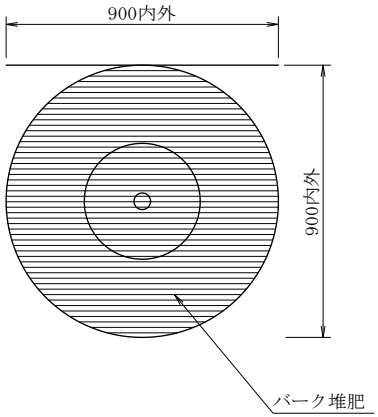
大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
1000 植 栽 工	マルチング	公園用	R7.4

マ　ル　チ　ン　グ

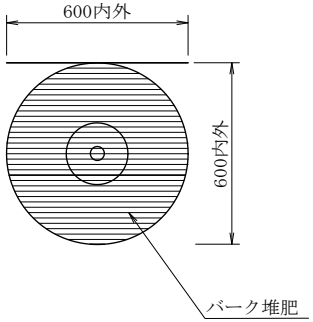
高木　C15cm以上
1.13m^2 /ヶ所



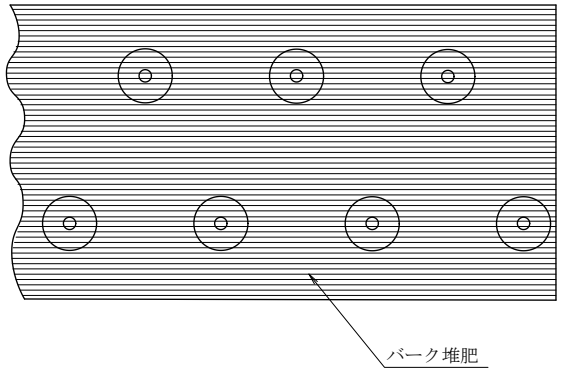
高木　C15cm未満・中木
0.64m^2 /ヶ所

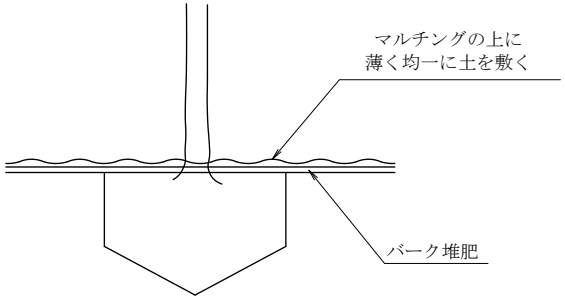


低木単植
0.28m^2 /ヶ所



低木群植、地被





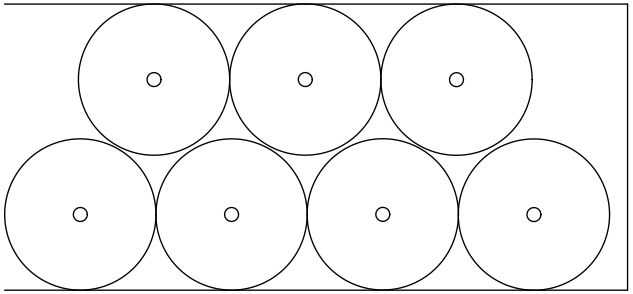
マルチング材料表　（公園用）

名　称	材　料　表　100m^{2}当り バーク堆肥 (kg)	摘　要
マルチング	1500	

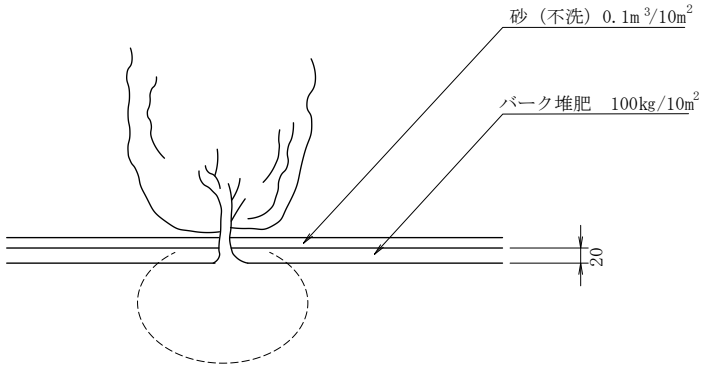
大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
1000 植 栽 工	マルチング	街路用	R7.4

マ　ル　チ　ン　グ

10kg/m^2



バーク堆肥



マルチング材料表　（街路用）

名　称	材　料　表　10m^{2}当り		摘　要
	バーク堆肥 (kg)	砂 (m^3)	
マルチング	100	0.1	

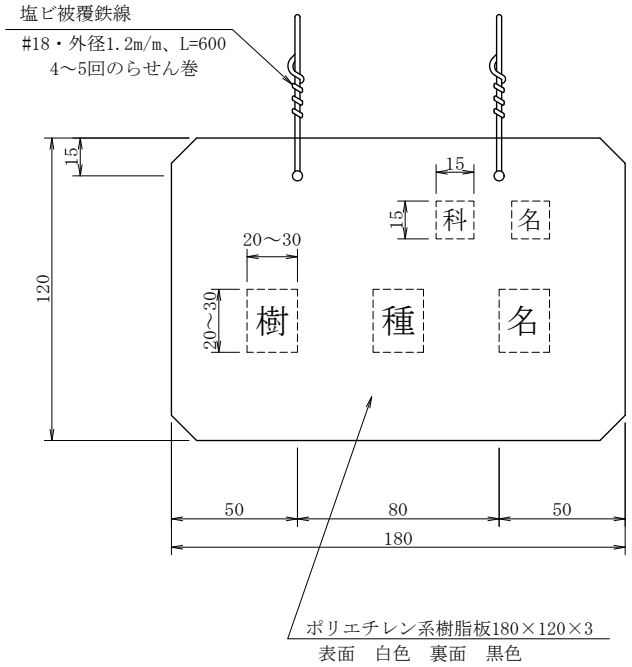
注意事項

1. マルチングは、バーク堆肥を均一に敷均したうえ、砂（不洗）0.1m^3／10m^{2}を均一に敷均すこと。

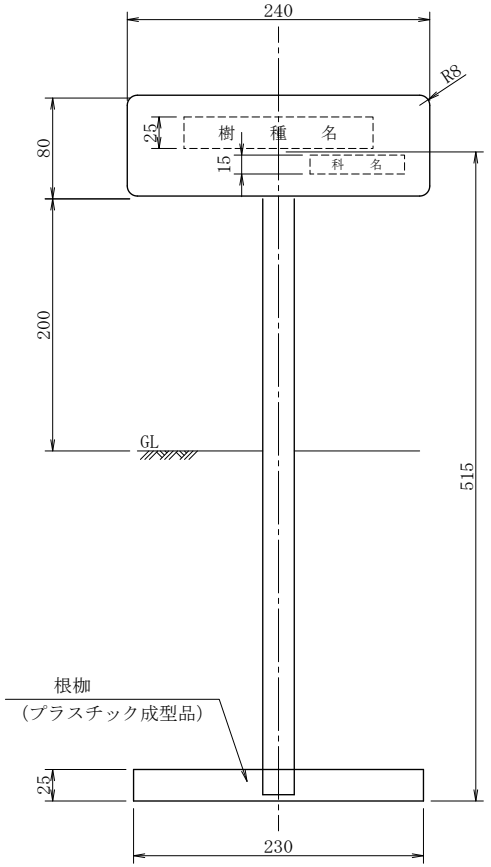
大分類	中分類	小分類	適用年度
1000 植栽工	名板設置工	街路用　A、B	R7.4

名　板　設　置　工

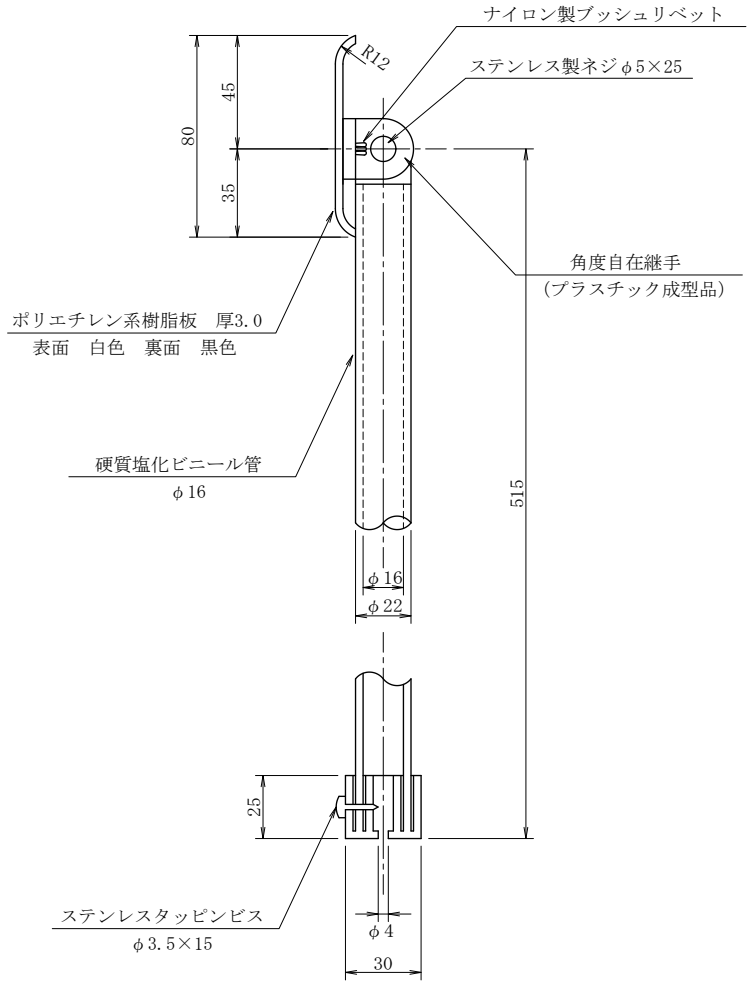
A



B



詳　細　図



名板設置A、B材料表

名称		材料表 100枚当り ポリエチレン系樹脂板 180×120×3 （枚）	ポリエチレン系樹脂板 板 240×80×3 柱φ16×500（枚）	摘要
名板設置工	A	100	－	
	B	－	100	

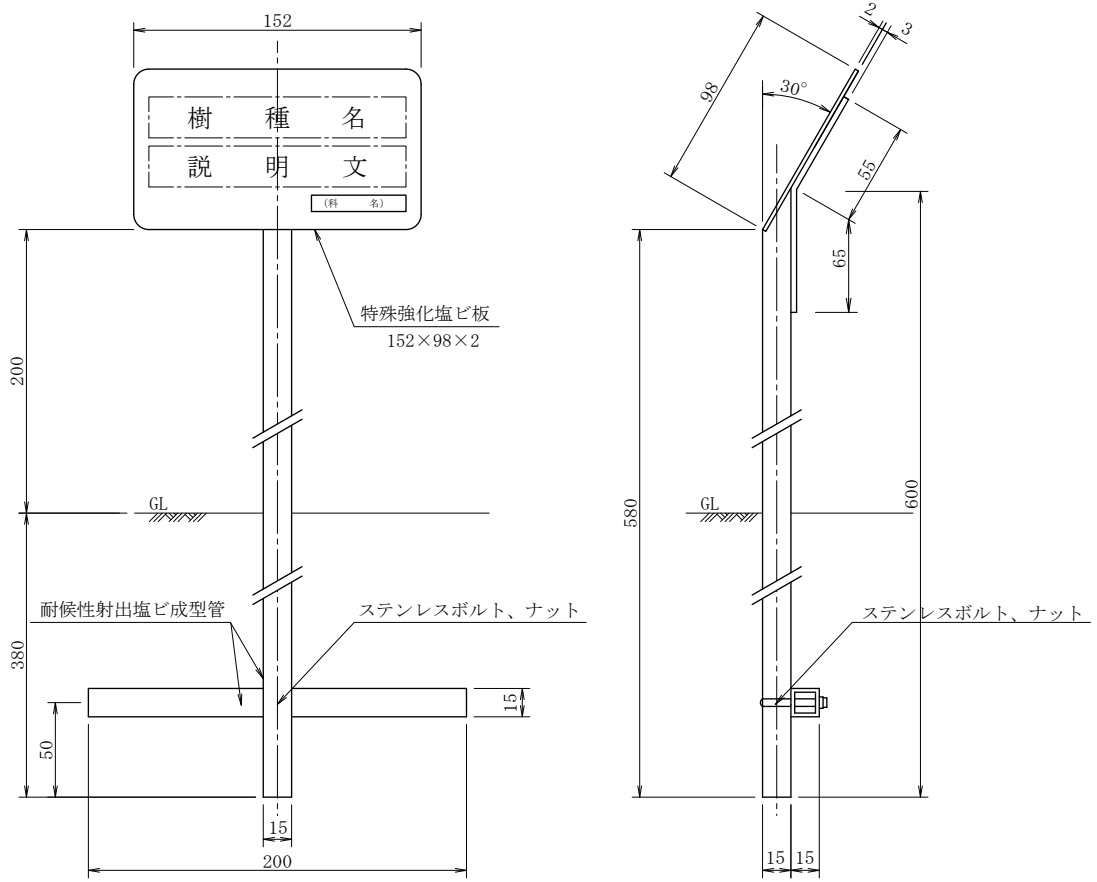
注意事項

1. 文字は丸ゴシック体で彫刻文字とする。
2. （A）の取付位置は第1枝又は第2枝とし、街路樹の場合は歩道側とする。

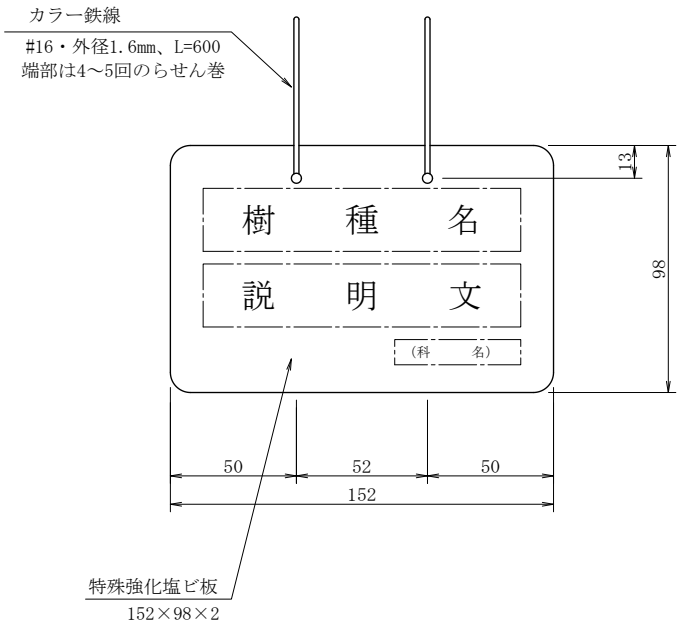
大分類	中分類	小分類	適用年度
1000 植栽工	名板設置工	街路用　C、D	R7.4

名　板　設　置　工

C



D



名板設置C、D材料表

名称		材料表 100枚当り 特殊強化塩ビ板 152×98×2㎜ 柱15×600㎜（枚）	特殊強化塩ビ板 152×98×2㎜（枚）	摘要
名板設置工	C	100	－	
	D	－	100	

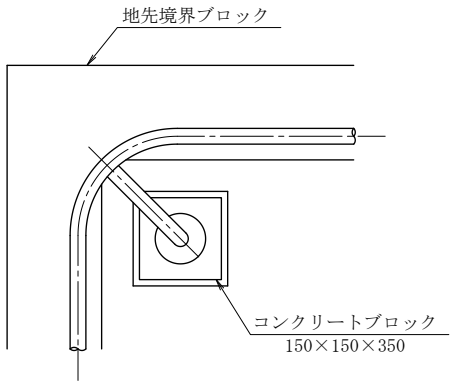
注意事項

1. 樹種名は長短により、文字の大きさ20㎜～30㎜、太さ3～5㎜とする。
2. 文字は丸ゴシック体でシルク印刷とする。
3. 説明文は監督員の承認を受けたものとする。
4. （D）の取付位置は第1枝又は第2枝とし、街路樹の場合は歩道側とする。

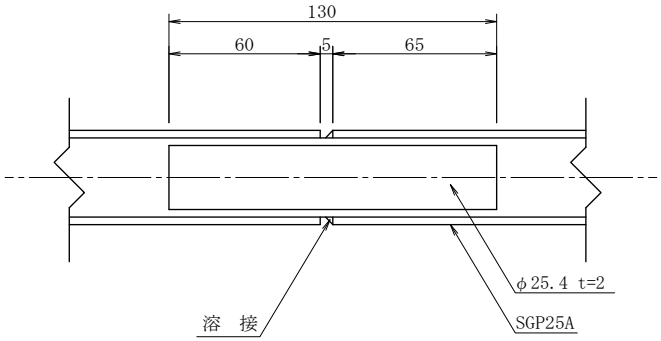
大分類	中分類	小分類	適用年度
1000 植栽工	歩道緑地帯 パイプ柵工	街路用　一体式	R7.4

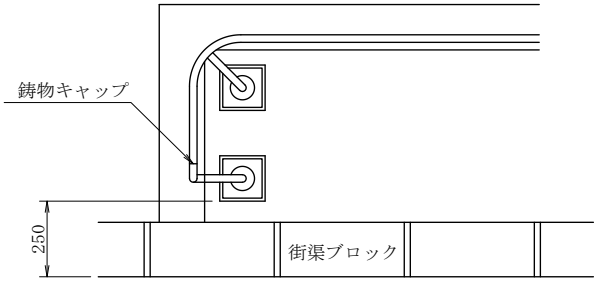
歩道緑地帯パイプ柵工

曲部詳細図

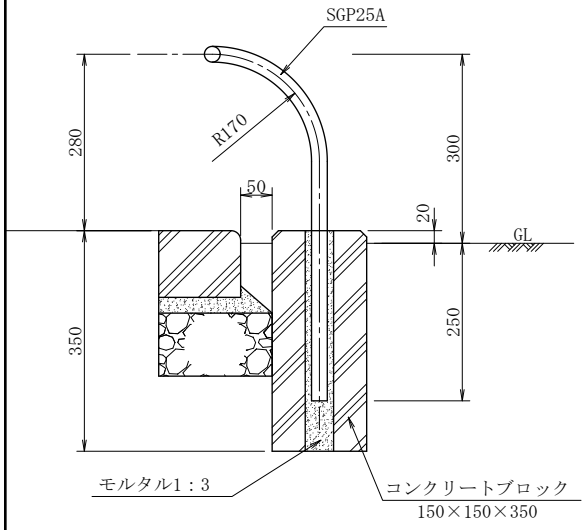


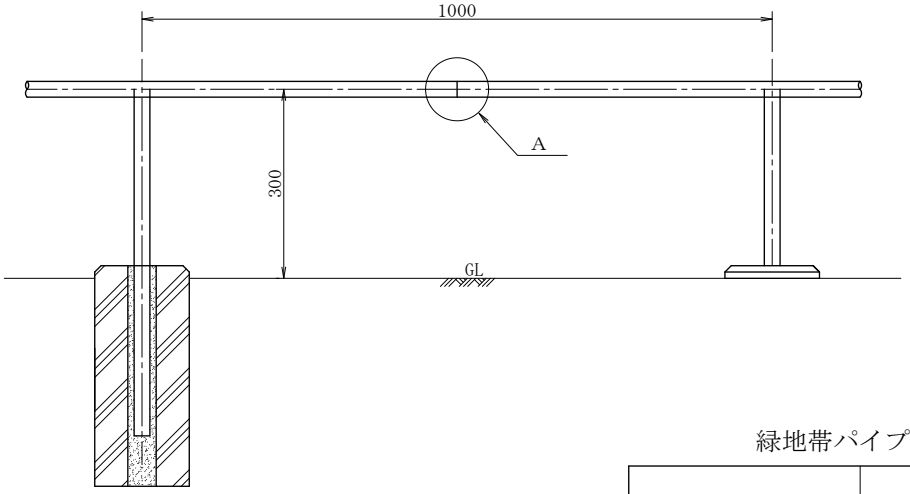
A部詳細図





車　道　側





緑地帯パイプ柵（一体式）　材料表

名　称	材料表　20m 当り		摘　要
	パイプ柵 SGP25A・亜鉛メッキ （m）　処理品	コンクリートブロック 150×150×350mm （個）	
緑地帯パイプ柵工(一体式)	20	21	継手等含む

注意事項

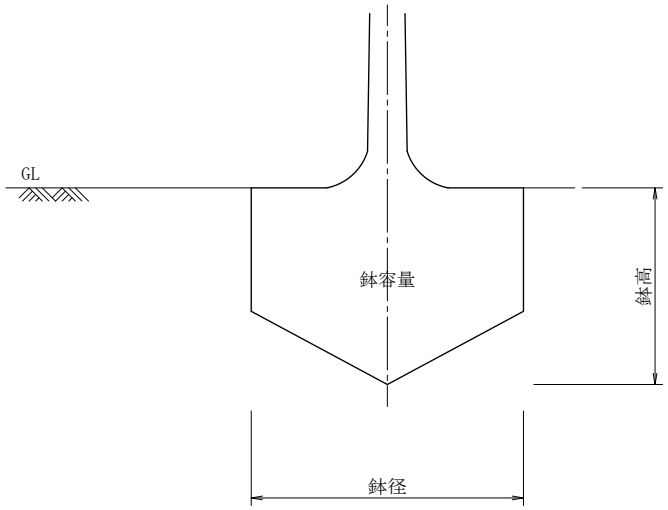
1. 先端部は、鋳物キャップを取り付けること。
2. 亜鉛メッキについてはJIS H 8641溶融亜鉛メッキHDZT 63(63㎛)以上、またはJIS G3452(白管)同等以上とする。
3. コンクリートブロックは、JIS A 5371付属書Bによる。

大分類	中分類	小分類	適用年度
1000 植栽工	高木・中木・低木掘取運搬工	街路用 公園用	R7.4

高木・中木・低木掘取運搬工

掘取根鉢寸法表

	名称 (cm)		寸法表 鉢径 (cm)	鉢高 (cm)	鉢容量 (m^3)	摘要
中低木	(樹高)	45未満	18	13	0.004	
	45以上	60未満	20	15	0.005	
	60以上	75未満	21	16	0.006	
	75以上	90未満	23	16	0.007	
	90以上	120未満	24	18	0.009	
	120以上	150未満	26	19	0.010	
	150以上	200未満	30	22	0.016	
	200以上	250未満	34	25	0.023	
	250以上		38	28	0.032	
高木	(幹周り)	15未満	30	26	0.031	
	15以上	20未満	49	37	0.049	
	20以上	30未満	64	45	0.123	
	30以上	40未満	83	56	0.301	
	40以上	60未満	111	73	0.739	
	60以上	90未満	159	100	1.923	

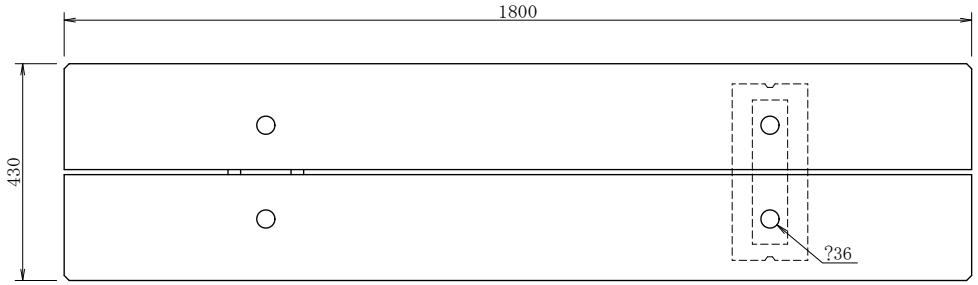


注意事項
1. 鉢径、鉢高は標準寸法の場合とする。
2. 植栽工は別途計上すること。

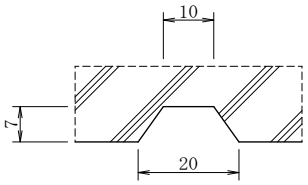
大分類	中分類	小分類	適用年度
1100 サービス施設工	ベンチ工	A	R7.4

ベ ン チ 工

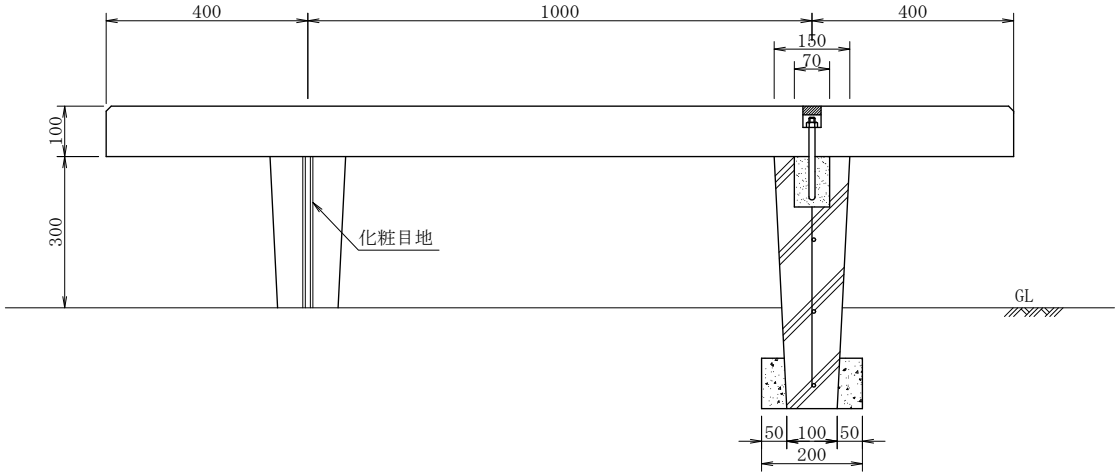
平 面 図



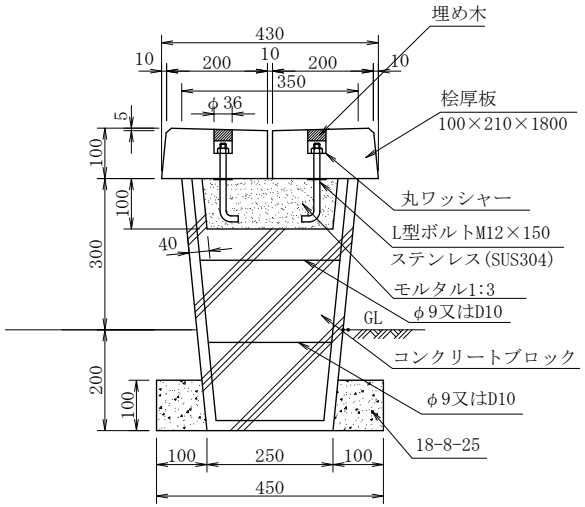
化粧目地詳細図



立 面 図



断 面 図



ベ ン チ 工 A 材 料 表

名称	材料表 コンクリート (m³) 18-8-25	モルタル 1:3 (m³)	コンクリートブロック 250/350×500×100/150 (個)	ベンチ A (基)	塗装 (m²)	10基当り 型枠 (m²)	摘要
ベンチA	0.130	0.036	20	10	21.30	2.60	アンカーボルト付

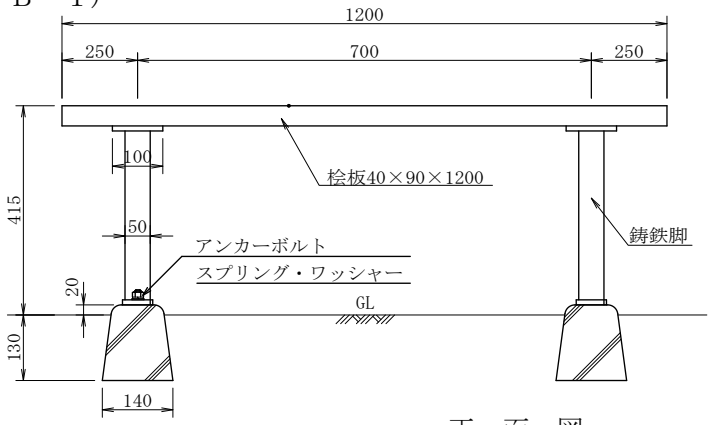
注意事項

1. 座板は、桧（1等）とし、防腐剤加圧注入処理品とする。
2. 木部の塗装は、下塗り(木部用)、中塗り、ポリウレタン脂調塗料（指定色）各１回塗装とする。
3. コンクリートブロックは、JIS A 5371付属書Bによる。

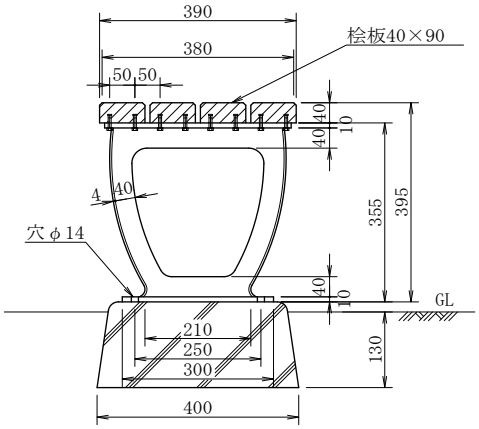
大分類	中分類	小分類	適用年度
1100 サービス施設工	ベンチ工	B	R7.4

ベ ン チ 工 B

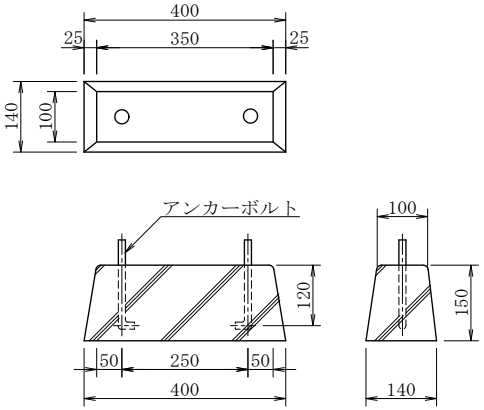
正面図 (B-1・B'-1)



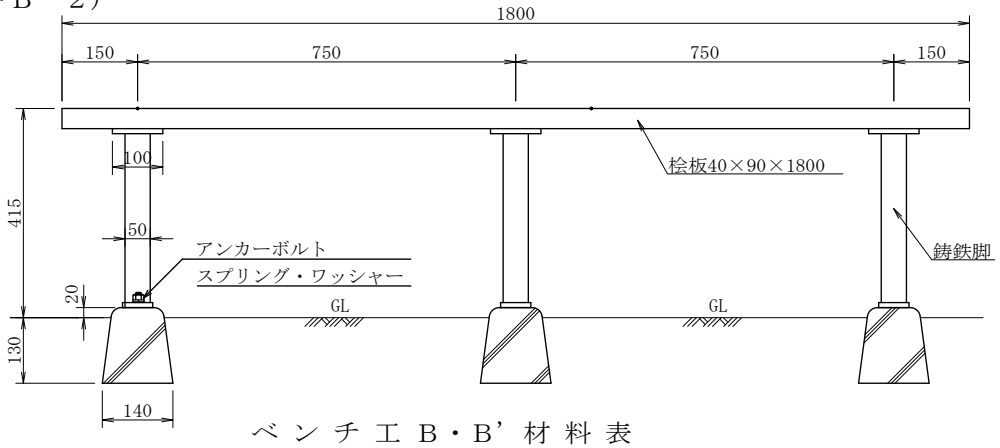
側面図



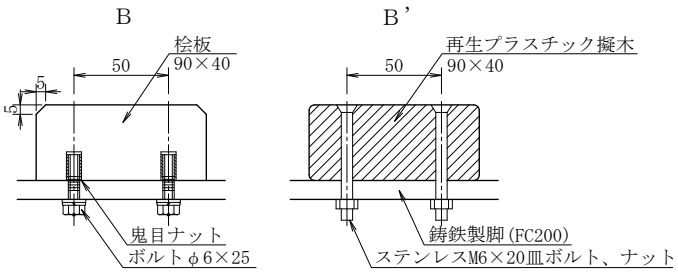
コンクリートブロック構造図



正面図 (B-2・B'-2)



取付詳細図



ベ ン チ 工 B・B' 材 料 表

名称		材料表 10基当り コンクリートブロック 350×100 / 400×140×150 (個)	ベンチ (基)				塗装 (m²)		摘要
			B-1, L=1200	B-2, L=1800	B'-1, L=1200	B'-2, L=1800	木部	鋳鉄部	
ベンチB	B-1	20(アンカーボルト付)	10(鋳鉄脚共)	——	——	——	12.0	4.8	
	B-2	30(アンカーボルト付)	——	10(鋳鉄脚共)	——	——	17.9	7.2	
ベンチB'	B'-1	20(アンカーボルト付)	——	——	10(鋳鉄脚共)	——	——	——	
	B'-2	30(アンカーボルト付)	——	——	——	10(鋳鉄脚共)	——	——	

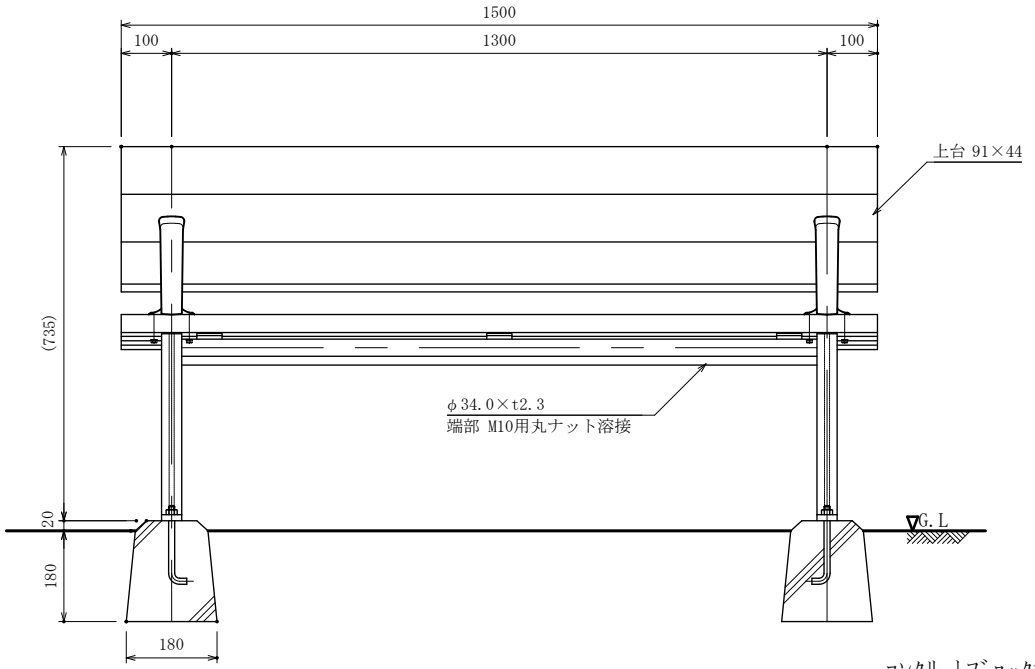
注意事項

1. B-1・B-2の座板は、桧(1等) とし、防腐剤加圧注入処理とする。
2. B'-1・B'-2の座板は、内装が廃プラスチック60%(重量比)以上、廃木粉20%(重量比)以上、外層はバージン樹脂と木粉被覆の成型品とする。
3. B-1・B-2木部の塗装は、下塗り(木部用)、中塗り、ポリウレタン樹脂塗料(指定色)各1回塗装とする。
4. 鋳鉄脚は、普通鋳鉄(FC200) とする。
5. B-1・B-2鋳鉄部の塗装は、下塗り、中塗り、ポリウレタン樹脂塗料(指定色) 各1回塗装とする。
6. B'-1・B'-2鋳鉄部の塗装は、原則として工場で下塗り、中塗り、ポリウレタン樹脂塗料 (ブラウン) 各1回塗装とする。
7. コンクリートブロックは、JIS A 5371付属書Bによる。
8. ( )内寸法は、B'－1 (再生プラスチック擬木) 寸法とする。

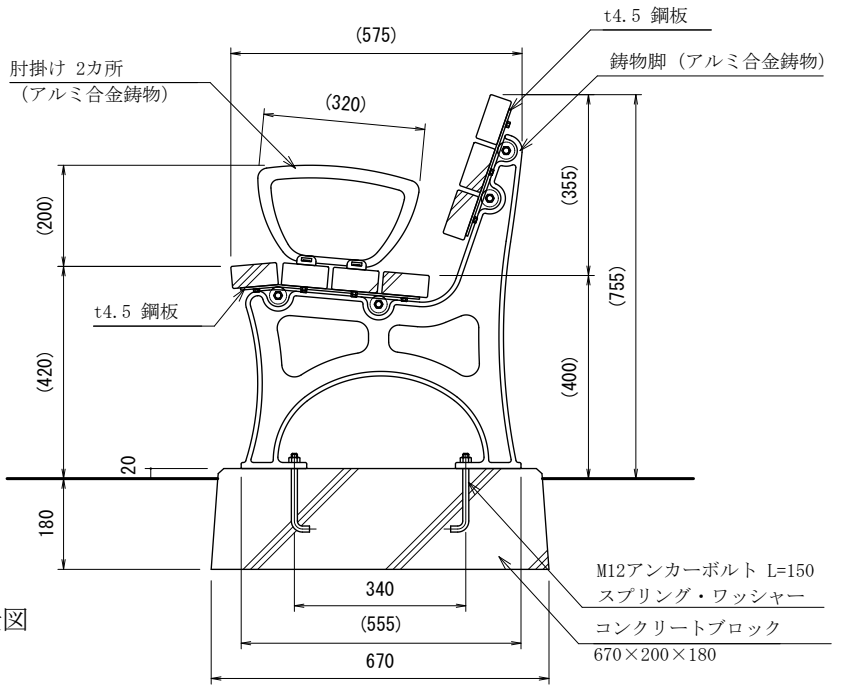
大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
1100 サービス施設工	ベ　ン　チ　工	C’	R7.4

ベ　ン　チ　工　C’

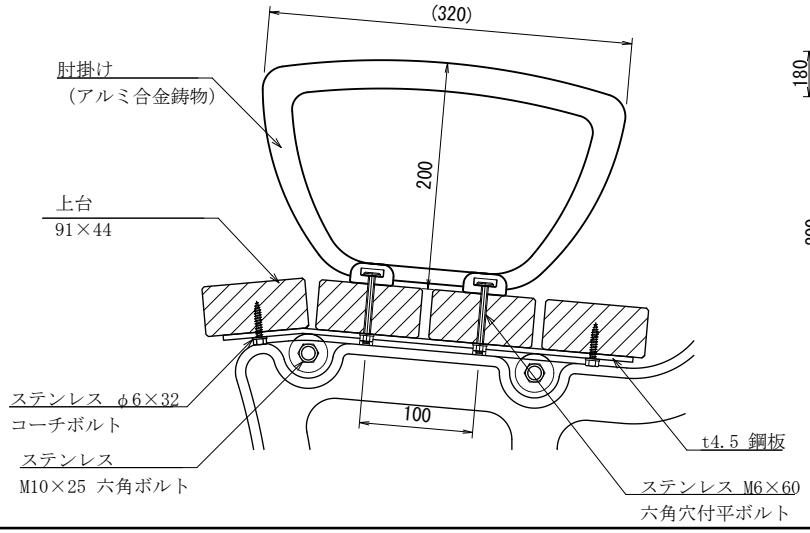
正面図



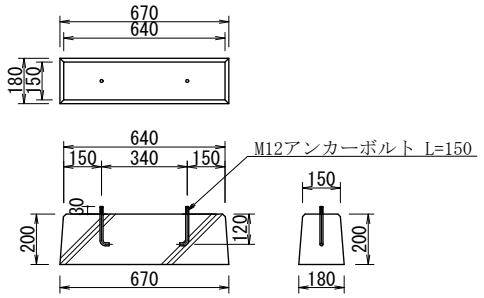
断面図



取合詳細図



コンクリートブロック構造図



コンクリートブロック構造図

ベンチ工Ｃ´材料表

名　称	材　料　表　10基当り		摘要
	コンクリートブロック 640 × 150 670 × 180 × 200（個）	ベ　ン　チ　（基） L=1500	
ベンチＣ´	20（アンカーボルト付）	10（アルミ脚共）	塗装込み

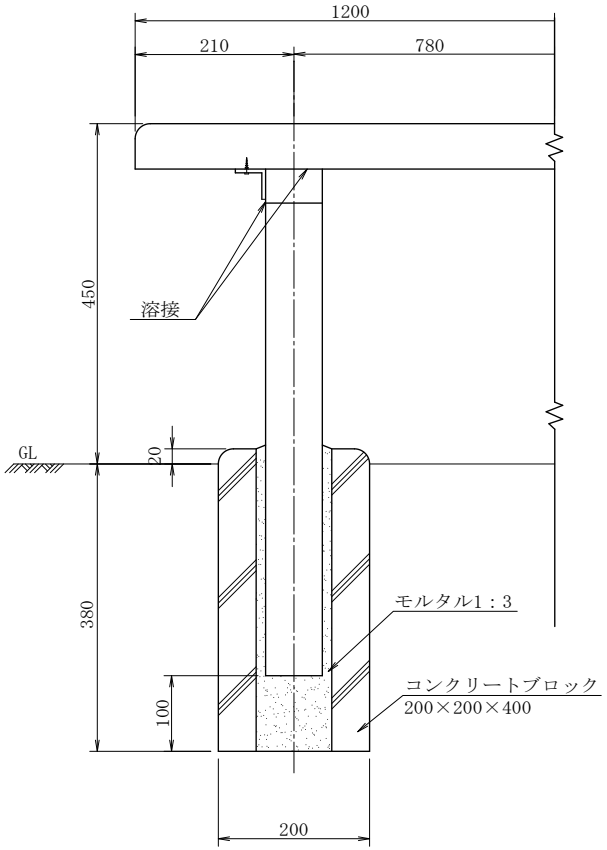
注意事項

1．上台は、木粉・ポリプロピレン再生複合材（芯層：無垢発砲　表層：耐候材、リサイクル材料含有率90%以上）及びJIS A5741 認証取得品とし、色は指定色とする。
2．鋳物（脚・肘掛け）は、アルミ合金鋳物とする。
3．鉄部の防食処理は、電気亜鉛メッキ処理（JIS H 8610）とする。
4．鉄部の塗装は、原則として工場で下塗り、中塗り、ポリウレタン樹脂塗料（ブラウン）各1回塗装とする。
5．コンクリートブロックは、JIS A 5371付属書Bによる。

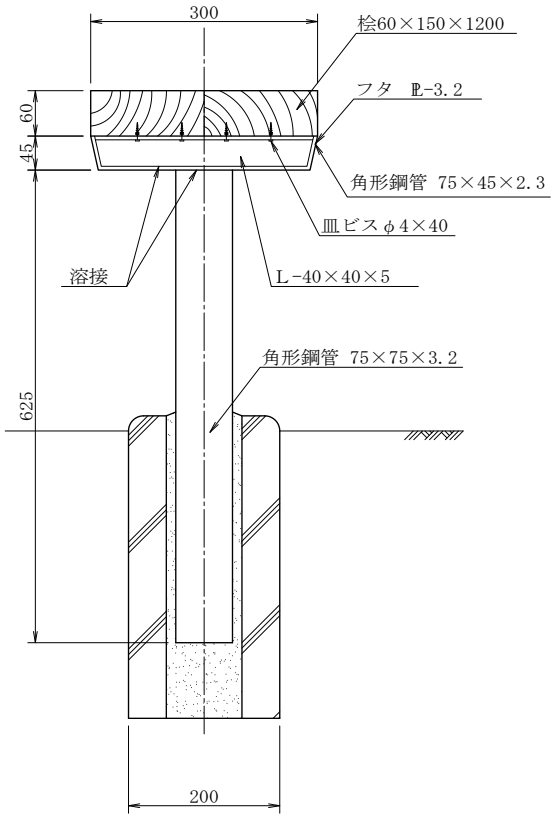
大分類	中分類	小分類	適用年度
1100 サービス施設工	ベンチ工	D	R7.4

ベ ン チ 工

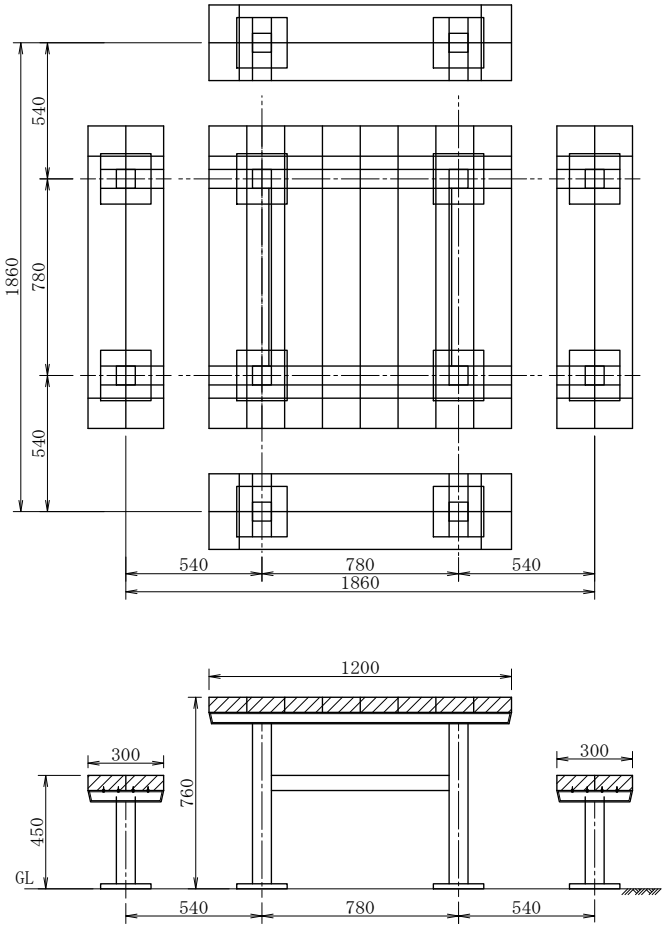
正 面 図



側 面 図



ベンチD・テーブルD位置図



ベ ン チ 工 D 材 料 表

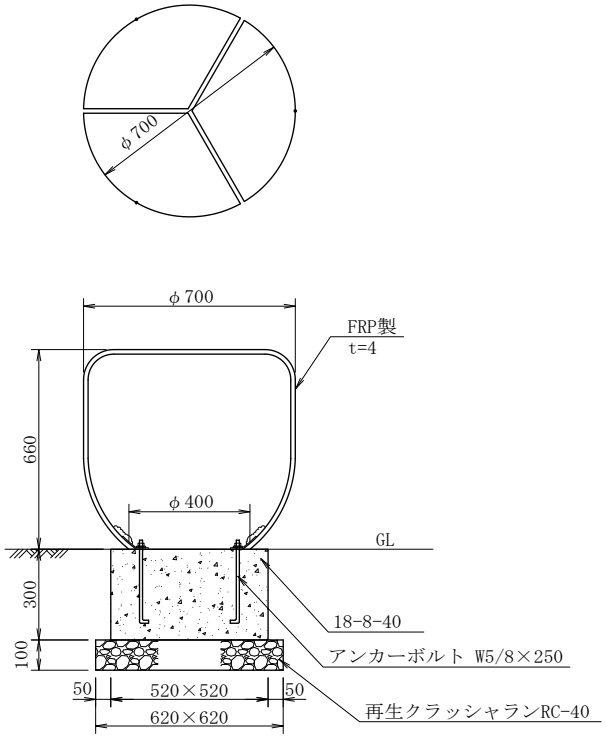
名称	材料表 10基当り					摘要
	モルタル 1:3(m³)	コンクリートブロック 200×200×400（個）	ベンチ D(基)	塗装 (m²) 木部	塗装 (m²) 鋳鉄部	
ベンチD	0.029	20	10	8.3	3.2	

注意事項
1. 座板は、桧(1等) とし、防腐剤加圧注入処理品とする。
2. 木部の塗装は、下塗り(木部用)、中塗り、ポリウレタン樹脂塗料(指定色) 各１回塗装とする。
3. 鉄部防食処理は、電気亜鉛メッキ(JIS H 8610)2種4級以上とする。
4. 鉄部の塗装は、下塗り、中塗り、ポリウレタン樹脂(指定色) 各１回塗装とする。
5. コンクリートブロックは、JIS A 5371付属書2による。

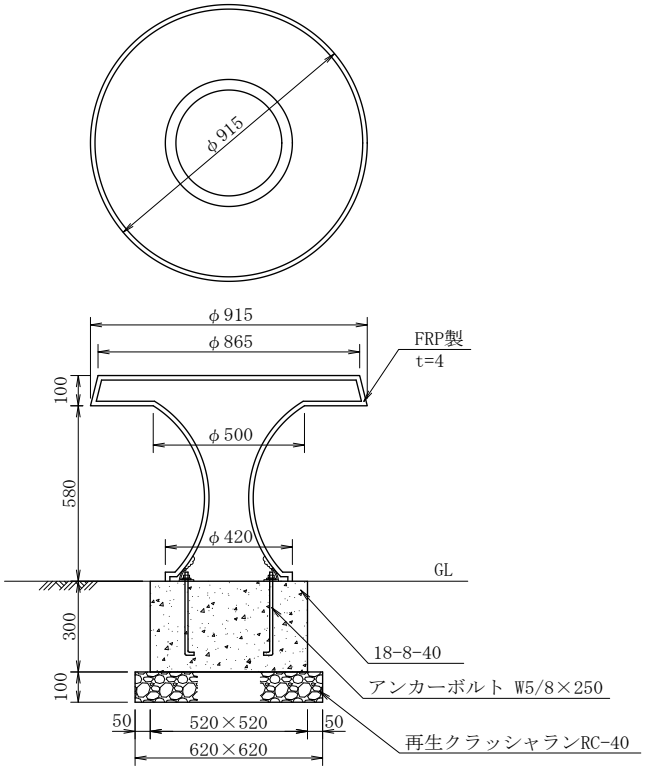
大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
1100 サービス施設工	テーブル工	A（1型、2型）	R7.4

テ　ー　ブ　ル　工

1　型



2　型



テーブル工 A 材 料 表

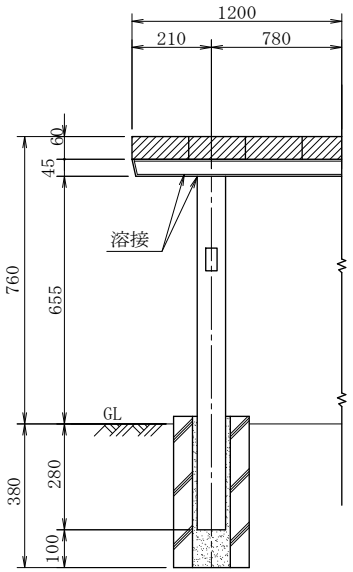
名　称	材料表			10基当り	摘　要
	再生クラッシャーラン RC-40(m³)	コンクリート 18-8-40(m³)	テーブル A FRP製(基)	型　枠 (m²)	
テーブル（1型2型共通）	0.384	0.811	10	6.24	

注意事項
1. 型式は、設計書指示とする。

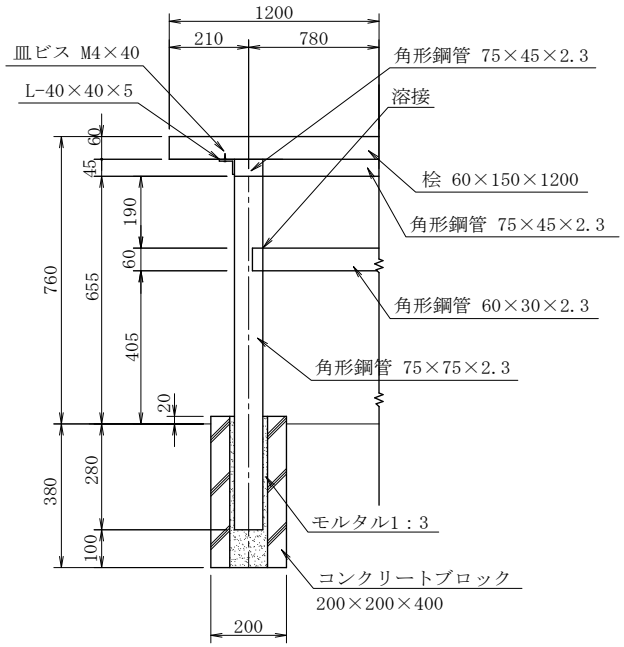
大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
1100 サービス施設工	テーブル工	D	R7.4

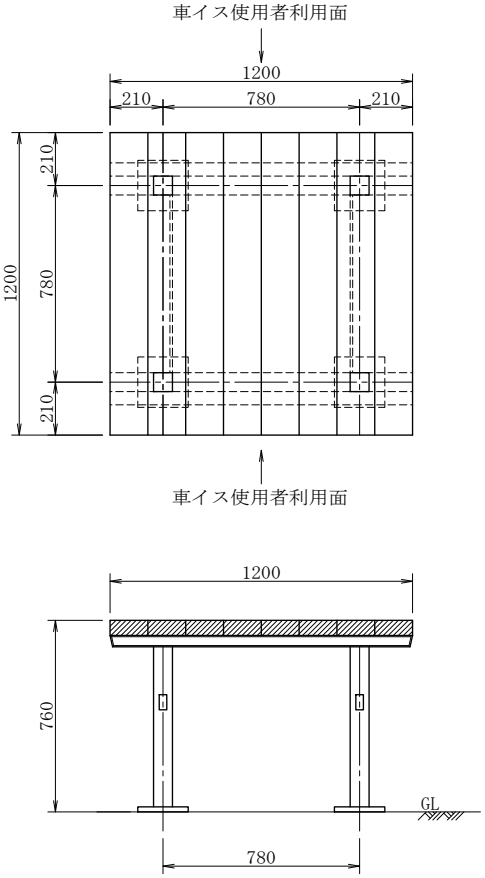
テ　ー　ブ　ル　工　D

正　面　図



側　面　図





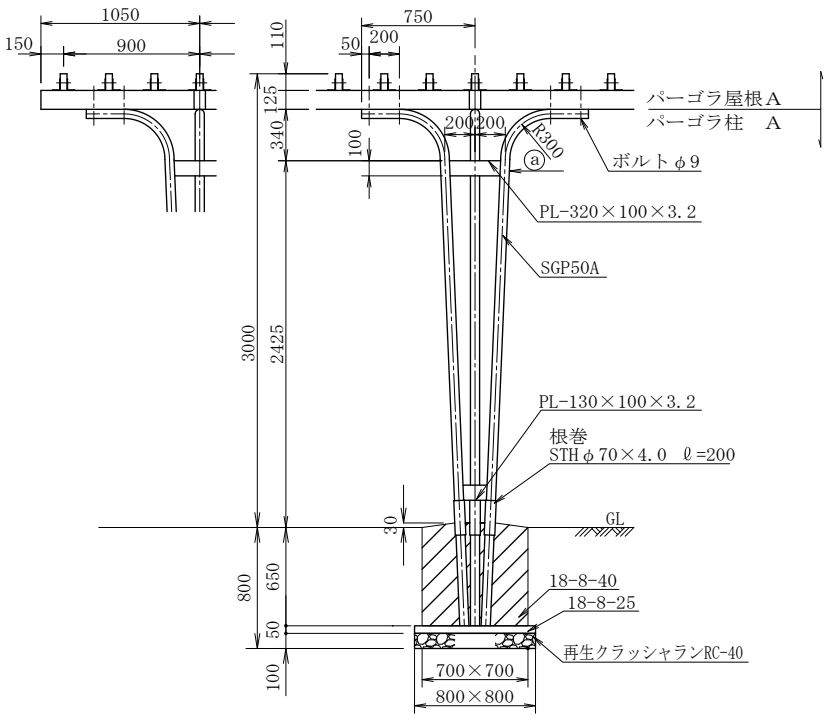
テーブル工 D 材 料 表

名　称	材　料　表　10基当り					摘　要
	モルタル 1:3(m³)	コンクリートブロック 200×200×400（個）	テーブルD（基）	塗　装　(m²) 鉄　部	塗　装　(m²) 木　部	
テーブルD	0.058	40	10	15.1	28.9	

注意事項
1. 板は、桧(1等)とし防腐剤加圧注入処理品とする。
2. 木部の塗装は、下塗り(木部用)、中塗り、ポリウレタン樹脂(指定色)各１回塗装とする。
3. 鉄部の防食処理は、電気亜鉛メッキ(JIS H 8610)2種4級以上とする。
4. 鉄部の塗装は、下塗り、中塗り、ポリウレタン樹脂塗料(指定色)各１回塗装とする。
5. コンクリートブロックは、JIS A 5371付属書Bによる。
6. テーブルの向きは、事前に監督員の承認を受け施工すること。

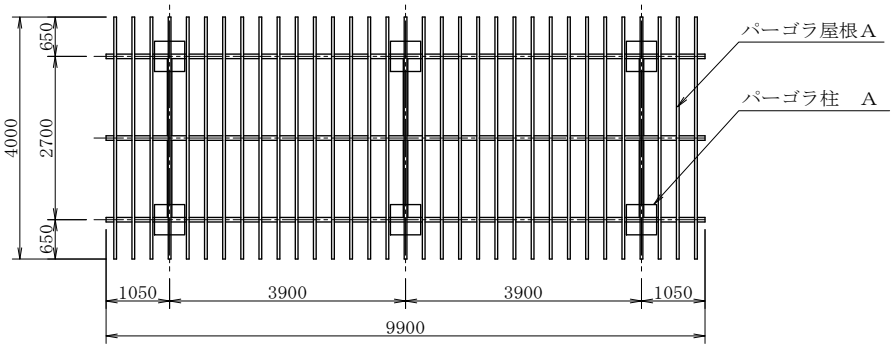
大分類	中分類	小分類	適用年度
1100 サービス施設工	パーゴラ工	A	R7.4

パ ー ゴ ラ 工

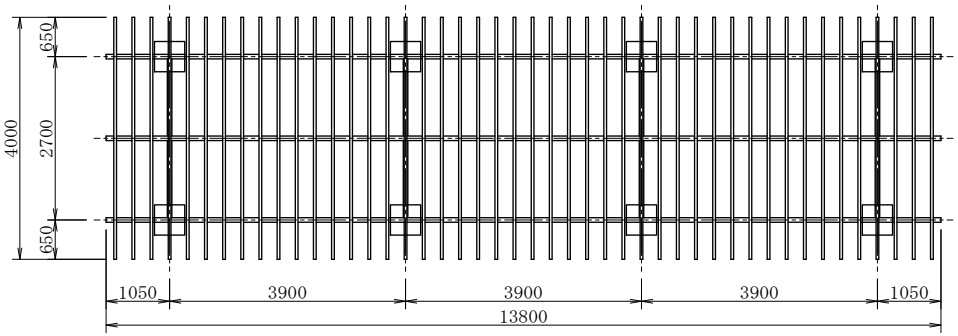


平面図

（A－2）



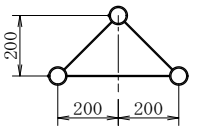
（A－3）



パーゴラ工A、パーゴラ柱工A材料表

名称		材料表 再生クラッシャラン RC-40(m³)	均しコンクリート 18-8-25 (m³)	コンクリート 18-8-40 (m³)	1基当り パーゴラ屋根A 巾4m(m)	パーゴラ柱A (本)	塗装 (m²)	均し型枠 (m²)	型枠 (m²)	摘要
パーゴラ工	A－2	——	——	——	9.90	6	——	——	——	1基当り
	A－3	——	——	——	13.80	8	——	——	——	1基当り
パーゴラ柱工A		0.064	0.032	0.32	——	1	2.00	0.16	1.82	1本当り

ⓐ 断面図

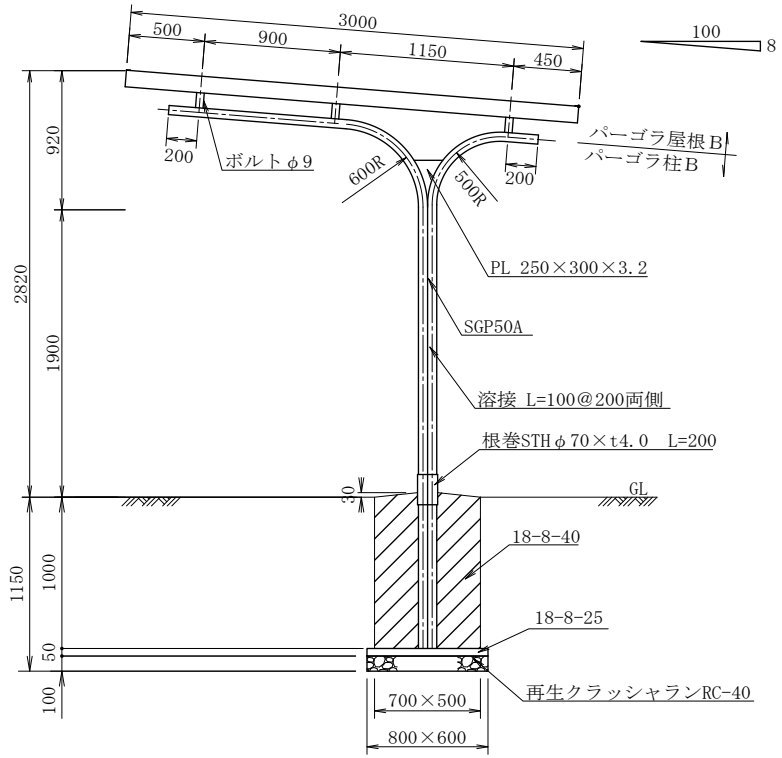


注意事項

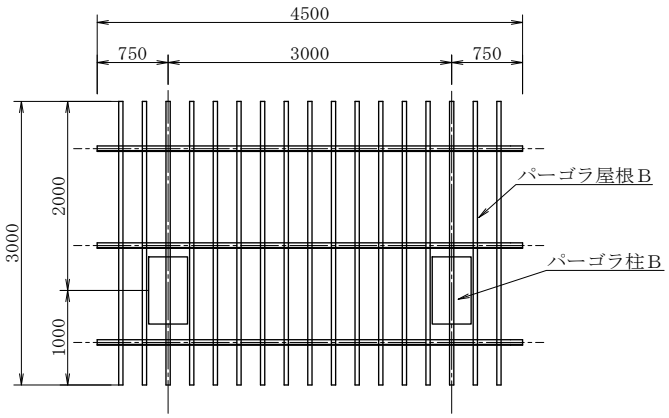
1. 鉄部の防食処理は、電気亜鉛メッキ(JIS H 8610)2種4級以上とする。
2. 鉄部の塗装は、下塗り、中塗り、ポリウレタン樹脂塗料(指定色)各1回塗装とする。

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
1100 サービス施設工	パーゴラ工	B	R7.4

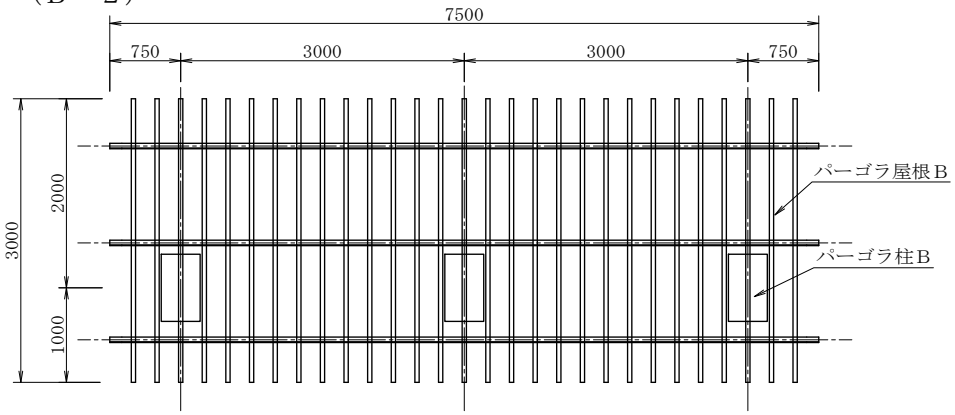
パ　ー　ゴ　ラ　工



（B－1）



（B－2）



パーゴラ工B、パーゴラ柱工B材料表

名　称		材料表 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40(m³)	均しｺﾝｸﾘｰﾄ 18-8-25 (m³)	コンクリート 18-8-40 (m³)	パーゴラ屋根 B 巾3m(m)	パーゴラ柱 B (本)	塗　装 (m²)	1基当り 均し型枠 (m²)	型　枠 (m²)	摘　要
パーゴラ工	B－1	——	——	——	4.50	2	——	——	——	1基当り
	B－2	——	——	——	7.50	3	——	——	——	1基当り
パーゴラ柱工B		0.048	0.024	0.35	——	1	1.34	0.14	2.40	1本当り

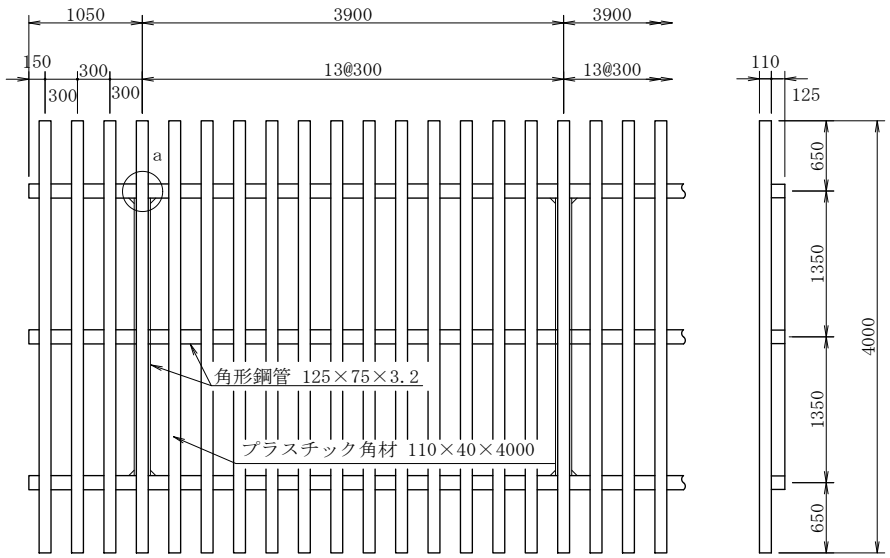
注意事項

1. 鉄部の防食処理は、電気亜鉛メッキ(JIS H 8610)2種4級以上とする。
2. 鉄部の塗装は、下塗り、中塗り、ポリウレタン樹脂塗料(指定色)各１回塗装とする。

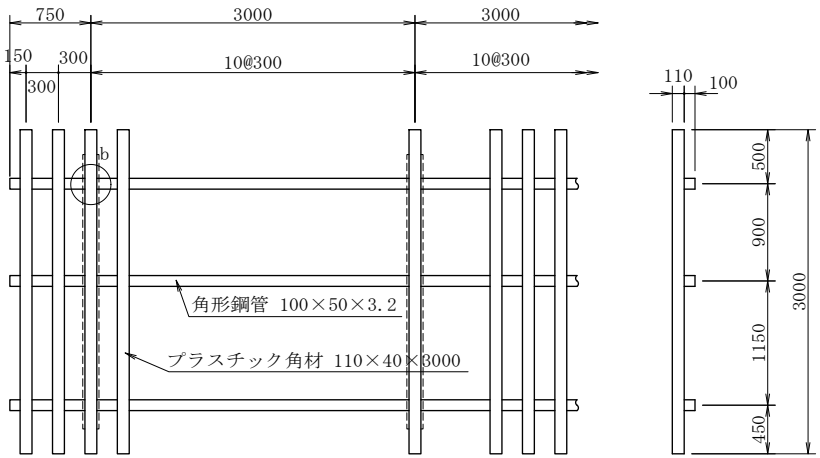
大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
1100 サービス施設工	パーゴラ工	屋根Ａ、Ｂ	R7.4

パ　ー　ゴ　ラ　工

A

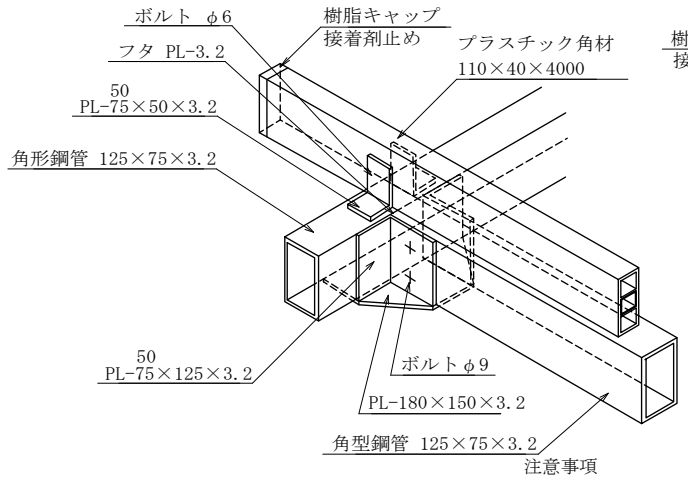


B

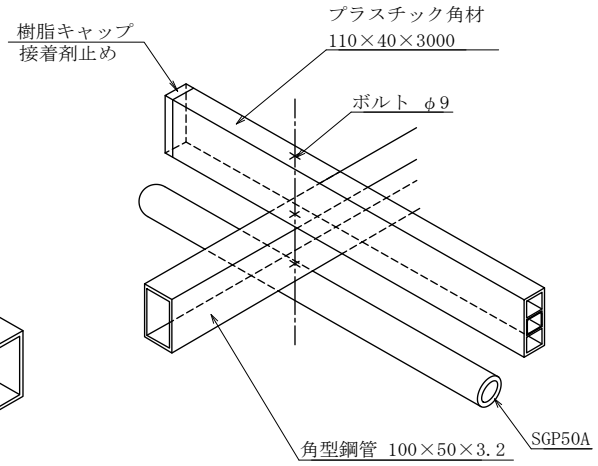


注・パーゴラ屋根Aの延長=3900以内×スパン数-1050×2
・　〃　　Bの延長=3000以内×スパン数- 750×2

a　部　詳　細　図



b　部　詳　細　図



パーゴラ屋根工（A、B）材料表

名　称		材　料　表　1m当り パーゴラ屋根（m） A 巾4m	 B 巾3m	 塗 装 (㎡)	摘　要
パーゴラ屋根	A	1.00	——	1.50	
	B	——	1.00	0.90	

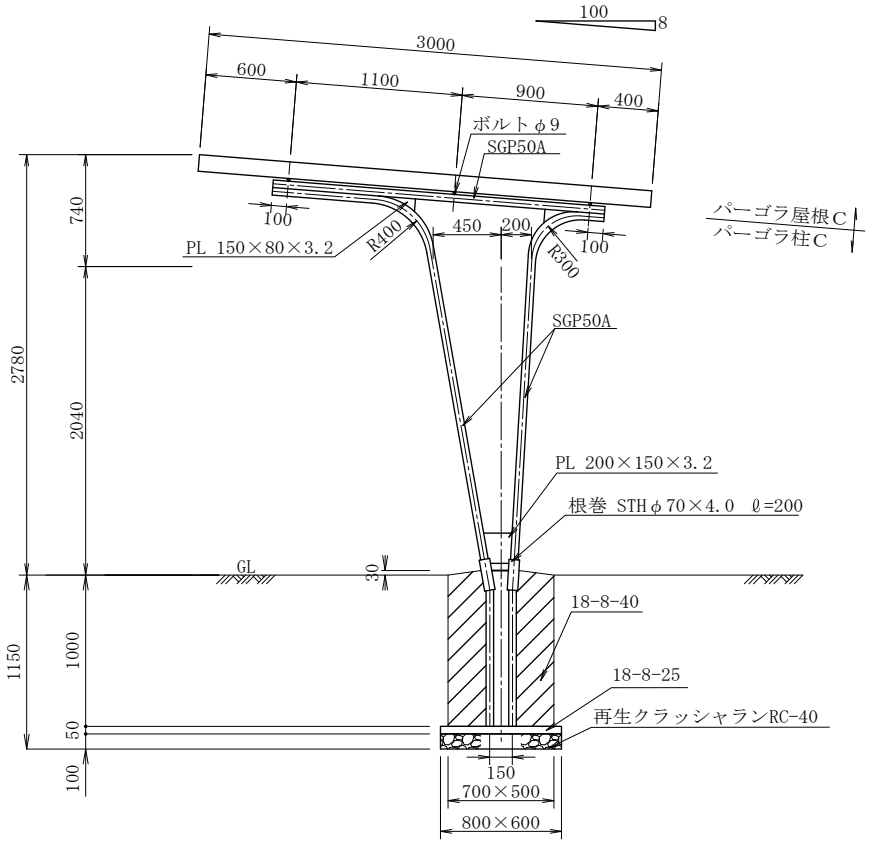
注意事項

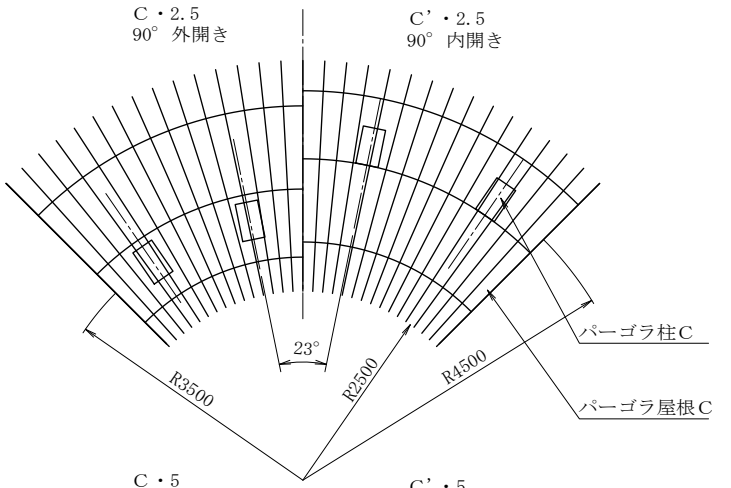
1. タル木（プラスチック角材）の着色品（茶系色）とする。
2. 鉄部の防食処理は、電気亜鉛メッキ(JIS H 8610)2種4級以上とする。
3. 鉄部の塗装は、下塗り、中塗り、ポリウレタン樹脂塗料(指定色)各１回塗装とする。

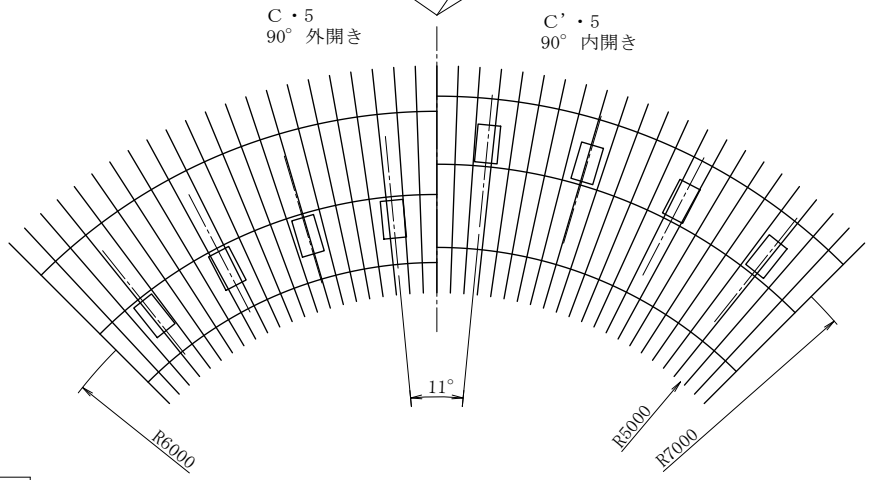
大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
1100 サービス施設工	パーゴラ工	C（1／2）	R7.4

パ　ー　ゴ　ラ　工

パーゴラ柱 C







パーゴラ工C材料表

名　称		材　料　表 1基当り								摘　要
		再生クラッシャラン RC-40(m³)	均しｺﾝｸﾘｰﾄ 18-8-25 (m³)	コンクリート 18-8-40 (m³)	パーゴラ屋根 巾3m・扇形 (m)	パーゴラ柱工 C (本)	塗　装 (m²)	均し型枠 (m²)	型　枠 (m²)	
パーゴラ工	C・C'・2.5	——	——	——	6.30	4	——	——	——	1基当り
	C・C'・5	——	——	——	10.20	8	——	——	——	1基当り
パーゴラ柱工C		0.048	0.024	0.35	——	1	1.71	0.14	2.40	1本当り

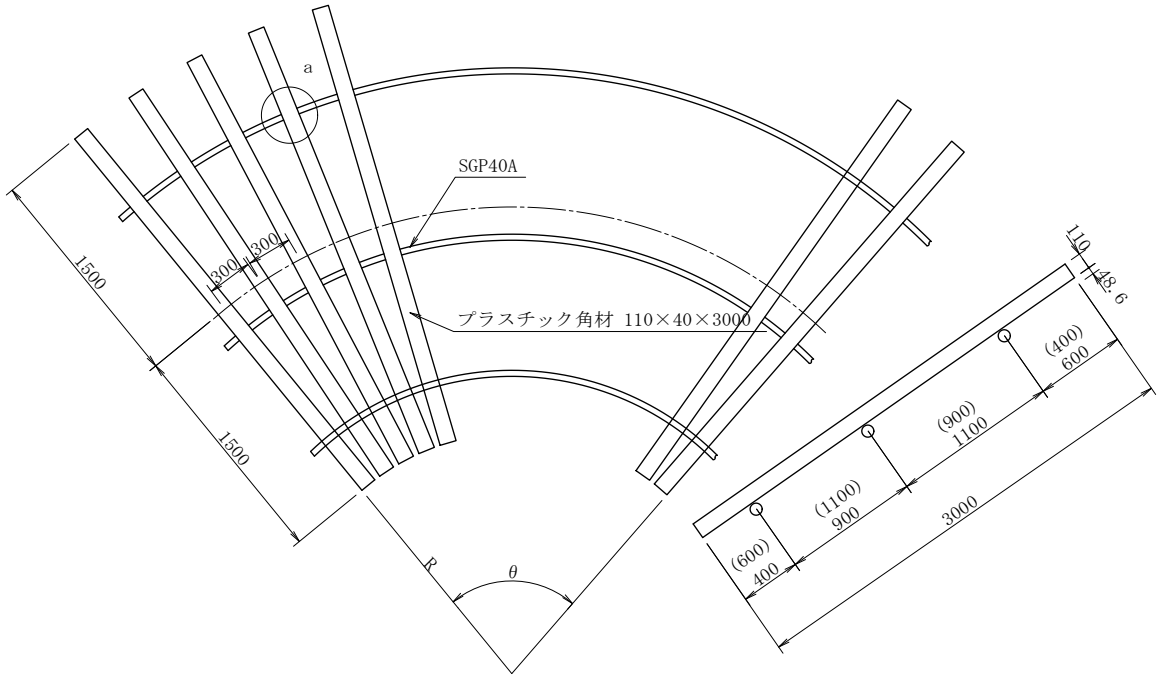
注意事項

1. 鉄部の防食処理は、電気亜鉛メッキ(JIS H 8610)2種4級以上とする。
2. 鉄部の塗装は、下塗り、中塗り、ポリウレタン樹脂塗料(指定色)各1回塗装とする。

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
1100 サービス施設工	パーゴラ工	C（2／2）	R7.4

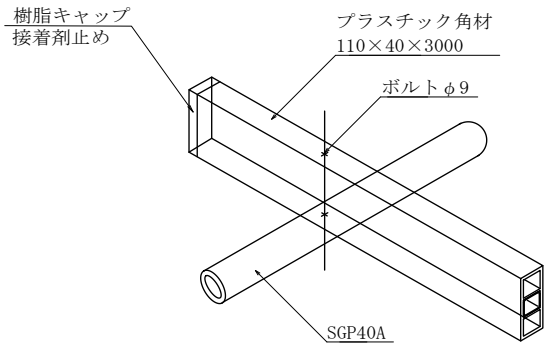
パ　ー　ゴ　ラ　工

屋　根　C



・パーゴラ屋根Ｃの延長=(内半径Ｒ+1500) ×2×3.14× $\frac{\theta}{360}$

a 部 詳 細 図



パーゴラ屋根工Ｃ材料表

名　称		材　料　表　1m当り パーゴラ屋根（m） C		塗 装 (m^2)	摘　要
パーゴラ屋根	C	1.00		0.47	

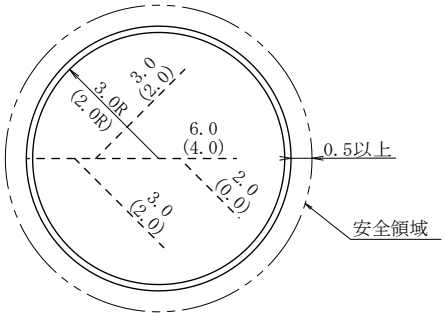
注意事項

1. タル木（プラスチック角材）の着色品（茶系色）とする。
2. 鉄部の防食処理は、電気亜鉛メッキ(JIS H 8610)2種4級以上とする。
3. 鉄部の塗装は、下塗り、中塗り、ポリウレタン樹脂塗料(指定色)各１回塗装とする。

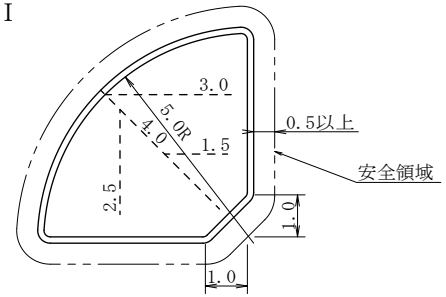
大分類	中分類	小分類	適用年度
1200 遊戯施設工	砂場工	平面図	R7.4

砂　場　工

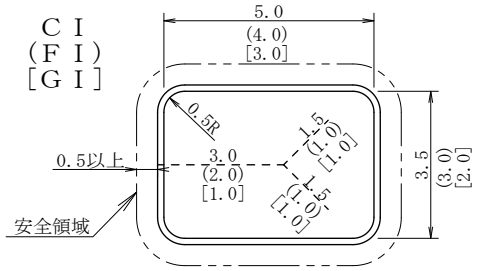
ＡＩ
（ＥＩ）



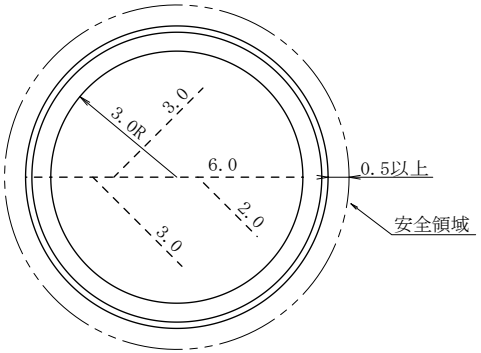
ＢＩ



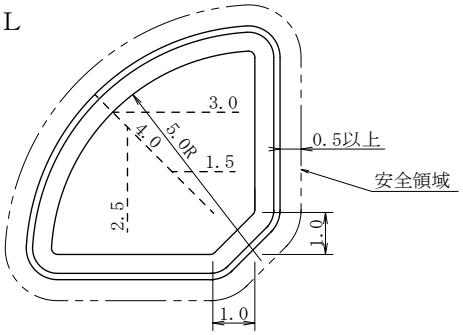
ＣＩ
（ＦＩ）
［ＧＩ］



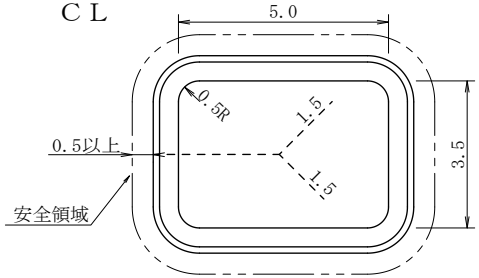
ＡＬ



ＢＬ



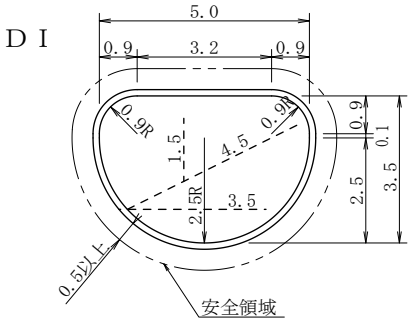
ＣＬ



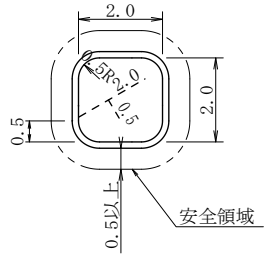
砂　場　工　材　料　表

名称		材料表 砂場壁（m） I	砂場壁（m） L	砂場砂 (m^3)	砂場排水層 (m^2)	1基当り 砂場排水管 (m)	摘要
砂場Ａ	ＡＩ	19.3	－	11.3	28.3	14.0	
	ＡＬ	－	20.7	11.3	28.3	14.0	
砂場Ｂ	ＢＩ	17.8	－	7.7	19.1	11.0	
	ＢＬ	－	19.4	7.7	19.1	11.0	
砂場Ｃ	ＣＩ	16.6	－	6.9	17.3	6.0	
	ＣＬ	－	18.0	6.9	17.3	6.0	
砂場Ｄ	ＤＩ	14.5	－	5.7	14.5	9.5	
砂場Ｅ	ＥＩ	13.0	－	5.0	12.6	8.0	
砂場Ｆ	ＦＩ	13.6	－	4.7	11.8	4.0	
砂場Ｇ	ＧＩ	9.6	－	2.3	5.8	3.0	
砂場Ｈ	ＨＩ	7.6	－	1.5	3.8	2.5	

ＤＩ



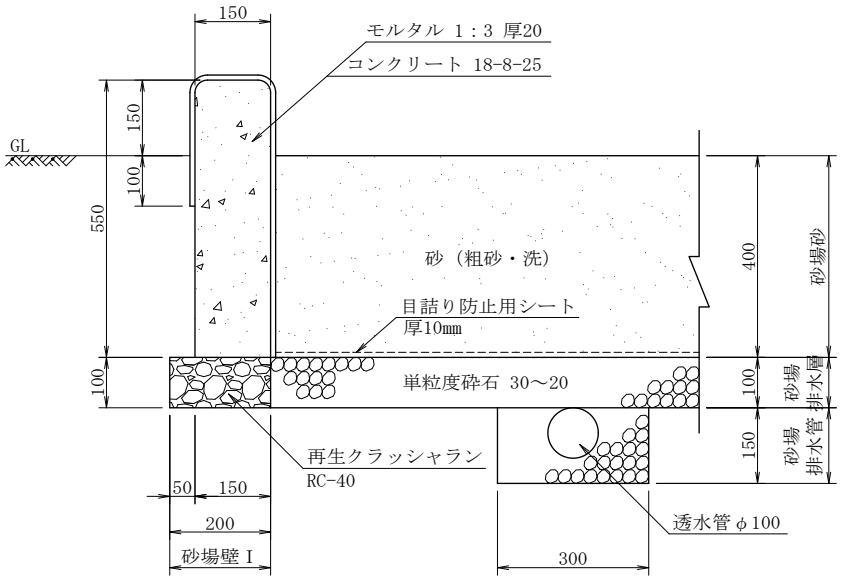
ＨＩ



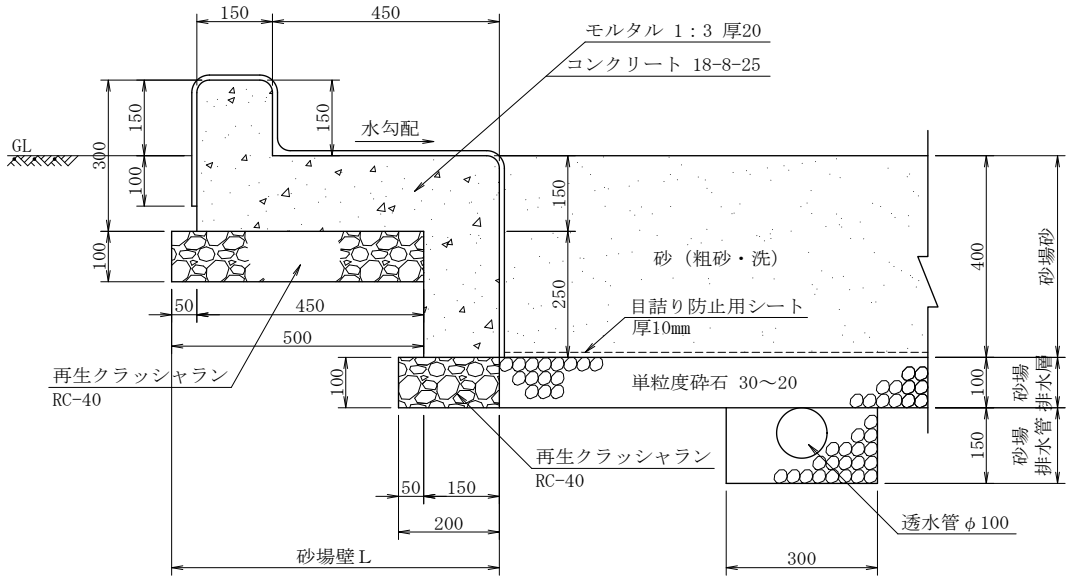
大分類	中分類	小分類	適用年度
1200 遊戯施設工	砂場工	砂場壁	R7.4

砂　場　工

砂場壁 I



砂場壁 L



砂　場　工　材　料　表

名称		材料表									摘要
		再生クラッシャラン RC-40 (m^3)	単粒度砕石 30～20 (m^3)	目詰り防止用シート 厚10mm (m^2)	コンクリート 18-8-25 (m^3)	モルタル塗 1：3 厚20 (m^2)	砂 粗砂・洗 (m^3)	透水管 ドレーンホース φ100 (m)	塗装 (m^2)	型枠 (m^2)	
砂場壁	I	0.200	——	——	0.825	9.50	——	——	9.50	11.00	10m当り
	L	0.700	——	——	1.500	14.00	——	——	14.00	11.00	10m当り
砂場砂		——	——	——	——	——	10.000	——	——	——	$10m^3$当り
砂場排水層		——	1.000	10.00	——	——	——	——	——	——	$10m^2$当り
砂場排水管		——	0.372	——	——	——	——	10.000	——	——	10m当り

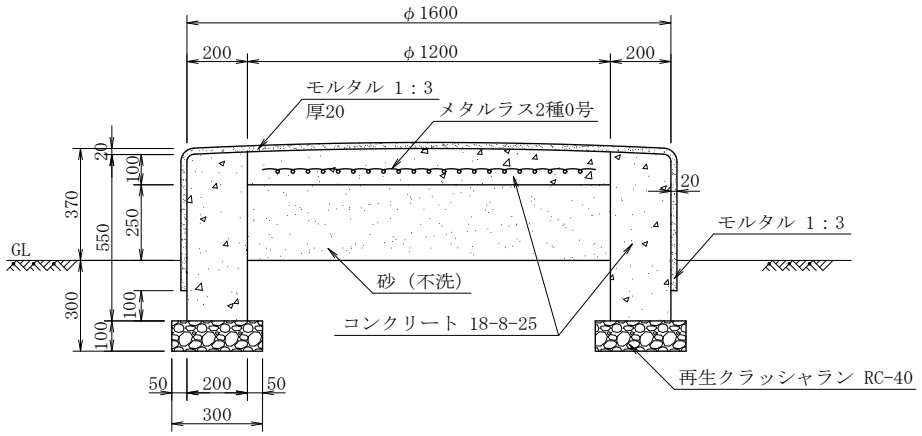
注意事項

1. コンクリート部の塗装は、アクリル系エマルジョン($0.7kg/m^2$)とし、壁の内側は全面、外側はＧＬより10cm下りまでとする。
2. コンクリート部の見え掛け角は、丸面取りとする。

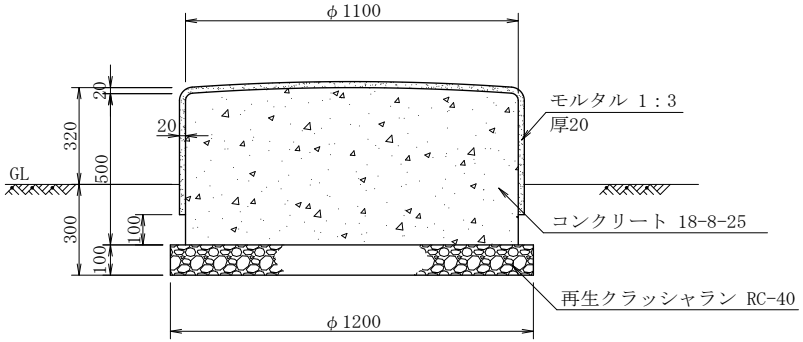
大分類	中分類	小分類	適用年度
1200 遊戯施設工	ステップ工	A、B、C、D	R7.4

ステップ工

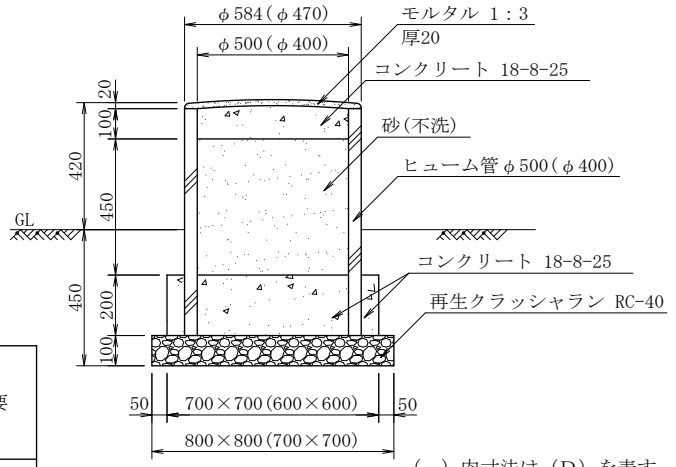
A



B



C、D



（ ）内寸法は（D）を表す。

ステップ工 材料表

名称		材料表 10基当り									摘要
		再生クラッシャラン RC-40 (m^3)	コンクリート 18-8-25 (m^3)	モルタル塗 1：3 厚20 (m^2)	砂 不洗 (m^3)	メタルラス 2種0号 (m^2)	ヒューム管 A－1 半切管 (本) φ500	ヒューム管 A－1 半切管 (本) φ400	塗装 (m^2)	型枠 (m^2)	
ステップ工	A	1.319	5.966	43.709	2.826	11.30	——	——	43.71	48.36	
	B	1.130	4.749	24.005	——	——	——	——	24.01	17.27	
	C	0.640	1.033	2.677	0.883	——	10	——	12.40	5.60	
	D	0.490	0.750	1.734	0.565	——	——	10	9.56	4.80	

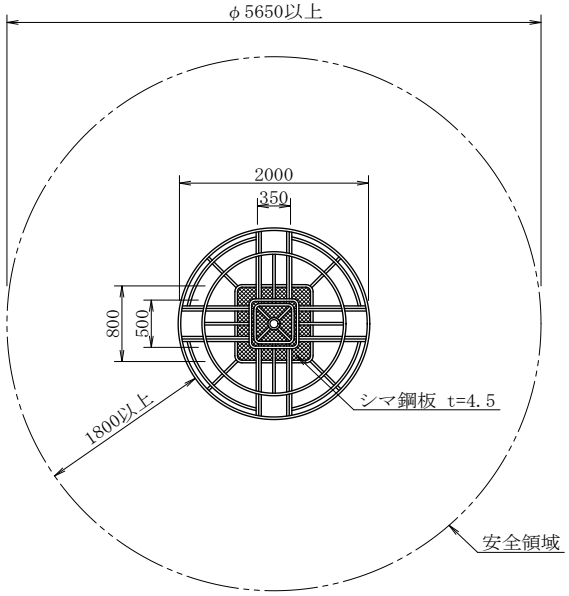
注意事項

1. コンクリート部の塗装は、アクリル系エマルジョン（0.7kg/m^2）とし、ＧＬより10cm下りまでとする。
2. 天端は水勾配をとり、金ごて仕上げとする。
3. コンクリート部の見え掛け角は、丸面取りとする。

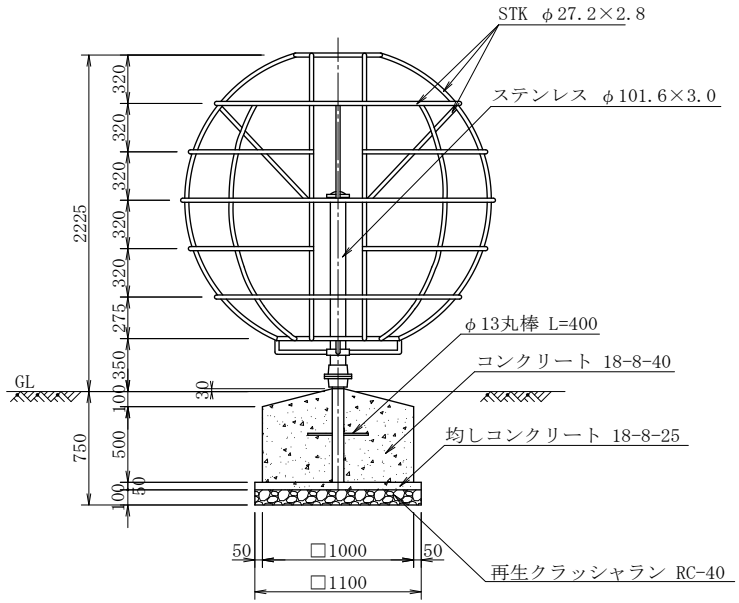
大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
1200 遊戯施設工	グローブジャングル工	グローブジャングル工	R7.4

グローブジャングル工

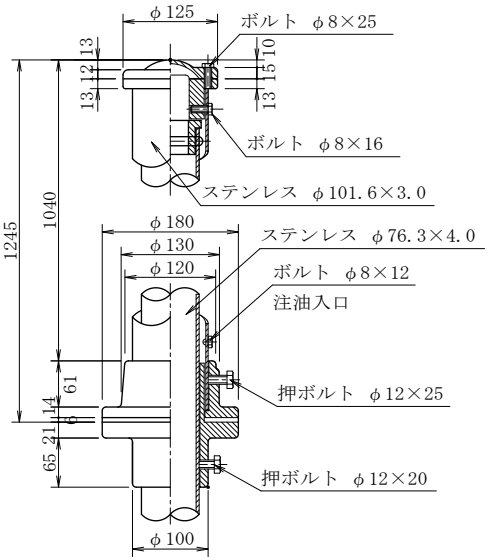
平　面　図



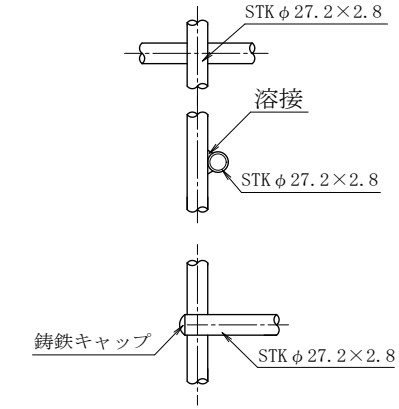
立　面　図



支柱詳細図



ツカミ部詳細図



グローブジャングル工材料表

名　称	材　料　表　1基当り							摘　要
	再　生 クラッシャラン RC-40(m³)	均しコンクリート 18-8-25 (m³)	コンクリート 18-8-40 (m³)	グローブ ジャングル (基)	塗　装 (m²)	均し型枠 (m²)	型　枠 (m²)	
グローブジャングル	0.12	0.06	0.54	1	7.7	0.22	2.0	

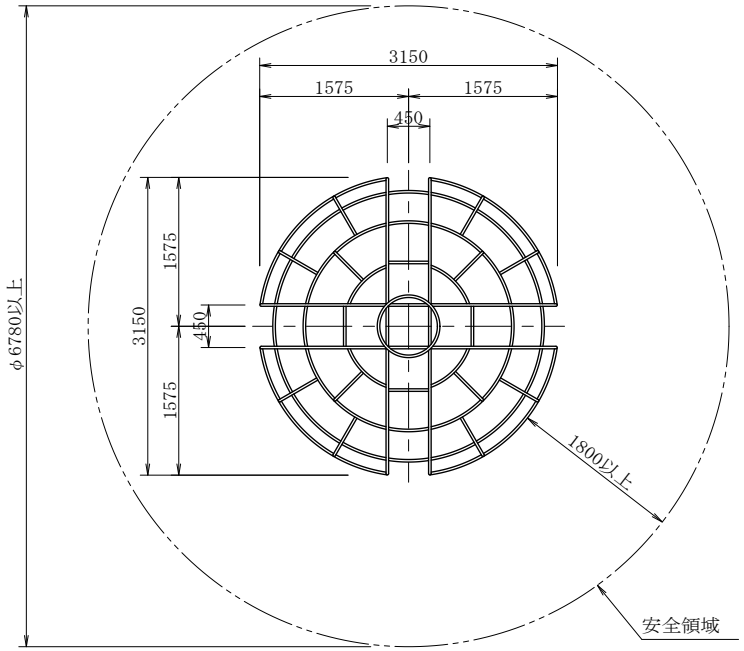
注意事項

1. 継手金具はダクタイル鋳鉄（FCD450）とする。
2. 鉄部の防食処理、電気亜鉛メッキ処理（JIS H 8610）2種4級以上とする。
3. ステンレスはSUS304とする。
4. 鉄部・亜鉛メッキ部およびステンレス部の塗装は、下塗り、中塗り、ポリウレタン樹脂塗料(指定色)各１回塗装とする。
5. 遊具の安全に関する規準 JPFA-SP-S：2024 に適合した製品とする。

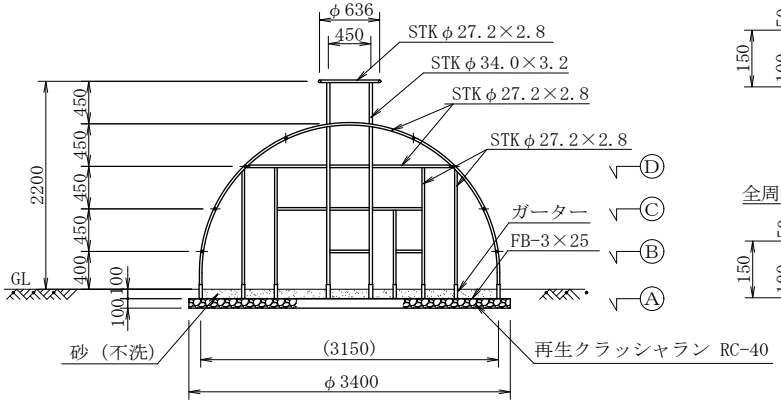
大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
1200 遊戯施設工	円形ジャングルジム工	円形ジャングルジム工	R7.4

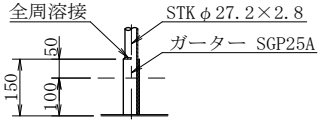
円形ジャングルジム工

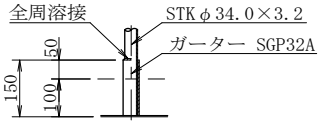
平　面　図

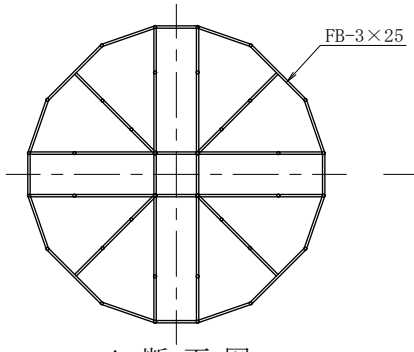


側　面　図

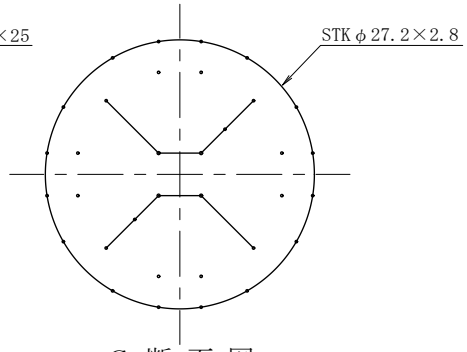




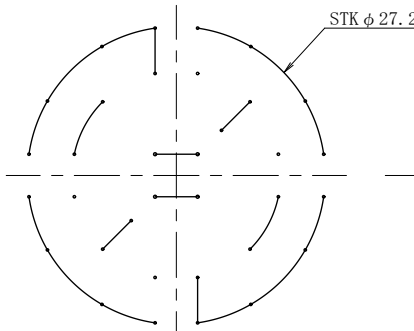




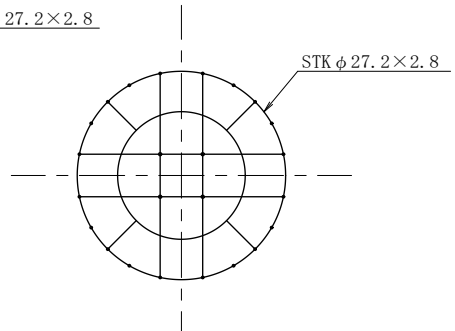
A 断 面 図



C 断 面 図



B 断 面 図



D 断 面 図

円形ジャングルジム工材料表

名　称	材　料　表			1基当り	摘　要
	再　生 クラッシャラン RC-40(m^3)	砂 不洗 (m^3)	円　形 ジャングルジム (基)	塗　装 (m^2)	
円形ジャングルジム	0.91	0.91	1	10.4	

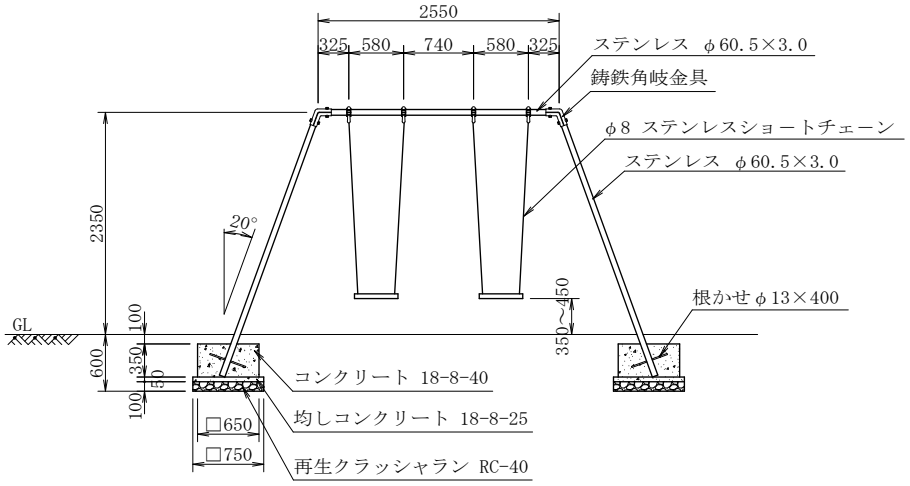
注意事項

1. 鉄部の防食処理は電気亜鉛メッキ処理（JIS H 8610）2種4級以上とする。
2. 鉄部・亜鉛メッキ部の塗装は、下塗り、中塗り、ポリウレタン樹脂塗料(指定色)
   各１回塗装とする。
3. 遊具の安全に関する規準 JPFA-SP-S：2024 に適合した製品とする。

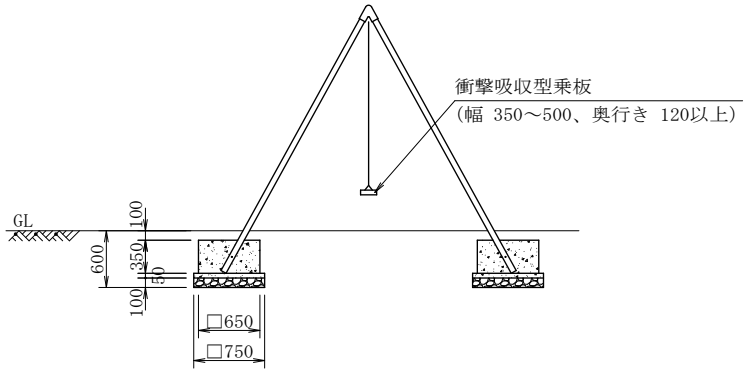
大分類	中分類	小分類	適用年度
1200 遊戯施設工	ブランコ工	二連（1/2）	R7.4

ブ ラ ン コ 工

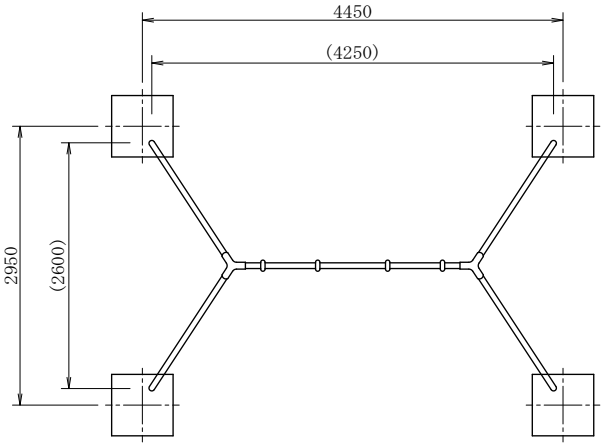
正面図



側面図



平面図



ブランコ工（二連）材料表

名称	材料表 1基当り							摘要
	再生クラッシャラン RC-40 (m^3)	均しコンクリート 18-8-25 (m^3)	コンクリート 18-8-40 (m^3)	ブランコ二連 (基)	塗装 (m^2)	均し型枠 (m^2)	型枠 (m^2)	
ブランコ（二連）	0.23	0.11	0.59	1	2.7	0.60	3.6	

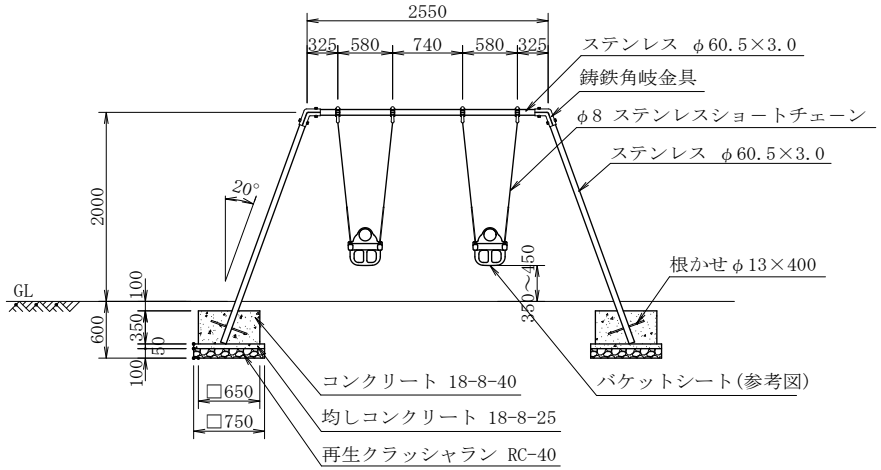
注意事項

1. 継手金具はダクタイル鋳鉄（FCD450）とする。
2. 鉄部の防食処理は、電気亜鉛メッキ処理（JIS H 8610）2種4級以上とする。
3. ステンレスはSUS304とする。
4. 鉄部・亜鉛メッキ部およびステンレス部の塗装は、下塗り、中塗り、ポリウレタン樹脂塗料(指定色)各1回塗装とする。
5. 衝撃吸収乗板は、平板型で、芯材がシリコンゴムで被覆されているものとし、監督員の承認後、設置すること。
6. 遊具の安全に関する規準 JPFA-SP-S：2024 に適合した製品とする。

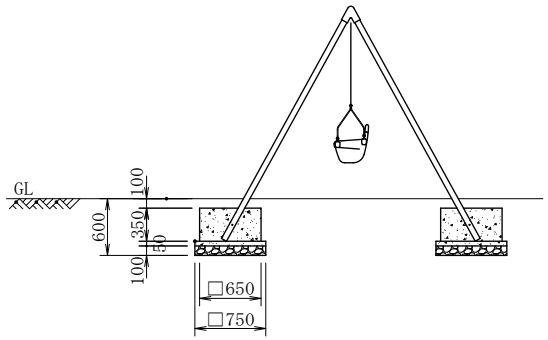
大分類	中分類	小分類	適用年度
1200 遊戯施設工	ブランコ工	幼児用（1/2）	R7.4

ブ ラ ン コ 工

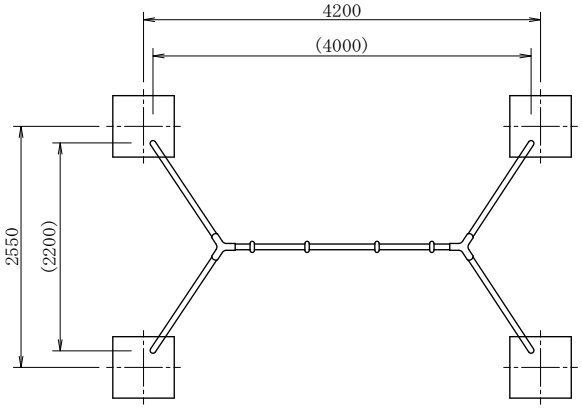
正面図



側面図



平面図



ブランコ工（幼児用）材料表

名称	材料表 1基当り							摘要
	再生クラッシャラン RC-40 (m^3)	均しコンクリート 18-8-25 (m^3)	コンクリート 18-8-40 (m^3)	ブランコ 幼児用 (基)	塗装 (m^2)	均し型枠 (m^2)	型枠 (m^2)	
ブランコ (幼児用)	0.23	0.11	0.59	1	2.4	0.60	3.6	

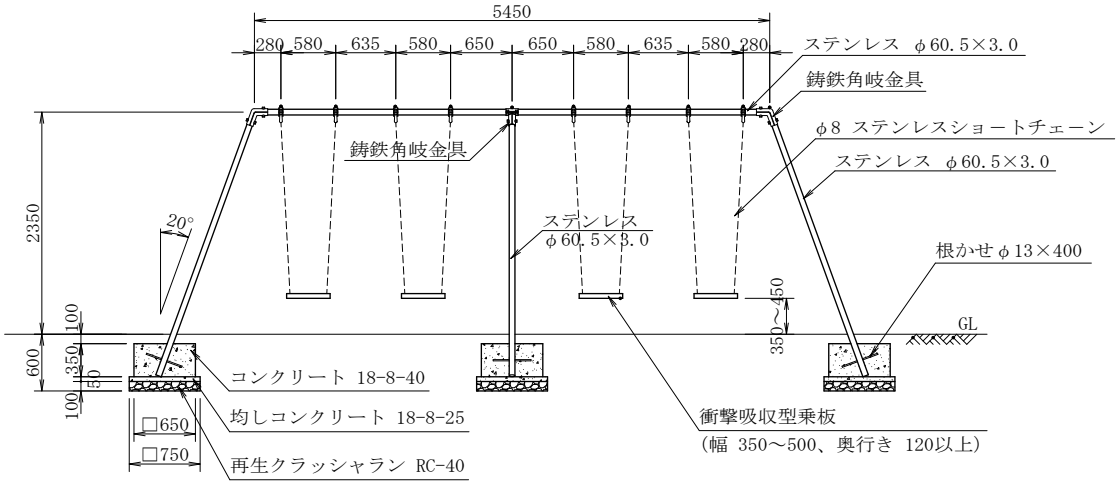
注意事項

1. 継手金具はダクタイル鋳鉄（FCD450）とする。
2. 鉄部の防食処理は、電気亜鉛メッキ処理（JIS H 8610）2種4級以上とする。
3. ステンレスはSUS304とする。
4. 鉄部・亜鉛メッキ部およびステンレス部の塗装は、下塗り、中塗り、ポリウレタン樹脂塗料(指定色) 各1回塗装とする。
5. バケットシートは、前方T型固定タイプとし、監督員の承認後、設置すること。
6. 遊具の安全に関する規準 JPFA-SP-S：2024 に適合した製品とする。

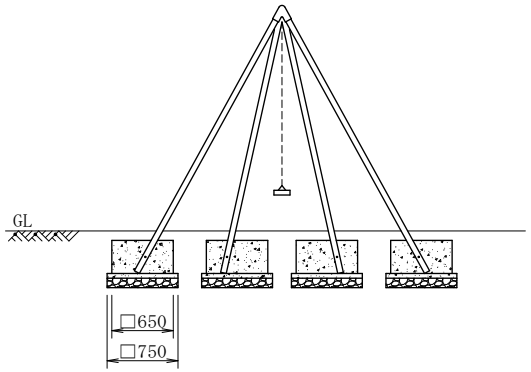
大分類	中分類	小分類	適用年度
1200 遊戯施設工	ブランコ工	四連（1/2）	R7.4

ブ ラ ン コ 工

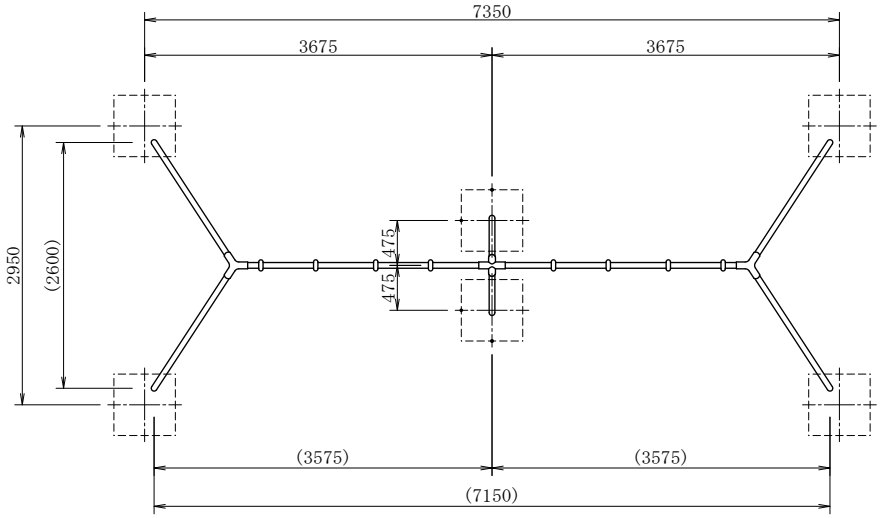
正面図



側面図



平面図



ブランコ工（四連）材料表

名称	材料表 1基当り							摘要
	再生 クラッシャラン RC-40 (m^3)	均しコンクリート 18-8-25 (m^3)	コンクリート 18-8-40 (m^3)	ブランコ 四連 (基)	塗装 (m^2)	均し型枠 (m^2)	型枠 (m^2)	
ブランコ（四連）	0.34	0.17	0.89	1	4.2	0.90	5.5	

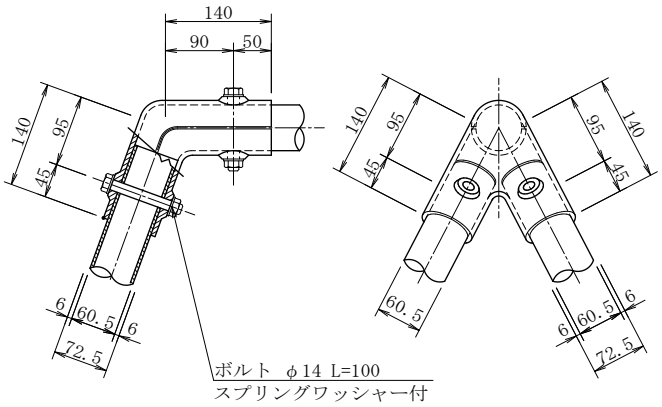
注意事項

1. 継手金具はダクタイル鋳鉄（FCD450）とする。
2. 鉄部の防食処理は、電気亜鉛メッキ処理（JIS H 8610）2種4級以上とする。
3. ステンレスはSUS304とする。
4. 鉄部・亜鉛メッキ部およびステンレス部の塗装は、下塗り、中塗り、ポリウレタン樹脂塗料(指定色)
   各1回塗装とする。
5. 衝撃吸収乗板は、平板型で、芯材がシリコンゴムで被覆されているものとし、監督員の承認後、設置すること。
6. 遊具の安全に関する規準 JPFA-SP-S：2024 に適合した製品とする。

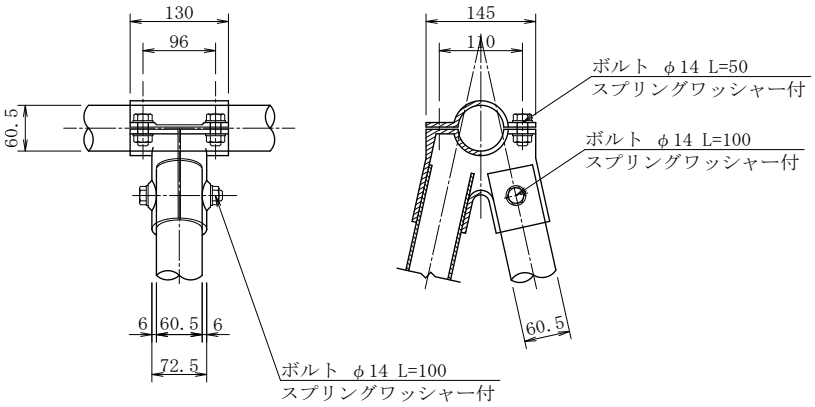
大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
1200 遊戯施設工	ブランコ工	二連、幼児用、四連 （2／2）	R7.4

ブ　ラ　ン　コ　工

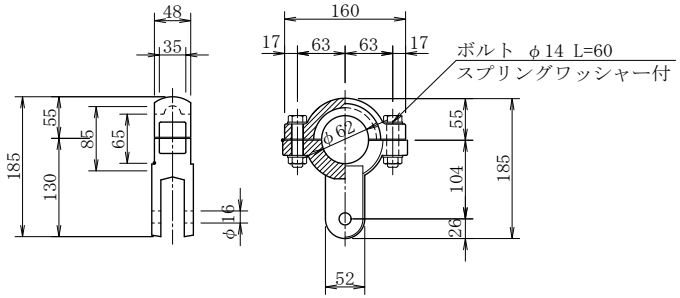
鋳鉄角岐金具詳細図



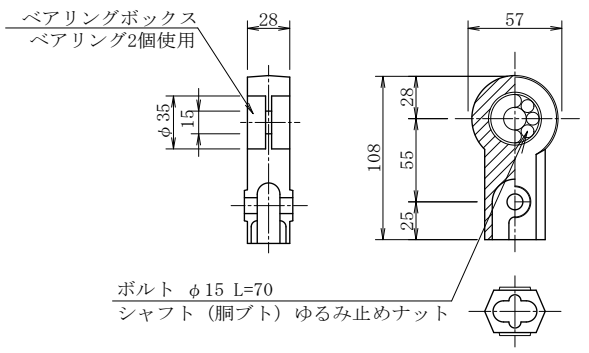
鋳鉄角岐金具詳細図



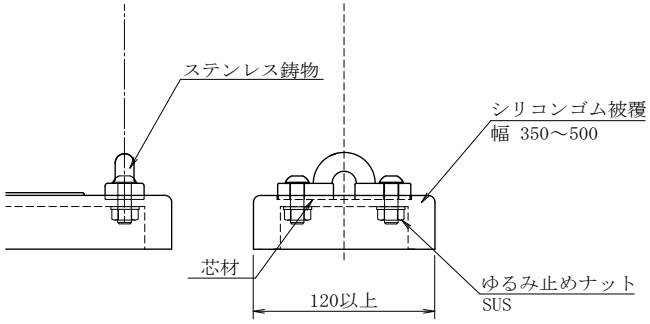
鋳鉄回転軸詳細図



吊金具詳細図



乗板参考図

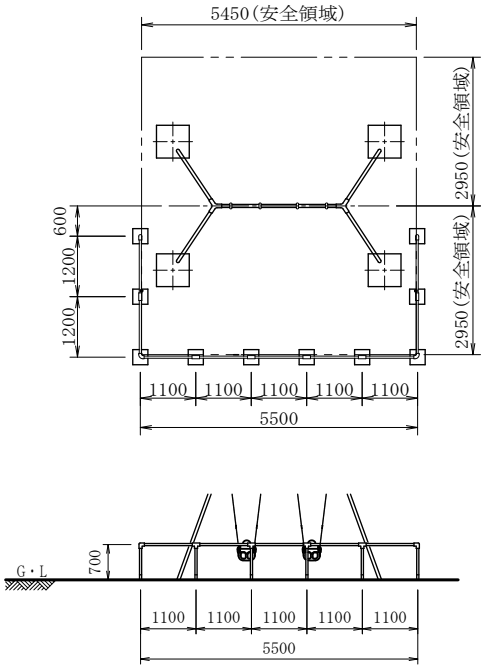


大分類	中分類	小分類	適用年度
1200 遊戯施設工	境界柵工	角型	R7.4

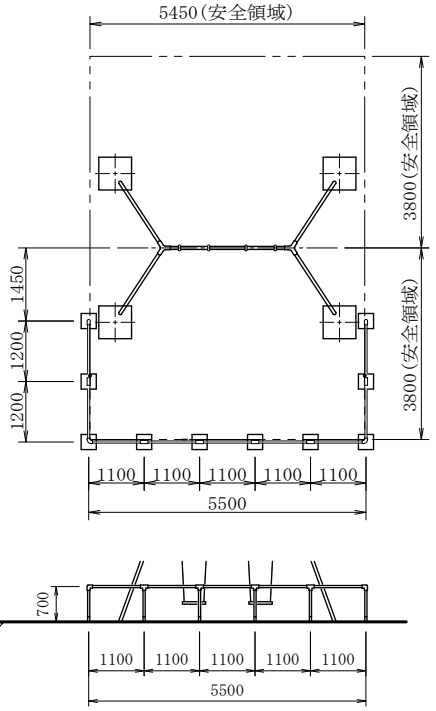
境界柵工（角型）

角型・設置例

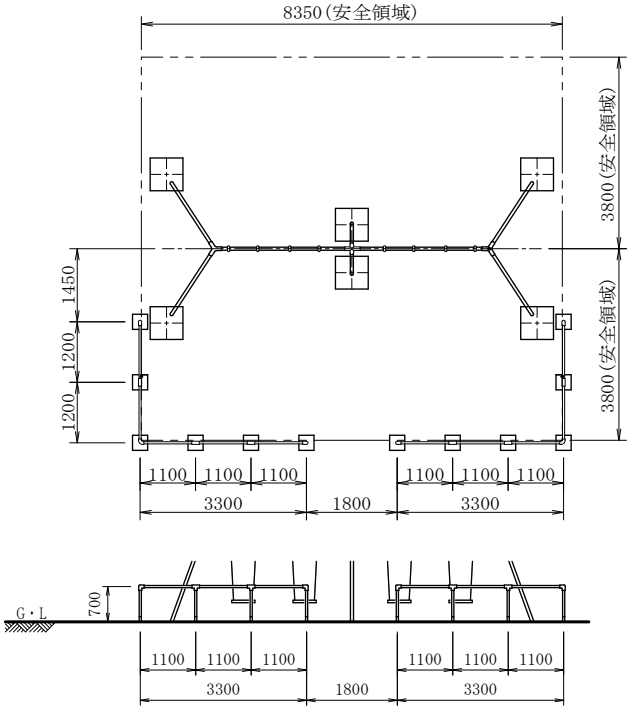
二連ブランコ(幼児用)
二連用(角型)



二連ブランコ(児童用)
二連用(角型)



四連ブランコ(児童用)
四連用(角型)



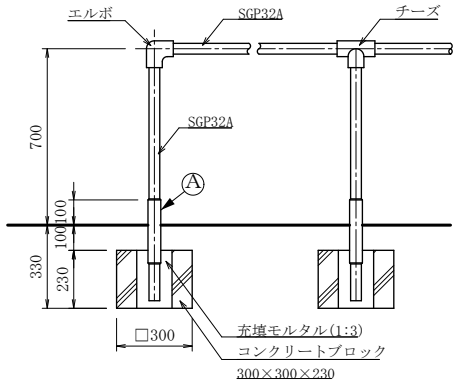
境界柵工（角型）材料表

名称		材料表 コンクリートブロック 300×300×230 (個)	モルタル 1:3 (m^3)	境界柵 角型、片面、地際補強 四連用(組)	境界柵 角型、片面、地際補強 二連用(組)	1か所当り 塗装 (m^2)	摘要
境界柵	四連用(角型)	12	0.017	1	——	2.8	
	二連用(角型)	10	0.014	——	1	2.4	

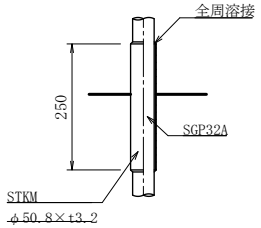
注意事項

1. 継手金具はダクタイル鋳鉄（FCD450）とする。
2. 鉄部の防食処理は、電気亜鉛メッキ処理（JIS H 8610）2種4級以上とする。
3. 鉄部・亜鉛メッキ部の塗装は、下塗り、中塗り、ポリウレタン樹脂塗料(指定色)
   各1回塗装とする。
4. 遊具の安全に関する規準 JPFA-SP-S：2024 に適合した製品とする。
5. コンクリートブロックは、JIS A 5371付属書Bによる。

角型・標準詳細図



Ⓐ 地際補強参考図

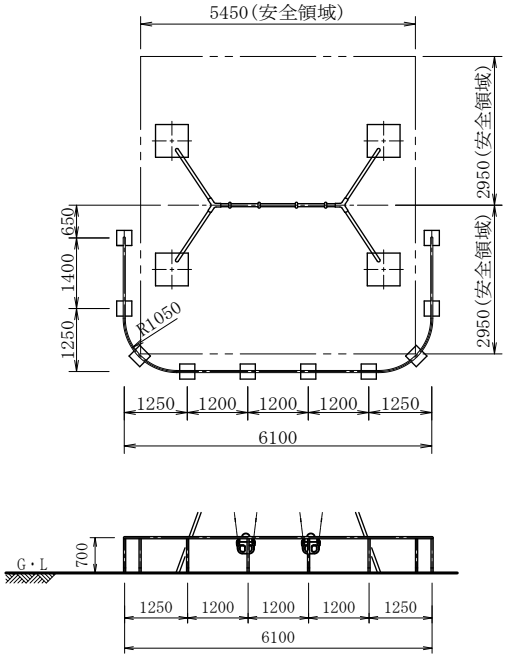


大分類	中分類	小分類	適用年度
1200 遊戯施設工	境界柵工	R型	R7.4

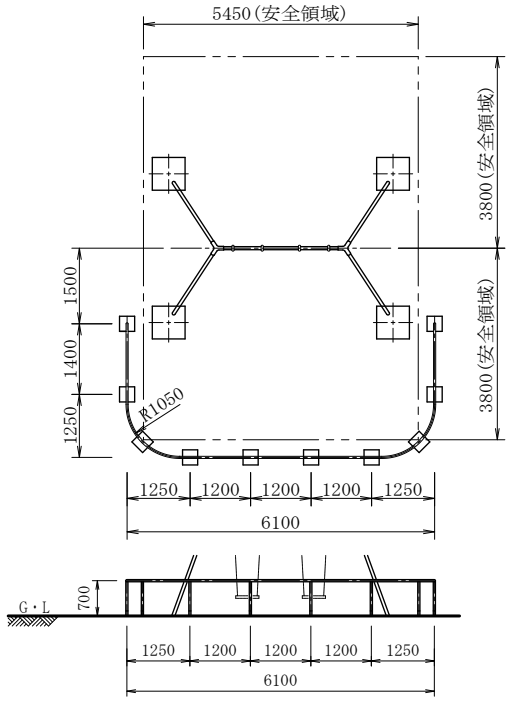
境界柵工（R型）

R型・設置例

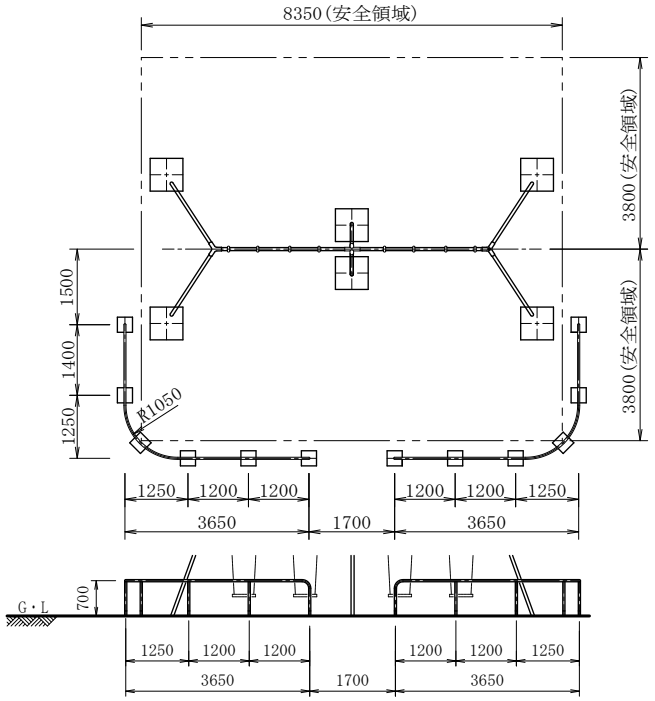
二連ブランコ(幼児用)
二連用(R型)



二連ブランコ(児童用)
二連用(R型)



四連ブランコ(児童用)
四連用(R型)



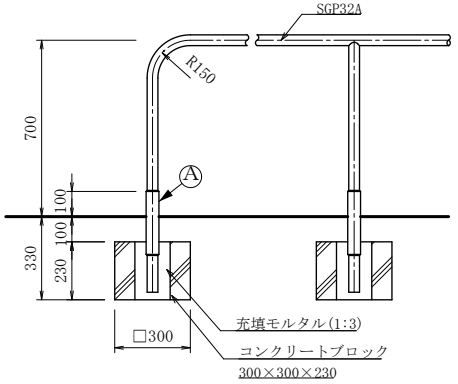
境界柵工（R型）材料表

名称		材料表 コンクリートブロック 300×300×230 (個)	モルタル 1:3 (m^3)	境界柵 R型、片面、地際補強 四連用(組)	境界柵 R型、片面、地際補強 二連用(組)	1か所当り 塗装 (m^2)	摘要
境界柵	四連用(R型)	12	0.017	1	——	2.9	
	二連用(R型)	10	0.014	——	1	2.6	

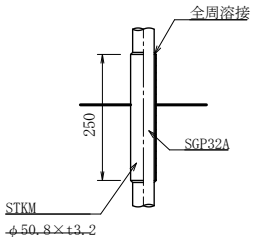
注意事項

1. 鉄部の防食処理は、電気亜鉛メッキ処理（JIS H 8610）2種4級以上とする。
2. 鉄部・亜鉛メッキ部の塗装は、下塗り、中塗り、ポリウレタン樹脂塗料(指定色)各1回塗装とする。
3. 遊具の安全に関する規準 JPFA-SP-S：2024 に適合した製品とする。
4. コンクリートブロックは、JIS A 5371付属書Bによる。

R型・標準詳細図

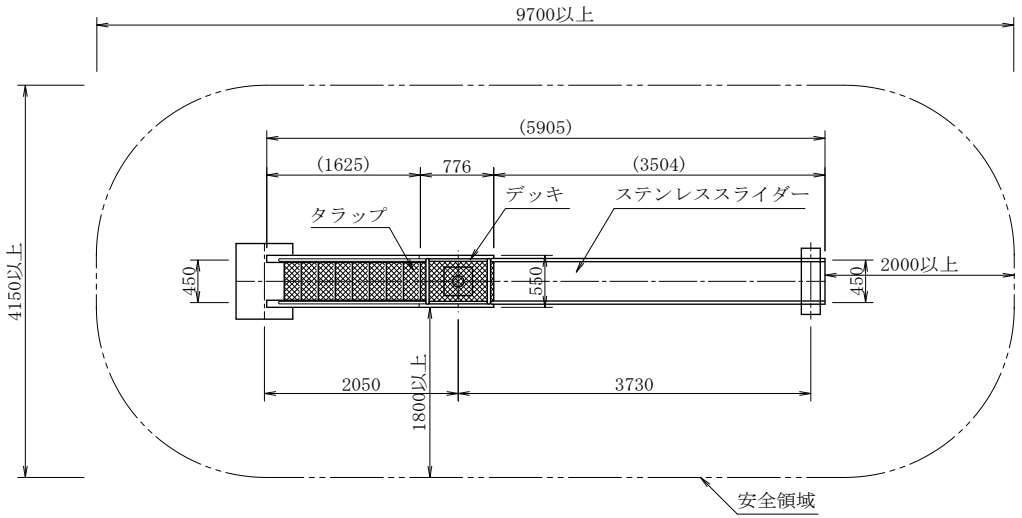


Ⓐ 地際補強参考図



大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
1200 遊戯施設工	すべり台工	すべり台工 （1／2）	R7.4

すべり台工

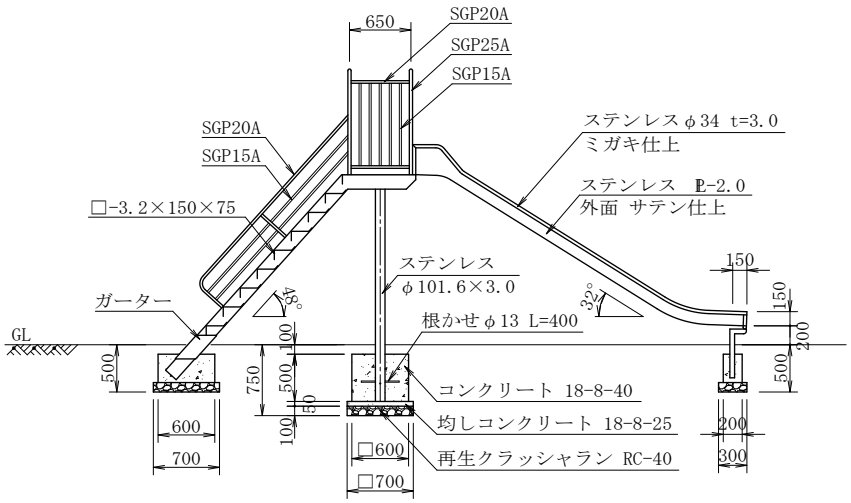


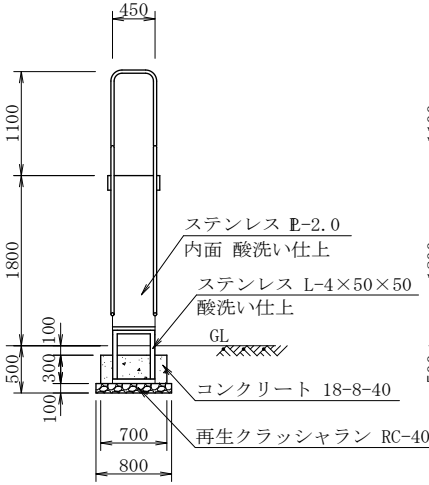
すべり台工材料表

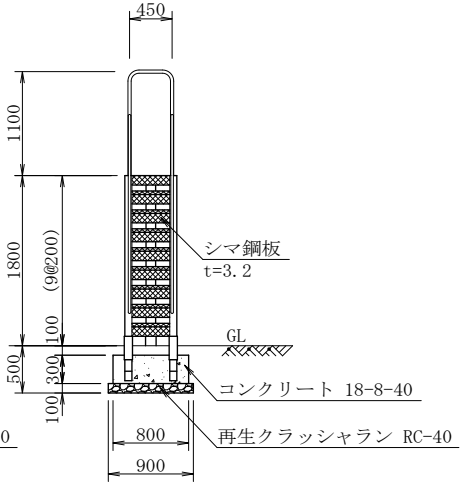
名　称	材料表 1基当り							摘　要
	再生クラッシャラン RC-40 (m^3)	均しｺﾝｸﾘｰﾄ 18-8-25 (m^3)	ｺﾝｸﾘｰﾄ 18-8-40 (m^3)	すべり台 (基)	塗　装 (m^2)	均し型枠 (m^2)	型　枠 (m^2)	
すべり台	0.14	0.02	0.37	1	9.3	0.14	2.6	

注意事項

1. 継手金具はダクタイル鋳鉄（FCD450）とする。
2. 鉄部の防食処理は、電気亜鉛メッキ処理（JIS H 8610）2種4級以上とする。
3. ステンレスはSUS304とする。
4. 鉄部・亜鉛メッキ部およびステンレス部（滑走部を除く）の塗装は、
   下塗り、中塗り、ポリウレタン樹脂塗料(指定色)各1回塗装とする。
5. 遊具の安全に関する規準 JPFA-SP-S：2024 に適合した製品とする。

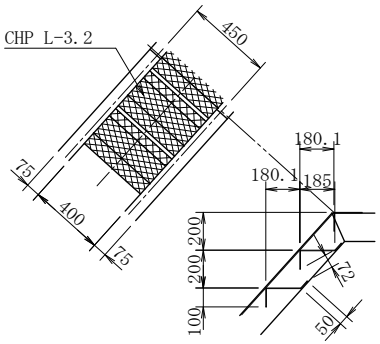




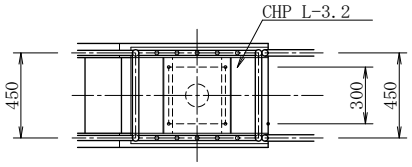


大分類	中分類	小分類	適用年度
1200 遊戯施設工	すべり台工	すべり台工 （2／2）	R7.4

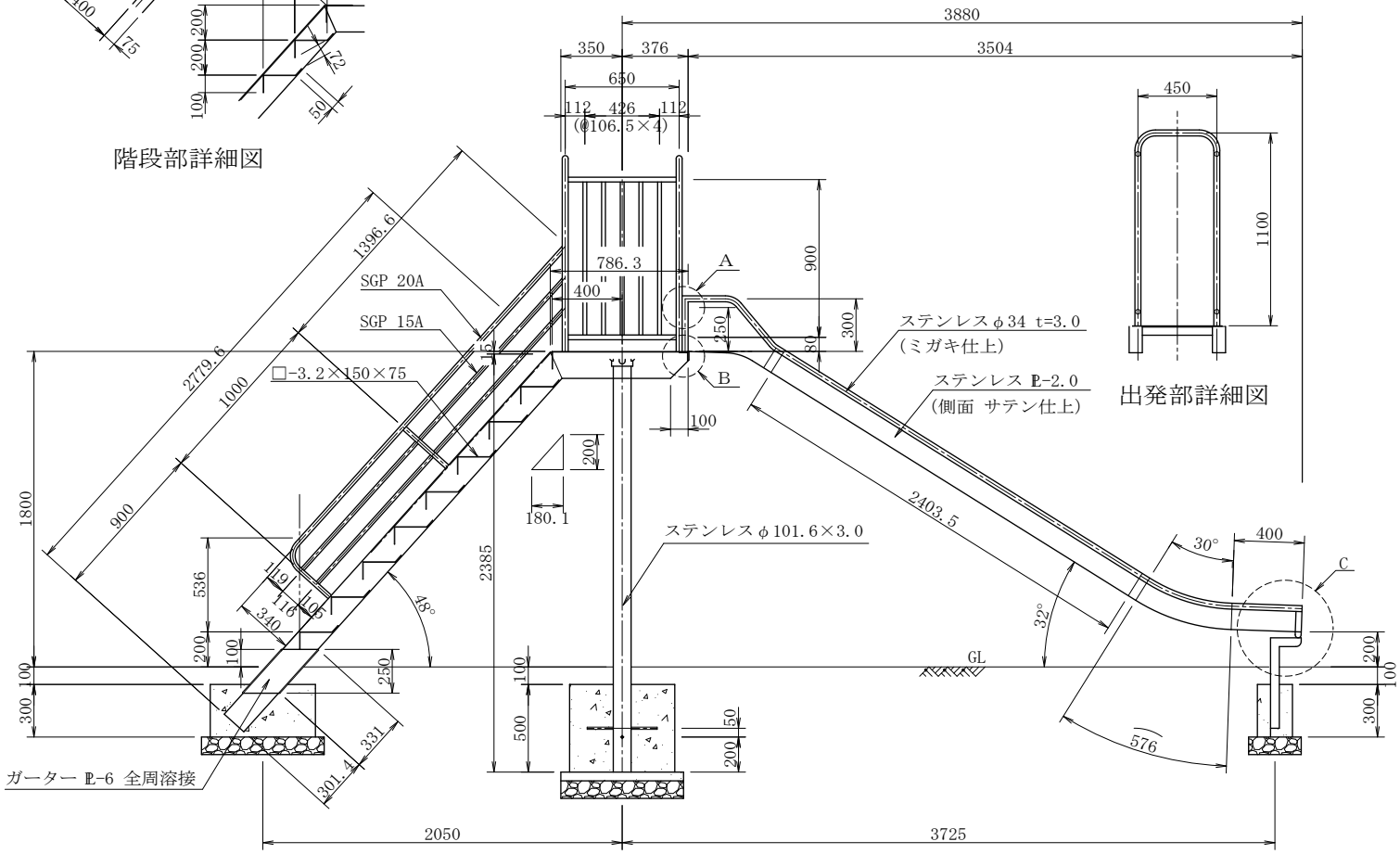
すべり台工



階段部詳細図

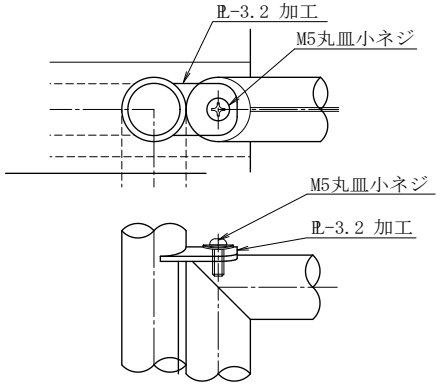


デッキ部平面図

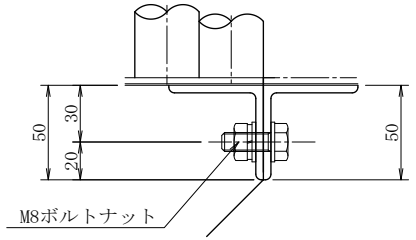


立面詳細図

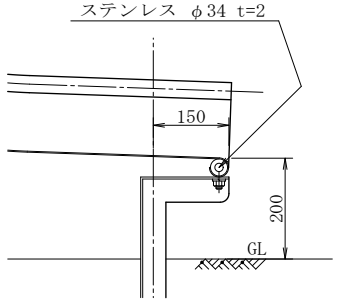
出発部詳細図



A部取付詳細図



B部取付詳細図

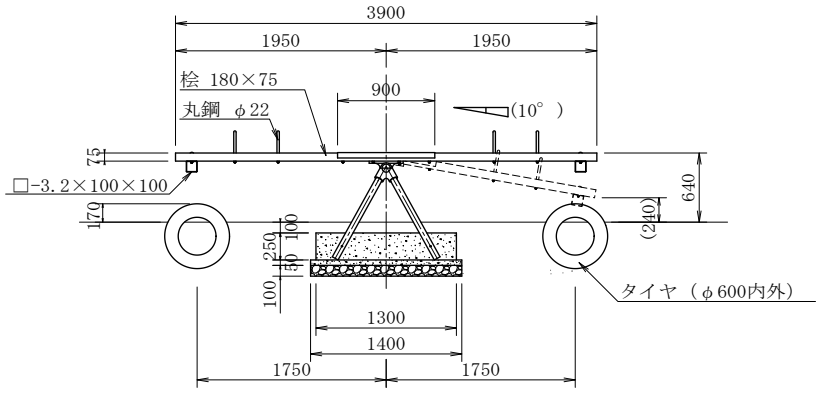


C部取付詳細図

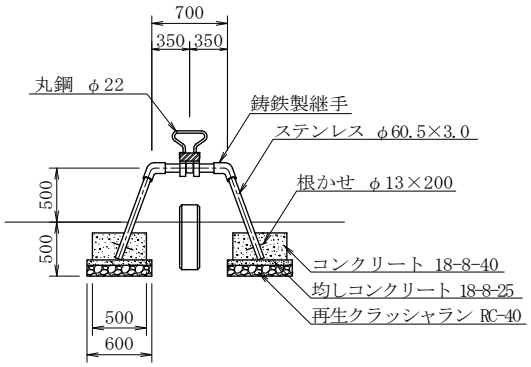
大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
1200 遊戯施設工	シーソー工	シーソー工 (1／2)	R7.4

シ　ー　ソ　ー　工

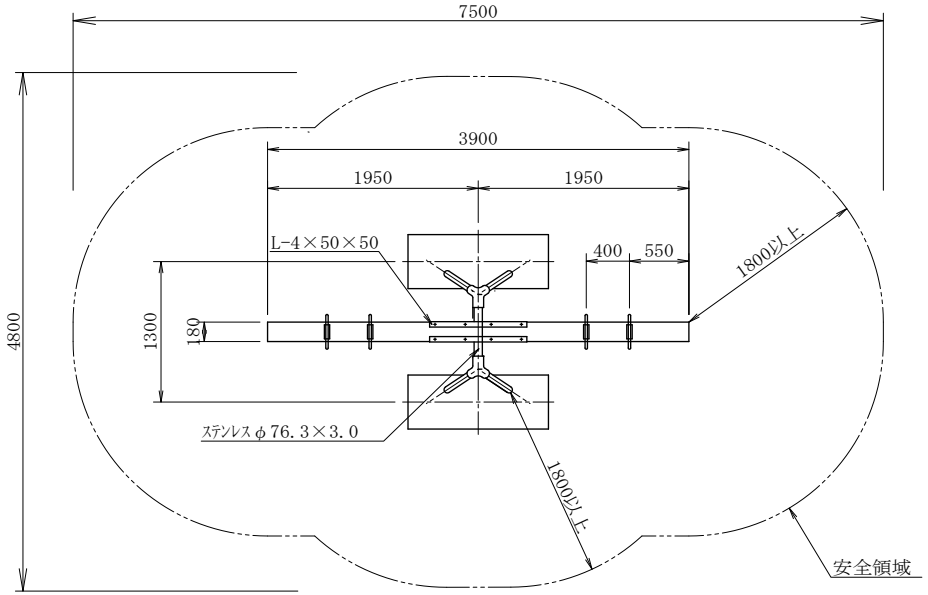
正　面　図



側　面　図



平　面　図



シーソー工材料表

名　称	材　料　表　10基当り								摘　要
	再生クラッシャラン RC-40 (m^3)	均しｺﾝｸﾘｰﾄ 18-8-25 (m^3)	コンクリート 18-8-40 (m^3)	シーソー (基)	塗装 (m^2) 木部	塗装 (m^2) 鉄部・亜鉛メッキ部、ステンレス部	均し型枠 (m^2)	型枠 (m^2)	
シーソー	1.7	0.84	3.30	10	19.8	15.2	4.0	18.0	

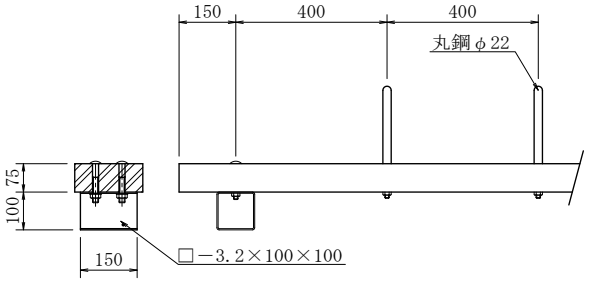
※ シーソー（基）には、タイヤ２個／基を含む。
※ タイヤの大きさ、強度については監督員の承認を得ること。

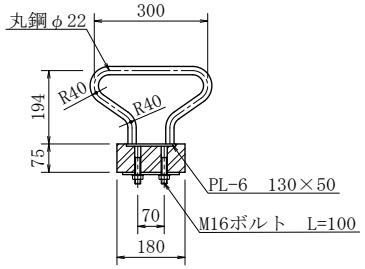
注意事項

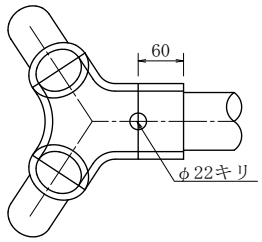
1. 継手金具は、ダクタイル鋳鉄（FCD 450）とする。
2. 鉄部の防食処理は、電気亜鉛メッキ処理（JIS H 8610）2種4級以上とする。
3. ステンレスはSUS304とする。
4. 鉄部・亜鉛メッキ部およびステンレス部の塗装は、下塗り、中塗り、ポリウレタン樹脂塗料(指定色)各１回塗装とする。
5. 木部は、桧（1等）とし、防腐剤加圧注入とする。
6. 木部の塗装は、下塗り(木部用)、中塗り、ポリウレタン塗料(指定色)各１回塗装とする。
7. 設置する上で、安全領域を確保する事とする。
8. 遊具の安全に関する規準 JPFA-SP-S：2024 に適合した製品とする。

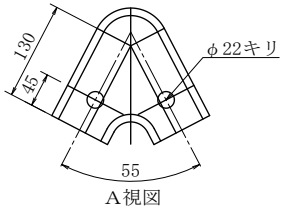
大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
1200 遊戯施設工	シーソー工	シーソー工 (2／2)	R7.4

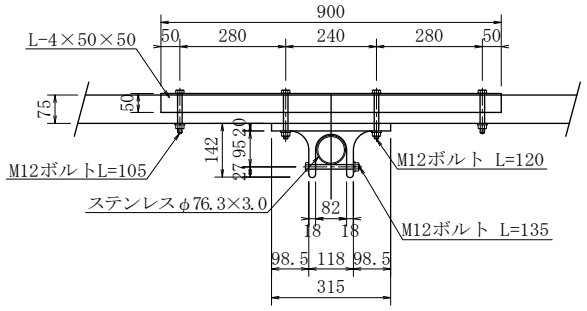
シ　ー　ソ　ー　工

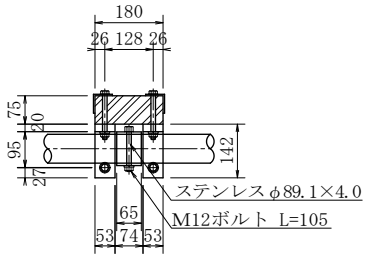




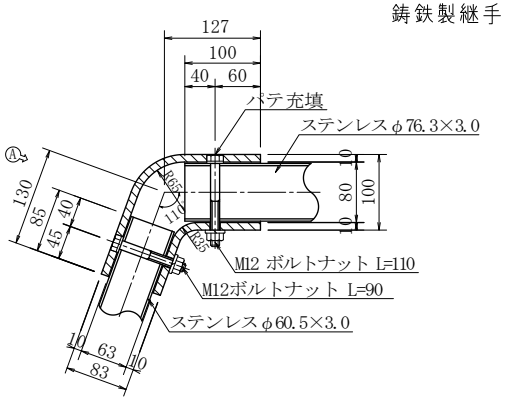


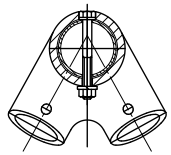






鋳鉄製継手詳細図

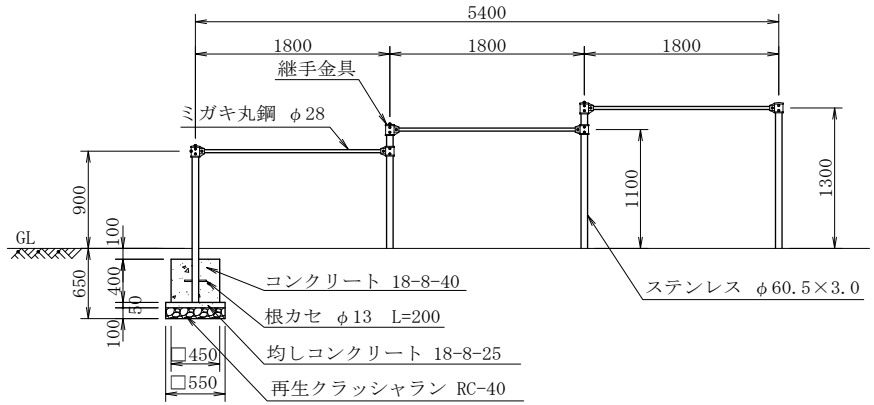




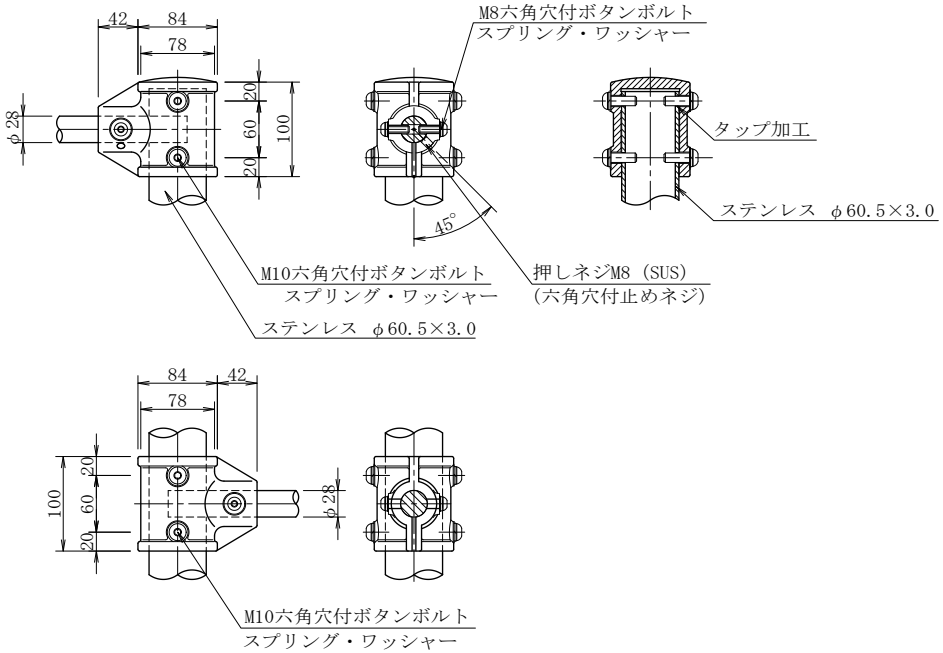
大分類	中分類	小分類	適用年度
1200 遊戯施設工	鉄棒工	低鉄棒	R7.4

鉄棒工

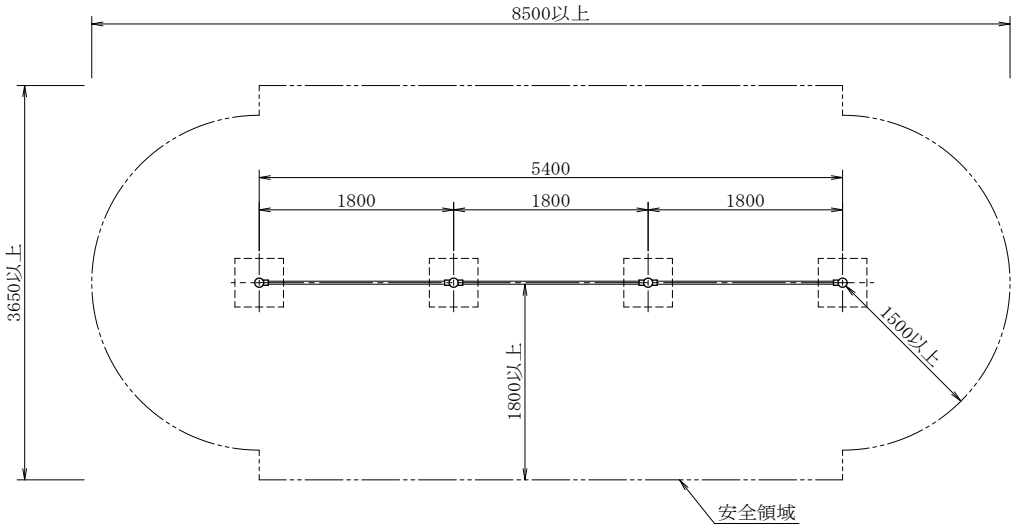
正面図



継手金具詳細図



平面図



低鉄棒工材料表

名称	材料表 1基当り							摘要
	再生クラッシャラン RC-40 (m^3)	均しコンクリート 18-8-25 (m^3)	コンクリート 18-8-40 (m^3)	低鉄棒 (基)	塗装 (m^2)	均し型枠 (m^2)	型枠 (m^2)	
低鉄棒	0.12	0.06	0.32	1	0.95	0.44	2.9	

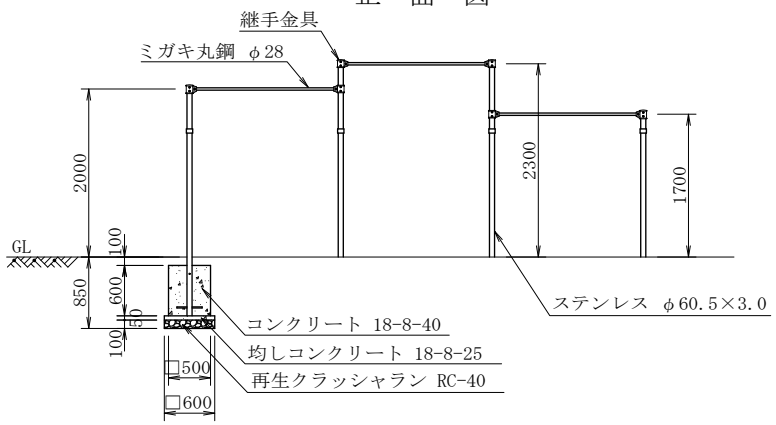
注意事項

1. 継手金具はダクタイル鋳鉄（FCD450）とする。
2. 鉄部（ミガキ丸鋼）の防食処理は、電気亜鉛メッキ処理（JIS H 8610）2種4級以上とする。
3. ステンレスはSUS304とする。
4. 鉄部・亜鉛メッキ部（ミガキ丸鋼を除く）およびステンレス部の塗装は、下塗り、中塗り、ポリウレタン樹脂塗料(指定色)各1回塗装とする。
5. 遊具の安全に関する規準 JPFA-SP-S：2024 に適合した製品とする。

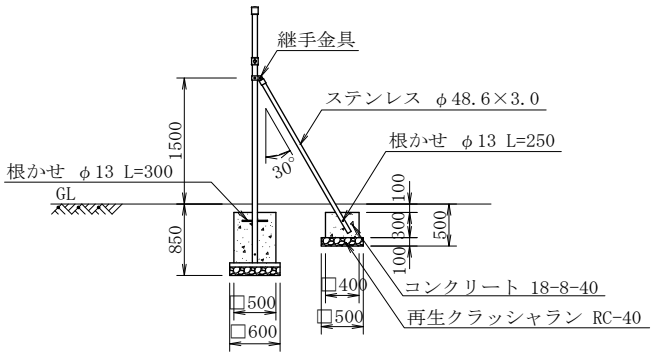
大分類	中分類	小分類	適用年度
1200 遊戯施設工	鉄棒工	高鉄棒	R7.4

鉄　棒　工

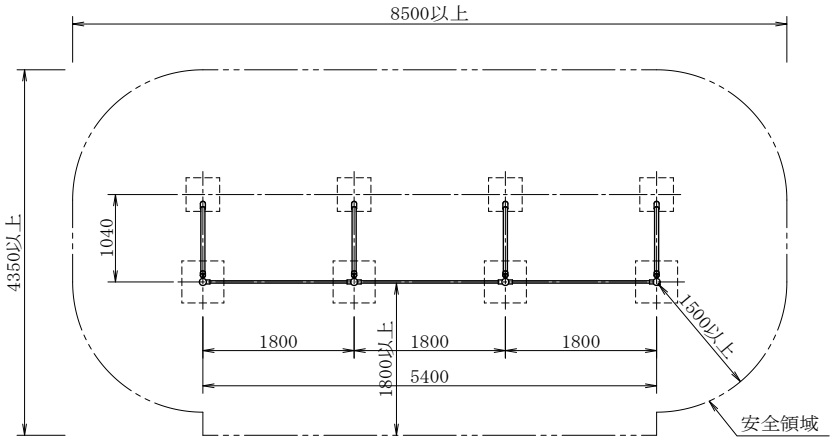
正面図



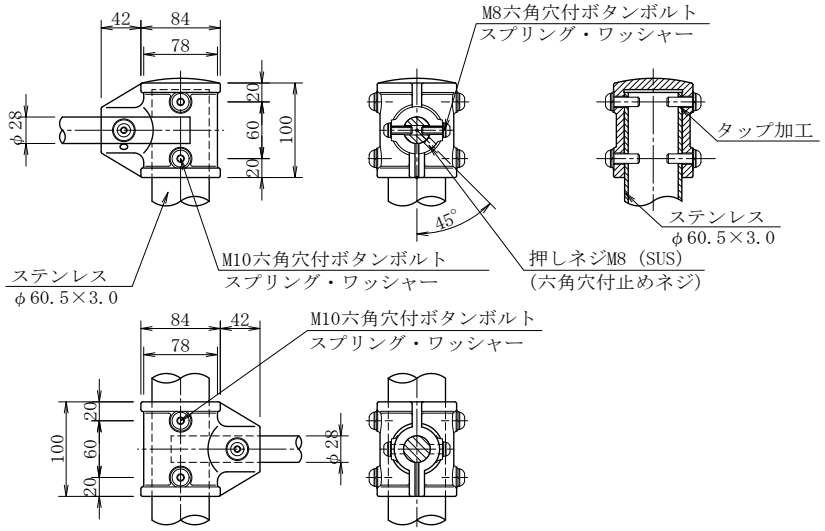
側面図



平面図



継手金具詳細図



高鉄棒工材料表

名称	材料表 1基当り							摘要
	再生クラッシャラン RC-40 (m^3)	均しコンクリート 18-8-25 (m^3)	コンクリート 18-8-40 (m^3)	高鉄棒 (基)	塗装 (m^2)	均し型枠 (m^2)	型枠 (m^2)	
高鉄棒	0.24	0.07	0.79	1	2.7	0.48	6.7	

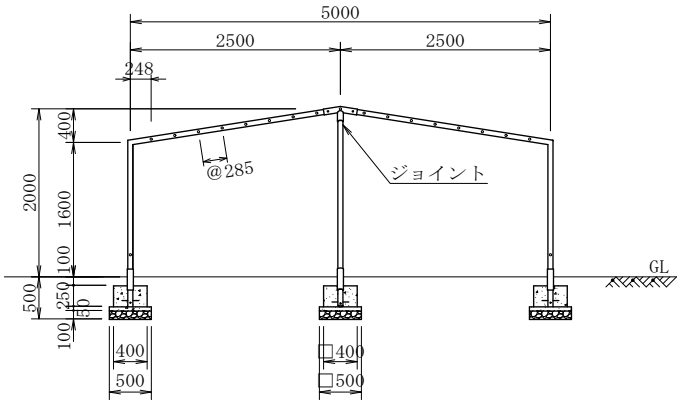
注意事項

1. 継手金具はダクタイル鋳鉄（FCD450）とする。
2. 鉄部（ミガキ丸鋼）の防食処理は、電気亜鉛メッキ処理（JIS H 8610）2種4級以上とする。
3. ステンレスはSUS304とする。
4. 鉄部・亜鉛メッキ部（ミガキ丸鋼を除く）およびステンレス部の塗装は、下塗り、中塗り、ポリウレタン樹脂塗料(指定色)各１回塗装とする。
5. 遊具の安全に関する規準 JPFA-SP-S：2024 に適合した製品とする。

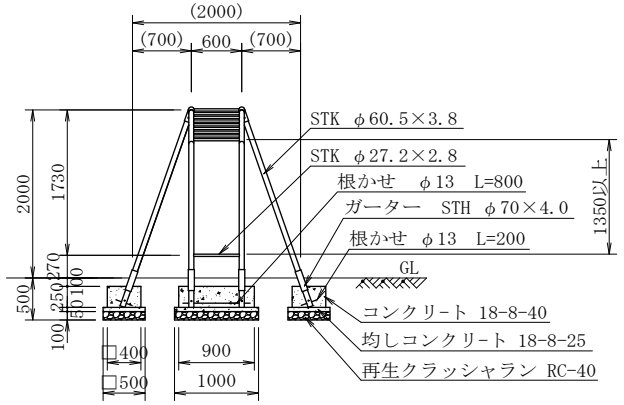
大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
1200 遊戯施設工	うんてい工	うんてい工	R7.4

う　ん　て　い　工

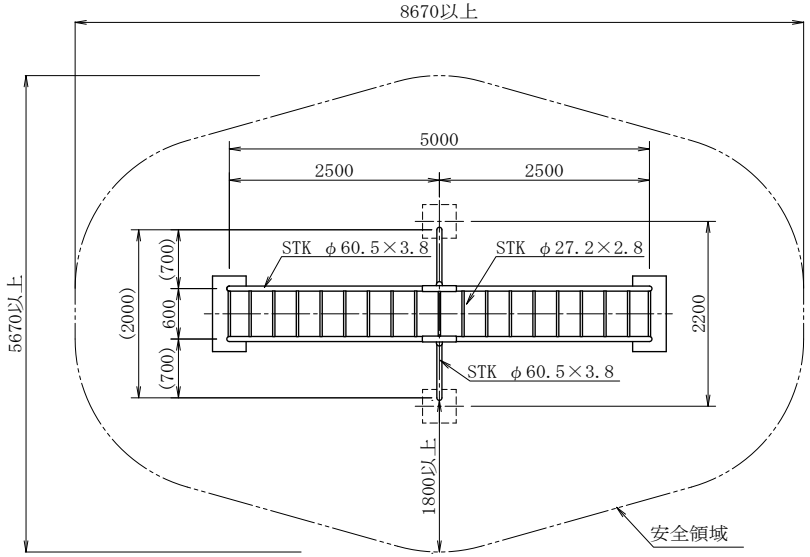
正　面　図



側　面　図



平　面　図



うんてい工材料表

名　称	材　料　表　1基当り							摘　要
	再生クラッシャラン RC-40 (m^3)	均しｺﾝｸﾘｰﾄ 18-8-25 (m^3)	コンクリート 18-8-40 (m^3)	うんてい (基)	塗　装 (m^2)	均し型枠 (m^2)	型　枠 (m^2)	
うんてい	0.15	0.08	0.26	1	5.0	0.50	2.1	

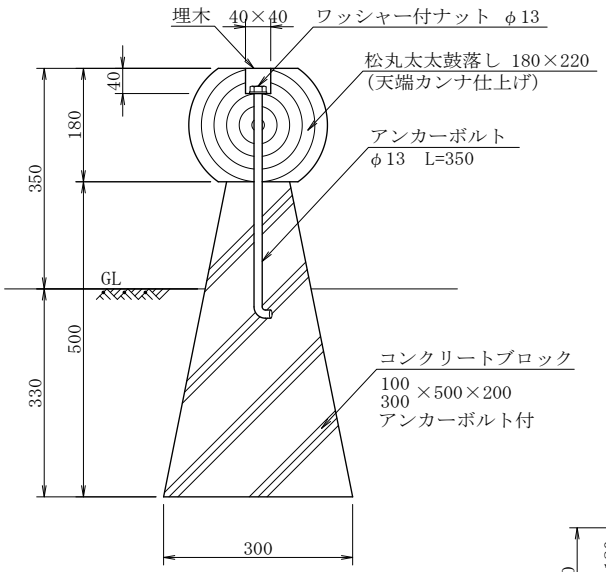
注意事項

1. 鉄部の防食処理は、電気亜鉛メッキ処理（JIS H 8610）2種4級以上とする。
2. 鉄部・亜鉛メッキ部の塗装は、下塗り、中塗り、ポリウレタン樹脂塗料(指定色)各１回塗装とする。
3. 遊具の安全に関する規準 JPFA-SP-S：2024 に適合した製品とする。

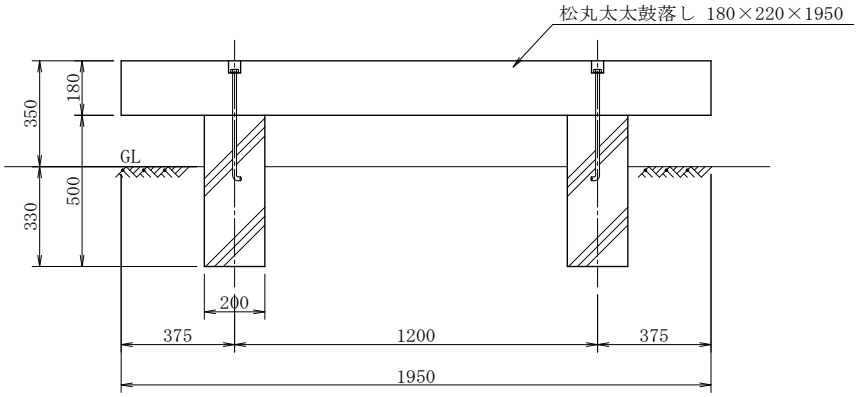
大分類	中分類	小分類	適用年度
1200 遊戯施設工	円木工	円木工	R7.4

円木工

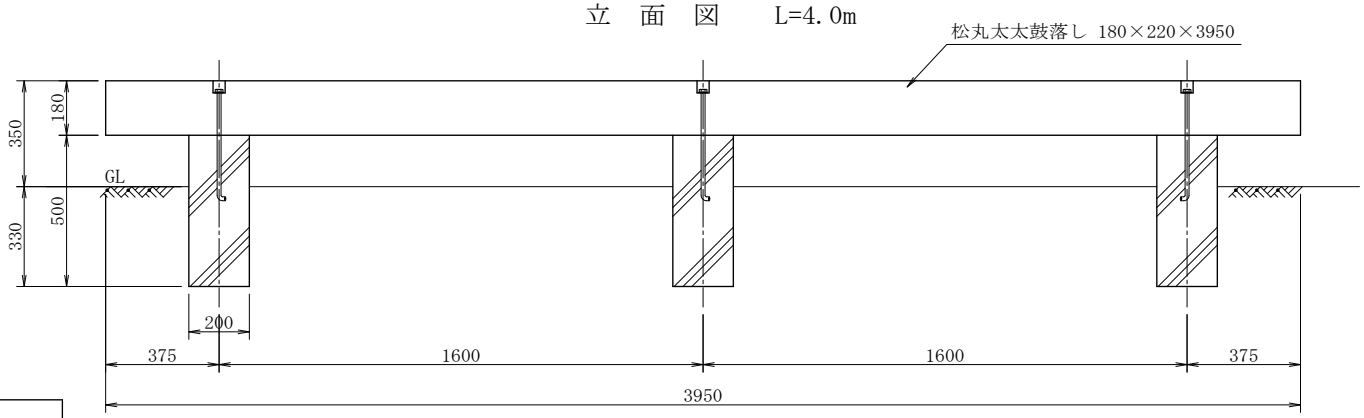
断面図



立面図 L=2.0m



立面図 L=4.0m



円木工材料表

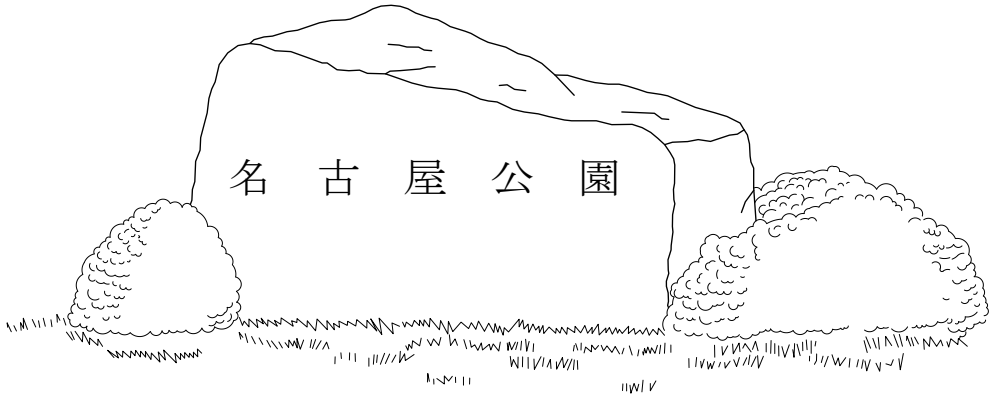
名称		材料表 10基当り コンクリートブロック 100/300×500×200(個) (アンカーボルト付)	松丸太太鼓落し(本) 4m×180	松丸太太鼓落し(本) 2m×180	摘要
円木	L=2.0m	20	——	10	アンカーボルト付
	L=4.0m	30	10	——	アンカーボルト付

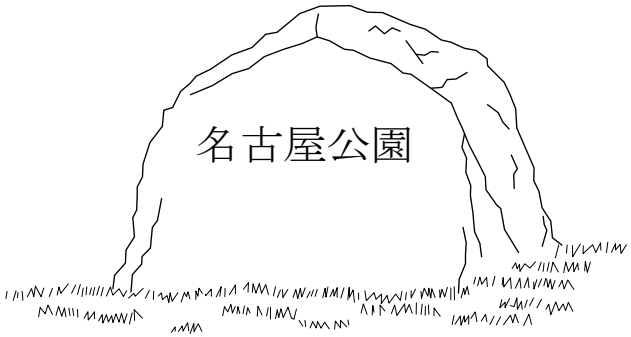
注意事項

1. 松丸太は、防腐剤加圧注入処理品とし、下面心割、切り口は面取り仕上とする。
2. コンクリートブロックは、JIS A 5371付属書Bによる。

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
1300 管理便益施設工	門　柱　工	D	R7.4

門　柱　工





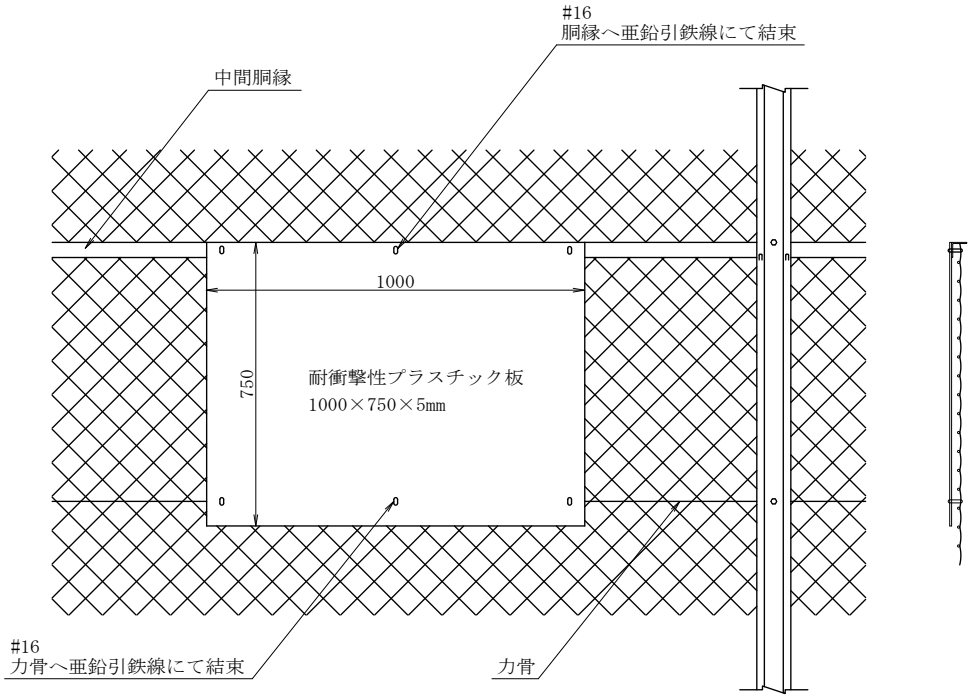
彫込字寸法	さび系花こう岩野面石			自　然　石		
	1.0t	1.4t	2.7t	0.8t	1.3t	1.8t
90×90以上	5字	―字	―字	5字	―字	―字
	6	―	―	6	―	―
	7	7	―	7	7	―
	8	8	―	8	8	―
120×120以上	3	―	―	3	―	―
	4	―	―	4	―	―
	5	5	―	5	5	―
	6	6	―	6	6	―
150×150以上	―	4	4	―	4	4
	―	5	5	―	5	5
	―	―	6	―	―	6
	―	―	7	―	―	7
	―	―	8	―	―	8
180×180以上	―	3	―	―	3	―
	―	4	4	―	4	4
	―	―	5	―	―	5
	―	―	6	―	―	6

注意事項

1. 石の選定については、形状寸法等が判明できる写真等により承認を受けるものとするが、これによりがたい場合については、上場での選定によるものとする。
2. 石の出来高は、指定重量以上とし、検収は、積載重量証明書等による。
3. 石材、文字彫は設計書の指示による。
4. さび系花こう岩野面石は、恵那産もしくは、それに類するもので、転石または、野趣のある荒石（いわゆる割れ肌のままの石）で、文字彫面平滑なものとする。
5. 自然石は、揖斐石等近県の転石で、山天・文字彫面平滑なものとする。
6. 彫込字は、指定寸法以上で石とのバランスを考慮して事前に、石面割りつけ、書体等、監督員の承認をうけ施工すること。

大分類	中分類	小分類	適用年度
1300 管理便益施設工	案内板工	案内板工	R7.4

案　内　板　工



案内板の記入例

1．この広場でのボールあそびは、小学生以下の子どもが優先です。
1．ほかの人のめいわくにならないように、なかよくあそびましょう。
1．フェンスをこわしたり、のぼることは、ぜったいにしないようにしましょう。
1．ボールがフェンスをこえるようなあそびかたは、しないようにしましょう。

なお、くわしくは○○土木事務所
ＴＥＬ：○○○－○○○○までお問合せ下さい。

名古屋市

案内板工材料表

名　称	材料表　1枚当り 案内板 1000×750×5㎜	摘　要
案内板	1	文字書込共

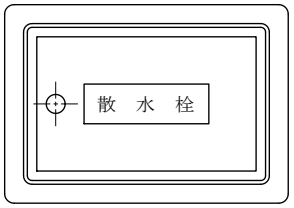
注意事項

1. 記載内容は、設計書指示とする。

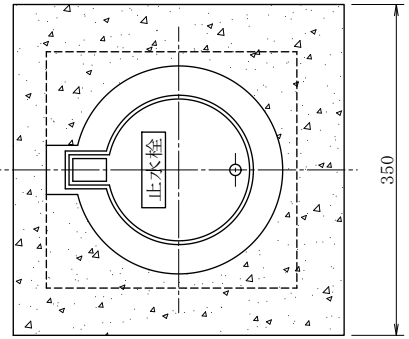
大分類	中分類	小分類	適用年度
1300 管理便益施設工	散水栓工	φ13、φ20	R7.4

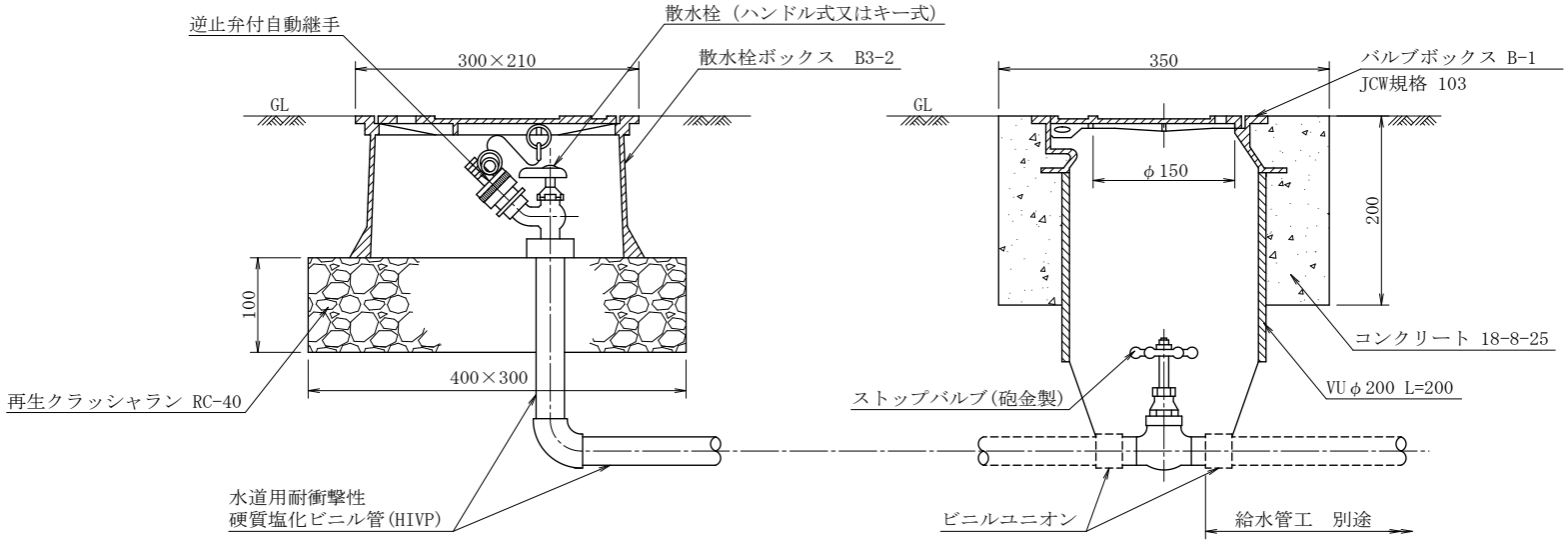
散　水　栓　工

散　水　部



止　水　部



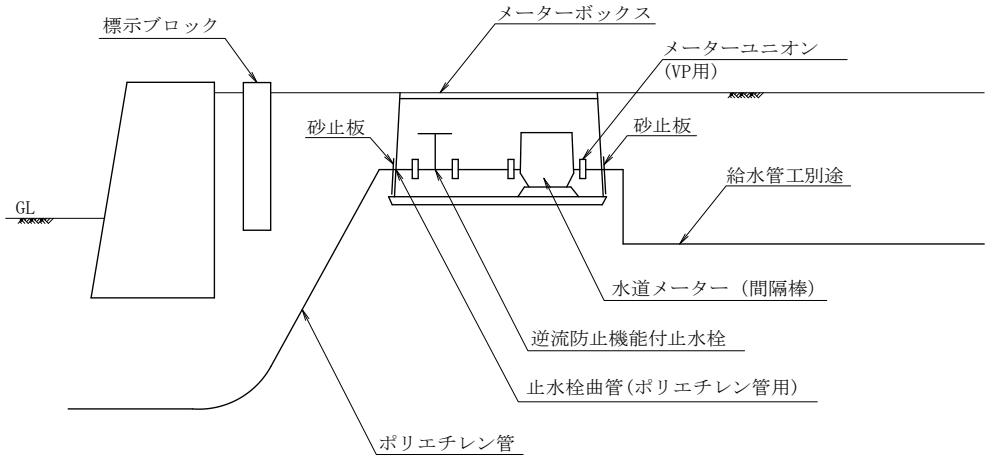


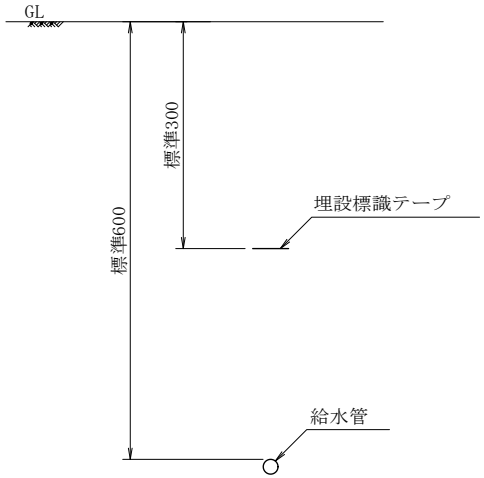
散　水　栓　工　材　料　表

名称		材料表 1ヶ所当り												摘要
		再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 (m³)	コンクリート 18-8-25 (m³)	散水栓（逆止弁付自動継手）（個） φ13	散水栓（逆止弁付自動継手）（個） φ20	散水栓ボックス B3-2 (個)	ストップバルブ(砲金製)（個） φ13	ストップバルブ(砲金製)（個） φ20	バルブボックス B-1φ150 (個)	HIVP（m） φ13	HIVP（m） φ20	VUφ200 (m)	型枠 (m²)	
散水栓	φ13	0.012	0.017	1	—	1	1	—	1	0.50	—	0.20	0.28	
	φ20	0.012	0.017	—	1	1	—	1	1	—	0.50	0.20	0.28	

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
1300 管理便益施設工	量水器取付部工 給水管工	φ13、φ20、φ25	R7.4

量水器取付部工
給水管工





量水器取付部工、給水管工材料表

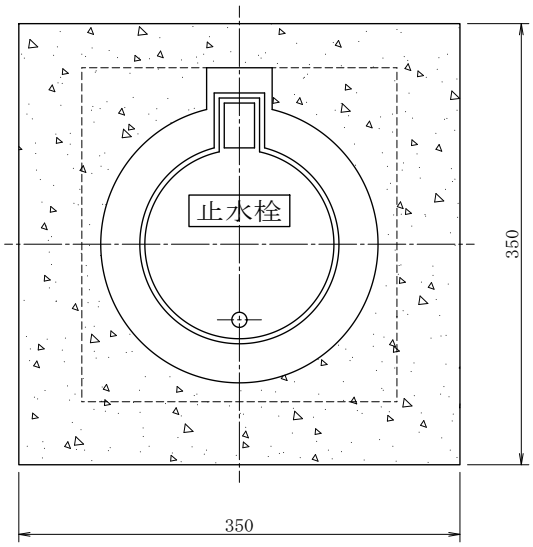
名称		材料表 1ヶ所当り																						摘要
		ポリエチレン管 φ20 (m)	ポリエチレン管 φ25 (m)	止水栓曲管 砲金製（個）			逆流防止機能付止水栓（個）			メーターボックス（個）			メーターユニオン（個）			HIVP (m)			メーター間隔棒（本）			標示ブロック 45×45×450 (本)	砂止板 (組)	埋設標識テープ ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｸﾛｽ･ﾀﾞﾌﾞﾙ 巾150mm (m)	
				φ13	φ20	φ25	φ13	φ20	φ25	φ13	φ20	φ25	VP φ13	VP φ20	VP φ25	φ13	φ20	φ25	φ13	φ20	φ25				
量水器取付部工	φ13A	2.00	——	1	—	—	1	—	—	1	—	—	1	—	—	—	—	—	1	—	—	1	1	——	1ヶ所当り
	φ20A	2.00	——	—	1	—	—	1	—	—	1	—	—	1	—	—	—	—	—	1	—	1	1	——	1ヶ所当り
	φ25A	——	2.00	—	—	1	—	—	1	—	—	1	—	—	1	—	—	—	—	—	1	1	1	——	1ヶ所当り
	φ13B	2.50	——	1	—	—	1	—	—	1	—	—	1	—	—	—	—	—	1	—	—	1	1	——	1ヶ所当り
	φ20B	2.50	——	—	1	—	—	1	—	—	1	—	—	1	—	—	—	—	—	1	—	1	1	——	1ヶ所当り
	φ25B	——	2.50	—	—	1	—	—	1	—	—	1	—	—	1	—	—	—	—	—	1	1	1	——	1ヶ所当り
給水管	φ13	——	——	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	10.0	—	—	—	—	—	——	——	10.0	10m当り
	φ20	——	——	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	10.0	—	—	—	—	——	——	10.0	10m当り
	φ25	——	——	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	10.0	—	—	—	——	——	10.0	10m当り

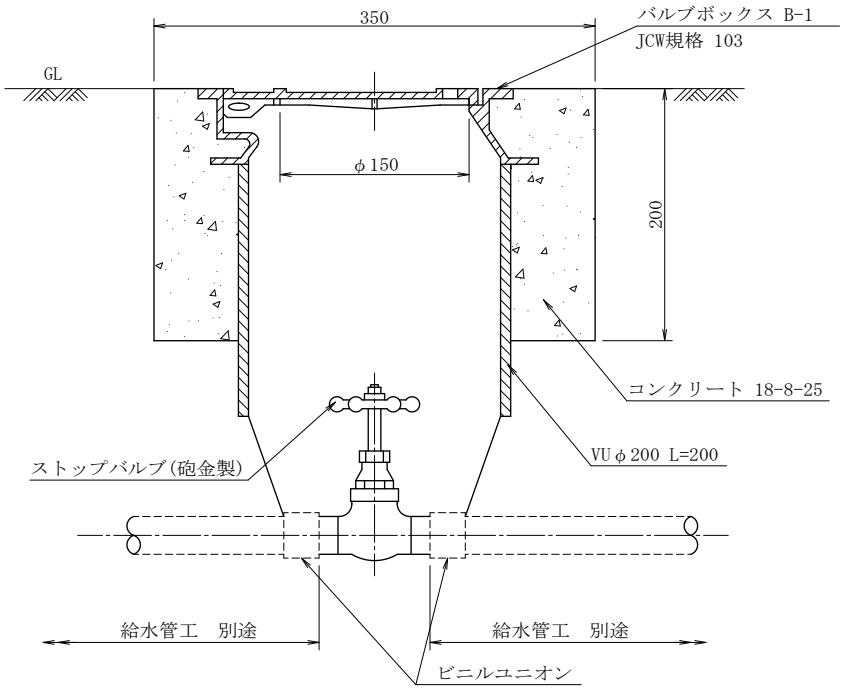
注意事項

1. 量水器取付部工に使用する材料は、本市上下水道局指定給水用具とする。
2. 量水器取付部工のAは、公道よりの取付高0.5m未満、Bは0.5m以上1.0m未満とする。
3. 駐車場や車両が通過する場合は、鋳鉄製蓋を使用する。
4. 埋戻土は、発生土とするが、管の周囲はガレキ等を撤去した良好な土とする。

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
1300 管理便益施設工	止 水 栓 工	φ13、φ20、φ25	R7.4

止　水　栓　工





止　水　栓　工　材　料　表

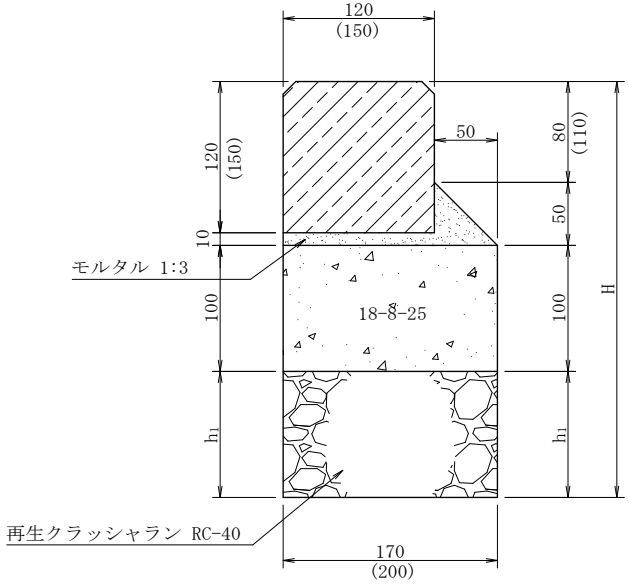
名　称		材料表 1ヶ所当り							摘　要
		コンクリート 18-8-25 (m^3)	ストップバルブ(砲金製)(個)			バルブボックス B-1 φ150 (個)	VU φ200 (m)	型　枠 (m^2)	
			φ13	φ20	φ25				
止水栓	φ13	0.017	1	—	—	1	0.20	0.28	
	φ20	0.017	—	1	—	1	0.20	0.28	
	φ25	0.017	—	—	1	1	0.20	0.28	

注意事項

1. 埋戻土は、発生土とするが、管の周囲はガレキ等を撤去した良好な土とする。

大分類	中分類	小分類	適用年度
1400 雑工	路幅境界工	A、B、C	R7.4

路幅境界工



路幅境界工寸法表

名称	寸法表 単位(mm) H	寸法表 単位(mm) h1	摘要
路幅境界工(A)	330	100	
路幅境界工(A')	230	0	
路幅境界工(擬石)	330	100	
路幅境界工(擬石)	230	0	
路幅境界工(C)	360	100	
路幅境界工(C')	260	0	

路幅境界工材料表

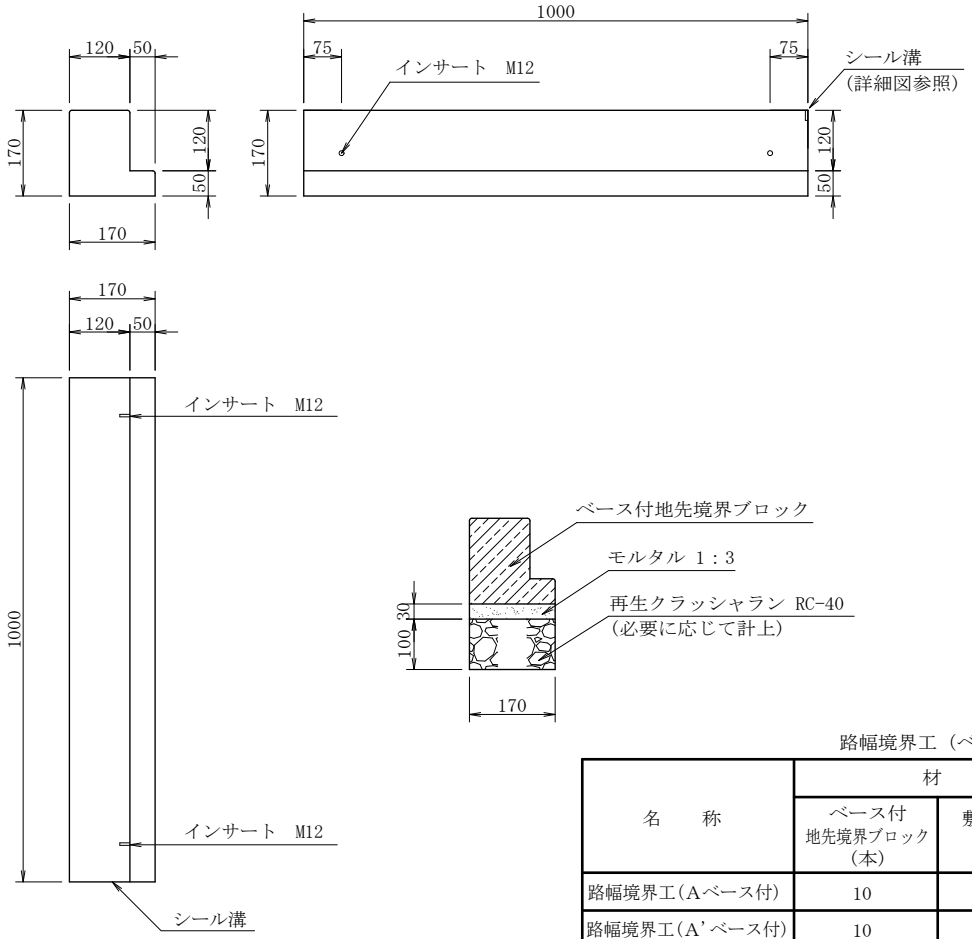
名称	材料表 10m当り 地先境界ブロックA(C) 120×120×600(本)	擬石ブロック 一面擬石仕上 120×120×600(本)	コンクリート 18-8-25 (m³)	モルタル (m³) 敷(1:3)	モルタル (m³) 目地(1:2)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40(m³)	型枠 (m²)	摘要
路幅境界工(A)	16.5	_	0.17	0.025	0.001	0.17	2.00	
路幅境界工(A')	16.5	_	0.17	0.025	0.001	_	2.00	砕石なし
路幅境界工(擬石)	_	16.5	0.17	0.025	0.001	0.17	2.00	
路幅境界工(擬石)	_	16.5	0.17	0.025	0.001	_	2.00	砕石なし
路幅境界工(C)	16.5	_	0.20	0.028	0.002	0.20	2.00	
路幅境界工(C')	16.5	_	0.20	0.028	0.002	_	2.00	砕石なし

注意事項

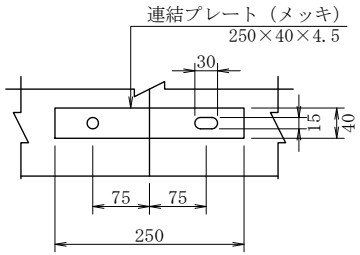
1. 植樹帯に適用する場合に当たっては、「改定　道路空間緑化基準」(平成25年4月1日改定)を遵守すること。(別紙参考図参照)

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
1400 雑　工	路幅境界工	ベース付Ａ、Ａ’	R7.4

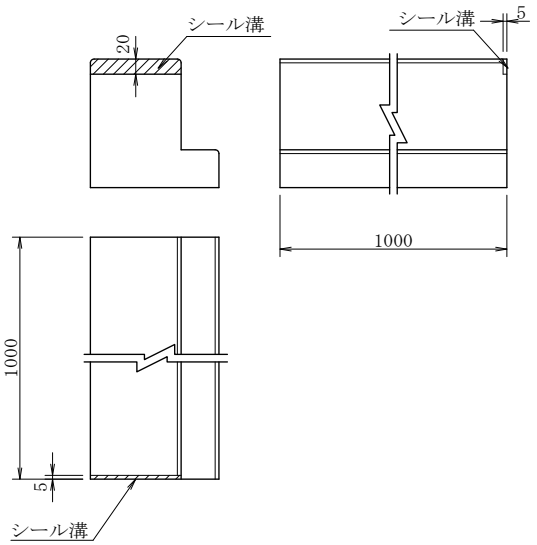
路　幅　境　界　工



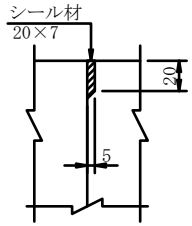
連結部詳細図



ジョイント部詳細図



接合部詳細図



路幅境界工（ベース付Ａ、Ａ’）材料表

名　　称	材　　料　　表　　10m当り				摘　要
	ベース付 地先境界ブロック （本）	敷モルタル 1:3（m^3）	再生クラッシャラン RC-40（m^3）	連結プレート （枚）	
路幅境界工(Aベース付)	10	0.051	0.170	10	
路幅境界工(A’ベース付)	10	0.051	―	10	
路幅境界工(Aベース付)	10	0.051	0.170	―	連結プレートは、必要に応じて計上
路幅境界工(A’ベース付)	10	0.051	―	―	

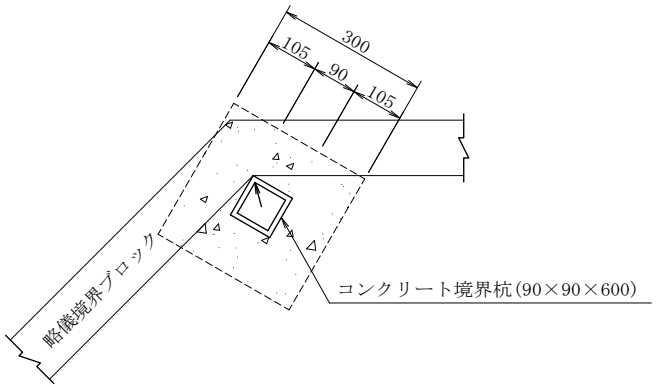
注意事項

1. 植樹帯に適用する場合、あるいは設計書に特に定めがない場合は、連結プレートを使用すること。
2. 植樹帯に適用する場合に当たっては、「改定　道路空間緑化基準」（平成25年4月1日改定)を遵守すること。（別紙参考図参照）

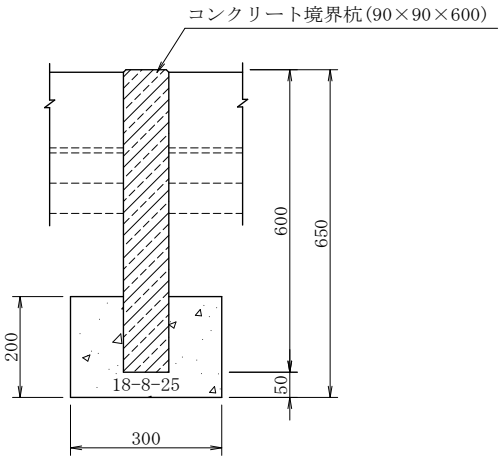
大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
1400 雑　工	境界杭設置工 用地幅杭設置工	境界杭設置工 用地幅杭設置工	R7.4

用地測量標　　用地測量標
(境界杭)設置工・(用地幅杭)設置工

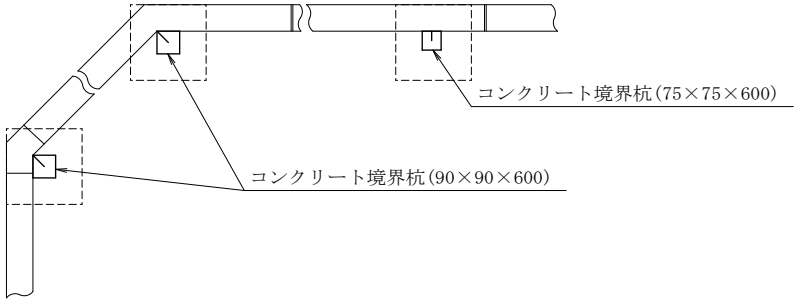
平　面　図



断　面　図



境界杭設置例



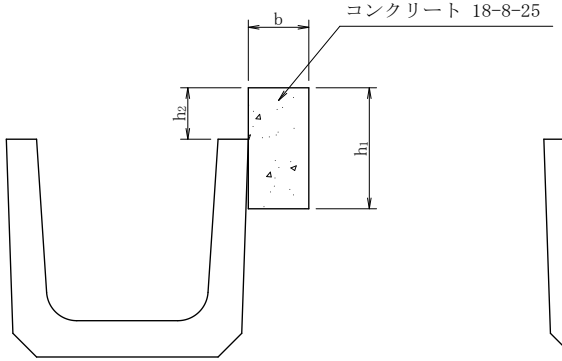
境界杭設置工・用地幅杭設置工材料表

名　称	材　料　表　10本当り			摘　要
	コンクリート 18-8-25(m³)	型　枠 (m²)	コンクリート 境　界　杭	
境界杭設置工	0.168	2.40	10.0	90×90×600
境界杭設置工	0.172	2.40	10.0	75×75×600

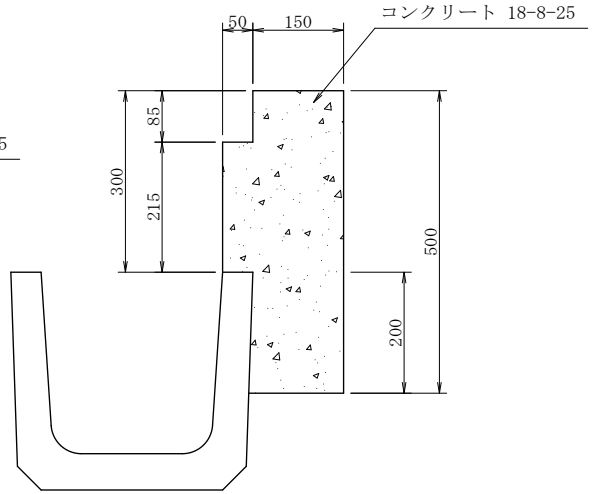
大分類	中分類	小分類	適用年度
1400 雑工	舗装止工	A、B	R7.4

舗装止工

A



B



舗装止工(A)寸法表

名称	寸法表 単位(mm)			摘要
	h_1	h_2	b	
舗装止工(A-1)	200	50	100	
舗装止工(A-2)	200	85	100	
舗装止工(A-3)	280	85	150	
舗装止工(A-4)	200	40	100	

舗装止工(A、B)材料表

名称	材料表 10m当り			摘要
	コンクリート 18-8-25(m^3)	型枠 (m^2)	瀝青質 目地板厚10mm (m^2)	
舗装止工(A-1)	0.200	2.50	0.020	
舗装止工(A-2)	0.200	2.85	0.020	
舗装止工(A-3)	0.42	3.65	0.042	
舗装止工(B)	0.858	8.00	0.086	
舗装止工(A-4)	0.20	2.4	0.02	

注意事項

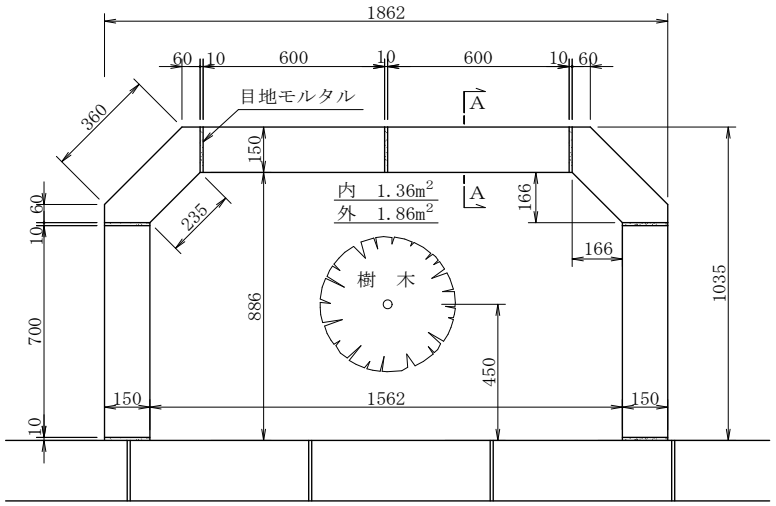
1. 目地（瀝青質目地板 t=10mm）は10mに1ヶ所全断面挿入する。
ただし、測溝の目地に合わせるものとする。

大分類	中分類	小分類	適用年度
1400 雑工	根囲ブロック据付工	A、B	R7.4

根囲ブロック据付工

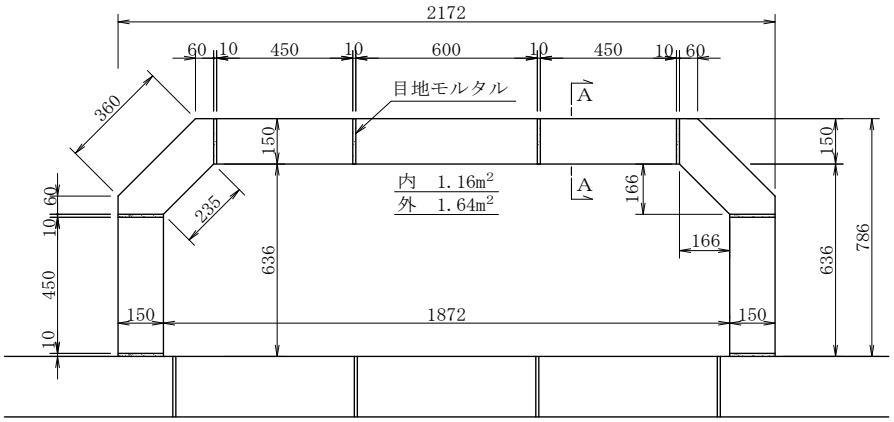
A

平面図

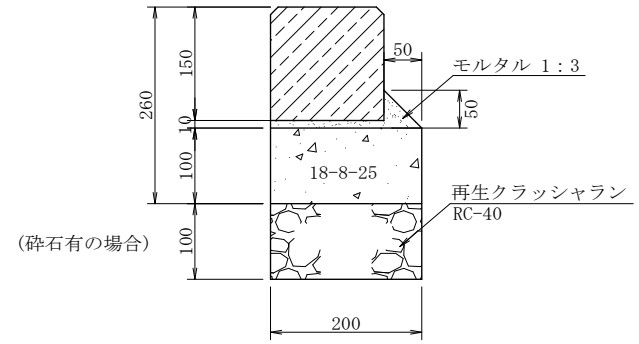


B

平面図



A－A 断面図



根囲ブロック据付工(A、B)材料表

名称	材料表 10組当り						摘要
	根囲ブロック(組)		モルタル (m³)		コンクリート 18-8-25 (m³)	型枠 (m²)	
	A	B	敷(1:3)	目地(1:2)			
根囲ブロック据付工(A)	10	—	0.091	0.015	0.677	6.7	
根囲ブロック据付工(B)	—	10	0.086	0.018	0.639	6.39	

注意事項

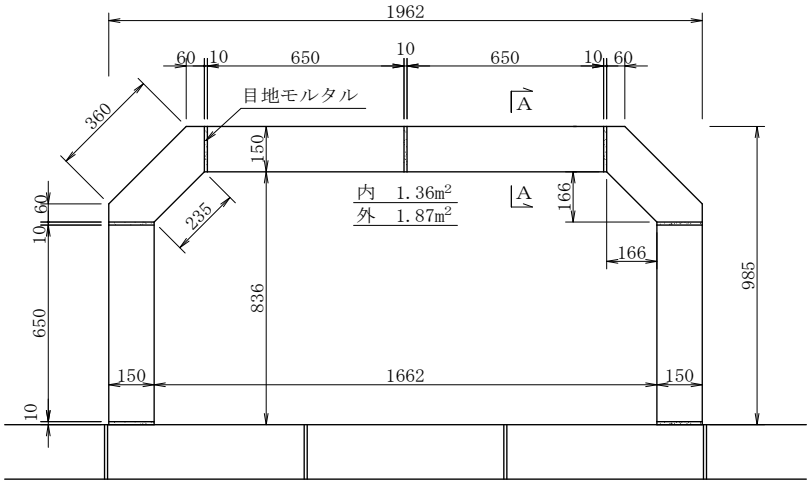
1. 道路上に根囲を設置するに当たっては、「改定 道路空間緑化基準」(平成25年4月1日改定)を遵守すること。(別紙参考図参照)

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
1400 雑　工	根囲ブロック 据付工	C、D	R7.4

根囲ブロック据付工

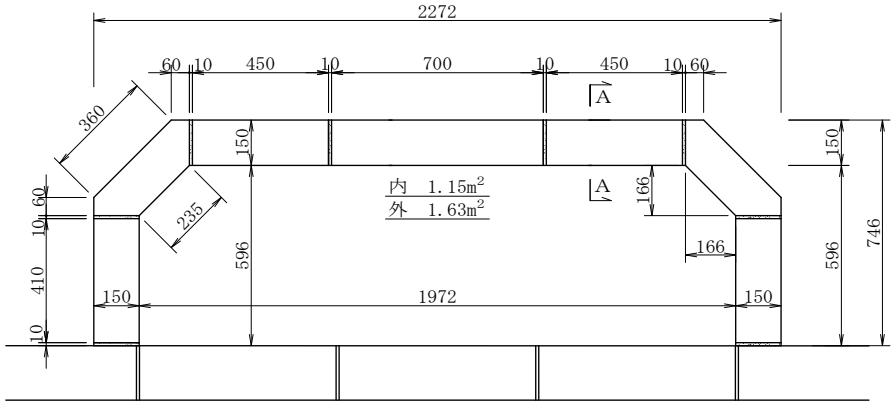
C

平　面　図

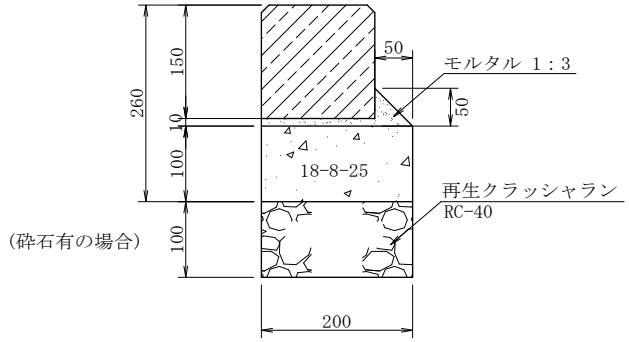


D

平　面　図



A－A　断　面　図



根囲ブロック据付工(C、D)材料表

名　称	材料表 10組当り						摘　要
	根囲ブロック(組)		モルタル(m^3)		コンクリート	型　枠	
	C	D	敷(1:3)	目地(1:2)	18-8-25 (m^3)	(m^2)	
根囲ブロック据付工(C)	10	_	0.087	0.015	0.677	6.77	
根囲ブロック据付工(D)	_	10	0.085	0.018	0.643	6.43	

注意事項

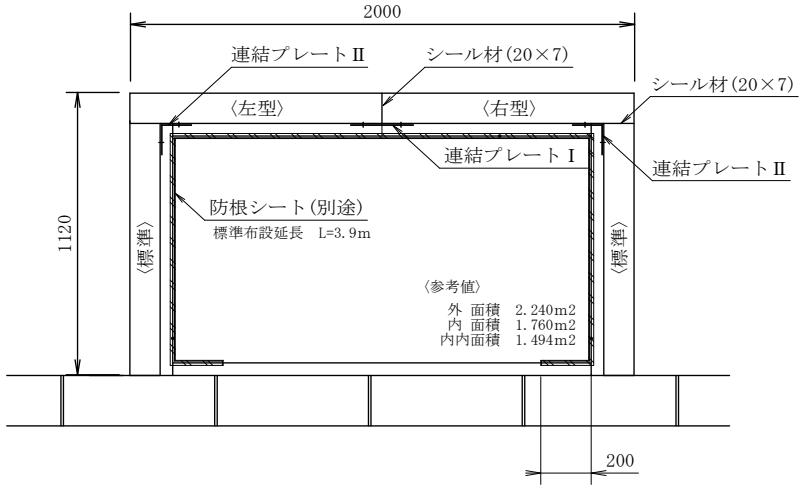
1. 道路上に根囲を設置するに当たっては、「改定　道路空間緑化基準」(平成25年4月1日改定)を遵守すること。(別紙参考図参照)

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
1400 雑　工	ベース付縁石 植ます工	A、B	R7.4

ベース付縁石植ます工

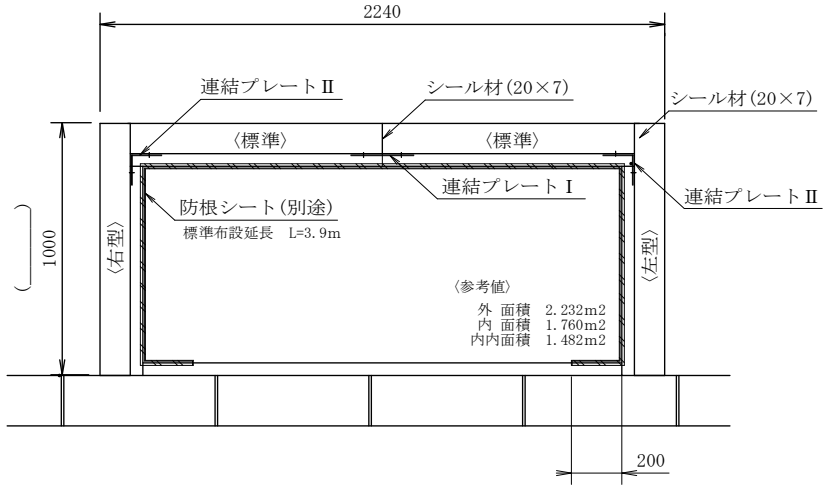
A

平　面　図

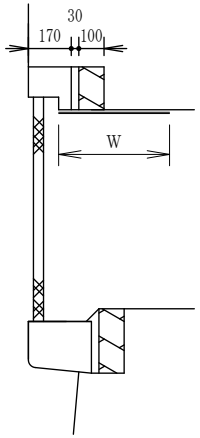


B

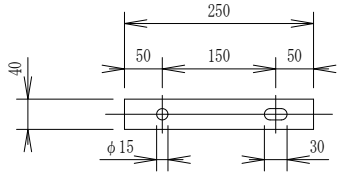
平　面　図



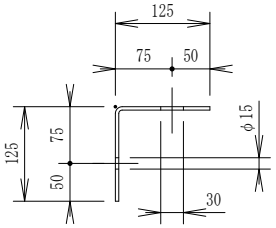
断　面　図



連結プレートⅠ型（直線部）



連結プレートⅡ(コーナー部)



ベース付縁石植ます工(A、B)材料表

名　称	材　料　表　10か所 当り							摘　要
	ベース付地先境界ブロック（個）			モルタル(m³)	再生クラッシャラン	連結プレート（個）		
	標準	右型	左型	敷(1:3)	RC-40 (m³)	Ⅰ型	Ⅱ型	
ベース付縁石植ます工(A)	20	10	10	0.204	0.68	10	20	
ベース付縁石植ます工(B)	20	10	10	0.204	0.68	10	20	

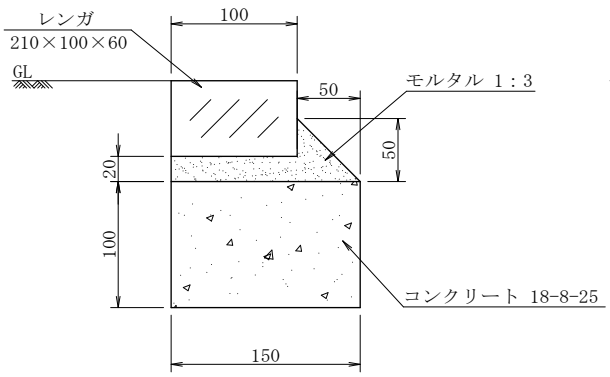
注意事項

1. 道路上に植ますを設置するに当たっては、「改定　道路空間緑化基準」（平成25年4月1日改定)を遵守すること。（別紙参考図参照）
2. Bタイプの（　）内寸法は、歩道等の有効幅員を確保するため、ブロックの長さを調節する場合の寸法である。

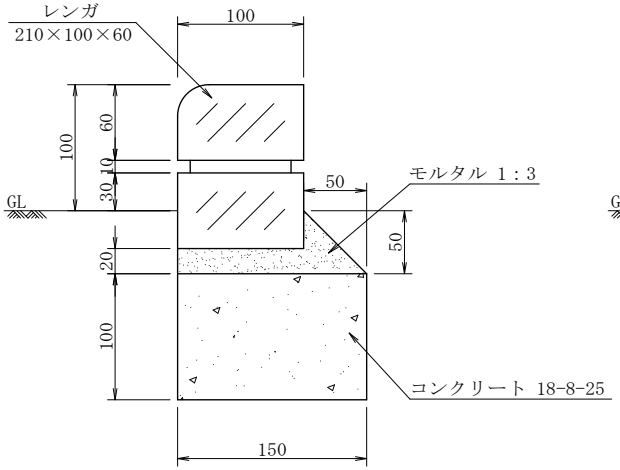
大分類	中分類	小分類	適用年度
1400 雑工	レンガ植桝工	A	R7.4

レンガ植桝工

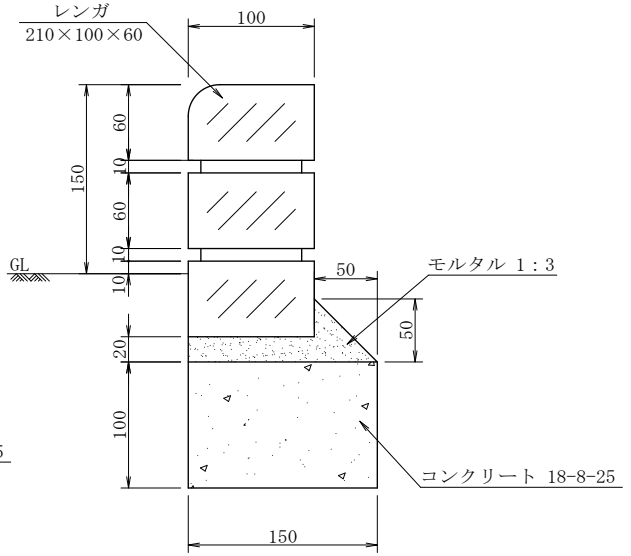
レンガ植桝１段



レンガ植桝２段



レンガ植桝３段



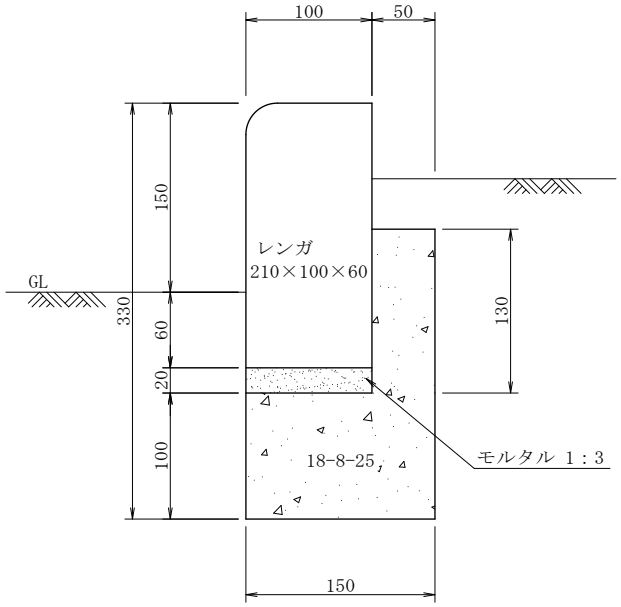
レンガ植桝工（A）材料表

名称	材料表 10m当り								摘要
	コンクリート	モルタル(m^3)		型枠	普通レンガ（個）		特殊レンガ（個）		
	18-8-25 (m^3)	敷(1：3)	目地(1：2)	(m^2)	並型 210×100×60	面取型 R=25～50㎜ 210×100×60	並型 210×100×60	面取型 R=25～50㎜ 210×100×60	
レンガ植桝１段	0.150	0.033	0.002	2.00	45	—	45	—	
レンガ植桝２段	0.150	0.033	0.014	2.00	45	45	45	45	
レンガ植桝３段	0.150	0.033	0.026	2.00	91	45	91	45	

注意事項
1. 目地は、幅10㎜、深さ3～5㎜とする。
2. 道路上に植桝を設置するに当っては、「改定　道路空間緑化基準」（平成25年4月1日改定）を遵守すること。（別紙参考図参照）

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
1400 雑　工	レンガ植桝工	B	R7.4

レ ン ガ 植 桝 工



レンガ植桝工(Ｂ)(たて型)材料表

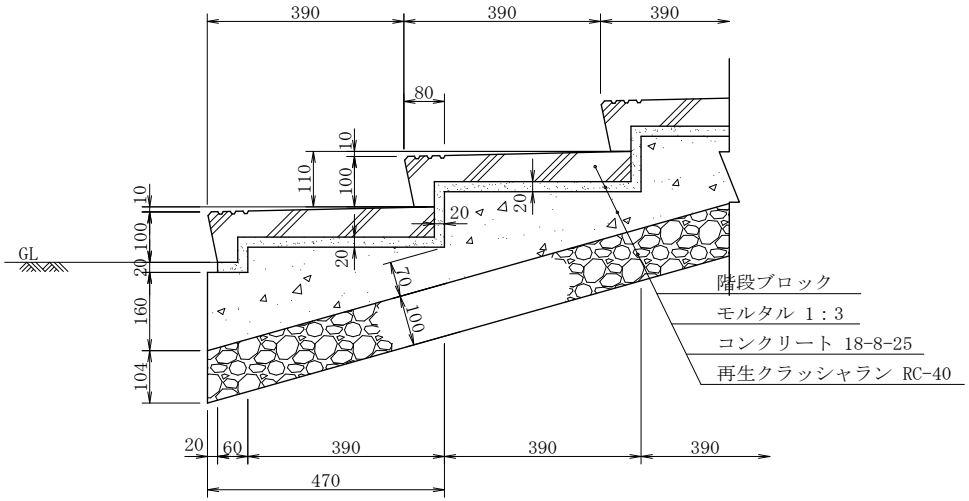
名　称	材料表				10m当り	摘　要
	レンガ 210×100×60 (個)	コンクリート 18-8-25 (m^3)	モルタル (m^3) 敷(1:3)	モルタル (m^3) 目地(1:2)	型　枠 (m^2)	
レンガ植桝工(たて型)	143	0.215	0.020	0.030	3.3	

注意事項
1. 目地は、化粧目地とし、幅10㎜、深さ3～5㎜とする。
2. 数量表の値は、目地モルタルをレンガタイル天端より深さ3～5㎜で仕上げるものを示す。
3. 道路上に植桝を設置するに当たっては、「改定　道路空間緑化基準」(平成25年4月1日改定)を遵守すること。(別紙参考図参照)

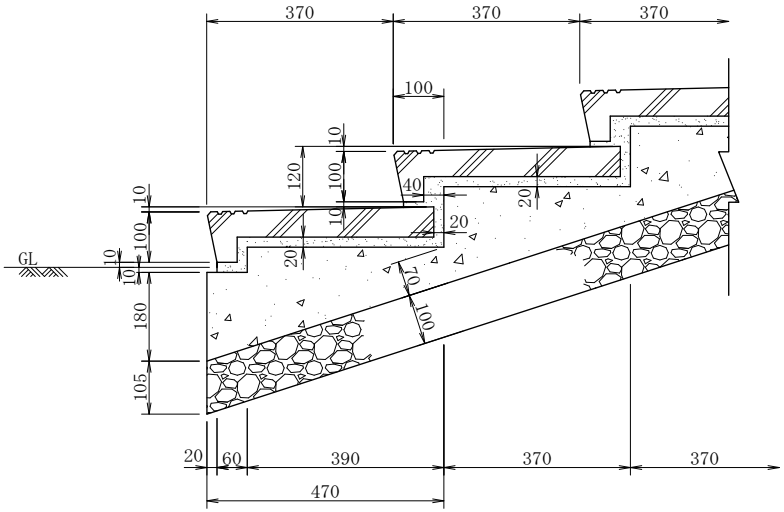
大分類	中分類	小分類	適用年度
1400 雑工	階段工	A、B、C	R7.10

階　段　工

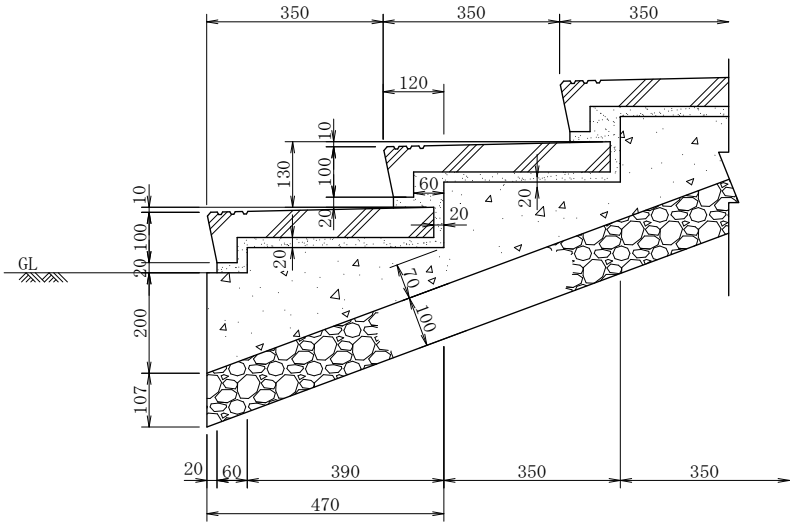
A　蹴上げ　11cm



B　蹴上げ　12cm



C　蹴上げ　13cm



階段工（A）、（B）、（C）材料表

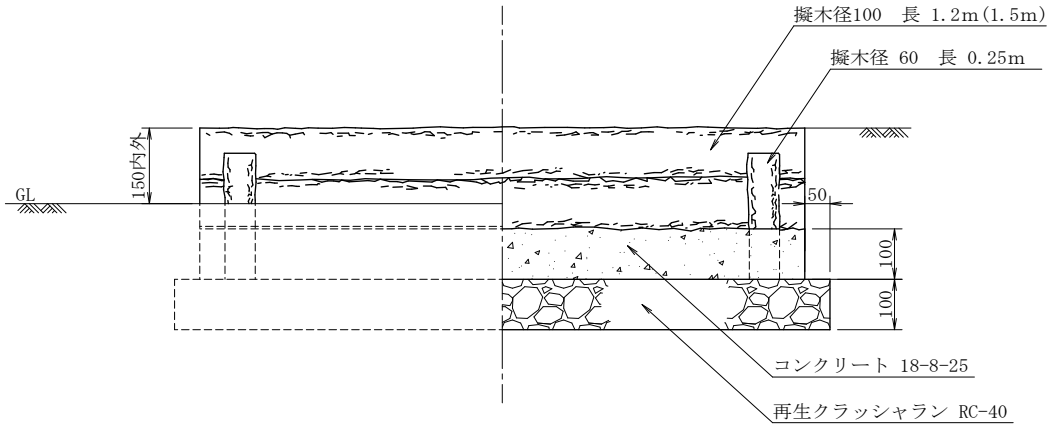
名称	材料表 1段・10m当り					摘要
	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40（m^3）	コンクリート 18-8-25（m^3）	モルタル 1：3（m^3）	階段ブロック 450×500×100/60（個）	型枠（m^2）	
階段（A）	0.406	0.499	0.100	19.7	1.83	
階段（B）	0.389	0.496	0.114	19.7	1.94	
階段（C）	0.375	0.490	0.132	19.7	2.05	

注意事項
1.　階段ブロックの配筋は、φ6をタテ・ヨコ各4本とする。
2.　目地幅は、7㎜とする。

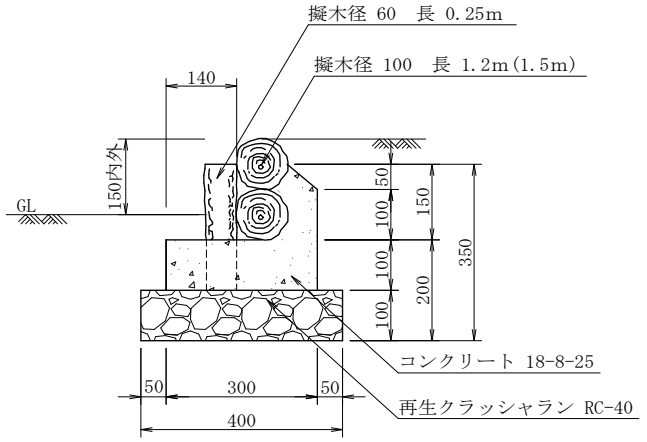
大分類	中分類	小分類	適用年度
1400 雑工	擬木階段工	擬木階段工	R7.4

擬木階段工

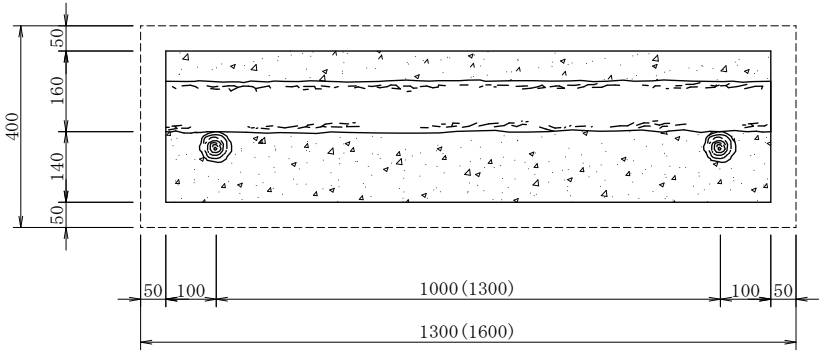
立面図



側面図



平面図



擬木階段工材料表

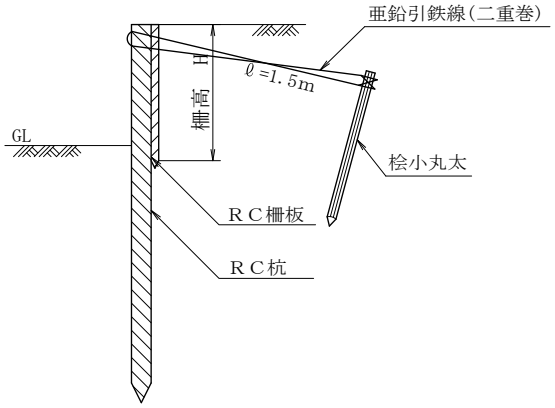
名称	材料表					10段当り	摘要
	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40(m³)	コンクリート 18-8-25 (m³)	擬木(本) φ60×250	擬木(本) φ100×1200	擬木(本) φ100×1500	型枠 (m²)	
擬木階段A	0.52	0.463	20	20	——	4.47	
擬木階段B	0.64	0.582	20	——	20	5.37	

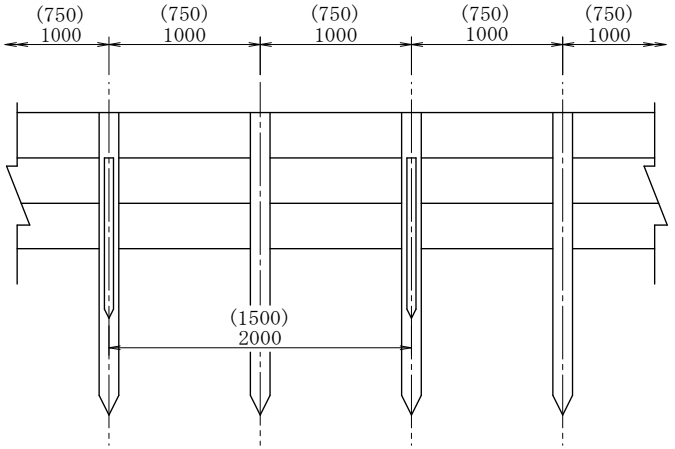
注意事項

1. 擬木はくぬぎ肌仕上とする。
2. φ100の擬木は、両端年輪仕上とし、配筋はD10×1150(D10×1450)3本とする。
3. φ60の擬木は、片端年輪仕上とし、配筋はD10×200 1本とする。
4. コンクリートは、顔料を2%以上(セメント比)混入したものとし、白化防止処置をした塗料で仕上げたものとする。
5. ( )内は、Bの寸法とする。

大分類	中分類	小分類	適用年度
1400 雑工	コンクリート柵工	H=0.9m～1.2m	R7.4

コンクリート柵工





コンクリート柵工材料表

名称	材料表 10m当り						摘要
	RC杭 (本)		RC柵板 (枚)		桧小丸太 末口60×L1000mm (本)	亜鉛引鉄線 #8 (kg)	
	□150×L2500mm	□150×L2700mm	1995×300×50mm	1495×300×50mm			
柵高 H=0.9m	10.00	——	15.00	——	5.00	3.27	
柵高 H=1.2m	——	13.33	——	26.67	6.67	4.36	

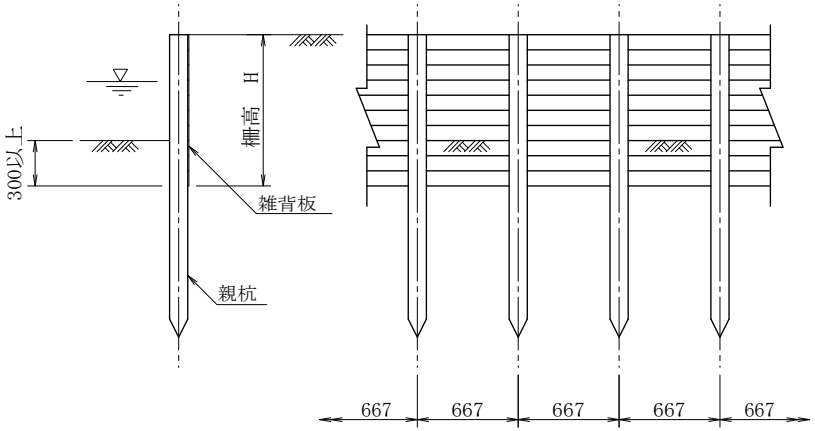
注意事項

1. ( )内寸法は、柵高1.2mに適用する。

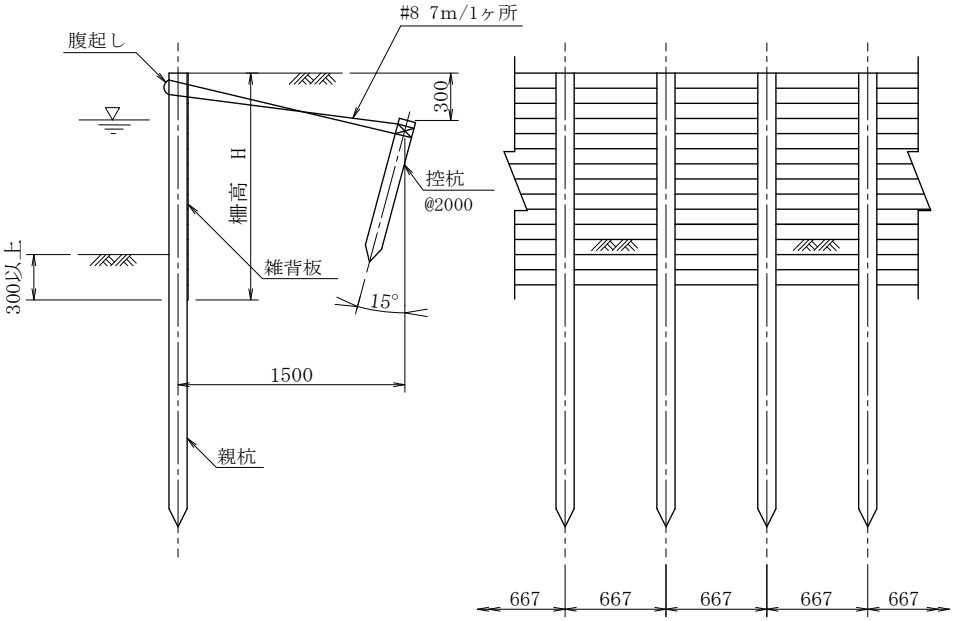
大分類	中分類	小分類	適用年度
1400 雑工	板柵（河川）	H=0.6m～1.5m	R7.4

板 柵 （ 河 川 ）

柵高 0.6m～1.0m



柵高 1.2m～1.5m



板柵（河川）材料表

名称	材料表 片側10m当り						摘要
	親杭 松丸太(m³)	柵板 雑背板(m²)	控杭 松丸太(m³)	腹起し 桧小丸太二ツ割(本)	亜鉛引鉄線 #8 (kg)	鉄釘 N75mm (kg)	
柵高 H=0.6m	末口mm 長m (90×1.00) 0.12	巾mm 厚mm 長m (100×7.5×2.00) 6.00	末口mm 長m —	末口mm 長m —	—	0.65	
柵高 H=0.8m	(90×1.50) 0.18	(100×7.5×2.00) 8.00	—	—	—	0.87	
柵高 H=1.0m	(120×2.00) 0.44	(100×7.5×2.00) 10.00	—	—	—	1.09	
柵高 H=1.2m	(120×2.00) 0.48	(100×7.5×2.00) 12.00	(90×1.00) 0.04	(90×1.50) 10	3.46	1.31	
柵高 H=1.5m	(120×3.00) 0.69	(100×7.5×2.00) 15.00	(90×1.00) 0.04	(90×1.50) 10	3.46	1.64	

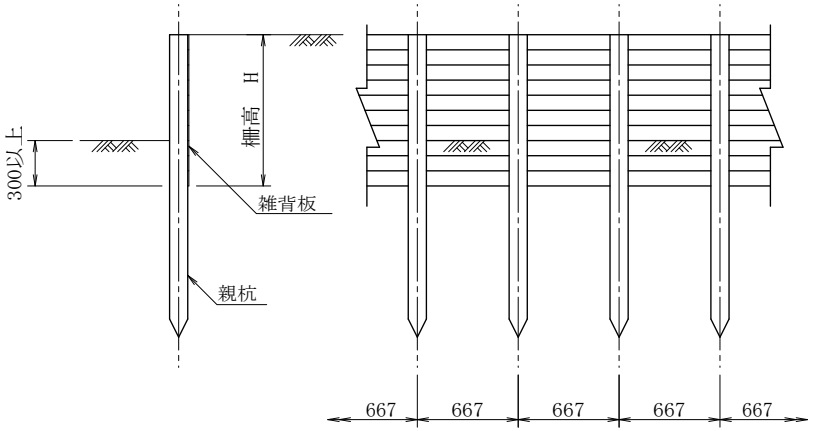
注意事項

1. 本工種は、土砂の小規模な崩落を防止する程度の箇所にのみ適用するものとし、載荷重のある場合等は、親杭、柵板等を別途考慮すること。

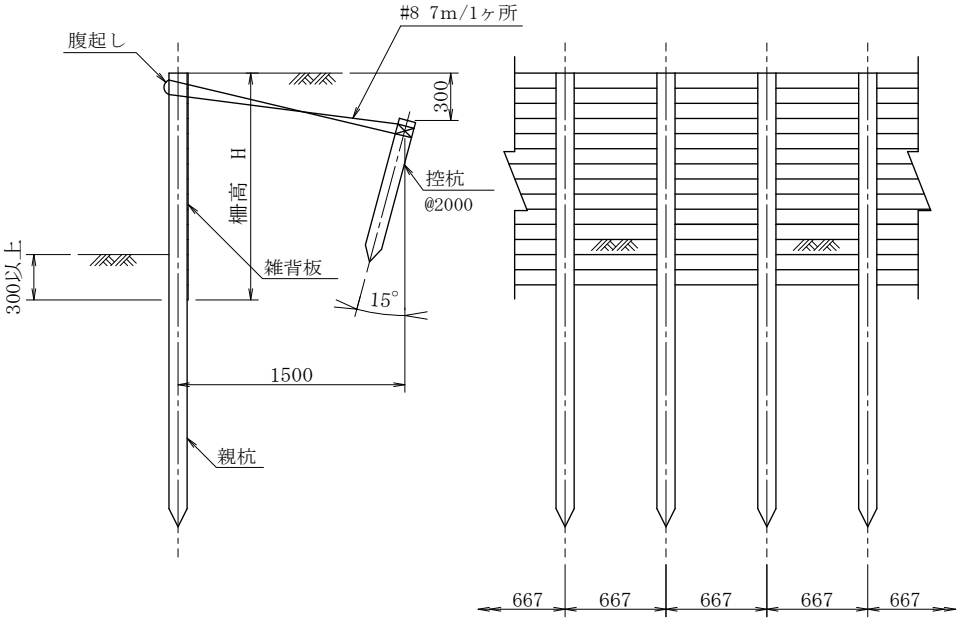
大分類	中分類	小分類	適用年度
1400 雑工	板柵（道路）	H=0.4m～1.2m	R7.4

板 柵 （ 道 路 ）

柵高 0.4m～0.8m



柵高 1.0m～1.2m



板柵（道路）材料表

名称	材料表 片側10m当り						摘要
	親杭 桧丸太(本)	柵板 雑背板(m^2)	控杭 桧丸太(本)	腹起し 桧小丸太二ツ割(本)	亜鉛引鉄線 #8 (kg)	鉄釘 N75mm (kg)	
柵高 H=0.4m	末口mm 長m (60×1.00) 15.00	巾mm 厚mm 長m (100×7.5×2.00) 4.00	末口mm 長m —	末口mm 長m —	—	0.44	
柵高 H=0.6m	(60×1.50) 15.00	(100×7.5×2.00) 6.00	—	—	—	0.66	
柵高 H=0.8m	(75×2.00) 15.00	(100×7.5×2.00) 8.00	—	—	—	0.88	
柵高 H=1.0m	(75×2.00) 15.00	(100×7.5×2.00) 10.00	(60×1.00) 5.00	(60×4.00) 2.80	3.46	1.40	
柵高 H=1.2m	(75×2.00) 15.00	(100×7.5×2.00) 12.00	(60×1.00) 5.00	(60×4.00) 2.80	3.46	1.62	

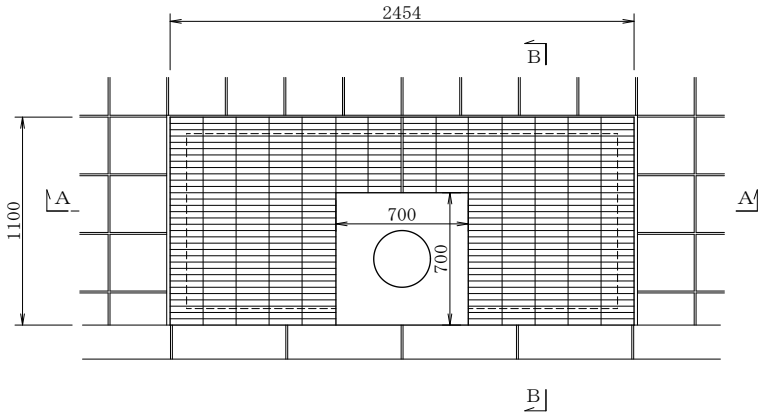
注意事項

1. 本工種は、土砂の小規模な崩落を防止する程度の箇所にのみ適用するものとし、載荷重のある場合等は、親杭、柵板等を別途考慮すること。

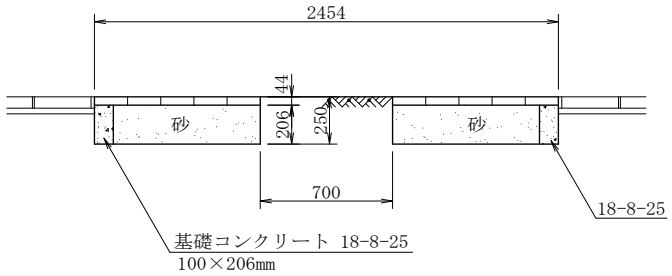
大分類	中分類	小分類	適用年度
1400 雑工	透水性植桝工	透水性植桝工	R7.4

透水性植桝工

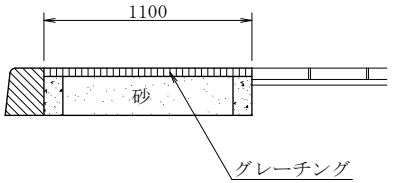
平面図



A－A 断面図



B－B 断面図

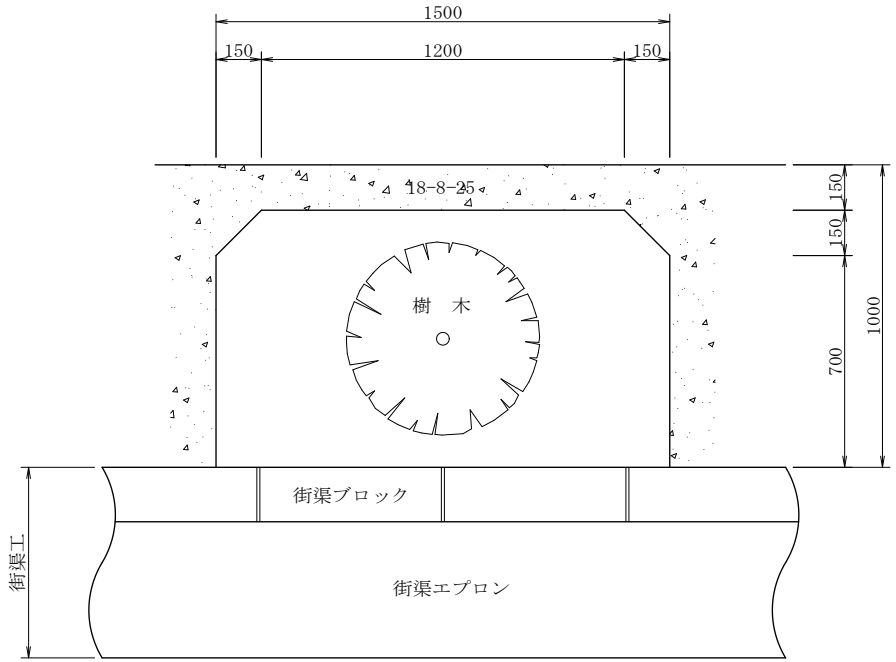


透水性植桝工材料表

名称	材料表 10ヶ所当り				摘要
	砂 不洗 (m^3)	コンクリート 18-8-25 (m^3)	グレーチング h=44mm (m^2)	型枠 (m^2)	
透水性植桝	3.17	1.237	22.10	21.73	

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
1400 雑　工	街路樹植栽穴工	街路樹植栽穴工	R7.4

街 路 樹 植 栽 穴 工



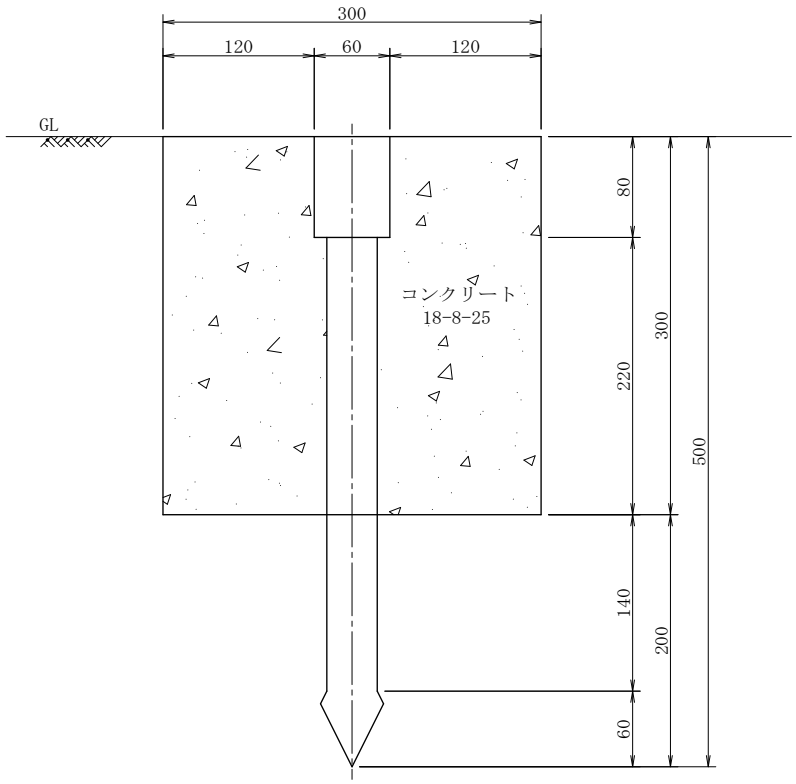
注意事項

1. 道路上に植桝を設置するに当たっては、「改定　道路空間緑化基準」（平成25年4月1日改定）を遵守すること。（別紙参考図参照）

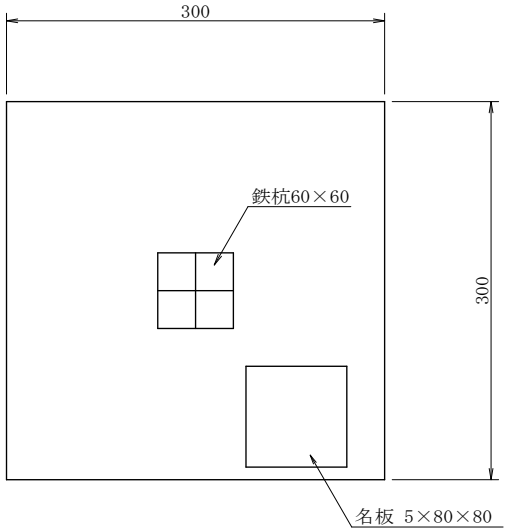
大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
1400 雑　工	道路台帳 主要点設置工	道路台帳 主要点設置工	R7.4

道路台帳主要点設置工

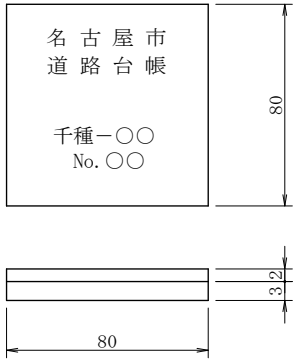
断　面　図



平　面　図



名 板 （記入例）



厚さ3㎜の白色アクリル板に文字を彫刻後
黒エナメルペイントを充填の後、厚2㎜の
透明アクリル板を張り合わせる。

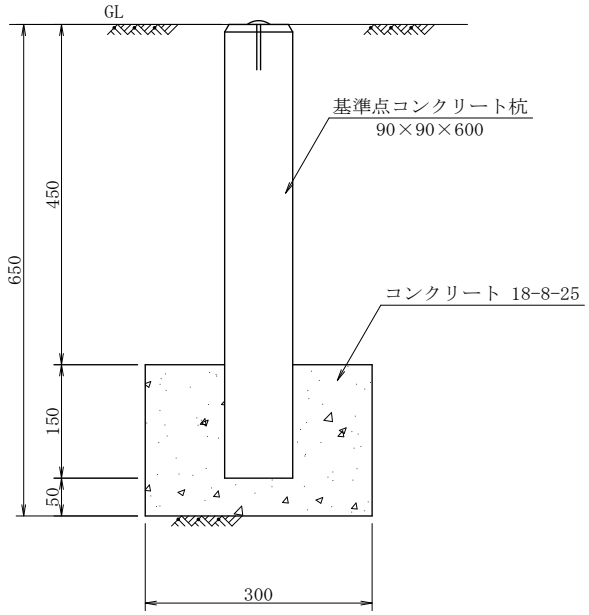
道路台帳主要点設置工材料表

名　称	材　料　表　10点当り			摘　要
	コンクリート 18-8-25 (m^3)	型　枠 (m^2)	鉄　杭 (本)	
道路台帳 主要点設置工	0.270	3.600	10	

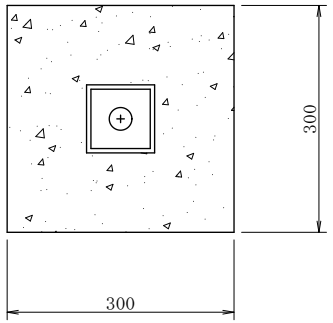
大分類	中分類	小分類	適用年度
1400 雑工	多角点杭設置工	用地測量標	R7.4

用地測量標多角点杭設置工

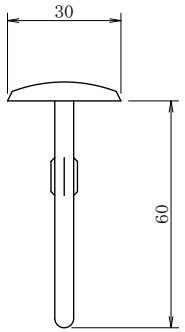
断面図

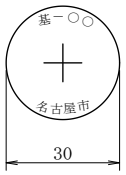


平面図



金属鋲（黄銅製）



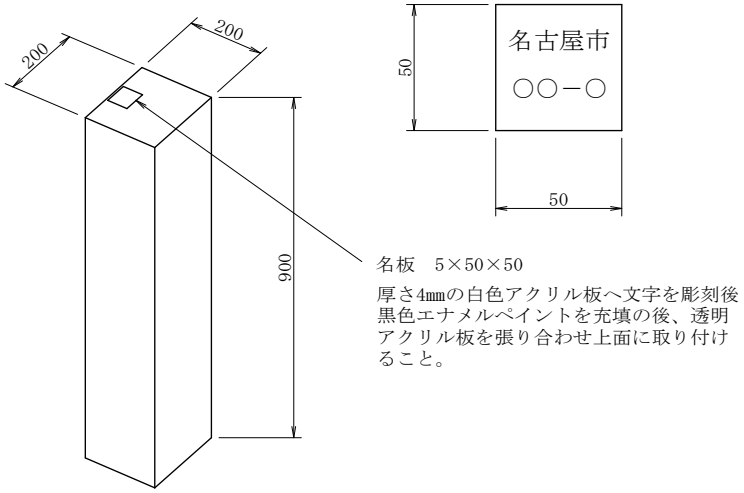


用地測量標多角点杭設置工材料表

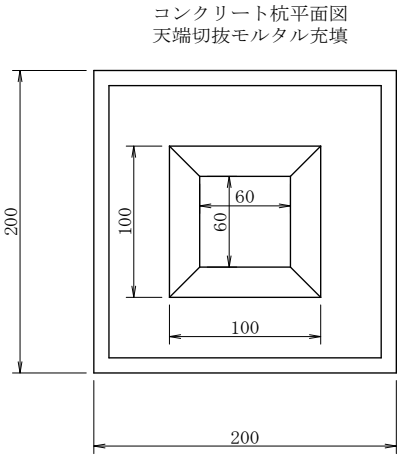
名称	材料表 10本当り			摘要
	コンクリート 18-8-25 (m^3)	型枠 (m^2)	コンクリート杭 90×90×600 (本)	
多角点杭設置工	0.168	2.400	10	

大分類	中分類	小分類	適用年度
1400 雑工	主要点杭設置工	用地測量標	R7.4

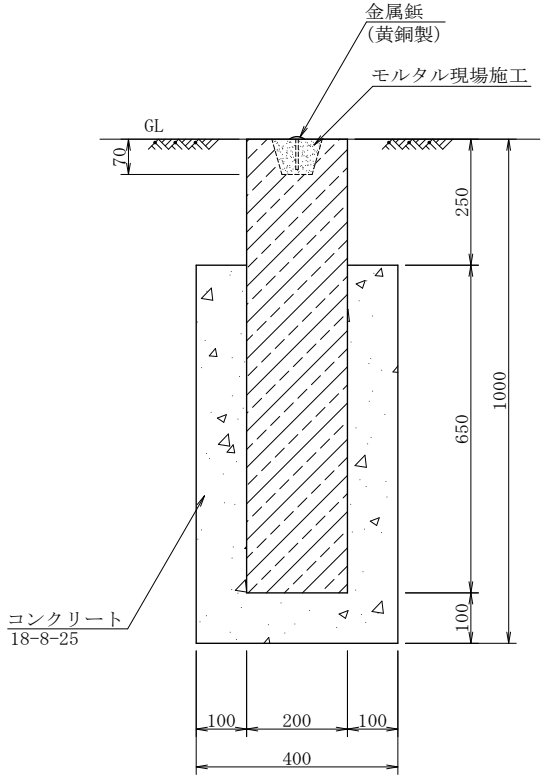
用地測量標主要点杭設置工



平面図



断面図

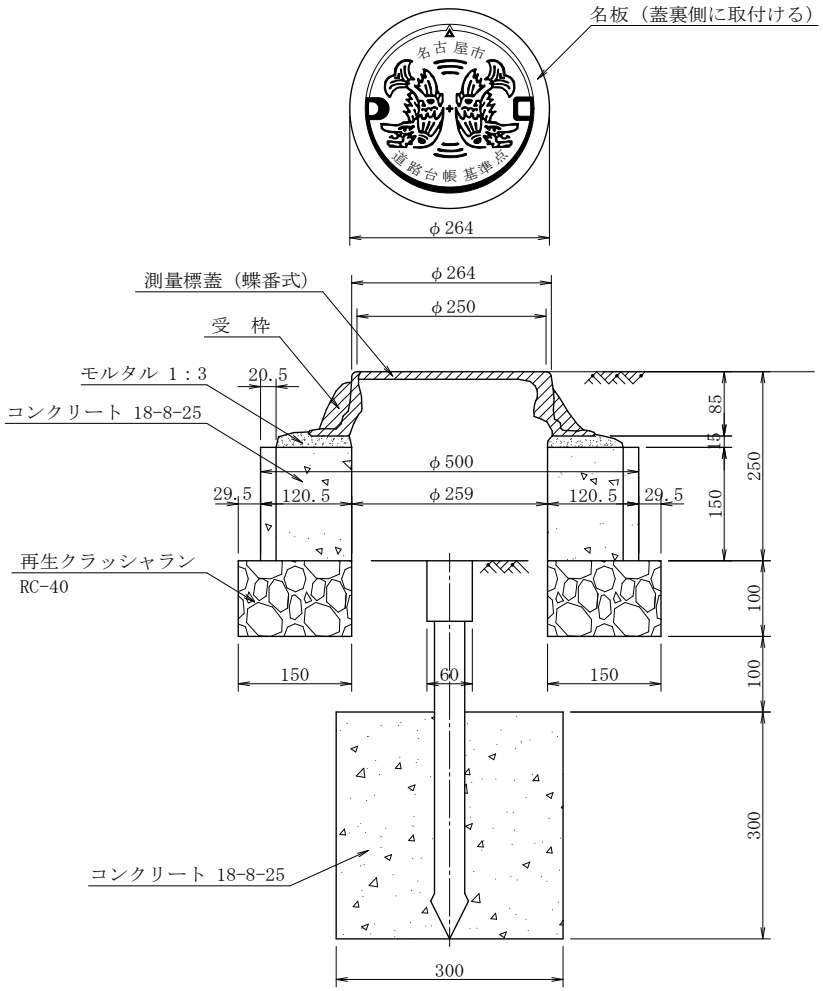


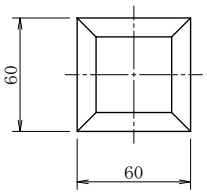
用地測量標主要点杭設置工材料表

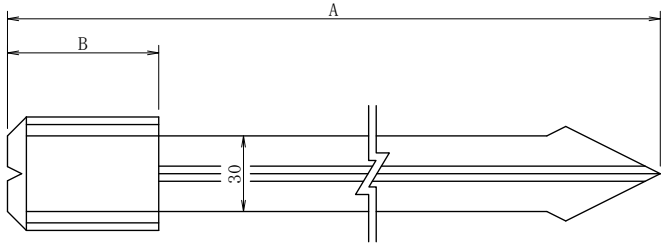
名称	材料表 10本当り			摘要
	コンクリート 18-8-25 (m^3)	型枠 (m^2)	コンクリート杭 200×200×900 (本)	
主要点杭設置工	0.940	12.000	10	

大分類	中分類	小分類	適用年度
1400 雑工	測量標設置工	道路台帳基準点	R7.4

名古屋市測量標（道路台帳基準点）設置工



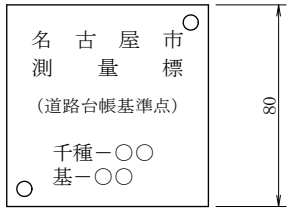


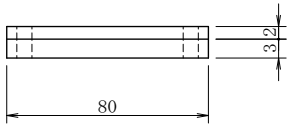


鉄杭寸法表

名称	寸法表 単位(mm) A	寸法表 単位(mm) B	摘要
L－５００	500	80	2.0kg/本

蓋取付用名板





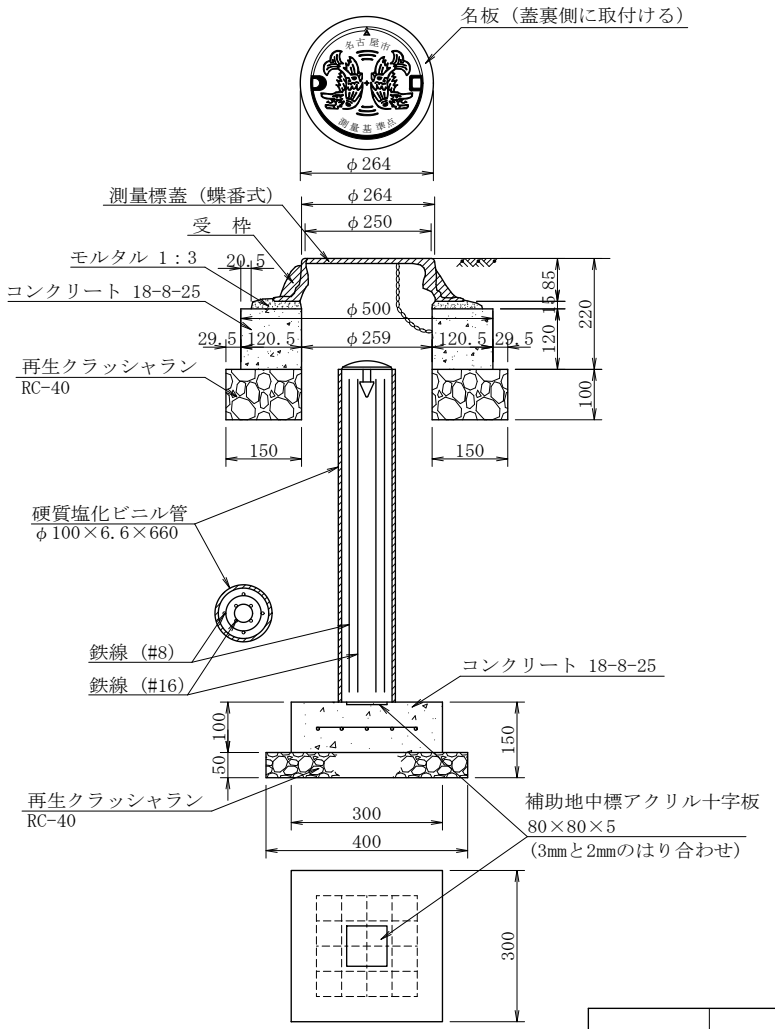
厚さ3㎜の白色アクリル板に文字を彫刻後
黒エナメルペイントを充填の後、厚さ2㎜
の透明アクリル板を張り合わせる。

測量標(道路台帳基準点)設置工材料表

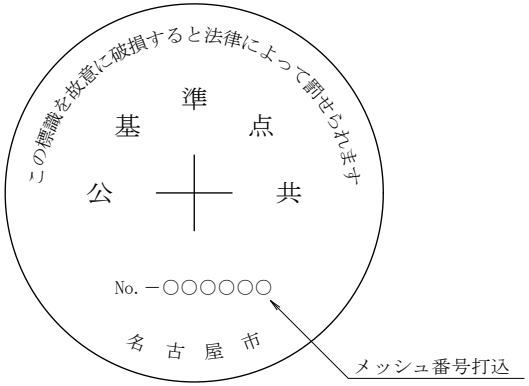
名称	材料表 10点当り コンクリート 18-8-25 (m³)	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40 (m³)	モルタル 1：3 (m³)	鉄蓋 (個)	鉄杭 (本)	名板 (枚)	チェーン (本)	摘要
測量標設置工 (道路台帳基準点)	0.48	0.19	0.017	10	10	10	10	

大分類	中分類	小分類	適用年度
1400 雑工	測量標設置工	多角点	R7.4

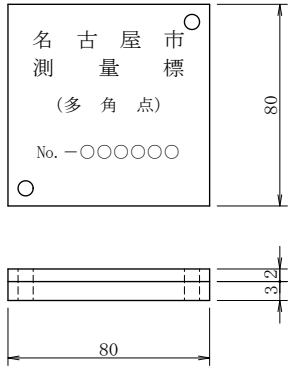
名古屋市測量標（多角点）設置工



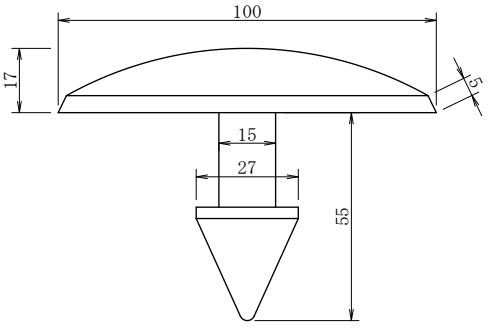
金属鋲（真鍮製）



蓋取付用名板



厚さ3㎜の白色アクリル板に文字を彫刻後
黒エナメルペイントを充填の後、厚さ2㎜
の透明アクリル板を張り合わせる。

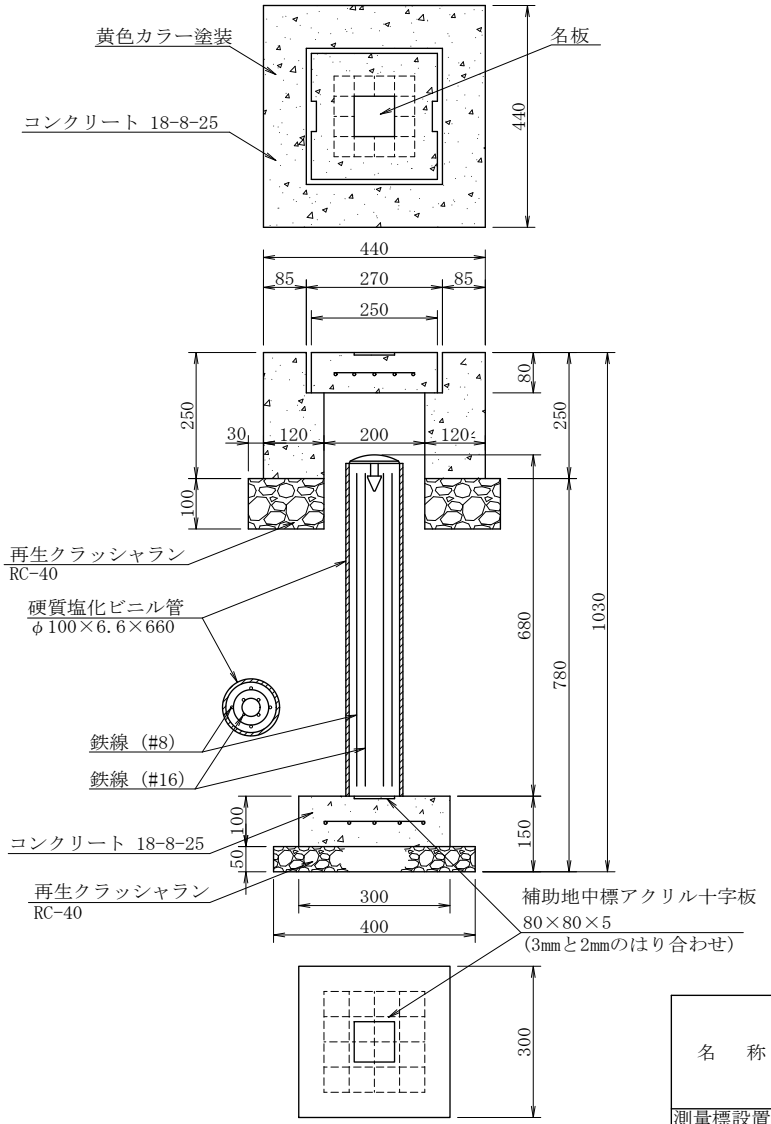


測量標（多角点）設置工材料表

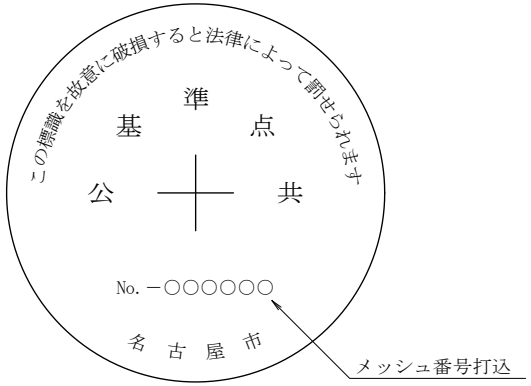
名称	材料表 10点当り									摘要
	コンクリート 18-8-25 (m^3)	再生クラッシャラン RC-40 (m^3)	硬質塩化ビニル管 φ100 (m)	鉄線 #8 (m)	鉄線 #16 (m)	鉄蓋 (個)	金属鋲 (個)	名板 (枚)	チェーン (本)	
測量標設置工（多角点）	0.22	0.27	6.60	83	28	10	10	10	10	

大分類	中分類	小分類	適用年度
1400 雑工	測量標設置工	多角点	R7.4

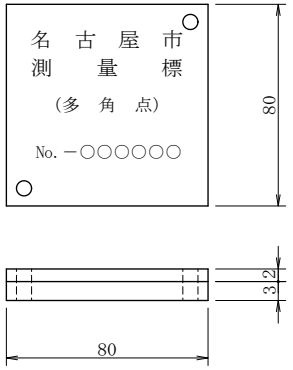
名古屋市測量標（多角点）設置工



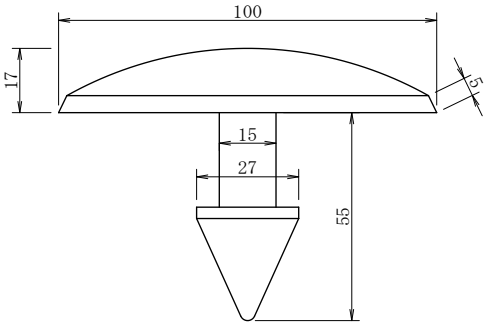
金属鋲（真鍮製）



蓋取付用名板



厚さ3㎜の白色アクリル板に文字を彫刻後
黒エナメルペイントを充填の後、厚さ2㎜
の透明アクリル板を張り合わせる。

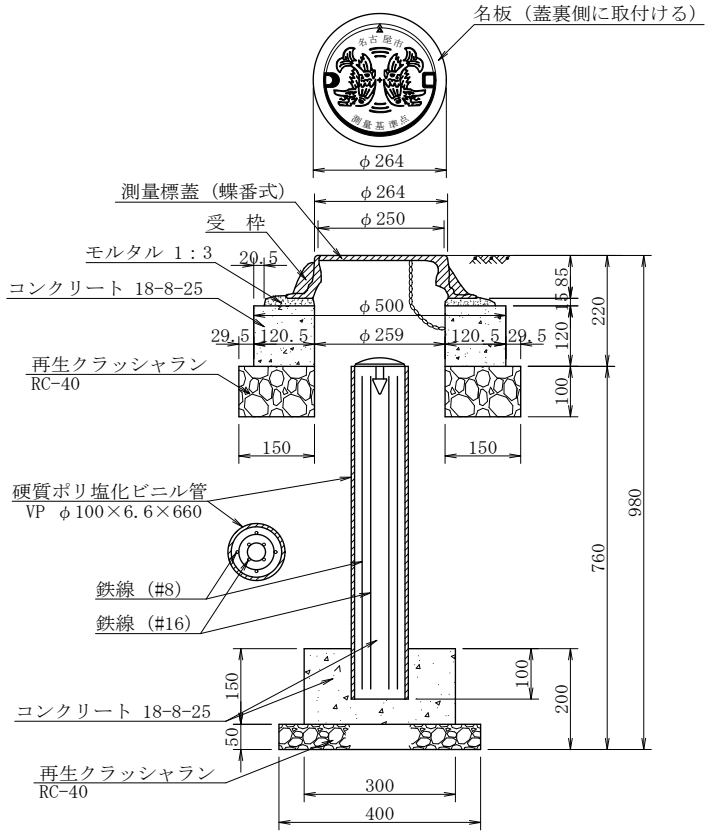


測量標(多角点)設置工材料表

名称	材料表 10点当り								摘要
	コンクリート 18-8-25 (m³)	再生クラッシャラン RC-40 (m³)	硬質塩化ビニル管 φ100 (m)	鉄線 #8 (m)	鉄線 #16 (m)	Co蓋 (個)	金属鋲 (個)	名板 (枚)	
測量標設置工（多角点）	0.51	0.35	6.60	83	28	10	10	10	

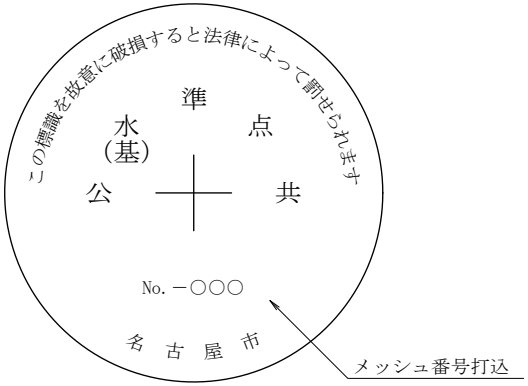
大分類	中分類	小分類	適用年度
1400 雑工	測量標設置工	水準点 多角水準点	R7.4

名古屋市測量標（水準点
多角水準点）設置工

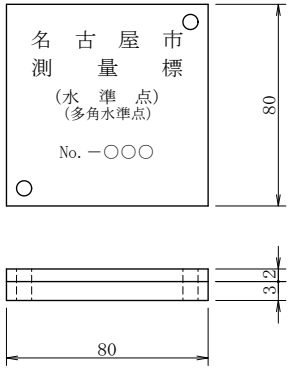


金属鋲（真鍮製）

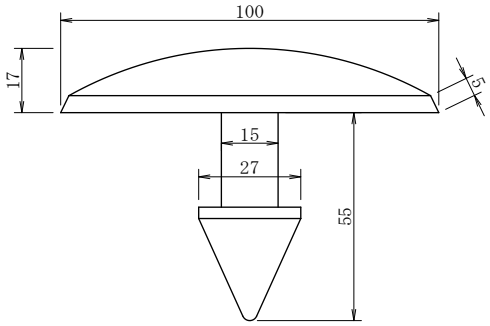
（ ）は多角水準点



蓋取付用名板



厚さ3㎜の白色アクリル板に文字を彫刻後黒エナメルペイントを充填の後、厚さ2㎜の透明アクリル板を張り合わせる。

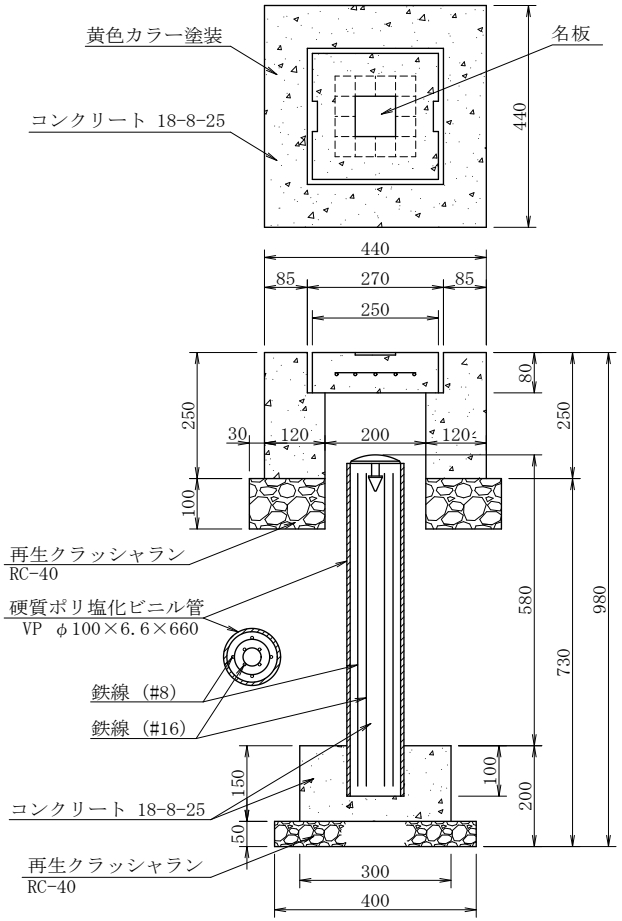


測量標(水準点・多角水準点)設置工材料表

名称	材料表 10点当り									摘要
	コンクリート 18-8-25 (m³)	再生クラッシャラン RC-40 (m³)	硬質ポリ塩化ビニル管 VP φ100 (m)	鉄線 #8 (m)	鉄線 #16 (m)	鉄蓋 (個)	金属鋲 (個)	名板 (枚)	チェーン (本)	
測量標設置工（水準点・多角水準点）	0.34	0.27	6.60	53	23	10	10	10	10	

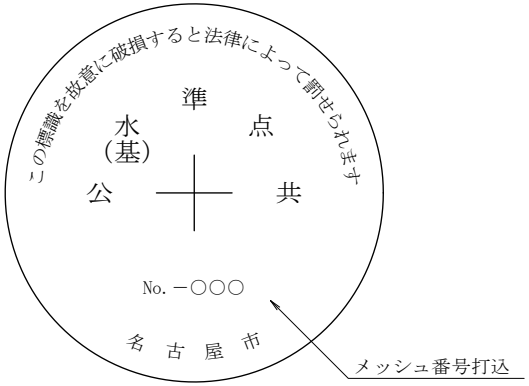
大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
1400 雑　工	測量標設置工	水　準　点 多角水準点	R7.4

名古屋市測量標（水　準　点
多角水準点）設置工

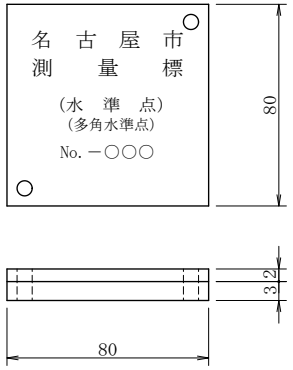


金属鋲（真鍮製）

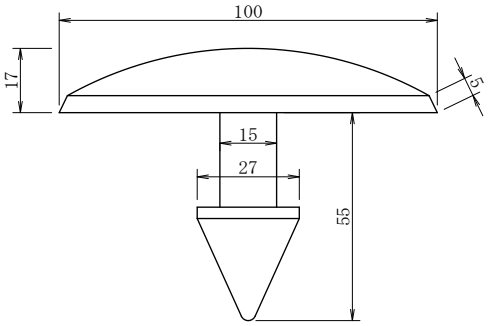
（　）は多角水準点



蓋取付用名板



厚さ3㎜の白色アクリル板に文字を彫刻後
黒エナメルペイントを充填の後、厚さ2㎜
の透明アクリル板を張り合わせる。

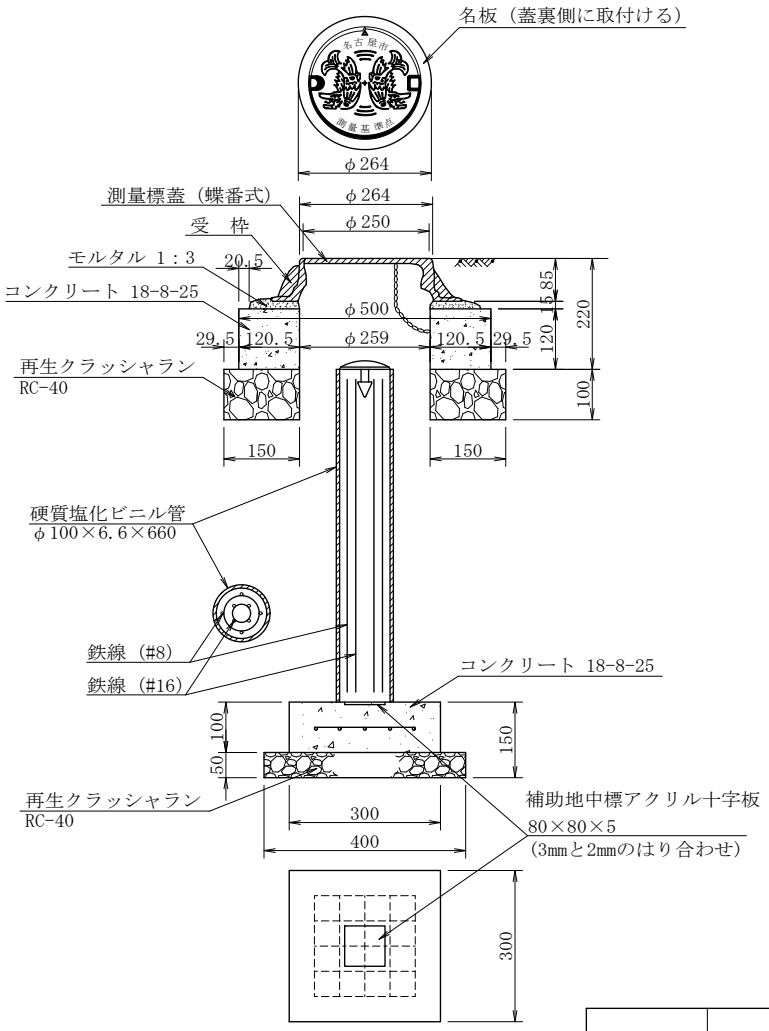


測量標(水準点・多角水準点)設置工材料表

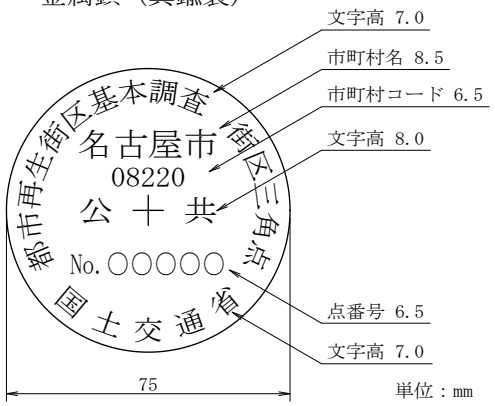
名　称	材　料　表　10点当り								摘　要
	コンクリート 18-8-25 (m^3)	再生クラッシャラン RC-40 (m^3)	硬質ポリ塩化ビニル管 VP φ100 (m)	鉄線 #8 (m)	鉄線 #16 (m)	Co蓋 (個)	金属鋲 (個)	名　板 (枚)	
測量標設置工 (水準点・多角水準点)	0.54	0.38	6.60	53	23	10	10	10	

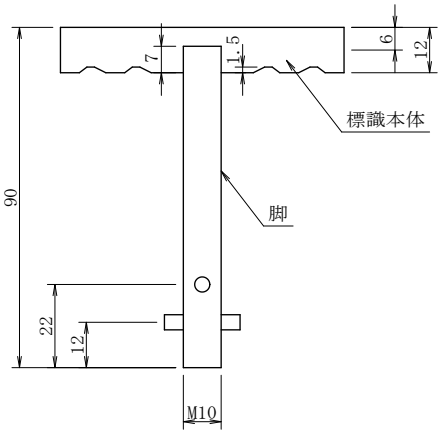
大分類	中分類	小分類	適用年度
1400 雑工	測量標設置工	街区三角点	R7.4

名古屋市測量標（街区三角点）設置工

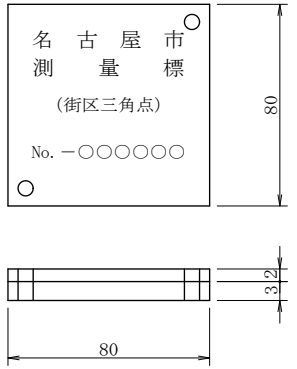


金属鋲（真鍮製）





蓋取付用名板



厚さ3㎜の白色アクリル板に文字を彫刻後
黒エナメルペイントを充填の後、厚さ2㎜
の透明アクリル板を張り合わせる。

測量標(街区三角点)設置工材料表

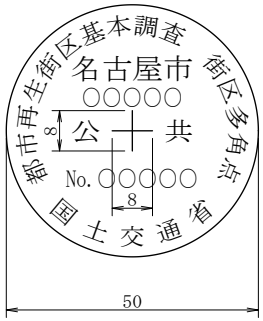
名称	材料表 10点当り									摘要
	コンクリート 18-8-25 (m^3)	再生クラッシャラン RC-40 (m^3)	硬質塩化ビニル管 φ100 (m)	鉄線 #8 (m)	鉄線 #16 (m)	鉄蓋 (個)	金属鋲 (個)	名板 (枚)	チェーン (本)	
測量標設置工(街区三角点)	0.22	0.27	6.60	83	28	10	10	10	10	

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
1400 雑　工	測量標設置工	街区多角点	R7.4

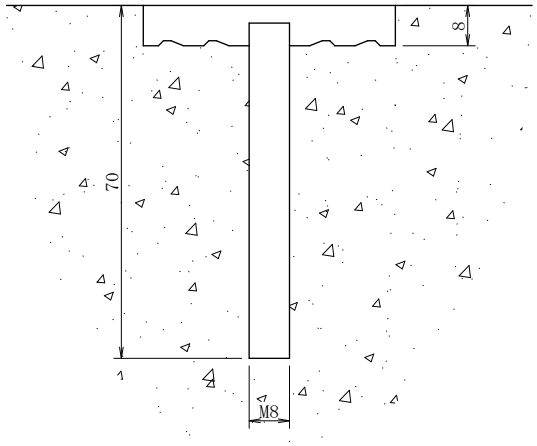
名古屋市測量標（街区多角点）設置工

埋設図 ① （コンクリート構造物）

平 面 図



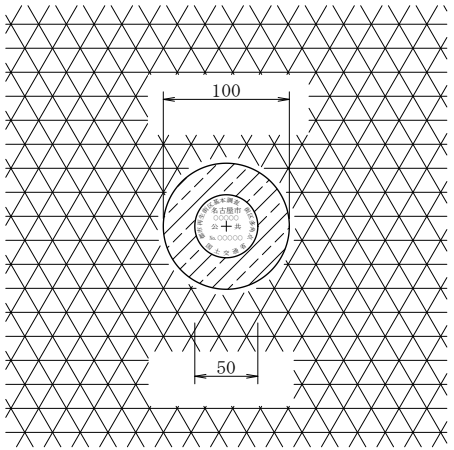
断 面 図



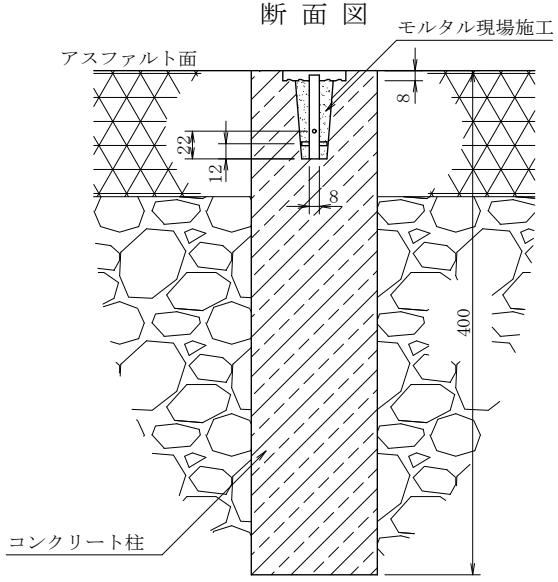
コンクリート

埋設図 ② （アスファルト道路：歩道等）

平 面 図



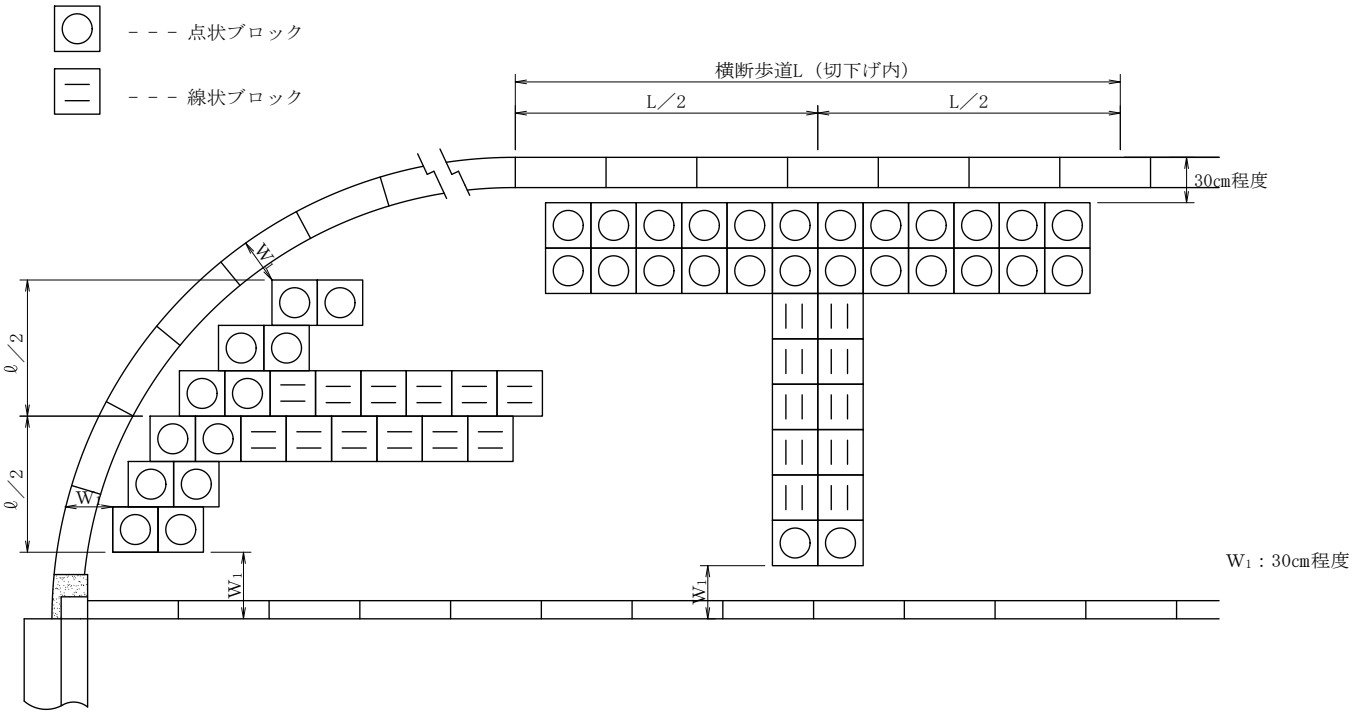
断 面 図

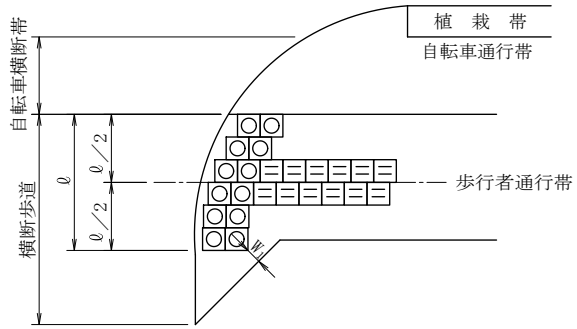


大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
参　考　図	視覚障害者誘導用 平板舗装工	配列図 Ａ－１	R7.4

視覚障害者誘導用平板舗装工

配　列　図　Ａ－１
（横断歩道・歩道巻込部）



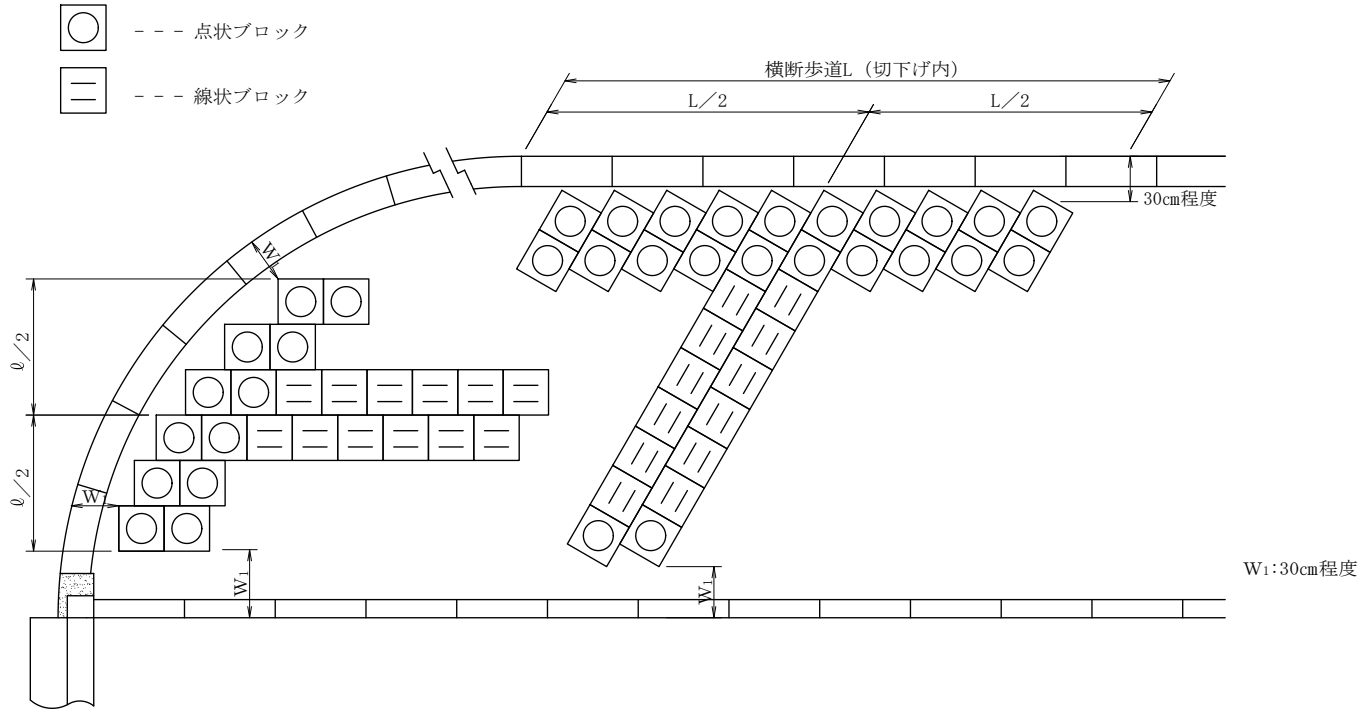


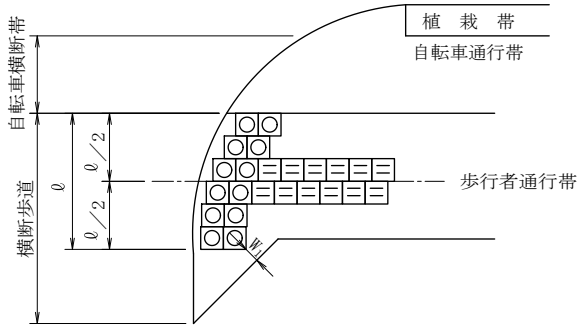
注意事項
1. 歩道に自転車通行帯のある場合は、この部分をはずして誘導用ブロックを敷設のこと。
2. 線状・点状ブロックは、横断歩道と平行に据付けること。
3. 視覚障害者誘導用ブロックはJIS T 9251とする。

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
参　考　図	視覚障害者誘導用 平板舗装工	配列図 Ａ－２	R7.4

視覚障害者誘導用平板舗装工

配　列　図　Ａ－２
（横断歩道・歩道巻込部）



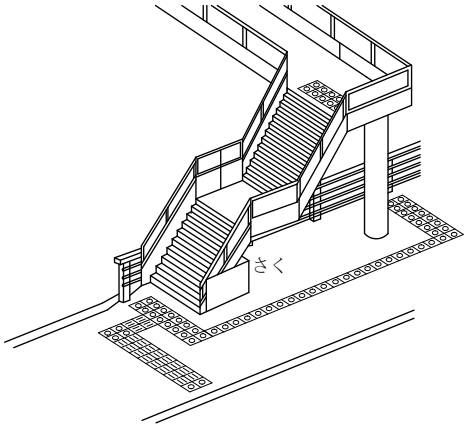


注意事項
1. 歩道に自転車通行帯のある場合は、この部分をはずして誘導用ブロックを敷設のこと。
2. 線状・点状ブロックは、横断歩道と平行に据付けること。
3. 視覚障害者誘導用ブロックはJIS T 9251とする。

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
参　考　図	視覚障害者誘導用平板舗装工	配列図	R7.4

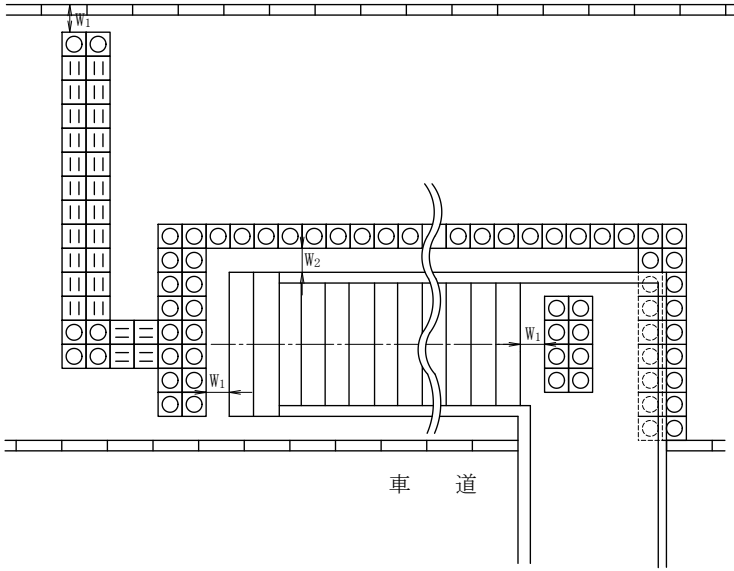
視覚障害者誘導用平板舗装工

立体横断施設の昇降口

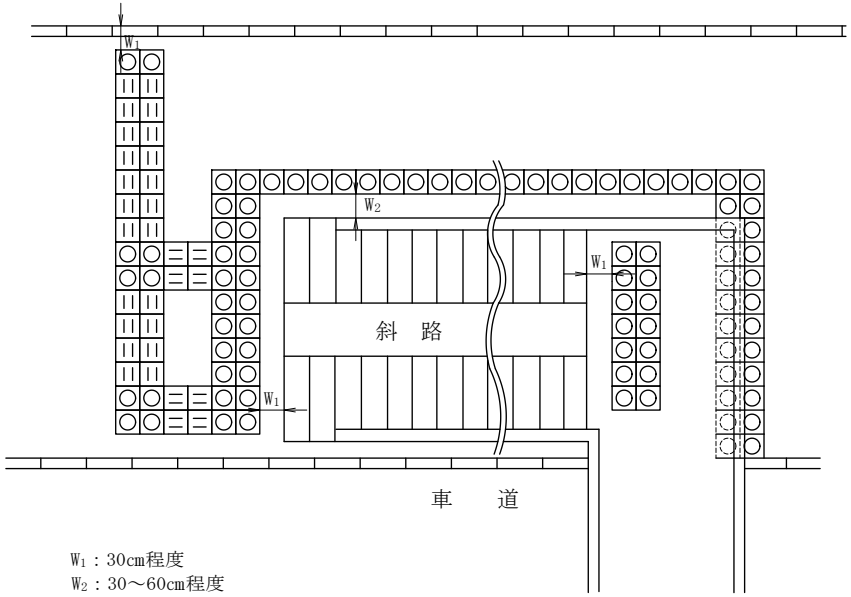


（平面図例－１）

（横断歩道橋の例）



（平面図例－２）



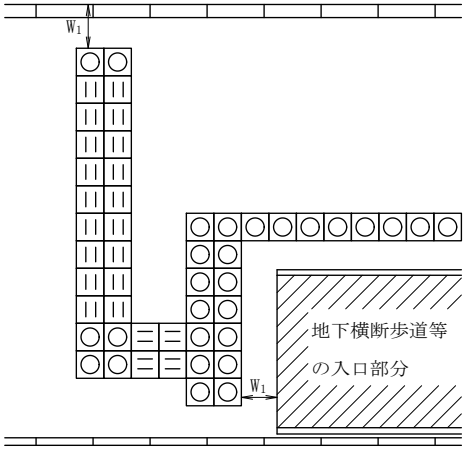
W1：30cm程度
W2：30～60cm程度

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
参　考　図	視覚障害者誘導用平板舗装工	配列図	R7.4

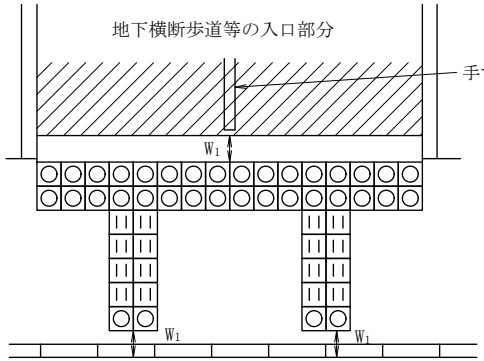
視覚障害者誘導用平板舗装工

地下横断歩道等の昇降部の設置例

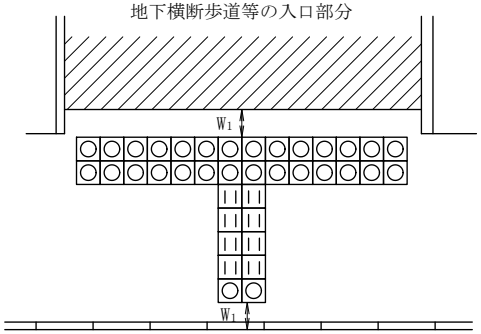
W_1：30cm程度



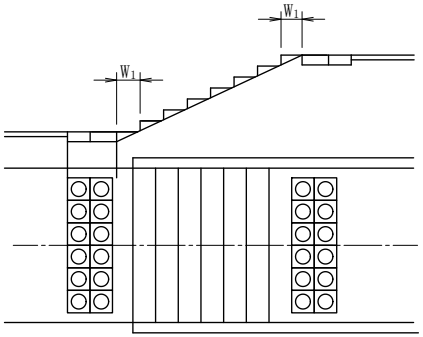
（地下横断歩道等の入口部分の方向が歩道上の歩行方向と一致している場合）



（地下横断歩道等の階段の中央ブロックに手すりがある場合）



（地下横断歩道等の入口部分の方向が歩道上の歩行方向に対して直角方向である場合）

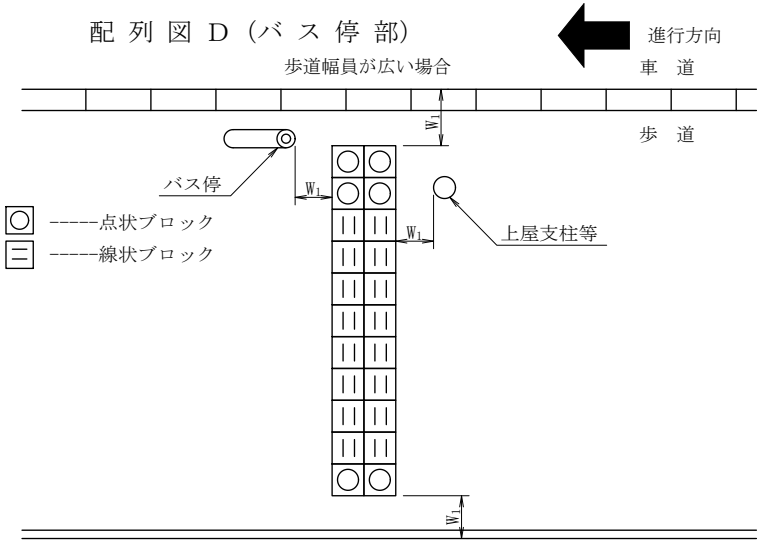


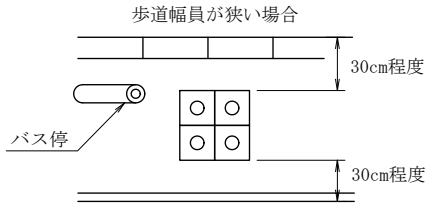
（階段の例）

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
参　考　図	視覚障害者誘導用平板舗装工	配列図Ｄ、Ｅ	R7.4

視覚障害者誘導用平板舗装工

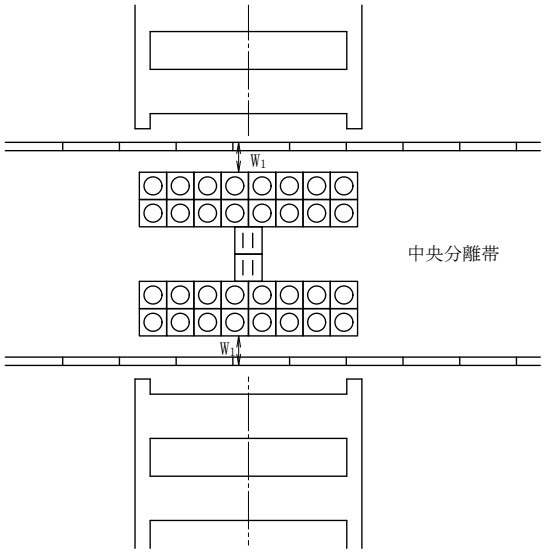
配 列 図 Ｄ（バ ス 停 部）



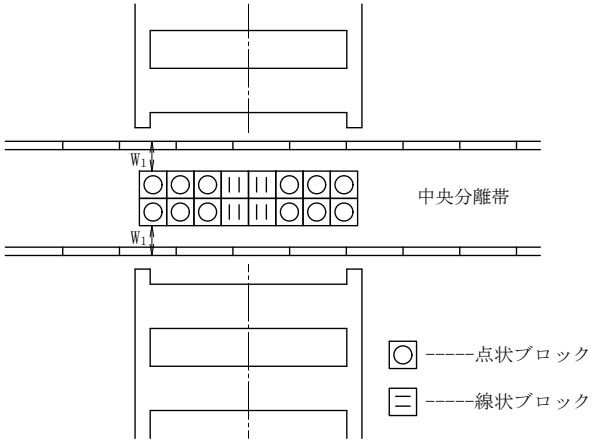


配 列 図 Ｅ（中 央 帯 部）

（広い中央分離帯の場合）



（狭い中央分離帯の場合）



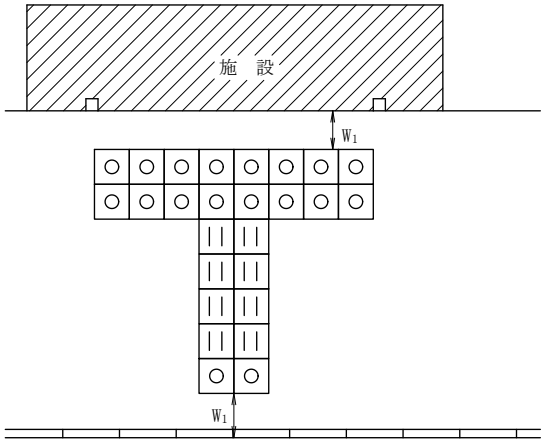
W1：30cm程度

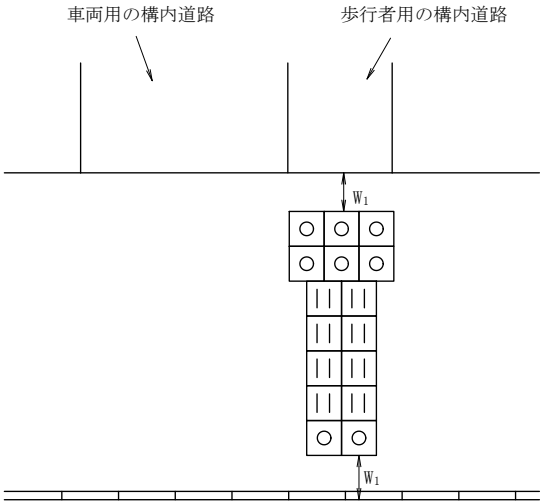
注意事項
1. 横断歩道の幅員に対して、１枚幅の点状ブロックを車道と平行方向に縁石より30cm控えて敷設する。

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
参　考　図	視覚障害者誘導用平板舗装工	配列図	R7.4

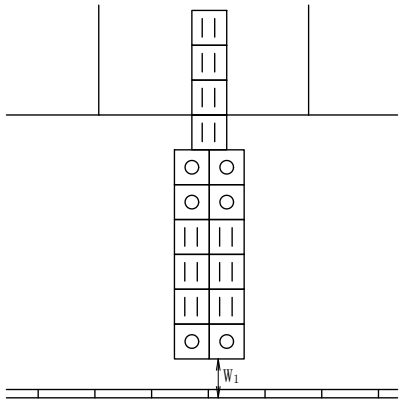
視覚障害者誘導用平板舗装工

公共施設等の入口部の設置例





W1：30cm程度



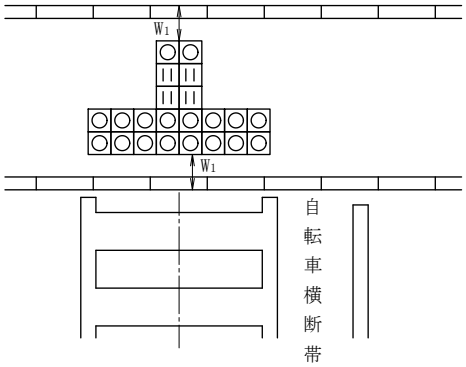
W1：30cm以内

（施設側に設置してある視覚障害者誘導用ブロックと連絡するように設置する場合）

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
参　考　図	視覚障害者誘導用平板舗装工	配列図	R7.4

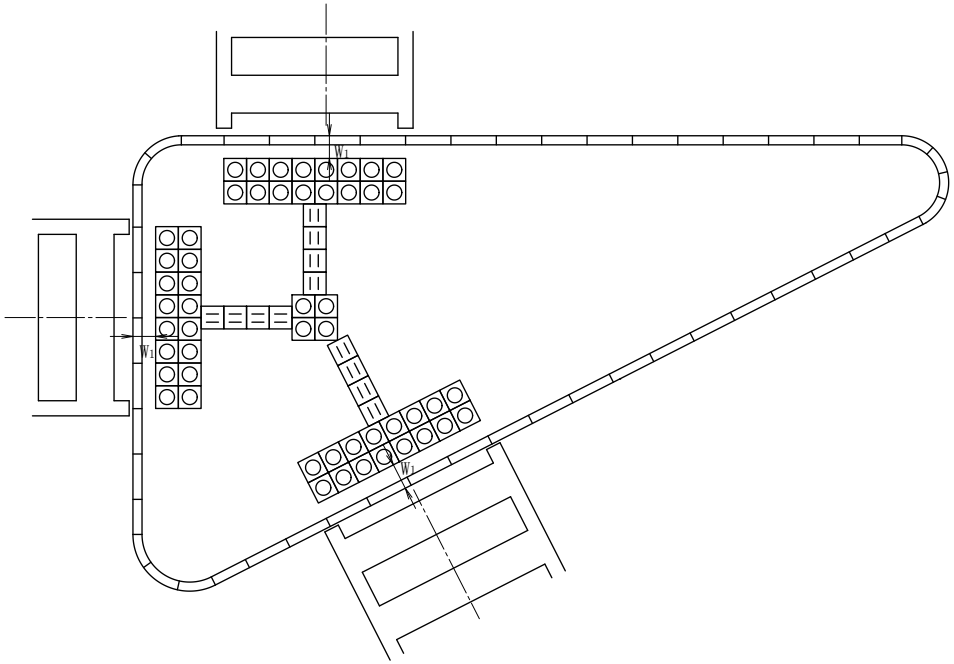
視覚障害者誘導用平板舗装工

（自転車横断帯がある場合）



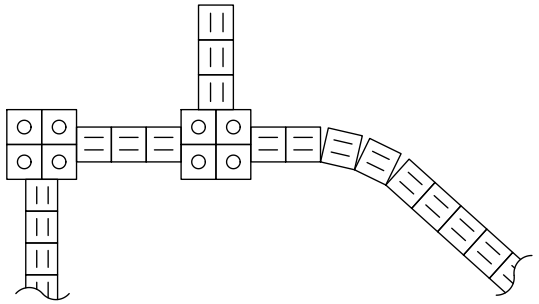
W1：30cm程度

（交通島の例）

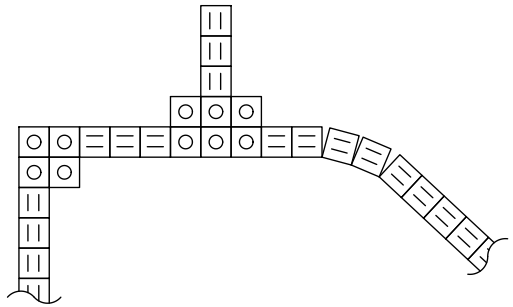


屈折・屈曲及び分岐地点の設置例を下図に示す。

（アスコン系舗装の場合）



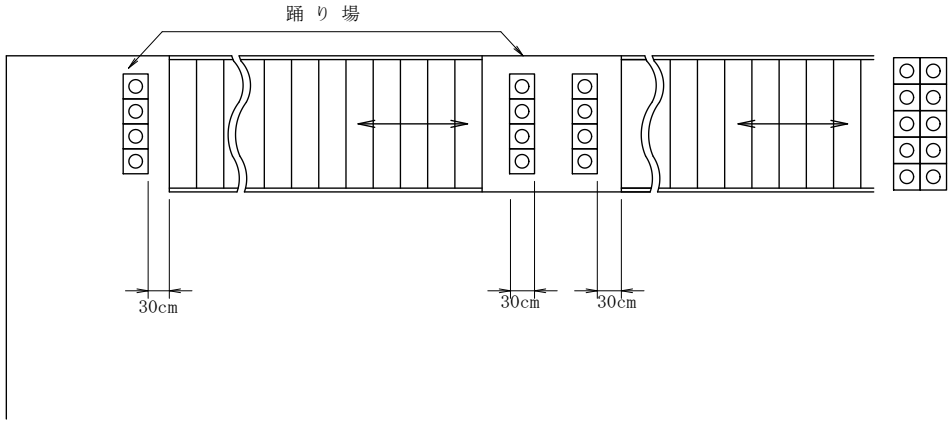
（ブロック系の場合）



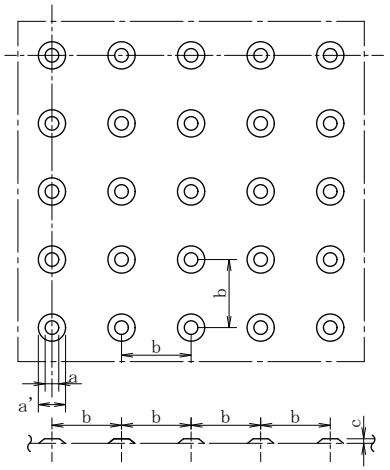
大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
参　考　図	視覚障害者誘導用 平板舗装工	配列図 Ｂ－１	R7.4

視覚障害者誘導用平板舗装工

配 列 図 Ｂ－１（階 段 部）



点字クリッカー
（磁器製）



点状突起（並列配列）の形状・寸法及びその配列

単位 mm

記号	寸　法	許容差
a	12	+1.5 0
a'	a+10	
b	55～60*	
c	5	+1 0

＊　この寸法範囲でブロック等の大きさに応じて一つの寸法を設定する。

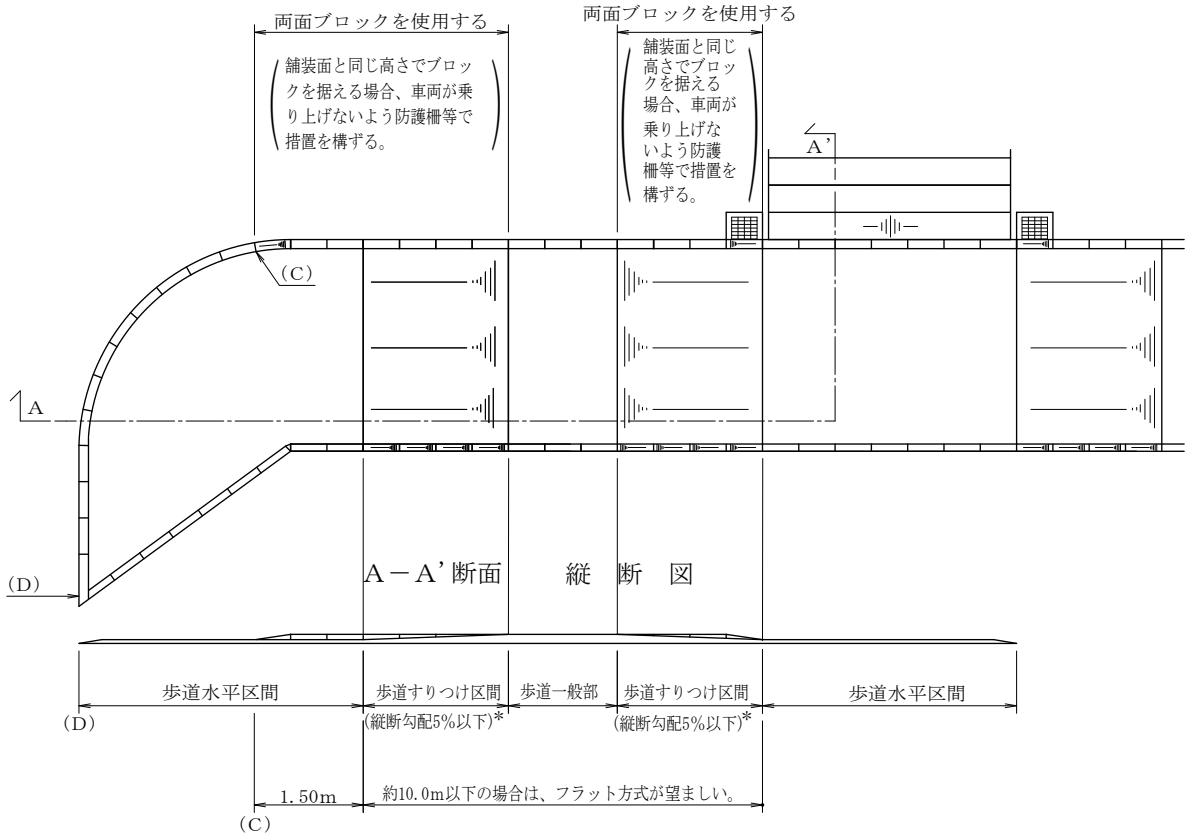
注意事項
1. 階段踊り場に階段口より30cm控えた地点に1枚幅の点状ブロック等を敷設する。
2. 視覚障害者誘導用ブロックはJIS T 9251とする。

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
参　考　図	歩道切下げ工	A、B	R7.4

歩　道　切　下　げ　工

A　巻き込み一般部

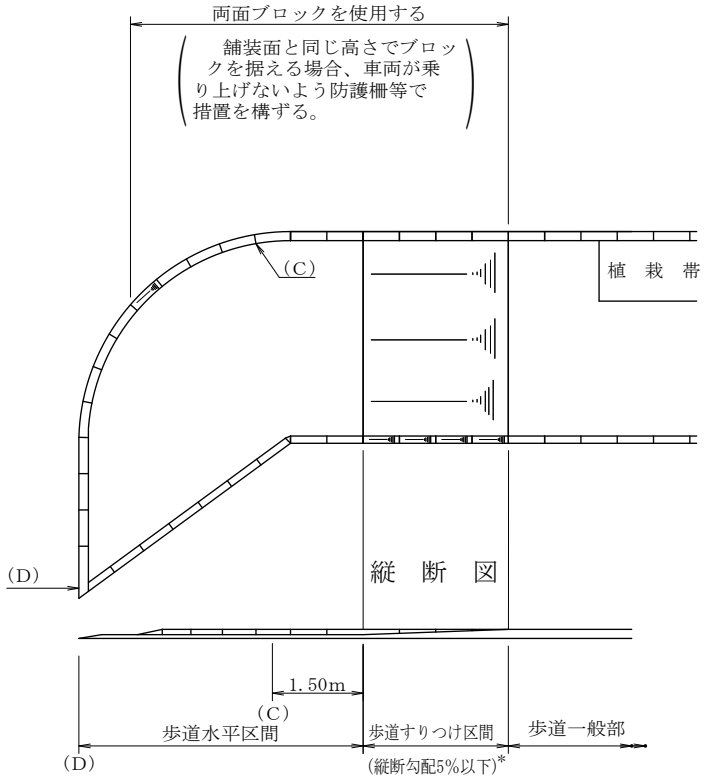
平　　面　　図



＊ 沿道の状況などによりやむを得ない場合には8%以下とする。

B　巻き込み一般部(植栽帯のある場合)

平　　面　　図



注意事項

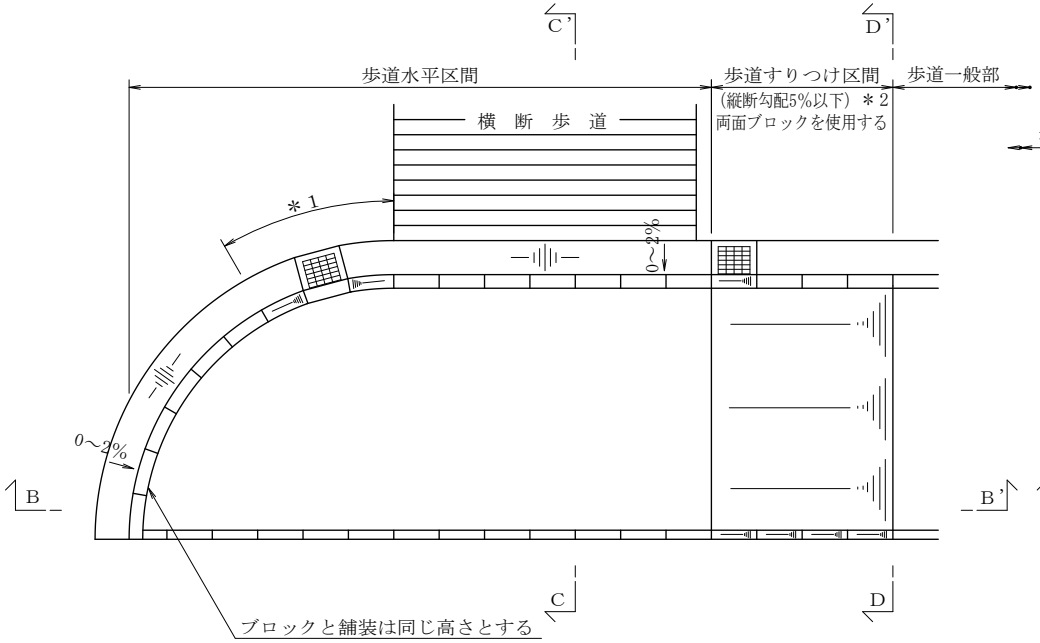
1. 歩道水平区間については巻込始点(C)からすりつけ区間との間に
   1.5m程度設けることが望ましい。このように設けられない場合には、
   巻込終点(D)から1.5m以上設ける。
2. 歩道幅員が2.5m以上の道路については、視覚障害者誘導用ブロックを設置する。
3. 縁石は両面加工した特殊ブロックを使うなど、歩行者などの安全な通行が
   確保されるよう配慮する。
4. エプロンの縦断勾配は１%程度とするが、本線勾配を考慮する。

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
参　考　図	歩道切下げ工	C、D	R7.4

歩　道　切　下　げ　工

C　横断歩道と支道が近い場合

平　　面　　図

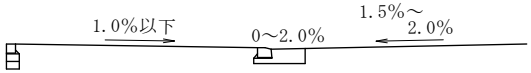


縦　　断　　図

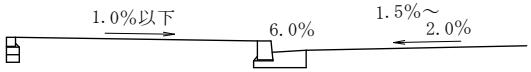
B－B’断面



C－C’断面



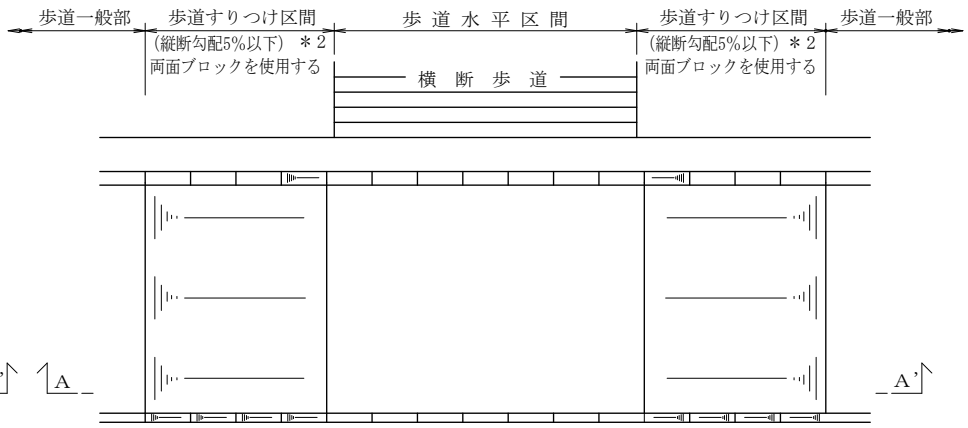
D－D’断面



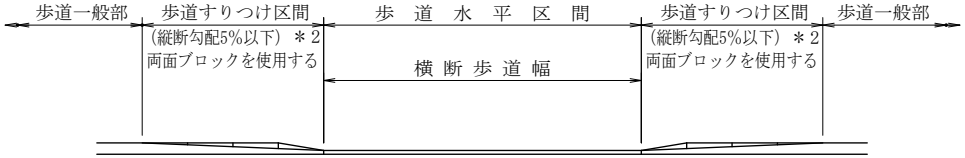
D　横断歩道の場合

平　　面　　図

歩道切下げ平面図



A－A’断面



＊1　　車両巻き込み防止のため、両面ブロックあるいは防護柵等を考慮する。

＊2　　沿道の状況などによりやむを得ない場合には8%以下とする。

注意事項

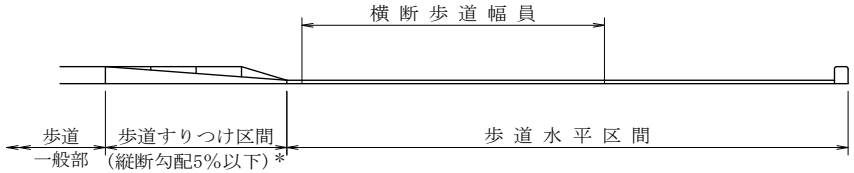
1. 歩道幅員が2.5m以上の道路については、視覚障害者誘導用ブロックを設置する。
2. 縁石は両面加工した特殊ブロックを使うなど、歩行者などの安全な通行が確保されるよう配慮する。
3. エプロンの縦断勾配は1%程度とするが、本線勾配を考慮する。

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
参　考　図	歩道切下げ工	E	R7.4

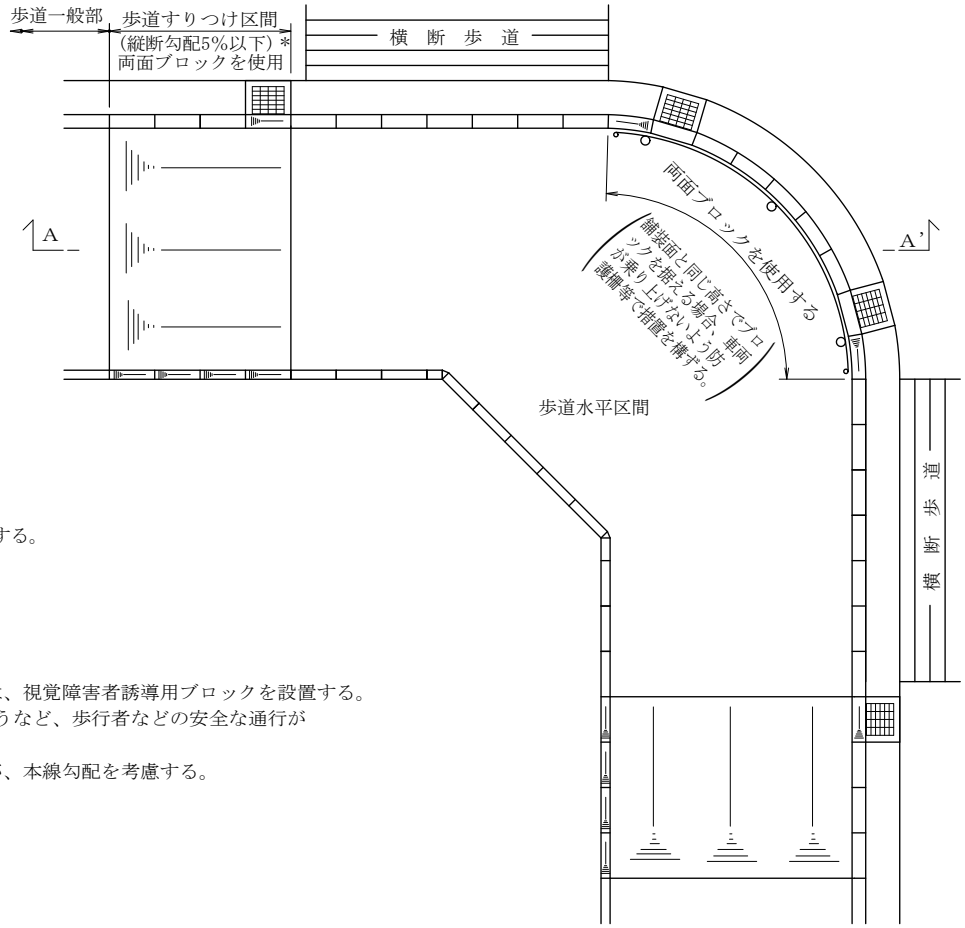
歩　道　切　下　げ　工

E　交差点に横断歩道がある場合

A－A’断面



平　面　図



＊　沿道の状況などによりやむを得ない場合には8%以下とする。

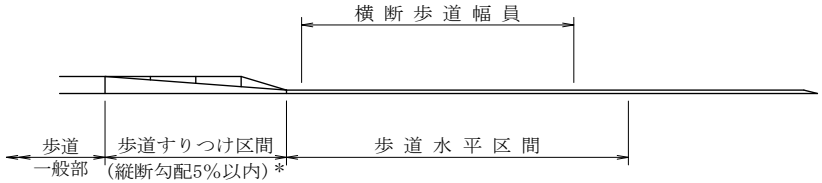
注意事項
1. 歩道幅員が2.5m以上の道路については、視覚障害者誘導用ブロックを設置する。
2. 縁石は両面加工した特殊ブロックを使うなど、歩行者などの安全な通行が
　確保されるよう配慮する。
3. エプロンの縦断勾配は1%程度とするが、本線勾配を考慮する。

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
参　考　図	歩道切下げ工	G	R7.4

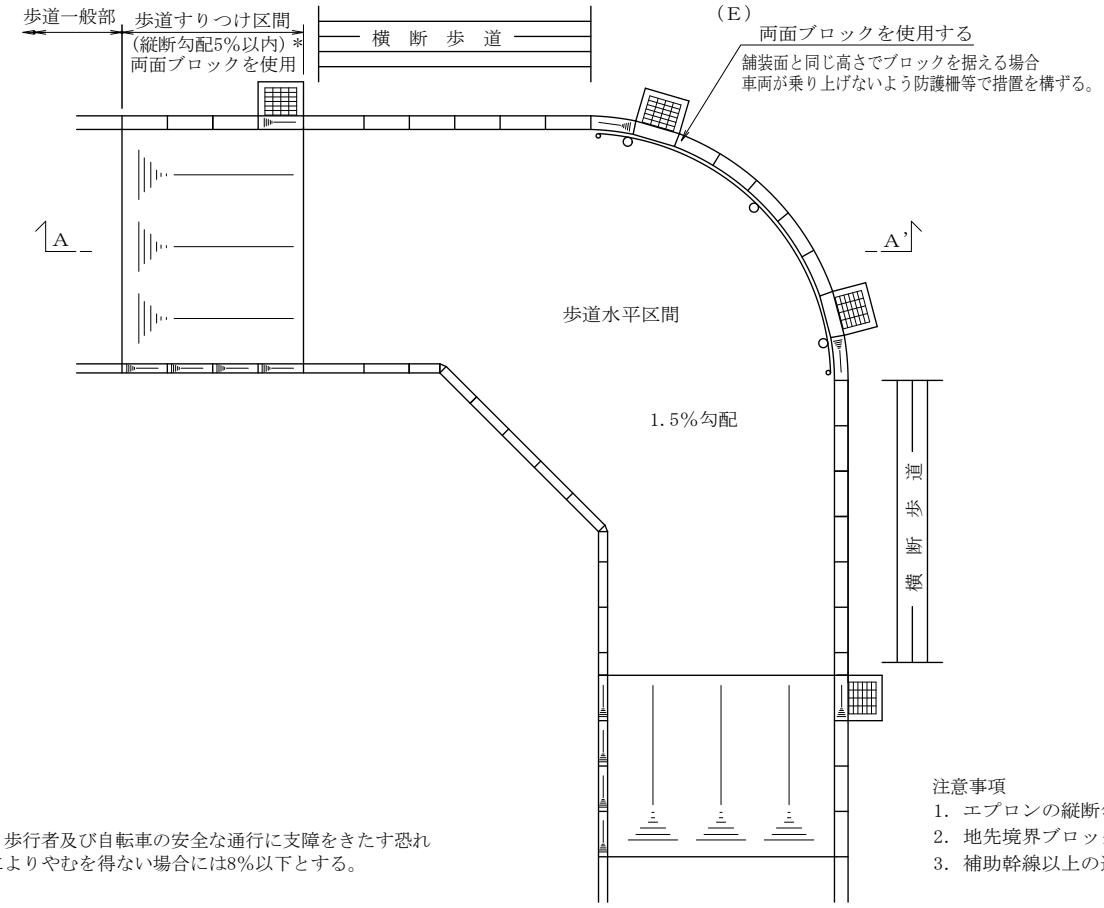
歩　道　切　下　げ　工

G　広い歩道の場合で、交差点に横断歩道がある場合

A－A’断面



平　面　図



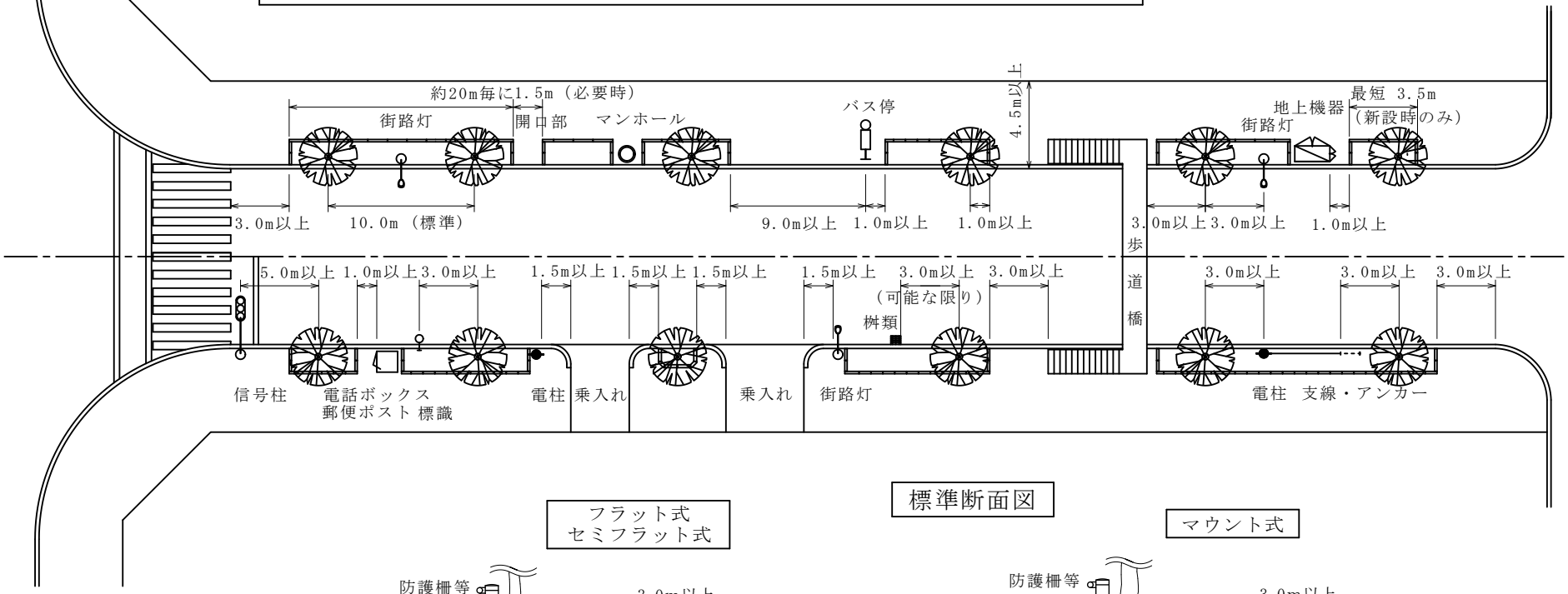
＊　路面凍結や積雪の情報を勘案して、歩行者及び自転車の安全な通行に支障をきたす恐れがある場合を除き、沿道の状況などによりやむを得ない場合には8%以下とする。

注意事項
1. エプロンの縦断勾配は1%程度とするが、本線勾配を考慮する。
2. 地先境界ブロックの縦断勾配を考慮する。
3. 補助幹線以上の道路については、点状ブロックなどを設置する。

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
参　考　図	植樹帯設置工(1)	植樹帯標準設置図	R7.4

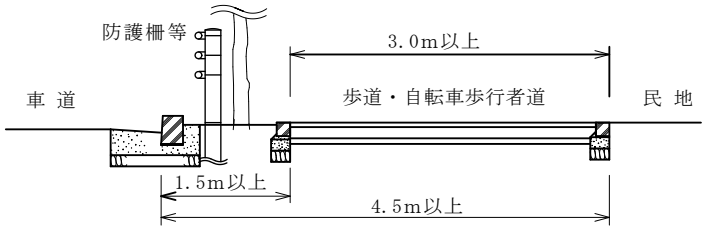
植樹帯標準設置図

〔採用条件〕
・第４種第１級及び第２級の道路で、4.5m以上の歩道又は自転車歩行者道。
・交通量の多い歩道にあっては残存有効幅員3.5m以上、交通量の多い自転車歩行者道にあっては残存有効幅員4.0m以上、その他の道路にあっては3.0m以上を確保すること。

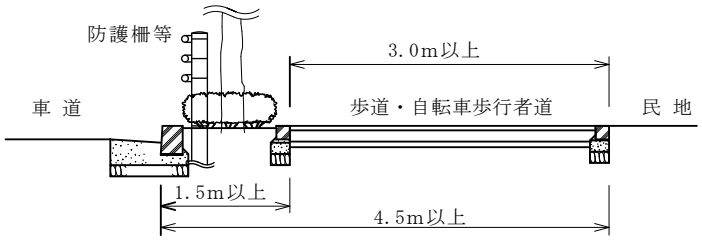


標準断面図

フラット式
セミフラット式



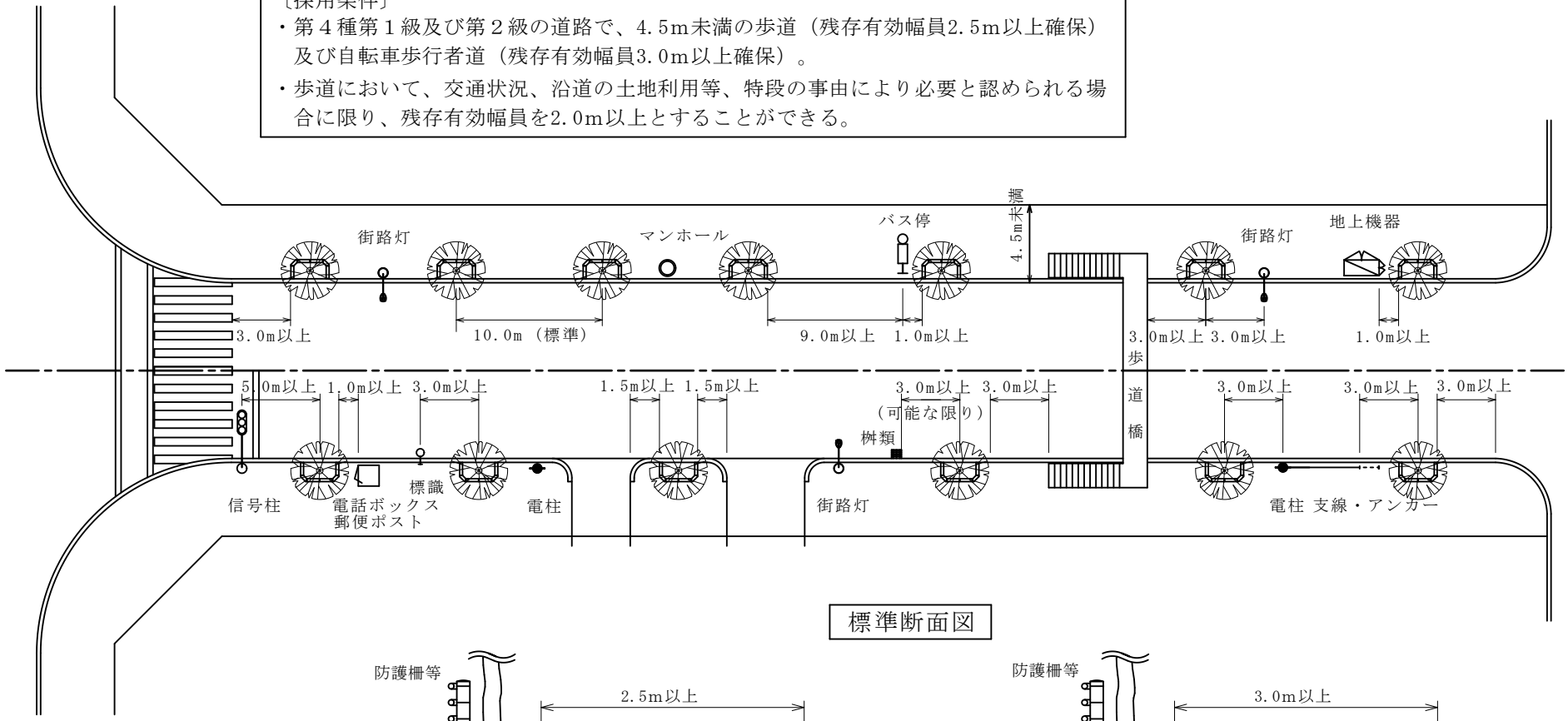
マウント式



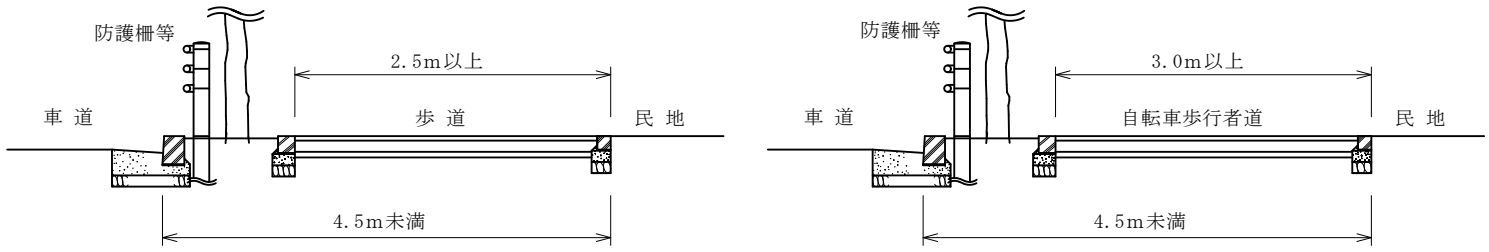
大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
参　考　図	植樹帯設置工(2)	植ます標準設置図	R7.4

植ます標準設置図

〔採用条件〕
- 第４種第１級及び第２級の道路で、4.5m未満の歩道（残存有効幅員2.5m以上確保）及び自転車歩行者道（残存有効幅員3.0m以上確保）。
- 歩道において、交通状況、沿道の土地利用等、特段の事由により必要と認められる場合に限り、残存有効幅員を2.0m以上とすることができる。



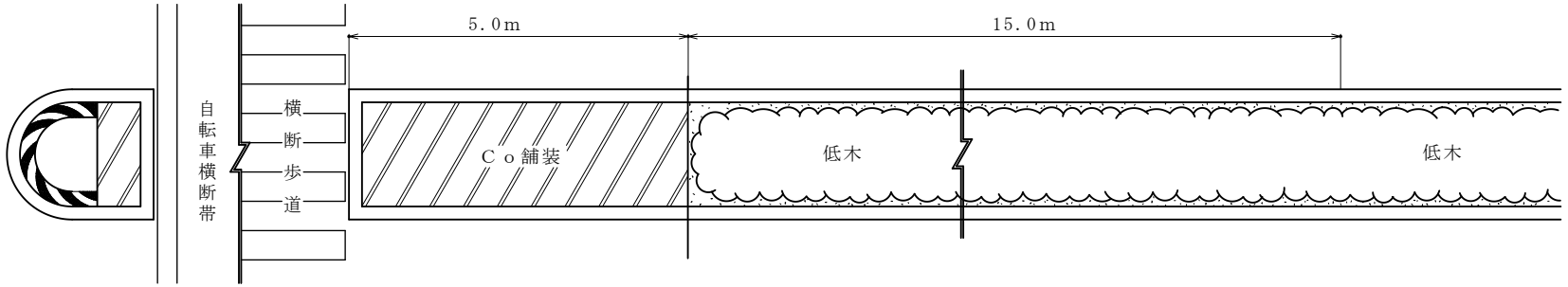
標準断面図



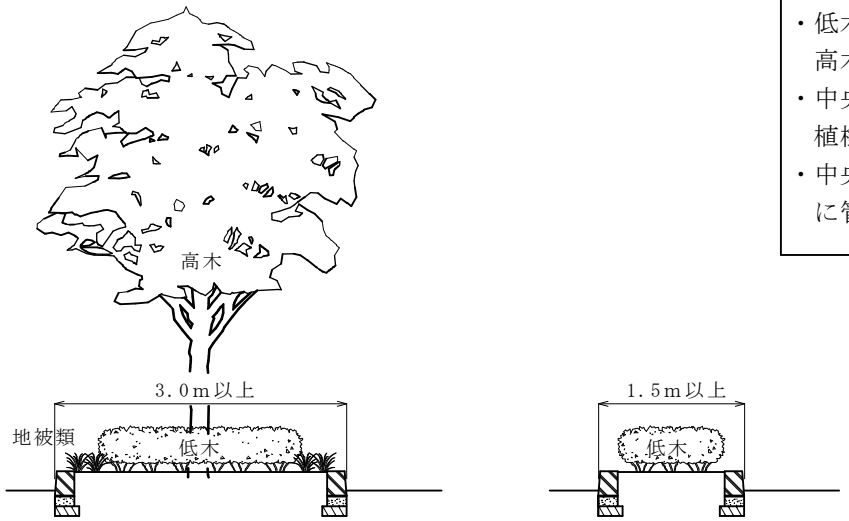
作成年月	H25.12

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
参　考　図	中央分離帯 植栽設置図	中央分離帯 標準植栽図	R7.4

中央分離帯標準設置図



標準断面図



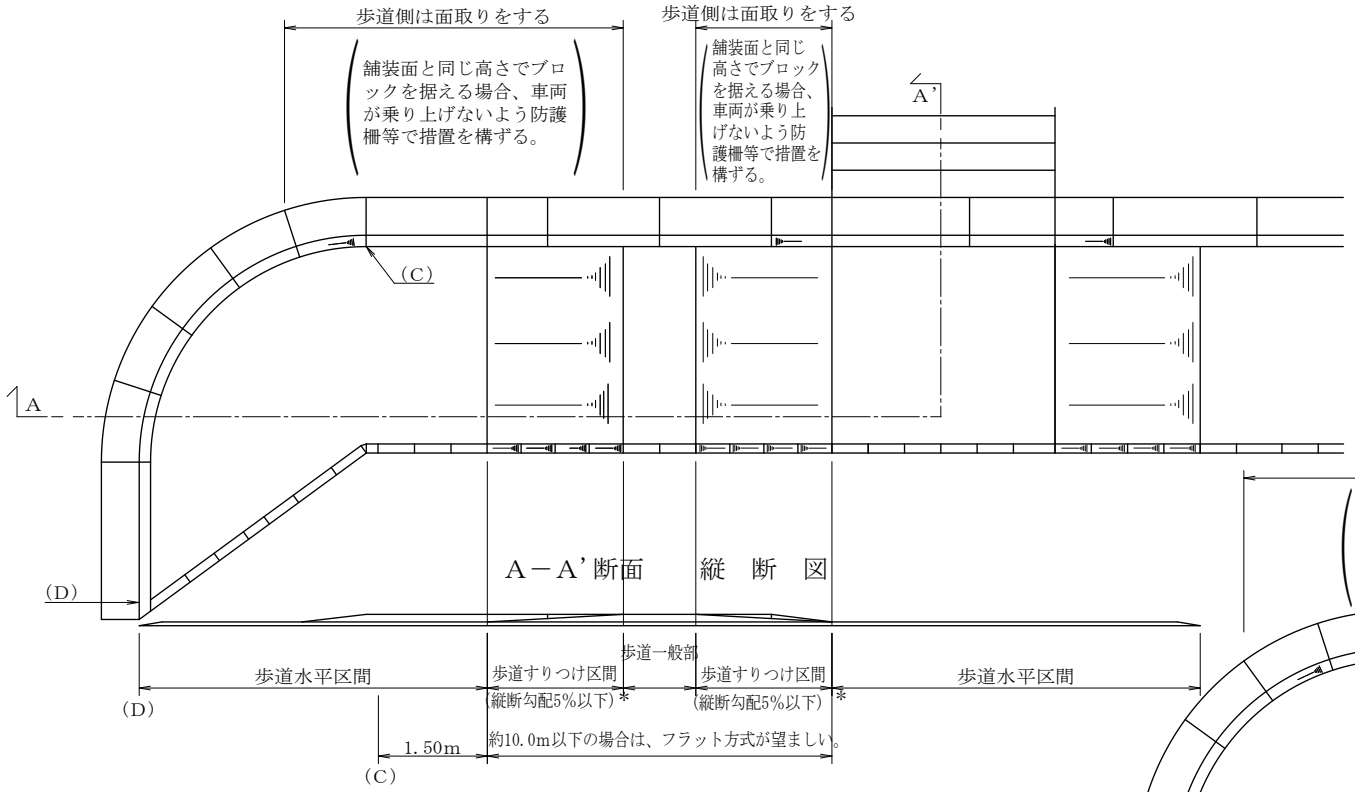
〔採用条件〕
- 幅員1.5m以上の中央分離帯。
- 低木、地被類による植栽を標準とし、幅員3m以上の中央分離帯には高木を併用できる。
- 中央分離帯の先端及び横断歩道、自転車横断帯の端部から5m以内は植樹帯を設けない。（Ｃｏ舗装等により防草対策を講じること。）
- 中央分離帯先端部から20m以内に植栽する低木等は、高さ0.5m以下に管理できる樹種とする。

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
参　考　図	歩道切下げ工 （Ｌ形街渠用）	Ａ、Ｂ	R7.4

歩道切下げ工（Ｌ形街渠用）

Ａ　巻き込み一般部

平　　面　　図



Ａ－Ａ’断面　　縦　断　図

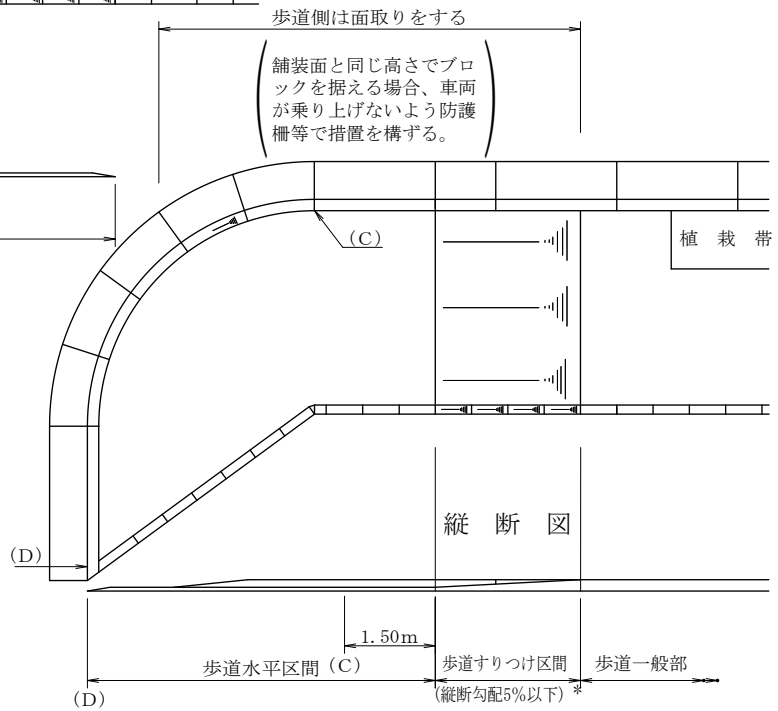
＊　　沿道の状況などによりやむを得ない場合には8%以下とする。

注意事項

1. 歩道水平区間については、巻込始点(C)からすりつけ区間との間に1.5m程度設けることが望ましい。このように設けられない場合には、巻込終点(D)から1.5m以上設ける。
2. 歩道幅員が2.5m以上の道路については、視覚障害者誘導用ブロックを設置する。
3. 縁石は両面加工した特殊ブロックを使うなど、歩行者などの安全な通行が確保されるよう配慮する。
4. エプロンの縦断勾配は１％程度とするが、本線勾配を考慮する。

Ｂ　巻き込み一般部(植栽帯がある場合)

平　　面　　図

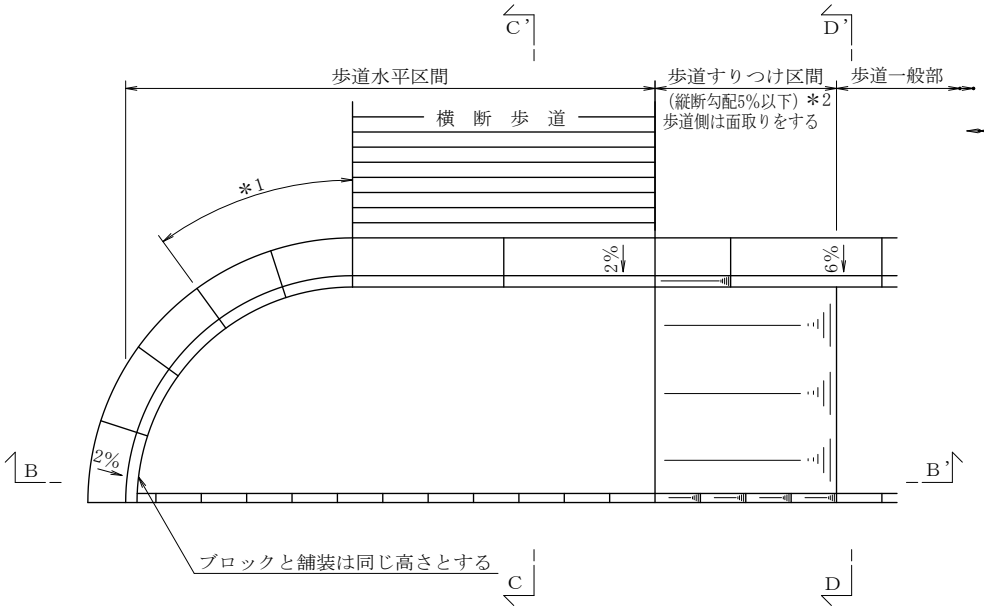


大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
参　考　図	歩道切下げ工 （Ｌ形街渠用）	Ｃ、Ｄ	R7.4

歩道切下げ工（Ｌ形街渠用）

Ｃ　横断歩道と支道が近い場合

平　　面　　図

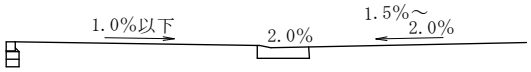


縦　　断　　図

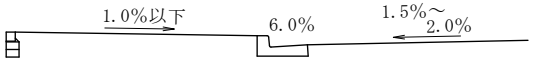
Ｂ－Ｂ’断面



Ｃ－Ｃ’断面



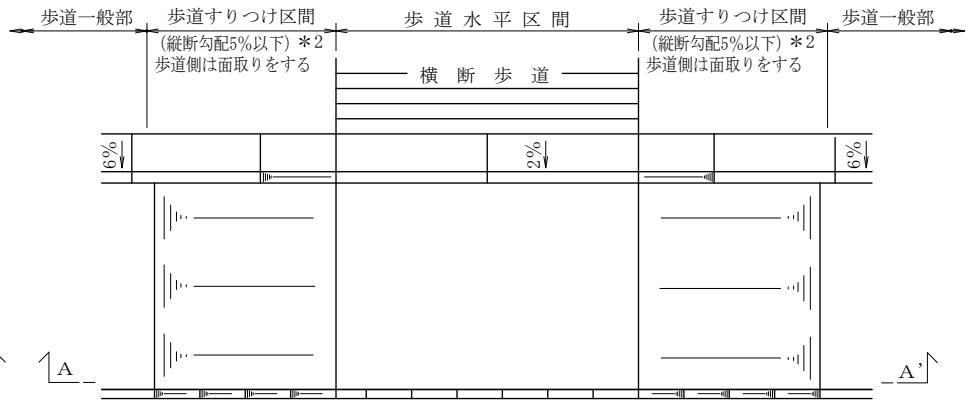
Ｄ－Ｄ’断面



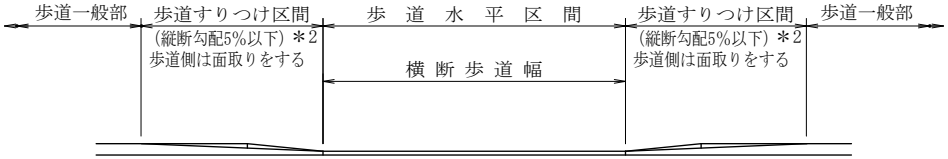
Ｄ　横断歩道の場合

平　　面　　図

歩道切下げ平面図



Ａ－Ａ’断面



＊1　車両巻き込み防止を考慮する。

＊2　沿道の状況などによりやむを得ない場合には8%以下とする。

注意事項

1．歩道幅員が2.5m以上の道路については、視覚障害者誘導用ブロックを設置する。

2．縁石は両面加工した特殊ブロックを使うなど、歩行者などの安全な通行が確保されるよう配慮する。

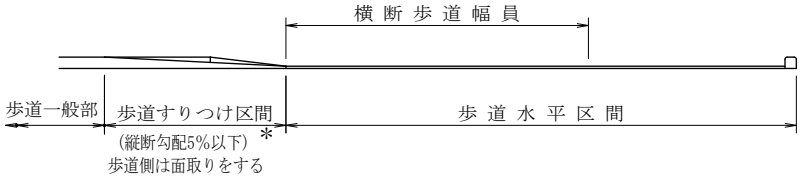
3．エプロンの縦断勾配は１%程度とするが、本線勾配を考慮する。

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
参　考　図	歩道切下げ工 （Ｌ形街渠用）	Ｅ	R7.4

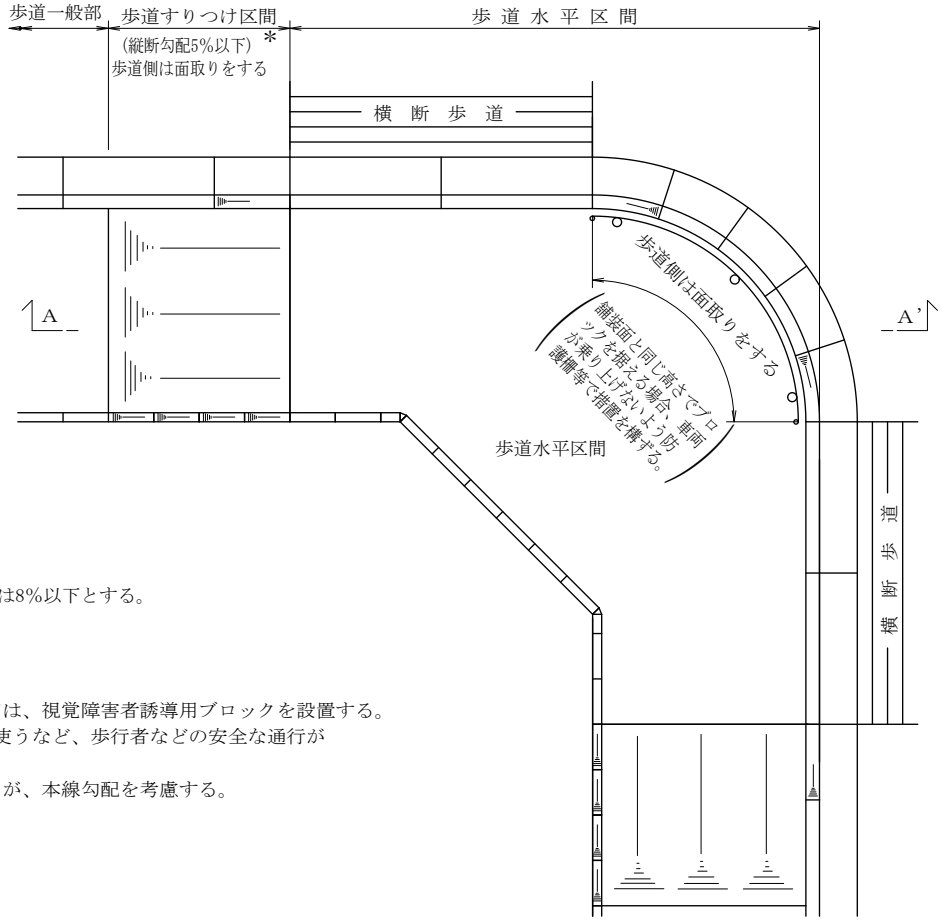
歩道切下げ工（Ｌ形街渠用）

Ｅ　交差点に横断歩道がある場合

Ａ－Ａ’断面



平　面　図



＊　沿道の状況などによりやむを得ない場合には8%以下とする。

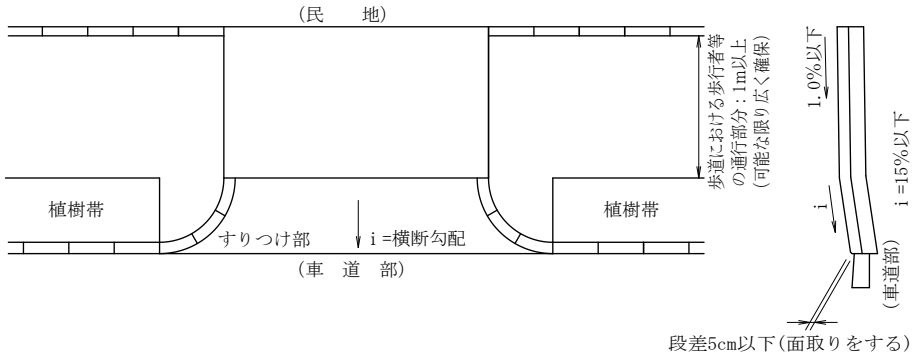
注意事項
1. 歩道幅員が2.5m以上の道路については、視覚障害者誘導用ブロックを設置する。
2. 縁石は両面加工した特殊ブロックを使うなど、歩行者などの安全な通行が
確保されるよう配慮する。
3. エプロンの縦断勾配は1%程度とするが、本線勾配を考慮する。

大　分　類	中　分　類	小　分　類	適用年度
参　考　図	乗り入れ工	乗り入れ工	R7.4

乗　り　入　れ　工

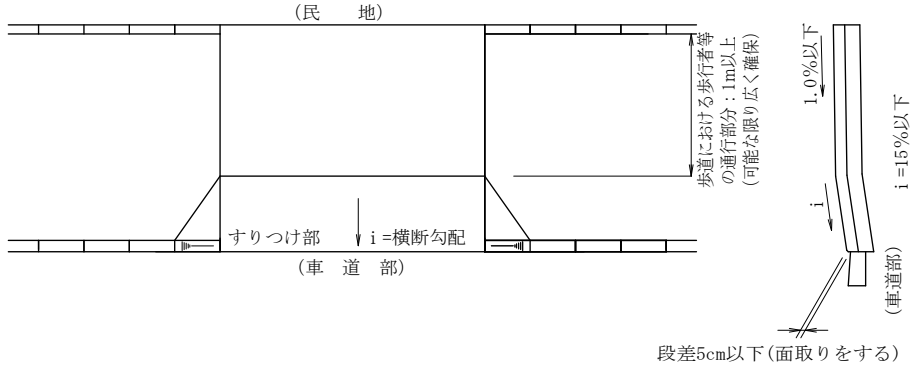
A　植樹帯等の幅員内ですりつけを行う構造

平　　面　　図



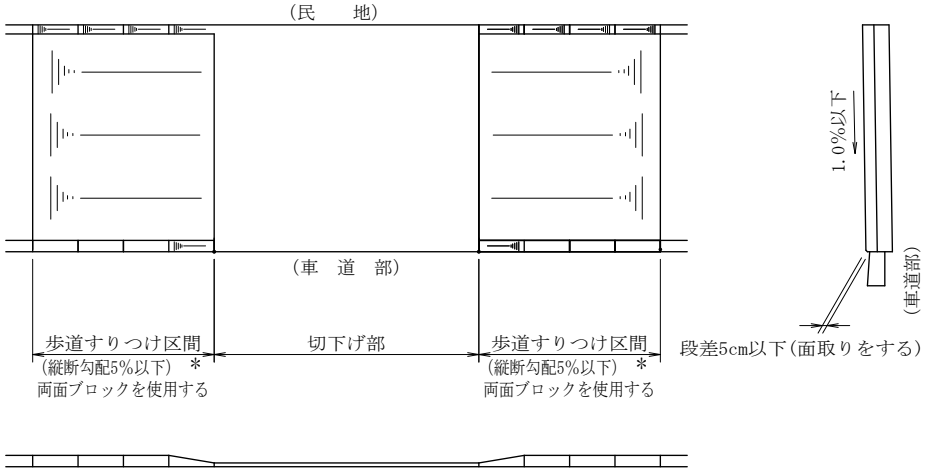
B　歩道等内においてすりつけを行う構造

平　　面　　図



C　歩道等の全面切下げを行う構造

平　　面　　図



＊　沿道の状況などによりやむを得ない場合には8%以下とする。